

博士学位論文（東京外国語大学）
Doctoral Thesis (Tokyo University of Foreign Studies)

氏 名	ツォイ エカテリーナ
学位の種類	博士（学術）
学位記番号	博甲第 220 号
学位授与の日付	2016 年 10 月 5 日
学位授与大学	東京外国語大学
博士学位論文題目	課題解決に向けた三者間共同作業における言語行動 —日本語とロシア語の対照研究—

Name	Tsoy, Ekaterina
Name of Degree	Doctor of Philosophy (Humanities)
Degree Number	Ko-no. 220
Date	October 5, 2016
Grantor	Tokyo University of Foreign Studies, JAPAN
Title of Doctoral Thesis	Linguistic behavior in collaborative work between three persons aimed at task solving: A contrastive study of Japanese and Russian.

東京外国語大学博士学位論文

課題解決に向けた三者間共同作業における言語行動
—日本語とロシア語の対照研究—

ツォイ エカテリーナ

TSOY EKATERINA

目次

1. はじめに.....	1
1.1 対照研究とは.....	4
1.1.1 対照研究における「等価性」(equivalence)の問題.....	5
1.1.2 日本語とロシア語の対照研究.....	6
1.2 本研究の意義.....	6
1.2.1 課題解決に向けた共同作業の場面における会話データを扱う意義.....	6
1.2.2 三者間会話を扱う意義.....	8
1.3 本研究の目的および課題.....	9
2. 先行研究.....	13
2.1 話者交替.....	13
2.1.1 日本語の会話における話者交替に関する研究.....	15
2.1.2 ロシア語の会話における話者交替に関する研究.....	21
2.2 発話行為「提案」.....	27
2.2.1 日本語の発話行為「提案」に関する研究.....	31
2.2.2 ロシア語の発話行為「提案」に関する研究.....	33
2.3 配慮言語行動.....	36
2.3.1 日本語の配慮言語行動に関する研究.....	38
2.3.2 ロシア語の配慮言語行動に関する研究.....	41
2.4 先行研究における問題点および残された課題.....	44
3. 研究方法.....	47
3.1 分析データ.....	47
3.1.1 データ収集方法.....	47
3.1.2 文字化資料の作成方法.....	51
3.1.2.1 日本語の会話データの文字化方法.....	51
3.1.2.2 ロシア語の会話データの文字化および表記方法.....	55

3.2	分析方法	57
3.2.1	分析の単位	57
3.2.1.1	発話文	57
3.2.1.2	ターン	61
3.2.1.3	隣接ペア	61
3.2.2	話者交替に関する分析項目	62
3.2.2.1	ターン割り当て方法	63
3.2.2.2	発話の重なり	67
3.2.3	発話行為に関する分析項目	69
3.2.3.1	発話行為「提案」の定義および「提案」談話の認定基準	70
3.2.3.2	「提案」談話の抽出方法	72
3.2.4	配慮言語行動に関する分析項目	75
3.2.4.1	配慮言語行動の定義	75
3.2.4.2	配慮言語行動としてのヘッジ	76
4.	話者交替における日本語とロシア語の異同	78
4.1	日本語とロシア語におけるターン割り当て方法	78
4.2	「現在の話し手が次の話し手を選択」する場合の話者指名方法	81
4.2.1	明示的な話者指名方法	82
4.2.2	非明示的な話者指名方法	83
4.3	「自己選択」における発話の重なり	87
4.3.1	TRP における発話の重なり	92
4.3.2	TRP ではない箇所における発話の重なり	95
4.3.3	発話の重なりにみられる日本語とロシア語の異同	97
4.4	第4章のまとめ	101
5.	発話行為「提案」における日本語とロシア語の異同	103
5.1	「提案」談話の特徴	104
5.2	「提案」における発話の形式	111
5.2.1	「提案」における「平叙型」の発話	111
5.2.2	「提案」における「疑問型」の発話	113

5.2.3 「提案」における「命令型」の発話	114
5.2.4 「提案」発話の形式にみられる日本語とロシア語の異同.....	116
5.3 「提案に対する反応」の示し方.....	121
5.3.1 「受諾」という反応	121
5.3.2 「拒否」という反応	123
5.3.3 「補足」という反応	125
5.3.4 「保留」という反応	126
5.3.5 「提案に対する反応」の示し方にみられる日本語とロシア語の異同	128
5.4 第5章のまとめ	130
6. 配慮言語行動における日本語とロシア語の異同.....	132
6.1 話者交替における配慮言語行動.....	133
6.1.1 「現在の話し手が次の話し手を選択」する場合の配慮言語行動	134
6.1.2 TRP ではない箇所の発話の重なりにおける配慮言語行動.....	140
6.1.2.1 重なりにおける後行発話の進行を遅らせるための「言いよどみ」	144
6.1.2.2 現在の話し手のターンを共有するための「共同発話」	150
6.2 「提案」における配慮言語行動.....	151
6.2.1 「平叙型」の発話におけるヘッジ	153
6.2.2 「疑問型」の発話におけるヘッジ	157
6.2.3 「命令型」の発話におけるヘッジ	161
6.3 「提案」の受け手にみられる配慮言語行動	164
6.3.1 提案への賛否を明確に示さないという配慮.....	164
6.3.2 提案への賛否を明確に示すという配慮.....	166
6.4 第6章のまとめ	171
7. おわりに.....	174
7.1 全体のまとめ	174
7.1.1 課題解決に向けた三者間共同作業における日本語の言語行動の特徴	176
7.1.2 課題解決に向けた三者間共同作業におけるロシア語の言語行動の特徴..	177

7.1.3 「肩並び型」および「正対型」の共同作業	179
7.2 本研究の貢献および展望	181
謝辞	184
参考文献	185
付録	200

1. はじめに

本研究は、課題解決に向けた三者間の共同作業における言語行動について、実際の発話データをもとに、主に語用論および談話分析の枠組みで日本語とロシア語の比較対照を行うものである。

本論に入る前に、これまでの言語研究のあり方について簡単に概観する。言語研究へのアプローチは様々である。音韻論、形態論、統語論等という伝統的な言語学の分野における研究は、構造言語学からノーム・チョムスキーの生成文法に至るまで、言語理論の実証や言語体系の解明を中心に行われてきた。そして、チョムスキーの言う「理想的な母語話者」の「言語能力」が対象とされており、研究者自身の直観に基づく作例の判断がなされてきた。つまり、言語は、それを使用する人間の意図および属性、使用場面および状況から切り離して分析されており、これらの外的要因に影響されない抽象化や理想化したデータが扱われてきた。

しかし、1970年代以降発展してきた社会言語学では、言語使用は様々な社会的要因（話し手と聞き手の年齢、性別、親密度等）に影響されており、言語と社会を切り離すことはできないと主張された。Labov(1972)は、実際の産出データから人々の言語使用の実態を解明しようとし、その後、実際の産出データをもとに話し言葉や会話を分析対象とする研究が増えてきた。さらに、1980年代以降、言語のあり方は、それを使用する人間が物事をどのように認識しているかによる、という立場を取る認知言語学も発展してきた。このように、言語研究へのアプローチが多様化し、抽象的な「言語能力」だけではなく、現実の言語使用に関わる「言語運用」にも着眼が置かれるようになった。

語用論、社会言語学および認知言語学は、互いに研鑽しつつ「言語運用」の実態を探究している。ただし、それぞれの着眼点は多少異なる。認知言語学の研究は、言語使用における意味に焦点を当て、カテゴリー化や概念化等によって言語を記述している。一方、社会言語学の研究は、言語使用における外的要因に焦点を当て、基本的に「ある状況 X であれば、話し手は Y という言語形態を使う確率が高くなる」(東 1997, p.12)というアプローチを取り、社会における言語変異を体系として「静的」に捉えようとしている。それに対して語用論研究は、談話における話し手の意図等を考慮し、個々の言語使用を文脈の中で「動的」に捉えている点で、社会言語学とはアプローチが異なる。

日本語研究についても、以前は内省による国語学の研究手法が主流であったが、近年は、実際の産出データをもとに言語行動の実態を究明しようとする研究が増えてきている。

会話データを扱った研究では、日本語の会話スタイルの特徴として、話し手の自己主張よりも、聞き手との調和や連帯感が重視されることが指摘されている。実際の会話で多くみられる言語行動として、あいづち(水谷 1983, 1988, 1993, 2001; 堀内 1988; メイナード 1993 等)や言いさし(荻原 2002, 2015; 三牧 2015; 永田 2015)などが挙げられる。

一方、ロシア語は、SVO の語順を持ち屈折語であるため、日本語と比べると、形態的にも統語的にも英語やフランス語などにより近い。しかし、ロシア語における言語行動は、英語とは大きく異なるという指摘がみられる(Вежбицка 2002; Ларина 2009)。ロシア語母語話者は、話し手、あるいは聞き手の私的領域より周囲との繋がりを重視することが指摘されており(Бердяев 1990; Сергеева 2006; Прохоров и Стернин 2007; Ларина 2009)、(1)および(2)のように、ロシア語は英語に比べ、個人を強調する “ya” (「私」) より “my” (「私たち」) の使用のほうが好まれるのである。

(1) a. My friend and I.

b. My` s drugom.

we with friend

友人と一緒に。

(2) a. Do I know you?

b. My` znakomy`?

we be_acquainted

お会いしたことがありましたっけ?

(Ларина 2009, p.86; 筆者訳)

さらに、ラリナ(Ларина 2009)によると、相手に働きかける発話行為(依頼、誘い、アドバイス等)では、ロシア語は英語に比べ、直接的な命令表現が多く用いられており、相手との距離を強調するような社交辞令的な定型表現や間接的な表現が好まれない。

このように、個人の私的領域を重視する英語に比べ、日本語とロシア語における言語行動には、共通して周囲との連帯感という要素がみられる。しかし、日本語とロシア語それぞれに特徴的とされてきた具体的な言語行動は非常に異なる。そこで、本研究では、課題解決に向けた三者間共同作業の会話データを用い、日本語とロシア語における言語行動の比較対照を試みる。

本論文は7章から構成されている。

第1章では、まず、1.1で「対照研究」という研究アプローチの捉え方および対照研究の基本である「等価性」(equivalence)の概念について説明した上で、これまでになされてきた日露対照研究について言及する。1.2では、課題解決に向けた共同作業の場面および三者間会話を扱う意義、1.3では、本研究の目的および課題を示す。

第2章では、本研究で取り上げる分析項目に関する先行研究を概観し、その問題点および残された課題について述べる。2.1では、Sacks, Schegloff and Jefferson(1974)による話者交替システム(turn-taking system)について説明した上で、日本語およびロシア語に関する先行研究を取り上げる。2.2では、Austin(1975 [1962])および Searle(1975, 1976, 1979)による発話行為論(Speech Act Theory)における主要な概念について説明し、課題解決に向けた会話において要となる発話行為「提案」を取り上げる研究を概観する。そして、2.3では、先行研究における配慮言語行動の捉え方を示し、日本語およびロシア語それぞれにおいて配慮言語行動として取り上げられてきた形式や言語行動について述べる。

第3章では、研究方法について説明する。まず、3.1ではデータ収集方法および分析で用いる文字化資料作成の方法、並びに本研究におけるロシア語の表記方法について述べる。3.2では、分析単位として扱う「発話文」、「ターン」(turn)、「隣接ペア」(adjacency pair)について説明した上で、話者交替、発話行為、および配慮言語行動、それぞれにおける具体的な分析項目について述べる。話者交替に関しては、ターン割り当て方法および発話の重なりについて説明する。発話行為に関しては、「提案」の認定基準を示し、「提案」談話の抽出方法について述べる。そして、「配慮言語行動」に関しては、本研究における捉え方および、「ヘッジ」(hedge)の概念について説明する。これら3つの観点から行った分析の結果を第4~6章で示す。

第4章では、まず、本会話データでみられた日本語およびロシア語のターン割り当て方法の例を挙げ、話者交替に関する量的分析の結果を示す。次に、4.2では「現在の話し手による次の話し手の選択」に焦点を当て、日本語とロシア語における話者指名方法の異同について述べる。そして、4.3では本データで最も多かった「自己選択」における「発話の重なり」に焦点を当て、ターン取りの適切さという観点から日本語とロシア語の異同について述べる。

第5章では、本研究における「提案」談話の特徴について述べた上で、5.2で「提案」発話の形式、5.3で「提案に対する反応」の示し方について述べる。そして、日本語およびロシア語それぞれの言語表現にみられる特徴を示す。

第 6 章では、話者交替および発話行為「提案」の際に行われる配慮言語行動について述べる。6.1 では、「現在の話し手による次の話し手の選択」では、特定の会話参加者に宛てられた発話の内容を分析する。そして、「自己選択」において話者交替に適切ではない場所に生じた発話の重なりに焦点を当て、配慮言語行動として「言いよどみ」および「共同発話」を取り上げる。6.2 では、「提案」発話におけるヘッジについて記述し、6.3 では、提案の受け手にみられる配慮言語行動について述べる。

第 7 章では、本研究で示唆された結果を総括的にまとめ、課題解決に向けた三者間共同作業における日本語およびロシア語の言語行動の特徴について述べる。そして、共同作業への取り組み方の違いを表す「肩並び型」のパターンおよび「正対型」のパターンを示す。最後に本研究の貢献および展望について述べる。

1.1 対照研究とは

対照研究とは、2 つ以上の言語において言語体系または言語行動の類似点および相違点を記述することによって、言語の多様性の中に普遍性を探る言語研究の方法の一つである。

Di Pietro(1971)は、対照研究における各言語の特性が何らかの意味で普遍的な言語の特質を反映している、という考え方の重要性を指摘し、対照研究を行う上でその考え方を基本となる概念としている。つまり、個々の言語の現象を扱う対照研究は、何らかの点ですべての言語に通ずる理論に貢献するものであるべきということである。

メイナード(1993, p.11)は、対照研究において対照分析(contrastive analysis)および対照言語学(contrastive linguistics)の 2 つの流れを区別している。前者は、外国語教育において学習者の誤りをなくすための解決策を見出すことを目的とした分野の一つであり、アメリカを中心になされていた。一方、後者は、言語間の類似点および相違点を指摘することを目的とする言語学の分野であり、ヨーロッパで盛んである。

石綿・高田(1990, p.9)は、対照研究の特徴について、類型の普遍性を求めようとするのは類型論(typology)であり、「対照研究は、言語の個別性を求め個々の異同の具体的な事実を重視している」と述べている。一方、生越(2002, p.2)が述べているように、近年の対照研究は、「単に言語間の個別的な異同について論じるのではなく、言語の普遍性と多様性の追究を背景とした研究になりつつ」あり、以前に比べ対照研究と言語類型論の研究の境界がはっきりしなくなっている。

井上(2002, p.3)も「言語間の類似と相違を記述する」こと自体は必ずしも言語の比較対

照の本質的な意義ではない」とし、生越(2002)に近い捉え方をしている。井上(2002)は、対照研究では、次の2つのタイプを区別している。それは、「二つの言語の類似と相違を共通の枠組みのもとで整理して記述する」＜対応記述型＞のものおよび、「二言語間の類似と相違の背景にある一般的な原理や傾向性について考える」＜類型設定型＞のものである。＜対応記述型＞の対照研究の意義は、「それぞれの表現の特徴を整理してとらえる（分析的にとらえる）ための観点の発見」（井上 2002, p.6）にあり、＜類型設定型＞の対照研究の意義は「それぞれの言語内部にみられる種々の現象を有機的に関連づける（統合的にとらえる）観点」（井上 2002, p.9）の発見にあるということである。

上記のように、研究者によって対照研究の意義の捉え方が異なるが、本研究では Di Pietro(1971)および井上(2002)の考え方の立場を取る。つまり、個々の言語の使用における異同を統合的に捉え、類型的な観点で言語行動の普遍性を追究する。

1.1.1 対照研究における「等価性」(equivalence)の問題

対照分析の手法を取り入れた研究では、分析レベルによって「文レベル」のものおよび「談話レベル」のものがみられる。「文レベル」の対照分析は、主に音韻、語彙、文構造を中心になされている。一方、「談話レベル」の対照分析は、談話構造および会話管理の方法などに焦点を当てている。また、研究者が取り上げる現象によって用いられる言語理論は様々であるが、対照分析はいずれの場合も「等価性」という概念を基本とすることが肝要である。

2つの言語を比較する際に、分析で取り上げる形式は等価でなければならない。つまり、2つの言語における形式が異なっても、その形式の内容が等しいことを示す要素を基準として設定しなければならないということである。

メイナード(1993, pp.20-22)は、データの選択方法における等価性を重視し、対照分析のデータが両方の言語社会における同一の言語現象を代表しなければならないとしている。そして、対照研究で用いられるデータとして、比較する言語の談話データを訳したもの（研究者自身が訳したもの、あるいはすでに公表されたもの）、2か国語併用の社会で用いられる対訳文章、並びに一部の音を消した映像を母語話者にみてもらい、その内容を語ってもらったものを挙げている。近年、対照研究において広く用いられるデータでは、談話完成タスクおよびロールプレイによるものもある。

本研究では、分析における等価性を確保するために、「課題解決に向けた共同作業」の場面において同一の課題を設定することによって条件を統制し、日本語とロシア語の会話デ

ータを収集した。

1.1.2 日本語とロシア語の対照研究

日本における対照研究は、英語教育の分野などでは早い段階から取り入れられていたが、外国語としての日本語教育が広く行われるようになってからは、ヨーロッパの諸言語（ドイツ語、フランス語等）およびアジアの諸言語（中国語、韓国語、タイ語等）を対象とするものも盛んになされるようになった。一方、ロシアにおける対照研究では、主にヨーロッパ諸言語が取り上げられており、アジアの諸言語に関するものは少ない。日本語とロシア語の対照研究が少ない理由について、青木(2005, p.131)は、日本ではロシア語が、ロシアでは日本語がそれぞれ「難しい言語」という位置に置かれ、「ロシア（ソ連）における日本語学者が母語との対照を考慮に入れていなかった」、そして「同様に、日本におけるロシア語学者の間でも、ロシア語と日本語の対照に焦点を置いた研究は最近まで研究者の大きな関心を引かなかった」と述べている。

これまでになされてきた日露対照研究では、呼びかけ表現の対照(Дыбовский 1994; Кронгауз и Такахаси 2002)、標準語の変遷の対照(Алпатов 1995)、テンスおよびアスペクトの対照(Канэко и Петрухина 2004; Kaneko 2014; 柳町 2004)、接辞の意味の対照(Накао 2003; 中尾 2003)、慣用表現や概念の認知の対照(田中・ケキゼ 2005; Kekidze・田中 2006)、論理展開の対照(江口 2006)等がある。

このように、以前に比べ、日露対照研究が活発に行われるようになり、様々な現象が分析されてきた。しかし、筆者の知っている限りでは、実際の会話における言語行動および会話参加者の相互作用、また会話分析を取り入れた研究はみられない。

1.2 本研究の意義

前節で述べたように、日露対照研究は主に文法を中心に行われてきたが、「会話」という活動における言語行動を総合的に考えるものはみられない。

1.2.1 課題解決に向けた共同作業の場面における会話データを扱う意義

本研究で扱う共同作業とは、複数の参加者が特定の課題を与えられ、それを解決するという目的に向かって一緒に作業を行う活動のことである。以下、ロールプレイによる会話およ

び自由会話との違いを示し、課題解決に向けた共同作業の場面の特徴およびその会話データをを用いるメリットについて述べる。

a) ロールプレイとの違い

ロールプレイとは、調査者が設定した状況で、指示された役を演じる活動のことであり、語用論研究においてよく用いられる会話データの収集方法である。この手法は場面設定における条件統制がしやすく、対照研究においても広く採用されている。しかし、Taniguchi(2015)が指摘しているように、その場面設定では、しばしば対象となる言語のいずれかが基準とされる。そのため、ある現象を取り上げる際に、基準とされていない言語についてはそれがみられない可能性がある。たとえば、ある言語 A と言語 B における謝罪表現の対照研究では、言語 A を基準に「待ち合わせに遅刻する」という場面が設定されたとしよう。しかし、言語 B の文化社会では、待ち合わせへの遅刻が一般的に許容されているならば、そのデータでは謝罪表現はみられない。また、通常その場面では謝罪表現が用いられないにもかかわらず、会話の目的が最初から「謝罪表現を使う」こととされるため、自然な言語行動がみられるとは言えない。つまり、ロールプレイによるデータは、必ずしも実際の言語運用を正確に反映しないことが多いということである。

一方、課題解決に向けた共同作業の場面では、作業の目的が統一されており明確ではあるが、会話の流れはあらかじめ設定されていない。つまり、課題解決という目的を達成するために、どのような言語行動を取り、どのように会話を構築していくかは、その言語が持つ構造や背景にある文化社会によって定まるということである。また、ロールプレイに比べ、共同作業の場面における会話では、調査者側から会話の展開および最終的な形に対する干渉がなく、会話の自然さが確保できる。

さらに、共同作業の場面では、会話参加者の役割は一定しておらず、相手とのやり取りの中で決まる。つまり、会話において誰がどのようにイニシアティブを取るかは、会話参加者間の相互作用によるのである。

b) 自由会話との違い

自由会話とは、特別な目的を設定せず気楽に話す活動のことである。また、対照研究では条件統制のために話題を指定することがある。自由会話は、調査者による操作が少ないため自然なやりとりがみられる。しかし、その反面、会話の目的が不明確であるため、話し続けることが過剰に意識され、「会話のための会話」となりがちである。また、会話の構成や談

話展開などに関して、「おしゃべりな人」とそうでない人という個人差がデータに出やすいため、「等価性」を基本とする対照研究では扱いにくいデータだと思われる。

一方、Fujii(2005, p.72)によると、「課題解決に向けた会話(task)」は、いわゆる「会話(conversation)」¹に比べ、会話参加者にとって、何について話しているかということより、何をしているか、あるいはどのように課題を解決しているかということが重要である。つまり、「課題解決に向けた会話」では、話し続けることが会話の目的ではないため、「自由会話」に比べ、会話を維持することに対する意識および執着が少ないと考えられる。

1.2.2 三者間会話を扱う意義

会話とは、複数の参加者が「話し手」ないし「聞き手」の役割のいずれかを交互に果たしつつ、共通の話題でやりとりをすることである。二者間会話では、発話権を持つ1人が話し手となり、その相手は聞き手となる。しかし、会話参加者の人数が3人まで増えると、「話し手1人に対して聞き手が2人」²という役割配分になる。

伝(2013)が指摘しているように、三者間会話では聞き手同士の立場が必ずしも対等ではなく、それぞれが自分の立場³を意識し、それに応じた反応を示す。Clark(1996)は、「会話を聞いている者(listener)」を、「発話の受け手(addressee)」、「わきの参加者(side participant)」、「傍観者(bystander)」、「盗み聞きする者(eavesdropper)」に区別している。その中で、「発話の受け手」および「わきの参加者」は実際に会話に参加する者である。ただし、発話権獲得の見込みがあるかという点では「発話の受け手」と「わきの参加者」の立場が異なる。「発話の受け手」は、何らかの形で現在の発話を宛てられた聞き手である。話者交替のルール⁴では、発話を宛てられた者は優先的に発話権を与えられ、次の話し手となる。一方、「わきの参加者」は、現在の発話を宛てられていない者であり、次の話し手にはならない。

聞き手の立場の多様性は、二者間会話と三者間会話との間に話者交替に関する違いを生む。二者間会話では、聞き手は常に「発話の受け手」の立場にあり、必然的に次の話し手となる。一方、三者間会話では、聞き手の2人とも「発話の受け手」になることもあれば、い

¹ 本研究では「自由会話」を指す。

² 「ユニゾン」(串田 1997)や発話の共同構築では、話し手が2人いるように捉えることができるが、このような現象は二者間会話にもみられるので、本研究では、「聞き手が2人いる」という特徴に焦点を当てる。

³ 伝(2013)は「地位」という語を用いているが、「地位」は「上下関係」を連想させるため、本論文では「立場」という語を用いる。

⁴ 話者交替のルールについては、3.2.2を参照。

ずれかが「わきの参加者」になることもある。2人とも「発話の受け手」の場合は、いずれも次に話す権利があるため、最初に話し始めた者が次の話し手となる。一方、2人のうち、1人は「発話の受け手」の立場にあり、もう1人が「わきの参加者」の立場にある場合は、次に話す権利を持つのは「発話の受け手」のみである。したがって、「わきの参加者」の立場にある聞き手は、自ら発話権を要求しなければ話す機会を得られるとは限らない。

この違いを共同作業の場面に当てはめると、参加者人数が3人であるということには次のようなメリットが考えられる。作業の参加者が2人の場合は、1人は現在の話し手となり、もう1人は「発話の受け手」、すなわち、次の話し手となる。そして、聞き手が1人しかいないため、作業への参加意志の有無にかかわらず、その聞き手が必然的に作業に関するやりとりに参加することになる。しかし、作業の参加者が3人の場合は、会話が成立するには最低限2人（現在の話し手および次の話し手、すなわち、「発話の受け手」）が必要であるため、作業への参加意志のない者は自然に「わきの聞き手」となる。一方、やりとりに参加したくとも、発話を宛てられず、「わきの参加者」になってしまった聞き手は、やりとりに参入するために自主的に発話権の獲得を試みるであろう。つまり、二者間の共同作業では、発言する者は必ずしも作業に参加したいとは限らない。それに対して、三者間の共同作業では、すべての参加者に発話権が与えられるとは限らないため、積極的に発言する者は作業への参加意志がより高いと考えられる。このように、二者間会話より三者間会話のほうが作業への参加意志に基づく言語行動が観察されやすいと考えられる。

近年、日本における会話の研究では、三者間会話への関心が高まり、話者交替における次の話し手の選択および聞き手の役割(伝 2007, 2009, 2013)、発話志向態度(徳永・武川・寺井・湯浅 2010)、面接調査における2人の回答者間の相互行為および対人行動(熊谷・木谷 2010; 2013)、接触場面と内的場面における役割の調整(大場 2012, 2013)、談話展開上のあいづちの機能(大塚 2012)などについて報告がなされている。しかし、共同作業における三者間会話を用いた研究や日本語と外国語との対照研究はみられない。

1.3 本研究の目的および課題

筆者は、井上(2002)が<類型設定型>と呼ぶ対照研究、すなわち、「二言語間の類似と相違の背景にある一般的な原理や傾向性について考える」もの、と本研究を位置づけ、日本語およびロシア語の言語行動を統合的に捉えることを目指す。そのために、課題解決に向けた共同作業という特定の文脈を設定し、その場面で行われる言語行動を話者交替、発話行為お

および配慮言語行動の観点から総合的に分析する。つまり、日本語およびロシア語では、共同作業に取り組む中で会話参加者がどのように発言の機会を得るか、発話権を取得した者は課題を解決するために何をどのように話すか、また参加者同士で協力関係を構築・維持するために何に配慮しどのような言語行動を取るか、ということを探究する。そして、ロシア語社会および日本語社会それぞれにおいて「一つの目的に向かって共同で作業する」という活動が意味することおよびそのスタイルについて考察する。

本研究で分析対象とする「課題解決に向けた共同作業における会話」には 3 つの特徴がある。それは、①三者間会話であること、つまり、3 人の主体が、「話し手」ないし「聞き手」の役割を担い、やりとりをするということである。そのやりとりには②「課題解決」という目的がある。そして、課題解決は他の参加者との③「共同作業」によって達成されるという特徴である。

「三者間会話」であるという特徴に関しては、3 人のいずれかが話し手になり、話し手が聞き手になるという話者交替の方法に焦点を当て分析する。「課題解決」が目的であるという特徴に関しては、目的達成に導く発話行為として「提案」を取り上げ、その形式および、提案者と被提案者の相互行為を分析する。「共同作業」、つまり参加者が目的を達成するために互いに協力しなければならない、という特徴に関しては、配慮言語行動に焦点を当て、参加者がどのように協力関係を構築・維持するかを分析する。

図 1 で表したように、話者交替、発話行為および配慮言語行動のそれぞれが異なる軸に属するが、これら 3 つの観点から分析を行うことによって、課題解決に向けた共同作業における三者間会話を立体的に捉えることができる。

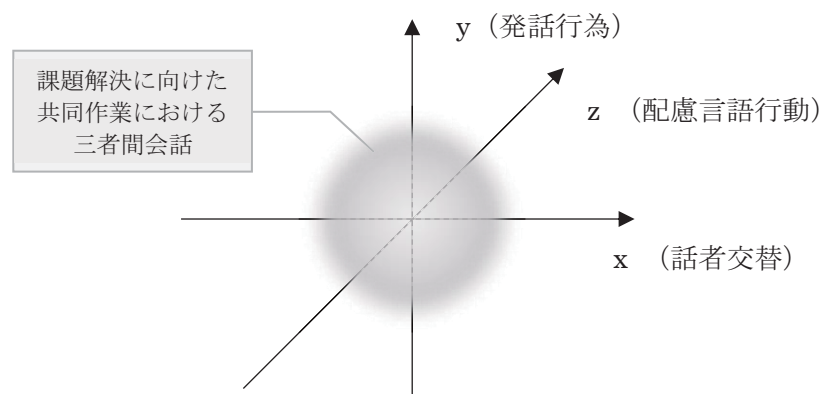


図 1 課題解決に向けた共同作業における三者間会話を構成する言語行動の次元

本研究における分析データと着眼点間の関係を図 2 のように表す。まず、発話行為を行うために、発言する機会を得る必要がある。同時に、発話権を得た、または与えられた者は何らかの発話行為を行うことから、「話者交替の方法」と「発話行為」は双方向で関係している。そして、どのように話者が交替するか、どのように発話行為が遂行されるかによっては、配慮言語行動の必要性が出てくる。

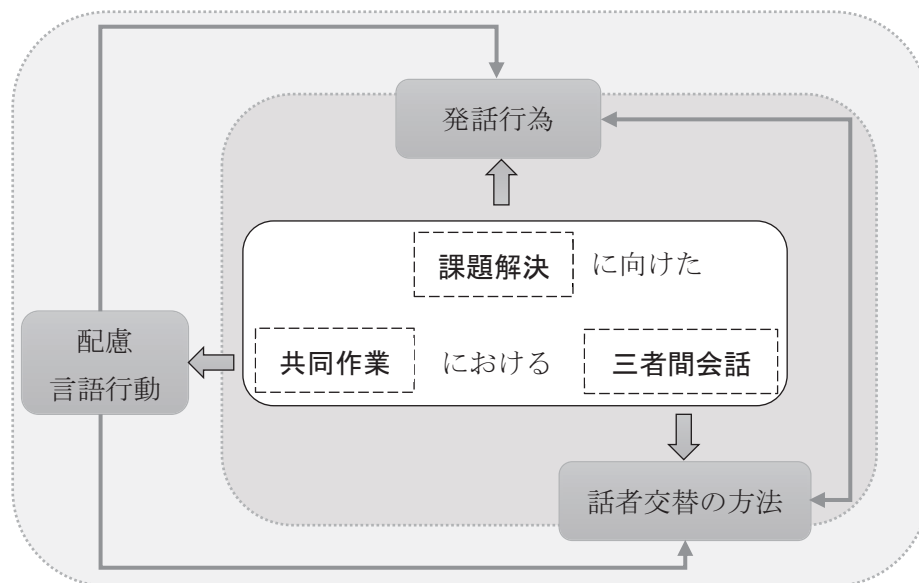


図 2 本研究における分析データと着眼点間の関係

本研究では、課題解決に向けた共同作業における三者間会話を分析対象とし、会話における話者交替、発話行為および配慮言語行動について次の 4 点を明らかにすることを目的とする。

① 共同作業に取り組む中で会話参加者が、

1) どのように発言の機会を得るか

日本語およびロシア語の会話における話者交替の方法について記述する。特に、話者交替の際に生じる発話の重なりに焦点を当て、日本語とロシア語の間にみられる異同を明らかにする。

2) 課題を解決するために何をどのように話すか

発話行為「提案」にみられる日本語およびロシア語の異同を記述する。そのために、

「提案」発話の形式、そして「提案に対する反応」の示し方を明らかにする。

- 3) 参加者同士で協力関係を構築・維持するために何に配慮しどのような言語行動を取るか

話者交替の際に生じた発話の重なりに焦点を当て、発話権を得ようとする会話参加者がとる配慮言語行動を記述する。また、発話行為「提案」については、「提案」を和らげる言語表現を記述し、被提案者が提案者に対して取る配慮言語行動を明らかにする。

- ② 1)~3)の結果を統合的に捉え、日本語とロシア語、両言語に共通してみられる共同作業の特徴を記述した上で、日本語社会およびロシア語社会、それぞれにおいて「一つの目的に向かって共同で作業する」という活動の形を探究する。

2. 先行研究

本章では、1.3「本研究の目的および課題」に示した本研究における3つの観点、話者交替、発話行為「提案」、配慮言語行動に関する先行研究を取り上げる。そして、先行研究から示唆される日本語とロシア語の共通点および相違点について述べ、残された課題を示す。

2.1 話者交替

会話とは、コミュニケーション形態の一つであり、話し手と聞き手の役割を担う複数の参加者の言語的・非言語的相互作用によって構築されるものである。林(2008, p.104)では、「話者交替」は、「会話に参加するものが、話し手と聞き手に分かれて義務と権利を行使し、会話に参加することを指す」と定義されている。また、話し手が話し始めてから話し終わるまでの部分を「ターン」という。Sacks, Schegloff and Jefferson(1974)は話者交替を、無秩序に行われるものではなく、体系的に組織されているものとして捉え、その仕組みを最も包括的に記述した。

Sacks, Schegloff and Jefferson(1974)はあらゆる会話で観察される事実として以下の14点を挙げている。

- ① 話者交替は繰り返される。少なくとも1度は起きる。
- ② 一度に話すのは1人であるということが圧倒的に多い。
- ③ 複数の会話参加者が同時に話すことがよくあるが、いずれもごく短時間である。
- ④ 通常ターン移行の際にとぎれや重なりが生じない。あるとしても、わずかなとぎれや重なりであることが多い。
- ⑤ ターンの順序は決まっておらず、様々である。
- ⑥ ターンの長さは決まっておらず、様々である。
- ⑦ 会話の長さはあらかじめ特定されていない。
- ⑧ 話す内容はあらかじめ特定されていない。
- ⑨ ターンの相対的な分布はあらかじめ特定されていない。
- ⑩ 会話参加者の人数は変わりうる。
- ⑪ 会話は連続的なこともあれば、不連続なこともある。
- ⑫ ターン割り当てのテクニックが用いられる。現在の話し手が次の話し手を選ぶか、会

話参加者が次に話し始めることを自分から選ぶことが可能である。

⑬ 様々な「ターン構成単位(turn-constructive unit, TCU)」が用いられる。

⑭ ターン取りの誤りおよび違反に対処するための修復メカニズムが存在する。

(Sacks, Schegloff and Jefferson 1974, pp.700-701/

西阪訳 2010, pp.16-17 を参考に筆者訳)

⑬の「ターン構成単位」(以降、TCU と略す) は話者交替システムにおける主要な概念の一つである。TCU とは、ターンを構成する語、句、節、文のことである。各 TCU は一貫しており、完結している発話とみなされるものである。そして、TCU の終了部分には話者交替が可能である「ターン移行適切箇所(transition-relevance place, TRP)」(以降、TRP と略す) が設けられる(図 3)。TRP は統語的(文法的な従属関係、語順)、韻律的(イントネーション)、語用的(隣接ペア)、また非言語的(目線、ジェスチャー)に示される。これらの言語的・非言語的な要素を手掛かりにし、会話参加者が相手のターンにおいて TRP を予測し、交替するとされている。話者交替が可能な場所が予測可能であるという特性は TRP の投射性(projectability)と言う。この特性から、③の「複数の会話参加者が同時に話すことがよくあることであるが、いずれもごく短時間である」および④の「通常ターン移行の際にとぎれや重なりが生じない」という事実が導かれている。

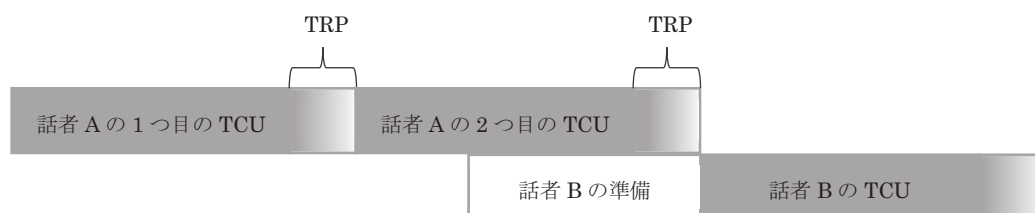


図 3 ターン移行適切箇所(Clayman 2013, p.151; 筆者訳)

Sacks, Schegloff and Jefferson(1974)が記述した①～⑭の事実が広く注目され、その後、英語の会話データを用いた研究では「割り込み(interruption)」(West and Zimmerman 1983; Tannen 1990; Coates 2004 等)および「発話の重なり(overlap, simultaneous talk)」(Tannen 1983, 1984; Lerner 1989; Schegloff 2000)、「共同ターン(collaborative turn)」(Lerner 1991, 2004; Bolden 2003)、次の話し手の指名方法(Lerner 2003)、そしてターンの構造(Ford and Thompson 1996; Selting 2000)等が分析されてきた。

2.1.1 日本語の会話における話者交替に関する研究

日本語の研究においても話者交替システムが多角度から研究されてきた。以下、話者交替の問題に直接関係するものとして TRP の位置および「発話の重なり」、「共同発話」という言語現象を扱う研究を取り上げる。

Tanaka(1999) は、Sacks, Schegloff and Jefferson(1974) および Ford and Thompson(1996)をもとに日本語の会話における TRP を最も詳細に記述した。Ford and Thompson(1996)は、TRP は統語的要素のみならず、イントネーション的要素および語用的要素とともに総合的に示されると提言し、TCU の統語的終了点、イントネーション的終了点および語用的終了点を合わせて含む「複合ターン移行適切箇所(complex transition-relevance place, CTRP)」の概念を導入している。次の(3)では「/」は統語的終了点、「.」はイントネーション的終了点、「>」は語用的終了点を指す。

(3)⁵ (M72)

C: They never drink/ without it/.>

飲むときはいつもこれを食べている。

D: Yeah/ you never have liquor/ without (1.0) fried meat/.>

そうだね、飲むときはいつも焼いた肉を食べるよね。

(Ford and Thompson 1996, p.157; 筆者訳)

Ford and Thompson(1996)は、3 種類の終了点と話者交替の関係を分析し、英語の会話における話者交替は、統語的、イントネーション的、語用的終了点が揃う CTRP で起きることが多いと述べている。

Tanaka(1999)は、Ford and Thompson(1996)の分析方法に倣い、英語との対比によって日本語の会話における TRP の特徴を示した。英語と異なり、日本語の会話における話者交替は、語用的終了点で起きることが多く、必ずしも 3 種の終了点が揃う CTRP である必要はない。つまり、日本語では語用的終了点が TRP として捉えられるということである。

⁵ 文字化記号は Ford and Thompson(1996)によるものである。
(数字) 沈黙の秒数
文字 大きい声で、ないし強調して発話された部分

- (4) ⁶ 1 G: ... sensei ga dareka sukina hito ga
2 dekita[ra dekitatte yo[katta jyanai ka to:.>
[[
3 (:): ['N:./>
4 (:): ['N::./>
5 (:): 'N::./>
6 G: Dakara...

(4)のライン 1~2 では、「先生が誰か好きな人ができたらできたってよかったじゃないか
とー」は統語的に完成していないため統語的終了点とはならない。しかし、発話の意図とい
う観点からはTCUは完結している。さらに、ライン 6 では、Gが新しいTCUを開始して
いるため、「とー」の後は語用的終了点となる。

- (5) S: *Dakara... kigen no () anzen o (hakatta) hō ga ii na*

(Tanaka 1999, p.107)

6 ローマ字による表記および英訳は Tanaka(1999)による。日本語のグロスおよび英語は議論に関係しないため、削除。また、文字化記号は、Tanaka(1999)における原則による。

() 記入がない場合は、聞き取り不能な部分を指す。記入がある場合は、内容が不確かであることを指す。

(()) トランスクリプトの作成者によるコメント。

文字 大きい声で、ないし強調して発話された部分

： 長音

- 途切れ

に対応する“how”は発話の初めにくる。同様に次の(6)においても、日本語では「依頼」を表す「～てください」は発話の終わりにくるのに対して、英語の“please”は発話の初めにある。

(6) Y: *Dewa: ano- nomisugi nai yō ni yuttoite kudasai*

“Okay, uhm **please tell ((him))** not to drink too much”

(Tanaka 1999, p.107)

このように、早い段階からターンの構造が予測可能な英語と異なり、日本語における語順はターンの構造の予測を遅らせる。さらに、ターンの構造の予測を困難にするもう一つの特性として、ターンの変形可能性(transformability)が指摘されている。助詞および助動詞を有する日本語では、句の後に助詞を付加することによってターンの進行中に名詞および形容詞、動詞も主語や目的語等に変わりうる。また、主節と予測される発話が従属節に変形可能である。Tanaka(1999)は、以下の一連の例を挙げている((7)-a~(7)-d)。

(7) a. K: *Mō netsu ga mō- sagatta**

“already the temperature had already fallen”

b. K: *Mō netsu ga mō- sagatta* to*

“**that** already the temperature had already fallen”

c. K: *Mō netsu ga mō- sagatta* to omot*

“**((I)) thought** that already the temperature had already fallen”

d. K: *Mō netsu ga mō- sagatta* to omot tara*

“**When ((I)) thought** that already the temperature had already fallen”

(Tanaka 1999, pp.125-126)

(7)-a の発話では、「*」までの部分は完結した文を成している。その後に助詞の「～と」が付加されると、(7)-b のように「もう熱がもう、下がった」が従属節に変わる。続けて「～と」の後に動詞の「思っ」を足すことによって、複文の主節が構成される。さらに、「～た

ら」の付加によって、これまで産出された発話がより大きい複文の前半を成す従属節に変形される。このように、ターンは進行中に様々な方向に変形することが可能であり、ターンの形を示す要素は発話の最後にくるため、日本語では早い段階でターン全体の構造を予測することが困難である。また、TRP とみなされる述語の終わり部分およびその後の部分に発話の重なりが生じやすいことも指摘されている。

上記のように、Sacks, Schegloff and Jefferson(1974)は、あらゆる会話で観察される事実として「1度に話すのは1人である」ことおよび「複数の会話参加者が同時に話すことがよくあるが、いずれもごく短時間である」ことを挙げている。それに基づき、複数の話者が同時に話すこと、つまり発話の重なりは話者交替の誤りや違反と考えられている(Sacks, Schegloff and Jefferson 1974, p.701)。

英語の会話を扱う先行研究では、発話の重なりは主に「割り込み」との関連でジェンダーの観点から分析されている(West and Zimmerman 1983; Tannen 1990; Coates 2004 等)が、発話の重なりは必ずしも「割り込み」をもたらさないことも指摘されている(West and Zimmerman 1983; Tannen 1983, 1984, 1990)。また、Tannen(1983, 1984, 1990)は会話への関心を示す「協調的重なり(cooperative overlapping)」という肯定的な側面も指摘し、発話の重なりが「割り込み」として否定的に認識されるか否かは会話参加者の文化的背景にもよると言及している。

日本語の会話を扱う研究では主に発話の重なりの肯定的な側面が注目され、日本語は発話の重なりが多いことが報告されている(Hayashi 1988; Kajikawa, Amano and Kondo 2004; Yuan, Liberman and Cieri 2007)。

Hayashi(1988)は、日本語の会話ではあいづちによる発話の重なりが非常に多いと述べている。生駒(1996)は、あいづちによる発話の重なりを、ターンを要求しない無意識的なものとしている。また、このような重なりは話者交替においてトラブルとはならず、会話を促進すると述べている。しかし、Hayashi(1988)では、アメリカ英語話者は、あいづちの重なりが多い日本語の会話スタイルについて騒々しく極度に活発であるという印象を受けることが指摘されている。また、Yuan, Liberman and Cieri(2007)は、英語、アラビア語、ドイツ語、中国語およびスペイン語に比べても日本語は発話の重なりが多く、話者交替が頻繁に起きると報告している。しかも、観察された発話の重なりはあいづちによるものではなく、ターン取りを目的とする発話によるものである。そして、Yuan, Liberman and Cieri(2007)は、日本語の会話における発話の重なりの高頻度性が文化的要素によるものなのか、それとも日本語の言語的構造によるものなのかを明らかにするためにはさらなる研究が必要とし

ている。

また、日本語母語話者の会話スタイルの特徴とされる「ユニゾン」(串田 1997)ならびに「共話」(水谷 1988, 1993)および「共同発話 (joint utterance construction)」(ザトラウスキー 2000; Hayashi 2003; 宇佐美 2006)という言語行動においても発話の重なりという現象が多くみられる。

「ユニゾン」とは、会話参加者が「同じ言葉を同時に発する」(串田 1997, p.249)ことである。この定義によると、「ユニゾン」は発話の重なりと同様の現象を指すようにみえるが、串田(1997)は、たんなる発話の重なりと「ユニゾン」を区別している。串田(1997)によると、話者交替システムにおいては、ターンは「1 度に 1 人」が発話する権限に基づく概念である。そして、発話の重なりは「1 度に 1 人」のターン交替の失敗である。それに対して、「ユニゾン」は、複数の話者が 1 度に発話する権限に基づく概念とされている。たとえば、同じ思考・感情を持っている会話参加者にはそれを同時に発話する権限が自動的に発生する。

(8)⁷ 【みえたな一】

〔しばらく黙ってテレビを見ていた後〕

- | | | | | | |
|-------|----------------|---|---------|---|---------------|
| →1 B: | あっ ちょー待てー今黒いの | 〔 | 見えたなああー | 〔 | っはっはっはちょー待てー |
| →2 F: | | 〕 | 見えたな一 | 〕 | おれも見えた こーれちょっ |
| 3 | とまずいぜーと思うたわおれ | | | | |
| 4 | (0.5) | | | | |
| 5 B: | あでもあれ黒のブリーフやんか | | | | |

(串田 1997, pp.267-268)

(8)では、B および F が同じものを「見えたな一」と感じ、同時に発話している。串田(1997)によると、「ユニゾン」が、このように「同意」の表現装置として用いられることがある。

水谷(1988, 1993)は、共同で発話を作り上げることを日本語母語話者の会話スタイルの特徴とし、「1 度に 1 人が話す」という欧米型の「対話」に対して、「A の話の途中で B のあいづちが入り、ときにはあいづちが句末と重なったり、未完成の文を引き取って完結させたりする」(水谷 1993, p.6)ことを指す「共話」という概念を導入している。水谷(1988, 1993)は「対話」と「共話」の違いを図 4 および図 5 のように示している。

⁷ 文字化記号は、串田(1997)における原則によるものである。

〔 発話が同時に話されたことを示す。
(数字) 沈黙の秒数

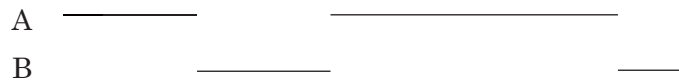


図 4 「対話」 (水谷 1988, p.10)

「対話」では、2 人の会話参加者の発話が交互に引かれた二本の線で表されている。つまり、聞き手が現在の話し手の発話が完結するのを黙って待つことが基本である。一方、「共話」では、2 人の会話参加者の発話が一本の線を成している。

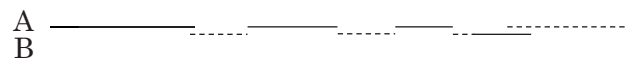


図 5 「共話」 (水谷 1988, p.10)

つまり、一つの発話を必ずしも 1 人の話し手が完結させるのではなく、2 人の会話参加者が共同で作っていくということである。水谷(1993)は「共話」として次の例を挙げている。

- (9) —このままではまずいと思ひまして、少し社内の改革を…
—しようと考えていらっしゃるわけで…

(水谷 1993, p.7)

(9)では、「このままではまずいと思ひまして、少し社内の改革を…」は文として完結しておらず、話者交替のルールでは TRP とはされない。つまり、「改革を」のところは話者交替に適切な場所ではなく、(9)における話者交替は違反として見受けられる。しかし、このような現象は実際の会話によくみられるものであり、特に日本語に多いとされている。

このような言語行動は「共同発話」とも呼ばれ、その後の研究では、多くの研究者の関心を集めた(宇佐美 2001b, 2006; ザトラウスキー 2000; Hayashi 2003 等)。ザトラウスキー(2000)は、言語行動並びに非言語行動も分析に加え、共同発話の成立過程を記述した。Hayashi(2003)は、共同発話の統語的構造および共同発話における会話参加者の活動(activity)を記述し、会話参加者が共同発話によって共感および理解、共通認識、同じ立場であることを示す、好ましくない活動を好ましい活動に転換するということなどを挙げている。また、宇佐美(2006)は、日英の会話データの定量的分析を行い、日本語は英語より共同発話が多いことを報告している。

「ユニゾン」および「共同発話」で共通してみられるのは、会話参加者がそれぞれの「ターンのスペース」を守るのではなく、話し相手とターンを共有しつつ会話に取り組むことである。上記の先行研究では、同時に話すこと、および共同で一つの発話を完結させることが多い日本語の会話スタイルでは「聞き手が積極的に話し手に協力する」(水谷 1988, p.10)ことが協調的言語行動とされ、肯定的に捉えられている。

2.1.2 ロシア語の会話における話者交替に関する研究

ロシア語の研究では、話者交替を言語学の立場から扱う研究は非常に少なく、Van Doren(1993)、Paukkeri(2006)、Pikkarainen(2008)、トゥルチック(Турчик 2010)、Bolden(2011)、Grenoble(2013)、ツォイ(2015b)のように比較的新しいもののみである。Van Doren(1993)、Paukkeri(2006)、Pikkarainen(2008)、トゥルチック(Турчик 2010)では、「質問—応答」の隣接ペアが分析の中心にある。Van Doren(1993)は隣接ペアの第一成分である「質問」の特性および認定方法について述べている。一方、Paukkeri(2006)は第二成分の「応答」に注目し、「応答」における“nu”(「まあ」)、“tak”(「では」)、“da”(「そうだ」)の機能を記述している。また、Pikkarainen(2008)はトーク番組、トゥルチック(Турчик 2010)は社会調査のデータを用い、インタビューにおける質問者と応答者の役割および相互作用について考察している。Bolden(2011)は、現在の話し手以外の話者による修復連鎖(other-initiated repair sequences)における次の話者の選択方法を分析し、Grenoble(2013)は、ロシア語の会話における共同発話の構造および種類を扱っている。そして、ツォイ(2015b)は日露対照分析を行い、日本語とロシア語の会話における発話の重なるの違いを検討した。

上記の研究では、話者交替システムが様々な観点から分析されている。しかし、いずれもロシア語の会話におけるターン構造(TCU および TRP) や話者交替の特徴についての詳しい記述はない。以下、ロシア語の会話を扱う数少ない研究の中から話者交替に関する言及を整理する。

まず、トゥルチック(Турчик 2010)は、ターン終了を示す要素として下降イントネーションおよびディスコース・マーカの“tak”(「では」)を挙げている。(10)では、I1 および I2 は社会調査を行う質問者の2人であり、R は調査を受けている応答者である。

(10)⁸ 断片 6

- 1 I1: a mozžno vsyo-taki:: tochny`e danny`e:: prosto ↑skol`ko
and may nevertheless exact data just how_many
vashej mame let?
your mother years
できれば、お母様の年齢を正確に教えていただけませんか?
- 2 R: shesyat ↓pyat`
sixty five
65 です
- 3 I1: shesyat ↓pyat`, a ↑vam?
sixty five and you
65 ですね、あなたは?
- 4 R: dvadczat` ↓devyat`
twenty nine
29 です
- 5 I1: ↓tak
so
では
- 6 I2: [a obrazovanie kakoe? xxxx]
and education what
教育は?

⁸ キリル文字の翻字、グロスおよび和訳は筆者による。文字化記号は、(Турчик 2010)における文字化原則による。

↑	上昇イントネーション
↓	下降イントネーション
.	文末イントネーション
,	列挙文イントネーション(перечисляющая интонация)
?	疑問イントネーション
:	長音
[]	発話の重なり
xx	息を吐く音

7 I1: [a si a sistre? xxxx] ↓xorosho
 and and sister well

お姉様は? では

8 R: sistre?

sister

姉ですか?

(Турчик 2010, p.112; 筆者訳)

ライン 1、3 の発話では、質問者の I1 は応答者の R の母親と応答者本人の年齢について質問をしている。R が質問に答えた後に、I1 は下降イントネーションで “/tak” (「では」) と発話する (ライン 5)。トゥルチック(Турчик 2010)によると、会話において “tak” は話の終わりを示す。“Tak” の機能については、Paukkeri(2006)も情報的なまとまりを成す連鎖の終了を示すことを挙げている。つまり、ライン 5 の “/tak” は「ここで年齢に関する質問が終わった」ということを示すとも考えられる。トゥルチック(Турчик 2010, p.112)が述べているように、下降イントネーションで発話された “/tak” を手掛かりに、質問者 I2 は I1 のターンが終了したと判断し、話し始めている。つまり、トゥルチック(Турчик 2010)は、ライン 5 の “/tak” を可能な TRP として捉えている。ただし、I1 は続けて別の質問をしたため、2 人の発話が重なってしまう。

Grenoble(2013)は、共同発話の記述で TCU の構造の投射や TRP について言及している。Grenoble(2013, p.18)が指摘しているように、ロシア語は「形態的に豊かな言語 (morphologically rich language)」であり、共同発話の後半は前半における語の形式によって制限される。つまり、ロシア語ではターンの進行中に前半の統語的關係から後半が予測可能ということである。Grenoble(2013)は次のような例を挙げている。

(11)⁹ YuKOS の倒産(27.06.2006; V.Gerashhenko と A.Venediktov)

- 1 VG I Iosif skazal
and Joseph said
そして、ヨシフが言った
- 2 pozhalujsta, vot plan Marshalla Ukraine i Belorussii
please here Marshall_Plan for_Ukraine and for_Belarus
どうぞ、ウクライナとベラルーシへのマーシャル・プランです
- 3 oni strany`, to est` respubliki, gde, v osnovnom, shla
they countries in_other_words republics where in_general was-F. SG. NOM
これらは主に [戦争が] 行われた国々、つまり共和国です
- 4 AV→ vojna.
war-F. SG. NOM
戦争。
- 5 VG vojna ↓. i agressiya.
war and aggression
戦争。そして攻撃 [を受けた]。

(Grenoble 2013, p.25; 筆者訳)

ライン 3 の終わりにある動詞 “*shla*” (「行われていた」) の形は、その後に単数主格の形をとる女性名詞を投射している。話者 AV が “*shla*” の形式 (女性形単数) および意味を手掛かりに主語となる女性名詞の “*vojna*” (「戦争」) を付け加え、話者 VG が始めた発話を完結している。つまり、“*shla*” (「行われていた」) の形式によって後の主語が投射されることから、ライン 3 の終わりは TRP とされず、ターンが終了していなことが分かる。このように、ロシア語では、ターンの進行中に語の統語的關係によってターンの後続の部分が予測しやすい。一方、TCU の終了点と思われるところに、前置詞句や接続詞を伴う従属節を追加することによって、比較的自由にその TCU を延長することもできる。

⁹ キリル文字の翻字は、本論文で採用した基準に従い筆者が変更した。また、グロスおよび和訳は筆者による。文字化記号は、(Grenoble 2013)における文字化原則による。

.	文末の下降イントネーション
,	継続イントネーション
ˊ	上昇イントネーション
↓	ピッチ下降
(.)	0.1 秒前後の間

(12) 延長、ブライトンビーチより、Alla と Irina(1:13–1:18)

- 1 A Moj otecz by`l ranen_i
 my father was wounded
 父が負傷して
- 2 i ego e`vakuirovali kak ranenogo
 and him evacuated as wounded_person
 負傷者として避難して
- 3 i on nas zabral s soboj ↓ (.)
 and he us took with him
 私たちと一緒に連れて行った
- 4 I→ na paroxode
 on steamer
 汽船で

(Grenoble 2013, p.21; 筆者訳)

ライン 1~3 にわたる発話の一つの完結した TCU を成しているが、ライン 4 では話者 I は前置詞句の “*na paroxode*” (「汽船で」) を付け加えることによって TCU を延長する。(12)は共同発話であるため、ライン 3~4 では話者が交替しているが、1 人の話し手が同様に自分のターンを延長することもある。このことから、ロシア語では、前置詞句や従属節の開始部は発話の重なりが生じやすい場所であると考えられる。

英語および日本語の研究と同様に、ロシア語における発話の重なりは主にジェンダーの観点から「割り込み」との関連で取り上げられている。ゼムスカヤ、キタイゴロツカヤとロザノヴァ(Земская, Китайгородская и Розанова 1993, pp.118-119)は、ロシア語のインフォーマルな雑談では発話の重なりおよび「割り込み」が多くみられるものであり、コミュニケーションを妨害しないと述べている。また、会話参加者が「割り込み」に対して否定的な反応を示さないと指摘している。Grenoble(1999)は、ロシア語母語話者の男女では「割り込み」の量的な差がないが、女性は質問による「割り込み」が多いと報告している。また、女性は発話の重なりにおいて重なった部分を繰り返すことが多いということも指摘している。

プロホロフとステルニン(Прохоров и Стернин 2007, p.234)も、「割り込み」が失礼な行動とされているものの、ロシア語における実際のコミュニケーションでは「割り込み」がよくみられると述べている。特に、質問を目的とする「割り込み」が許容されており、英語お

よびドイツ語に比べ、ロシア語は「割り込み」に対する許容度が高いことが指摘されている。

また、ラリナ(Ларина 2009, p.435)は、英語における話者交替をテニスやバレーボールにたとえ、会話参加者がボールを打ち合うようにターンを取ると述べている。一方、ロシア語の会話における話者交替はサッカーにたとえられ、話し手がターンを独占しようとするのに対して、他の会話参加者がそれを奪い取ろうとするということである。さらに、ツォイ(2015b, p.89)が指摘しているように、発話の重なりにおいて、話者が自分の発話の一部を繰り返すことによって、ターンを維持する、あるいは取得しようとすることが多い。

本節で取り上げた先行研究からは、日本語とロシア語におけるターン構造については次の相違点が示唆される。日本語は、通常述語が TCU の終了部にあり、述語の終わりの部分では TRP とみなされる。述語の後に TCU が続く場合も次の話し手が話し始めることが多い。したがって、日本語では述語の終了部および述語の後の部分で発話の重なりが生じやすいということである。また、SOV の語順が典型的である日本語では、TCU の最初の部分にターン全体の形を示す要素が表れない。そのため、最初に肯定平叙文の形が予測された発話は、ターンの進行中に否定文、あるいは疑問文や命令文等の形に、主節が従属節に変形されうる。つまり、会話参加者が発話を最後まで聞かないと、その発話によって遂行される行為およびターン全体の形が予測しにくいということである。

一方、基本的な語順は SVO¹⁰であり、「形態的に豊かな言語」とされるロシア語では、ターンの後半は前半における語の形式によって制限される。つまり、日本語と異なり、ロシア語はターンの進行中に前半の統語的關係から後半が予測可能ということである。しかし、統語的にも意味的にも完結している TCU の終了部、つまり TRP の後に前置詞句や接続詞を伴う従属節の追加によってターンを延長することも可能である。ただし、日本語と異なり、最初に予測された TCU の全体の形や遂行される行為は変更できない。ロシア語の場合は、TRP の後の追加はあくまでもターンの延長である。従属節の追加は TRP の後に来るため、ロシア語は前置詞句や従属節の開始部に発話の重なりが生じやすいのではないかと考えられる。

ターンの構造についての記述をみると、英語とロシア語は TRP が予測しやすいことから、英語と同様にロシア語は日本語より発話の重なりが少ないと推測されるが、実際に、英語と

¹⁰ ロシア語は屈折語であり、文における語間の関係は語の形式（語形変化等）から分かるため、語順の制約が英語ほど強くなく、Yokoyama(1986)、Hikita(1992)、Bailyn(1995)、Kallestinova(2007)等が述べているように、ロシア語の語順は比較的自由であるとされている。ただし、Kallestinova(2007)は、SVO の語順をロシア語の基本的な語順(basic word order)としている。

異なり、日本語とロシア語では発話の重なりが多いという共通点がみられる。ただし、日本語の会話における発話の重なりではあいづちによるものが多いという指摘が多くみられる。一方、ロシア語に関しては、重なった発話の内容については言及がないが、ターン取りを目的とする発話の重なり、つまり「割り込み」に対する許容度が高いことが指摘されている。このように、会話における発話の重なりが多いという点では日本語とロシア語は共通しているが、その目的や機能は異なると予測される。また、言語構造の違いによるターン構造の違いから、話者交替方法および会話スタイルも異なるとも考えられる。これらの点に関する日本語とロシア語の共通点および相違点はまだ明らかにされていない。

2.2 発話行為「提案」

発話行為論は語用論における研究で広く扱われており、依頼や謝罪をはじめ、誘い、断り、ほめ、不満表明等が取り上げられてきた。

「発話行為」(speech act)¹¹の概念は Austin(1975 [1962])によって初めて導入された。それまで、哲学者の多くは、文を物事の陳述とし、文の意味を真偽の観点から判断していた。しかし、Austin(1975 [1962], p.6 より筆者訳)はその考え方に異論を唱え、「文を発することは、遂行される行為について陳述するのではなく、発話すること自体が行為を遂行することである」と発話を行為として捉えた。そして、発話行為は次の 3 種類の行為から成り立つとした。

A. 発語行為 (locutionary act)

あることばを発する行為

B. 発語内行為 (illocutionary act)¹²

発することばで遂行される行為

C. 発語媒介行為 (perlocutionary act)

ことばを発した結果、聞き手や話し手自身、また他者の感情、思考、行動に間接的に効果を及ぼす行為

¹¹ 「発話行為」(speech act)に関する用語の和訳については、Austin (1975 [1962]/坂本訳 1978)、橋内(1999)および今井(2001)を参考にした。

¹² 発話行為に関する語用論研究では、「発話行為」という用語は一般的に「発語内行為」を指す。

Austin(1975 [1962])は、“You can’t do that”（「君はそれをする事ができない」）という発話を例に挙げ、これらの 3 つの概念を次のように説明している。

(13) A. 発語行為

He said to me, “You can’t do that” .

彼は「君はそれをする事ができない」と私に言った。

B. 発語内行為

He protested against my doing it.

彼は、私がそれをする事に抗議した。

C. 発語媒介行為

a. He pulled me up, checked me

彼は私を制止した。

b. He stopped me, he brought me to my senses, &c.

彼は私を止める、正気に戻す、などをした。

He annoyed me.

彼は私をいらだたせた。

Austin(1975 [1962], p.102; 筆者訳)

まず、“You can’t do that”（「君はそれをする事ができない」）という文を発することは発語行為(13)-A であり、「君はそれをする事ができない」ということで話し手が「抗議」という発語内行為(13)-B を遂行する。そして、その結果、引き起こされる行為として、話し手が聞き手を抑える(13)-C.a、あるいは(13)-C.b のように、話し手が聞き手を正気に戻す、いらだたせる、などという発語媒介行為が遂行される。

Austin(1975 [1962])では、この 3 つの概念の中で発語内行為が関心の対象となり、発語行為および発語媒介行為との対比で議論されている。

Searle(1975, 1976, 1979)は Austin の考え方を引き継ぎ、発語内行為を次の 5 つに分類した。

① 断定型 (assertives)

話し手が物事の実態を述べる事（断定、報告等）

② 指示型 (directives)

話し手が聞き手にある行為をさせようと試みること（依頼、命令等）

③ 拘束型 (commisives)

話し手がある行為を実行することを表明すること（約束、警告等）

④ 態度表明型 (expressives)

話し手の心的状態を表明すること（感謝、謝罪等）

⑤ 宣言型 (declarations)

組織的狀態を引き起こすこと（洗礼、戦争宣言等）

また、山梨(1986)は Austin(1975 [1962])および Searle(1975, 1976, 1979)の理論を日本語に適用し、日本語における発話行為を記述した。

発話行為論は語用論において多くの研究者の関心を集め、発話行為における談話構造を分析したもの(Pomerantz 1984; ザトラウスキー 1993 等)や、複数の言語を比較した対照研究(LoCastro 1986; Blum-Kulka, House and Kasper 1989; Tanaka, Spencer-Oatey and Cray 2000; Kozlova 2004; Ларина 2009; Pishghadam and Sharafadini 2011)が盛んに行われてきた。発話行為は普遍的な概念とされているが、文化および社会の違いによる言語的表現の違いも多くの研究で示唆されている(LoCastro 1986; Blum-Kulka, House and Kasper 1989; Tanaka, Spencer-Oatey and Cray 2000; Kozlova 2004; Ларина 2009; Flöck 2011; Pishghadam and Sharafadini 2011 等)。

本研究で取り上げる発話行為「提案」に関する先行研究は「依頼」や「謝罪」に比べると少ないが、第二言語教育における研究では Koike(1994)、Martínez-Flor(2005)、Jiang(2006)、Suzuki(2009)、Li(2010)、Bu(2011)、Pishghadam and Sharafadini(2011)、Farnia, Sohrabie and Abdul Sattar(2014)が挙げられる。これらの研究は主に提案の言語形式に焦点を当てている。

Koike(1994)は提案表現を「平叙型」、「疑問型」、「命令型」の3つに分類し、スペイン語における「疑問型」の提案表現では、英語と異なり否定形の使用が一般的であると述べている。

(14) Have you thought about reading this book?

この本を読んだら？

(Koike 1994, p.518; 筆者訳)

(15) ¿No has pensado en leer este libro?

“Haven’t you thought about reading this book”

この本を読んだら？

(Koike 1994, p.518; 筆者訳)

(16) #¿Has pensado en leer este libro?¹³

“Have you thought about reading this book”

この本を読んだら？

(Koike 1994, p.518; 筆者訳)

Koike(1994)によると、英語の「疑問型」の提案表現(14)は、スペイン語では(15)のように否定形にしなければならない。(16)のように肯定疑問文を用いた場合は、発話は「提案」としての発語内効力(illocutionary force)、つまり言語表現が持つ発語内行為を引き起こす力を失い、単なる yes/no 疑問になるということである。

Martínez-Flor(2005)は、第二言語教育における「提案」行為の研究の必要性を主張し、先行研究における記述に基づき「提案」行為における言語的ストラテジーを、①直接表現の使用、②慣習的な形式の使用、そして③間接表現の使用という3つに分類している。直接表現は遂行動詞、提案を表す名詞および命令形を含む。慣習的な形式とは、慣習的に提案表現として用いられているものであり、疑問形、モダリティおよび条件法を含む。間接表現とは、話し手の意図が明言されていない表現のことであり、非人称的表現およびヒントを含む。

Martínez-Flor(2005)の分類に基づき、Bu(2011)は中国語母語話者を対象に、そして Farnia, Sohrabie and Abdul Sattar(2014)はペルシア語母語話者を対象に、英語学習者が用いる提案表現を調査し、いずれも英語母語話者に比べ直接表現の使用が多いことを報告している。提案表現に関する英語教育の改善を目指し、Jiang(2006)は、コーパスデータとの比較によって、コーパスにおける提案表現の使用および教科書における提示のギャップを示し、教科書における不十分な点を指摘した。また、Suzuki(2009)は英語母語話者を対象に談話完成テスト(Discourse Completion Tests¹⁴, DCT)による調査を行い、母語話者が提案を表すために用いる表現および言語的ストラテジーを記述した。そして、Pishghadam and Sharafadini(2011)は、Jiang(2006)による提案表現の分類をもとに、ペルシア語と英語の対

¹³ Koike(1994)では、「#」という記号は語用論の観点から非文を示している。

¹⁴ Discourse Completion Task と呼ぶことも多い。

照分析を行い、文化的違いによる提案表現の相違について述べた。

これらの研究は、第二言語教育の観点から発話行為「提案」の研究の必要性を主張し、母語話者のデータを用いて提案表現を体系的に記述したものである。しかし、扱われているデータは DCT のみによるものであり、分析は文レベルに留まっている。

2.2.1 日本語の発話行為「提案」に関する研究

英語における発話行為の研究と同様に、日本語においても「依頼」をはじめ、「勧誘」や「謝罪」の談話は広く取り上げられているが、「提案」に関する研究は柏崎・足立・福岡(1997)、梶本(1998, 2000)、野原・藤江・宮谷(2001)、Ohata(2004)、Fujii(2012)にとどまる。以下、これらの研究を概観し、日本語における発話行為「提案」の言語形式および、対照研究において示唆された英語との相違について述べる。

野原・藤江・宮谷(2001)が指摘しているように、「依頼」や「勧誘」は会話の目的が明確であり、記述しやすいものである。つまり、頼む側や誘う側にとって「〇〇を依頼する」、「〇〇に誘う」と、達成すべき目標があらかじめ決まっている。それに対して、「提案」の会話は、解決すべき課題が明確であっても、それを達成するために「何をするか」は相手とのやりとりの中で決定しなければならないという特徴がある。

柏崎・足立・福岡(1997)は、「話段」¹⁵の概念を用い「提案」における会話の基本的な流れを図 6 のように表している。

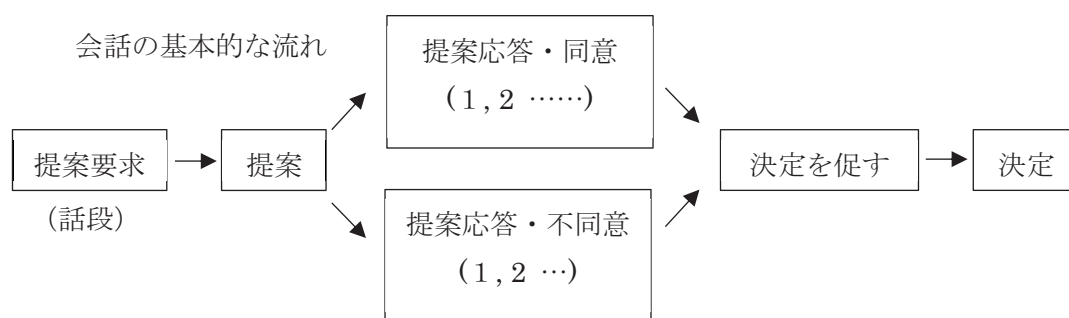


図 6 「提案」における会話の流れ(柏崎・足立・福岡 1997, p.63)

¹⁵ 柏崎・足立・福岡(1997)はザトラウスキー(1993)による分析方法に倣い「話段」の概念を用いている。ザトラウスキー(1993, p.72)では、「話段」とは、「談話の内部の発話の集合体（もしくは一発話）が内容上のまとまりをもったもので、それぞれの参加者の「談話」の目的によって相対的に他と区分される部分である」と定義されている。

柏崎・足立・福岡(1997)は、「提案」を談話レベルで捉え、「提案」における会話の流れは「提案要求」、「提案」、「提案応答」、「決定を促す」、「決定」という話段からなると指摘している。そして、「提案」の発話に関しては、「提案を明言化する」ものおよび「提案を会話の含意で推論する」ものの2つを区別し、「提案を明言化する」表現として「～よりも～の方がいいかな?」「～でいいかな?」「じゃーやっぱり～たら?」「やっぱり～というのは・・・じゃないかなー」等を挙げている。これらの表現をみると、日本語における提案の発話が疑問文の形式をとることが多いのではないかと考えられる。

梶本(1998)は、「提案」の連鎖を会話の流れの中で捉え、発話の言語形式・パラ言語形式の機能および意味を分析している。提案の連鎖構造に関しては、「問題点の提示」－「提案」－「承諾／拒否」という流れを提示し、提案部分の言語形式として①当為の表現（「～ほうがいい」、「～ほうが…」、「～たらいい」、「～たらどうか」、「～たら…」、「～でいいんじゃないですか?」、「～は必要だ」）、②可能の表現（「～はできないですか」）、③働きかけの表現（「～しろ」、「～て」、「～ていく」、「～する」）、④誘いかけの表現（「～しよう」）、⑤許可の表現（「～でもいい」）、⑥いいさし（「～は」、「～して」、「～したほうが」、「～したら」）を挙げている。また、①当為の表現および②可能の表現は、語を間延びさせたり、ポーズをおきながら発話されることが多く、③働きかけの表現および④誘いかけの表現は笑いと共に発話されることが多いと指摘している。

野原・藤江・宮谷(2001)は、日本人学生と留学生の間に行われた課題解決型の話し合いのデータを用い、提案における日本語母語話者と非母語話者の言語使用の相違を記述した。野原・藤江・宮谷(2001)では、日本語母語話者、非母語話者に共通してみられた提案の表現形式として「～よう／ましよう」および「～とか」が挙げられている。一方、「(引用) + って／と言って」という表現および聞き手に判断を求める表現（「～じゃない」、「～ね／～よね」）は日本語母語話者に多くみられたが、非母語話者はこの表現を全く用いていなかったことが報告されている。

Ohata(2004)は、テレビコマーシャルにおける「お勧め」行為の日英対照分析を行い、英語は日本語に比べ直接的な命令表現(17)が多いのに対して、日本語は動詞が省略される場合(18)が多いことを指摘している。

(17) #A11 Discover new Eclipse gum!!

(Ohata 2004, p.204)

(18) #J29 イヤな虫にはキンチョール。

(Ohata 2004, p.205)

一方、Fujii(2012)は、課題解決の場面における日本語母語話者およびアメリカ英語母語話者による提案や意見の述べ方を比較した。Fujii(2012, p.645 より筆者訳)によると、日本語は提案を述べる際に同意、不同意および確認等を促す疑問形式の「否定疑問文」、「陳述文+でしょ?」、「陳述文+ね?」を多用するということである。

本節で概観した日本語の研究では、「提案」における会話の流れが提示され、提案部分に多く用いられる言語表現が記述されている。また、対照研究では日本語の特徴として動詞の省略や疑問表現の多用が示唆されている。

2.2.2 ロシア語の発話行為「提案」に関する研究

ロシア語に関する先行研究では、英語および日本語と同様に「依頼」や「謝罪」の発話行為が広く取り上げられている。「提案」の発話行為について言及するものとしては、グロヴィンスカヤ(Гловинская 1993)、ラリナ(Ларина 2009)、プロブスト(Пробст 2014)が挙げられる。

グロヴィンスカヤ(Гловинская 1993, p.184 より筆者訳)は、遂行動詞についての記述の中で、「提案」は「被提案者の希望次第で実行される未来の出来事を指す」とし、提案される行為を実行する側によって3種類に分類している。

- ① 提案される行為は提案者が実行する。あるいは、その行為が実行できるように被提案者を援助する。

このタイプの「提案」は、日本語では「申し出」や「勧め」に相当する。

(19)	Mal`chik	predlozhil	otnesti	nashi	chemodany`	naverx.
	boy	offered	carry	our	suitcases	upstairs

少年が私たちの荷物を上階に運び上げることを申し出た。

(Гловинская 1993, p.184; 筆者訳)

- (20) Xozyajka predlozhila gostyam chayu / otdoxnut` posle obeda.
 hostess offered to_guests tea take_a_rest after lunch
 女将は客にお茶／食後に休むことを勧めた。

(Гловинская 1993, p.184; 筆者訳)

- ② 提案される行為は提案者、被提案者ともに実行する。

- (21) Predlagayu (nam) posle zavtraka pojti v kino.
 suggest us after breakfast go to cinema
 朝食後に映画を見にいくことを提案する。

(Гловинская 1993, p.184; 筆者訳)

- ③ 提案される行為は被提案者のみ実行する。

グロヴィンスカヤ(Гловинская 1993)は、このタイプの「提案」は意味的に「アドバイス」に近いと述べている。

- (22) Esli vy` ne znaete, chem vam zanyat`sya,
 if you not know what to_you take_up
 predlagayu vam poigrat` v tennis.
 suggest you play in tennis.
 暇なら、テニスすることをお勧めします。

(Гловинская 1993, p.184; 筆者訳)

また、グロヴィンスカヤ(Гловинская 1993)によると、タイプ①およびタイプ②の「提案」の場合は、提案者が被提案者の返答を必要とするため、発話の言語形式として疑問文が多用されるということである。

ラリナ(Ларина 2009, p.251)は、「アドバイス」と「提案」の間に明確な境界線を引くことが困難であると述べ、「提案」を「アドバイス」の枠の中で捉えている。そして、分析では英語母語話者とロシア語母語話者を対象に行われた DCT のデータを用い、英語およびロシア語の「アドバイス」で用いられる言語表現を比較している。ラリナ(Ларина 2009, pp.257-259)が述べているように、英語母語話者による「アドバイス」ではモダリティ表現

(should, ought to, you'd better, must, have to, need to, can, could) が好まれ、その中で should の使用が最も多い。それに対して、ロシア語母語話者による「アドバイス」では命令表現が多用されているということである。

プロブスト(Пробст 2014)は、疑問形式の「提案」の意味および機能を分析し、①「ニュートラルな内容の提案」(取引の提案、共同の行為遂行の提案) (23)、②「肯定的な内容の提案」(援助の申し出、お勧め、結婚の申し出) (24)、③「否定的な内容の提案」(挑発、皮肉等) (25)の3つに分類している。

- (23) Pojdyom k tebe? – predlozhila ya.
let's_go to your_place suggested I

「君のうちに行く?」と私が提案した。

(Пробст 2014, p.81; В. Васильев, С. Лукьяненко “Дневной Дозор”より; 筆者訳)

- (24) Mozhet by't', tebya provodit', francuz?
maybe you lead French

フランス人よ、案内してあげようか?

(Пробст 2014, pp.85-86; Вс. Остен “Рассказы узника Маутхаузена”より; 筆者訳)

- (25) Poderyomsya? – pochti veselo sprosil Kostya.
fight almost merrily asked Kostya

「やるか?」とコスチャがちょっと嬉しそうに聞いた。

(Пробст 2014, p.87; С. Лукьяненко “Сумеречный Дозор”より; 筆者訳)

多くの研究では、「提案」は、被提案者に利益をもたらすことで特徴づけられているが、プロブスト(Пробст 2014)では、(25)のような挑発や、皮肉としての機能も示唆されている。

本節で概観したロシア語の研究では、「提案」の分類基準が様々であり、日本語では「申し出」および「勧め」とされるものも「提案」に含まれている。また、分析データとして文学作品や DCT の回答のみ扱われており、実際の会話データは用いられていない。

2.3 配慮言語行動

本節では、対人コミュニケーションの重要な側面である配慮言語行動に焦点を当て、これまでのポライトネス研究を概観した上で、日本語およびロシア語にみられる配慮言語行動の特徴について述べる。

「配慮言語行動」とは、「対人関係に留意して行う言語表現と言語行動」（三宅和子 2011, p.10）と定義されており、語用論ではポライトネス研究の中で扱われる概念である。

「配慮言語行動」と「ポライトネス」は概念として大いに重複するものではあるが、本研究では、具体的な言語現象を指す場合は「配慮言語行動」という用語を用いる。

ポライトネス研究を最初に試みたものとして Lakoff(1975)が挙げられる。Lakoff(1975, p.64 より筆者訳)は、女性言葉を基にポライトネスの概念を見出し、「ポライトネスは、対人相互作用において摩擦を減らすために、社会によって作られている」と言語使用と対人関係の関連を示した。

初期のポライトネス研究では、言語形式を文脈から切り離して、その丁寧度を表現レベルで明らかにしようとするものがある(Fraser 1978; Fraser and Nolen 1981; Walters 1979)。この研究アプローチは、異なる言語における言語形式を単に比較することはできるが、対人相互作用における言語使用をみることは困難であると考えられる。

その後の研究では、言語使用における語用論的文脈の重要性が主張され、ポライトネスは相手との良好な関係を確立・維持するための言語行動として捉えられてきた。

Leech(1983, p.131 より筆者訳)は、「自己と他者と呼ぶ2人の参与者の関係」に焦点を当て、次の6つのポライトネス原則を提唱した。

① 気配りの原則 (Tact Maxim)

相手にとって負担となることは最小限に、利益となることは最大限に表現せよ。

② 寛大性の原則 (Generosity Maxim)

自分にとって利益となることは最小限に、負担となることは最大限に表現せよ。

③ 是認の原則 (Approbation Maxim)

相手への非難は最小限に、賞賛は最大限に表現せよ。

④ 謙遜の原則 (Modesty Maxim)

自分への賞賛は最小限に、非難は最大限に表現せよ。

⑤ 同意の原則 (Agreement Maxim)

自分と相手との対立は最小限に、同意は最大限に表現せよ。

⑥ 共感の原則 (Sympathy Maxim)

自分と相手との反感は最小限に、共感は最大限に表現せよ。

一方、Brown and Levinson(1987 [1978])は、ポライトネスをルールや原則としてではなく、対人コミュニケーションにおける個人の社会的欲求を満たすための戦略として捉え直した。ポライトネス理論の基盤にあるのは、Goffman(1967)が提唱した「フェイス」の概念である。Brown and Levinson(1987 [1978])は、「フェイス」を個人が持つ社会的欲求と捉え、「フェイス」の2つの側面を区別している。それは、誰かに認められたい、評価されたいという欲求としての「ポジティブ・フェイス」および、他人に干渉されたくないという欲求としての「ネガティブ・フェイス」である。

Brown and Levinson(1987 [1978])によると、発語内行為には相手のフェイスを侵害する行為(face-threatening act, FTA)がある。話し手は FTA を行う際に、相手のフェイスを侵害する可能性を少なくするために、次の4つの戦略を用いることができる。

①フェイス保持行為を取らず、直接的且つ明確に話す

②ポジティブ・ポライトネス

ポジティブ・フェイスに働きかける言語行動

③ネガティブ・ポライトネス

ネガティブ・フェイスに働きかける言語行動

④オフ・レコード

FTA を間接的に行う、曖昧にする言語行動

上記の中からどの戦略を用いるかは、FTA の侵害度による。話し手は、相手に対する社会的距離および権力、そして、ある特定の文化や社会における行為 x の絶対的負担度という3つの要因を基にして、適切と思われる戦略を選択する。

Brown and Levinson(1987 [1978])によるポライトネス理論は広く注目を集め、多くの対照研究で用いられている。一方、その反面、「フェイス」という概念の普遍性、個人による戦略としてのポライトネスの捉え方、戦略の選択基準等が多くの研究者により問題とされてきた。

この歴史的な流れでポライトネスに対する様々なアプローチが提唱された。その中には、

ポライトネスを社会的規範(Watts 1989; Ide 1989)や「会話の契約」として捉えるもの(Fraser 1990)、フェイスの概念を捉え直し、フェイス管理をポライトネスの一部とするもの(Spencer-Oatey 2000, 2002)、Brown and Levinson(1987 [1978])の考え方を引き継ぎ、新たな理論に発展させたもの(宇佐美 2001a, 2002, 2008)がある。

2.3.1 日本語の配慮言語行動に関する研究

日本語はヨーロッパ諸言語と異なり、言語構造に組み込まれている「敬語」という体系を持っているので、日本語におけるポライトネス関連の研究は、国語学における敬語研究(辻村 1967; 林・南 1973 等)から始まる。

言語使用において話し手と聞き手の対人関係等の要素が注目されてから、「敬意表現」(井出 2001; 坂本 2001, 2002; 杉戸 2001; 三宅知宏 2004 等)、「待遇表現」(杉戸 1983; 菊池 1997 [1994]; 蒲谷・川口・坂本 1998; 川口・蒲谷・坂本 2002; 坂本 2005; 蒲谷 2015 等)、「配慮表現」(山岡・牧原・小野 2010; 野田・高山・小林 2014 等)という用語が用いられるようになり、配慮言語行動を表す表現が多様化してきた。

杉戸(1983)は、敬語に限らず、「周囲への気配り」に基づく言語行動および非言語行動を「待遇表現」とし、気配りに2つの段階を想定している。第一段階は、「みなしの段階」と呼ばれ、話し手が周囲をどう認識するかというものである。第二段階は、「扱いの段階」とされ、認識した周囲をどう扱い、具体的な表現(形式・行動)を選択する際の判断基準をどう設定するかという段階である。杉戸(1983)は、みなしの観点(社会的属性、立場関係、親疎関係、時間、話題等)や扱いの種類を示し、待遇表現に関わる気配りを一定の手続きの過程として捉えようとしている。

その後、杉戸・尾崎(2006)は、「気配り」という用語を「配慮」に変更し、言語行動における配慮を、①「留意事項」②「価値・目標」③「判断基準」という3つの要素を組み合わせる過程と捉え直した。杉戸・尾崎(2006, p.4)は、その過程を次のように説明している。「話したり書いたりする際に、①我々は言語行動を構成するものごとのあれこれについて、②何らかの価値や目標を実現できるような形に仕上げることに、③ そのつど何らかの判断基準に基づいて、配慮する」ということである。用語および記述内容には、多少の違いがみられるが、言語行動における配慮を具体的な形式・行動の選択に至るプロセスとして捉えようとする立場は杉戸(1983)と同様である。

蒲谷・川口・坂本(1998)は、国語学の系統を引き、敬語を中心に言語使用における規範を

重視している。敬語研究へのアプローチとして、「行動展開表現」（依頼表現、勧誘表現、指示・命令表現等）を、行動の主体、行動の決定権の保有者、利益の受益者という3点から類型化し、それぞれにおいてより「敬語的な」と「敬語的ではない」ものを区別している。蒲谷・川口・坂本(1998)は、「人間関係」、「場」、「表現意図」に基づく敬語表現の適切さについて議論し、敬語の使用を「静的」な体系として記述している。

一方、語用論的な立場を取る研究も盛んになり、敬語は日本語におけるポライトネスとして取り上げられることもあった。しかし、生田(1997)は、日本語のポライトネスを敬語体系と考えることは誤解であると指摘した。そして、「人間関係の維持を慮って円滑なコミュニケーションを図ろうとする社会的言語行動を指す」（生田 1997, p.68）ものとして、「配慮表現」という用語を用いた。山岡・牧原・小野(2010)は、この歴史的な流れを踏まえ、語用論的な立場を取り、様々な発話行為における「配慮表現」を記述している。

さらに、文レベルでは捉えきれないスピーチ・レベル・シフト¹⁶(生田・井出 1983; 宇佐美 1995; Usami 2002; 三牧 1993, 2002, 2013; 大津 2007 等)やあいづち(水谷 1988, 1993; 堀口 1988; Maynard 1990 等)が注目を集め、日本語におけるポライトネス研究の範囲が談話レベルまで拡大し、配慮言語行動を「動的」に捉える研究も行われるようになった。

このように、研究の範囲は国語学における敬語研究から様々な言語・非言語行動を分析対象とするポライトネス研究まで拡大し、日本語における配慮言語行動に関する研究が多様化してきた。

語用論の枠組みで分析を行う研究では、発話行為（依頼、謝罪、誘い、不満表明等）を扱うものが多くみられる。その中で、聞き手あるいは話し手自身のフェイスを侵害する可能性のある発語内行為（依頼、誘い、断り、不満表明等）を中心に、フェイス侵害度を軽減する配慮言語行動としてヘッジが取り上げられている。

ヘッジとは、「物事をより曖昧に、あるいはより正確に示す」（G.Lakoff 1973, p.471 より筆者訳）言語行動のことである。Brown and Levinson(1987 [1978], p.145)はヘッジ表現の使用を、聞き手にものごとを強要しない(not coerce H)というネガティブ・ポライトネス・ストラテジーとしている。

日本語のヘッジに関する研究では、「物事をより曖昧に」する側面が注目されており(Itani 1995; 陣内 2006; Lauwereyns 2002; Kekidze 2003; Nittono 2003; 李 2008; Itakura 2013 等)、ヘッジは「やわらげ表現」、「ぼかし表現」、「緩和表現」とも呼ばれる。

¹⁶ 「スピーチ・レベル」という用語を採用している研究が最も多いが、生田・井出(1983)は「敬語レベル」、三牧(1993, 2002, 2013)は「待遇レベル」、大津(2007)は「スタイル・シフト」という用語を用いている。

これまでは、日本語におけるヘッジ表現として、「～ね」、「～って」、「～ぼい」、「～の方」、「～など」等が挙げられてきた。これらは、話し手の確信度の低さや物事の不明確さを表しており、発語内効力を和らげる機能を持つとされている。また、言いよどみを表す感動詞「あの一」や「えーと」等も和らげの機能を果たすことがあると指摘されている(小出 1983; Nittono 2003; 池田 2008)。

陣内(2006, p.115)は、「相手の領域に直接的に踏み込まない」従来の「ぼかし表現」(「～など」、「～よう」、「～の方」等)を「近づかない」配慮としている。そして、それに対して「近づく」配慮として、相手との親和性を増す機能を持つ「新ぼかし表現」(「～系」、「～とか」、「～たり」等)を取り上げている。陣内(2006)によると、「新ぼかし表現」は集団語的性格を持ち、若年層日本語母語話者の一つの会話スタイルとなっている。これに関連して、水谷(2001, p.53)においても、若年層では「ソトの人に敬意や遠慮を示すためというよりも、仲間同士でも相手との緩衝地帯のようなものを設けながら話すことが好まれる」という言及がみられる。さらに、Lauwereyns (2002)では、ヘッジにおける年齢差について、高年層日本語母語話者(50~69歳)より若年層日本語母語話者(17~18歳)のほうがヘッジ表現を多用していることが報告されている。

上記の研究から分かるように、「新ぼかし表現」も含め、日本語では様々な表現がヘッジとして用いられている。また、対照研究においては、日本語は英語(Itakura 2013)や韓国語(李 2008)に比べ、ヘッジの使用が多いことが報告されている。Itakura(2013)は、書籍レビューにおける「ほめ」では、日本語は英語よりヘッジの使用頻度が高く、特に認識動詞(「思う」、「考える」、「感じる」、「見る」)およびモダリティを表す助動詞(「～だろう」、「～であろう」、「～よう」)が多いと述べている。荻野(2011)は、依頼に対する断り表現を取り上げ、日本語母語話者は「ちょっと」によって相手のフェイス侵害を最小限にしようとするのに対して、英語母語話者は断りの理由に強調の副詞(“really”、“very”等)を添加することによって断りの正当性を直訴するという相違を指摘している。一方、尾崎(2014, p.237)では、日本語の拒否(断り)における「どうしても」という強調表現についても、拒否は「自分の意志の及ばない状況によるのであって気持ちとしては協力したいことを暗示する」と述べられており、英語の“really”や“very”と同様の機能が示唆されている。

FTA によるフェイス侵害の軽減を目的としない配慮言語行動では、日本語に特徴的なものとしてスピーチ・レベル・シフトやあいづち、2.1.1 で触れた「共話」が広く議論されてきた。

三牧(2002, p.72)は、スピーチ・レベル・シフト¹⁷、つまり「丁寧体」¹⁸と「普通体」¹⁹の切り替えを「初対面場面における一定の距離を保つことによる丁寧さ保持と、和やかにコミュニケーションを図るための接近との同時実現のための」配慮言語行動としている。メイナード(2001, pp. 40-41)は、「丁寧体」の使用を「相手意識型」スタイルと呼び、「相手意識型」スタイルへのシフトは「一度近づいたはずの人間関係に、何らかの理由で距離を置きたい」、あるいは「相手の行為にすがりたい時や心理的に傷つきやすい時」に行われると述べている。それに対して、「普通体」の使用は「相手アピール型」スタイルと名付けられ、「個人的に相手と親密になりたい、甘えたい」時に選ばれるということである。また、親密な関係における会話では、両方向のシフトが冗談として行われること(大津 2007)や、「普通体」から「丁寧体」へのシフトは慇懃無礼の効果をもたらすことも指摘されている(宇佐美 2002)。

次に「あいづち」について概観する。「あいづち」とは、「話し手が発話権を行使している間に聞き手が送る短い表現」(メイナード 1993, p.58)のことである。先行研究では、日本語母語話者は14~20音節ごとにあいづちを打ち(水谷 1983)、英語母語話者に比べあいづちの頻度が高いことが報告されている(メイナード 1993; 大塚 2007)。また、聞き手が話し手に対して関心や共感を示す機能が指摘され、日本語におけるあいづちは、相手と調和をとるための一種の配慮言語行動として捉えられている(LoCastro 1987)。一方、英語話者は頻繁なあいづちを、話し手の話を急ぎたてているように、無礼な行動と感ずることが多いと指摘されている(Lebra 1976; 水谷 1988)。

水谷 (1993, p.5)は、「あいづちを頻繁に打ち、打たせながら話す」ことを日本語母語話者に特徴的である「「共話」的な話し方」の一種としている。それに関連して、宇佐美(2001b)は、さらに、日本語の会話に多くみられる「協調的言語行動」として、話し手が自分の発話の途中で入ったあいづちに答えてから、発話を完結するという話し方や、挿入された相手の発話に合わせて、自分の発話のスキーマを変えて完結するという話し方を挙げている。

2.3.2 ロシア語の配慮言語行動に関する研究

ヴェジビツカ(Вежбицка 2002)は、英語、日本語およびロシア語における丁寧さの認識の差を示す例として(26)、(27)を挙げている。

¹⁷ 三牧(2002)は「待遇レベル管理」という用語を用いている。

¹⁸ 「敬体」および「です・ます体」とも言う。

¹⁹ 「常体」および「だ体」とも言う。

(26) Ya s toboj ne soglasen.

I disagree.

私はあなたに賛成しない。

(27) Ty` ne prav.

You are wrong.

あなたは間違っている。

(Вежбицка 2002, p.6; 筆者訳)

ヴェジビツカ(Вежбицка 2002)によると、英語の文化社会では、(26)は一般的な言い方とされているのに対して(27)は無礼な表現にあたる。一方、日本語の文化社会では(26)も無礼な表現とされているのに対して、ロシア語では、(26)、(27)いずれも無礼とは認識されない。

ロシア語は、日本語のような敬語体系を持たないが、Роров(1985)、ゾロトヴァ(Золотова 1985)、ゼムスカヤ(Земская 1997)、ポリヴァノヴァ(Поливанова 2002)、Benacchio(2002)、中尾(Накао 2003; 中尾 2003)等では丁寧さ(вежливость)を表す表現が取り上げられている。

ロシア語の敬意表現としてよく挙げられるのは2人称代名詞複数の“vy”である(Роров 1985; Земская 1997; Ларина 2009 等)。Роров(1985)では、ロシア語の“vy”は改まり、敬意および丁寧さを表すのに対して、2人称代名詞単数の“ty”はくだけた場面で用いられ、親密性を表すとされている。ただし、現代のロシア語では、若者や労働者等が用いる“ty”は、敬意も親密性も示さないと述べられている。また、ゼムスカヤ(Земская 1997)は、“vy”から“ty”へのシフトは親密な関係への変化を表すのに対し、“ty”から“vy”へのシフトは聞き手との距離感やコンフリクトを示すと述べている。

ロシア語における配慮言語行動は、日本語と同様に相手のフェイスを侵害する可能性のある発話行為との関連で論じられてきた。Benacchio(2002)は、ロシア語の行為要求表現における動詞の体(アスペクト)をポライトネスの観点から分析し、完了体の使用をネガティブ・ポライトネスとして、不完了体をポジティブ・ポライトネスとして捉えている。

他に、発語内効力を和らげる一種のヘッジ表現として、指小接尾辞(“-k-”等)(Золотова 1985; Поливанова 2002; Накао 2003; 中尾 2003; Ларина 2009)および接頭辞の“po-”(Поливанова 2002)が挙げられている。

ポリヴァノヴァ(Поливанова 2002)は、指小辞は相手に敬意や好意を表す機能を持っていると述べ、勧めの発話を例に挙げている。

- (28) Kolbas-k-i ne xotite li?
 sausage-DIM-GEN. SG not want INT
 ソーセージはいかがですか。

(Поливанова 2002, p.21; 筆者訳)

(28)で用いられている“kolbaska”(「小さなソーセージ」)は、ニュートラルの“kolbasa”(「ソーセージ」)に指小辞の“-k-”が付加されたことによって作られたものである。ポリヴァノヴァ(Поливанова 2002)は、語用論的観点から指小形の“kolbaska”を“kolbasa”の一種の丁寧形として捉えている。一方、クジメンコヴァ(Кузьменкова 2007)は、「否定的な評価を伝える」という否定的な機能も指摘している。

また、中尾(Накао 2003; 中尾 2003)は日本語の敬語における「『オ-』+名詞」の使用とロシア語の指小辞の対照分析を行い、共通点として、どちらも親愛の情を表出することによって親近感を与えることを挙げている。一方、「オ-」は美化語として、話し手の品位を上げるという機能を持つものに対して、ロシア語の指小辞にはこのような機能はない、という相違点を示唆している。

接頭辞の“po-”については、ポリヴァノヴァ(Поливанова 2002)は次のような例を挙げている。

- (29) a. Po-my`t` poly`.
 PRF-clean floor
 床を軽く洗う。
 b. Vy`-my`t` poly`.
 PRF-clean floor
 床を洗いきる。

(Поливанова 2002, p.24; 筆者訳)

ポリヴァノヴァ(Поливанова 2002; p.25)によると、(29)-a では、接頭辞の“po-”によって“my`-t`”(「洗う」)という動詞に「動作の不完全さ(неполнота действия)」の意味合いが付加され、掃除係との会話で用いると、(29)-a は(29)-b より丁寧とされる。つまり、動詞の直接性を和らげるという意味では、接頭辞の“po-”は一種のヘッジ表現として捉えられる。

いわゆるヘッジの研究としては、ロシア語のアカデミック・ライティングを扱う Namsaraev(1997)が挙げられる。Namsaraev(1997)によると、ロシア語の学術的文章では、論文の筆者は、自分を批判から守るために、「発話の不確定」を表す表現 (“vidimo” 「おそらく」、「naverno» 「おそらく」、「kak by» 「あたかも~のように」等) を最も多く用いる。他に主観性を表す表現 (“na moj vzglyad” / “s moej tochki zreniya” 「私の観点では」等) や発話の非人称化(depersonalisation) (“avtor(y)” 「筆者 (ら)」、「issledovatel'(li)” 「研究者 (ら)」等) を主語とする) を用いた表現も多くみられる。

ロシア語の話し言葉における配慮言語行動を最も包括的に記述した研究はラリナ (Ларина 2009)である。ラリナ(Ларина 2009)は、相手のフェイスを侵害する発話内行為として依頼、誘い、アドバイス、指示型行為を取り上げ、ロシア語と英語の対照分析を行った。ラリナ(Ларина 2009)によると、これらの発話行為では、ロシア語は英語に比べ、命令表現や遂行動詞の使用が多いのに対して、発話内効力を和らげる表現(средства смягчения)の使用は少ない。むしろ、アドバイスでは、発話内効力を強める表現がみられるということである。また、ロシア語の会話スタイルの特徴として、直接的な発話や感情的な発話が多く、発話の形式より内容が重視されることが指摘されている。一方、イギリス英語で多用される儀礼としての謝罪、感謝、誘い等を、ロシア語母語話者は、「コミュニケーションの不誠実 (коммуникативная неискренность)」として否定的に捉える。

本節で概観した研究では、英語、日本語、ロシア語の文化社会における配慮を表す表現の認識の違いが指摘されている。日本語とロシア語の言語構造が異なっており、配慮言語行動に関する研究では各々がない文法カテゴリーが取り上げられてきた。また、日本語に関する研究では、配慮言語行動の分析が談話レベルまで拡大しているのに対して、ロシア語に関する研究では、DCT のデータや文学作品からの用例を用いた文レベルの分析が主流である。

2.4 先行研究における問題点および残された課題

本章で取り上げた先行研究からは、日本語とロシア語における①話者交替、②発話行為「提案」、③配慮言語行動について次のようなことが示唆される。

- ① 会話における発話の重なりが多いという点では、日本語とロシア語は共通している。しかし、それぞれが異なる言語構造 (語順や文法体系等) を持ち、TCU の構造、そして

それによる TCU の投射性は異なる。このことから、日本語およびロシア語で多くみられる発話の重なりの仕組みおよび機能も異なることが予想される。また、ロシア語に関しては TCU の構造を記述した研究はみられない。

- ② 日本語、ロシア語ともに、「依頼」、「誘い」、「謝罪」等を中心に発話行為が研究されており、「提案」に関する研究は少ない。また、ロシア語の研究では、提案表現について「勧め」や「申し出」の機能が指摘されており、日本語とロシア語の研究では、発話行為「提案」の捉え方に多少のずれがみられる。日本語とロシア語の発話行為「提案」に関する異同を明らかにするためには、同一の認定基準を設け、文脈を統制する必要がある。

日本語の発話行為「提案」で用いられる言語形式に関しては、英語との対照研究では、動詞の省略や疑問表現の多用が示唆されているが、ロシア語の場合は、発話行為「提案」の言語形式に言及する研究は少ない。

日本語およびロシア語に関する研究はいずれも DCT のデータを用いており、談話分析を扱うものは少ない。

- ③ 日本語の先行研究では、配慮言語行動は文レベル並びに談話レベルで捉えられてきた。一方、ロシア語の配慮言語行動に関する分析は文レベルで留まっている。また、ロシア語は英語に比べ、直接的な表現が多く、発語内効力を和らげる表現の使用が少ないと指摘されているが、分析データは DCT の回答や文学作品からの用例であり、実際の対人コミュニケーションが観察できる自然会話データは用いられていない。

全体として、談話分析および自然会話データを扱った日露対照研究はみられず、日本語とロシア語における言語行動の異同を談話レベルで捉えたものもない。

先行研究で示唆されたことを踏まえたうえで、本研究では研究方法決定にあたって次の 4 点を考慮すべき条件とする。

- i. 日本語とロシア語の言語構造が異なるため、両言語に共通してみられる機能を取り上げる。そして、日本語およびロシア語でその機能を果たす言語形式を記述する。

- ii. 文脈の違いによる解釈のずれを防ぐために、会話参加者の対人関係、会話の目的、会話の内容等、文脈を統制したデータを用いる。
- iii. 話し手のみならず、聞き手の言語行動も分析に入れ、話し手と聞き手のやりとりにみられる言語行動を記述する。そのために、実際の対人コミュニケーションを観察できる自然会話データを用いる。
- iv. 言語形式と実際の言語運用を結びつけるために、文レベルに加えて談話レベルで分析を行う。

3. 研究方法

本章では、まず、本研究で扱う会話データの収集方法およびその文字化方法について説明する。そして、分析で用いる単位および主な分析項目について述べる。

3.1 分析データ

本会話データは、筆者が 2013 年 6 月～2014 年 12 月に東京都内の大学およびモスクワ市内の大学にて収集したものである。

3.1.1 データ収集方法

以下、a)調査対象者、b)各会話のグループ構成、c)作業内容について述べる。

a) 調査対象者

調査対象者は、東京都および首都圏在住の日本語母語話者（男 15 名、女 21 名）、モスクワ市およびモスクワ州在住のロシア語母語話者（男 15 名、女 21 名）の計 72 名である。調査対象者の年齢は 20～29 歳である(表 1)²⁰。

表 1 調査対象者の情報

母語	年齢	在住地域	性別	人数	会話グループ数
日本語	20 代	東京都・首都圏	男	15	5
			女	21	7
			合計	36	12
ロシア語	20 代	モスクワ市・モスクワ州	男	15	5
			女	21	7
			合計	36	12

b) 会話のグループ構成

各グループは同性の参加者 3 人から構成されている。本研究では、同一会話において、

²⁰ 各調査対象者の年齢、出身地等については付録の資料を参照。

「親」、「疎」とともにいずれもの対人関係が観察できるよう、会話参加者は、友人同士（学校の（元）同級生、サークルの仲間等）の 2 名および彼らとは初対面の者の 1 名、という組み合わせにした²¹。文字化資料では、友人同士の会話参加者は「話者 A」および「話者 B」、初対面の者は「話者 C」と記す。

c) 作業内容

本会話データは、課題解決を目的とする共同作業の場面で録画したものである。Fujii(2005, 2012)²²を参考にし、課題の内容はストーリーを作り上げることと設定した。参加者は、作業についての指示(表 2)を読んだ上で、録画が行われる作業室へ移動した。

表 2 作業についての指示

日本語版	ロシア語版
課題	Задание
これから入る部屋の机の上に 12 枚の絵カードが置いてあります。	На столе в помещении, куда Вы сейчас зайдете, разложены 12 картинок.
ストーリーが出来るように絵カードを並べ直してください。	Переставьте картинки в таком порядке, чтобы получилась связная история.
他の 2 人の参加者と共同でこの課題に取り組んでください。	Вы должны выполнить задание совместно с двумя другими участниками.
15 分で課題を完成させてください。	Для выполнения задания Вам будет дано 15 минут.
机の周りに三つの席が用意されています。好きな方にお掛けください。	Вы можете занять любое из трех предложенных Вам мест вокруг стола.

作業室には長方形の机を配置し、その上に 12 枚の絵カードおよび録音機を置いた。そし

²¹ ただし、本研究における分析項目に関しては、会話参加者の親疎による量的な差はみられなかった。

²² ストーリーの内容および用いられた絵カードは筆者が独自に作成したものである。また、会話参加者の人数は、Fujii(2005, 2012)では 2 名であるのに対し、本データの会話参加者の人数は 3 名である。

て、机正面の向きでビデオカメラを設置した(図 7)。

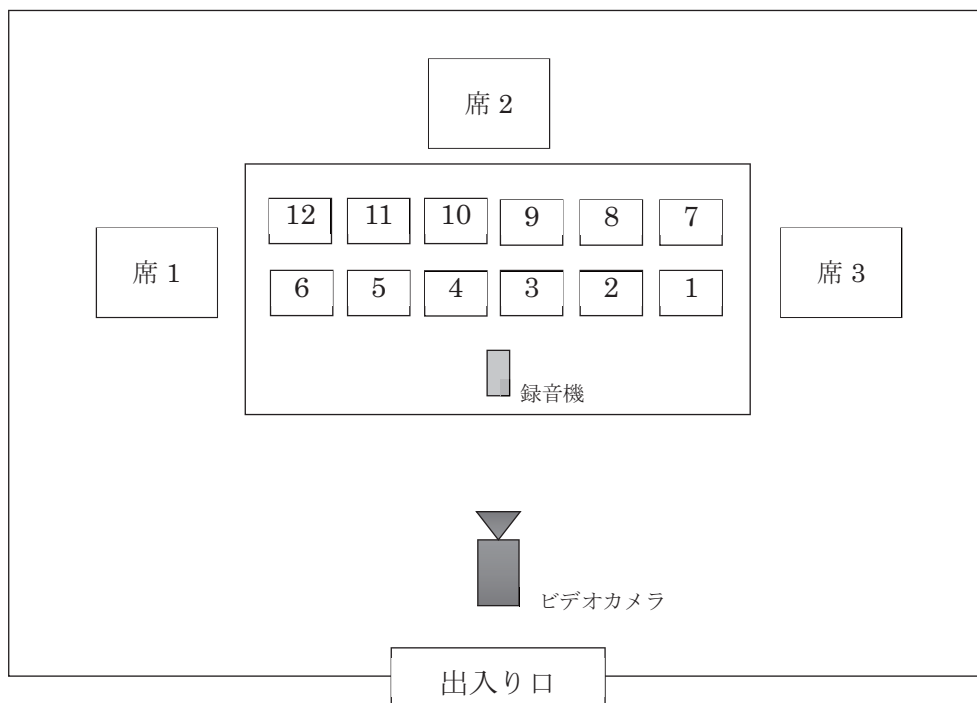


図 7 作業室内配置

絵カードには、木からりんごを取ろうと、様々な方法で悪戦苦闘する抽象的なキャラクターが描かれている(図 8)。筆者は、会話参加者の活発な話し合いを促すために、あえてストーリーの流れに正解を設けず、複数の展開パターンが考えられる内容の絵カードを作成した。

作業の終了後、参加者には、対人関係の意識および言葉遣いの自然さ、並びに会話で気をつけていたことなどについてフォローアップ・アンケートを行った²³。

本調査では、日本語およびロシア語各 12 会話のデータを収集した（日=124.57 分, 3095 発話文²⁴; $M^{25}(\text{日})=10.38$ 分, 266.82 発話文; 露=110.05 分, 2886 発話文; $M(\text{露})=9.17$ 分, 240.5 発話文)。日本語、ロシア語ともに、12 会話のうち 5 会話は男性同士のものであり、7 会話は女性同士のものである(表 3)。

²³ フォローアップ・アンケートの詳細については付録の資料を参照。

²⁴ 発話を構成する文のことである。詳しくは 3.2.1.1 「発話文」で説明する。

²⁵ 平均値(Mean)のことである。

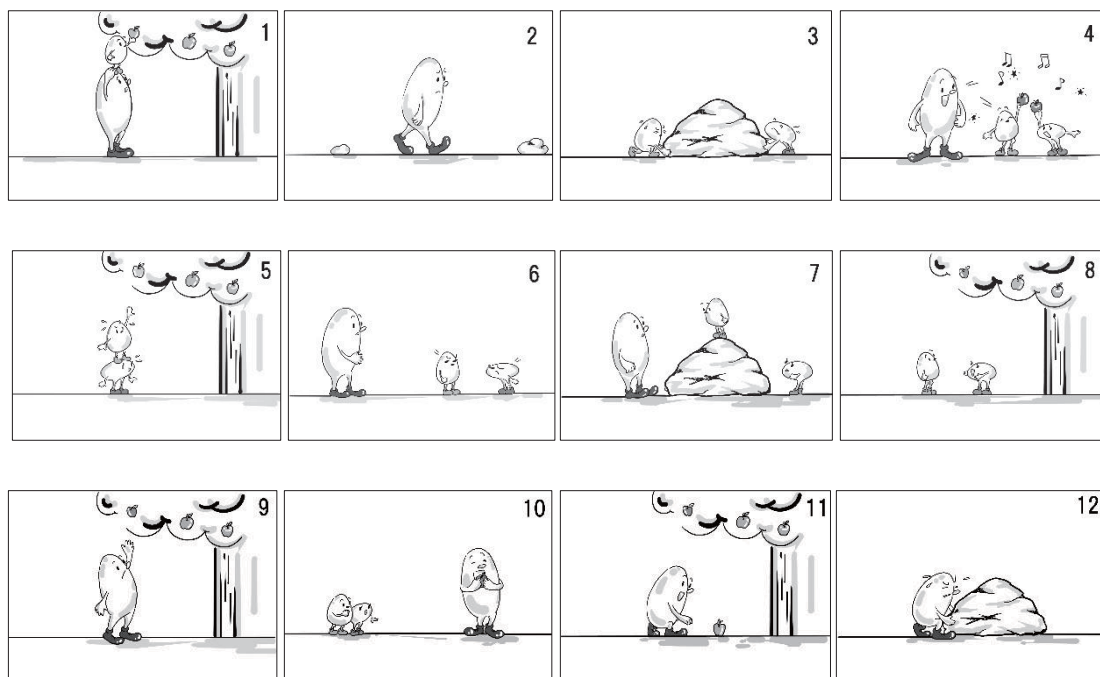


図 8 ストーリー作り用の絵カード

表 3 各会話データの情報

日本語			ロシア語		
会話番号	時間(分)	発話文数	会話番号	時間(分)	発話文数
JM01	15.22	380	RM01	8.93	204
JM02	9.38	322	RM02	7.13	166
JM03	5.57	148	RM03	13.23	380
JM04	15.28	304	RM04	13.93	301
JM05	13.83	309	RM05	11.30	323
JF06	15.23	482	RF06	11.00	346
JF07	6.03	134	RF07	12.63	244
JF08	11.53	293	RF08	7.70	234
JF09	6.18	147	RF09	6.42	218
JF10	6.00	175	RF10	5.53	176
JF11	7.12	160	RF11	4.15	132
JF12	13.18	241	RF12	8.08	162
合計	124.57	3095		110.05	2886

JM(Japanese Male): 日本語母語話者男性同士の会話; JF(Japanese Female): 日本語母語話者女性同士の会話;

RM(Russian Male): ロシア語母語話者男性同士の会話; RF(Russian Female): ロシア語母語話者女性同士の会話。

3.1.2 文字化資料の作成方法

収集した音声データは、宇佐美(2011, 2013)による「基本的な文字化の原則(Basic Transcription System for Japanese: BTSJ)」(以降、BTSJ と略す)を用い、文字化した。ただし、本データの特徴を考慮し、文字化のルールに多少の変更を加えた。

3.1.2.1 日本語の会話データの文字化方法

以下、BTSJ における基本的な原則および文字化記号、また、筆者が変更した箇所について説明する。

BTSJ では、基本的な分析単位は「発話文」である。「発話文」とは、1 人の話者によって発話された「文」のことである。しかし、自然会話では、いわゆる「1 語文」や、述部が省略されているもの、最後まで言い切られない「中途終了型発話」、構造的に「文」が完結していない発話がある。また、同一話者による繰り返しを含む発話（「そうです、そうです、そうです」）および語順が乱れている発話（「行きますよ、学校に」）、構造的に複数の「文」と捉えられるものもある²⁶。これらの場合は、話者交替および「間」を手掛かりに「発話文」の認定を行う。

発話文が終了したところに「。」²⁷を付け、改行する。同一話者が連続で複数の発話文を発した場合、発話文ごとに改行する((30)、ライン 106~107)。形式上の疑問文²⁸の場合は「？」を付け、その後に発話文の終了を示す「。」を付ける((30)、ライン 105)。

²⁶ BTSJ では、笑いのみの発話も「発話文」として扱われているが、笑いは非言語行動であり、いわゆる「文」をなさないため、本研究では「発話文」として捉えない。

²⁷ 2011 年版の BTSJ では「。」が用いられているが、本研究では、ロシア語の表記方法との統一のため「.」を代用する。他に、日本語表記の慣例通りにつけられる読点の「、」の代わりに「,」、短い間を表す「,」の代わりに「..」を用いる。また、カタカナ語における長音は慣例通りに「ー」で示すが、通常ではない引き伸ばしは「::」で示す。

²⁸ 「形式上の疑問文」とは、「疑問」の意味の有無に関わらず、疑問詞や終助詞の「〜か」を含むもの、または文末が上昇イントネーションとなっているものとする。ただし、「疑問」の意味を持つ疑問文も文末が下降イントネーションとなることがある(庵・高梨・中西・山田 2001: p.560)。逆に「疑問」の意味を持たないが、疑問文の形式を取る発話もある。

(30) [JF08]

105 話者 C13 これ [カード1] はこっち [カード11の後] ですかね?.

106 話者 A13 うん, 手伝ってあげれない.

107 話者 A13 だったらその前にこれ [カード8,5] が, 話があった方がいいですよ, 多分.

発話文の途中で相手の発話が入った場合には、その途中の句末に「,,」を付け、発話文が終了していないことを示す((31)、ライン 22)。そして、改行し、相手の発話を記入する((31)、ライン 23)。

(31) [JM01]

22 話者 A01 キャラクターまだ 1 人しか出てないですけど, なんか,,

23 話者 C01 はい.

24 話者 A01 機嫌が悪そう.

上記の(31)では、ライン 22、24 の発話は「キャラクターまだ 1 人しか出てないですけど, なんか, 機嫌が悪そう。」という 1 発話文をなしている。その途中で話者 C01 によるあいづちの「はい」が入ったため、ライン 22 の「なんか」の後に「,,」を付け、改行する。

宇佐美(2011, p.5)では、短い小声の笑いやあいづち「うん」、「はい」等は、改行せず()に入れて、「相手の発話の中の最も近いと思われる場所に挿入する」形で表記される((32)、ライン 5)。

(32) 4 B どのあた、どのあたりですか?.

5 A えーと生まれたのが文京区で(はいはい), で一幼稚園の(うん)年長の(うん)
ときに板橋区高島平に,,

宇佐美(2011, p.5)

このルールは二者間会話を想定しているものである。二者間会話では、聞き手が 1 人しかいないため、どの話者によるあいづちかが分かる。しかし、三者間会話の場合は、聞き手が 2 人いるため、(32)のような表記ではどの話者によるあいづちかが分からない。このことから、本研究では、笑いを含め途中に入ったすべての発話を改行して記入する。また、笑いのみ発話は非言語行動であり、発話文とみなさないため「。」は付けない((33)、ライン 76、

77)。

(33) [JF07]

75 話者 B12 “もう嫌なんだけど” みたいな,,

76 話者 C12 <笑い>

77 話者 A12 <笑い>

78 話者 B12 顔[↑]？.

沈黙も笑いと同様に非言語行動であるため、発話文とみなさない。発話文中に生じた沈黙は、その発話を発した話者のラインに入力する((34)、ライン 48)。2 つの発話文の間に生じた沈黙は、改行し、ライン番号のみ付けて記入する((34)、ライン 49)。

(34) [JM03]

48 話者 A03 この子たちが::《沈黙 1.19 秒》取るのが最後だから::, 《沈黙 1.27》ここと《沈黙 1.04 秒》ここまでの話がつながらない.

49 《沈黙 1.60 秒》

50 話者 B03 うん.

以下、本研究における文字化記号の凡例を示す。基本的に宇佐美(2011, pp.15-16)における記号凡例を用いるが、筆者が記号自体または記号の意味を多少変更したものもある。変更した記号をマークするために、記号の説明の後に「*」を付ける。

.	発話文が終了したことを示す。1 発話文の終わりに付ける。*
,,	途中で相手の発話が入った場合、発話文が終了していないことを示す。
,	慣例通りに付ける読点である。日本語では「、」に相当する。ロシア語の表記との統一のために「,」を用いる。*
..	0.5 秒以下の短い間がある場合に付ける。*
『文字』	視覚上、区別した方が分かりやすいと思われるもの（本や映画の題名のような固有名詞など）を示す。
“文字”	話者および話者以外の者の発話・思考・判断・知覚等の内容が引用

	された部分を示す。
?	形式上の疑問文に付ける。発話文末の場合は「?.」、倒置疑問の場合中に「?,」と記す。
は、発話	
「↑」	上昇イントネーションを表す。
「→」	平板イントネーションを表す。
「↓」	下降イントネーションを表す。
《沈黙 秒数》	0.5 秒以上の間は、沈黙としてその秒数を記す。*
=	ラッチングを表す。2 つの発話文が改行していても音声的につながっていることを示す。最初のラインの発話文の終わりに「=」を付けてから「.」または「,,」を付ける。そして、続くラインの冒頭に「=」をつける。
…	「文」として完結していない発話の終わりに生じた言いよどみを表す。*
::	直前の音が引き延ばされていることを示す。カタカナ語における長音は慣例通りに「ー」で示すが、通常ではない引き延ばしは「::」で示す。たとえば、「ストーリー」という単語では「ー」を用いるが、「これー」の場合は「これ::」と表記する。*
<文字>{<}	発話の重なりを表す。先行発話における重なりの部分は< >{<}でく
<文字>{>}	くり、そのラインの最後に「.」または「,,」を付ける。後行発話における重なりの部分は< >{>}でくくる。
【	先行話者の発話文が完結する前に、途中で後行話者の発話が入った
】	結果、先行話者の発話が完結しないままの形で終了したことを表す。結果的に終了した先行話者の発話文の終わりには、「.」の前に 【 を
	付け、後行話者の発話文の冒頭には 】 を付ける。
[文字]	文脈情報。発話の音声上の特徴(アクセント、声の高さ、大小、速さ)、発話を伴うジェスチャー等、特記の必要があるものなどを[]に入れて記す。
<笑い>	笑いながら発話したものや笑い等は、< >の中に、<笑いながら>、<鼻笑い>、<軽く笑い>などのように記す。
#	聞き取り不能であった部分に付ける。その部分の推測される拍数に応じて、#マークをつける。

「文字」 トランスクリプトを公開する際、固有名詞等、調査協力者のプライバシーの保護のために明記できない単語を表すときに用いる。

3.1.2.2 ロシア語の会話データの文字化および表記方法

ロシア語の音声データは、3.1.2.1 で述べた BTSJ の原則をロシア語に適用し文字化した。本研究におけるロシア語の談話例は、キリル文字をラテン文字に翻字し表記する。そのためにロシア国家標準規格の GOST 7.79-2000²⁹を用いる(表 4)。談話例以外のもの(文献名、専門用語等)はキリル文字で表記する。

また、ロシア語の談話例には、Leipzig Glossing Rules³⁰を参考にし、議論に必要な箇所だけにグロスを付ける。

談話例の和訳は、1 発話文ごとに付ける。ただし、日本語およびロシア語の語順が異なるため、複数のラインにわたる発話文の場合は、和訳は、発話文が終了していないラインには付けず((35)、ライン 397)、発話文が終了したラインにまとめて提示する((35)、ライン 399)。

(35) [RM05]

397 話者 C25 = Oni zh vmeste idut,,
they but together go

398 話者 B25 Nu <da>{<}.
well yes
まあ、そうだね。

399 話者 C25 <k de>{>}revu.
to tree
でも彼らは一緒に木のほうに歩いているよ。

ライン 397、399 の発話は 1 発話文をなしているが、その途中にライン 398 の発話が入ったため、1 発話文が 2 つに分断されている。それぞれの部分に訳を付けると、語順が不自

²⁹ Всероссийский институт научной и технической информации Российской Академии наук и Министерства науки и технологий Российской Федерации (2002)を参照。

³⁰ “The Leipzig Glossing Rules: conventions for interlinear morpheme-by-morpheme glosses”を参照。<<https://www.eva.mpg.de/lingua/pdf/Glossing-Rules.pdf>>
2016/02/07 アクセス

然になったり、意味が通じにくくなることもあるため、和訳はまとめてその発話文の最後のラインに付ける。

表 4 GOST 7.79-2000 におけるキリル文字およびラテン文字の対応表

キリル文字	ラテン文字	キリル文字	ラテン文字
а	a	р	r
б	b	с	s
в	v	т	t
г	g	у	u
д	d	ф	f
е	e	х	x
ё	yo	ц	cz, c ³¹
ж	zh	ч	ch
з	z	ш	sh
и	i	щ	shh
й	j	ъ	`` ³²
к	k	ы	y`
л	l	ь	` ³³
м	m	э	e`
н	n	ю	yu
о	o	я	ya
п	p		

筆者は、本節で説明した文字化ルールを用い、日本語およびロシア語の文字化資料を作成した。そして、作成された文字化資料は第三者による 2 次チェックを受け、聞き取りのミス修正し、改行の妥当性を確認した。

³¹ I、E、Y、J の前には C、それ以外の場合は CZ を用いる。

³² グレイヴアクセント記号が 2 つ

³³ グレイヴアクセント記号が 1 つ

3.2 分析方法

本節では、分析単位として用いる「発話文」および「ターン」、「隣接ペア」について説明した上で、話者交替、発話行為「提案」、配慮言語行動における主な分析項目について述べる。

3.2.1 分析の単位

本研究では、「発話」という概念を、杉戸(1987, p.83)が定義しているように「ひとりの参加者のひとまとまりの音声言語連続（ただし、笑い声や短いあいづちも含む）」として広い意味で捉える。そして、具体的な分析単位として、「発話文」、「ターン」、「隣接ペア」の3つを使い分ける。

3.2.1.1 発話文

「発話文」とは、1人の話者によって発話された「文」のことである。本研究では、文レベルの分析および定量分析の単位として用いる。

BTSJでは、基本的に「ひとりの話者による「文」を成していると捉えられるもの」(宇佐美 2011, p.2)は「1発話文」とされている。しかし、自然会話では、構造的に「文」が完結していない発話や、構造的に「文」と捉えられる要素を複数含む発話もある。これらの場合は、BTSJで述べられているように、話者交替および「間(ま)」などを考慮の上、「発話文」の認定を行う。

本研究では、「発話文」を定量分析の単位として用いるため、「1発話文」であるか否かという判断が結果に影響する。以下、本データから談話例を挙げ、「発話文」の認定方法について述べる。

まず、構造的に「文」として完結していないが、1発話文としてみなすものの例を挙げる。各談話例において当該発話文は「→」で示す。

(36)および(37)は、話者が発話の最後まで言い切らず、言いよどんだ発話の例である。

(36) [JM04]

36 話者 B04 これ何だろう?.

- 37 話者 B04 キャラクター, 卵[↑]?,
- 38 話者 C04 [小さい声で] へ::, これは... .
- 39 話者 A04 これが[↑], これ[↑]?,
- 40 話者 B04 うん.
- 41 《沈黙 2.83 秒》
- 42 話者 A04 これ 1 個食べてるのは[↑]..こっから拾って[↑]?,,
- 43 話者 C04 あ::, そんな感::<じです>{<},,

ライン 38 の発話は、話者 C04 が「へ::, これは...」と言いよどんでいるため、「文」として完結していない。話者 C04 が次にした発話は、ライン 43 の「あ::, そんな感::<じです」である。これはライン 42 の「これ 1 個食べてるのは[↑]..こっから拾って[↑]?»という発話に対する応答であり、ライン 38 の続きではないことが分かる。このことから、ライン 38 の発話は、「1 発話文」とする。

(37) [RM03]

- 215 話者 B23 A::,,
and
- 216 話者 A23 Ugu.
uh_huh
うん。
- 217 話者 B23 esli, naprimer... .
if for_example
たとえば…。
- 218 話者 A23 A:: net takoj my`sli, chto oni xotyat kamen`
and no such idea that they want stone
pododvinut`,,
move_up_closer
- 219 話者 B23 Da, kstati.
yes by_the_way
そういえば、そうだね。

220 話者 A23 kstati k yablone?.

by_the_way to apple_tree

そういえば、彼らは石をりんごの木のところに持っていこうとしてい
るんじゃない?

ライン 215、217 にわたる発話では、話者 B23 は “*A::esli, naprimer...*” (「たとえば…」) と言いかけるが、最後まで言い切らず言いよどんでいる。そして、話者 B23 が次にした “*Da, kstati*” (「そういえば、そうだね」) という発話は、ライン 218 の発話に対する応答であるため、ライン 215、217 の続きではない。したがって、ライン 215、217 の発話は、「文」として完結していなくても「1 発話文」とみなす。

また、日本語では(38)のように、文末が省略された形で言い切られた発話文もある。

(38) [JF06]

→162 話者 B11 <で、けっこうここまでは>{>}スルーって決まったんですけど、<岩を
どこに>{<},,

163 話者 C11 <そうですね>{>}.

→164 話者 B11 組み込むかっていうのが<笑い>.

165 話者 C11 へ[↑], <どこ>{<},,

ライン 162、164 にわたる発話文「で、けっこうここまではスルーって決まったんですけど、岩をどこに組み込むかっていうのが<笑い>」は助詞の「～が」で終了し、「文」として完成していないが、BTSJ の原則に従い、「1 発話文」とする。

次に、構造的には「文」となっているが、独立した 1 発話文とはみなさない発話文の例を挙げる。

(39)およびは(40)、1 発話文になりうる発話が間を入れずに繰り返されているために、それらをまとめて 1 発話文とみなす場合の例である。

(39) [JM02]

→130 話者 A02 **]]** = <笑いながら>こ..これどうする[↓]?, <これ>{<},,

131 話者 C02 <あっ>{>},,

→132 話者 A02 どうする[↓]?, <これ>{<},,

- 133 話者 B02 <<笑いながら>これ>{>}.
 →134 話者 A02 どうする[↓]? [話者 C02 にカード 6 を渡す].

ライン 130、132、134 にわたる発話では、「これどうする[↓]?」が 3 回繰り返されている。それぞれが構造的に「文」となっているため、3 つの発話文となりうる。しかし、それらが間を入れず繰り返されているため、3 つをまとめて「1 発話文」とする。

(40) [RM04]

- 24 話者 C24 <potom idiot shestoe>{<}.
 then goes sixth
 次に 6 番が来る。
 →25 話者 A24 <N..n.. ya ne sporyu>{>}, ya ne sporyu.
 I not argue I not argue
 否定はしていないよ、否定はしていないよ。

ライン 25 の発話は、2 回繰り返される “*ya ne sporyu*” (「否定はしていないよ」) から構成される。それぞれが構造的に「文」となっているが、あいだに間がないため、まとまっているものとして捉え、「1 発話文」とする。

また、ロシア語では、等位関係にある節末に文末イントネーションおよび間がみられなかった場合も、「1 発話文」とみなす。

(41) [RM05]

- 198 話者 C25 Vot on uxo::dit[↑], oni v e`to vremya tam po..
 here he leaves they at this time there
 py`tayutsya e`tu skalu::[↑], i on ix naxodit.
 try this rock and he them finds
 彼が立ち去って、その時彼らは岩を [動かして] みて、そして彼は彼ら
 に出会う。
 199 話者 B25 A::, vot, da, e`to.
 ah here yes it
 あー、そうだね、これだ。

ライン 198 では、“*Vot on uxo::dit[↑]*”（「彼が立ち去る」）および “*oni v e`to vremya tam po.. py`tayutsya e`tu skalu::[↑], i on ix naxodit*”（「その時彼らは岩を[動かして]みて、そして彼は彼らに出会う」）は構造的に「文」となっており、間に等位接続詞がないため、それぞれが独立した「1 発話文」となりうる。しかし、“*uxo::dit[↑]*”（「立ち去る」）は上昇イントネーションとなっているため、“*Vot on uxo::dit[↑]*” は独立した単文ではなく、重文の節であることが分かる。したがって、ライン 198 の発話は「1 発話文」とする。

3.2.1.2 ターン

話者交替の単位として、「ターン」という概念を用いる。研究者によっては、ターンの捉え方が様々である。Sacks(1972)は、ターンを話す権利としており、会話の主導権（フロア）と同一の概念として捉えている。一方、Edelsky(1981)、Hayashi (1988, 1996)はターンを取っていない話者が発話権を持つことがあると指摘し、ターンとフロアを区別している。また、Ford and Thompson(1996, p.152)は、ターンでは、話し手の役割を担う話者によるターン(full turn)および、聞き手の役割を担う話者によるターン(back channel turn)、そして笑いのターン(laughter)、という 3 種類を区別している。

本研究では、共同作業において課題解決に関する情報提供および要求などを含む発話を分析対象とするため、話者が話し手の役割を担うターンのみ扱う。つまり、本研究における「ターン」とは、1 人の会話参加者が、話し手として話し始めてから終わるまでの発話とする。それによってあいづちはターンとして扱わないため、ターンを取るということは、発話権および会話の主導権（フロア）を得ることと捉える。

2.1 で述べたように、ターンは「ターン構成単位」(TCU)から構成されている。TCU は、発話文と同様に「文」となっている場合もあれば、節、句、語から構成される場合もある。また、TCU の終了部分には、話者交替が可能な場所とされるターン移行適切箇所(TRP)が設けられる。TRP は統語的（文法的な従属関係、語順）、韻律的（イントネーション）、語用的（隣接ペア）、また非言語的（目線、ジェスチャー）に示され、投射性、つまり話者交替が可能な場所が予測可能であるという特性を持つ。

3.2.1.3 隣接ペア

会話における参加者のやりとりの分析単位として「隣接ペア」という概念を用いる。隣接

ペアとは、対をなす 2 つのターンの組み合わせのことである。Schegloff and Sacks(1973, p.74)では、隣接ペアは次のように特徴づけられている。

- i. 2 つの発話から構成される。
- ii. 発話が隣接している。
- iii. それぞれの発話が異なる話し手によるものである。
- iv. 「第一成分」の後に「第二成分」がくるという順序である。
- v. 第一成分が特定の第二成分を要求するという形になっている（たとえば、「申し出」は「受諾」ないし「拒否」、「挨拶」は「挨拶」を要求する）。

ii. の隣接性については、実際の会話では、第一成分と第二成分が必ずしも隣接するわけではなく、間に「挿入連鎖」が入ることがある(42)。

(42) [子供と母親が店先で]

- | | | |
|---------------------------|------|---|
| 1 A: これ買ってもいい? | 質問 1 | } |
| 2 B: 890 円ね。持ってきたお金で足りるの? | 質問 2 | |
| 3 A: うん。 | 答え 2 | |
| 4 B: そう、それなら買ってもいいわよ。 | 答え 1 | |

(メイナード 1993, p.26)

隣接ペアを用いた分析方法は、第一成分から第二成分の発話が予想され、その予想から会話が展開していくという考え方に基づく。隣接ペアにおける発話の位置関係について、ザトラウスキー(1993, p.17)は、「第 2 の発話」がくるべき位置に生じた代わりの発話は、新たなもう一つ別の「第 1 の発話」だと解釈される「第 2 の発話」を引き出す準備役をする」と述べている。つまり、発話 B の前にどのような発話 A があるか、そして、その後どのような発話 C が続くのかという順番にみられる発話の関係から会話の展開を分析するのである。

3.2.2 話者交替に関する分析項目

会話は、話者が交互にターンを取り、話者交替を繰り返している中で進んでいく。Sacks, Schegloff and Jefferson(1974, p.704)は、話者交替を、会話組織の基本的な形態と捉え、タ

ーン割り当てに関するルールを提示している。

- i. 「現在の話し手が次の話し手を選択」する。その場合、選択された者が次にターンを取る権利を得、義務を負う。
- ii. 「現在の話し手が次の話し手を選択」しなかった場合は、次の話し手になろうとする話者が「自己選択」を行ってもよい。そして、最初に話し始めた話者がターンを取る権利を得る。
- iii. 他の話者も「自己選択」をしなかった場合は、現在の話し手が話し続けてもよい。

上記の i. および ii. の場合は話者交替が起こる。

3.2.2.1 ターン割り当て方法

Sacks, Schegloff and Jefferson(1974)が提唱したルールには、2つのターン割り当て方法が示されている。それは、「現在の話し手による次の話し手の選択」および現在の話し手以外の会話参加者による「自己選択」である。

「現在の話し手が次の話し手を選択」する場合は、そのターンの最初の TRP にいたるまでに次の話し手が選択されなければならない。現在の話し手による選択がなければ、最初の TRP でルール ii. が適用され、先に話し始めた会話参加者が「自己選択」によってターンを取ることになる。

Sacks, Schegloff and Jefferson(1974)によると、次の話し手を選択するための基本的なテクニックは、隣接ペアの第一成分をなす発話を特定の 1 人に宛てることである。つまり、このテクニックを実現させるには、①発話が隣接ペアの第一成分をなすこと、②何らかの方法で発話の相手を指名すること、という 2 つの条件を満たす必要がある。

Lerner(2003)は、発話の相手の指名方法では、明示的なものおよび非明示的なものを区別している。明示的な方法では、注視やジェスチャー、宛名用語(address term)が用いられる。非明示的な指名方法では、話し手は注視や宛名用語を用いずに、発話の相手を特定の 1 人に絞り込む。そのためのテクニックとして、Lerner(2003)は、発話の「連鎖における一致」(sequential identity)を利用する、「発話の相手を特定の 1 人に絞り込む」(limit eligible responders to a single participant)ことが挙げられている。

「連鎖における一致」を利用するテクニックでは、Sacks, Schegloff and Jefferson(1974)

が記述した「修復テクニック」(repair techniques)が用いられる。「修復テクニック」とは、先行発話の不明瞭な点を明確にする方法のことである。Sacks, Schegloff and Jefferson(1974)では、「修復テクニック」として「一語質問」(one-word question)(43)や、先行発話の一部を疑問イントネーションで繰り返すテクニック等が挙げられている。これらは一種の質問である。「修復テクニック」が適用される場合は明示的な指名方法を用いずとも、次の話し手として不明瞭な点を含む発話を発した話者が選択されるということである。Sacks, Schegloff and Jefferson(1974)によると、「修復テクニック」が適用される場合は、必然的に次の話し手として先行話者が選択される(43)。

(43) ³⁴ Ben: They gotta- a garage sale.

あそこでガレージ・セールをやっている。

→Lory: Where.

どこで?

Ben: On Third Avenue

三番街で。

(Sacks, Schegloff and Jefferson 1974, p.717; 筆者訳)

「修復テクニック」の他に、Lerner(2003)は「フォローアップ・クエスチョン」を挙げている。Lerner(2003)によると、「フォローアップ・クエスチョン」は最初の質問の応答者に宛てられるということである。したがって、「フォローアップ・クエスチョン」を行う場合は発話の相手を指名する必要はない。

³⁴ 文字化記号は、Sacks, Schegloff and Jefferson(1974)によるものである。

文字	大きい声で、ないし強調して発話された部分
-	途切れ

(44)³⁵ [Virginia]

1 Mom: Is everybody going to have ice crea:m 'n sherbet or whatever.

みんな、アイスクリーム・アンド・シャーベットとか食べる?

2 Virginia: I jus' want a liddle bit.

すこしだけ食べる。

3 (0.6)

4 → Mom: And you want sherbet and (.) ice crea:m?

シャーベットとアイスクリームでいい?

5 Virginia: Mm Hm

んー。

6 (0.2)

7 Mom: Everybody want that?

みんな、それでいい?

(Lerner 2003, p.194; 筆者訳)

ライン 1 では、Mom が特定の相手を指名せず質問をしている。ライン 2 では、Virginia は「自己選択」によってターンを取り、応答している。それに対して、Mom が確認の「フォローアップ・クエスチョン」をする。ここで、最初の質問(“*Is everybody going to have ice crea:m 'n sherbet or whatever*”「みんな、アイスクリーム・アンド・シャーベットとか食べる?」)の応答者は Virginia であるため、明示的に相手を指名しなくても「フォローアップ・クエスチョン」が Virginia に宛てられる。さらに、Lerner(2003)が述べているように、発話の相手が指名されていないライン 1 およびライン 7 の質問と異なり、ライン 4 の「フォローアップ・クエスチョン」では、「受け手標識」(recipient indicator)の“you”が用い

³⁵ 文字化記号は、Lerner(2003)によるものである。

文字 大きい声で、ないし強調して発話された部分

- 途切れ

: 長音

(数字) 沈黙の秒数

(.) 0.1 秒前後の間

(()) トランスクリプトの作成者によるコメント。

[] 発話の重なり

= ラッチング。先行発話と後行発話との間に間がないことを示す。

Lerner(2003)によると、“you”は宛名用語と異なり、そのみでは発話の相手を指名することはできない。ただし、当該発話が誰か1人に宛てられており、その者が次の話し手として選択されていることを示すことはできる。つまり、誰が選択されているかは不明であるが、「現在の話し手による次の話し手の選択」という方法が適用されていることは明確に示される。Lerner(2003)は、“you”を指名方法の不完全な形態と捉え、「受け手標識」と呼んでいる。

話題に関係しない会話参加者が除外される会話例として、Lerner(2003)は(45)を挙げている。

→1 Curt: Wul how wz the races las' night.
 昨夜のレースはどうだった?
 2 (0.8) ((Mike が 2 回うなずく))
 3 Curt: Who w'n [th' feature.]
 誰が優勝した?
 4 Mike: [Al w o n,]
 アルが優勝した
 5 (0.3)
 6 Curt: [(Who)]=
 誰
 7 Mike: [Al.]=
 アル

66

8 Curt: =Al did?

アルが優勝したの？

(Lerner 2003, p.191; 筆者訳)

Lerner(2003)が述べているように、(45)の会話参加者で、レースに行ったのは Mike のみである。ライン 1 の発話はレース観戦についての質問であるため、発話の相手は Mike1 人に絞り込まれる。

「現在の話し手が次の話し手を選択」する際に上記のテクニックを用いる。一方、「自己選択」の基本的なテクニックは、最初に話し始める(starting first)ことである。ターン割り当てルール ii では、「自己選択」の場合は、最初に話し始めた会話参加者がターンを取得する。そのため、次にターンを取りたい者は可能な限り早く話し始める。結果として、しばしば現在の話し手の発話と次の話し手の発話との間に重なりが生じる。

3.2.2.2 発話の重なり

「発話の重なり」とは、「2人以上の話者が同時に話す」(Schegloff 2000, p. 7 より筆者訳)という言語現象のことである。発話の重なりは、現在の話し手のターンが終了する前に他の会話参加者が話し始めることによって生じるもの((46)~(47))や、現在の話し手のターンが終了した後に他の参加者がターンを取ろうと同時に話し始めること(「同時スタート」)によって生じるもの((48)~(49))がある。

本研究では、先行発話の重なりの部分は「< >{<}」、後行発話の重なりの部分は「< >{>}」でくくる。

(46) [JF07]

44 話者 A12 なんか、岩を<退けてる>{<}.

45 話者 B12 <動かす>{>}だろうね.

(46)では、現在の話し手の話者 A12 がターンを終了する前に話者 B12 も話し始め、ターンを取っている。そのため、ライン 44 の「退けている」とライン 45 の「動かす」が重なる。

(47) [RF12]

21 話者 B37 Mozhet by`t`, on vstretil <vot ix?>{<}.
maybe he met here them

ここで彼らに出会ったんじゃない?

22 話者 C37 <Uvidel..>{>} yablonyu, ne smog dostat`, predpolozhim.

saw apple_tree not could get suppose

[話者 A37 がカード 2 の後にカード 9 を置く]

たとえば、りんごの木を見て、[りんごが] 取れなかった。

(47)では、現在の話し手の話者 B37 がターンを終了する前に話者 C37 も話し始め、ターンを取っている。そのため、ライン 21 の “vot ix” (「彼らに」) とライン 22 の “Uvidel” (「見た」) が重なる。

(48)は、次にターンを取ろうとする者同士の「同時スタート」による発話の重なるの例である。

(48) [JF06]

140 話者 C11 えっ、悩めますね.

141 話者 A11 悩めます=.

142 話者 A11 =結局、岩、何ともなっていないし<笑い>.

143 話者 C11 <そう::, 岩じゃ駄目だったんですよね>{<}.
144 話者 B11 <う::ん, 岩をどこに入れるか[↓]?>{>}.

(48)では、ライン 142 の話者 A11 のターンが終了した後に、話者 C11 および話者 B11 が同時に話し始めたため、ライン 143 の発話「そう::, 岩じゃ駄目だったんですよね」とライン 144 の発話「う::ん, 岩をどこに入れるか[↓]?」が重なる。

(49) [RF12]

122 話者 B37 vot zdes` on uzhe py`taetsya ego, vidimo, podvinut`
here here he now tries it apparently move
k yablone.
to apple_tree

ここは、彼はそれをりんごの木のほうへ動かそうとしているようだ。

123 《沈黙 0.75 秒》

124 話者 A37 <Vot on>{<}.
here he

彼はここにいる。

125 話者 C37 <Net>{>}.
no

違う。

(49)では、ライン 122 の話者 B37 のターンが終了した後に、話者 A37 および話者 C37 が同時に話し始めている。そのため、ライン 124 の発話 “*vot on*” (「彼はここにいる」) とライン 125 の発話 “*Net*” (「違う」) が重なる。

(46)および(47)における発話の重なりは、発話権を持つ現在の話し手と、発話権を得ようとする会話参加者との間に生じているものである。さらに、次のターンを取ろうとする会話参加者が発話の重なりを見込んだ上で話し始める。それに対して、(48)および(49)で取り上げた「同時スタート」による発話の重なりは、発話権を得ようとする者同士の間にも生じるものである。また、「同時スタート」による発話の重なりは、予測されておらず、偶然に生じるものである。本研究では、発話の重なりにおいて発話権の受け渡しを問題とするため、発話権を持つ現在の話し手と発話権を得ようとする会話参加者の間に生じる発話の重なりのみを分析対象とし、「同時スタート」による発話の重なりは扱わない。

3.2.3 発話行為に関する分析項目

2.2 で述べたように、Austin(1975[1962])は発話を行為と捉え、発話行為を「発語行為」(あることばを発する行為)、「発語内行為」(発することばで遂行される行為)、発語媒介行為(ことばを発した結果、聞き手や話し手自身の行動に間接的に効果を及ぼす行為)の3つ

に分類した。

本研究で扱う共同作業の目的は、ストーリーを組み立てるという課題の解決である。この目的を達成するために、共同作業における会話では「提案」という発話行為が重要となる。

3.2.3.1 発話行為「提案」の定義および「提案」談話の認定基準

2.2 で述べたように、Searle(1975, 1976, 1979)は発語内行為を「指示型」、「断定型」、「拘束型」、「宣言型」、「態度表明型」の5つに分類した。

「指示型」の発話行為とは、「話し手が聞き手にある行為をさせようと試みる発話行為」(Searle 1976, p.11 より筆者訳)のことである。Searle(1975, 1976, 1979)の分類では、「提案」は「依頼」および「命令」と同様に「指示型」の発話行為とされる。ただし、「命令」や「依頼」に比べ、「提案」は、「相手にある行為をさせよう」という話し手の意志がやや弱く、相手への負担度が低い行為である。一方、Fraser(1974, p.149 より筆者訳)は、提案を表す動詞は「話し手が命題で述べた物事の長所を聞き手に検討してほしいという欲求を示す」(下線は筆者による)と述べている。また、提案の発話行為は「話し手が命題で述べた行為を検討する価値があると(聞き手に) 認識してもらうための試み」(Fraser 1974, p.150; 訳と下線および()内の補足は筆者による)としている。つまり、Fraser(1974)の定義では、発話行為「提案」には「相手に行為をさせる」という要素は含まれていないのである。

また、Koike(1994)、久保(2002)および Flöck(2011)それぞれが発話行為「提案」を特徴づける条件を挙げている。まず、Koike(1994, p.517)は、以下の条件を満たす発話行為を「提案」としている。

- 被提案者と見込まれる者が問題を提示する、あるいは提案者が被提案者の問題について知っている。そして、その問題に対して提案する。
- 提案者は、問題解決に有益であると確信し、ある行為を提案する。
- 被提案者は、提案に対して何らかの言語的反応を示す、あるいは提案を受け入れる。

久保(2002)は、「提案」を「誘い」の一種として、「提案－同意」あるいは「提案－賛成」の対からなる弱い発話行為としている。久保(2002, p.110)による説明では、「提案」は以下の条件を満たすものとされている。

- 話し手は、相手の理性に訴えて、相手あるいは話し手と相手双方にとって好都合な事柄の実現を求める。
- 相手の拒否権を認め、話し手から相手への調整の方向をもつ。

さらに、Flöck(2011, p.68)は、以下の条件を満たす発話行為を「提案」としている。

- 話し手は、行為が提案されたことを聞き手に認識してほしい。
- 話し手も聞き手も、聞き手が行為遂行を義務付けられていないことについて知っている。
- 話し手は、提案が聞き手にとって有益であることを確信している。
- 話し手が提案した行為に話し手自身も参入する／しないことが可能である。

上記の条件をみると、Koike(1994)によるものには、被提案者側の反応も含まれている。この点は評価すべきである。なぜなら、Flöck(2011)の記述にある「話し手は、行為が提案されたことを聞き手に認識してほしい」かは、聞き手の反応によって引き起こされる話し手の行動にみられることもあるからである。

また、共同で作業に取り組む過程では、提案のみならず、提案に対する受け手側の反応も重要となる。なぜなら、被提案者の反応によって作業がよりスムーズに進んだり、逆に滞ったりすることもあるからである。つまり、共同作業の目的達成は、提案の提示という一方的なプロセスの結果ではなく、提案に対する反応を必要とする双方向での作用によるものである。

先行研究における発話行為「提案」の特徴付けに関する記述を参考にし、本研究では、課題解決に向けた共同作業における「提案」談話の認定基準として以下のような 3 条件を設定する。

- i. 提案者および被提案者が課題を認識している。
- ii. 提案者は、発話の内容が課題解決につながることを確信している。
- iii. 被提案者は、提案者の発話に対して何らかの言語的反応を示す、あるいは提案の内容を実行する。

3.2.3.2 「提案」談話の抽出方法

上記の認定基準に基づき、本研究の会話データから提案の談話を抽出した。その際に、筆者は、隣接ペア「提案—受諾／拒否」の関係を手掛かりにし、談話の流れの前後を検討した上で「提案」発話を確認した。

以下、「提案」談話の例を挙げ、抽出手続きについて説明する。次の(50)は、会話参加者 3 人がストーリーの作成方法について話し合っているシーンである。以降、「提案」発話は「→」で示す。

(50) [JM02]

- 36 話者 A02 う::ん, だから, だから僕は石を取るストーリーなのかりんごに絡ませるストーリーなのか, それ<とも::>{<},,,
- 37 話者 C02 <あっ>{>}, そこからですか[↓]?,
- 38 話者 A02 う.. <歌に>{<},,,
- 39 話者 B02 <う::ん>{>},
- 40 話者 A02 関するストーリーなのか::, それを::,,
- 41 話者 C02 あっ,,
- 42 話者 A02 とりあえず考えるっていうこと<だから>{<},
- 43 話者 C02 <なるほど>{>},
- 44 話者 B02 みたいですね::,
- 45 《沈黙 1.73 秒》
- 46 話者 A02 <笑い><そろそろき>{<} 【.
- 47 話者 C02 】 <じゃ, ど..>{>}れか[↓].
- 48 話者 C02 ど..どうですか?.
- 49 話者 A02 なんか, りんごの方が易しいような気がする<笑い>.
- 50 話者 B02 <笑い>
- 51 話者 C02 じゃ, りんごにしましょう<笑い>.
- 52 話者 A02 <笑い>
- 53 話者 B02 りんごを中心に.

まず、ライン 36、38、40、42 にわたる発話では、話者 A02 は、ストーリーの作成方法

として「石を取るストーリー」、「りんごに絡ませるストーリー」および「歌に関するストーリー」のいずれにするかについて考えることを提案している。それに対して、ライン 44 では、話者 B02 は「みたいです」と同意を示し、話者 C02 は「あっ、そこからですか」（ライン 37）、「あっ、なるほど」（ライン 41、43）とあいづちを打っている。ここでは、認定基準の条件 iii. 「被提案者は、提案者の発話に対して何らかの言語的反応を示す」が満たされている。さらに、ライン 46 で提案者の話者 A02 は「そろそろき[めましょう]」と提案した内容の実行を促している。それに対して、ライン 48 では、話者 C02 は「どうですか?」と、さらに話者 A02 に提案を求める。そして、ライン 49 では、話者 A02 は提案を改めて、「なんか、りんごの方が易しいような気がする」とりんごに関するストーリーにすることを提案する。結果として、話者 C02 および話者 B02 は「じゃ、りんごにしましょう」（ライン 51）、「りんごを中心に」（ライン 52）と話者 A02 の提案を受諾し、提案された行為の実行に移った。

(50)では、隣接ペアの第一成分である「提案」は「う::ん、だから、だから僕らは石を取るストーリーなのかりんごに絡ませるストーリーなのか、それとも::う..歌に関するストーリーなのか::、それを::とりあえず考えるっていうことだから」および「なんか、りんごの方が易しいような気がする」という発話によって構成され、2 段階で提示されている。そのため、第二成分の「受諾」をなす「じゃ、りんごにしましょう」および「りんごを中心に」という発話は、最初の「提案」発話と離れている。しかし、(50)における談話の流れをみると、これらの発話が「提案－受諾」という隣接ペアをなしていることが分かる。

本研究では、上記のように談話の流れにおける発話の関係を分析し、「提案」発話の認定を行った。なぜなら、文レベルのみでは「提案」ではない発話も「提案」として認定してしまう可能性があるからである。たとえば、(50)では、ライン 51 の「じゃ、りんごにしましょう」という発話は文脈から切り離した場合は「提案」発話とみなすことが可能であるが、前後のやり取りを談話レベルで捉えると「じゃ、りんごにしましょう」は「提案」ではなく、すでに提示されている「提案」に対する「受諾」と考えられる。

ロシア語のデータも同様の手続きで「提案」発話の認定を行った。

(51) [RF11]

→60 話者 C36 <mozhet by't` nachnyom>{>} s e'togo?.

maybe begin from this

始めはこのカードにしない?

→61 話者 C36 Vot on shyol, e`:: uvidel “aga::, <kakoe vkusnoe
 here he walked er saw aha what tasty
 ya::bloko[↓]” >{<}.
 apple
 彼が歩いていて、「ワーイ、美味しそうなりんごだ」と
 [りんごを] 見つけた。

62 話者 B36 <[↑]Yabloko, s`el[↓]>{>}.
 apple ate
 りんごを [見つけて] 、食べた。

63 話者 A36 Da, da, naverno <tak by`lo[↓]>{<}.
 yes yes probably like_this was
 そうだね、そうだね、そうだったかもしれない。

64 話者 C36 <Potom::>{>}, i vot on ego.. est.
 then and here he it eats
 そして、ここでそれ [りんご] を食べている。

65 《沈黙 1.18 秒》

66 話者 B36 Tak, e`to pervaya kartinka.
 so this first picture
 じゃ、これは一番目の絵だ。

ライン 60~61 の発話は話者 C36 の提案である。まず、ライン 60 で話者 C36 は “*mozhet by`t` nachnyom s e`togo?*” (「始めはこのカードにしない?」) とストーリーの始まり方について提案し、ライン 61 でその内容を詳しく説明している。

(51)の続きを見ると、ライン 62 では、話者 B36 “*Yabloko, s`el*” (「りんごを[見つけて]、食べた」) と補足することによって、iii. 提案者の発話に対して何らかの言語的応答を示す。そして、ライン 63 で話者 A36 は “*Da, da, naverno tak by`lo[↓]*” (「そうだね、そうだね。そうだったかもしれない」) と提案を受諾している。さらに、ライン 66 で話者 B36 も “*Tak, e`to pervaya kartinka*” (「じゃ、これは一番目の絵だ」) とまとめ、話者 C36 の提案を受諾し、実行している。つまり、(51)における隣接ペアの関係を分析すると、ライン 60~61 の発話 “*mozhet by`t` nachnyom s e`togo?*” (「始めはこのカードにしない?」) および “*Vot on shyol, e`:: uvidel, “aga::, kakoe vkusnoe ya::bloko[↓]”*” (「彼が歩いていて、

「ワーイ、美味しそうなりんごだ」と[りんごを]見つけた」) は第一成分「提案」であり、ライン 63 の “*Da, da, naverno tak by'lo*” (「そうだね、そうだね。そうだったかもしれない」) およびライン 66 の “*Tak, e'to pervaya kartinka*” (「じゃ、これは一番目の絵だ」) は第二成分の「受諾」である。

(50)と同様に “*Tak, e'to pervaya kartinka*” (「じゃ、これは一番目の絵だ」) という発話は単独では「提案」とみなすことができるが、談話の流れにおける先行発話との関係を分析すると、この発話は「提案」ではなく、「受諾」であることが明らかとなる。

5.2 では、上記の談話分析によって抽出された「提案」談話を用い、「提案」発話の形式について述べる。

3.2.4 配慮言語行動に関する分析項目

本研究で扱う共同作業の会話データでは、複数の会話参加者が協力し一つの課題を解決している。作業に取り組む参加者の間で良好な関係が成立すれば、互いへの協力によって作業がスムーズに進み、目的が達成される。したがって、共同作業の場面では相手との対人関係を配慮した言語行動が必要となる。以降、本研究における配慮言語行動の定義を示し、一種の配慮言語行動としての「ヘッジ」について説明する。

3.2.4.1 配慮言語行動の定義

「配慮言語行動」は、語用論、特にポライトネス研究の中で扱われる概念である。2.3 で概観したように、ポライトネス研究は敬意を表す表現や、丁寧度による表現の順位付けから始まり、次第に定型表現のみに限らない、共同発話、ヘッジ、あいづち、言いよどみ等という言語行動も取り上げられるようになった。近年、ポライトネス研究では様々なアプローチがとられ、研究者によって「ポライトネス」という概念の捉え方も異なることから、本研究では、具体的な言語現象を指すものとして「配慮言語行動」という用語を用いる。

三宅和子(2011, p.10)は、配慮言語行動を「対人関係に留意して行う言語表現と言語行動」と定義している。また、山岡・牧原・小野(2010, p.143)は配慮表現を「対人コミュニケーションにおいて、相手との対人関係をなるべく良好に保つことに配慮して用いられる言語表現」としている。

本研究では、これらの定義を参考にし、課題解決に向けた共同作業の場面における配慮言

語行動を「作業に関する情報伝達よりも、共同で作業に取り組む相手と協力関係を維持するために行う言語行動」と定義する。

3.2.4.2 配慮言語行動としてのヘッジ

ヘッジについては、G.Lakoff(1973, p.471 より筆者訳)は「物事をより曖昧に、あるいはより正確に示す」言語行動と説明している。従来、ヘッジは命題内容における真偽の度合いを調節する表現として扱われてきたが、ポライトネス研究においてはヘッジの対人的機能も指摘されている(R.Lakoff 1973; Brown and Levinson 1987 [1978]等)。

(52) I sort of feel I must tell you this.

あなたにこれを話さないといけなような気がする。

(Brown and Levinson 1987 [1978], p.272; 筆者訳)

(52)では、話し手が聞き手との衝突、または不同意をもたらすようなことを話そうとしている。Brown and Levinson(1987 [1978])によると、(52)の発話では、“sort of”（「～ような」）というヘッジは、相手との衝突への不本意を示す、あるいは、不同意を避ける役割を果たしている。

Prince, Frader and Bosk (1982)は G.Lakoff(1973)の定義に基づき、ヘッジを「近似表現」(approximators)((53)~(54))および「保護表現」(shields)((55)~(56))の 2 つに分類している。

「近似表現」とは、命題内容の真偽を左右する表現のことである（“somehow”、“sort of”、“a little bit” 等）（Prince, Frader and Bosk 1982; p.86）。以降、ヘッジは下線で示す。

(53) 1人じゃ取れないけど、一緒ならできたみたいな。

(53)では、ヘッジの「みたいな」は命題の「1人じゃとれないけど、一緒ならできた」について「できたことに近い」状態を表し、命題内容の真偽を曖昧にしている。

(54) On kak by` podobral i nachal est`.
 he as_if picked and began eat

彼は拾って食べ始めたかのようなのだ。

(53)と同様に、(54)においても “*On podobral i nachal est`*” (「彼は拾って食べ始めた」) という命題内容の真偽がヘッジの “*kak by*” (「~かのように」) によって曖昧にされている。

「保護表現」とは、命題について話し手の確信の度合いを示す表現のことである (“*probably*”、“*I think*” 等) (Prince, Frader and Bosk 1982; p.89)。

(55) でもここだけ、ここにしか入らない気がする。

(55)では、「気がする」という表現は、「ここにしか入らない」という命題の真偽を左右するものではなく、話し手の主観的な見解であることを表すものである。

(56) Mne kazhetsya, e`to budet poslednee.
to_me seems it be last
これは最後のような気がする。

(55)の「気がする」と同様に、(56)の “*mne kazhetsya*” (「私は~のような気がする」) は命題の “*e`to budet poslednee*” (「これは最後」) が話し手の主観的な見解であることを表す。

4. 話者交替における日本語とロシア語の異同

本章では、話者交替システム(Sacks, Schegloff and Jefferson 1974)におけるターンの取り方に着目し、共同作業における日本語とロシア語の言語行動の共通点および相違点について述べる。

Sacks, Schegloff and Jefferson(1974)は、会話における話者交替を、無秩序に行われるものではなく、体系的に組織されているものとして捉えている。会話においてターンを取るということは、発話権を要求し、話し手となることである³⁷。

課題解決を目的とする共同作業では、参加者が発言することによって主体的に作業に取り組むことができる。さらに、頻繁にターンを取り、多く発言する者が作業を主導することになる。つまり、ターンを取ることは、共同作業への参加および作業の主導権の獲得に繋がる。一方、不適切なターンの取り方は作業の妨げになる危険性がある。言語社会によってターンの取り方が異なる可能性があるため、日本語とロシア語の会話における話者交替に関する異同を明確にする必要がある。そこで、本章ではターン割り当て方法に着目する。

4.1 では、日本語とロシア語のデータにおけるターン取りの頻度およびターン割り当て方法について量的分析の結果を示す。4.2 では、「現在の話し手が次の話し手を選択」した場合を取り上げ、次の話し手の指名方法について述べる。4.3 では、現在の話し手以外の会話参加者が自主的にターンを取った場合（「自己選択」）を取り上げ、話者交替の際に生じた発話の重なりについて述べる。4.4 では、第4章の結果をまとめる。

4.1 日本語とロシア語におけるターン割り当て方法

本節では、まず日本語およびロシア語のデータにおけるターン取りの頻度を比較する。そして、収集した会話データの談話例を挙げ、ターン割り当て方法について説明した上で、量的分析の結果を示す。

³⁷ Edelsky(1981)、Hayashi (1988, 1996)はターンを取っていない話者が発話権を持つことがあると指摘し、ターンとフロア概念を区別しているが、本研究では、ターンをフロアと同一概念として捉える。

本分析では、話し手の「実質的な発話」³⁸によるターン(full turn)³⁹のみ分析対象とする。聞き手が話し手に対して発する短いメッセージ、つまり「あいづち的な発話」(back channel)⁴⁰はターンとして捉えないため、本分析では扱わない。

すべての会話データのターン数を比較すると、日本語はロシア語より 1 分当たりのターン取りの回数が少ないことが分かる(表 5)。t 検定を行った結果、日本語とロシア語で有意差が認められた(表 6)。つまり、本データでは、ロシア語母語話者のほうが日本語母語話者より頻繁にターンを取るということである。

3.2 で述べたように、ターン割り当て方法は、Sacks, Schegloff and Jefferson(1974)では 2 種類区別されている。それは、①「現在の話し手による次の話し手の選択」および、現在の話し手以外の会話参加者による②「自己選択」である。

ターン割り当て方法を量的に分析した結果、日本語、ロシア語ともに「自己選択」による話者交替が多かった(表 7)。ただし、 χ^2 検定では日露で有意差が認められ、日本語はロシア語より「現在の話し手が次の話し手を選択」することが多く、現在の話し手以外の話者による「自己選択」が少ない、という結果が得られた。

³⁸ 杉戸(1989)による用語である。杉戸(1989)は発話の内容によって「実質的な発話」と「あいづち的な発話」を区別している。「実質的な発話」とは、重なるの先行発話に対して「なんらかの実質的な内容を表す言語形式を含んで、判断、説明、質問、回答など、事実の叙述や聞き手への働きかけをする発話」(杉戸 1989, p. 50)のことである。「あいづち的な発話」とは、「実質的な内容を表現する言語形式〔中略〕を含まず、また、判断、要求、質問など聞き手に積極的な働きかけもしないような発話」(杉戸 1989, p. 50)のことである。

³⁹ Ford and Thompson(1996)は、ターンでは、話し手の役割を担う話者によるターン(full turn)および、聞き手の役割を担う話者によるターン(back channel turn)および笑いのターン(laughter)の 3 種類を区別している。研究者によって、back channel turn は non-floor-taking turn、acknowledgement、minimal turn ととも呼ばれる。本研究では、共同作業において課題解決に関する情報提供および要求などを含む発話を分析対象とするため、話者が話し手の役割を担う full turn のみターンとして捉える。

⁴⁰ Yngve(1970, p.574)は、聞き手が話し手に対して発する短い発話(“uh-huh”、“O.K.”等)、短いコメント(“Oh, I can’t believe it”等)や質問(“You’ve started writing it then – your dissertation?”)を back channel と呼んでいる。また、先行発話の繰り返し(Clancy, Thompson, Suzuki and Tao 1996; Fujii 2012)や言葉探しの補助的発話(Ford and Thompson 1996)も back channel とされている。

日本語における研究では back channel は「あいづち」と呼ばれる。杉戸(1989, p.50)は、応答詞(「ハー」、「アー」等)、オウム返しや単純な聞返し、感動詞(「エーッ」、「マァー」等)だけの発話を「あいづち的」な発話としている。また、吉田・高梨・伝(2009, p.431)は、あいづち表現として応答系感動詞(「ああ」、「うん」等)、感情表出系感動詞(「あっ」、「えっ」等)、語彙的応答(「なるほど」、「確かに」等)、繰り返し、補完、評価応答(「すごい」、「面白い」等)を挙げている。本研究では、これらの記述を参考にし、日本語とロシア語のデータにおける「あいづち的な発話」を認定した。

表 5 ターン取りの頻度の比較

日本語				ロシア語			
会話 番号	ターン取り の総回数	会話時間 (分)	1 分当たりの ターン取りの 回数	会話 番号	ターン取り の総回数	会話時間 (分)	1 分当たりの ターン取りの 回数
JM01	228	15.22	14.98	RM01	145	8.93	16.24
JM02	183	9.38	19.51	RM02	121	7.13	16.97
JM03	92	5.57	16.52	RM03	254	13.23	19.20
JM04	183	15.28	11.98	RM04	192	13.93	13.78
JM05	245	13.83	17.72	RM05	254	11.30	22.48
JF06	335	15.23	22.00	RF06	274	11.00	24.91
JF07	77	6.03	12.77	RF07	139	12.63	11.01
JF08	185	11.53	16.05	RF08	161	7.70	20.91
JF09	77	6.18	12.46	RF09	183	6.42	28.50
JF10	125	6.00	20.83	RF10	137	5.53	24.77
JF11	82	7.12	11.52	RF11	98	4.15	17.72
JF12	130	13.18	9.86	RF12	116	8.08	14.36

表 6 1 分当たりのターン取りの平均

1 分当たりの平均値	
日本語	15.52
ロシア語	19.24
$p < .05$	

表 7 話者交替方法の比較

「現在の話し手が次の話し手を選択」 (%)		「自己選択」 (%)	
日本語	92 (4.74)	1850	(95.26)
ロシア語	55 (2.65)	2019	(97.35)
$p < .001$			

Sacks, Schegloff and Jefferson(1974)が述べているように、二者間会話では、1 人の話し手に対して聞き手が 1 人しかいないため、その聞き手は必然的に次の話し手となる。しかし、会話参加者が 3 人の場合は、聞き手が複数いるため、次に話したい会話参加者が必ずしも次の話し手として選択されるとは限らない。そのため、次に話したい者は「自己選択」をし、最初の TRP でターンを取る。表 7 の分析結果から分かるように、課題解決を目的とする共同作業の会話では、日本語とロシア語、両言語ともに「自己選択」によるターン取りが多く、「現在の話し手が次の話し手を選択」することによって特定の一人が次の話し手として選択されることは少ない。

本データでは全体として、ロシア語は日本語よりターン取りの頻度が高く、会話参加者が「自己選択」によって話し手になることも日本語より多いという傾向がみられた。つまり、共同作業を行う際は、ロシア語母語話者は日本語母語話者より「自己選択」によるターンを頻繁に取り、自主的に話し手になろうとするということである。

4.2 「現在の話し手が次の話し手を選択」する場合の話者指名方法

話者交替システムにおいては、ターン割り当て方法に優先順位が設けられており、現在の話し手により次の話し手として選択された会話参加者に優先的に発話権が与えられる。「現在の話し手が次の話し手を選択」しなかった場合は、「自己選択」をした会話参加者が発話権を得る。

本節では、「現在の話し手が次の話し手を選択」する場合に焦点を当て、次の話し手の指名方法について述べる。

3.2.2 で述べたように、「現在の話し手が次の話し手を選択」する場合は、次の話し手として選ばれる話者が指名される必要がある。指名は明示的に、あるいは非明示的に行われる。Lerner(2003)は、明示的な指名方法として相手の名前やあだ名等といった宛名用語の使用、また注視やジェスチャー等を挙げている。非明示的な指名方法として、発話の「連鎖における一致」および「適格な相手」の選択、というテクニックを挙げている。

本データでは、日本語、ロシア語ともに次の話し手が明示的に指名されることは少なかった(表 8)。また、 χ^2 検定では日本語とロシア語では有意差が認められなかったが、ロシア語は日本語より、非明示的な指名が多い傾向がみられた。

表 8 明示的および非明示的な話者指名方法の比率

	明示的な話者指名(%)		非明示的な話者指名(%)		現在の話し手が 次の話し手を選択した 総回数(%)	
日本語	29	(31.52)	63	(68.48)	92	(100.00)
ロシア語	11	(20.00)	44	(80.00)	55	(100.00)
						n.s.

本節では、本会話データにおける具体例を挙げ、次の話し手の選択方法における日本語とロシア語の異同について述べる。

4.2.1 明示的な話者指名方法

本データでは日本語、ロシア語ともに明示的な話者指名方法として、主に注視が用いられていた((57)~(58))。

(57) [JF07]

- 18 話者 B12 ん::, 分かんない, 最初に来るのどれだろう?.
- 19 話者 A12 うん, これ::ハッピーエンド[↑]? [話者 B12 を見る].
- 20 話者 B12 っばいね::.

ライン 19 の「これ::ハッピーエンド[↑]?」およびライン 20 の「っばいね::」は、隣接ペア「提案—受諾」をなしている。話者 A12 は「これ::ハッピーエンド[↑]?」と提案し、注視によって話者 B12 に発話を宛てている。話者 A12 からアイコンタクトを受けた話者 B12 は、次の話し手として選択されたと認識し、ライン 20 でターンを取る。

(58) [RF07]

- 205 話者 A32 A pochemu on im ne nesyt e`to yabloko,
- but why he them not brings this apple

a sam ego est? <笑い> [話者 B32 を見る].

but himself it eats

なんで彼らにりんごをあげないで自分 1 人で食べているの?

206 話者 B32 Potomu chto on pecha::l`ny`j <笑い>.

because he sad

悲しんでいるから。

ライン 205 およびライン 206 の発話は隣接ペア「質問—返答」をなしている。話者 A32 は第一成分である「質問」を注視によって話者 B32 に宛てている。(57)と同様に、アイコンタクトを受けた話者 B32 は次の話し手として選択されたと認識し、ライン 206 で話者 A32 の質問に応答している。

上記の(57)、(58)では、話し手が発話の宛先を言語化していないが、答えてほしい会話参加者とアイコンタクトを取ることによって明示的に次の話し手を指名している。

4.2.2 では、日本語およびロシア語の談話にみられる非明示的な指名プロセスを分析し、非明示的な指名の際に用いられる言語的手段について述べる。

4.2.2 非明示的な話者指名方法

3.2 で述べたように、Lerner(2003)は非明示的な話者指名方法として、発話の「連鎖における一致」および、「適格な相手」の選択というテクニックを記述した。これらのテクニックによって、現在の話し手が明示的な指名方法を用いずに、相手を特定の 1 人に限定することができる。

発話の「連鎖における一致」とは、次の話し手として選ばれる話者が発話の連鎖における位置関係で特定されるテクニックのことである。それには、Sacks, Schegloff and Jefferson(1974)が記述した「修復テクニック」がある。Sacks, Schegloff and Jefferson(1974)は、「修復テクニック」として「一語質問」(one-word question)や先行発話の一部を疑問イントネーションで繰り返すテクニックなどを挙げている。これらは一種の質問であるが、「修復テクニック」が適用される場合は明示的な指名方法を用いずとも、次の話し手として不明瞭な点を含む発話を発した話者が選択される。

日本語、ロシア語ともに現在の話し手は次の話し手を選択する際に「修復テクニック」((59)~(60))を用いていた。

次の(59)は、会話参加者の3人が絵カードの順番について話し合っているシーンである。

(59) [JF08]

- 65 話者 A13 なんか、こっちかも [話者 B13 を見る]=.
- 66 話者 A13 =<だって、これ岩じゃない [話者 B13 にカード 6 を見せる]><{>,, ←
- 67 話者 C13 <あ::, なるほど><{>.
- 68 話者 A13 <かも><{>.
- 69 話者 B13 <何><{>, えっ[↑], どれどれ[↑]?. _____
- 70 話者 A13 これこれ, この話が.

ライン 65 の発話では、話者 A13 は話者 B13 に向かって「なんか、こっちかも。」と絵カードの順番を変えることを提案している。しかし、話者 B13 は違う方向を向いているため、話者 A13 がどのカードについて話しているか見ていない。そこで、話者 A13 は「だって、これ岩じゃないかも」（ライン 66）と強く主張し、話者 B13 にカードを見せながら、提案に注意を促す。その発話に注意を向けた話者 B13 は、不明瞭な点を明らかにするために「これ岩じゃない」に対して「どれどれ?」と修復を促している（ライン 69）。上記に述べたように、修復の場合は次の話し手として必然的に先行話者を選ばれる。(59)で、矢印で示したように、「これが岩じゃない」と「どれ[が岩じゃないのか]」が対応しており、ライン 69 の発話はライン 66、68 の発話の修復の促しである。そのため、現在の話し手が次の話し手を明示的に指名しなくても、先行話者である話者 A13 が次の話し手として選択される。

ロシア語のデータにも同様な例がみられる。

(60) [RF07]

- 158 話者 B32 Vot e'ta [カード 6] tozhe kak-to ne vpsy`vaetsya. ←
 here this too somehow not be_proper
 これも何となく合わない。
- 159 《沈黙 1.00 秒》
- 160 話者 A32 Ko..kotoraya imenno?. _____
 which exactly
 具体的にどれなの?

161 話者 B32 Shestaya.

sixth

6 番。

ライン 158 の発話では、話者 B32 は “*e`ta tozhe kak-to ne vpisy`vaetsya*” (「これも何となく合わない」) とカード 6 の位置を検討している。そして、話者 A32 は「どのカードについて話しているか」を明確にするために、“*e`ta*”(「これ」) に対して “*kotoraya*”(「どれ」) と修復を促している (ライン 160)。それによって、先行話者である話者 B32 が次の話し手と選択される。

次に、発話の相手を特定の 1 人に絞り込むテクニックの例を挙げる。このテクニックでは、話し手が自分の発話を、特定の会話参加者のみに関連する形で組み立てる。そのために、「社会的アイデンティティ」(Sacks, Schegloff and Jefferson 1974)とされる文脈的情報が用いられる。

日本語のデータでは、「社会的アイデンティティ」を用いたテクニックとして発話の文末文体の切り替えがみられた。現在の話し手は、相手との親疎関係という「社会的アイデンティティ」を利用し、「丁寧体」と「普通体」を切り替えることによって、発話の相手を非明示的に特定の 1 人に絞り込むことがある。

以下の(61)は、会話参加者の 3 人が関連性のある絵カードを見ながら、その順番を検討している。話者 A01 と話者 B01 は親しい関係の友人同士であり、話者 C01 は 2 人とは初対面である。文末文体の切り替えに関わる部分は下線で示す。

(61) [JM01]

→155 話者 B01 この岩と..ね::, この木, どっちがさっきなのかね? [息を吐く音].

156 《沈黙 1.05 秒》

→157 話者 A01 岩が, 終わった後って, どうなってた[↓]?).

→158 話者 B01 どうなってる[↓]?).

159 《沈黙 2.43 秒》

→160 話者 A01 これ, これ, 岩があるのこれとこれっ..とこれっすか[↑]?).

161 《沈黙 2.25 秒》

162 話者 C01 ここ [カード 12] までです.

(61)は、話者 B01 がストーリーの流れについて疑問を述べることから始まっている（ライン 155）。話者 B01 は、視線を絵カードに向けており、次の話者を名前で指名しない。しかし、発話の文末が「普通体」の「なのかね」（ライン 155）であることから、話者 B01 は友人の相手に発話に向けていることが分かる。話者 A01 は次の話し手として指名されたことを認識し、ライン 157 でターンを取っている。話者 A01 は、話者 B01 の疑問に答えるために、「普通体」で「どうなった?」（ライン 157）と話者 B01 に質問している。しかし、話者 B01 は回答できず、そのまま話者 A01 の質問を繰り返している（ライン 158）。そして、2.43 秒の沈黙の後に、友人同士では答えが出なかったため、話者 A01 は「これっすか」と「丁寧体」の「っすか」に切り替え、話者 C01 に質問を宛てている（ライン 160）。

一方、ロシア語のデータでは、親疎関係等の「社会的アイデンティティ」を利用することはなかった。その代わりに、発話の相手を複数から 1 人に絞り込むための手段として「受け手標識」が用いられていた。Lerner(2003)は、「受け手標識」を指名方法の不完全な形態とし、当該発話が誰か 1 人に宛てられており、その者が次の話し手として選択されていることを示すものと捉えている。Lerner(2003)では、英語の「受け手標識」として人称代名詞の“you”が挙げられているが、ロシア語では、英語の“you”に相当する人称代名詞の 2 人称単数“ty”（「君」）の他に動詞の 2 人称単数形の使用もみられた。

次の(62)は話者 B31 の提案に対して話者 C31 が反論するシーンである。

(62) [RF06]

- 91 話者 B31 On xochet yabloko.. d.. vzyat`.
he wants apple take
彼がりんごを取りたい。
- 92 話者 B31 On dostat` yabloko <ne mo::zhet[↑]>{<} [I].
he get apple not can
彼はりんごを取れない。
- 93 話者 C31]] <No uzhe>{>} grustny`j.
but already sad
でも、すでに悲しんでいるよ。
- 94 話者 C31 Smotri, chyo ‘chto’ zhe on grustny`j idyot,
look-IMP. 2. SG why than he sad walks

m.. v samom <nachale>{<}?.
in the_very beginning

見て、だったら、なぜ彼が最初悲しんで歩いているの？

- 95 話者 B31 <A u nas netu>{>} kartinki, gde on idyot negrustny`j.
but we_have not picture where he walks not_sad
悲しんでいない絵はないから.

ライン 91~92 では、話者 B31 は主人公が「りんごを取りたいけど、届かない」とストーリーの内容について提案している。それに対してライン 93 では、話者 C31 は発話の受け手を明確にせず “*No uzhe grustny`j*” (「でも、すでに悲しんでいるよ」) と反論をしている。そして、次の発話では、動詞の “*Smotri*” (「見て」) の 2 人称単数形によって宛先を 1 人のみに限定し、“*chyozhe on grustny`j idyot*” (「だったら、なぜ悲しんで歩いているの」) と質問をしている。ここで、話者 C31 は動詞の 2 人称単数形を用いることによって、“*chyozhe on grustny`j idyot*” (「だったら、なぜ悲しんで歩いているの」) という質問が 1 人のみに宛てられていることを示し、話者 B31 に補足の説明を求めている。結果として、要求に対応すべき次の話し手として話者 B31 が選択される。

4.3 「自己選択」における発話の重なり

本節では、「自己選択」による話者交替、すなわち、現在の話し手以外の話者が自主的に話し手となる場合を取り上げ、発話の重なりにおける発話権の受け継ぎについて述べる。まず、「自己選択」における発話の重なりの量的分析の結果を示した上で、ターン構造 (TRP に対する位置) の観点から発話の重なりを分類し、日本語とロシア語の異同について述べる。

「発話の重なり」とは、「2 人以上の話者が同時に話す」(Schegloff 2000, p. 7 より筆者訳) という言語現象のことである。Sacks, Schegloff and Jefferson(1974)では、「自己選択」の基本的なテクニックとして、最初に話し始めることが挙げられている。特に、三者間会話では、次に話したい会話参加者に必ずしもターンが与えられるとは限らないため、ターンを取りたい会話参加者は他者より早く話し始める必要がある。一方、次の話し手による発話の開始が早すぎると、次の話し手の発話が現在の話し手の発話と重なってしまう。

Sacks, Schegloff and Jefferson(1974, p.700 より筆者訳)は、あらゆる会話においてみられる事実の一つとして「1 度に 1 人が話す」ことを挙げ、発話の重なりを話者交替システム

におけるターン割り当てのエラーと捉えていたが、その後の研究では、発話の重なりは、話者交替の誤りによって偶発に生じる現象としてではなく、会話において明確な機能を持つ言語行動として扱われるようになった。

発話の重なりの機能については、2つの側面が指摘されてきた。1つ目は、重なりの肯定的な側面として、話者間の連帯感を高める、会話を促進させるという機能(Tannen 1984; Hayashi 1988; 生駒 1996; Fujii 2012)である。一方、否定的な側面として、相手の発話権を奪う、会話を停滞させる(生駒 1996; Itakura 2001)という機能も指摘されている。

課題解決に向けた共同作業の場面では、会話参加者が解決方法等を話し合いつつ作業を進める。その際に、会話が停滞すれば課題解決が困難になる。このことから、会話の進行を左右する機能を持つ発話の重なりは、共同作業において注目すべき言語現象であると考えられる。

次の(63)および(64)は、「現在の話し手が次の話し手を選択」する場合の発話の重なりの談話例である。以降、先行発話の重なりの部分は「< >{<}」、後行発話の重なりの部分は「< >{>}}」で括り、分析において注目する発話は「→」で示し、重なりの部分は太字にする。

(63)は、話者 C02 がストーリーの流れについて提案しているシーンである。話者 A02 と話者 B02 は友人同士であり、話者 C02 は彼らと初対面の者である。

(63) [JM02]

- 136 話者 C02 **]]** =2 人で<相談して>{<},,
137 話者 B02 <相談して>{>}.
138 話者 C02 “取ろうぜ” みたいな<感じになっ>{<},,
139 話者 A02 <うんうんうんうん>{>}.
140 話者 C02 <て::[↑]>{<},,
141 話者 B02 <なって>{>}.
142 《沈黙 0.82 秒》
143 話者 C02 頑張るんだけど[↑]=,,
144 話者 B02 =取れないみたいな[↓]=.
145 話者 B02 =<そうですね>{<}[小さい声で].
146 話者 C02 <取れない[↓]>{>} 《沈黙 2.27 秒》ん.
→147 話者 A02 で::, これとっ..取る感じじゃないです<か[↓]?>{<}.
→148 話者 C02 <そう>{>}すね、彼が助けに来ると[↓].
149 話者 C02 唐突です<けど>{<}.

ライン 136、138、140、143、146 にわたる発話では、話者 C02 は「2人で相談して“取ろうぜ”みたいな感じになって::[↑] 頑張るんだけど[↑], 取れない[↓]」と提案している。それに関連して、ライン 147 で話者 A02 は疑問形式で「で::, これとっ..取る感じじゃないですか[↓]?」と補足する形でさらに提案をする。ここでは、話者 A02 は相手との親疎関係による「社会的アイデンティティ」を利用し、「丁寧体」を用いることによって次の話し手として非明示的に話者 C02 を選択している。そして、ライン 148 で話者 C02 は自分が次の話し手として選択されたと認識し、話者 A02 の発話が終わる前にターンを取る。それによって、話者 A の発話の終わりに短い重なりが生じる。

(64)は、話者 A21 の提案に納得しないシーンである。

(64) [RM01]

- 255 話者 A21 Tipa, yabloko samo[↑] upalo? [話者 B21 を見る].
kind_of apple itself fell_off
勝手に落ちていたということ?
- 256 話者 A21 Prosto <tak vzyalo>{<},,
for_no_particular_reason took (=just)
- 257 話者 B21 <Nu da, da>{>}.
well yes yes
まあ、そうだよ。
- 258 話者 A21 i upalo[↑]?.
and fell_off
単に、落ちていただけ?
- 259 話者 B21 Nu chyo:: ‘chto’?, vzyalo i upalo.
well what took (=just) and feel_off
別にいいじゃない? 落ちていたよ。

ライン 255、256、258 にわたる発話では、話者 A21 の提案に納得せずに “*Tipa, yabloko samol[↑] upalo? Prosto tak vzyalo i upalo[↑]?*” (「勝手に落ちていたということ? 単に、落ちていただけ?」)と確認の質問をし、アイコンタクトによって次の話し手として話者 B21 を明示的に選択する。そして、話者 A21 の発話が終わる前に話者 B21 も話し始めたため、ライン 256 とライン 257 の発話が重なる。

次の(65)および(66)は、「現在の話し手が次の話し手を選択」しなかったため、現在の話し

手以外の会話参加者が「自己選択」をした際に生じた発話の重なるの談話例である。

(65)は、話者 A16 がストーリーの流れについて提案しているシーンである。

(65) [JF11]

- 60 話者 A16 じゃ、おっ..石は::それ<ぞれ>{<},,
61 話者 C16 <うん>{>}.
62 話者 A16 <各々>{<},,
63 話者 B16 <うん>{>}.
→64 話者 A16 がやって::, できなかったんだけど::, りんごは::一緒にやった::,
 取れた<とか[↑]?>{<}.
→65 話者 B16 < “できた>{>}よ” みたいな.

ライン 60、62、64 にわたる発話では、話者 A16 は「じゃ、おっ..石は::それぞれ各々がやって::, できなかったんだけど::, りんごは::一緒にやった::, 取れたとか[↑]?」と提案するが、次の話し手を選択していない。そして、話者 B16 が「自己選択」によりターンを取る。話者 A16 の発話が終わる前に話者 B16 も話し始めたため、ライン 64 とライン 65 の発話の一部が重なる。

(66)は、話者 B35 と話者 A35 がストーリーの流れについて提案を出し合っているシーンである。

(66) [RF10]

- 143 話者 B35 Mozhet on ix poslal, “idite sxodite za
 maybe he them send go go_to_fetch for
 kam<nem”? <笑い> >{<}.
 stone
 彼は「石を取りに行ってきて」と彼らを行かせたじゃない?
→144 話者 A35 <Smo>{>}tri, vot mozhet by`t` <posle>{<},,
 look here maybe after
145 話者 C35 <Ugu>{>}.
 uh_huh
 うん。

146 話者 A35 e'togo [カード 9].

this

見て、この後かもしれない。

まず、ライン 143 で話者 B35 が “*Mozhet on ix poslal, “idite sxodite za kamnem”?*” (「彼は「石を取りに行ってきた」と彼らを行かせたじゃない?)」と提案するが、次の話し手を選択していないため、話者 A35 は「自己選択」によって早めにターンを取り、別の提案を提示する。それによって、ライン 143 とライン 144 の発話の一部が重なってしまう。

ターン取りの際に生じる発話の重なりの有無をみると、「現在の話し手による次の話し手の選択」においても「自己選択」においても、ロシア語は日本語より発話の重なりが多いことが分かる(表 9、表 10)。この結果については、 χ^2 検定では、日本語とロシア語で有意差が認められた。つまり、ロシア語は日本語より発話の重なりが生じやすいということである。

さらに、日本語の場合は、「現在の話し手による次の話し手の選択」より「自己選択」のほうが 5% の有意水準で発話の重なりが多かった。一方、ロシア語では、「現在の話し手による次の話し手の選択」と「自己選択」の間で発話の重なりについては有意差が認められなかった。

表 9 「現在の話し手による次の話し手の選択」における発話の重なりの有無

	発話の重なり有り(%)		発話の重なり無し(%)		「現在の話し手による次の話し手の選択」におけるターン取りの総回数(%)	
日本語	15	(16.30)	77	(83.70)	92	(100.00)
ロシア語	17	(30.91)	38	(69.09)	55	(100.00)
						$p<.05$

表 10 「自己選択」における発話の重なりの有無

	発話の重なり有り(%)		発話の重なり無し(%)		「自己選択」によるターン取りの総回数(%)	
日本語	519	(28.05)	1331	(71.95)	1850	(100.00)
ロシア語	809	(40.07)	1210	(59.93)	2019	(100.00)
						$p<0.0001$

以下、「自己選択」における発話の重なりを取り上げ、日本語とロシア語の異同について述べる。Sacks, Schegloff and Jefferson(1974, p.719)によると、次に話したい会話参加者が現在の話し手における発話の最初の TRP で「自己選択」を行う。これに基づき、本分析では、先行発話における重なる部分と TRP の位置関係によって、発話の重なりを「TRP における発話の重なり」および「TRP ではない箇所における発話の重なり」に分類した。

4.3.1 TRP における発話の重なり

3.2.1 で述べたように、ターンは TCU(turn-constructive unit)から構成され、TCU の終了部分には TRP(transition-relevance place)、すなわち、話者交替が可能な場所が設けられている。

発話の重なりが生じない通常の話者交替は図 9 のように表される。

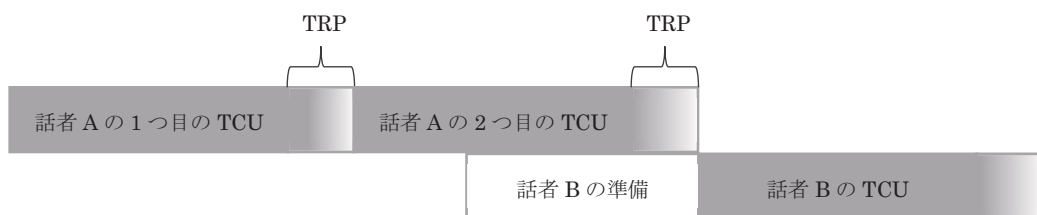


図 9 発話の重なりが生じない話者交替(Clayman 2013, p.151; 筆者訳)

一方、TRP における発話の重なりは、自己選択者が現在の話し手の発話の終了部分で話し始めた結果生じるものである。筆者は、それを図 10 のように表す。

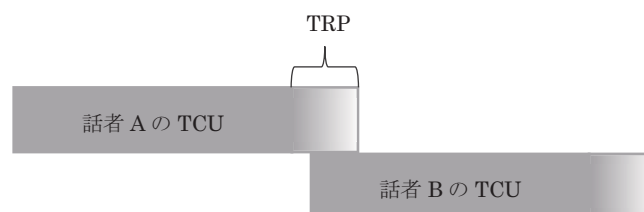


図 10 TRP における発話の重なり

次の(67)~(69)、は TRP における発話の重なりである。

(67) =(65) [JF11]

- 60 話者 A16 じゃ、おっ..石は::それ<それ>{<},,
61 話者 C16 <うん>{>}.
62 話者 A16 <各々>{<},,
63 話者 B16 <うん>{>}.
→64 話者 A16 がやって::, できなかったんだけど::, りんごは::一緒にやった::,
 取れた<とか[↑]?>{<}.
→65 話者 B16 < “できた>{>} ” みたいな.

(67)では、ライン 60、62、64 にわたる発話は、話者 A16 の 1 つのターンをなしている。
ライン 64 では、TCU の終了部分にある「とか」にライン 65 の「できた」が重なっている。

Tanaka(1999)で示唆されているように、SXV⁴¹の語順が典型的である日本語では、述語の終わりの部分、多くの場合は動詞の終わりの部分や動詞の後が TRP とみなされる。本データでは、TRP において発生する重なりでは主にモダリティに関わる文末表現(「(よ)ね」、「の」、「ます」、「です」、「か」等)やヘッジ表現(「感じ」、「みたい」、「とか」等)がみられた。

一方、ロシア語の基本的な語順は SVX⁴²であるとされている。そのため、ロシア語のデータでは、後行発話は先行発話における X の部分(68)、あるいは、現在の話し手(重なりにおける先行話者)が追加した等位節全体(69)に重なっていた。

(68) =(66) [RF10]

- 143 話者 B35 Mozhet on ix poslal, “idite sxodite za
 maybe he them send go go_to_fetch for
 kam<nem”? <笑い> >{<}.
 stone
 彼は「石を取りに行ってきて」と彼らを行かせたじゃない?

⁴¹ 本研究では、対格の目的語の O(object)のみに限らない補語(与格、造格、前置詞格等)の X を用いる。

⁴² ロシア語は屈折語であり、文における語間の関係は語の形式(語形変化等)から分かるため、語順の制約が英語ほど強くなく、Yokoyama(1986)、Hikita(1992)、Bailyn(1995)、Kallestinova(2007)等が述べているように、ロシア語の語順は比較的自由であるとされている。ただし、Kallestinova(2007)は、SVO の語順をロシア語の基本的な語順(basic word order)としている。

- 144 話者 A35 <Smo>{>}tri, vot mozhet by`t` <posle>{<},,
look here maybe after
- 145 話者 C35 <Ugu>{>}.
uh_huh
うん。
- 146 話者 A35 e`togo [カード 9].
this
見て、この後かもしれない。

ライン 143~144 では、“*kamnem*” (「石」) と “*Smotri*” (「見て」) の一部が重なっており、重なりの直前の部分は「述語(V) “*idite sxodite*” +補語(X) “*za kamnem*” (「石を取りに行ってきた」)の語順である。SVX の語順に基づくと、ライン 143 の発話は “*kamnem*” で完結する。つまり、補語(X) “*za kamnem*” の部分は話者交替が可能な TRP とみなされる。

(69) [RM05]

- 350 話者 A25 Vot, znachit, poluchaetsya, on idyo.. on, on nashyol
here means turns_out he goes he he found
yabloko.
apple
そうすると、彼は歩いて、りんごを見つけた。
- 351 話者 B25 S`el ego, <oni uvideli [↓]>{<}.
ate it they saw
それを食べて、彼らが見た。
- 352 話者 A25 <Est ego>{>}.
eats it
それを食べている。
- 353 話者 A25 Oni uvideli, kak on est yabloko,
they saw that he eats apple

tozhe zaxoteli yabloko.

too wanted apple

彼らはりんごを食べているのを見て、りんごがほしくなった。

ライン 351 は、重なりの先行発話であり、文として 2 つの節によって構成されている。重なりの直前の部分は「述語(V) “s`el” + 補語(X) “ego”」(「それを食べた」) という語順であり、単文として意味的にも統語的にも完結している。したがって、その箇所は話者交替が可能な場所とされる。それに基づき、話者 A25 はターンを取り話し始めるが、話者 B25 はもう一つの節 “oni uvideli” (「彼らが見た」) を追加する。そのため、話者 B25 の発話における後続の節 “oni uvideli” (「彼らが見た」) と後行発話の最初の節 “Est ego” (「それを食べている」) が重なってしまう。

(68)および(69)では、重なりの直前の部分における語順を見ると、重なりの先行発話が完結している。その上、終了部分のイントネーションが下降調であることから、重なりが生じた場所は TRP とみなされる。このように、日本語と異なり、ロシア語では、述語の後に補語 (“sxodite za kamnem” 「石を持ってきて」) や従属節 (“uvideli, kak on est yabloko” 「彼がりんごを食べているのを見た」) がくることが多いため、動詞の直後は必ずしも TRP とはみなされない。

4.3.2 TRP ではない箇所における発話の重なり

TRP ではない箇所で生じた発話の重なりとは、現在の話し手の発話が途中であり、意味的にも統語的にも完結していないにもかかわらず、自己選択者が話し始めた結果生じるものである。あるいは、自己選択者が話し始め、ターンを要求したにも関わらず、現在の話し手がターンを譲らず話し続けることによって生じる重なりのことである。

次の(70)は、話者 A11 がストーリーの流れについて提案をしているシーンである。

(70) [JF06]

271 話者 A11 えっと、ここ<で:: [カード 5] ><{>,,

272 話者 C11 <あ::><{>.

273 話者 A11 “取れないね::” って話してたら::,,

274 話者 C11 岩<使ったら><{>.

- 275 話者 A11 < “岩こっちにあるよ::” >{>}って言ってね::<笑い>.
 276 話者 C11 <笑い>
 277 話者 B11 <笑いながら>何その, 何その, なんか, 回りくどい感じ::.
 →278 話者 C11 確かに, しかも <自分のほうが背が高かった>{<}.
 →279 話者 A11 <で::, 実際岩取りに行ったけど::>{>}, “あっ, やっぱ::岩無理だ::”
 ってみたい<笑い>.

ライン 271、273、275 では、話者 A11 はストーリー展開について「えっと, ここで:: “取れないね::” って話してたら::, “岩こっちにあるよ::” って言ってね::」と提案しているが、ライン 277 では話者 B11 は「回りくどい」とそれに対して不同意を示している。そして、話者 C11 はライン 278 で、話者 B11 に同意を示し、「しかも, 自分の方が背が高かった」と話者 A11 への不同意の根拠を挙げている。一方、話者 A11 は、話者 C11 の発話が途中であるにも関わらず、話し始め、ストーリー展開についてさらに提案を加える。重なりを受けた話者 C11 の発話を見ると、重なり部分の直前に接続詞の「しかも」がある。「しかも」は、その後に話し手の考えが後続し、発話が終了していないことを示している。つまり、話者 A11 は TRP ではない箇所で発話を重ね、ターンを取っているということである。

次の(71)は、2 人の話者がストーリーを構築しつつ、絵カードを並べているシーンである。

(71) [RF09]

- 43 話者 A34 Smotrite, vot e`t e`to' naverno tozhe blizhe
 look here this probably too closer
 k konczu[↑],,
 to end
- 44 話者 B34 Da.
 yes
 そうだね。
- 45 話者 A34 i vot e`to <tozhe k konczu>{<},,
 and here this too to end
- 46 話者 B34 <Snachala gde vot>{>} est` kartinka, gde on= [[.
 first where here be picture where he
 まずは、彼が [発話を中断] 絵カードがある。

- 47 話者 A34 **]]** = i vot e`to bli=.
- and here this closer
- 見て、これも終わりに近いかもしれない、これも終わりに近い、
これも近い [「近い」と言う途中で発話を中断]。
- 48 話者 A34 =Podozhdite, smotrite, **<k** nemu prishyol>{<},,
- wait look to him came
- 49 話者 B34 **<Smotri, vot>{>}**.
- look here
- 見て [発話を中断]。
- 50 話者 A34 bol`shoj.
- big
- 待って、見て、彼のところに、大きいのがやってきた。

ライン 43、45、47 にわたる発話では話者 A34 はカードの順番について “*vot e`t naverno tozhe blizhe, i vot e`to tozhe k konczu, i vot e`to bli*” (「これも終わりに近いかもしれない、これも終わりに近い、これも近い」) と提案している。ライン 45 の部分の途中で話者 B34 も話し始め、 “*Snachala gde vot*” (「まずは」) と発話を重ねている。重なりの直前の部分を見ると、統語的には “*i vot e`to*” (「これも」) の箇所 で完結している文として捉えられるが、下降イントネーションではないため、発話が終了していないことが分かる。したがって、重なりが生じた箇所は話者交替には適切ではない。それにもかかわらず、話者 B34 はターンを取り、別の提案を述べ始めている (ライン 46)。それに対して、話者 A34 はターンを取り戻すよう、ライン 47 でラッチング⁴³し、話者 B34 の発話の途中で割り込む。そして、ライン 48 では “*podozhdite, smotrite*” (「待って、見て」) と言い、ターンを維持しようとしているが、再び話者 B34 から発話の重なりを受けてしまう。

4.3.3 発話の重なりにみられる日本語とロシア語の異同

上記の 2 種類の発話の重なりでは、会話参加者の相互行為に次のような特徴がみられる。TRP における発話の重なりでは、自己選択者が話者交替システムの原則通りにターン移行に適切な場所でターンを取る。ただし、「最初に話し始める」という「自己選択」の基本的

⁴³ 発話と発話の間に全く間 (ま) がないことである。

なテクニックが働くため、短い重なりが生じる。一方、TRP ではない箇所における発話の重なりでは、自己選択者が不適切な場所でターンを取っているため、現在の話し手の発話が妨害される。このような重なりは、割り込み、あるいはターンの取り合いによって生じる。

量的分析では、日本語、ロシア語ともに話者交替の際に自己選択者が TRP ではない箇所でターンを取ることが多かった(表 11)。また、 χ^2 検定の結果、ロシア語と日本語で有意差が認められた。つまり、日本語はロシア語より TRP における発話の重なりが多く（日=42.74%；露=38.47%）、TRP ではない箇所における発話の重なりが少ない（日=57.26%；露=61.53%）ということである。

表 11 「自己選択」における発話の重なり

	TRP における 発話の重なり (%)		TRP ではない箇所における 発話の重なり (%)		合計	
日本語	203	(42.74)	272	(57.26)	475	(100.00)
ロシア語	292	(38.47)	467	(61.53)	759	(100.00)
						$p<.01$

表 12 発話の重なりによるターン譲歩の比較

	現在の話し手が ターンを譲らず 維持(%)		現在の話し手による ターン譲歩 (%)		TRP ではない箇所における 発話の重なりの総数(%)	
日本語	91	(33.46)	181	(66.54)	272	(100.00)
ロシア語	139	(29.76)	328	(70.24)	467	(100.00)
						n.s.

表 13 割り込みによるターン譲歩の比較

	現在の話し手が発話を 完成しないまま中断、 ターン譲歩(%)		現在の話し手が自分の 発話を完結後にターン 譲歩(%)		話者交替を伴う 発話の重なりの 総数(%)	
日本語	76	(41.99)	105	(58.01)	181	(100.00)
ロシア語	142	(43.29)	186	(56.71)	328	(100.00)
						n.s.

話者交替システムでは、適切ではない箇所で重なりが発生した場合は、ターン取りを競う

会話参加者のどちらかが一番近い TRP で発話を終了し、ターンを譲るとされている。本データでは、日本語、ロシア語ともに重なりを受けた現在の話し手がターンを譲り、話者交替することが多かった（日=66.54%；露=70.24%）（表 12）。また、現在の話し手がターンを譲り、話者が交替した発話の内、約 4 割（日=41.99%；露=43.29%）は発話が重なった結果、現在の話し手が発話を完結させないまま中断し、ターンを譲っていた（表 13）。

以下、自己選択者から発話の重なりを受けても現在の話し手がターンを維持する談話例を挙げ、日本語およびロシア語における自己選択者のターン要求および獲得方法について述べる。

次の(72)では、話者 B05 がストーリーの展開について提案している。

(72) [JM05]

- 196 話者 B05 これ [カード 5] と::, これ [カード 9] の::後にこれ[カード 12]入れてもいいかも, これ全部 [カード 12, 7, 3] <鼻笑い> [話者 C05 を見て話者 A05 を見る].
- 197 話者 B05 これと [カード 5] <これで:: [カード 9] >{<},,
- 198 話者 A05 <これ>{>}.
- 199 話者 B05 “あれ, 取れない取れない, じゃ岩持ってこよう” み<たい>{<},,
- 200 話者 C05 <なっ>{>}.
- 201 話者 B05 ななって::, 《沈黙 0.83 秒》これは謎なんだけど [カード 7] <笑い>, で, 岩でも, 岩も<やっぱ>{<},,
- 202 話者 A05 <歩い>{>},,
- 203 話者 B05 運ば..運べな::いってなって[↑], “じゃ肩車しよう” みたいな [話者 A05 を見る].
- 204 話者 A05 [頷く] 歩いて知り合って::.
- 205 話者 B05 ん::, これ [カード 4] 一番最後.

ライン 196、197、199、201、203 にわたる「これ [カード 5] と::, これ [カード 9] の::後にこれ [カード 12] 入れてもいいかも, これ全部 [カード 12, 7, 3] <鼻笑い> [話者 C05 を見て話者 A05 を見る]. これとこれで:: “あれ, 取れない取れない, じゃ岩持ってこよう” みたいななって::, 《沈黙 0.83 秒》これは謎なんだけど<鼻笑い>, で, 岩でも, 岩もやっぱ, 運ば..運べな::いってなって[↑], “じゃ肩車しよう” みたいな」という発話は 1 つのターンをなしている。そのターン中、TRP ではない箇所でも 3 回発話の重なりが生じている。まず、

ライン 198 では、話者 A05 は「これ」と重ね、割り込もうとしているが、ターン移行に適切ではない箇所であるため、発話を中断する。同様にライン 200 で話者 C05 も割り込もうとしているが、「なっ」で発話を中断する。ライン 202 では、話者 A05 は再びターンを要求し「歩い」と言いかけ、話者 B05 の発話が終了することを待つ。そして、ライン 204 で話者 B05 は発話を終了し、話者 A05 にアイコンタクトによってターン移行が可能である合図を送る。このように、自己選択者が TRP ではない箇所において短い重なりを行うことによって、現在の話者および他の会話参加者にターン要求の合図を送る。

一方、ロシア語のデータでは、自己選択者が発話を重ねた上、さらに明示的にターンを要求することがみられた。(73)は話者 A24 および話者 B24 がストーリーの展開について提案を出し合っているシーンである。

(73) [RM04]

- 266 話者 A24 To est` vot tak?=.
in_other_words like_this
つまり、こう？
- 267 話者 A24 =To est` s.. poprobovali pritashhit`[↑], i on takoj
in_other_words tried bring and he a_kind_of
< tipa>{<},,
kind_of
- 268 話者 B24 <[舌うちの音] Smotri>{>},,
look
- 269 話者 A24 “chem vy` tut maetes` <voobshhe” >{<},,
what you here toil_at generally
- 270 話者 B24 <stoj>{>},,
stop
- 271 話者 A24 “rebyata” .
guys
つまり、持ってきてみて、彼は「2 人はここで一体何をしているの？」
って。

272 話者 B24 a chto, esli zde::s' voobshhe bez nix?=.

but what if here at_all without them

見て、待って、そもそもここは彼らなしでやっているんじゃない？

ライン 267、269、271 にわたる “*To est` s.. poprobovali pritashhit` [↑], i on takoj tipa “chem vy` tut maetes` voobshhe, rebyata”*” (「つまり、持ってきてみて、彼は「2 人はここで何をしているの？」って」) という発話は話者 A24 の 1 つのターンをなしている。そのターン中、話者 B24 が 2 回 TRP ではない箇所を発話を重ねている。まず、ライン 268 で、話者 B24 は “*Smotri*” (「見て」) と話者 A24 の注目を要求している。しかし、ライン 269 で話者 A24 はそのまま発話を続けている。そこで、話者 B24 はさらに “*stoj*” (「止まって」) と発話を重ね (ライン 270)、強くターンを要求する。そして、話者 A24 が発話を終了し (ライン 271)、話者 B24 と交替する。

4.4 第 4 章のまとめ

本章では、Sacks, Schegloff and Jefferson(1974)が記述した話者交替システムにおける話者交替方法に着目し、日本語とロシア語におけるターンの獲得およびターンの受け渡しの異同についてみてきた。

まず、全体として本データでは、日本語はロシア語より 1 分当たりのターン取りの回数が少なく、ロシア語母語話者のほうが日本語母語話者より頻繁にターンを取っていた。

ターン割り当て方法に関しては、日本語、ロシア語ともに「現在の話し手による次の話し手の選択」より、次の話し手の「自己選択」のほうが多かった (日=95.26%、露=97.35%)。

「現在の話し手が次の話し手を選択」する場合の話者交替では、日本語、ロシア語ともに次の話し手が非明示的に選択されることが多かった。

日本語とロシア語に共通して、先行話者が次の話し手として選択される「修復テクニック」が多く用いられた。ただし、日本語では、会話参加者の「社会的アイデンティティ」を利用した「発話の相手を特定の 1 人に絞り込む」というテクニックが特徴的にみられた。日本語母語話者は、会話参加者間の親疎関係の違いを利用し、「丁寧体」と「普通体」の切り替えによって、発話の相手を特定の 1 人に絞り込んでいた。日本語と異なり、ロシア語のデータでは、会話参加者の親疎関係の違いを利用したテクニックは用いられなかった。ロシア語母語話者は、人称代名詞の 2 人称単数の “ty” および動詞の 2 人称単数形を「受け手標識」

として用いることによって次の話し手を複数から 1 人のみに限定していた。

「自己選択」による話者交替に関しては、ロシア語は日本語より発話の重なりが多かった（日=28.05%、露=40.07%）。重なりが生じた発話では、日本語母語話者もロシア語母語話者も TRP ではない箇所で行うことが多かった（日=57.26%、露=61.53%）。さらに、ロシア語はその割合が日本語よりも大きかった。

TRP における発話の重なるの分析の結果、日本語とロシア語の言語構造の違いによるターン構造および重なるの発生位置の違いが明らかとなった。日本語のデータでは、述語の終了部分が TRP とされるため、重なりは、主に動詞の後に来るモダリティの文末表現（「（～よ）ね」、「～の」、「～ます」、「～です」、「～か」等）やヘッジ表現（「～感じ」、「～みたい」、「～とか」等）に発生していた。一方、ロシア語のデータでは、動詞の後に補語や従属節が後続することが多いため、動詞の直後は必ずしも TRP ではない。これによって、発話の重なりは、節の終わりにある補語、あるいは後続する等位関係の節に発生していた。

TRP ではない箇所における重なりに関しては、日本語、ロシア語ともに重なりを受けた話し手がターンを譲ることが多かった。現在の話し手がターンを譲らない場合は、日本語のデータでは、自己選択者が TRP ではない箇所ですぐ短い重なりを繰り返すことによって、会話参加者にターン要求の合図を送っていた。一方、ロシア語母語話者は、TRP ではない箇所ですぐ発話を重ねる上、相手を抑制するような表現（“smotri”「見て」、「stoj」「止まって」、「podozhdi」「待って」）によって明示的にターンを要求していた。

上記のように、本章で示した分析結果から、日本語とロシア語の言語構造の違いが話者交替のタイミングおよび次の話し手の選択方法に反映されていることが示唆される。

5. 発話行為「提案」における日本語とロシア語の異同

第4章では、共同作業の過程における言語現象の一つとして、話者交替のメカニズムに着目した。そして、日本語母語話者およびロシア語母語話者が共同作業に取り組む中でどのタイミングで発言するか、どのようにターンを取っているかについて述べた。本章では、Austin(1975 [1962])および Searle(1975, 1976, 1979)による発話行為論の観点から、発話権を得た会話参加者が「何」を「どのように」話すか、つまり発話の意図と形式について述べる。

本研究で扱う共同作業の目的は、ストーリーを組み立てるという課題の解決である。「提案」は、日本語およびロシア語のデータのいずれにおいても目的達成に導く重要な行為である。また、ツォイ(2015a)が指摘しているように、「提案」という行為は、会話参加者が共同作業に参入するための手段の一つでもある。

さらに、共同で作業に取り組む過程では、提案のみならず、提案に対する被提案者の反応も重要となる。なぜなら、被提案者の反応によって作業がよりスムーズに進んだり、逆に滞ったりすることもあるからである。つまり、共同作業の目的達成は、提案の提示という一方的なプロセスの結果ではなく、提案に対する反応を必要とする双方向での作用によるものである。このことから、本章では、共同作業の目的達成において重要となる発話行為「提案」および提案に対する反応に焦点を当てる。

2.2 で述べたように、「発話行為」は Austin(1975 [1962])によって導入された概念である。Austin(1975 [1962], p.6 より筆者訳)は、「文を発することは、遂行される行為について陳述するのではなく、発話すること自体が行為を遂行することである」と発話を行為として捉えた。そして、発話行為は「発語行為」および「発語内行為」、「発語媒介行為」から成り立つとした。それぞれの特徴を再度簡単に述べると、発語行為とは、実際に発せられたことば、すなわち、形式のことであり、発語内行為とは、そのことばの背後にある意図のことである。そして、発語内行為が聞き手、あるいは話し手自身に及ぼす効果は発語媒介行為である。

発話行為論では、発話は同じ形式であっても、異なる発語内行為を遂行することがある。

(74) 雨が降ってきたよ。

(74)では、「雨が降ってきたよ」という平叙文を発話することは発語行為である。その意図、すなわち、発語内行為として、2つが考えられる。一つは、天気の状態を報告する、も

う一つは傘を持って出かけることを勧めるということである。前者は、聞き手が報告に対して何らかの反応を示す、後者は、聞き手が傘を持って出かける、あるいは傘を持っていくことを拒否するという発語媒介行為をもたらす。

一方、異なる形式の発話によって同じ行為が遂行されることもある。

- (75) a. ドアが開いているよ。
b. ドアを閉めてくれますか。
c. ドアを閉めてください。

(75)-a は平叙文、(75)-b は疑問文、(75)-c は命令文である。これらの発話の形式が異なるが、いずれも「ドアを閉めることを求める」という発語内行為である。このように、同じ発語内行為であっても、発話の形式が異なることがある。そして発話の形式は、話される言語や話し手の意図などによるのである。2.2 で述べたように、先行研究では文化による言語表現の相違が示唆されている(LoCastro 1986; Blum-Kulka, House and Kasper 1989; Tanaka, Spencer-Oatey and Cray 2000; Kozlova 2004; Ларина 2009; Flöck 2011; Pishghadam and Sharafadini 2011 等)。

本章では、発話行為「提案」および「提案に対する反応」の示し方に焦点を当て、日本語とロシア語の言語行動における異同について述べる。まず、5.1 では、「提案」談話の認定基準を示した上で、「提案」および「提案に対する反応」で構成される談話の特徴について解説する。そして、5.2 では「提案」における発話の形式、5.3 では「提案に対する反応」の示し方にみられる日本語およびロシア語の異同について述べる。5.4 では、第 5 章の結果をまとめる。

5.1 「提案」談話の特徴

3.2.3 で述べたように、本研究では、課題解決に向けた共同作業における発話行為「提案」を次のような条件を満たすものとする。

- i. 提案者および被提案者が課題を認識している。
- ii. 提案者は、発話の内容が課題解決につながることを確信している。
- iii. 被提案者は、提案者の発話に対して何らかの言語的反応を示す、あるいは提案の

内容を実行する。

上記の認定基準に基づき、3.2.3 で述べた分析手続きにしたがって共同作業の会話データから、「提案」談話を抽出した。本会話データにおける「提案」談話は、基本的に「提案－受諾／拒否」という隣接ペアを含む発話の連鎖によって構成されている。ただし、本研究では第二成分の「受諾／拒否」とみなされない「提案に対する反応」の種類もみられた。それは、「補足」および「保留」である。結果として、本研究では、「提案に対する反応」によって「提案」談話には基本的に次の4パターンがみられた。

- ① 「提案」－「受諾」
- ② 「提案」－「拒否」
- ③ 「提案」－「補足」
- ④ 「提案」－「保留」

パターン①およびパターン②では、第一成分の「提案」および第二成分の「受諾／拒否」をなす発話が隣接するという短い談話もあれば、第一成分と第二成分の間に提案の確認や検討の連鎖が入るといった複雑な談話もある。

(76)および(77)は、隣接ペア「提案」－「受諾」によって構成される談話例である。

(76) [JM01]

- | | | | | | | |
|-----|--------|---|---|----|--------|-------------------------|
| 212 | 話者 C01 | 】 <1人で、おおっかい‘大きい’の1人だめだし、
2人>{>}でも駄目だった..から::, “じゃ, 3人で頑張ろう”
っていう感じですか[↓]?. | } | 提案 | | |
| 213 | 話者 C01 | で::, え::と, きっかけはこれ [カード6] ですか[↓]? | | | | |
| 214 | 話者 C01 | <笑いながら>< “見つ<けた” >{<}.
215 | | | 話者 B01 | <うんうん>{>}うん, そう, そうですね. |

ライン 212~214 の発話は、話者 C01 による「提案」である。そして、ライン 215 は、提案に対する話者 B01 の「受諾」である。

(77) [RM04]

- | | | | |
|-----|--------|---|--|
| 442 | 話者 A24 | <p><A on [on を強調する]>{>} k nim podo.. on</p> <p>and he to them he</p> <p>zhe k nim mozhet podojti.</p> <p>but to them can go</p> <p>でも彼は彼らのところに行くことも可能だよ。</p> | <div style="font-size: 4em;">}</div>
提案 |
| 443 | 話者 A24 | <p>To est` on poproboval dostat` odin,</p> <p>in_other_words he tried get alone</p> <p>ne poluchaetsya, <podoshyol k nim[↓]>{<}.</p> <p>not managed come to them</p> <p>つまり、一人でやってみて、できなくて、彼らのところにやってきた。</p> | |
| 444 | 話者 C24 | <p><A::, da::,>{>} on k nim podoshyol.</p> <p>ah yes he to them come</p> <p>あー、そうだね、彼らのところにやってきた。</p> | <div style="font-size: 4em;">}</div>
受諾 |

ライン 442~443 の発話は、話者 A24 による「提案」であり、ライン 444 は、それに対する話者 C24 の「受諾」である。

(78)および(79)は、隣接ペア「提案」―「拒否」から構成される談話例である。

(78) [JF10]

- | | | | |
|------------------------|--------|---|--|
| 179 | 話者 C15 | <p><あっ>{>}, それでここで取ろうとしたけど取れなくて、</p> <p>でも落ちてきたから食べれた [カード 9,11 を指す,話者 A15 と</p> <p>話者 B15 を見る].</p> | <div style="font-size: 4em;">}</div>
提案 |
| <p>180 《沈黙 0.85 秒》</p> | | | |
| 181 | 話者 A15 | <p>でもりん<ごが::>{<},,</p> | <div style="font-size: 4em;">}</div>
拒否 |
| 182 | 話者 B15 | <p><あ、でもりんご>{>}が::でも取れ<んっ>{<} Ⅱ.</p> | |
| 183 | 話者 A15 | <p>Ⅱ] <ここ [カード 9 を指す]>{>}に::ない.</p> | |

ライン 179 の発話は、話者 C15 の「提案」であり、ライン 181、183 にわたる発話は、

(79) [RM03]

- ライン 110~111 の発話は話者 A23 による「提案」であり、ライン 112、114 にわたる発話はそれに対する話者 C23 の拒否である。

(80)および(81)は、パターン③「提案」—「補足」の談話例である。

(80) [JF06]

- 107

- 101 話者 A11 <“あつ、いいな::” ってて::, りんご取ろうとして::>{>},,
 102 話者 B11 う::ん.
 103 《沈黙 1.44 秒》
 104 話者 C11 かな::[↓]?.
 105 話者 A11 取れないから、助けてあげた::<笑い>.
 106 話者 C11 あ::, ありそうですね.
 107 話者 A11 <笑い>
 108 話者 C11 そうしたら、こうなったみたいな [カード 4].

補足:
提案の
発展

提案-2

ライン 99~100 の発話は、話者 C11 による「提案-1」である。その後に隣接ペアの第二成分となる「受諾／拒否」の発話がみられないが、話者 A11 は「“あつ、いいな::” ってて::, りんご取ろうとして::, 取れないから、助けてあげた::」と話者 C11 の提案を発展させる形で、「補足」している。そして、「提案-1」に対する「受諾／拒否」の発話がないまま、ライン 108 では次の「提案-2」が提示される。

(81) [RM04]

- 220 話者 B24 No:: vot e`ti, mne kazhetsya, nuzhno
 but here these to_me seems should
 kak-to pomenyat` mestami.
 somehow change places
 でもこれは変えたほうがいいような気がする。
- 221 話者 C24 To est` ty` dumaesh`, chto oni...
 in_other_words you think that they
 つまり、君の考えでは、彼らは…。
- 222 《沈黙 1.45 秒》
- 223 話者 C24 Nu v principe, v lyubom sluchae oni bez
 well in principle in any case they without
 nego i odno i drugoe, da[↑]?, py`talıs`
 him and one and other yes tried
 sdelat`.
 do
 まあ、どちらにせよ両方彼無しでやってみたということ
 だよ。
- 224 話者 B24 Da::, da, da.
 yes yes yes
 そうだ、そうだ、そうだ。

提案-1

補足:
提案の
言い換え

225 《沈黙 1.00 秒》

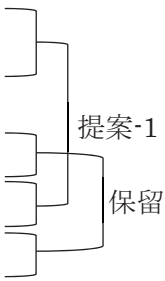
226 話者 A24 Rebyata, mozhet by`t naoborot vot e`ti? .
guys maybe vice_versa here these 提案-2
みなさん、これは逆じゃない？ [カード 5 の後にカード 8 を置く]

ライン 220 の発話は、話者 B24 による「提案-1」である。その後に隣接ペアを構成する「受諾／拒否」の発話がなく、ライン 221、223 では、話者 C24 は “*To est`ty`dumaesh` , chto oni...* 《沈黙 1.45 秒》 *Nu v principe, v lyubom sluchae oni bez nego i odno i drugoe, da[↑]?, py`talis`sdelat`*” (「つまり、君の考えでは、彼らは…。《沈黙 1.45 秒》 まあ、どちらにせよ両方彼無しでやってみたということだよね」と話者 C24 の提案を言い換える形で「補足」している。そして、「提案-1」に対する「受諾／拒否」の発話がないまま、ライン 226 で新たな「提案-2」がなされる。

パターン④では、第二成分を成す「受諾／拒否」の発話も「提案」に関連する内容の「補足」の発話もなく、「提案」の後に沈黙が発生する、またはあいづちが打たれる、話題が変更される、別の「提案」がなされる、という反応が示される。

(82) [JF09]

219 話者 B14 そこに::来て::, 何だろう?, これ, “じゃ、僕が取って
<笑いながら> あげるよ” ,,
220 話者 A14 <笑い>
221 話者 C14 あ::, <あ:: [話者 B14 を見る]>{<},,
222 話者 B14 <取る>{>}.
223 話者 C14 <あ::>{<}.
224 話者 B14 <でも, なんで>{>}こんな顔してるんだろう?.
225 話者 C14 <笑い> “何だよ” みたいな.
226 話者 B14 うんうん.
227 《沈黙 0.89 秒》
228 話者 B14 “もう食べたじゃん”みたいな..感じ<なのかな[↑]?>{<}. 提案-2



ライン 219、222 にわたる「そこに::来て::, 何だろう?, これ, “じゃ、僕が取って<笑いながら> あげるよ”、取る」という発話は、話者 B14 による「提案-1」である。それに対して、話者 A14 は笑っているのみ (ライン 220) であり、話者 C14 は「あ::, あ::, あ::」 (ライン 221、223) とあいづちを打っている。つまり、「提案」に対する「受諾／拒否」も、「補足」

5.2 「提案」における発話の形式

(75)で示したように、同じ発話内行為が異なる形式の発話によって遂行されることがある。

本分析では、発話を構成する文の種類によって、「提案」発話を「平叙型」、「疑問型」、「命令型」の3つに分類した⁴⁴。

5.2.1 「提案」における「平叙型」の発話

「平叙型」の発話とは、提案の命題内容を陳述する発話文のことである((84)~(85))。また、話し手が自ら発話を途中で終了した発話文(中途終了型発話)も「平叙型」とする。ただし、疑問形式がみられた場合は「疑問型」の発話とし、命令形式がみられた場合は、「命令型」と分類する。また、割り込みによって中断された発話文は、本分析では分析対象としない。

次の(84)は、会話参加者3人がストーリー展開について提案を出し合っているシーンである。「平叙型」の発話は「→」で示す。

(84) [JF10]

- 170 話者 B15 ほら、<最初はちょっと>{<},,
171 話者 C15 <そこでね::>{>}.
→172 話者 B15 仲悪いんだよ、多分.
173 《沈黙 0.71 秒》
→174 話者 B15 こうなって:: [カード並びを整える].
→175 話者 A15 で、“ラッキーりんご食べれくる::” >{<},,
176 話者 B15 <うん>{>}.
→177 話者 A15 みたいな.
178 話者 B15 そうそうそう<そう>{<}.

⁴⁴ 分類基準については、『現代言語学辞典』(成美堂)における、内容による文の分類を参考にした。『現代言語学辞典』によれば、「平叙文」とは、陳述を表し、形式的には文末で下降調となる文のことである。「疑問文」とは、疑問を表し、形式的には語順の変更、疑問詞あるいは疑問を表す助辞が用いられる文のことである。「命令文」とは、命令や禁止を表す文のことである。形式的には、狭義の命令文は、動詞の命令法によって表されるが、広義の命令文には、依頼・勧誘・提案などを含み、命令法のほかに種々の形式が使われるということである。

(84)では、3つの「提案」発話が見られる。それは、ライン 170、172 の「ほら、最初はちょっと仲悪いんだよ、多分」およびライン 174 の「こうなって::」、ライン 175、177 の「で、“ラッキーりんご食べれる::” みたいな」という発話である。これらの発話は陳述を表しているため、「平叙型」の発話とする。

(85)は、話者 C33 がストーリー展開を思いつき、提案しているシーンである。

(85) [RF08]

- 72 話者 C33 A, slushajte, ya ponyala, smotrite.
ah listen I understood look
あー、分かったよ、ほら、聞いて。
- 73 話者 C33 E`:: vot on shyo::l, <nashyol>{<},
er here he walked found
- 74 話者 B33 <Ugu>{>}.
uh_huh
うん。
- 75 話者 C33 ya::bloko[↑], ego e:: u.. nachal est`, e`ti uvideli
apple it began eat these saw
i stali, nu:: tozhe zaxoteli yabloko.
and began well too wanted apple
こう歩いていて、りんごを見つけて、食べ始めた。彼らが見て、りんごが欲しくなった。
- 76 話者 B33 Da.
yes
そうだね。

ライン 73、75 にわたる発話は話者 C33 の提案である。話者 C33 は、“*vot on shyo::l, nashyol ya::bloko[↑], ego nachal est`, e`ti uvideli i stali, tozhe zaxoteli yabloko*”（「こう歩いていて、りんごを見つけて、食べ始めた。彼らが見て、りんごが欲しくなった」）と提案の命題内容を陳述しているので、この発話は「平叙型」とする。

5.2.2 「提案」における「疑問型」の発話

「疑問型」の発話とは、提案の命題内容を疑問形式で提示する発話文のことである((86)~(88))。「疑問型」の発話には、yes/no 疑問、wh-疑問、付加疑問、間接疑問等が含まれる。また、日本語の場合は、「陳述文+でしょ?」(Fujii 2012)や、終助詞の「～な」が付加されている「自問風」⁴⁵の疑問文も、「疑問型」の「提案」発話とする。

次の(86)は、話者 C03 がストーリーの展開についての提案をしているシーンである。「疑問型」の発話は、「→」で示す。

(86) [JM03]

- 72 話者 C03 <これ>{>}を動かそうとしてんですよ=.
- 73 話者 C03 =で、持ち上げようとしてて::, なんか、高さが無いから::,,
- 74 話者 B03 うん.
- 75 話者 C03 この岩で::人の台をしようとしてる《沈黙 0.97 秒》っていう<感じ
じゃない>{<},,
- 76 話者 B03 <うん>{>}.
- 77 話者 C03 ですか?.
- 78 話者 A03 う::ん [うなずきながら].

⁴⁵ 林(2014, p. 167)は、終助詞の「～な」が付いた疑問文を「自問風の疑問表明」の文とし、それは、「実際に自問表現に用いられるだけでなく、自分の疑問を人に聞かせる表現としても用いられる」ことがあるからだと言っている。また、Fujii(2012)は、「独り言」としての「～かな」の疑問文を除いた上で、「提案」における疑問形式として「～な」が付いている疑問文を例に挙げている。

本研究においても、話し手が自分自身に向けた「独り言」を除き、(i)のように「提案」として相手に向けた「自問風」の疑問文を「疑問型」の「提案」発話とする。

(i) [JM04]

- 91 話者 B04 これ最初かな[↓]? [話者 A04 にカード 8 を見せる].
- 92 話者 A04 [息を吸う音] 最初[↓].
- 93 話者 B04 うん.
- 94 話者 A04 ここか[↓]?<笑い>.
- 95 話者 B04 うん.

(i)では、話者 B04 は「これ最初かな[↓]?」と発話しつつ、話者 A04 に絵カードを見せる。このことから、ライン 91 の発話は単なる「独り言」としての「自問」ではなく、「自問風」に提示されている「提案」であることが分かる。

ライン 73、75、77 にわたる「提案」発話の「で、持ち上げようとしてて;; なんか、高さが
がないから;; この岩で;; 人の台をしようとしてる《沈黙 0.97 秒》っていう感じじゃないです
か?」は否定疑問文によって構成されているため、「疑問型」とする。

(87)は、話者 C24 がストーリー展開について話しているシーンである。

(87) [RM04]

→149 話者 C24 Mozhet by`t`, v kakoj-to moment <oni py`talis`>{<},,
maybe at some moment they tried

150 話者 A24 <Mozhet by`t, oni[→]>{>}.
maybe they

多分彼らは [発話を中断]。

→151 話者 C24 peredvinut` <[↑]kamen`>{<}?.
move stone

多分ある時点で彼らが石を動かそうと頑張ったんじゃない?

152 話者 A24 <Da::, da, da>{>}, da, da, oni py`talis` 《沈黙 1.36 秒》
yes yes yes yes yes they tried

e::.

er

そうそうそうそう、彼らが頑張った、えーと。

ライン 149、151 にわたる「提案」発話は “*Mozhet by`t, v kakoj-to moment oni py`talis` peredvinut` [↑]kamen`?*” (「多分ある時点で彼らが石を動かそうと頑張ったんじゃない?」) は疑問イントネーション “*[↑]kamen`*” (「石を」) となっているため、「疑問型」とする。

5.2.3 「提案」における「命令型」の発話

「命令型」の発話とは、提案の命題内容を命令形式で提示する発話文のことである ((88)~(89))。日本語、ロシア語ともに、本研究における「提案」発話ではいわゆる動詞の命令形はみられなかった。本分析では、「相手に行為を促す」という意味で、日本語では、意向形の「~ましょう」および「~(よ)う」、ロシア語では、「助詞の “davaj” + 動詞」を含む発話を「命令型」とする。

次の(88)は、絵カードの順番を考え始めた話者 B11 と話者 C11 に、話者 A11 が類似しているものをまとめることを提案しているシーンである。「命令型」の発話は「→」で示す。

(88) [JF06]

- 54 話者 B11 あっ、でもこれ [カード2] で::こうか[↓][カード7] ?.
- 55 話者 C11 でも<わりと最初の>{<},,
- 56 話者 A11 <ここ岩がある>{>}.
 57 話者 C11 ほう<みたいですよね>{<}.
 →58 話者 A11 <ちょっと岩と岩>{>}, 岩だけ<まとめて>{<},,
 59 話者 C11 <あっ、じゃ岩>{>}<笑い>.
 →60 話者 A11 みま<しょう>{<}.

ライン 58、60 にわたる発話「ちょっと岩と岩、岩だけまとめてみましょう」は話者 A11 の提案である。この発話文では、「まとめてみましょう」と意向形が用いられているため、「命令型」とする。

(89)は、会話参加者が類似した絵カードをまとめ、ストーリーを考え始めるシーンである。

(89) [RM02]

- 31 話者 C22 Nu to est` u nas est` poka:: kak by`
 well in_other_words we_have be at_this_point as_if
 dve zacepki, yabloko i:: i ne yabloko, da[↑]?.
 two hint apple and and and not apple yes
 今のところは、りんごとりんごじゃないのと、二つの手掛かりがあるでしょ？
- 32 話者 C22 <Davaj>{<},,
 let_us
- 33 話者 B22 <Da>{>}.
 yes
 そうだね。
- 34 話者 C22 te, davajte posmotrim na te kartinki, na kotory`x
 let_us look at those pictures on which

yabloki, i posmotrim uzhe kakuyu istoriyu mozhno
 apples and look after_that what story can
 iz nix slozhit`.
 from them make

りんごが描かれている絵を見て、どのようなストーリーができそうか
 見よう。

35 話者 A22 Mne kazhetsya, lyubaya istoriya mozhet nachat`sya vot
 to_me seems any story can begin here
 s e`togo [カード 2 を見せる、話者 B22 を見る].
 from this

これがどのストーリーでも始めに出てきそうな気がする。

36 話者 C22 <笑い> Da, soglasen.
 yes agree
 そうだね、賛成する。

ライン 32、34 にわたる発話 “*Davajte, davajte posmotrim na te kartinki, na kotory`x yabloki, i posmotrim uzhe kakuyu istoriyu mozhno iz nix slozhit`*” (「りんごが描かれている絵を見て、どのようなストーリーができそうか見よう」) は話者 C22 の提案である。この発話では、「助詞 “davajte” + 動詞 “posmotrim”」(「見よう」) という命令表現が用いられているため、「命令型」とする。

5.2.4 「提案」発話の形式にみられる日本語とロシア語の異同

全体として、日本語のデータにおける「提案」発話は、3095 発話文のうち 558 発話文 (18.03%) であった。一方、ロシア語のデータの総発話文数 (2886 発話文) が日本語に比べやや少ないにもかかわらず、「提案」発話は日本語より多くみられ、2886 発話文のうち 909 (31.50%) であった (表 14)。

つまり、本研究における課題解決に向けた会話では、ロシア語は日本語に比べ、直接課題解決に導く「提案」発話が占める割合が大きいということである。

表 14 日本語およびロシア語のデータにおける「提案」発話の割合

	「提案」発話の発話文数(%)	総発話文数
日本語	558 (18.03)	3095 (100.00)
ロシア語	909 (31.50)	2886 (100.00)
		$p<.0001$

「提案」発話の形式に関しては、本研究では、共同作業の課題がストーリーを作り上げることであったため、「提案」談話の内容は主にストーリーの流れについてのものであり、日本語、ロシア語ともに基本的に「平叙型」の「提案」発話によって構成されていた。

以下の(90)および(91)は、カード 5、8、9 および 10 に描かれているストーリー展開についての「提案」談話であり、「提案 — 受諾」というパターンとなっている。

(90) [JM05]

231	話者 A05	【】 =じゃ, 最初こっちが[カード 8]さきかもね, もしかしたら.	話者 A05: 提案 (「平叙型」の発話)
232	話者 A05	さっきに::このふ..2 人が::,,	話者 A05: 提案 (「平叙型」の発話)
233	話者 B05	あ::, りん<ご>{<},,	
234	話者 A05	<取りた>{>},,	
235	話者 C05	<あ::>{>}.	
236	話者 A05	<たかったけど::>{<},,	
237	話者 B05	<取ろうとして, うん>{>}. 話者 B05: 補足	
238	話者 A05	偶然こん,,,	
239	話者 C05	落ち<てるのを食べてしまっ::>{<}. 話者 B05: 補足	
240	話者 A05	<こいつが食べてるのを見て::>{>},,	
241	話者 B05	うん.	
242	話者 A05	なんか, “何だよ, こいつ” みたい.	
243	話者 C05	<笑い>こいつ.	話者 B05/話者 C05 : 「受諾」
244	話者 A05	<笑い>	
245	話者 C05	あ, それは<けっこう行ける, 行ける>{<},,	
246	話者 B05	<<笑い>あ::いいかも, いいかも>{>},,	
247	話者 C05	行けます.	

ライン 231、232、234、236、238、240、242 では、話者 A05 は「じゃ、最初こっちが [カード 8] さきかもね、もしかしたら。さっきに::このふ..2 人が:: 取りたかったけど::, 偶然 こん.. こいつが食べてるのを見て::, なんか, “何だよ, こいつ” みたい。」と「平叙型」の発話によってストーリーの内容を語る形で提案をしている。途中で、それに対して話者 B05 と話者 C05 は途中であいづちを打ったり、「取ろうとして, うん」(ライン 237)、「落ちてるのを食べてしまって::」(ライン 239) と「補足」をしつつ、話者 A05 の話の流れを追う。そして、話者 A05 の話がまとまると、2 人が「あ、それはけっこう行ける, 行ける」、「あ:: いいかも, いいかも」とその提案を受諾する。

(91) [RM01]

- | | | | |
|----|--------|--|--|
| 30 | 話者 B21 | On uvidel e`:: yabloki, no odin do nix
he saw er apples but alone to them
<ne smog dotyanut`sya[↓]>{<}.
not could to_reach
彼はりんごを見たが、一人では届かなかった。 | 話者 B21:
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 提案
 (「平叙型」の発話) </div> |
| 31 | 話者 C21 | <N::e smog>{>}.
not could
できなかった。 | |
| 32 | 話者 C21 | I e`ti rebyata tozhe <oni>{<},,
and these guys too they | |
| 33 | 話者 B21 | <E`::>{>},,
er | |
| 34 | 話者 C21 | oni ne smogli dostat`.
they not could reach
この子たちも届かなかった。 | 話者 C21:
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 提案
 (「平叙型」の発話) </div> |
| 35 | 話者 B21 | da, i oni ne.. odni nikak ne smogli
yes and they not alone in_no_way not could
dostat`.
to_reach
そうだね、彼らも 2 人ではどうやっても
届かなかった。 | 話者 B21 :
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 「受諾」 </div> |

ライン 30 で話者 B21 が “*On uvidel e`yabloki, no odin do nix ne smog dotyanut`sya`*” (「彼はりんごを見たが、一人では届かなかった」) とストーリーを語り、「平叙型」の発話によって提案するが、ライン 31 で話者 C21 が割り込み、“*I e`ti rebyata tozhe oni oni ne smogli dostat`*” (「この子たちも届かなかった」) とその続きを同様に「平叙型」発話で提案する。

このように、ストーリー展開に関する「提案」談話は、日本語とロシア語のデータは共通して主にストーリー内容を陳述する「平叙型」の発話によって構成されていた。一方、日本語の「提案」談話では、「疑問型」の発話が連続する場合も多くみられた。

(92)の「提案」談話では、話者 A04 がストーリーの展開について「7→3→5→6→1→4」という順番を提案している (p.50 図 8 を参照)。

(92) [JM04]

- | | | | |
|-----|--------|--|-----------------------------|
| 254 | 話者 A04 | で::, [カードを動かす] 《沈黙 11. 82 秒》 なんか, こ..
こんな感じ[↑]? | 話者 A04:
提案
(「疑問型」の発話) |
| 255 | 話者 B04 | あ::. | |
| 256 | 話者 A04 | こう[↑], どうなんだろう?. | 話者 A04:
提案
(「疑問型」の発話) |
| 257 | 話者 A04 | これが:: 《沈黙 1.16 秒》 <こっ[カード 7 を指す]>{<},, | |
| 258 | 話者 B04 | <うん>{>}. | 話者 A04:
提案
(「疑問型」の発話) |
| 259 | 話者 A04 | からこう[カード 3]なるか[↓]? | |
| 260 | 話者 B04 | そっか::,, | 話者 B04:
補足 |
| 261 | 話者 C04 | ふ::ん. | |
| 262 | 話者 B04 | あ::, “さっきやったけど, 無理だったよ” みたいな
顔してるね<笑い>. | |
| 263 | 話者 A04 | <笑い> | |
| 264 | 話者 C04 | <笑い> | 話者 A04:
提案
(「疑問型」の発話) |
| 265 | 話者 A04 | そっか, で::, “じゃ自力でやってみるか” と思った
けど, だめでふんぷんしてんのか[↑]? <軽く笑い>. | |
| 266 | 話者 A04 | <で::>{<},, | 話者 A04:
提案
(「疑問型」の発話) |
| 267 | 話者 B04 | <あ::>{>}. | |
| 268 | 話者 A04 | こう[↑]? | |
| 269 | | 《沈黙 2.46 秒》 | |

- 270 話者 B04 ん[↑]《沈黙 5.15 秒》え::と, うん, そ..それっぽい
<軽く笑い>。 } 話者 B04:
受諾
- 271 話者 A04 どうですかね?.
- 272 話者 C04 [息を吸う音]繋がっ..てる..と思うんですけど。 } 話者 B04:
受諾

ライン 254、256、257、259、265、266、268 では、話者 A04 が連続で「疑問型」の発話によってストーリーの展開について提案している。それに対して、話者 B04 と話者 C04 はあいづちを打ったり、提案について「あ::, “さっきやったけど、無理だったよ”みたいな顔してるね」と「補足」(ライン 260、262) をするなどし、提案されているストーリーの流れを追う。そして、話者 A04 の提案がまとまると、5.15 秒の沈黙の後に話者 B04 が「うん, そ..それっぽい」(ライン 270) と話者 A04 の提案を受諾する。さらに、話者 A04 が「どうですか?」(ライン 271) と問い直した後に、話者 C04 も「繋がっ..てる..と思うんですけど」と提案を受諾する (ライン 272)。

量的分析の結果、提案では、日本語はロシア語より「疑問型」の発話 (日=43.55%; 露=11.88%) が多いのに対して、「平叙型」の発話 (日=56.09%; 露=84.93%) は少ないことが分かった。また、日本語は「命令型」(日=0.36%; 露=3.19%) の発話が非常に少なかった。 χ^2 検定では、3 つの項目の比率について、日本語とロシア語との間で有意な差が認められた(表 15)。

表 15 「提案」発話における形式の比較

	平叙型(%)	疑問型(%)	命令型(%)	「提案」発話の総数
日本語	313 (56.09)	243 (43.55)	2 (0.36)	558 (100.00)
ロシア語	772 (84.93)	108 (11.88)	29 (3.19)	909 (100.00)
	$p<.0001$	$p<.0001$	$p<.001$	

本研究は、共同作業の課題がストーリー作成であるため、(90)および(91)の談話例でみたように、本データでは、ストーリーの流れを陳述するという平叙文の形式を取る「提案」発話が多かったのではないかと考えられる。この点では、日本語とロシア語は共通している。しかし、それぞれの項目を比較すると、日本語母語話者はロシア語母語話者に比べ疑問形式を多く用いて提案していることが分かる。Fujii(2012)が報告しているように、英語に比べて

も日本語は、会話における「提案」では、相手の返答が求められる疑問文の使用が多い。一方、ロシア語に関しては、「提案」および「アドバイス」では、動詞の命令形の使用が非常に多いことが報告されている(Ларина 2009)。しかし、本データにおける「提案」発話では動詞の命令形はみられなかった。

次節では、被提案者側の反応に焦点を当て、「提案に対する反応」の仕方と「提案」発話の形式との関係性について考察する。

5.3 「提案に対する反応」の示し方

本研究における「提案」談話では、被提案者側の反応では大きく分けて「提案に対する賛否が明確である」ものおよび「提案に対する賛否が明確ではない」ものがみられた。前者は、「受諾」、あるいは「拒否」のいずれかであり、後者は、「補足」および「保留」という反応である。また、「補足」および「保留」は、提案に対する賛否を明確に示さないが、「補足」は提案に同意を示す「受諾」に近く、「保留」は不同意を示す「拒否」に近いものである。

5.3.1 「受諾」という反応

「受諾」とは、話者が提案に対して同意を示す、という反応のことである。以降、「提案に対する反応」を表す発話は「→」で示す。

(93) [JF11]

- 32 話者 C16 りんごが取れるのは最後の..ハッピーエンド的な<感じですよ、
きっと>{<}.
→33 話者 B16 <あ::, つばいですね>{>},,
→34 話者 A16 <あ::, つばいですね, 最後つばい>{>}.
35 話者 B16 うん.

ライン 32 では、話者 C16 はストーリーの終わり方について提案をしている。それに対して話者 A16 と話者 B16 は同時に「あ::, つばいですね」と同意を示し、提案を受諾している。

(94) [RF12]

204 話者 C37 On nachal ego e::st`[↑], oni na nego obi::delis`[↑], on
he began it eat they by him felt_hurt he
poproboval dostat` sam, ne poluchilos`[↑], on na
tried get by_himself not managed he on
nego zalez[↑], i oni vse kushayut yabloki
him climbed and they all eat apples

[話者 B37 を見る].

彼がそれ [りんご] を食べて始めて、彼らに怒られて、自分で [りんごを]
取ってみて、できなくて、彼 [小さいキャラクター] が彼の上に乗って、そ
して皆でりんごを食べている。

→205 話者 B37 Da, <da, vo::t>{<},,
yes yes here

→206 話者 A37 <Aga::, da::>{>}.
uh_huh yes

うん、そうだね。

→207 話者 B37 tochno.
indeed

そうだね、そうだね、その通りだ。

ライン 204 では、話者 C37 はストーリー展開について提案している。それに対して話者 B37 と話者 A37 はほぼ同時に “*Da, da, vo::t tochno*” (「そうだね、そうだね、その通りだ」) (ライン 205、207)、“*Aga::, da::*” (「うん、そうだね」) (ライン 206) と同意を示し、提案を受諾している。

日本語のデータでは、「受諾」の反応は主に同意を表す表現「そう (だ／です) ね」、「うん」、「はい」、および提案の一部の繰り返しによって示されていた。また、提案に対する話者の評価を表す表現「いいかも」、「ありそう (だ／です)」、「通じますね」、「～の方が自然な感じはあります」の使用も多少みられた。一方、ロシア語では、「受諾」を表す表現 “*da*” (「そうだね」) とともに提案に対する話者の態度および評価を表す表現 “*soglasen*” (「賛成だ」)、“*pravil`no / verno*” (「正確だ」)、“*tochno*” (「その通りだ」)、“*tak logichnee*” (「このほうが論理的だ」)、“*mozhno tak sdelat*” (「こうしてもよい」)、また提案の一部の繰り返し

返しが用いられていた。

5.3.2 「拒否」という反応

「拒否」とは、話者が提案に対して不同意を示す、という反応のことである。

(95) [JF10]

- 179 話者 C15 <あっ>{>}, それでここで取ろうとしたけど取れなくて, でも落ちてきたから食べれた [カード 9,11 を指す, 話者 A15 と話者 B15 を見る].
- 180 《沈黙 0.85 秒》
- 181 話者 A15 でもりん<ごが::>{<},,
- 182 話者 B15 <あ, でもりんご>{>}が::でも取れ<んっ>{<} 【.
- 183 話者 A15 】 <ここ [カード 9 を指す]>{>}に::ない.
- 184 《沈黙 1.07 秒》
- 185 話者 B15 あっ, <取る>{<},,
- 186 話者 C15 <ん[↑]>{>},,
- 187 話者 B15 ところが省略されてる<笑いながら>みたいな.
- 188 話者 C15 か, <っつか落ちてるってこと>{<},,
- 189 話者 A15 <だって, ほら, みっ>{>},,
- 190 話者 C15 かなって.
- 191 話者 A15 <3 つ>{<},,
- 192 話者 C15 <あ::>{>}.
- 193 話者 A15 あって, こっちも 3 つだから::.
- 194 話者 C15 あっ, そっか::.

まず、ライン 179 で話者 C15 は、「それでここで取ろうとしたけど取れなくて、でも落ちてきたから食べれた」とカード 9 の後にカード 11 を入れることを提案している。しかし、ライン 181、183 の発話では、話者 A15 は「でもりんごが::ここに::ない」と不同意を示し、話者 C15 の提案を拒否している。それに対して、話者 C15 は、りんごが「落ちてるってことかなって」(ライン 188、190) と提案をしているが、話者 A15 は「だって、ほら、みっ、3 つあって、こっちも 3 つだから::」と再度話者 C15 の提案を拒否する(ライン 189、191、

193)。

本データにおいては、日本語母語話者は基本的に間接的に「拒否」を示している。次の(96)は、「拒否」が間接的に示される談話例である。

(96) [JM04]

300 話者 B04 ん::, はこっ..運べなくて::,,

301 話者 A04 運べなくて[↑].

302 話者 B04 いらついて::.

303 《沈黙 3.63 秒》

→304 話者 A04 [息を吸う音] で、また岩んところに戻ってくる.

305 話者 B04 [息を吸う音] ん::<笑い>, あっ, そっか, おかしいか[↓].

ライン 300、302 にわたる発話では話者 B04 は「[石を] 運べなくて, いらついて::」というストーリー展開を提案している。それに対して、話者 A04 は 3.63 秒の沈黙の後に「また岩んところに戻ってくる」(ライン 304) と話者 B04 が提案している展開パターンが矛盾していることを指摘し、間接的に話者 B04 の提案を拒否している。

一方、ロシア語のデータでは、「拒否」を表す発話では、明示的に不同意を示す否定表現が多く用いられていた。

(97) [RF10]

130 話者 A35 Tak, vidish`, s kamnem bol'she nichyo 'nichego' net.
so see with stone anymore nothing not

ほら、他に石に関連するものはないよ。

131 話者 A35 E'to otdel'naya <笑いながら> istoriya.
this separate story

これは別のストーリーだ。

→132 話者 B35 A ona otdel'no ne mozhet by't`.
but it separately not can be

でも、これ [このストーリー] は別々にできないよ。

ライン 131 では、話者 A35 は “E'to otdel'naya istoriya” (「これは別のストーリーだ」)

と、石が描かれている数枚の絵カードで別のストーリーを作ることができると提案している。それに対して、ライン 132 では、話者 B35 は否定表現（下線部）で “*otdel`no ne mozhet byt`*”（「別々にできない」）と明示的に不同意を示し、話者 A35 の提案を拒否している。

5.3.3 「補足」という反応

「補足」とは、話者が提案に対して同意・不同意を示さずに相手の提案を発展・具体化する、あるいは言いかえる、という反応のことである。

(98) [JM03]

- 127 話者 A03 これ [カード 3,7,12] とかどうなんだろうな[↓]?.
 128 話者 C03 岩を, <なんか, 持ち上げようとする>{<},,
 →129 話者 B03 <あつ, そのまま届かない..から>{>}.
 130 話者 C03 けど, だめで::=.
 →131 話者 A03 = “何やってんだ” <とか>{<}.
 132 話者 C03 <うん>{>}.

ライン 128、130 にわたる発話では、話者 C03 は「岩を, なんか, 持ち上げようとするけど, だめで::」とストーリー展開について提案している。その発話の途中で話者 B03 は「そのまま届かないから[岩を持ち上げようとする]」と話者 C03 の提案を具体化している（ライン 129）。また、ライン 131 では、話者 A03 は話者 C03 の提案を発展させ、キャラクターのセリフとして「“何やってんだ”」と「補足」の形で反応を示している。

(99) [RM01]

- 38 話者 B21 <Da::, no oni>{>} s:: e`.. no oni malen`kie, slaby`e,
 yes but they with er but they small weak
 <i oni>{<},,
 and they
 39 話者 C21 <Da>{>}.
 yes
 そうだね。

- 40 話者 B21 i oni ne mogut podni.. podnyat` <[↑]kamen>{<},,
and they not can lift stone
- 41 話者 A21 <A::, i potom>{>} on ix nashyol.
ah and then he them found
あー、そして彼が彼らを見つけた。
- 42 話者 B21 a potom oni vstrechayut e`togo:: kartofel`..<笑いながら>
and then they meet this potato
kartofelya.
potato
そうだね、でも彼らが小さくて弱いから、石を持ち上げられない。
そして、このジャガイモに出会った。

ライン 38、40、42 にわたる発話は話者 B21 の “*Da::, no oni s:: e`.. no oni malen`kie, slaby`e, i oni i oni ne mogut podni.. podnyat` [↑]kamen`, a potom oni vstrechayut e`togo:: kartofel`.. <笑いながら> kartofelya*” (「そうだね、でも彼らが小さくて弱いから、石を持ち上げられない。そして、このジャガイモに出会った」) という提案である。ライン 40 の部分 “*oni ne mogut podnyat` [↑]kamen`*” (「彼らが石を持ち上げられない」) では、話者 A21 が割り込み、話者 B21 の提案の発展として “*A::, i potom on ix nashyol*” (「あー、そして彼が彼らを見つけた」) と「補足」の形で反応を示している。

5.3.4 「保留」という反応

「保留」とは、話者が提案に対して同意も不同意も示さない、また、提案に関連する内容の「補足」もしない、という反応のことである。「保留」という反応は、提案の後に発生する沈黙、あいつちのみの発話、話題の変更、あるいは別の提案提示によって示される。

(100) [JM01]

- 26 話者 B01 何だろうね?, <歩いてる[→]>{<} 【.
- 27 話者 A01 】 <こっち始めの>{>}始..始めのほうっすよね, これ多分, きっと.
- 28 《沈黙 0.89 秒》
- 29 話者 C01 時間計っといったほうがいいんですか[↓]?.

- 30 話者 A01 あっ、そうす。
31 話者 B01 [小さい声で] そうですね。
32 話者 A01 あ、お願いします。

ライン 27 では、話者 A01 は絵カードの順番について「[このカードは]始めのほうっすよね」と提案している。そして 0.89 秒の沈黙の後に話者 C01 は話題を変え、「時間計つといたほうがいいんですか[↓]?」と話者 A01 の提案に関連しない発話をしている(ライン 29)。このように話者 B01 も話者 C01 も話者 A01 の提案を「保留」にしている。

(101) [RF11]

- 1 話者 C36 Mozhet by't` nachat` s e'toj?.
- maybe begin from this
- このカードから始めたらいいんじゃない?
- 2 《沈黙 3.61 秒》
- 3 話者 A36 Tak, nu koroche, delo v tom, chto im nuzhny` yabloki,
- so well shorter point_is_that they need apples
- pravil'no[↑]?).
- right
- じゃ、簡単に言うと、彼らはりんごが欲しいということだよね?
- 4 話者 B36 Da, vot on <[↑]kushaet><{ } 【.
- yes here he eat
- そうだね、ここで彼が食べている。

ライン 1 では、話者 C36 は “*Mozhet by't nachat's e'toj?*” (「このカードから始めたらいいんじゃない?」) と提案している。そして、3.61 秒の沈黙の後に話者 A36 は “*im nuzhny' yabloki*” (「彼らはりんごが欲しい」) と話者 C36 の提案に関連しない別の提案をしている。つまり、ライン 2 では、話者 A36 と話者 B36 は話者 C36 の提案に対して反応を示さずに、しばらく間を置き、話者 C36 の提案を「保留」にしている。

5.3.5 「提案に対する反応」⁴⁶の示し方にみられる日本語とロシア語の異同

量的分析では、日本語はロシア語より「補足」(日=28.57%; 露=21.58%) および「保留」(日=25.71%; 露=18.30%)が多かった。一方、ロシア語は日本語より「受諾」(日=34.95%; 露=42.26%)および「拒否」(日=10.77%; 露=17.86%)が多かった(表 16)。

表 16 提案に対する反応の比較

	提案に対する賛否が 明確に示される反応				提案に対する賛否が 示されない反応				合計	
	受諾 (%)		拒否 (%)		補足 (%)		保留 (%)			
	日本語	159	(34.95)	49	(10.77)	130	(28.57)	117	(25.71)	455
ロシア語	284	(42.26)	120	(17.86)	145	(21.58)	123	(18.30)	673	(100.00)
	<i>p</i> <.05		<i>p</i> <.01		<i>p</i> <.01		<i>p</i> <.01			

つまり、日本語は、被提案者の賛否が明確に示されない反応のほうが多かった(日=54.28%; 露=39.88%)。それに対して、ロシア語は被提案者の賛否が明確に示される反応のほうが多かった(日=45.72%; 露=60.12%)ということである。

量的結果から分かるように、日本語は、「提案に対する反応」では、被提案者の賛否が明示されないことが多い。そのため、提案者が相手の賛否を明確にさせたい場合は、「疑問型」の発話によって提案を提示したり、提案の後に問い直しをすることがある。

次の(102)は、話者 A15 が絵カードの順番について提案しているシーンである。

まず、ライン 202、204 では話者 A15 は「きっとこれはこうだと思う」「この順番はこうでしょ?」と提案をしている。しかし、その後に 0.75 秒の沈黙があり、ライン 206 では話者 B15 は「ん[↑], ここを[↑]?」と明確に賛否を示さずに、話者 A15 が提示した順番を確認するようにストーリーを話すことによって、「補足」の反応を示す(ライン 208~210、212)。この反応から話者 B15 の賛否が判断できないため、ライン 211 では話者 A15 は「疑問型」の発話「こうじゃない[↑]?」で提案する。しかし、その後も明確な反応がなく、1.62 秒の沈黙が発生したため、ライン 214 では、話者 A15 は否定疑問「じゃない[↑]?」を繰り返し、

⁴⁶ 作業を行う際に、参加者の目線や身体の動き等の要素から得られる情報が多いが、非言語行動と言語行動は性質の異なるものであり、同じ尺度で測ることは困難だと思われる。本研究では、言語形式に焦点を当てているため、本分析における「提案に対する反応」は、話者の言語行動、つまり実際に発せられたことばにみられる反応のみを扱う。

返答を促す。それによって、話者 B15 および話者 C15 はほぼ同時に「うん、そうだね」、
「うんうん」と話者 A15 の提案を受諾することになる。

(102) [JF10]

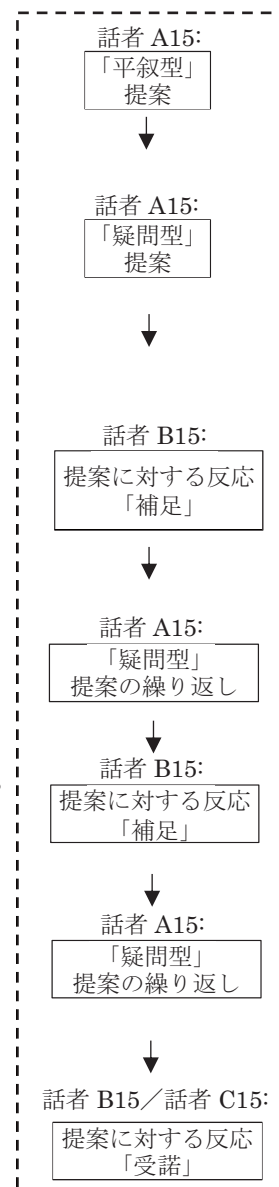
- 202 話者 A15 踏み台, で, きっとこれはこうだ<思うの
ね[↑]><{>.
203 話者 C15 <うんうんうん><{>.

204 話者 A15 この順番はこうでしょ[↑]?.
205 《沈黙 0.75 秒》
206 話者 B15 ん[↑], ここを[↑]?.
207 《沈黙 0.97 秒》
208 話者 B15 ん[↑], じゃ, なんか, “お::い取れよ”
みたいな.
209 話者 B15 <笑いながら> “何でだよ, 取れね::よ” って.
210 話者 B15 <あっ, あっ><{>,,

211 話者 A15 <こうじゃない[↑]?><{>.

212 話者 B15 そうだ, “え::取れない” ってて, “取れよ”,
“取れないよ”.
213 《沈黙 1.62 秒》
214 話者 A15 じゃない[↑]?.

215 話者 B15 うん, <そうだね><{>.
216 話者 C15 <うんうん><{>.



このように、日本語では被提案者側が明確に賛否を示さないことが多いため、提案者側は提案において「疑問型」の発話および、問い直し「違う?」「どうでしょう?」等によって相手に賛否を明確にした反応を促している。

5.2.4 では、「提案」における発話の形式について、日本語はロシア語に比べて「疑問型」の発話が多いという結果を示した。(102)の分析から、被提案者の反応の示し方と提案者が

選択する「提案」の形式が関係することが分かる。つまり、日本語母語話者は提案に対して明確に賛否を示さないため、提案では「返答」を促す「疑問型」の発話が多いのではないかということである。一方、(94)、(97)、で見てきたように、ロシア語母語話者は明示的な表現によって提案への賛否を明確に示しているため、提案者側が相手に返答を促す必要はなく、「提案」では「疑問型」の発話が比較的少ないのではないかと考えられる。

5.4 第5章のまとめ

本章では、発話行為「提案」および「提案に対する反応」の示し方を取り上げ、発話行為の観点から日本語とロシア語における言語行動の異同について述べた。

まず、「提案」については、発話の形式に焦点を当て、「平叙型」、「疑問型」、「命令型」の発話に分類した結果、日本語はロシア語より「疑問型」の発話が多く（日=43.55%；露=11.88%）、「平叙型」（日=56.09%；露=84.93%）および「命令型」（日=0.36%；露=3.19%）の発話が少なかった。

「命令型」の発話に関しては、ラリナ(Ларина 2009)は、ロシア語における「アドバイス」や「提案」では命令表現の使用が多いことを指摘しているが、本研究では異なる結果が得られた。

「疑問型」の発話に関しては、Fujii(2012)は、日本語は英語に比べて疑問形式の「提案」が多いことを報告しているが、本研究では、ロシア語に比べても日本語は「疑問型」の発話が多いことが分かった。さらに「提案に対する反応」の示し方を分析した結果、日本語はロシア語より「被提案者側の賛否が明確に示されない反応」（「補足」および「保留」）のほうが多い（日=54.28%；露=39.88%）ことが分かった。一方、ロシア語は「提案への賛否が明確に示される反応」（「受諾」および「拒否」）のほうが多かった（日=45.72%；露=60.12%）。

「提案」談話の流れを分析した結果、提案者は「疑問型」の発話を繰り返すことによって、提案に対する賛否を示さない相手に明確な返答を促すということが分かった。つまり、日本語では、被提案者がその「提案」に対する賛否を明確にせず、「補足」、あるいは「保留」の反応を示すことが多い。そのため、提案が受諾されたか、あるいは拒否されたかということを確認させるために提案者側は、「疑問型」の発話で「提案」を提示し、明確な返答を促す。一方、ロシア語では、被提案者側が明示的な表現を用い、自主的に提案への賛否を示すことが多い。このことから、提案者側は「疑問型」の発話で相手の返答を促す必要がなく、「平叙型」の発話によって提案を提示することが多いのではないかと考えられる。

このように、日本語とロシア語では、「提案」における発話の形式および「提案に対する反応」の示し方には相違がみられた。ある発話行為を明示的に行うか、それとも曖昧にするかという意図は相手への配慮に表れる。第 6 章では、対人コミュニケーションにおける「配慮言語行動」に焦点を当て、これまで検討した言語現象を「協力関係の構築、維持」という観点から分析する。

6. 配慮言語行動における日本語とロシア語の異同

ここまで、第 4 章では課題解決に向けた共同作業の会話における話者交替、第 5 章では課題解決のための発話行為「提案」における発話の形式および「提案に対する反応」の示し方に着目し、日本語とロシア語の言語行動を検討してきた。最後に、複数の参加者が一つの目的を達成するために互いに協力しなければならない、という共同作業の側面を反映する項目として、配慮言語行動を取り上げる。本章では、会話参加者が話者交替および発話行為「提案」において、相手との対人関係を良好に保つために、どのような配慮言語行動を取るかについて述べる。

「配慮言語行動」とは、「対人関係に留意して行う言語表現と言語行動」(三宅和子 2011, p.10)と定義されており、語用論ではポライトネス研究の中で扱われる概念である。ポライトネス研究は、敬意を表す表現や、丁寧度による表現の順位付けから始まり、次第に定型表現のみに限らない、共同発話、ヘッジ、あいづち、言いよどみ等という言語行動も取り上げられてきた。2.3 で述べたように、近年、ポライトネス研究では様々なアプローチが行われ、研究者によって「ポライトネス」という概念の捉え方も異なる。本研究では、具体的な言語現象を指すものとして「配慮言語行動」という用語を用いる。

本研究で扱う共同作業の会話データでは、複数の会話参加者が協力し、一つの課題を解決している。作業に取り組む参加者の間で良好な関係が成立すれば、互いの協力によって作業がスムーズに進み、目的が達成される。したがって、共同作業の場面では相手との対人関係を配慮した言語行動が必要となる。本研究では、課題解決に向けた共同作業の場面における配慮言語行動を「作業に関する情報伝達よりも、共同で作業に取り組む相手と協力関係を維持するために行う言語行動」と定義する。

本章では、発話の内容への配慮、発話権への配慮、および発語内効力への配慮の 3 点について分析する。6.1 では、話者交替における配慮言語行動について述べる。Sacks, Schegloff and Jefferson(1974)が指摘しているように、二者間会話と三者間会話ではターンの分布が異なる。二者間会話では、1 人の話し手に対して聞き手が 1 人しかいないため、その聞き手が必然的に次の話し手になる。しかし、三者間会話では、現在の話し手に対して聞き手が 2 人いるため、話したい会話参加者が次のターンを与えられるとは限らない。そのため、次に話したい会話参加者が「自己選択」を行う必要があるとされている。第 4 章で示した量的分析の結果から分かるように、本研究の会話データでは日本語、ロシア語ともに「自己選択」によるターン取りが非常に多かった。また、発話の重なりでは、自己選択者が話者交替に適

切ではない箇所でターンを取ることが多くみられた。しかし、適切ではない箇所でターンを取るとことは相手の発話権を侵害する行動であり、相手との協力関係の妨げになると考えられる。一方、相手を次の話し手として選択し、ターンを譲ることは相手と良好な関係を維持する協調的行動と捉えられる。このことから、6.1.1 では、「現在の話し手が次の話し手を選択」する発話の内容を分析し、現在の話し手にみられる配慮言語行動について述べる。そして、6.1.2 では、「自己選択」の際に生じる発話の重なりを取り上げ、重なりの後行話者（自己選択者）にみられる配慮言語行動について述べる。

6.2 および 6.3 では、「提案」と「提案に対する反応」における配慮言語行動について述べる。課題解決に向けた共同作業の会話においては、参加者は、目的を達成するために、課題に関する提案を出しつつ作業に取り組んでいる。第5章で述べたように、Searle(1975, 1976, 1979)の分類では「提案」は「指示型」の発話行為に属する。つまり、発話行為「提案」は、話し手が聞き手にある行為をさせようと試みる行為であり、聞き手にある程度の負担をもたらすということである。したがって、提案者は相手との協力関係を維持できるよう、「提案」の発話内効力に配慮し、「提案」による負担を軽減する必要がある。

被提案者側の反応を考えると、被提案者が相手の提案を受諾すれば、参加者間で良好な対人関係が構築され、作業がよりスムーズに進むと考えられる。しかし、参加者同士の意向が必ずしも一致するとは限らない。被提案者は、適切ではないと判断した提案を拒否すれば、受け手側の意向が実現することになる。一方、それと同時に、参加者間の関係が悪化し、相手の協力を得ることが困難になる可能性もある。このことから、6.3.1 では、「提案」による負担を軽減する配慮言語行動の一つであるヘッジに着目する。そして、6.3.2 では、被提案者の反応に焦点を当て、反応の明確さという観点から提案者への配慮言語行動について述べる。6.4 では、本章の結果をまとめる。

6.1 話者交替における配慮言語行動

本節では話者交替の際に取られる配慮言語行動について述べる。まず、「現在の話し手が次の話し手を選択」する場合のターン割り当てに焦点を当て、発話の内容に配慮した言語行動について述べる。次に、「自己選択」における「TRP(transition-relevance place)ではない箇所の発話の重なり」、すなわち、重なりの先行発話においてターン移行に不適切な箇所で生じたものを取り上げ、先行話者の発話権に配慮した言語行動について述べる。

6.1.1 「現在の話し手が次の話し手を選択」する場合の配慮言語行動

「現在の話し手が次の話し手を選択」する場合は、選択された会話参加者が優先的に発話権を与えられる。以下、「現在の話し手が次の話し手を選択」する発話の内容に着目し、日本語とロシア語における配慮言語行動について述べる。

「現在の話し手が次の話し手を選択」する発話の内容をみると、日本語のデータでは「作業における確認」(51.65%)、「意見要求」(25.27%)、「同意要求」(15.38%)の発話が多かった。ロシア語も「作業における確認」(45.45%)の発話が最も多かった。しかし、日本語と異なり「意見要求」(日=25.27%; 露=7.27%)の発話が少なく、「補足説明の要求」(日=3.30%; 露=40.00%)の発話が多かった(表 17)。

表 17 日本語およびロシア語のデータにおける発話の内容

発話の内容	件数(%)			
	日本語		ロシア語	
作業における確認	47	(51.65)	25	(45.45)
意見要求	23	(25.27)	4	(7.27)
同意要求	14	(15.38)	0	(0.00)
補足説明の要求	3	(3.30)	22	(40.00)
課題に関する指示	2	(2.20)	0	(0.00)
許可を求める	1	(1.10)	0	(0.00)
申し出	1	(1.10)	1	(1.82)
相手の所属の確認	0	(0.00)	2	(3.64)
その他(話し手の発話が正確に聞き取り不能なもの)	0	(0.00)	1	(1.82)
合計	91	(100.00)	55	(100.00)

以下、日本語とロシア語に特徴的にみられた発話の内容の具体例を挙げる。

まず、日本語およびロシア語に多くみられた「作業における確認」の談話例である((103)~(104))。

(103) [JF08]

318 話者 A13 なんか、これが [カード6と2] 一番繋がるか<な::って思った>{<},,

319 話者 B13 <う::ん>{>},

- 320 話者 A13 <やっぱ>{<}.
 →321 話者 B13 <え, こう[↑]って>{>}こと[↑]?.
 322 《沈黙 1.13 秒》
 323 話者 A13 うん, そうそうそう, 6 で 2 で<行って>{<}.

ライン 318、320 では、話者 A13 は「なんか、これが一番繋がるかな…って思った、やっぱ」と提案している。それに対して、話者 B13 は「え, こう[↑]ってこと[↑]?」と確認の質問をし（ライン 321）、非明示的に次の話し手として話者 A13 を選択している。

(104) [RM05]

- 409 話者 B25 A možhno sdelat`, prosto pomenyat` mestami <vot
 and may do just change places here
 s::>{<},,
 with
 410 話者 A25 <e`to doroga>{>} k kamnyu.
 this way to stone
 これは石への道だ [カード 2]。
 411 話者 B25 vot s toj, vot samaya levaya.
 here with that here the_most left
 こうしてもいいかも、単にそれを、一番左のを置き換えてもいいかも。
 412 《沈黙 1.07 秒》
 →413 話者 A25 Vot tak?
 like_this
 どうか?
 414 話者 B25 Nu da, a chyo `chto` ?.
 well yes so what
 まあ、そうだよ、何か?

ライン 409、411 の発話では、話者 B25 は “*pomenyat` mestami vot vot s toj*” (「それを置き換える」) と絵カードの位置を変えることを提案している。それに対して、ライン 413 で話者 A25 は絵カードの位置を変え、話者 B25 に “*Vot tak?*” (「どうか?」) と確認の質問

をし、非明示的に次の話し手として話者 B25 を選択している。

日本語およびロシア語のデータから分かるように、共同で作業を進める上で、相手との相互理解が重要である。本データでは、日本語もロシア語も、「現在の話し手が次の話し手を選択」する場合は「作業における確認」をすることが最も多かった。

一方、次の「意見要求」および「同意要求」のように、日本語に特徴的にみられたものもある。

(105)は、次の話し手として選択された会話参加者が「意見を要求」されている談話例である。

(105) [JM02]

→195 話者 A02 これ「話者 C02 姓」さんの的に、なんか、《沈黙 0.69 秒》ストーリー
思いつかれます[↑]?=.

196 話者 C02 =いやっ、これ無理なんじゃないすか[↓]?.

ライン 195 で話者 A02 は「「話者 C02 姓」さんの的に」と明示的に話者 C02 を次の話し手と選択し、「ストーリー思いつかれます[↑]?」とストーリーの内容について意見を求めている。

また、以下の(106)および(107)のように、2 人の会話参加者の間で意見が分かれた場合に、話し手が「第三者」としての 3 人目の参加者に「同意要求」をすることもみられた。

(106) [JF06]

169 話者 C11 <これは::>{>}10 の後に::6 が来るんですかね?.

→170 話者 A11 唐..突ですよね、[話者 B11 を見る] 独り占めし<ていたりで>{<}.
171 話者 B11 <う::ん>{>}.

ライン 169 では、話者 C11 は絵カードの順番について「6 が来るんですかね?」と提案している。その提案を話者 A11 は「唐..突」と拒否し、文末表現の「～よね」の使用とアイコンタクトの組み合わせで話者 B11 に同意を求めている（ライン 170）。

(107) [JF10]

155 話者 B15 めっちゃ最初さ、仲悪かったんだよ.

- 156 《沈黙 1.13 秒》
- 157 話者 A15 <笑いながら>なんか,,
- 158 話者 C15 <笑い>
- 159 話者 A15 <笑い>なんでだよ::?.
- 160 話者 B15 え, で, 仲悪くて, “皆冷たいな::, あ, りんごだ”, 食べてる,
“あ, あいつ食べてんじゃん”, “おい, ね, 取ろうぜ取ろうぜ”,
“取れね::” みたいな.
- 161 《沈黙 0.87 秒》
- 162 話者 B15 <違いますか?>{<} [話者 C15 を見る].
- 163 話者 C15 <あ::>{>}<笑い>.
- 164 話者 A15 あ::<笑い>, すごい, <賢い>{<}.

ライン 155 では、話者 B15 はストーリーのキャラクターが「仲悪かった」と提案しているが、話者 A15 は「なんでだよ::?」(ライン 159) と不同意を示している。そこで話者 B15 は、「え, で, 仲悪くて, “皆冷たいな::, あ, りんごだ”, 食べてる, “あ, あいつ食べてんじゃん”, “おい, ね, 取ろうぜ取ろうぜ”, “取れね::” みたいな」とより詳しく提案を説明し(ライン 160)、ライン 162 で、この提案についてまだ発言していない話者 C15 に「違いますか?」と同意を求める。

このように、日本語のデータでは、二話者間で意見が異なる場合は、発話中の話し手が 3 人目の参加者に話しかけ、同意を求めたりすることによって、支持を得ようとするのが特徴的である。

一方、ロシア語は日本語と異なり、相手に「意見要求」の発話が非常に少なく、「同意要求」の発話は全くなかった。ロシア語で「作業における確認」の次に多くみられた発話の内容は「補足説明の要求」である((108)~(109))。

(108)は、話者 A22 がストーリー展開について提案しているシーンである。

(108) [RM02]

- 129 話者 A22]] <u nego>{>} [話者 C22 からカード 11 を取り上げる],
at him
u ne.. u nego ne poluchilos`, vot.
at at him not managed here

彼は、彼は [りんごを取ることが] できなかった。

→130 話者 C22 Pochemu ne poluchilos`?.

why not managed

なぜできなかったの？

131 話者 A22 Nu ne znayu, ne po., nu vidish`, on ne takoj

well not know not well see he not so

bol'shoj.

big

まあ、分からないよ、ほら、彼はそんなに大きくない。

ライン 129 では、話者 A22 はストーリー展開について “*u nego ne poluchilos`*” (「彼は [りんごを取ることが] できなかった」) と提案している。それに対して、ライン 130 で話者 C22 は “*Pochemu ne poluchilos`?*” (「なぜできなかったの?」) とさらに説明を求め、話者 A22 にターンを渡している。ライン 131 では、話者 A22 はまず “*ne znayu*” (「分からない」) と答え、“*ne po..[luchilos]*” (「[で] できなかった」) と言いよどみつつ要求された説明を加えている。

次の(109)においても、話し手が先行話者の発話について補足説明を求めている。

(109) [RF06]

146 話者 C31 Slushajte, a ya schitayu, e`to, naverno, voobshe odno

listen but I think this probably at_all one

iz pervy`x.

of first

ね、これ [カード6] は多分最初のほうの一つだと思う。

→147 話者 A31 V <smysle?><{>.

in meaning

どういうこと？

148 話者 C31 <E`:: potomu chto>>{>, pochemu e`:: oni dejstvuyut

er because why er they act

porozn', a ne s samogo nachala?.

separately but not from the_very beginning

えーと、というのは、なぜ、えーと、彼らは別々に動いているのか、
最初から「一緒に」やらないで。

ライン 146 では話者 C31 は “*e`to, naverno, voobshe odno iz pervy`x*” (「多分これは最初のほうの一つ」) と言い、カード 6 をストーリーの始めの部分に入れることを提案している。それに対して、ライン 147 で話者 A31 は “*Vsmy`sle?*” (「どういうこと?」) とより詳しい説明を求め、話者 C31 にターンを渡している。ライン 148 で話者 C31 は補足しているが、発話の途中で言いよどみ (“*e`::*”) が 2 回発生していることから、話者 C31 が答えに困っていることが分かる。

日本語のデータにおいても、会話参加者が補足説明を求められると、相手の質問に答えられないという例がみられた。

(110) [JF08]

- 195 話者 B13 この、この 2 人で取ろうと<したん>{<},,
196 話者 C13 <あ::>{>},,
197 話者 B13 だけど、取れなくて::.
198 話者 A13 <うん>{<}.
199 話者 C13 <っそう>{>}かもしれ<ないですね>{<}.
→200 話者 A13 <でも>{>}, でもこの人は何ってゆってる ‘言っている’ [↑]?.
201 《沈黙 1.19 秒》
→202 話者 B13 えっ[↑], <ん::>{<}.

ライン 195、197 の発話では、話者 B13 はストーリーの展開について「2 人で取ろうとしたんだけど、取れなくて::」と提案している。それに対して、ライン 200 では話者 A13 は「でも、この人は何ってゆってる?」と補足説明を求め、話者 B13 にターンを渡している。次の話し手として選択された話者 B13 はライン 202 でターンを取っているが、話者 A13 の質問に答えられず、「えっ[↑], ん::」と言いよどんでいる。

上記の(108)、(109)、(110)から分かるように、次の話し手として選択され補足説明を求められた会話参加者が答えに困る危険性がある。そのため、日本語では、このような「補足説

明の要求」は非常に少ないと考えられる。しかし、ロシア語のデータでは、「補足説明の要求」によって選択された会話参加者が負担を受ける可能性があるにも関わらず、「補足説明の要求」が多かった。

本会話データでは、現在の話し手が次の話し手を選択する発話の内容をみると、日本語母語話者は、他の会話参加者を作業に引き込もうと、「意見要求」および「同意要求」によって相手に発話権を与えていた。また、相手にとって負担となりうる「補足説明の要求」は非常に少なかった。ロシア語のデータでは、それと対照的な結果が得られ、相手にとって負担となりうる「補足説明の要求」が多かった。ロシア語母語話者が共同で作業を行う際に、対人関係では相手の正確な理解が重視され、共同作業の参加者として課題解決に貢献することが重要であると考えられる。

作業終了後に行われたフォローアップ・アンケートへの回答からも同様の傾向が示唆された。「会話で気を付けていたことがあれば、書いてください」という項目では、日本語母語話者は「意見を聞く、取り入れる」、「3人の会話のバランスが均等になるように」、「自分がしゃべりすぎない」、「黙りすぎずしゃべりすぎず」等と回答している。それに対して、ロシア語母語話者は「相手の論理展開」、「相手のアイディアや考えの内容」、「ストーリーの流れが論理的であるように」、「相手の提案をどのように課題解決に役立たせるか」等に気を付けていたということである。

6.1.2 TRP ではない箇所の発話の重なりにおける配慮言語行動

以下、「自己選択」による話者交替において TRP ではない箇所に生じた発話の重なりを取り上げ、発話権への配慮について述べる。

TRP における発話の重なりは、自己選択者（重なりの後行話者）が現在の話し手（重なりの先行話者）の発話が終了することを予測し、早めに話し始めた結果生じるものである。このような重なりは短く、先行発話の意味も明瞭である。つまり、現在の話し手（重なりの先行話者）の発話権が侵害されない。したがって、TRP における発話の重なりは先行話者の発話権に配慮した言語行動と捉えられる。

一方、TRP ではない箇所で生じる発話の重なりでは、自己選択者が、現在の話し手（重なりの先行話者）の発話の意味が明瞭ではない箇所から話し始める。このような発話の重なりは、先行発話を中断させ、先行話者の発話権を侵害する割り込みによるものである。

(111)は、話者 C03 と話者 B03 が絵カードに描かれているエピソードについて話し合っ

いるシーンである。「【】」の記号は、中断された発話、「【】」は中断をもたらした発話を示す。

(111) [JM03]

- 88 話者 C03 これはりんご落ちてるんだよな[↑].
89 話者 B03 うん.
90 《沈黙 3.02 秒》
→91 話者 B03 落ちてる<のを>{<} 【.
→92 話者 C03 】 <これ [カード 11] >{>} 一番最初じゃない[↑]?.
93 話者 B03 あ::.

ライン 91 では、話者 B03 は 3.02 秒の沈黙の後に「自己選択」によってターンを取り、絵カードの内容について提案をしようとしている。しかし、その途中で話者 C03 が絵カードの順番について提案を述べ始め、話者 B03 の発話の一部「のを」に「これ」を重ねる（ライン 91、92）。そして、重なりを受けた話者 B03 は発話を中断し、話者 C03 にターンを譲った後、ライン 93 で聞き手として「あ::」とあいづちを打つ。

ロシア語の会話データにおいても同様の例がみられた。

(112) [RM02]

- 100 話者 B22 =Mozhet <by`t`, e`ti>{<} 【.
maybe these
多分この [発話を中断].
→101 話者 C22 】 <A e`to ix>{>}, e`to ix, ix istoriya.
but it their it their their story
これは彼らの、これは彼らのストーリーだよ。
102 話者 C22 Oni rasskazy`vayut tipa, chto by`lo vchera,
they tell kind_of that was yesterday
na<primer>{<},,
for_example
103 話者 B22 <A::>{>}.
ah
あー。

104 話者 C22 dopus<tim>{<}.
assume

彼らが昨日のことを話しているとか。

ライン 100 で話者 B22 はストーリーの展開について提案を話し始めるが、話者 C22 は “by` t` e` ti” (「[多]分この」) の部分に “Ae` to ix” (「これは彼らの」) と発話を重ねている。重なりを受けた話者 B22 は発話を中断し、話者 C22 にターンを譲った後、ライン 103 で聞き手として “A::” (「あー」) とあいづちを打つ。

上記の(111)、(112)では自己選択者(重なりの後行話者)が TRP ではない箇所で話し始めたため、現在の話し手(重なりの先行話者)が十分に発話権を行使することができず、途中で自己選択者にターンを譲る。つまり、現在の話し手の発話権が侵害されているということである。

相手のさえぎりは非協調的な行動であるため、重なりが TRP ではない箇所に生じた場合は、自己選択者(重なりの後行話者)が自分の発話を中断し、ターンを撤回することが期待される((113)~(114))。

(113)は会話参加者の2人が絵カードの内容について話しているシーンである。

(113) [JM01]

241 話者 A01 あ、で、<事情は>{<},,
→242 話者 C01 <あ、見つけて[->]>{>}.
243 話者 A01 事情話したみたいな感じですか?.

ライン 241 では、話者 A01 はストーリーについて提案を話し始めターンを取っている。そして、話者 C01 は遅れて話し始めたため、話者 A01 の発話の一部「事情は」と「あ、見つけて[->]」が重なってしまう。しかし、話者 A01 の発話が進行中であるため、話者 C01 は途中で自分の発話を中断し、ターンを撤回している。

次の(114)においても TRP ではない箇所で話し始めた自己選択者(重なりの後行話者)がターンを撤回している。

(114) [RF07]

170 話者 C32 <tut oni>{>} zlyatsya, chto oni ne mogut podnyat`
here they be_angry that they not can lift

- <kamen` i prosyat>{<},,
stone and ask
- 171 話者 B32 <A mozhet oni>{>}.
and maybe they
多分彼らは [発話を中断]。
- 172 話者 C32 ego?.
him
ここで彼らが石を持ち上げられないから怒って、彼に頼むか？
- 173 話者 C32 I togda e`to vot.. kuda-to tuda <笑いながら>
and then this here somewhere there
vpisy`vaetsya.
fit_in
そうしたら、これはその辺に入る。
- 174 《沈黙 1.54 秒》
- 175 話者 B32 A mozhet, oni poruga::lis`,,
and maybe they quarreled
- 176 話者 A32 <笑い>
- 177 話者 B32 i on ot e`togo idyot takoj pechal`ny`j.
and he from this goes such sad
彼らと喧嘩したから、彼は悲しんで歩いているのかもしれない。

ライン 170 で話者 C32 は “*oni zlyatsya, chto oni ne mogut podnyat*” (「彼らが[石を]持ち上げられないから怒っている」) とストーリーの展開について提案を述べ始めている。その途中で話者 B32 は異なる提案を思いついて割り込んでしまう (ライン 171)。話者 B32 の割り込みによって、話者 C32 の発話の一部 “*kamen`i prosyat*” (「石、そして頼む」) と話者 B32 の発話 “*A mozhet oni*” (「多分彼らは」) が重なる。しかし、話者交替システムでは先に話し始めたものが発話権を持つため、話者 B32 は発話を中断しターンを撤回する。そして、話者 C32 はライン 173 でターンを終了した後、話者 B32 は中断した発話 “*A mozhet oni poruga::lis*” (「多分彼らは喧嘩した」) を再度開始する (ライン 175)。このように、重なるの後行話者が先行話者の発話権に配慮し、適切な場所でターンを取りなおしている。

しかし、自己選択者 (重なるの後行話者) が何らかの理由でターンを撤回しないこともあ

る。その場合、自己選択者が早めにターンを取りつつも、発話の重なりによる負担を軽減するための言語行動を行う。本会話データでは、「言いよどみ」および「共同発話」⁴⁷という配慮言語行動がみられた。

6.1.2.1 重なりにおける後行発話の進行を遅らせるための「言いよどみ」

池田(2008, p.2)は、言いよどみについて、聞き手への配慮として「デリケートな発言内容の和らげ」および断りや不同意などをほのめかすという機能があることを指摘している。本研究では、発話の重なりによる負担の軽減方法として、「重なりの後行発話の進行を遅らせる」という言いよどみの機能について述べる。

本会話データにおける言いよどみでは、「延伸」および「とぎれ」⁴⁸、「フィラーの挿入」がみられた。以下、それぞれの談話例を挙げ、日本語とロシア語における配慮言語行動としての言いよどみについて述べる。

「延伸」の言いよどみでは、語の一部が長音化する。以下の談話例では長音を「::」の記号で記し、言いよどみの部分を下線で示す。

(115)は、会話参加者が、岩が描かれている絵カードおよびりんごの木が描かれている絵カードをまとめているシーンである。

(115) [JF08]

- 30 話者 A13 岩..と, じゃ, 岩とりん<ごで[↓]>{<}.
→31 話者 C13 <これ::>{>}これもりんごだ [カード 10 を動かす].
32 話者 A13 これもりんご,,
33 話者 B13 これは<岩[↑]? [カード 2]>{<}.
34 話者 A13 <ですか[↓]?>{>}.

ライン 31 の発話は重なりの後行発話であり、重なりの部分「これ::」には「延伸」の言いよどみが生じている。ここで、話者 C13 は次のターンを確保するために早めに話し始める。

⁴⁷ 先行研究では、この言語現象を含むものとして「共話」(水谷 1988, 1993)、「先取り」(田中 1998)、「共同発話文」(宇佐美 2001b, 2006) が取り上げられている。

⁴⁸ 「延伸」および「とぎれ」という用語は、非流ちょう性を扱う研究の定延・中川(2005)を参考にした。また、定延・中川(2005)は「延伸」および「とぎれ」を「つつかえ」のサブカテゴリーとしているが、本研究では「つつかえ」という用語は用いない。

しかし、現在の話し手（重なりの先行話者）である話者 A13 の発話が途中であるため、話者 C13 は話者 A13 の発話権に配慮し、言いよどみによって自分の発話の進行を遅らせている。

日本語のデータでみられた「延伸」の言いよどみ（「これ_ん」、「見た_ん」、「たぶん_ん」、「それ_ん」）は、語の最後の 1 拍に出現している。

ロシア語の会話データにおいても「延伸」の言いよどみがみられる。(116)は、出来上がったストーリーに満足しない話者 C31 が別の展開パターンを考えることを提案しているシーンである。

(116) [RF06]

- 416 話者 C31 <A mozhet>{>} eshhyo chego-nibud` poprobuem?.
- and maybe else something try
- 他にも何かやってみない？
- 417 話者 A31 Nu shha 'sejchas', vot ya <dumayu[↓]>{<}.
well now here I think
- まあ、ちょっと待って。どうしようかと考えている。
- 418 話者 C31 <N::am>{>} dolgo prosto eshhyo varit`sya zdes`.
- to_us for_a_long_time just still stew(spend_time) here
- まだ長い時間ここにいないといけないけど。

(116)では、ライン 417 の “dumayu[↓]”（「考えている」）とライン 418 の “N::am”（「私たちに」）が重なっている。話者 C31 が言いよどんでいるため、“nam” の最初の子音が延伸されている。日本語の例と同様に、話者 C31 は早めにターンを取りつつも、言いよどみによって発話の進行を遅らせている。

日本語と異なり、ロシア語では、「延伸」の言いよどみは語の最初の音韻（“n::emnogo” 「少し」、「i::」 「そして」、「o::n」 「彼」、「s::am」 「自分」、「s::tal」 「なった」）に出現している。

次に、「とぎれ」タイプの言いよどみの例を挙げる。「とぎれ」は、語がとぎれたり、僅かな間を挟み、一部が繰り返される現象である。談話例では僅かな間を「..」で示す。

(117)は、会話参加者が絵カードに描かれている内容について話し合っているシーンである。

(117) [JM01]

- 273 話者 B01 なんか, <途中>{<},,
→274 話者 A01 <ちよっ..ちよっ..ちよっ>{>},,
275 話者 B01 強引な.
276 話者 A01 ん<笑いながら>ちよつと強引な解釈が.

ライン 274、275 の発話では「途中」と「ちよっ..ちよっ..ちよっ」の部分が重なっている。
話者 A01 は、発話権を行使している話者 B01 への配慮からターン取りをためらい、重なった部分で「ちよっ..ちよっ..ちよっ」と言いよどんでいる。

また、「とぎれ」の言いよどみでは、次の(118)のようにとぎれた単語が繰り返されるが多かった。

(118) [JF09]

- 95 話者 C14 で、《沈黙 2.06 秒》で、どっかにこういうの [カード 3] が<入るとか>{<},,
→96 話者 A14 <こ..これは[↑]?>{>}.
97 話者 C14 ですかね?.
98 話者 A14 石[↑]?.

日本語のデータにみられた「とぎれ」タイプの言いよどみは、主に語の最初の 1 拍に出現している（「さ..三」、「の..伸びた」、「と..取る」、「ちよ..ちよつと」、「ま..まじめ」、「こ..これ」、「こ..個別的に」等）。

次の(119)は、会話参加者がストーリーの展開について提案を出し合っているシーンである。

(119) [RF08]

- 77 話者 B33 Pobezhali za e`tim <yablokom[↑]>{<},,
ran for this apple
→78 話者 C33 <Po..pobezhali>{>}, naverno, vot tak vot i:: ne smogli
ran probably like_this here and not could
ego dostat`.
it get

多分、こう走って、取れなかった。

79 話者 B33 *potom podumali ka::men`[↑], naverhoe, pritashhit` tut[→].*
 then thought stone probably bring here

りんごを取りに行って、そして、ここで石を持ってこようと思ったのか
もしれない。

話者 B33 は、ライン 77 で先に提案を述べ始めている。その途中で話者 C33 は
“*yablokom*[↑]” (「りんご」) に “*Po..pobezhali*” (「走った」) と重ね、話者 B33 の提案内
容に補足している (ライン 78)。先行発話と重なった “*Po..pobezhali*” (「走った」) の最初
の音節に「とぎれ」の言いよどみが発生し、“*po..*” が繰り返されている。

日本語と同様に、ロシア語においても「とぎれ」は基本的に語の最初に出現している。し
かし、日本語と異なり、ロシア語における「とぎれ」の言いよどみは音節を作る母音の後
(“*po..potom*” 「そして」、 “*u..u* ” 「所有を表す前置詞」、 “*lo..logichnej*” 「より論理的に」、
“*vo..vot*” 「指示助詞」、 “*ya..yajcza*” 「卵」、 “*pe..pered*” 「前」) のみならず、単独の子音の
後 (“*sm..smotrite*” 「見てくれ」、 “*p..podsadi*” 「乗せてくれ」、 “*n..ne*” 「否定助詞」) もみ
られる。

次は「フィラーの挿入」による言いよどみの例である。日本語では、「なんか」、「まあ」、
「ん::」、「え(::)」というフィラーの使用がみられた。

(120)は、会話参加者が絵カードの内容について話し合っているシーンである。以下、フ
ィラーによる言いよどみを下線で示す。

(120) [JF07]

- 40 話者 B12 ん、これ..[カード6] <笑いながら> 分かんない=.
- 41 話者 B12 =何の <笑いながら> <シーン[↓]?>{<}.
→42 話者 A12 <なんか>{>}, これを[↑][カード3],,
- 43 話者 B12 うん.
- 44 話者 A12 なんか, 岩を<退けてる>{<}.

話者 B12 は、ライン 40 で絵カードに描かれている内容について疑問を述べている。話者
A12 は、話者 B12 の「シーン[↓]」にフィラーの「なんか」を重ねている。つまり、話者
A12 は早めにターンを取りつつも、現在の話し手 (重なるの先行話者) の発話権を侵害しな

いよう、意味的に内容を持たないフィラーから発話を始める。

ロシア語のデータでは、「自己選択」による発話の重なりにおいて “*e`(:)*”、“*e`(:)m*”, “*nu`(:)*” というフィラーが用いられた。(121)では、話者 A25 の疑問に話者 C25 が答え、話者 B25 はそれに同意しているシーンである。

(121) [RM05]

- 208 話者 A25 Vot on kogda poshyol[↑].
 here he when went
 これは彼が歩いている時だ。
- 209 話者 A25 Gde?.
 where
 どこだ？
- 210 話者 A25 A::, pochemu syuda, 《沈黙 1.63 秒》 pochemu on
 ah why here why he
 syuda?.
 here
 あー、なぜここに、なぜ彼はここに [来た]？
- 211 《沈黙 0.87 秒》
- 212 話者 C25 A on v e`to vremya <idyot[↓]>{<}.
 and he at this time goes
 彼はその時歩いているよ。
- 213 話者 B25 <Nu>{>} 《沈黙 0.80 秒》 nu, <kstati, da, mozhno
 well well by_the_way yes it_is_possible
 tak sdelat`[↓]>{<}.
 like_this do
 まあ、まあ、そう言えばそうだね、それでいける。

ライン 208 では、話者 A25 はストーリー展開について提案を述べ始めているが、ストーリー作りに行き詰まり、ライン 210 で “*pochemu on syuda?*” (「なぜ彼はここに[来た]？」) と疑問を述べている。0.87 秒の沈黙の後に話者 C25 は「自己選択」し、“*A on v e`to vremya idyot[↓]*” (「彼はその時歩いているよ」) と話者 A25 の疑問に答えている。そして、話者 B25

は話者 C25 の発話の一部 “*idiot*[↓]” (「歩いている」) にフィラーの “*nu*” (「まあ」) を重ね、話者 C25 の答えに同意を示す (ライン 213)。

ライン 210 の話者 A25 の発話は、隣接ペア「質問—応答」における第一成分である。話者 C25 は、他の話者より先に話し始め、隣接ペアの第二成分となる「応答」をしている。したがって、話者 C25 は優先的に発話権を持つことになる。その点に配慮し、話者 B25 は、早めにターンを取りつつも、話者 C25 の発話権を侵害しないよう、フィラーの “*nu*” から発話を始めている。さらに、話者 B25 は 0.80 秒の間を取り、話者 C25 の発話が終了したことを確認してからフィラーを繰り返す、発話を続ける。

上記の(115)～(121)では、日本語およびロシア語に共通してみられる「延伸」、「とぎれ」、「フィラー挿入」の言いよどみを取り上げた。いずれも、TRP ではない箇所における重なりに発生したものである。ターン移行に適切ではない箇所であるため、重なりの後行話者 (自己選択者) が言いよどみによって自分の発話の進行を遅らせ、先行話者 (現在の話し手) に発話を完了する時間を与えることがみられた。つまり、以下に取り上げる言いよどみは、自己選択者が現在の話し手の発話権に配慮した言語行動と捉えられる。

上記の 3 種類の言いよどみの比率については、 χ^2 の検定では有意差は認められなかったが、それぞれの項目が占めている割合をみると、日本語のデータで最も多いのは「とぎれ」タイプの言いよどみ(50.00%)である。それに対して、ロシア語では「フィラーの挿入」(47.73%)による言いよどみが最も多い。また、日本語、ロシア語ともに「延伸」タイプの言いよどみが最も少ない(表 7)。

表 18 発話の重なりにおける言いよどみの比較

	延伸(%)	とぎれ(%)	フィラーの挿入(%)	言い淀みの総数
日本語	5 (16.67)	15 (50.00)	10 (33.33)	30 (100.00)
ロシア語	8 (18.18)	15 (34.09)	21 (47.73)	44 (100.00)
	n.s.			

日本語母語話者は意味的な内容を持つ発話の部分で「とぎれ」の言いよどみを用い、ターン取りをためらう形で自分の発話の進行を遅らせている。一方、ロシア語は、完全に意味を持たない「フィラー」を用いることによって間を埋め、発話の開始を遅らせている。つまり、ロシア語母語話者はターンを確保しつつも、先行話者が発話を終了するまでは実質的な内容を話さないことが多い。このことから、ロシア語の会話は、日本語に比べ、1 ターンに 1

人の話者が話すほうが好まれるのではないかと考えられる。

6.1.2.2 現在の話し手のターンを共有するための「共同発話」

以下、TRP ではない箇所で生じた発話の重なりにおいて、自己選択者（重なりの後行話者）が「先行発話を完成」させるという配慮言語行動について述べる。(111)、(112)で示したように、ターン移行に適切ではない箇所における発話の重なりは先行話者の発話権を侵害し、先行発話が中断される可能性がある。「共同発話」では、自己選択者（重なりの後行話者）は現在の話し手（重なりの先行話者）のターンを強引に奪うのではなく、現在の話し手と共同で発話を完成させることによって、発話の終了まで現在のターンを共有し、次のターンを確保する。

(122)は会話参加者 3 人が交互にストーリーの内容について提案を出し合っているシーンである。ライン 114 およびライン 115 の発話が TRP ではない箇所で重なっている。以降、「共同発話」をなすものを「→」で示す。

(122) [JM03]

- 113 話者 B03 じゃ、ここはこうなるんですね。
→114 話者 C03 で、“僕たちも<りんごが欲し::い>{<}。
→115 話者 A03 <“りんごを取りたい”みたいな>{>}。
116 話者 B03 うん。
117 《沈黙 3.32 秒》
118 話者 A03 取りたくて取るけど、取れなくて::; 2 人は、

ライン 114 では、話者 C03 は「で、“僕たちも”」とキャラクターのセリフを話し始めている。ライン 115 では、話者 A03 はその続きを予測し、「“りんごを取りたい”」と重ねつつ話者 C03 の発話を完成している。それに対して、話者 B03 は聞き手として「うん」とあいづちを打ち（ライン 116）、ライン 118 で話者 A03 は話し手としてターンを続けている。

次の(123)も会話参加者がストーリー内容について提案を出し合っているシーンである。

したがって、共同作業において他の参加者と協力関係を維持するために、発話行為の発語内効力への配慮が必要となると考えられる。つまり、提案者が表現の面で負担度を調節しなければならないということである。

本節では、提案の命題内容やそれに対する話し手の態度を調節する言語表現としてヘッジを取り上げ、Prince, Frader and Bosk (1982)によるヘッジの分類に基づいた分析結果を示す。

3.2.4.2 で述べたように、Prince, Frader and Bosk (1982)は、ヘッジを「近似表現」および「保護表現」の2つに分類している。「近似表現」とは、命題内容の真偽を左右する表現のことである(“somehow”、“sort of”、“a little bit”等)(Prince, Frader and Bosk 1982, p.86)。一方、「保護表現」とは、命題について話し手の確信の度合いを表す表現のことである(“probably”、“I think”等)(Prince, Frader and Bosk 1982, p.89)。

量的分析では、提案の発話におけるヘッジの使用を比較すると、日本語のほうがヘッジを含む発話文が有意に多かった(日=60.04%; 露=45.21%)(表 20)。また、ヘッジの種類比率をみると、日本語、ロシア語ともに話し手の確信度を表す「保護表現」(日=53.58%; 露=54.26%)が命題内容を左右する「近似表現」(日=46.42%; 露=45.74%)より多いことが分かった。

表 20 「提案」におけるヘッジの使用の有無

	ヘッジを含まない発話文 (%)		ヘッジを含む発話文 (%)		「提案」発話の 総発話文数	
日本語	223	(39.96)	335	(60.04)	558	(100.00)
ロシア語	498	(54.79)	411	(45.21)	909	(100.00)
						$p<.0001$

表 21 「提案」におけるヘッジの比較

	保護表現(%)		近似表現(%)		合計	
日本語	307	(53.58)	266	(46.42)	573	(100.00)
ロシア語	325	(54.26)	274	(45.74)	599	(100.00)
						n.s.

以降、5.2 で形式の観点から分類した「平叙型」、「疑問型」、「命令型」の「提案」発話それぞれにおけるヘッジの使用について量的分析の結果を示す。そして、使用頻度の高いヘッ

ジの談話例を挙げ、日本語とロシア語の異同について述べる。

6.2.1 「平叙型」の発話におけるヘッジ

量的分析では、日本語はロシア語よりヘッジを含む「平叙型」の発話が多い（日=52.40%；露=38.21%）ことが分かった。 χ^2 検定の結果ロシア語と日本語で有意差が認められた(表 22)。

ヘッジが用いられた発話に関しては、日本語は「保護表現」(41.90%)より「近似表現」(58.10%)のほうが多かった。一方、ロシア語では、「保護表現」(49.19%)と「近似表現」(50.81%)では大きな差がみられなかった(表 23)。

表 22 「平叙型」の発話におけるヘッジの有無

	ヘッジを含む発話文(%)		ヘッジを含まない発話文(%)		「平叙型」発話の 総発話文数	
日本語	164	(52.40)	149	(47.60)	313	(100.00)
ロシア語	295	(38.21)	477	(61.79)	772	(100.00)
						$p<.0001$

表 23 「平叙型」の発話におけるヘッジの比較

	保護表現(%)		近似表現(%)		合計	
日本語	119	(41.90)	165	(58.10)	289	(100.00)
ロシア語	212	(49.19)	219	(50.81)	431	(100.00)
						n.s.

「平叙型」の発話については、日本語のデータでは、様態の表現「～みたい（な／に）」⁴⁹、～よう（な／に）」、伝聞・引用の表現「～って、～と、～っていう、～っていうふう、～ってこと、～ということ」などのような「近似表現」が最も多くみられた。「保護表現」では、同意要求を示す終助詞の「～よね、～ね」、話し手の主観的な見解を表す「気がする、

⁴⁹ 本データにおける会話参加者の年齢は 21~29 歳であるため、使用されたヘッジには年齢による若干の偏りがみられる。「平叙型」の発話で最も多かった「～みたい（な／に）」は、陣内(2006)では「新ぼかし表現」の一つとして、日本語母語話者の若年層によくみられるものとされている。

感じがする」、可能性を表す「～かもしれない」および「多分」が多かった(表 24)。

表 24 日本語の「平叙型」の発話におけるヘッジ⁵⁰

保護表現	回数(%)	近似表現	回数(%)
～よね、～ね	34(28.57)	～みたい (な／に)、 ～よう (な／に)	61(36.97)
気がする、感じがする	29(24.37)	～って、～と、～っていう、 ～っていうふう、～ってこと、 ～ということ	37(22.42)
多分	19(15.97)		
～かもしれない	14(11.76)		
その他	23	その他	67
合計	119		165

(124)は、日本語のデータで最も多くみられたヘッジの例である。

(124) [JF06]

- 100 話者 C11 =この子が::先に 1 人で::りんご取って<て::, 食べてて::, “あ::いい
な::” みたいな>{<}.
101 話者 A11 < “あっ, いいな::” ってて::, りんご取ろうとして::>{>}.
102 話者 B11 う::ん.
103 《沈黙 1.44 秒》
104 話者 C11 かな::[↓]?.
105 話者 A11 取れないから, 助けてあげた::<笑い>.
106 話者 C11 あ::, ありそうですね.
107 話者 A11 <笑い>
→108 話者 C11 そうしたら, こうなったみたいな [カード 4].

⁵⁰ 本文の表では便宜上、全体の 10%以上を占めるヘッジのみ提示する。また、類似している表現はグループにまとめて表示する。全体のリストおよび各表現の出現回数については付録の表を参照。

ライン 100 およびライン 108 の発話は話者 C11 の提案である。話者 C11 は両方の発話でヘッジの「～みたいな」によって断定を避け、提案の命題内容を曖昧にしている。ライン 105 の話者 A11 の発話のように、「取れないから、助けてあげた::」と提案の際にヘッジを使用しないこともある。しかし、量的分析の結果からも分かるように、本データでは提案の内容をぼかすヘッジ「みたい（な／に）」が多かった。

ロシア語のデータでは、「平叙型」の発話における「近似表現」では、関係する語を不明確にする“疑問詞＋*-to / -nibud`*”（「ある～／～か」）が最も多かった。他に、様態の表現“*tipa*” / “*kak by`*”（「～みたい（な／に）」）および言いかえの表現“*to est`*”（「すなわち」）が多くみられた。「保護表現」では、話し手の主観的な見解であることを示す“(mne) *kazhetsya*”（「(私は) ～ような気がする」）、“(ya) *dumayu*”（「(私は) ～と思う」）、可能性を表す“*mozhet (by`t)*”（「～かもしれない」）および“*naverno(e)*”（「多分」）が多かった（表 25）。

表 25 ロシア語の「平叙型」の発話におけるヘッジ

保護表現	回数(%)	近似表現	回数(%)
(mne) <i>kazhetsya</i> 「～ような気がする」	78(36.79)	疑問詞＋ <i>-to / -nibud`</i> 「ある～／～か」	47(21.46)
(ya) <i>dumayu</i> 「～と思う」			
(ya) <i>predpolagayu</i> /			
(ya) <i>podozrevayu</i> 「～と推測する」			
(ya) <i>schitayu</i> 「～と考える」			
ya tak <i>ponimayu</i> 「～と理解する」			
<i>mozhet (by`t) / vozmozhno</i> 「～かもしれない」	41(19.34)	<i>tipa</i> 「～みたい(な／に)」	37(16.89)
<i>naverno(e)</i> 「多分」	40(18.87)	<i>to est` / to bish`</i> 「すなわち」	25(11.42)
		<i>kak by`</i> 「～かのように」	23(10.50)
その他	53	その他	87
合計	212		219

ロシア語は日本語と異なり、「平叙型」の発話におけるヘッジでは、提案の内容は話し手の主観的な見解であることを表す「保護表現」の“(mne) *kazhetsya*”（「(私は) ～ような気がする」）が最も多かった。

(125) [RM04]

- 80 話者 C24 Nado, mne kazhetsya, po kakim-to vzaimosvyazyam
it_is_necessary to_me seems by some interrelations
logicheskim ix vy`straivat` po-tixonechku nachinat`.
logical them line_up gradually to_begin
何らかの論理的な関連性で少しずつこれ [絵カード] を並べ始めないとい
けないような気がする。

81 《沈黙 0.82 秒》

- 82 話者 C24 <Vot e`ti vot[→]>{<} [[.
here these here
これを。

ライン 80 の発話は話者 C24 の提案である。この発話では、2 種類のヘッジがみられる。「保護表現」で最も多かった“(mne) kazhetsya” (「(私は) ~ような気がする」) および「近似表現」で最も多かった“疑問詞+to / -nibud” (「ある～／～か」) である。

ライン 80 の命題内容は「論理的な関係を手掛かりにして[絵カードを]並べる」ということであるが、話者 C24 は、提案の発話行為がもたらす負担度を軽減するために、まず、疑問形容詞の “kakim-to” (「何かの」) によって修飾の対象となる “vzaimosvyazyam” (「関係」) を不明確にする。さらに、提案の内容は「話し手の主観的な見解である」ことを示す “(mne) kazhetsya” (「(私は) ~ような気がする」) によって命題内容に対する確信度を下げる。この例で特に注意しておきたいのは “kakim-to” (「何かの」) と “vzaimosvyazyam” (「関係」) の修飾関係である。ライン 80 の発話では、“vzaimosvyazyam” (「関係」) の後に明確な修飾語 “logicheskim” (「論理的な」) がある。つまり、話者 C24 は「論理的な関係」を手掛かりにすることを提案しつつも、その前に “kakim-to” (「何かの」) を付けることによって、関係が論理的であるべきという断定を和らげている。

上記から分かるように、「平叙型」の発話では、日本語は様態を表す「近似表現」の「～みたい (な／に)」が最も多かった。一方、ロシア語は、提案の内容は話し手の主観的な見解であることを表す「保護表現」の “(mne) kazhetsya” (「(私は) ~ような気がする」) 等が最も多かった。つまり、「平叙型」の発話では、日本語母語話者は、提案の命題自体を曖昧化することによって「提案」の負担度を調節しているのである。それに対して、ロシア語母語話者は、提示される提案があくまでも話し手の主観的な見解であることを示すことに

よって「提案」の負担度を調節している。

6.2.2 「疑問型」の発話におけるヘッジ

「疑問型」の発話におけるヘッジの有無をみると、日本語に関しては、これまでの結果と同様の傾向がみられた。つまり、「提案」発話でヘッジが用いられることが多いということである。一方、ロシア語では、これまでの傾向とは異なる結果が得られた。「提案」の全発話および「平叙型」の発話ではヘッジを含まないもののほうが多かった。しかし、それと反対に「疑問型」の発話ではヘッジの使用(91.67%)が顕著であった。また、 χ^2 検定の結果、ロシア語のほうが日本語よりヘッジを含む「疑問型」の発話文が有意に多い(日=69.55%; 露=91.67%) という結果が得られた(表 26)。

表 26 「疑問型」の発話におけるヘッジの有無

	ヘッジを含む 発話文(%)		ヘッジを含まない 発話文(%)		「疑問型」発話の 総発話分数	
日本語	169	(69.55)	74	(30.45)	243	(100.00)
ロシア語	99	(91.67)	9	(8.33)	108	(100.00)
						$p<.0001$

2.3.2 で述べたように、ラリナ(Ларина 2009)は、ロシア語における「アドバイス／提案」では、発語内効力の和らげ表現(средства смягчения)、つまりヘッジが少ないと報告している。しかし、本分析結果から分かるように、「提案」の発話を形式別に見ると、「疑問型」の発話の場合は、ロシア語はヘッジ表現の使用が非常に多い⁵¹。

ヘッジの種類の比率に関しては、日本語はロシア語より命題内容の真偽を左右する「近似表現」が多い(日=34.39%; 露=23.78%) ことが分かった(表 27)。

⁵¹ ただし、ラリナ(Ларина 2009)では「アドバイス」と「提案」が区別されていないため、本研究で分析の対象とする発話行為「提案」とラリナ(Ларина 2009)で記述されているものは多少異なる。

表 27 「疑問型」の発話におけるヘッジの比較

	保護表現(%)		近似表現(%)		合計	
日本語	187	(65.61)	98	(34.39)	285	(100.00)
ロシア語	109	(76.22)	34	(23.78)	143	(100.00)
						$p<.05$

日本語のデータにおける「疑問型」の発話では、「自問風」の疑問を表す表現「～かな」、否定表現、同意要求を示す終助詞の「～ね」などのような「保護表現」が多くみられた。「近似表現」では、伝聞・引用の表現の「～って、～と、～っていう、～っていうふう、～ってこと、～ということ」、様態を表す「～みたい(な／に)、～よう(な／に)」および「～感じ」、列挙を表す「～とか」が最も多かった(表 28)。

表 28 日本語の「疑問型」発話におけるヘッジ

保護表現	回数(%)	近似表現	回数(%)
～かな	54(28.88)	～って、～と、～っていう、 ～ってこと	23(23.47)
否定表現	48(25.57)	～感じ	21(21.43)
～ね	28(14.97)	～みたい(な／に)、～よう(な／に) ～とか	19(19.39) 10(10.20)
その他	57	その他	25
合計	187		98

表 28 から分かるように、個別の形式として「疑問型」の発話で出現回数が最も多かったのは「自問風」の疑問を表す「～かな」である。

(126)は、話者 B16 がストーリーの展開について「提案」をしている場面である。

(126) [JF11]

169 話者 C16 =でもそうすると、この<2 番って何なんだろう?><{>,,

170 話者 B16 <そうすると><{>,,

- 171 話者 A16 <う::ん<笑い>>>{>},
- 172 話者 C16 みたいな.
- 173 話者 B16 こうやって動かせない<笑いながら>><みたいな>>>{<},,
- 174 話者 A16 <あ::<笑い>>>{>},
- 175 話者 B16 感じになっちゃう>>{<},
- 176 話者 C16 <あ::あ::,>>{>}あ::, そっか.
- 177 話者 A16 [咳払いの]
- 178 《沈黙 3.47 秒》
- 179 話者 B16 で、それでこっちに行く[↑],,
- 180 話者 A16 う::ん.
- 181 話者 B16 の<かな::[↓]>>{<},
- 182 話者 C16 <うん>>{>},

話者 B16 の提案は「平叙型」の発話（ライン 170、173、175）および「疑問型」の発話（ライン 179、181）からなる。ライン 170、173、175 にわたる「平叙型」の発話では、話者 B16 は「そうすると、こうやって動かせない<笑いながら>>みたいな感じになっちゃう」と最初の提案をしている。その後、接続詞の「で」によって「提案」が続くことを示し、ライン 179 で「で、それでこっちに行く[↑]」と疑問イントネーションで発話をする。話者 A16 および話者 C16 はそれを「疑問型」の発話と認識し、「う::ん」、「うん」と返答している。Fujii(2012)および林(2014)が指摘しているように、「～かな」は独り言の自問を表すことがある。しかし、ライン 179 では、提案が続くことを示す接続詞「で」および、聞き手に返答を促す「こっちに行く[↑]」の疑問イントネーションからは、その発話は単なる独り言ではなく、他の参加者に対する提案であるということが分かる。ここで、話者 B16 は発話の最後に「かな::[↓]」（ライン 181）を付けることによって、「提案」発話を「自問風」に加工している。つまり、話し手は疑問を直接的に相手に向けないことによって、「提案」の負担度を軽減しているということである。

ロシア語のデータも日本語と同様に、「疑問型」の発話では話し手の確信の度合いを表す「保護表現」の使用が多かった。その中で、可能性を表す表現 “mozhet (by't)”（「～かもしれない」）が最も多かった。また、同意要求を示す付加疑問の “da?”（「そうでしょ?」） / “net?”（「違う?」） / “pravil'no?”（「正しいでしょ?」）、否定表現、および提案の内容は話し手の主観的な見解であることを表す表現 “(mne) kazhetsya”（「(私は) ～ような気がする」）

る)」などの使用もみられた。「近似表現」では、「平叙型」の発話と同様に、関係する語を不明確にする“疑問詞＋*-to / -nibud`*”（「ある～、～か」）や言いかえの表現“*to est`*”（「すなわち」）が多かった。

表 29 ロシア語の「疑問型」の発話におけるヘッジ

保護表現	回数(%)	近似表現	回数(%)
<i>mozhet (by` t`)</i> 「～かもしれない」	66(60.55)	疑問詞＋ <i>-to / -nibud`</i> 「ある～、～か」	14(41.18)
<i>da? / net? / pravil` no?</i> 「付加疑問」	22(20.18)	<i>to est`</i> 「すなわち」	4(11.76)
その他	21	その他	16
合計	109		34

表 29 に示したように、ロシア語のデータでは個別の形式として可能性を表す表現“*mozhet (by` t`)*”（「～かもしれない」）が最も多かった。

(127) [RM04]

- 35 話者 C24 *Mozhet by` t`*, *vot.. vot* [↑]e`ti *vot dve* *snachala*[↓]?,
 maybe *here here* *these here two* *first*
 vtoroe *i* *shestoe.*
 second *and* *sixth*
 この2枚は最初じゃない？ 2番と6番。
- 36 話者 A24 *Da.*
 yes
 そうだね。
- 37 話者 B24 *Ugu.*
 uh_huh
 うん。

ライン 35 は話者 C24 の提案である。この発話は「疑問型」であり、発話の最初に可能性

を表す“mozhet (by` t)”(「～かもしれない」)が用いられている。

上記の分析結果から分かるように、「疑問型」の発話では、日本語、ロシア語ともに話し手の確信の度合いを表す「保護表現」の使用が多かった。しかし、ロシア語に関しては、「疑問型」の発話ではヘッジが用いられることが非常に多く、予想と異なる結果が得られた。また、個別の形式をみると、日本語は、「自問風」の疑問を表す「～かな」の使用が最も多かった。談話例の分析で示したように、日本語母語話者は、話し手が「疑問型」の発話を直接相手に向けないことによって、「提案」の負担度を軽減していた。一方、ロシア語母語話者は、可能性を表す“mozhet (by` t)”(「～かもしれない」)を用い、提案者の確信の度合いを下げることによって、「提案」による負担度を軽減することが多かった。

6.2.3 「命令型」の発話におけるヘッジ

「命令型」の発話による「提案」では、「平叙型」および「疑問型」の発話に比べ、行為要求の度合いが強くなるため、相手への負担度が高くなる。

日本語は、「命令型」の発話による提案は非常に少なく、本会話データでは僅か2件しかみられなかった。そして、2件とも「近似表現」のヘッジが用いられていた。一方、ロシア語は予想と異なり、「命令型」の発話文の4割ほどヘッジが用いられていなかった。ヘッジが使用された発話に関しては、日本語と同様に命題内容の真偽を左右する「近似表現」が多かった(表 30、表 31)。

表 30 「命令型」の発話におけるヘッジの有無

	ヘッジを含む発話文(%)		ヘッジを含まない発話文(%)		「命令型」発話の 総発話文数	
日本語	2	(100.00)	0	(0.00)	2	(100.00)
ロシア語	17	(58.62)	12	(41.38)	29	(100.00)

表 31 「命令型」の発話におけるヘッジの比較

	保護表現(%)		近似表現(%)		合計	
日本語	1	(25.00)	3	(75.00)	4	(100.00)
ロシア語	4	(16.00)	21	(84.00)	25	(100.00)

日本語のデータにおける「命令型」の発話では、「近似表現」の仮定を表す「～てみる」および「とりあえず」、程度を表す「ちょっと」が用いられた。

表 32 日本語の「命令型」の発話におけるヘッジ

保護表現	回数(%)	近似表現	回数(%)
～よ	1(100.00)	～てみる	1(33.33)
		とりあえず	1(33.33)
		ちょっと	1(33.33)
合計	1		3

(128) =(88) [JF06]

- 54 話者 B11 あっ、でもこれ [カード2] で::どうか[↓] [カード7] ?.
- 55 話者 C11 でも<わりと最初の>{<},,
- 56 話者 A11 <ここ岩がある>{>}.
57 話者 C11 ほう<みたいですよね>{<}.
→58 話者 A11 <ちょっと岩と岩>{>}, 岩だけ<まとめて>{<},,
59 話者 C11 <あっ、じゃ岩>{>}<笑い>.
→60 話者 A11 みま<しょう>{<}.

ライン 58、60 では、話者 A11 は「命令型」の発話によって作業のやり方について提案している。話者 A11 は、程度の低さを表す「ちょっと」および不確定を表す「～てみる」によって提案の負担度を軽減している。

ロシア語のデータでも日本語の「～てみる」に相当するヘッジ “poprobovat” がみられた。また、関係する語を不明確にする “疑問詞 + to / nibud” (「ある～、～か」)、仮定を表す “poka” (「とりあえず」) も使用された。その他に、程度を表す表現 “prosto” (「単に」) もヘッジとして出現した。一方、「保護表現」の使用は非常に少なく、可能性を表す “mozhet (by’t)” (「～かもしれない」) および仮定を表す “dopustim” (「～と仮定する」) のみである。

表 33 ロシア語の「命令型」の発話におけるヘッジ

保護表現	回数(%)	近似表現	回数(%)
mozhet (by`t`) 「～かもしれない」	3(60.00)	poprobovat` 「～てみる」	5(23.81)
dopustim 「～と仮定する」	1(40.00)	疑問詞+to/-nibud` 「ある～、～か」	3(14.29)
		poka 「とりあえず」	3(14.29)
		prosto 「単に」	3(14.29)
		その他	7
合計	4		21

(129) [RF07]

23 話者 A32]] <On uzhe po>{><mo::g [↑]>{<}.
he already helped

彼はすでに手伝ってあげた。

24 話者 B32 <Da>{>}.
yes

そうだね。

25 話者 A32 Davajte poprobuem peredvinut`.
let_us try move

[カードを] 動かしてみよう。

ライン 23 では、話者 A32 はまずストーリーの内容について提案をしている。そして、「命令型」の発話によって絵カードを動かすことを提案している（ライン 25）。ここで、話し手が不確定を表す表現 “poprobovat”（「～てみる」）を用い、命令表現によって付加される負担度を軽減している。

上記から分かるように、日本語は「命令型」の発話が非常に少なかったが、その中でみられたヘッジは不確定および仮定、程度を表すものである。一方、ロシア語は、「命令型」の発話によって提示される「提案」は聞き手への負担度が高いにも関わらず、4 割ほどの発話ではヘッジが使用されていなかった。ヘッジが使用された発話では、主に「近似表現」が用

いられ、不確定を表す動詞の “poprobovat” (「～てみる」) が最も多かった。

6.3 「提案」の受け手にみられる配慮言語行動

前節では、「提案」発話におけるヘッジに着目し、「提案」における配慮言語行動について述べた。しかし、共同作業の目的達成は、提案の提示という一方的なプロセスの結果ではなく、提案に対する反応を必要とする双方向での作用によるものである。Leech(2014, pp.201-202)によると、通常の会話では、相手の意見に対して同意を示すことが反射的に行われる。また、Brown and Levinson(1987 [1978], pp.338-339)が指摘しているように、不同意は好ましくない反応であるため、ためらいや間接的な表現を伴う。課題解決に向けた共同作業では、一つの目的を達成するために参加者間で協力関係も求められる。提案を受ける側が相手の提案を受諾すれば、参加者間で良好な対人関係が維持され、作業がよりスムーズに進むと考えられる。しかし、参加者の意向が必ずしも一致するとは限らない。適切ではないと思われる提案を拒否すれば、拒否する側の意向が実現することになるが、それによって参加者間の関係が悪化し、相手に協力を得られなくなる可能性もある。本節では、提案を受けた話者による反応に着目し、反応の明確さという観点から提案者への配慮言語行動について述べる。

6.3.1 提案への賛否を明確に示さないという配慮

5.3 で述べたように、本研究における会話データでは、提案への反応では賛否を明確に示す「受諾」または「拒否」および、提案への賛否を明確に示さない「補足」または「保留」がみられた。また、量的分析では、日本語は提案に対して賛否を明確に示さない反応が多い(日=54.28%; 露=39.88%) ことが分かった。以下、「補足」および「保留」の談話例を挙げ、共同作業における日本語母語話者の配慮言語行動について述べる。

(130)では、話者 C03 がストーリーの内容について提案をしている。提案に対する反応の発話は「→」で示す。

(130) [JM03]

127 話者 A03 これ [カード 3, 7, 12] とかどうなんだろうな[↓]？.

128 話者 C03 岩を, <なんか, 持ち上げようとする>{<},,

→129 話者 B03 <あつ, そのまま届かない..から>{>},

130 話者 C03 けど, だめで::=.

→131 話者 A03 = “何やってんだ” <とか>{<},

132 話者 C03 <うん>{>},

ライン 128 では、話者 C03 は「岩を, なんか, 持ち上げようとするけど, だめで::」とストーリーの内容について提案をしている。それに対して話者 B03 および話者 A03 は明確に同意・不同意を示さないが、「あつ, そのまま届かない..から」(ライン 129) および「“何やってんだ” とか」(ライン 131) と提案を発展、具体化させる「補足」の反応によって、話者 C03 の発話に理解を示している。このように、「補足」という反応は、提案者に対して「提案の内容が理解できている」ことを示す配慮言語行動である。

「保留」も提案を受ける話者の賛否が明確に示されない反応である。しかし、「補足」と異なり、被提案者が提案者への配慮から「拒否」を避けたい場合は、賛同しない提案を「保留」にする。

(131) [JF12]

274 話者 B17 やっぱり持てなくて::, すねてたのかなと思う.

→275 話者 C17 あ<::>{<},

→276 話者 A17 <あ::>{>}, なるほど.

277 《沈黙 3.96 秒》

278 話者 B17 ん::, 《沈黙 1.66 秒》なんか繋がりがきってない感が.

279 話者 A17 うん.

280 話者 C17 ないです.

ライン 274 では、話者 B17 は「やっぱり持てなくて::, すねてたのかなと思う」と提案しているが、話者 C17 および話者 A17 は、「あ::」(ライン 275)、「あ::, なるほど」(ライン 276) とあいづちを打っているのみであり、提案に対する賛否を示さない。さらに、3.96 秒の沈黙が続き、提案が「保留」にされたことが分かる。そして、話者 B17 は「なんか繋がりがきってない感が」(ライン 278) と自ら提案を撤回すると、話者 A17 および C17 はそれに対して「うん」(ライン 279)、「ないです」(ライン 280) と同意を示す。つまり、提案に賛同しない話者 C17 および話者 A17 は「保留」の反応を示し、「拒否」を避けたというこ

とである。

6.3.2 提案への賛否を明確に示すという配慮

日本語と異なり、ロシア語のデータでは、逆に提案を受ける話者の賛否が明確である反応のほうが多かった（日=45.72%；露=60.12%）。以下、「受諾」および「拒否」の談話例を挙げ、共同作業におけるロシア語母語話者の配慮言語行動について述べる。

(132)は、会話参加者が提案を継ぎ足しで一本のストーリーラインを作り上げているシーンである。

(132) [RF09]

- 241 話者 B34 Nu.. o..oni py`tayutsya, 《沈黙 1.45 秒》 oni ne
well they try they not
dostayut[↑],,
reach
- 242 話者 C34 Da::, <da, da, prinesti[↓]><{>.
yes yes yes bring
そうそうそう、持ってこよう。
- 243 話者 B34 <oni py`tayutsya prinesti><{> <kameshek[↑]><{>,,
they try bring stone
- 244 話者 A34 <Da><{>.
yes
そうだね。
- 245 話者 C34 <Potom on prixodit><{> i sprashivaet, chyo `chto` oni
then he comes and asks what they
[↑]delayut.
do
そして、彼が来て何をしているかと聞く。
- 246 話者 B34 da, chyo `chto` delayut[↑], on im pomogaet
yes what do he them helps
<nesti[↑]><{>,,
bring

247 話者 C34 <Ugu>{>}.

uh_huh

うん。

248 話者 B34 e`::m.

hem

まあ、彼らが頑張っていて、届かず、石を持ってこようとして、
そうだね、何をしているか [と聞いて]、持ってくるのを手伝って、
えーと。

ライン 241、243、246、248 にわたる発話では、話者 B34 は “*oni py`tayutsya*, 《沈黙 1.45 秒》 *oni ne dostayut*[↑], *oni py`tayutsya prinesti kameshek*[↑], [中略] *on im pomogaet nesti*[↑]” (「彼らが頑張っていて、届かず、石を持ってこようとして、彼が持ってくるのを手伝って」) とストーリー展開について提案している。その途中で、話者 C34 (ライン 242) および話者 A34 (ライン 244) は “*da*” (「そうだね」) と言って話者 B34 の提案を受諾している。そして、ライン 245 では、話者 C34 は割り込み、“*Potom on prixodit i sprashivaet chyo oni delayut*” (「そして、彼が来て何をしているかと聞く」) とストーリーの続きを述べる。それに対して、まだ提案を終えていない話者 B34 は、話者 C34 の提案を “*da, chyo delayut*” (「そうだね、何をしているか [と聞いて]」) と受諾した上で、さらに提案を続ける (ライン 246)。

次の(133)は、話者 A24 の提案に対して話者 B24 が「拒否」の反応を示す談話例である。

(133) [RM04]

235 話者 A24 To est` oni, naverno, dumayut tipa “xa,
in_other_words they probably think kind_of hah
shhas ‘sejchas’ my` zaberyomsya”.
now we climb
つまり、彼らは「ほう、乗るよ」とか考えたかもしれない。

236 《沈黙 1.06 秒》

→237 話者 B24 Ne::t, ne “shhas ‘sejchas’ my` zaberyomsya”, a tipa
no not now we climb but kind_of

“sejchas my` podvinem ka::men`”,,

now we move stone

いや、「乗るよ」じゃなくて「石を動かすよ」とか。

ライン 235 では、話者 A24 はキャラクターが話しているセリフ “my`zaberyomsya” (「私たちが乗る」) を提案している。そして、1.06 秒の沈黙の後に話者 B24 は “Ne::t, ne “shhas my`zaberyomsya”” (「いや、“私たちが乗る” じゃなくて」) と否定表現を用い、明示的に話者 A24 の提案を拒否する (ライン 237)。

一方、日本語のデータでは否定表現が用いられず、「拒否」は間接的に示されることが多かった。

(134) [JF12]

311 話者 B17 で::, これ取ろうと思ったけど “持てないんだ” って言って,
“取ってあげるよ” ってゆったけど, 取れないから, 運びに行って::,,

312 話者 A17 て.

313 話者 B17 “ん::” って言った<笑いながら>けど, 2 人だとそれで取れました[↑]..
かな[↓]?).

→314 話者 A17 ここ [カード 2 とカード 1], なんか, 急に飛んだよね.

315 話者 B17 確かに.

ライン 311、313 の発話では、話者 B17 はストーリー展開について提案している。それに対して、話者 A17 は「ここ, なんか, 急に飛んだよね」(ライン 314) と問題点を指摘し、間接的に提案を拒否している。

(135) =(96) [JM04]

300 話者 B04 ん::, はこっ..運べなくて::,,

301 話者 A04 運べなくて[↑].

302 話者 B04 いらついて::.

303 《沈黙 3.63 秒》

→304 話者 A04 [息を吸う音] で, また岩んところに戻ってくる.

305 話者 B04 [息を吸う音] ん::<笑い>, あっ, そっか, おかしいか[↓].

ライン 304 では、話者 A04 は 3.63 秒の沈黙の後に「また岩んところに戻ってくる」と話者 B04 が提案した展開パターンが矛盾していることを指摘し、間接的に話者 B04 の提案を拒否している。(134)、(135)、いずれの場合においても、提案者が「確かに」((134), ライン 315)、「あつ、そっか、おかしいか」((135), ライン 305) と提案が拒否されたことを認識している。

このように、日本語では「拒否」の反応を否定表現などによって明示的に表現しないという配慮言語行動が多くみられる。日本語に比べてロシア語は、明示的に拒否を示す否定表現の使用が多いが、それを和らげる「見せかけの同意」という配慮言語行動が行われる。

(136) [RF06]

- 336 話者 B31 <On im pomogaet, oni>{>} dostayut yabloko.
 he them helps they get apple
 彼が手伝ってあげて、彼らがりんごを取る。
- 337 話者 C31 [息を飲む音] Naverno, nu mne vsyo <nnavitsya, no>{<},,
 probably well me all like but
- 338 話者 A31 <Ya..yajcza>{>}.
 eggs
 卵たち。
- 339 話者 C31 zdes`, naverno, vsyo ne tak <笑い>.
 here probably all not so
 きっと、まあ、面白いとは思うけど、きっと、全部違うだろう。

ライン 336 では、話者 B31 は “*On im pomogaet, oni dostayut yabloko*” (「彼が手伝ってあげて、彼らがりんごを取る」) とストーリー展開について提案している。それに対して、ライン 337 では、話者 C31 は “*mne vsyo nnavitsya*” (「面白いと思う」) と「見せかけの同意」をしてから、 “*naverno, vsyo ne tak*” (「きっと全部こうではない」) と明示的な否定表現によって提案を拒否している。

(137) [RF07]

- 134 話者 B32 <A.. podozhdite>{>}, a mozhет by`t`,
 and wait and maybe

- 135 話者 A32 Ugu.
uh_huh
うん。
- 136 話者 B32 vot syuda [カード7の後] vot e`tu [カード12] vot, chto
here here here this here that
on tozhe py`taetsya e`tot kamen podnyat`?.
he too tries this stone lift
ちょっと待って、彼も石を持ち上げようとしているということで、
これ [カード12] をここ [カード7の後] に入れたらいいんじゃない？
- 137 《沈黙 1.52 秒》
- 138 話者 A32 A pochemu?=.
but why
なぜ？
- 139 話者 A32 =Net, ya ponimayu, da, prosto smotri, poluchaetsya,
no I understand yes just look turns_out
chtsu nelogichno=.
that not_logically
いや、そうだね、分かるけど、ただ論理的じゃなくなる。
- 140 話者 A32 =Pochemu on py`taetsya sdelat` bez nix?.
why he tries do without them
なぜ彼が彼らなしでやろうとしているのか。
- 141 話者 A32 Vot e`to stranno nemnogo.
here this oddly a_little
これはちょっとおかしい。

ライン 134、136 にわたる発話では、話者 B32 は絵カードの順番およびストーリー展開について提案をしている。そして、ライン 139 では話者 A32 は “*ya ponimayu, da*” (「そうだね、分かる」) と「見せかけの同意」によって次にくる明示的な拒否 “*nelogichno*” (「論理的ではない」) による負担度を軽減しようとしている。

上記の質的分析から分かるように、日本語と異なりロシア語では、作業が滞らないよう、相手の提案に賛成であるか反対であることを明確にしつつ、共同作業に取り組んでいる。ただ

し、「拒否」の場合は明示的な否定表現を用いながらも、相手と協力関係を維持するために、「拒否」による負担度を軽減する配慮言語行動として「見せかけの同意」を示すこともみられた。

6.4 第6章のまとめ

本章では、話者交替、提案および提案への反応における配慮言語行動について述べた。

まず、「現在の話し手が次の話し手を選択」する発話の内容に着目した。日本語のデータに特徴的にみられたのは、「意見要求」および「同意要求」である。日本語はロシア語に比べて、「現在の話し手が次の話し手を選択」する際に、相手に意見および同意を求めることが多かった。一方、ロシア語は、「補足説明の要求」が特徴的であった。談話例で示したように、日本語もロシア語も、補足説明を求められた話者が答えに困る可能性が高い。日本語の会話データでは、現在の話し手が特定の相手にターンを渡す際に「補足説明の要求」をすることが非常に少なかった。日本語母語話者は、意見および同意を求めつつ、相手に発話権を与えることによって、他の参加者から支持を得ようとするのが観察された。フォローアップ・アンケートへの回答にもあるように、日本語母語話者は「3人の会話のバランス」を考え、会話参加者でターンが均等にいくように配慮することが分かる。

一方、本研究におけるロシア語の会話データでは、相手にとって負担となりうる「補足説明の要求」が多かった。この結果からは、ロシア語母語話者は、対人関係では相手を正しく理解することを重視し、共同作業の際に課題解決を優先することが分かる。また、フォローアップ・アンケートの回答からも、ロシア語母語話者は、共同作業に取り組む中で課題達成ができるよう、「相手の提案や意見の内容」の論理を追うことに配慮することが明らかになった。

次に、「自己選択」によるターン取りの際に生じる発話の重なりに関しては、TRP ではない箇所が生じるものを取り上げた。TRP ではない箇所における発話の重なりは、自己選択者が他の会話参加者より早く話し始めるというテクニックを利用した結果生じるものである。しかし、ターン移行に適切ではない箇所で話し始めるということは、現在の話し手の発話権を侵害する行為となりうる。このことから、本章では、発話の重なりによる負担度を軽減する配慮言語行動として「言いよどみ」および「共同発話」を取り上げた。

「言いよどみ」については、「延伸」、「とぎれ」「フィラーの挿入」という3種類を取り上げ、重なりの後行話者（自己選択者）が「自分の発話の進行を遅らせる」という機能を検討

した。談話例でみてきたように、重なりの後行話者（自己選択者）が次のターンを確保できるよう、他の会話参加者より先に話し始めていた。しかし、それと同時に、先行話者（現在の話し手）の発話権を侵害しないために「言いよどみ」によって自分の発話の進行を遅らせていた。

日本語における「延伸」の言いよどみは、語の最後の1拍（「これ::」等）に発生するのに対して、ロシア語は、語の最初の音韻（“n::am”「私たちに」等）に発生する。一方、「とぎれ」の言いよどみは、日本語、ロシア語ともに基本的に語の前半に現れる。そして、「フィラーの挿入」では、日本語は「なんか」、「まあ」、「ん::」、「え::」、ロシア語は“e`(::)”、“e`(::)m”、“nu(::)”というものが用いられた。分析の結果、日本語のデータは「とぎれ」(50.00%)の言いよどみが最も多かったのに対して、ロシア語は「フィラーの挿入」(47.73%)が最も多いという相違点がみられた。

また、日本語の会話では、重なりの後行話者（自己選択者）は「共同発話」によって先行話者（現在の話し手）とターンを共有し、次のターンを確保していたが、ロシアの会話では、発話の重なりにおける「共同発話」が非常に少なかった。

配慮言語行動としての「言いよどみ」および「共同発話」の分析から、ロシア語は日本語に比べ、1つのターンに1人の話者が話す方が好まれるのではないかと示唆される。

次に、提案および提案に対する反応を取り上げた。提案では、ヘッジの使用全体をみると、日本語はロシア語よりヘッジを含む発話文が多かった（日=60.04%；露=45.21%）。

発話の形式別にみると、日本語の「平叙型」の発話ではヘッジを含む発話文のほうが多かった（日=52.40%；露=38.21%）。一方、ロシア語はヘッジを含まない発話文のほうが多いことが分かった（日=47.60%；露=61.79%）。また、個別の表現をみると、日本語のデータで最も出現回数が多かったのは命題内容の真偽を左右する「近似表現」の「～みたい（な／に）」である。一方、ロシア語で最も多くみられたヘッジは「保護表現」の“(mne) kazhetsya”（「(私は)～ような気がする」）である。つまり、「平叙型」の発話では、日本語母語話者は提案の命題自体を曖昧化することによって提案の負担度を軽減することが多い。それに対して、ロシア語母語話者は、提案の内容はあくまでも話し手の主観的な見解であることを示すことによって「提案」の負担度を軽減することが多い。

「疑問型」の発話に関しては、全体の傾向と異なり、ロシア語は日本語よりヘッジを含む発話文が多かった（日=69.55%；露=91.67%）。また、日本語、ロシア語ともに話し手の確信の度合いを表す「保護表現」が多く用いられた。個別の表現では、日本語は、「自問風」の疑問を表す「～かな」の使用が最も多かった。日本語母語話者は、話し手が提案を直接相

手に向けないことによって、提案の負担度を軽減していた。一方、ロシア語は、可能性を表す“mozhet (by`t)”(「～かもしれない」)を用い、提案者の確信の度合いを下げることによって、「提案」による負担度を軽減することが多かった。

「命令型」の発話に関しては、日本語、ロシア語ともに、提案者が程度の低さを表す「近似表現」を用い提案の負担度を軽減していた。

最後に、提案への賛否を明確に示す「受諾」および「拒否」、また提案への賛否を明確に示さない「補足」および「保留」における配慮言語行動について述べた。

提案への賛否を明確にすると、意見が異なる会話参加者と対立が生じてしまう可能性がある。そのため、日本語母語話者は賛否を明確に示すことを避け、「補足」の反応によって提案者に対して関心および理解を示すことが多かった。また、「保留」によって「拒否」を避けることもみられた。ただし、提案者に賛否の返答を求められ、「拒否」を示す場合は、日本語母語話者は提案の問題点を指摘することによって、間接的に提案を「拒否」することが多かった。

一方、ロシア語母語話者は、作業が滞らないよう、先行の提案に対して賛否を明確に示した上で、自分の提案等を述べることが多かった。ただし、「拒否」においては明示的な表現によって付加される負担度を軽減するために、「みせかけの同意」という配慮言語行動が行われた。

7. おわりに

本章では、本研究の結果を総合的にまとめる。まず、7.1 では日本語とロシア語のデータから見出された「課題解決に向けた共同作業」の活動のパターンを記述する。そして、7.2 では本研究の貢献および展望について述べる。

7.1 全体のまとめ

本研究では、課題解決に向けた三者間共同作業における日本語およびロシア語の言語行動を話者交替、発話行為「提案」、および配慮言語行動の観点から分析した。本節では、1.3 にあげた研究課題に対する結論を示す。

以下、日本語およびロシア語で共通してみられた言語行動をまとめ、課題解決に向けた共同作業における三者間会話の特徴を図 11 に示す。

まず、話者交替に関しては、本データでは、日本語およびロシア語におけるターン取りは基本的に「自己選択」によるものである。それには、作業の目的は課題解決であることおよび三者間会話で聞き手が 2 人いることが関係している。課題解決のために、会話参加者が「自己選択」をし、それぞれのイニシアティブで自主的に提案する。また、その発話を特定の 1 人に宛てず、共同作業者の 2 人に向けることが多いため、提案に対応する者は「自己選択」によってターンを取る。特定の 1 人が次の話し手として選択される場合は、「修復テクニック」（「一語質問」、先行発話の一部を疑問イントネーションで繰り返すこと等）および発話の連鎖において最初の質問の応答者に宛てられる「フォローアップ・クエスチョン」を含む「連鎖における一致」というテクニックが適用される。

発話行為「提案」に関しては、共同作業における課題の内容がストーリーを作り上げることであるため、「提案」はストーリー内容を語る形でなされており、基本的に「平叙型」の発話文によって構成される。それに対して、被提案者は、明確に賛否を示す「受諾」か「拒否」という反応のみならず、「補足」および「保留」という反応を示すこともある。

共同作業における配慮言語行動については、発話の内容、発話権への配慮、および発話内効力への配慮を検討した。課題解決に向けて作業を進める中で、現在の話し手は次の話し手として選択する会話参加者に作業に関する確認をする。「自己選択」によるターン取りの際に重なりが生じた場合は、話し手が言いよどみによって自分の発話の進行を遅らせたり、先行話者の発話を完成させる「共同発話」によって相手とターンを共有するという言語行動で

先行話者の発話権に配慮を示す。また、「提案」を行う際に、提案者は発語内効力への配慮として、ヘッジを用い「提案」による負担を軽減する。

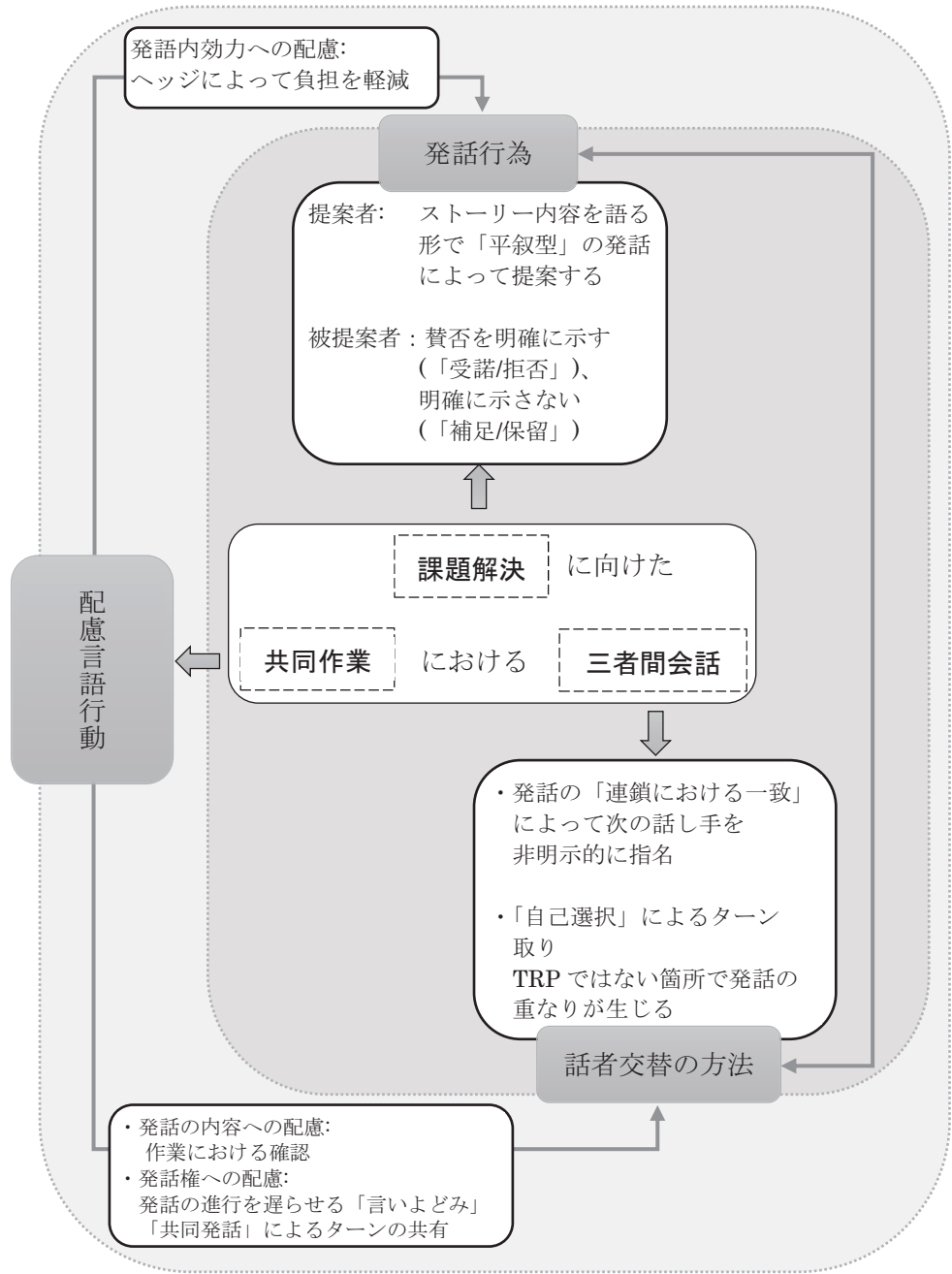


図 11 課題解決に向けた三者間共同作業における言語行動
(日本語とロシア語における共通点の枠組み)

本データでは、日本語とロシア語とで上記のような共通性がみられたが、それぞれの項

目における具体的な言語行動は異なる。相違点に関しては、図 11 と同様のモデルを用い、7.1.1 では日本語、7.1.2 ではロシア語の言語行動の特徴について述べる。

7.1.1 課題解決に向けた三者間共同作業における日本語の言語行動の特徴

日本語のデータにおける言語行動には次のような特徴がみられた(図 12)。

まず、話者交替については、次の話し手を選択する際に、現在の話し手は会話参加者の「社会的アイデンティティ」を利用し、相手との親疎関係の違いを示す「丁寧体」と「普通体」の切り替えによって発話の宛て先を特定の 1 人に絞り込む。「自己選択」の際に生じた発話の重なりでは、自己選択者が短い重なりを繰り返すことによって、ターンを要求することが多い。

発話行為「提案」に関しては、「提案」発話の形式と「提案に対する反応」の示し方が関係していると示唆された。日本語のデータでは、「補足」および「保留」の反応が多く、被提案者が提案に対して賛否を明確に示さない傾向がみられた。Fujii(2012)では、日本語母語話者は提案を述べる際に同意・不同意や確認等を促す疑問形式を多用することがすでに報告しているが、本研究では、被提案者が明確に提案に対する賛否を示さないため、提案者は「疑問型」の発話で提案をし直したり、明確な返答を促すために最初から提案を「疑問型」の発話によって提示することが多いと示唆された。

話者交替における配慮言語行動に関しては、特定の 1 人に宛てられた発話では、現在の話し手は「同意要求」や「意見要求」によって、共同作業において他の参加者から支持を得ようとし、作業者間の対人関係を調節することが観察された。また、「自己選択」の際に生じた発話の重なりでは、自己選択者は「とぎれ」の言いよどみによってターンを取ることにに対する戸惑いを示すことや、「共同発話」においてターンを共有することによって、現在の話し手の発話権に配慮を示す。

発話行為「提案」における配慮言語行動に関しては、「平叙型」の発話では命題内容の真偽を左右するヘッジの「～みたい(な／に)、～よう(な／に)」、「疑問型」の発話では「自問風」の疑問を表す「～かな」を用いることが多い。つまり、日本語では、提案者は自分からも被提案者からも提案との間に心理的な距離を置くことによって、発語内効力を軽減する。被提案者側の反応では、参加者間で意見割れを避けるという意味では、賛否を明確に示さない「補足」および「保留」は配慮言語行動として捉えられる。また、提案に対する問題点の指摘による間接的な「拒否」という配慮もみられる。

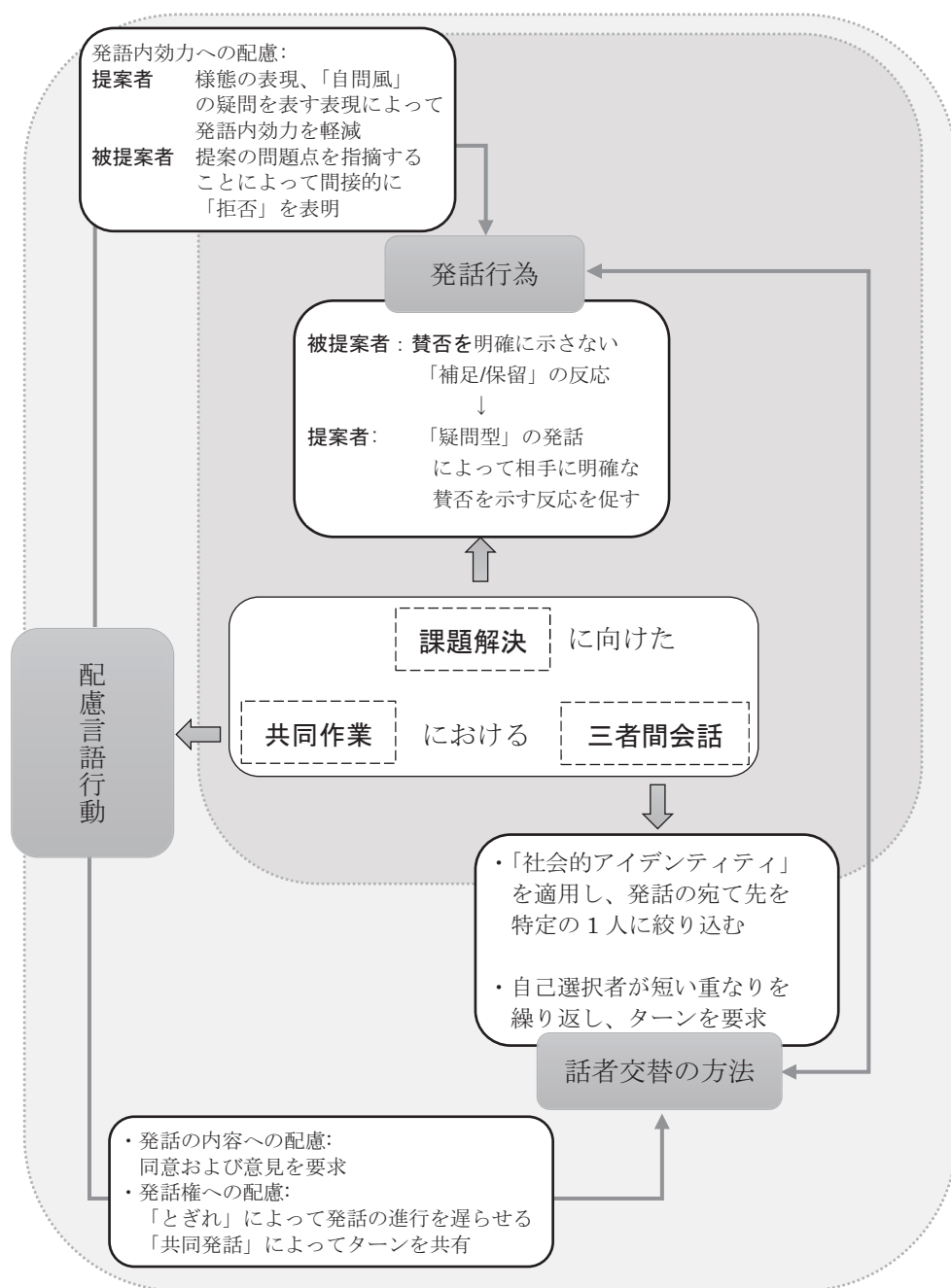


図 12 日本語のデータにみられた言語行動の特徴

7.1.2 課題解決に向けた三者間共同作業におけるロシア語の言語行動の特徴

ロシア語のデータでは、次のような特徴がみられた(図 13)。

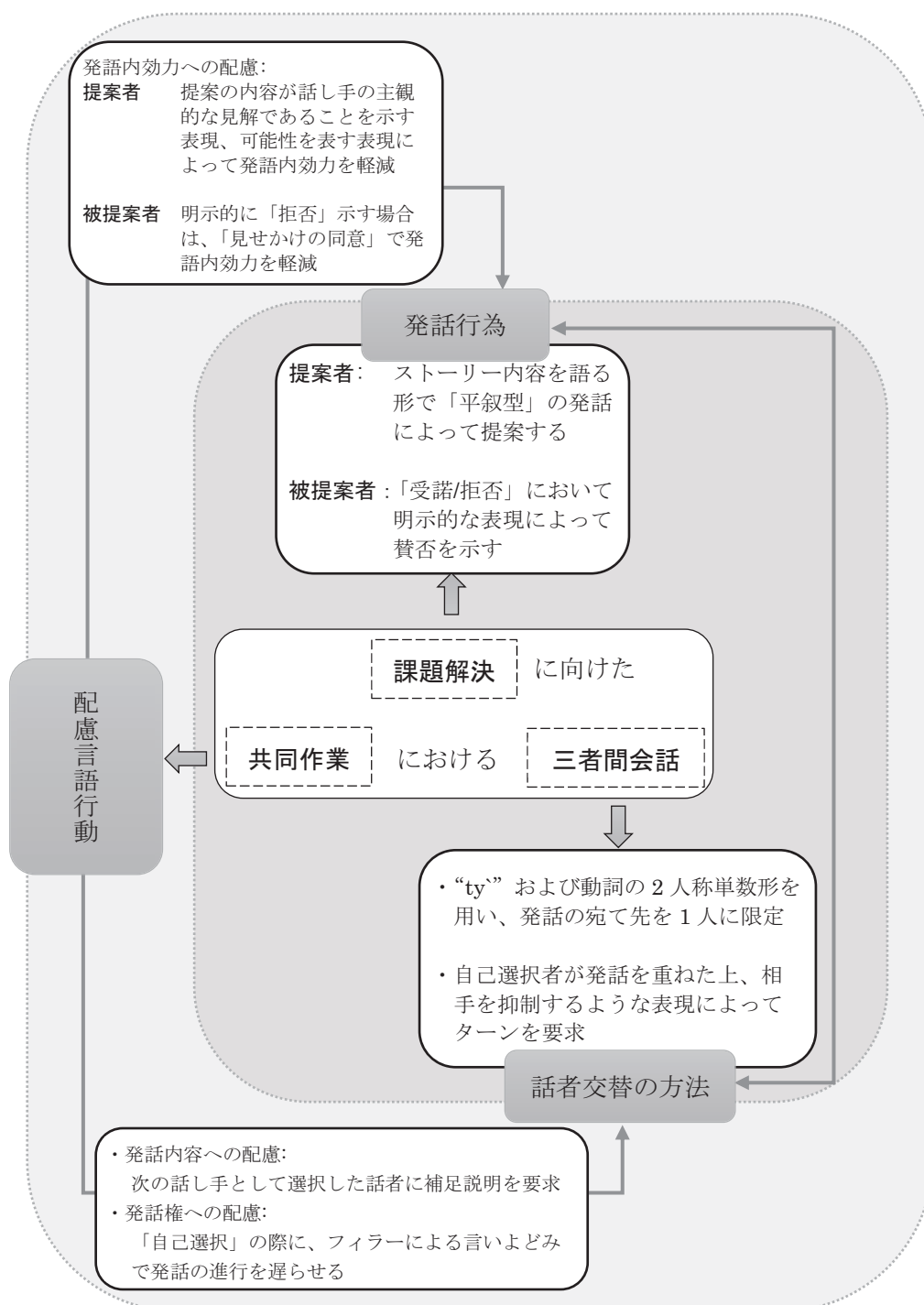


図 13 ロシア語のデータにみられた言語行動の特徴

まず、話者交替については、次の話し手を選択する際に、現在の話し手は“ty” および動詞の 2 人称単数形を用いることによって、発話の宛て先を 1 人のみに限定する。そして、「自己選択」の際に重なりが生じた発話では、自己選択者が相手を抑制するような表現 (“podozhdi(te)” 「待って (単数形／複数形)」、 “smotri(te)” 「見て (単数形／複数形)」

“stoj(te)”「止まって(単数形／複数形)」等)によってターンを要求することがみられた。

発話行為「提案」では、提案者は基本的に命題内容を断定する「平叙型」の発話によって「提案」を行う。そして、被提案者は「受諾」または「拒否」によって提案に対する賛否を明確に示すことが多い。いずれの場合も、明示的な表現が用いられる。

話者交替における配慮言語行動に関しては、特定の 1 人に宛てられた発話では、現在の話し手が「補足説明の要求」をし、話し相手を正しく理解しようとする意欲を示す。そして、「自己選択」の際に生じた発話の重なりでは、自己選択者が早めにターンを取りつつも、実質的な内容を話さず、フィラーの言いよどみによって間を埋める、という特徴がみられた。

発話行為「提案」では、ロシア語は、日本語に比べて明示的な表現が多いが、その明示性を和らげる配慮言語行動もみられる。「平叙型」の発話では、提案の内容が話し手の主観的な見解であることを表す表現、「疑問型」の発話では、可能性を表す表現を用いることによって断定を和らげ、発語内効力を軽減することが多い。ラリナ(Ларина 2009)では、ロシア語における「アドバイス／提案」では、ヘッジ⁵²の使用が非常に少ないと報告されているが、本研究では、「疑問型」の発話に関してはヘッジの使用が顕著であり、日本語よりも多くみられた。また、被提案者は提案への賛否を示す際に明示的な表現を用いることが多いが、「拒否」の場合は、相手との対立を避けるための「見せかけの同意」という配慮言語行動がみられた。

7.1.3 「肩並び型」および「正対型」の共同作業

本会話データでみられた言語行動および 6.1.1 で取り上げたフォローアップ・アンケートの回答を総合的に捉えた結果、「一つの目的に向かって共同で作業する」という活動への取り組み方のパターンを、日本語社会の場合は「肩並び型」、ロシア語社会の場合は「正対型」とし、図 14 のように表す。

「肩並び型」のパターンでは、日本語母語話者は、他の参加者と肩を並べる形で共同体をなした上で、同じ方向を向いた一体として課題解決に取り組んでいる。それに対して、「正対型」のパターンでは、ロシア語母語話者は、課題解決を中心に据え、他の参加者と正対する形で共同体をなす。そして、それぞれの立場から課題解決に取り組むのである。

⁵² ラリナ(Ларина 2009)は「働きかけの和らげ」(смягчение воздействия)と呼ぶ。

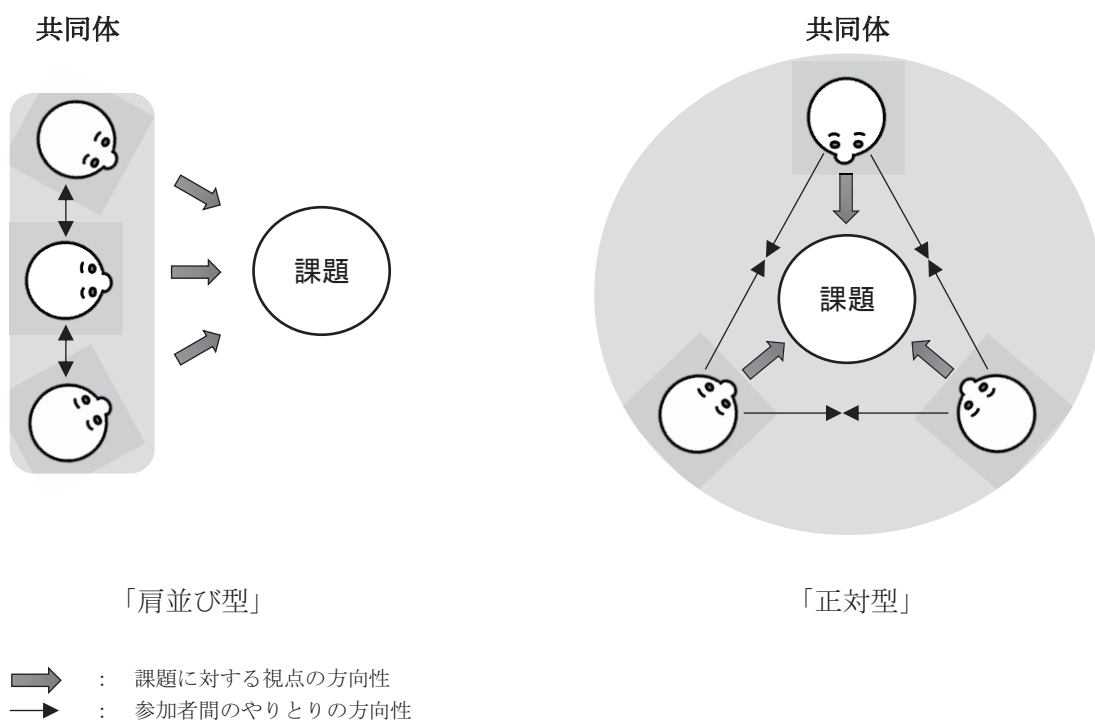


図 14 課題解決に向けた三者間共同作業への取り組み方

これまでにみてきたように、話者交替において「自己選択」の際に生じた発話の重なりでは、日本語母語話者は、「横にいる人を肘でつつく」ように、短い重なりを繰り返し、ターン要求の合図を送る。一方、ロシア語母語話者は、他の参加者に対して真正面から向かい、相手を抑制するような表現（“podozhdi(te)”「待って（単数形／複数形）」、“smotri(te)”「見て（単数形／複数形）」、“stoj(te)”「止まって（単数形／複数形）」等）によってターンを要求する。

特定の 1 人に宛てられた発話では、日本語母語話者は、作業を進めるにあたって「足並みをそろえよう」と、相手に同意や意見を求めるのに対して、ロシア語母語話者は、共に作業に取り組んでいる個々の参加者の「課題解決に対する立場を正しく理解しよう」と、補足説明を求める。

また、「自己選択」の際に生じた発話の重なりにおいて、日本語母語話者は、先行話者の発話権への配慮から「とぎれ」の形で言いよどみつつも、重なりの部分において既に実質的な内容を話し始める。そして、「共同発話」において先行話者とターンを共有することによって次のターンを確保する。いずれの場合も、自己選択者（重なりの後行話者）が現在の話し手（重なりの先行話者）と並行して作業を進める。一方、ロシア語母語話者は、他の聞き

手より早く話し始めることによって、次のターンを確保するが、先行話者の発話権への配慮から重なる部分には実質的な内容を話さず、フィラーの言いよどみによって間を埋める。そして、実質的な内容は、重なるの後に話す。

発話行為「提案」においても、「肩並び型」と「正対型」の特徴がみられる。日本語母語話者は、様態表現の「～みたい（な／に）、～よう（な／に）」および「自問風」の疑問を表す「～かな」を多用していることや、提案に対して明確な賛否を示さないことから、相手と正対して課題解決のやりとりをすることを避けると考えられる。一方、ロシア語母語話者は、提案の内容が話し手の主観的な見解であることを示したり、提案に対して明確に賛否を示すことによって、相手に向かって課題解決への意志をアピールする。また、ロシア語のデータは「提案」発話が全体の談話の中で占めている割合が大きいという結果からも示唆されるように、ロシア語母語話者は直接課題解決に導く発言をすることが多い。つまり、「正対型」の活動パターンでは、「課題解決」という共通の目的があるからこそ、異なる立場にありつつも、会話参加者が一つの共同体を形成することができるということである。

まとめると、日本語のデータにおける「肩並び型」の共同作業では、共同体をなしている者は一体となり同じ方向から「課題解決」という一つの目的に向かって作業を進める。それに対して、ロシア語のデータにおける「正対型」の共同作業では、共同体のメンバーになるには「課題解決」に取り組もうとする意志を示す必要がある。そして、「課題解決」を共同体の中心に据え、それぞれの立場から向かい合って作業を進める。

7.2 本研究の貢献および展望

本研究は、日本語およびロシア語の対照分析により、複数の参加者が「課題解決」という一つの目的に向かって共同で作業するという活動のパターンを明らかにした。

本研究では、課題解決に向けた共同作業における三者間会話の特徴を活かし、日本語とロシア語における話者交替、発話行為「提案」および配慮言語行動を記述した。

話者交替に関しては、ターンの割り当て方法およびターン要求方法等の異同を明らかにした。特に、ロシア語において歴史が浅い会話分析の研究では、ロシア語の会話におけるターン構造等に関する記述は話者交替の仕組みの解明につながると考えられる。

発話行為「提案」に関する結果では、日本語の「提案」発話で疑問形式が多用される理由の一つとして、被提案者が提案への賛否を明確に示さないことが示唆された。これによって、発話行為の研究において行為主体のみならず、その行為を受ける側の言語行動の分析の重

要性が裏付けられた。この点では、発話行為の研究における方法論の多様化への貢献も期待される。

そして、本研究では、日本語とロシア語の言語行動を 3 つの観点から統合的に捉えた結果、共同作業における 2 つの活動パターンを見出した。この結果は、日本語教育および日本国内のロシア語教育における異文化理解の深化や、それによる学習者の言語運用能力の向上への貢献が期待される。

現在、ロシアでは約 1 万 1 千人のロシア語母語話者を対象に日本語教育が行われている⁵³。国際交流基金が実施した 2012 年度の日本語教育機関調査によると、高等教育機関の日本語学習者は、卒業後日本への留学、あるいは日本語を生かせる就職を希望するということである⁵⁴。近年、ロシアおよび NIS(New Independent States)諸国と日本との交流が盛んになり、今後はロシア語母語話者と日本語母語話者が対面してやりとりをする機会が増えると思われる。媒介言語はロシア語であれ、日本語であれ、やりとりの目的を達成するために、互いの文化的背景を理解し、コミュニケーション・スタイルを踏まえることが必要である。

学習者は留学などの機会を得て、現地で母語話者と接することによって試行錯誤しながら目標言語のコミュニケーション・スタイルを身に付けることが可能ではあるが、誤解やミスコミュニケーションのリスクが高く、その経験は学習者にマイナスに働く危険性がある。また、生活環境の不便さという理由からロシアに留学する日本人学生が減少しており⁵⁵、日本語を母語とするロシア語学習者は、「生」のロシア語会話によるコミュニケーションの機会が少ない。さらに、日本語学習者の学習の動機には日本文化への関心がある⁵⁶ことが多いが、日本の学生の場合は、北岡・塩村(2013, p.27)によると、「多くのロシア語受講者にとって、ロシアの文化や社会は馴染みの薄いもの」だということである。

本研究では、課題解決の際に、日本語母語話者は、相手と正対してやりとりすることを避けるのに対して、ロシア語母語話者は、共同体をなすメンバーの一人一人と向かい合う形で課題解決に取り組み、課題解決への意志をアピールするという大きな相違点が観察された。日本語母語話者とロシア語母語話者が共に課題解決に取り組む場合は、日本語母語話者はロシア語母語話者の言語行動を「他の参加者に発言する機会を与えない、相手を追い詰める、一人で進めようとしているから協力的ではない」というふうに取り受ける可能性がある。一方、

⁵³ 国際交流基金「日本語教育 国・地域別情報 ロシア(2014 年度)」を参照。
<<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/survey/area/country/2014/russia.html#KEKKA>>
> 2016/02/02 アクセス

⁵⁴ 同上

⁵⁵ 同上

⁵⁶ 同上

ロシア語母語話者は、提案に対して明確な賛否を示さない日本語母語話者を「課題を解決する意志がないから協力的ではない」というふうに受け取ることもありうる。本論文における考察の対象ではないが、実際、日本人のロシア語学習者と共同作業をしたロシア語母語話者は、作業についての感想として「相手の反応が弱かったから、よくわからなかった」とやや否定的な評価をしていた。

外国語・第二言語教育では、1980年代に目標言語における社会言語行動能力の育成の必要性が主張され、コミュニケーション・アプローチが提案された。ネウストプニー(1982, p.53)によると、外国人の会話が分かりにくいのは、「伝えようとした内容を全部コミュニケーション行為に入れることができない」からである。この問題意識に基づき、外国語教育では、実際の使用場面における言語行動や会話の流れを重視する会話指導が行われるようになった。しかし、その指導が可能になるためには、理論的な基礎となる会話の研究が必要である。日本語に関しては、様々な場面における会話を対象に数多くの研究がなされている。しかし、ロシア語における会話の仕組みに関する研究は歴史が浅く、日本国内にもロシア語国内にも、日本語とロシア語との対照で会話分析を行ったものはなかった。本研究は、その最初の試みであり、日本語教育および日本国内のロシア語教育において貴重な成果であると思われる。

今後は、母語話者同士のみならず、母語話者と学習者が参加する共同作業における言語行動やコミュニケーション・スタイルを解明していく必要があるだろう。

謝辞

本研究に関して終始ご指導ご鞭撻を頂きました本学国際日本学研究院准教授谷口龍子先生に心より感謝致します。また、本論文をご精読頂き有用なコメントおよびご助言を頂きました本学総合国際学研究院教授匹田剛先生および、本学国際日本学研究院教授鈴木智美先生に深謝致します。

本研究で音声データの文字化およびデータ集計に用いた「BTSJ 文字化入力支援・自動集計システムセット」は本学大学院国際総合学研究科宇佐美まゆみ研究室で開発されたものです。ツールをご提供くださいました宇佐美まゆみ先生および、文字化資料の 2 次チェックにご協力くださいました宇佐美まゆみゼミの皆様にご礼申し上げます。

会話データを収集するにあたり、日本国内およびロシアで多くの方々に多大なるご協力を賜りました。ご協力くださった皆様に心より感謝申し上げます。とりわけ、ロシア国立人文大学言語学部助教授エレナ・ボゴヤヴレンスカヤ先生をはじめ、ロシア国立人文大学言語学部東洋諸言語講座の皆様から厚いご支援ご協力をいただき、モスクワでの調査を実施することができました。

本論文の作成にあたり、原稿添削をしていただき研究内容についても多方面、多角度からの議論をいただきました匹田剛ゼミの皆様にご礼申し上げます。

本研究は、筆者が大学院での勉学にあたり 2013~2015 年に受けた日本政府(文部科学省)奨学金によるものです。

本論文が日本語教育および日本国内のロシア語教育、また両言語・文化・社会の理解への一助となれば幸いです。

参考文献

- Austin, J. L. 1975 [1962]. *How to do things with words. Second edition (The William James lectures)*. J.O. Urmson and M. Sbisà (eds.), Cambridge, MA: Harvard University Press. (J.L.オースティン(著)坂本百大(訳) 1978. 『言語と行為』 東京: 大修館書店.)
- Bailyn, J.F. 1995. *A configurational approach to Russian “free” word order*. Doctoral dissertation, Ithaca, New York: Cornell University.
- Benacchio, R. 2002. Конкуренция видов, вежливость и этикет в русском императиве. *Russian Linguistics*, 26(2), 149-178.
- Blum-Kulka, S., House, J. and Kasper, G. (eds.) 1989. *Cross-cultural pragmatics: requests and apologies*. Nordwood: Ablex Publishing Corporation.
- Bolden, G. 2003. Multiple modalities in collaborative turn sequences. *Gesture*, 3(2), 187-212.
- Bolden, G. 2011. On the organization of repair in multiperson conversation: the case of “other”-selection in other-initiated repair sequences. *Research on language and social interaction*, 44(3), 237-262.
- Brown, P. and Levinson, S.C. 1987 [1978]. *Politeness: some universals in language usage*. New York: Cambridge University Press.
- Bu, J. 2011. A study of pragmatic transfer in suggestion strategies by Chinese learners of English. *Studies in Literature and Language*, 3(2), 28-36.
- Clancy, P.M., Thompson, S.A., Suzuki, R. and Tao, H. 1996. The conversational use of reactive tokens in English, Japanese, and Mandarin. *Journal of Pragmatics*, 26(3), 355-387.
- Clark, H.H. 1996. *Using language*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Clayman, S.E. 2013. Turn - constructional units and the transition-relevance place. In J. Sidnell and T. Stivers (eds.) *The handbook of conversation analysis*. Chichester: Wiley-Blackwell, 150-166.
- Coates, J. 2004. *Women, men and language: a sociolinguistic account of gender differences in language*. Harlow: Pearson Education Limited.
- Di Pietro, R.J. 1971. *Language structures in contrast*. Rowley, Mass.: Newbury House

Publishers.

- Edelsky, C. 1981. Who's got the floor? *Language in Society*, 10(3), 383-421.
- Farnia, M., Sohrabie, A. and Abdul Sattar, H.Q. 2014. A pragmatic analysis of speech act of suggestion among Iranian native speakers of Farsi. *Journal of ELT and Applied Linguistics*, 2(2), 48-61.
- Flöck, I. 2011. Suggestions in British and American English: a corpus-linguistic study. *Proceedings of the workshop "Beyond semantics: corpus-based investigations of pragmatic and discourse phenomena"*, 67-81.
- Ford, C.E. and Thompson, S.A. 1996. Interactional units in conversation: syntactic, intonational, and pragmatic resources for the management of turns. In E. Ochs, E.A. Schegloff and S.A. Thompson (eds.) *Interaction and Grammar*. New York: Cambridge University Press, 134-184.
- Fraser, B. 1974. An analysis of vernacular performative verbs. In R.W. Shuy and C.J. Bailey (eds.) *Towards tomorrow's linguistics*. Washington: Georgetown University Press, 139-158.
- Fraser, B. 1978. Acquiring social competence in a second language. *RELC Journal*, 9(2), 1-21.
- Fraser, B. 1990. Perspectives on politeness. *Journal of Pragmatics*, 14(2), 219-236.
- Fraser, B. and Nolen, W. 1981. The association of deference with linguistic form. *International journal of sociology of language*, 27, 98-109.
- Fujii, Y. 2005. How Japanese and American pairs co-construct stories: an overview of two different types of collaboration. 『日本女子大学英米文学研究』, 40, 日本女子大学英語英文学会, 69-84.
- Fujii, Y. 2012. Differences of situating Self in the place / ba of interaction between the Japanese and American English speakers. *Journal of Pragmatics*, 44, 636-662.
- Goffman, E. 1967. *Interaction ritual: essays in face to face behavior*. New York: Doubleday.
- Grenoble, L.A. 1999. Gender and conversational management in Russian. In M.H. Mills (ed.) *Slavic Gender and Linguistics*. Amsterdam; Philadelphia: John Benjamins Publishing Company, 113-130.
- Grenoble, L.A. 2013. Talking out of turn: (co)-constructing Russian conversation. In N.

- Thielemann and P. Kosta (eds.) *Approaches to Slavic Interaction*. Amsterdam: John Benjamins Publishing Company, 17-33.
- Hayashi, M. 2003. *Joint utterance construction in Japanese conversation*. Amsterdam; Philadelphia: John Benjamins Publishing Company.
- Hayashi, R. 1988. Simultaneous talk - from the perspective of floor management of English and Japanese speakers. *World Englishes*, 7(3), Oxford: Pergamon Press, 269-288.
- Hayashi, R. 1996. *Cognition, empathy, and interaction: floor management of English and Japanese conversation*. Nordwood: Ablex Publishing Corporation.
- Hikita, G. 1992. Extraposition of elements out of some syntactic categories in Russian. *Gengo Kenkyu (Journal of the Linguistic Society of Japan)*, 102, 17-44.
- Ide, S. 1989. Formal forms and discernment: two neglected aspects of universals of linguistic politeness. *Multilingua*, 8(2-3), 223-248.
- Itakura, H. 2001. *Conversational dominance and gender: a study of Japanese speakers in first and second language contexts*. Amsterdam; Philadelphia: John Benjamins Publishing Company.
- Itakura, H. 2013. Hedging praise in English and Japanese book reviews. *Journal of Pragmatics*, 45, 131-148.
- Itani, R. 1995. *Semantics and pragmatics of hedges in English and Japanese*. Doctoral thesis. University College London.
- Jiang, X. 2006. Suggestions: what should ESL students know? *System*, 34, 36-54.
- Kajikawa, S., Amano, S. and Kondo, T. 2004. Speech overlap in Japanese mother-child conversations. *Journal of Child Language*, 31, 1-16.
- Kallestinova, E.D. 2007. *Aspects of word order in Russian*. Doctoral dissertation. Iowa: University of Iowa.
- Kaneko, Y. 2014. The aspect-tense interactions in present tense in narrative texts of Russian and Japanese. 『ロシア語研究』, 24, 55-70.
- Koike, D.A. 1994. Negation in Spanish and English suggestions and requests: mitigating effects? *Journal of Pragmatics*, 21, 513-526.
- Kekidze, T. 2003. 「現代日本語における表現の「やわらげ」 — 「そうだ」、「げ」、「ぼい」などの場合 —」『言葉と文化』, 4, 名古屋大学国際言語文化研究科日本語文化専攻,

293-306.

- Kekidze, T.・田中聡子 2006.「日露対照言語文化研究―気になる人目―」『言葉と文化』, 7, 名古屋大学大学院国際言語文化研究科, 17-34.
- Kozlova, I. 2004. Can you complain? Cross-cultural comparison of indirect complaints in Russian and American English. *Prospect*, 19(1), 84-105.
- Labov, W. 1972. *Sociolinguistic patterns*. Philadelphia: University of Pennsylvania Press.
- Lakoff, G. 1973. Hedges: a study in meaning criteria and the logic of fuzzy concepts. *Journal of Philosophical Logic*, 2(4), 458-508. (Reprinted from *Papers from the 8th Regional Meeting of the Chicago Linguistic Society*, 1972, 183-228)
- Lakoff, R. 1973. The logic of politeness: or minding your p's and q's. In *Papers from the seventh regional meeting of the Chicago Linguistic Society*, 292-305.
- Lakoff, R. 1975. *Language and woman's place*. New York: Harper & Row.
- Larina, T. 2005. Cultural values and negative politeness in English and Russian. *Respectus Philologicus*, 8 (13), 25-39.
- Lauwereyns, S. 2002. Hedges in Japanese conversation: the influence of age, sex, and formality. *Language Variation and Change*, 14, 239-259.
- Lebra, T.S. 1976. *Japanese Patterns of Behavior*. Honolulu: University of Hawaii Press.
- Leech, G. 1983. *Principles of pragmatics*. London: Longman.
- Leech, G. 2014. *The pragmatics of politeness*. New York: Oxford University Press
- Lerner, G.H. 1989. Notes on overlap management in conversation: the case of delayed completion. *Western Journal of Speech Communication*, 53, 167-177.
- Lerner, G.H. 1991. On the syntax of sentences-in-progress. *Language in Society*, 20, 441-458.
- Lerner, G.H. 2003. Selecting next speaker: the context-sensitive operation of a context-free organization. *Language in Society*, 32, 177-201.
- Lerner, G.H. 2004. Collaborative turn sequences. In G.H. Lerner (ed.) *Conversation Analysis: Studies from the first generation*. Amsterdam; Philadelphia: John Benjamins Publishing Company, 225-256.
- Li, E.S.H. 2010. Making suggestions: a contrastive study of young Hong Kong and Australian students. *Journal of Pragmatics*, 42, 598-616.
- LoCastro, V. 1986. 'Yes, I agree with you, but'...: agreement and disagreement in

- Japanese and American English. Paper presented at the Japan Association of Language Teacher's International Conference on Language Teaching and Learning, Hamamatsu, Japan, 1-20.
- LoCastro, V. 1987. Aizuchi: a Japanese conversational routine. In L.E. Smith (ed.) *Discourse across cultures: strategies in world Englishes*. New York: Prentice Hall. 101-113.
- Martínez-Flor, A. 2005. A theoretical review of the speech act of suggesting: towards a taxonomy for its use in FLT. *Revista Alicantina de Estudios Ingleses*, 18, 167-187.
- Maynard, S.K. 1990. Conversation management in contrast: listener response in Japanese and American English. *Journal of Pragmatics*, 14, 397-412.
- Namsaraev, V. 1997. Hedging in Russian academic writing in sociological texts. In R. Markkanen and H. Schröder (eds.) *Hedging and Discourse: Approaches to the Analysis of a Pragmatic Phenomenon in Academic Texts*. Berlin: Walter de Gruyter, 64-79.
- Nittono, M. 2003. *Japanese hedging in friend-friend discourse*. Doctoral thesis, Columbia University Teachers College.
- Ohata, K. 2004. Different realizations of suggestions in TV commercials from Japan and the USA. *Journal of Language and Linguistics*, 3(2), 197-212.
- Paukkeri, P. 2006. *Реципиент в русском разговоре: о распределении функций между ответами да, ну и так*. Докторская диссертация, Helsinki: Helsinki University Printing House.
- Pikkarainen, M. 2008. *Институциональные роли участников общения на российском телевидении*. Магистерская диссертация, Helsinki: Helsinki University.
- Pishghadam, R. and Sharafadini, M. 2011. A contrastive study into the realization of suggestion speech act: Persian vs English. *Canadian Social Science*, 7(4), 230-239.
- Pomerantz, A. 1984. Agreeing and disagreeing with assessments: some features of preferred and dispreferred turn shapes. In J.M. Atkinson and J. Heritage (eds.) *Structures of social action: Studies in conversation analysis*. Cambridge: Cambridge University Press, 57-101.
- Popov, P. 1985. On the origin of Russian vy as a form of polite address. *The Slavic and East European Journal*, 29(3), 330-337.

- Prince, E., Bosk, C. and Frader, J. 1982. On hedging in physician-physician discourse. In J. Di Pietro (ed.) *Linguistics and the professions*. Norwood: Ablex Publishing Corporation, 83-97.
- Sacks, H. 1972. On the analyzability of stories by children. In J. Gumperz and D. Hymes, (eds.) *Directions in sociolinguistics: the ethnography of communication*. New York: Rinehart & Winston, 325-345.
- Sacks, H., Schegloff, E.A. and Jefferson, G. 1974. A simplest systematics for the organization of turn-taking for conversation. *Language*, 50, 696-735. (H. サックス, E.A. シェグロフ, G. ジェファソン (著)西阪仰 (訳) 2010. 『会話分析基本論集：順番交替と修復の組織』 京都：世界思想社.)
- Schegloff, E.A. 2000. Overlapping talk and the organization of turn-taking for conversation. *Language in Society*, 29, 1-63.
- Schegloff, E.A. and Sacks, H. 1973. Opening up closings. *Semiotica*, 8(4), 289-327.
- Searle, J.R. 1975. A taxonomy of illocutionary acts. *Language, Mind and Knowledge, Minnesota Studies in the Philosophy of Science*, 344-369.
- Searle, J.R. 1976. A classification of illocutionary acts. *Language in Society*, 5(1), 1-23.
- Searle, J.R. 1979. *Expression and meaning: Studies in the theory of speech acts*. New York: Cambridge University Press.
- Selting, M. 2000. The construction of units in conversational talk. *Language in Society*, 29, 477-517.
- Spencer-Oatey, H. (ed.) 2000. *Culturally speaking: managing rapport through talk across cultures*. London: Continuum. (スペンサー＝オーティ, H. (編)、田中典子・津留崎毅・鶴田庸子・熊野真理・福島佐江子 (訳) 2004. 『異文化理解の語用論—理論と実践—』 東京：研究社.)
- Spencer-Oatey, H. 2002. Managing rapport in talk: using rapport sensitive incidents to explore the motivational concerns underlying the management of relations. *Journal of Pragmatics*, 34, 529-545.
- Suzuki, T. 2009. A study of lexicogrammatical and discourse strategies for 'suggestion' with the use of the English speech act corpus. 『文化論集』, 34, 131-159.
- Tanaka, H. 1999. *Turn-taking in Japanese conversation: a study in grammar and interaction*. Philadelphia: John Benjamins Publishing Company.

- Tanaka, N., Spencer-Oatey, H. and Cray, E. 2000. Apologies in Japanese and English. In Spencer-Oatey, H. (ed.) *Culturally speaking: managing rapport through talk across cultures*. London: Continuum. 75-97.
- Taniguchi, R. 2015. Contrastive studies as methodology: an example with the pragmatics of apology and thanks. *JSN Journal*, 5(2), 1-11.
- Tannen, D. 1983. When is an overlap not an Interruption? One component of conversational style. In R.J. Di Pietro, W. Frawley and A. Wedel (eds.) *The First Delaware Symposium on Language Studies*. Newark: University of Delaware Press, 119-129.
- Tannen, D. 1984. *Conversational style*. New York: Ablex Publishing Corporation.
- Tannen, D. 1990. *You just don't understand: women and men in conversation*. New York: William Morrow and Company.
- The Leipzig Glossing Rules: conventions for interlinear morpheme-by-morpheme glosses. <<https://www.eva.mpg.de/lingua/pdf/Glossing-Rules.pdf>> 2016/02/07 アクセス.
- Usami, M. 2002. *Discourse politeness in Japanese conversation: some implications for a universal theory of politeness*. Tokyo: Hituzi Syobo.
- Van Doren, F. 1993. *The structure of Russian conversation: langue or parole?* Doctoral Thesis, Berkeley: University of California.
- Watts, R.J. 1989. Relevance and relational work: linguistic politeness as politic behavior. *Multilingua*, 8(2-3), 133-166.
- Walters, J. 1979. Strategies for requesting in Spanish and English: structural similarities and pragmatic differences. *Language Learning*, 29, 277-293.
- West, C. and Zimmerman, D.H. 1983. Small insults: A study of interruptions in crosssex conversations between unacquainted persons. In B. Thorne, C. Kramarae and H. Henley (eds.) *Language, gender and society*. Cambridge, MA: Newbury House, 102-117.
- Yngve, V.H. 1970. On getting a word in edgewise. *Papers from the 6th regional meeting Chicago linguistic society*, 567-578.
- Yokoyama, O.T. 1986. *Discourse and word order*. Amsterdam; Philadelphia: John Benjamins Publishing Company.
- Yuan, J., Liberman, M. and Cieri, C. 2007. Towards an integrated understanding of speech overlaps in conversation. *Proceedings of 16th International Congress of*

Phonetic Sciences, 1337-1340.

- 青木則子 2005. 「日本語とロシア語の対照研究の動向」『神戸市外国語大学外国学研究』, 61, 130-136.
- 東照二 1997. 『社会言語学入門: 生きた言葉のおもしろさにせまる』 東京: 研究社.
- 庵功雄・高梨信乃・中西久実子・山田敏弘 2001. 『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』 東京: スリーエーネットワーク.
- 李恩美 2008. 『日本語と韓国語の初対面二者間会話における対人配慮行動の対照研究: ディスコース・ポライトネス理論の観点から』 博士論文, 東京外国語大学.
- 生田少子 1997. 「ポライトネスの理論」『月刊言語』, 26(6), 東京: 大修館書店, 66-71.
- 生田少子・井出祥子 1983. 「社会言語学における談話研究」『月刊言語』, 12(12), 東京: 大修館書店, 77-84.
- 池田佳子 2008. 「会話に不可欠な「言い淀み」の機能の一考察」『言語文化研究叢書』, 7, 1-13.
- 生駒幸子 1996. 「日常会話における発話の重なる機能」『世界の日本語教育』, 6, 185-199.
- 石綿敏雄・高田誠 1990. 『対照言語学』 東京: おうふう.
- 井出祥子 2001. 「国際化社会の中の敬意表現—その国際性と文化独自性」『日本語学』, 20(4), 東京: 明治書院, 4-13.
- 井上優 2002. 「「言語の対照研究」の役割と意義」国立国語研究所(著)『対照研究と日本語教育』 東京: くろしお出版, 3-20.
- 今井邦彦 2001 『語用論への招待』 東京: 大修館書店.
- 宇佐美まゆみ 1995. 「談話レベルから見た敬語使用—スピーチレベルシフト生起の条件と機能」『学苑』, 662, 昭和女子大学近代文化研究所, 27-42.
- 宇佐美まゆみ 2001a. 「談話のポライトネス—ポライトネスの談話理論構想—」『談話のポライトネス』(第7回国立国語研究所国際シンポジウム報告書), 9-58.
- 宇佐美まゆみ 2001b. 「対人コミュニケーションの社会心理学—ディスコース・ポライトネスという観点から」『月刊言語』, 30(6), 東京: 大修館書店, 78-85.
- 宇佐美まゆみ 2002. 連載「ポライトネス理論の展開 (1-12)」『月刊言語』, 31(1-13, 6を除く), 東京: 大修館書店.
- 宇佐美まゆみ 2006. 「話し手と聞き手の相互作用としての「共同発話文」の日英比較—「共話」、「Co-construction」現象の再検討—」『高見澤孟先生古希記念論文集』, 103-130.
- 宇佐美まゆみ 2008. 「ポライトネス理論研究のフロンティア—ポライトネス理論研究の課題とディスコース・ポライトネス理論」『社会言語科学』, 11(1), 4-22.

- 宇佐美まゆみ 2011. 「基本的な文字化の原則 (Basic Transcription System for Japanese: BTSJ) 2011 年版」 <<http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/usamiken/btsj2011.pdf>> 2016/02/02 アクセス.
- 宇佐美まゆみ 2013. 「会話データの作成・分析: 「総合的会話分析」と「基本的な文字化の原則 (Basic Transcription System for Japanese: BTSJ)」 『日本語学』, 32(14), 東京: 明治書院, 132-147.
- 江口満 2006. 「日本語・ロシア語間コミュニケーションにかかわる諸問題の一考察: 日露対照研究の試み」 『創価大学外国語学科紀要』, 16, 181-202.
- 大津友美 2007. 「会話における冗談のコミュニケーション特徴—スタイルシフトによる冗談の場合」 『社会言語科学』, 10(1), 45-55.
- 大塚容子 2007. 「日本語母語話者の英語使用場面におけるあいづち的表現—会話管理ストラテジーの観点から—」 『岐阜聖徳学園大学紀要』, 46, 75-86.
- 大塚容子 2012. 「初対面 3 人会話における共話的会話展開—あいづちを手がかりにして—」 『岐阜聖徳学園大学紀要』, 51, 15-24.
- 大場美和子 2012. 『接触場面における三者会話の研究』 東京: ひつじ書房.
- 大場美和子 2013. 「接触場面における三者会話の分析—話題開始と応答の発話に着目して—」 『日本語学』, 32(1), 東京: 明治書院, 30-42.
- 荻野綾 2011. 「断り表現における緩和表現の日英比較—日英語の副詞からみたポライトネスの一考察—」 『The JASEC bulletin』 (日本英語コミュニケーション学会紀要), 20(1), 1-16.
- 荻原稚佳子 2002. 「日本語インタビューにおける「言いさし—割り込み」の連鎖—対人コミュニケーションの視点から」 『異文化コミュニケーション研究』, 14, 57-77.
- 荻原稚佳子 2015. 「話し手の言いさし使用の実態と聞き手の解釈: 会話の目的を基にした推量を中心に」 『日本語学』, 34(7), 東京: 明治書院, 52-64.
- 生越直樹 2002. 『対照言語学』 東京: 東京大学出版会.
- 尾崎喜光 2014. 「現代語の受諾・拒否に見られる配慮表現」 野田尚史・高山善行・小林隆 (編) 『日本語の配慮表現の多様性: 歴史的変化と地理的・社会的変異』 東京: くろしお出版, 223-240.
- 柏崎雅世・足立さゆり・福岡理恵子 1997. 「インフォーマルな「と」相談における提案の分析」 『日本語教育』, 92, 60-71.
- 蒲谷宏・川口義一・坂本恵 1998. 『敬語表現』 東京: 大修館書店.

- 蒲谷宏 2015. 「待遇表現における「硬さ」「やわらかさ」」『日本語学』, 34(1), 東京: 明治書院, 26-34.
- 川口義一・蒲谷宏・坂本恵 2002. 「待遇表現としての「誘い」」『早稲田大学日本語教育研究』, 1, 21-30.
- 菊地康人 1997. 『敬語』 東京: 講談社.(『敬語』, 1994, 角川書店の再刊)
- 北岡千夏・塩村尊 2013. 「ロシア語学習者の初期動機づけ要因に関する考察: Rによるデータ解析」『関西大学外国語教育フォーラム』 12, 17-30.
- 串田秀也 1997. 「ユニゾンにおける伝達と交感: 会話における「著作権」の記述をめざして」谷泰(編)『コミュニケーションの自然誌』 東京: 新曜社, 249-294.
- 久保進(編著) 2002. 『発語内行為の意味ネットワーク—言語行為論からの辞書的対話事例分析—』 京都: 晃洋書房.
- 熊谷智子・木谷直之 2010. 『三者面接調査におけるコミュニケーション—相互行為と参加の枠組み—』 東京: くろしお出版.
- 熊谷智子・木谷直之 2013. 「三者面接調査—回答者が二人の場合の相互行為—」『日本語学』, 32(1), 東京: 明治書院, 16-26.
- 小出慶一 1983. 「言いよどみ」水谷修(編)『講座日本語 3: 話しことばの表現』 東京: 筑摩書房, 81-88.
- 国際交流基金. 「ロシア(2014年度)日本語教育国・地域別情報」.
<<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/survey/area/country/2014/russia.html#KEKKA>> 2016/02/02 アクセス.
- 坂本恵 2001. 「「敬語」と「敬意表現」」『日本語学』, 20(4), 東京: 明治書院, 14-21.
- 坂本恵 2002. 「「敬意表現」研究の意義と方法」『早稲田日本語研究』, 10, 65-73.
- 坂本恵 2005. 「「待遇表現」における「敬語」の使用意識と機能(敬語—理論と実践)」『日本語学』, 24(11), 46-55.
- 定延利之・中川明子 2005. 「非流ちょう性への言語学的アプローチ」串田秀也・定延利之・伝康晴(編)『活動としての文と発話』 東京: ひつじ書房, 209-228.
- ザトラウスキー, ポリー 1993. 『日本語の談話の構造分析: 勧誘のストラテジーの考察』 東京: くろしお出版.
- ザトラウスキー, ポリー 2000. 「共同発話における参加者の立場と言語・非言語行動の関連について」『日本語科学』, 7, 44-69.
- 陣内正敬 2006. 「ぼかし表現の二面性—近づかない配慮と近づく配慮—」国立国語研究所

- (著)『言語行動における「配慮」の諸相』東京：くろしお出版, 115-131.
- 杉戸清樹 1983. 「＜待遇表現＞気配りの言語行動」水谷修(編)『講座日本語 3: 話しことばの表現』東京：筑摩書房, 129-152.
- 杉戸清樹 1987. 「発話のうけつぎ」『談話行動の諸相—座談資料の分析』東京：三省堂, 68-106.
- 杉戸清樹 1989. 「ことばのあいづちと身ぶりのあいづち—談話行動における非言語的表現—」『日本語教育』, 67, 48-59.
- 杉戸清樹 2001. 「敬意表現の広がり—「悪いけど」と「言っていないかなあ」を手がかりに」『日本語学』, 20(4), 東京：明治書院, 22-33.
- 杉戸清樹・尾崎喜光 2006. 「『敬語』から『言語行動における配慮』へ」国立国語研究所(著)『言語行動における「配慮」の諸相』東京：くろしお出版, 1-10.
- 梶本総子 1998. 「会話者による提案の連鎖の組織化」『日本語・日本文化研究』, 8, 大阪外国語大学日本語講座, 77-88.
- 梶本総子 2000. 「人間関係からみた課題解決の会話の連鎖構造」『世界の日本語教育』, 10, 221-239.
- 田中聡子・ケキゼ, タチアナ 2005. 「顔と《ЛИЦО》: 〈顔〉概念の日露対照研究」『世界の日本語教育』, 15, 103-116.
- 田中妙子 1998. 「会話における＜先取り＞について」『早稲田大学日本語研究教育センター紀要』, 10, 17-40.
- 田中春美(編) 1988. 『現代言語学辞典』東京：成美堂.
- ツォイ, エカテリーナ 2015a. 「三者間の共同作業における言語行動—親疎関係による課題達成指向および対人関係指向の相互行為—」『日本語用論学会第 17 回大会発表論文集』, 10, 日本語用論学会, 97-104.
- ツォイ, エカテリーナ 2015b. 「三者間の共同作業における言語行動の日露対照分析—発話の重なりに着目して—」『社会言語科学会第 35 回大会論文集』, 88-91.
- 辻村敏樹 1967. 『現代の敬語』東京：共文社.
- 伝康晴 2007. 「多人数会話におけるしぐさの語用論」『月刊言語』, 36(12), 東京：大修館書店, 48-55.
- 伝康晴 2009. 「聞き手行動の認知科学に必要なもの」『認知科学』, 16(4), 475-480.
- 伝康晴 2013. 「三者会話のダイナミックス」『日本語学』, 32(1), 東京：明治書院, 4-13.
- 徳永弘子・武川直樹・寺井仁・湯浅将英 2010. 「発話志向態度の表出・理解と発話調整に

- 基づく話者交替分析—3人会話における「話したい／聞きたい」態度表出の効用—」『ヒューマンコミュニケーション基礎』, 110(185), 電子情報通信学会技術研究報告, 49-54.
- 中尾裕子 2003. 「ロシア語における指小接尾辞と日本語の接頭辞「オ-」の対照研究」『ロシア語研究』, 16, 27-49.
- 永田良太 2015. 「談話展開から見た接続助詞ケドの言いさし表現: トピック展開とターン・テークに注目して」『日本語学』, 34(7), 東京: 明治書院, 14-24.
- ネウストプニー, J.V. 1982. 『外国人とのコミュニケーション』 東京: 岩波書店.
- 野田尚史・高山善行・小林隆(編) 2014. 『日本語の配慮表現の多様性: 歴史的変化と地理的・社会的変異』 東京: くろしお出版.
- 野原美和子・藤江希子・宮谷敦美 2001. 「提案から同意に至る会話の分析—日本母語話者と日本語非母語話者の課題解決を目指す会話データを基に—」『岐阜大学留学センター紀要』, 31-45.
- 橋内武 1999. 『ディスコース 談話の織りなす世界』 東京: くろしお出版.
- 林四郎・南不二男(編) 1973. 『現代の敬語』 東京: 明治書院.
- 林淳子 2014. 「疑問文における終助詞〈ね〉と〈な〉」『日本語学論集』, 10, 152-167.
- 林宅男(編) 2008. 『談話分析のアプローチ』 東京: 研究社.
- 堀口純子 1988. 「コミュニケーションにおける聞き手の言語行動」『日本語教育』, 64, 13-26.
- 水谷信子 1983. 「あいづちと応答」水谷修(編)『講座日本語 3: 話しことばの表現』 東京: 筑摩書房, 37-44.
- 水谷信子 1988. 「あいづち論」『日本語学』, 7(13), 東京: 明治書院, 4-11.
- 水谷信子 1993. 「「共話す」から「対話」へ」『日本語学』, 12(4), 東京: 明治書院, 4-10.
- 水谷信子 2001. 「日本人の話しことばスタイル」『月刊言語』, 30(6), 東京: 大修館書店, 52-53.
- 三牧陽子 1993. 「談話の展開標識としての待遇レベル・シフト」『大阪教育大学紀要 第I部門』, 42 (1), 39-51.
- 三牧陽子 2002. 「待遇レベル管理からみた日本語母語話者間のポライトネス表示—初対面会話における「社会的規範」と「個人のストラテジー」を中心に—」『社会言語科学』, 5(1), 56-74.
- 三牧陽子 2013. 『ポライトネスの談話分析—初対面コミュニケーションの姿としくみ』 東京: くろしお出版.

- 三牧陽子 2015. 「言いさしに見るポライトネス」『日本語学』, 34(7), 東京: 明治書院, 26-37.
- 三宅和子 2011. 『日本語の対人関係把握と配慮言語行動』 東京: ひつじ書房.
- 三宅知宏 2004. 「敬意表現からみた「主語」」『月刊言語』, 33(2), 東京: 大修館書店, 62-67.
- メイナード, K・泉子 1993. 『会話分析』 東京: くろしお出版.
- メイナード, K・泉子 2001. 「心の変化と話しことばのスタイルシフト」『月刊言語』, 30(6), 東京: 大修館書店, 38-45.
- 柳町裕子 2004. 「外国語教育における「外国語としての日本語」の視点: 日本語とロシア語のテンス・アスペクトの対照研究から」『Slavistika』, 19, 東京大学大学院人文社会系研究科スラヴ語スラヴ文学研究室, 168-183.
- 山岡政紀・牧原功・小野正樹 2010. 『コミュニケーションと配慮表現—日本語語用論入門』 東京: 明治書院.
- 山梨正明 1986. 『発話行為』 東京: 大修館書店.
- 吉田奈央・高梨克也・伝康晴 2009. 「対話におけるあいづち表現の認定とその問題点について」『言語処理学会第15回年次大会発表論文集』, 430-433.
- Алпатов, В.М. 1995. Литературный язык в России и Японии (Опыт сопоставительного анализа). *Вопросы языкознания*, 1, 93-116.
- Бердяев, Н.А. 1990. *Судьба России*. Москва: Современный писатель.
- Вежбицка, А. 2002. Русские культурные скрипты и их отражение в языке. *Русский язык в научном освещении*, 2(4), Москва: Языки славянской культуры, 6-34.
- Всероссийский институт научной и технической информации Российской Академии наук и Министерства науки и технологий Российской Федерации 2002. *Система стандартов по информации, библиотечному и издательскому делу. Правила транслитерации кирилловского письма латинским алфавитом*. Межгосударственный совет по стандартизации, метрологии и сертификации, Минск: Издательство стандартов.
- Гловинская, М.Я. 1993. Семантика глаголов речи с точки зрения теории речевых актов. *Русский язык в его функционировании. Коммуникативно-прагматический аспект*. (под ред. Земской Е.А. и Шмелева Д.Н.) Москва: Наука, 158-218.
- Дыбовский, А. 1994. Опыт сопоставления обращений русского и японского языков.

- 『言語文化研究』, 20, 大阪大学大学院言語文化研究科, 187-210.
- Земская, Е.А. 1997. Категория вежливости: общие вопросы — национально-культурная специфика русского языка. *Zeitschrift für slavische Philologie*. 271-301.
- Земская, Е.А., Китайгородская, М.В. и Розанова, Н.Н. 1993. Особенности мужской и женской речи. *Русский язык в его функционировании. Коммуникативно-прагматический аспект*. (под ред. Земской Е.А. и Шмелева Д.Н.) Москва: Наука, 90-136.
- Золотова, Г.А. 1985. Как быть вежливым? *Русская речь*, 5, Москва: Наука, 67-74.
- Канэко, Ю и Петрухина, Е.В. 2004. Аспектуальная семантика в глагольных системах русского и японского языков. *Вопросы языкознания*, 4, 19-33.
- Кронгауз М.А. и Такахаси К. 2002. Обращение по имени в русском и японском языках. *Труды по культурной антропологии: Памяти Григория Александровича Ткаченко*. Москва: Восточная литература; Муравей, 252-274.
- Кузьменкова, В.А. 2007. Диминутив как средство выражения имплицитных смыслов высказывания. *Язык, сознание, коммуникация*, 34, Московский государственный университет имени М. В. Ломоносова филологический факультет, Москва: Макс Пресс, 38-44.
- Ларина, Т.В. 2009. *Категория вежливости и стиль коммуникации: сопоставление английских и русских лингвокультурных традиций*. Москва: Рукописные памятники Древней Руси.
- Накао, Ю. 2003. Сопоставительный анализ употребления диминутивных суффиксов в русском языке и префикса О- в японском. *Japanese Slavic and East European Studies*, 24, 19-44.
- Поливанова, А.К. 2002. Формы вежливости в современном русском языке. *Лингвистический беспредел: сборник статей к 70-летию А.И. Кузнецовой* (под ред. А.Е. Кибрика). Издательство Московского государственного университета имени М. В. Ломоносова, 21-28.
- Пробст, Н.А. 2014. *Вопросительно-побудительная модальность как межполевая зона макрополя модальности в современном русском языке*. Диссертация на соискание ученой степени кандидата филологических наук, Калининград:

Балтийский федеральный университет им. И. Канта.

Прохоров, Ю.Е. и Стернин, И.А. 2007. *Русские: коммуникативное поведение.*

Москва: Флинта-Наука.

Сергеева, А. 2006. *Русские. Стереотипы поведения, традиции, ментальность.*

Москва: Флинта-Наука.

Турчик, А.В. 2010. *Конверсационный анализ речевого взаимодействия в ситуации исследовательского интервью.* Диссертация на соискание ученой степени кандидата социологических наук, Москва: Российский университет дружбы народов.

付録

I. 調査協力者の情報	201
I-i. 日本語母語話者の情報	201
I-ii. ロシア語母語話者の情報.....	202
II. 「提案」発話におけるヘッジのリストおよび出現回数.....	203
II-i 日本語の「提案」発話におけるヘッジのリスト.....	203
II-ii ロシア語の「提案」発話におけるヘッジのリスト.....	204
III. 会話の文字化資料.....	207
III-i. 日本語の会話データ	207
1. JM01	207
2. JM02	216
3. JM03	223
4. JM04	226
5. JM05	233
6. JF06	242
7. JF07	253
8. JF08	256
9. JF09	263
10. JF10	267
11. JF11.....	272
12. JF12	276
III-ii. ロシア語会話.....	283
1. RM01.....	283
2. RM02.....	288
3. RM03.....	292
4. RM04.....	301
5. RM05.....	309
6. RF06.....	316
7. RF07.....	324
8. RF08.....	330
9. RF09.....	335
10. RF10.....	340
11. RF11	345
12. RF12.....	348
IV. フォローアップ・アンケート	353

I. 調査協力者の情報

I-i. 日本語母語話者の情報

データ名	話者	年齢	出身地	首都圏在住期間 (年間)
JM01	話者 A01	28	神奈川県	28
	話者 B01	28	千葉県	28
	話者 C01	27	京都府	4
JM02	話者 A02	26	東京都	22
	話者 B02	26	東京都	26
	話者 C02	26	東京都	26
JM03	話者 A03	23	埼玉県	23
	話者 B03	22	埼玉市	22
	話者 C03	24	東京都	24
JM04	話者 A04	24	福島県	5
	話者 B04	23	栃木県	5
	話者 C04	22	鹿児島県	4
JM05	話者 A05	21	富山県	2
	話者 B05	22	福井県	2
	話者 C05	20	広島県	2
JF06	話者 A06	21	徳島県	3
	話者 B06	21	大分県	3
	話者 C06	23	東京都	23
JF07	話者 A07	23	東京都	23
	話者 B07	22	岡山県	4
	話者 C07	22	静岡県	3
JF08	話者 A08	22	静岡県	4
	話者 B08	23	滋賀県	4
	話者 C08	22	神奈川県	22
JF09	話者 A09	20	岐阜県	2
	話者 B09	20	茨城県	2
	話者 C09	22	長野県	3
JF10	話者 A10	21	広島県	2
	話者 B10	20	東京都	20
	話者 C10	21	東京都	18
JF11	話者 A11	21	東京都	21
	話者 B11	23	静岡県	4
	話者 C11	24	東京都	24
JF12	話者 A12	21	千葉県	21
	話者 B12	22	東京都	22
	話者 C12	22	東京都	18

I-ii. ロシア語母語話者の情報

データ名	話者	年齢	出身地	モスクワ在住期間（年間）
RM01	話者 A21	20	モスクワ市（ロシア）	20
	話者 B21	20	クルチャトヴ市（ロシア）	2
	話者 C21	22	モスクワ市（ロシア）	22
RM02	話者 A22	22	キルジャチ市（ロシア）	12
	話者 B22	20	モスクワ市（ロシア）	20
	話者 C22	27	モスクワ市（ロシア）	27
RM03	話者 A23	20	モスクワ市（ロシア）	20
	話者 B23	20	モスクワ市（ロシア）	20
	話者 C23	23	モスクワ市（ロシア）	23
RM04	話者 A24	21	モスクワ市（ロシア）	21
	話者 B24	21	モスクワ市（ロシア）	21
	話者 C24	20	モスクワ市（ロシア）	20
RM05	話者 A25	23	スフム市（ロシア）	20
	話者 B25	20	モスクワ市（ロシア）	20
	話者 C25	22	モスクワ市（ロシア）	17
RF06	話者 A31	20	ギュムリ市（アルメニア）	16
	話者 B31	20	ブリャンスク市（ロシア）	4
	話者 C31	21	モスクワ市（ロシア）	20
RF07	話者 A32	21	モスクワ市（ロシア）	21
	話者 B32	22	チェリャビンスク市（ロシア）	5
	話者 C32	21	モスクワ市（ロシア）	21
RF08	話者 A33	20	モスクワ市（ロシア）	20
	話者 B33	21	モスクワ市（ロシア）	21
	話者 C33	20	モスクワ市（ロシア）	20
RF09	話者 A34	21	モスクワ市（ロシア）	21
	話者 B34	21	モスクワ市（ロシア）	21
	話者 C34	20	モヴセス村（アルメニア）	17
RF10	話者 A35	21	モスクワ市（ロシア）	21
	話者 B35	22	ノヴォシビルスク市（ロシア）	5
	話者 C35	21	モスクワ市（ロシア）	21
RF11	話者 A36	20	ムルマンスク市（ロシア）	3
	話者 B36	20	モスクワ市（ロシア）	20
	話者 C36	25	モスクワ市（ロシア）	25
RF12	話者 A37	21	モスクワ市（ロシア）	21
	話者 B37	20	タシケント市（ウズベキスタン）	8
	話者 C37	24	キスロヴォドスク市（ロシア）	21

II. 「提案」発話におけるヘッジのリストおよび出現回数

II-i 日本語の「提案」発話におけるヘッジのリスト

発話の形式	保護表現	回数	近似表現	回数
「平叙型」発話	～よね	20	～みたい	58
	多分	19	～って	21
	～かもしれない	14	～感じ	19
	～ね	12	とりあえず	9
	気がする	9	ちょっと	8
	きっと	9	～っていう	8
	～けど。	7	～とか	8
	やはり	7	たとえば	3
	～そう	4	～たり	3
	～と思う	3	～ってこと	3
	何だろう	2	～っぽい	3
	もしかしたら	2	～の方	3
	～よ	2	別に	3
	意外と	1	～よう	3
	感じがする	1	～的	2
	確か	1	～と	2
	～だろう	1	～ということ	2
	なんとなく	1	～辺	2
	否定表現	1	～当たり	1
	むしろ	1	一応	1
	分からない	1	～っていうふう	1
	どうしよう（ね）	1	そもそも論で	1
「疑問型」発話	～な	54	～感じ	21
	否定表現	48	～みたい	18
	～ね	28	～とか	10
	やはり	13	～って	9
	～と思う	10	～っていう	9
	～多分	7	～てみる	5
	～そう	5	～ちょっと	5
	～でしょう	4	～っていうか	3
	～けど。	4	～と	3

発話の形式	保護表現	回数	近似表現	回数
「疑問型」発話	何だろう	3	～ってこと	2
	感じがする	2	っぽい	2
	～だろう	1	～辺	2
	意外と	1	いろいろ	1
	～かもしれない	1	若干	1
	きっと	1	多少	1
	自分の意見としては	1	たとえば	1
	絶対	1	～というか	1
	ひょっとして	1	とりあえず	1
	むしろ	1	～よう	1
「命令型」発話	よく考えると	1		
	～よ	1	～てみる	1
			とりあえず	1
			ちょっと	1

II-ii ロシア語の「提案」発話におけるヘッジのリスト

発話の形式	保護表現	回数	近似表現	回数
「平叙型」発話	(mne) kazhetsya 「～ような気がする」	64	tipa 「～みたい(な/に)」	37
	naverno(e) 「多分」	40	to est` 「すなわち」	24
	mozhet (by`t`) 「～かもしれない」	36	kak by` 「～かのように」	23
	vidimo 「きっと」	11	takoj 「～みたい(な/に)」	18
	(ya) dumayu 「～と思う」	10	kak-to 「何だか、何となく」	18
	skoree vsego 「～可能性が高い」	7	prosto 「単に」	14
	tochno 「絶対」	5	chto-to 「何か、何となく」	6
	vozmozhno 「～かもしれない」	5	naprimer 「たとえば」	9
	yavno 「明らかに」	4	kakoj-to 「何らかの」	8
	predpolozhim 「～と仮定する」	4	voobshhe 「全く、全体に」	8
	dopustim 「～と仮定する」	4	gde-to 「どこかで」	6
	po-moemu 「私の意見では」	3	v obshhem 「概して」	6

発話の形式	保護表現	回数	近似表現	回数
「平叙型」発話	vsyo-taki 「やはり」	3	koroche 「一口に言えば」	5
	by` 「仮定を表す助詞」	3	kuda-to 「どこかへ」	3
	ne znayu 「分からないけど」	2	kak budto 「~かのように」	3
	ya tak ponimayu 「~と理解する」	1	sobstvenno 「本質的に」	3
	ya predpolagayu 「~と推測する」	1	kuda-nibud` 「どこかへ」	3
	sudya po vsemu 「見たところ」	1	kak-nibud` 「何だか」	2
	poxodu 「きっと」	1	poka 「とりあえず」	2
	poprobovat` 「~てみる」	1	mol 「って」	2
	my` dumali 「~と私たちは思った」	1	v principe 「原則として」	2
	malo li 「~可能性がある」	1	kak raz 「ちょうど」	2
	interesno 「なんだろう」	1	grubo govorya 「大ざっぱに言えば」	1
	vsyo ravno 「やはり」	1	chut` li 「ほとんど」	1
	(ya) schitayu 「~と考える」	1	tochnee 「正確に言えば」	1
	(ya) podozrevayu 「~と推測する」	1	to bish` 「すなわち」	1
			skazhem tak 「~というか」	1
			pryamo 「ちょうど」	1
			pochemu-to 「何だか」	1
			poxozhe na 「~のよう」	1
			po-tixonechku 「徐々に」	1
			po logike 「論理上」	1
			po idee 「概して」	1
			nemnogo 「ちょっと」	1
			ne ochen` 「あまり」	1
			vpolne 「十分に」	1
			absolyutno 「完全に」	1

発話の形式	保護表現	回数	近似表現	回数
「疑問型」発話	mozhet (by` t`) 「～かもしれない」	66	kak-to 「何だか、何となく」	5
	da? 「そうでしょ? (付加疑問)」	15	tipa 「～みたい(な/に)」	4
	否定表現	7	to est` 「すなわち」	4
	naverno(e) 「多分」	5	koroche 「一口に言えば」	3
	net? 「じゃない? (付加疑問)」	4	kak-nibud` 「何だか」	3
	(mne) kazhetsya 「～ような気がする」	3	kak by` 「～かのように」	3
	pravil`no? 「正しい? (付加疑問)」	3	voobshhe 「全く、全体に」	3
	vidimo 「きっと」	2	kakoj-to 「何らかの」	2
	vsyo-taki 「やはり」	1	takoj 「～みたい(な/に)」	1
	sudya po vsemu 「見たところ」	1	prosto 「単に」	1
	dopustim 「～と仮定する」	1	poprobovat` 「～てみる」	1
	(ya) dumayu 「～と思う」	1	kuda-nibud` 「どこかへ」	1
			gde-to 「どこかで」	1
			gde-nibud` 「どこかで」	1
			chto-to 「何か、何となく」	1
「命令型」発話	mozhet (by` t`) 「～かもしれない」	3	poprobovat` 「～てみる」	5
	dopustim 「～と仮定する」	1	prosto 「ただ」	3
			poka 「とりあえず」	3
			koroche 「一口に言えば」	2
			nemnogo 「ちょっと」	1
			naprimer 「たとえば」	1
			kak-to 「何だか、何となく」	1
			kakoj-to 「何らかの」	1
			kak-nibud` 「何だか、何となく」	1
			voobshhe 「全く、全体に」	1
			v principe 「原則として」	1
			boleer ili menea 「ある程度」	1

III. 会話の文字化資料

III-i. 日本語の会話データ

1. JM01

話者性別: 男

会話時間: 15.22 分

ライン 番号	発話文 番号 ⁱ	話者	発 話 内 容	備考
1	1	話者 B01	じゃ、どうしよう?, <笑いながら>かけますか.	荷物を後ろに置く
2	2	話者 C01	はい[小さい声で].	椅子に座る
3	3-1	話者 A01	えっ,,	椅子に座る
4	4	話者 B01	12 枚.	椅子に座る
5	3-2	話者 A01	12 枚の<絵を><{>,,	
6	5	話者 B01	<えっ><{>.	
7	3-3	話者 A01	15 分以内にストーリーが<並ぶ><{>,,	
8	6	話者 B01	<は::><{>.	
9	3-4	話者 A01	ように[↑]<してという><{>.	
10	7	話者 C01	<並び><{>替えなっさいっていう課題ですね.	
11	8	話者 B01	はい.	1 を上に動かす
12	9	話者 A01	うん.	
13	10	話者 B01	へ::.	1 の前に 7 を置く
14	11	話者 A01	で、とりあえず= [[.	
15	12	話者 C01]] =1 枚ずつ見ていきます<か[↓]><{>.	
16	13	話者 A01	<はい><{>, じゃ, 1..1 から, [カードを動かす]1..1 から[話者 B01 が話者 A01 の近くに移動].	1 を話者 C01 に近いほうに動かす
17			《沈黙 3.75 秒》	
18	14	話者 A01	<2 人がりん..りん><{> [[.	
19	15	話者 C01]] <りんごを取><{>ろう<としている><{>.	1 を触る
20	16	話者 A01	<している><{>.	
21	17	話者 A01	で, 2 番は[↑]?	
22	18-1	話者 A01	キャラクターまだ 1 人しか出てないですけど, なんか,,	
23	19	話者 C01	はい.	
24	18-2	話者 A01	機嫌が悪そうな.	話者 C01 に 2 を見せる
25			《沈黙 0.94 秒》	
26	20	話者 B01	何だろうね?, <歩いている[→]><{> [[.	
27	21	話者 A01]] <こっち始めの><{>始..始めのほうっすよね, これ多分, きっと.	1 の前に 2 を置く
28			《沈黙 0.89 秒》	
29	22	話者 C01	時間計ったほうがいいんですか[↓]?	
30	23	話者 A01	あっ, そうす.	
31	24	話者 B01	[小さい声で]そうですね.	
32	25	話者 A01	あ, お願いします.	
33	26	話者 C01	[息を吸う音]はい=.	
34	27	話者 A01	=お願いしっすか[↓]?	
35	28	話者 A01	その..この..携帯, なんかおいてあるんだけど, いいのかな[↓]?, これ.	録音機に触る
36	29	話者 B01	なんか, 使うのか[↓]?	録音機のボタンを押す
37	30	話者 B01	[録音機のボタンを押す] 録音する=.	

ⁱ BTSJ では、ラインの通し番号の他に、1 つの発話文につき 1 つの番号が割り当てられる。1 発話文が複数のラインにわたって記される場合は、その 1 発話文内における各ラインの順番が分かるように、「-」をつけ、さらに通し番号をつける。たとえば、会話データ JM01 では、ライン 3 から始まる発話文は、ライン 3、5、7、9 にわたり、4 つの部分からなる。そのため、それぞれの部分には、「3-1」、「3-2」、「3-3」、「3-4」という発話文番号がつく。本研究では、沈黙や笑いなどを改行して個別のラインで記すが、「発話文」ではないため、「発話文番号」はつかない。

38	31	話者 A01	=あっそっか、録音と、はい、録音<してるか[↓]><{>.	
39	32	話者 B01	<あっ、録>{>音<してる、録音><{>.	
40	33	話者 A01	<してる>{>[息を吸う音].	
41			《沈黙 10.16 秒》[話者 A01 と話者 B01 は話者 C01 がタイマーの設定を終わるのを待つ]	
42	34	話者 B01	どうしようね?, とりあえ<ず 1 個ずつ見ていって[↓]><{>.	話者 C01 はタイマーを机の上に置く
43	35-1	話者 A01	<で、さ..3、さ..3>{>あ、じゃ、3 番が、2 人が、なんか、石を運んで,,	3 を取る
44	36	話者 B01	うん.	
45	35-2	話者 A01	いる.	
46	37	話者 A01	ま、これも、もし<ま::><{> [[.	
47	38	話者 C01]] <2 人いる>{>.	
48	39	話者 A01	2 人.. 2 人っすね.	
49	40-1	話者 A01	で、4 番が、なんか、これ<3 人><{>,,	
50	41	話者 C01	<3 人>{>.	話者 A01 から 4 を受け取る
51	40-2	話者 A01	3 人に増えて[↑]、[息を吸う音]<で、5 番が::><{>,,	
52	42	話者 C01	<5 番が>{>2 人<で[↓]><{>.	
53	40-3	話者 A01	<木>{>..木が出てきて[↓]=.	
54	43	話者 A01	=ん、多分 1 より、なんか、ちょっともう前みたいな感じが、なんか、します.	1 の前に 5 を置く
55	44	話者 A01	多分、きつと、これ[→]= [[.	5 を指す
56	45	話者 B01]] =なんか、この.. 岩っぽいのが 3 枚.	7 を渡す
57	46	話者 A01	あ、6[↑]?	
58	47	話者 A01	[呟く]6、<あ、岩か[↓]><{>.	カードを動かす
59	48	話者 B01	<3>{>と 7 と 12.	机の反対側まで手を伸ばす
60	49	話者 C01	7 と 12.	カードをまとめる
61			《沈黙 3.06 秒》	
62	50-1	話者 B01	で、こう、なんか、<木、木、><{>,,	
63	51	話者 A01	<5、6>{>[呟く].	
64	50-2	話者 B01	木シリーズが.	カードを動かす
65	52	話者 A01	木シリーズ.	
66			《沈黙 1.74 秒》	
67	53	話者 A01	あの、絵、絵で、絵で、似てるやつ並べちゃいます[↑]?	
68	54	話者 A01	[息を吸う音]木、木、木.	
69		話者 B01	<笑い>	
70	55	話者 C01	これ、りんごですか[↓]?<笑い>.	4 を見せる
71		話者 B01	<笑い>	
72	56	話者 A01	さ.. 3 人出てる絵がこれとこれとこれです[↓], ん、ん.	6、7、10 をまとめる
73	57	話者 B01	何だろう?, これ一番最初[↑]?	2 を見せる
74	58	話者 A01	一番最っ=.	
75	59	話者 A01	=ん、まだ 1 人しか登場してないのはこれだけ.	カードを押さえる
76			《沈黙 1.16 秒》	
77	60	話者 A01	で::= [[.	
78	61-1	話者 C01]] =これ [カード 1] とこれは [カード 4], なんか,,	10 と 4 を指す
79	62-1	話者 A01	なんか、<あれすね><{>,,	
80	61-2	話者 C01	<一緒>{>=.	
81	63	話者 C01	=そうです.	
82	62-2	話者 A01	りんごをゲットして、なんか、喜んでるみたい.	
83	64	話者 C01	あ、はい.	
84	65	話者 B01	どうしよう?, 同じグループでとりあえず[↓].	
85	66	話者 C01	じゃ、りんごから並べて行きますか[↓]?	
86	67	話者 A01	はい.	
87			《沈黙 1.43》	
88	68	話者 A01	り.. りんご::.	10
89	69	話者 B01	りん<ごを取ろうと><{>.	9
90	70	話者 C01	<は 2 人>{>.	5、8
91	71-1	話者 A01	<あ、で><{>,,	
92	72	話者 B01	<2 人>{>で::.	
93	71-2	話者 A01	え、なんか、りんごが[→] 《沈黙 1.92 秒》<これはなっ><{> [[.	11 を押さえながら指で指す
94	73	話者 B01]]<これ [カード 9] は取>{>ろうとしてるね[↑], 届かないと、取ろうとしてるけど[↑]= [[.	9 を見せる
95	74	話者 A01]] =<届かなくて><{>.	
96	75	話者 C01	<見つけて>{>,<取ろうとして[→]><{> [[.	11、9 を指す
97	76	話者 A01]] <あっ、あっ>{>= [[.	9、11 を動かす
98	77	話者 B01]] =見つけて、取ろう<として><{>.	9、11 を動かす
99	78	話者 A01	<として[↑]>{>,<[息を吸う音]届かなくて[↓]=.	
100	79	話者 B01	=で[↑]?	

101	80	話者 A01	助け..これ <笑いながら> 助けを求めているの[↑]?	6を指す
102			《沈黙 1.02 秒》	
103	81	話者 B01	“助けますよ”つ<て::[→]><[<] 【.	カードをずらす
104	82	話者 A01	】<でも>[>}なん.. これ [カード 8] とこれ[カード 5] 人物が違うような気がする.	8、5を指す
105	83	話者 B01	<笑いながら>ま、ま<笑い>.	
106		話者 C01	<笑い>	
107	84	話者 A01	怪しい.	
108	85	話者 C01	あれじゃ::[↑] 一緒じゃないですか[↓]?	8、5を指す
109	86	話者 A01	一緒.	
110			《沈黙 1.19 秒》	
111	87	話者 A01	これ[カード 1] は、これ [カード 1] と::, なんか、こ:: これ [カード 1] と、なんか、<笑い><人物>[<] 【.	1、5を指す
112	88	話者 B01	】<これ [カード 8] と>[>}これ [カード 5] どっ..《沈黙 1.02 秒》ん、こ..これ [カード 8] [↑]?	8、5を指す
113	89-1	話者 B01	“届かない”つって::, で“助けますよ”つ<て><[<],,	
114	90-1	話者 A01	<て::>[>], これ、これ [カード 8], <の..の>[<],,	
115	89-2	話者 B01	<と..取る>[>].	
116	90-2	話者 A01	伸びたってこと[↑]?<笑い>.	5を指す
117	91	話者 A01	<笑いながら>すげ::, <軽く笑い>怪しい.	
118	92	話者 B01	と.. これ [カード 8], どちらがどっちなの?.	8、5を指す
119	93	話者 B01	あつ、<こう>[<]?	5を指す
120	94-1	話者 C01	<ちっ>[>}ちやいのが,,	
121	95	話者 A01	いますよね、でっ<かいのと>[<].	
122	94-2	話者 C01	<2 つ>[>]と、でっかいのが 1 ついるんですよ.	6を指す
123			《沈黙 1.95 秒》	
124	96-1	話者 A01	[深呼吸をする]う::ん、なんか,,	
125	97	話者 B01	どうということ[↑]?[小さい声で独り言].	カードを動かして、見る
126	96-2	話者 A01	なんか、か.. 関連性が[↑].	
127			《沈黙 1.27 秒》	
128	98	話者 B01	あつ、これ [カード 4] も繋がってんのかな[↓]?	4を取る
129	99	話者 A01	ん::.	
130	100	話者 C01	これ [カード 11,9] は繋がってそうです.	11、9を指す
131	101	話者 C01	これ [カード 8,5] も繋がっ..てそうです.	8、5を指す
132	102	話者 B01	こう、こう[↑]?[話者 C01 が並べたカードを整える].	カードを並べる
133	103	話者 A01	と..とりあえず、ま::, こんな感じ[↑]?=.	カードを手で押さえる
134	104	話者 C01	=この辺が岩当たりな..りそうだろう、多分=.	カードをまとめる
135	105	話者 A01	=岩がこう出てきっ..岩がこう出てきて::, [息を吸う音]で::.	岩のカードをまとめる
136			《沈黙 1.68 秒》	
137	106	話者 B01	こっちか[独り言].	カードを動かす
138			《沈黙 9.76 秒》	
139	107	話者 A01	後、なんか、りんご、なんか、ゲットして、渡してっていう[息を吸う音].	10、4を取る
140			《沈黙 1.37 秒》	
141	108	話者 B01	これ [カード 4], この [カード 1]後[↑]?, この.	4、1を指す
142	109	話者 A01	あの、りんごをこうゲットしてて.	話者 C01 に 4、10 を見せる
143	110	話者 B01	りんごをゲットして喜んでるね.	
144			《沈黙 2.02 秒》	
145	111	話者 B01	りんごが::やばい.	
146	112	話者 C01	難しいですね.	
147			《沈黙 1.97 秒》	
148	113	話者 A01	それで、ん、この、石から始まるのか::, それともりんごから始めるのか、そこもよく分っ....	カードを指で指す
149	114	話者 B01	これ [カード 2]も、なんか、最初か最後か.	2を指す
150	115	話者 B01	最後じゃないか[↓]?	
151	116	話者 B01	最後こんな悲しい終わり方しない.	カードをずらす
152	117	話者 A01	ハッピーエンド.	
153	118	話者 B01	最初じゃない[↑]?	
154			《沈黙 4.74 秒》	
155	119	話者 B01	この岩と..ね::, この木、どちらがさっきなのかね?[息を吐く音].	1を指す
156			《沈黙 1. 05 秒》	
157	120	話者 A01	岩が、終わった後って、どうなった[↓]?	カードを確認する
158	121	話者 B01	どうなってる[↓]?	
159			《沈黙 2.43 秒》	
160	122	話者 A01	これ、これ、岩があるのこれとこれっ.. とこれっすか[↑]?	3、7、12を並べる
161			《沈黙 2.25 秒》	
162	123	話者 C01	ここ [カード 12] までです.	12を指す
163	124	話者 A01	ここまで.	
164			《沈黙 1.22 秒》	

165	125	話者 A01	<で[→]><[<] 【.	
166	126	話者 C01	】 <りん><[>]ごがこの後ですかね?.	カードを動かす
167			《沈黙 3.56》	
168	127	話者 A01	[息を吸う音]でもこんとき、りんご何も持ってないすね=.	話者 C01 に 6 を渡す、 6 を指で指す
169	128-1	話者 A01	=これけっこう <食ったばっ><[<],,	
170	129-1	話者 C01	<あっ><[>],,	
171	128-2	話者 A01	これりんごあんま持ってない.	
172	129-2	話者 C01	見つけ..たって感じすか[↓]?, この人[↓].	6 を指す
173			《沈黙 1.46》	
174	130	話者 B01	うん. 《沈黙 0.74 秒》 うん.	うなづく
175			《沈黙 2.58 秒》	
176	131	話者 A01	1 人で[↓]<鼻笑い>[カード 2 を出す].	2 を出す
177			《沈黙 3.51 秒》	
178	132	話者 B01	これって, 《沈黙 1.51 秒》 2 で 6[↑]?,	カードを手に持つ、話 者 C01 が持っている 2 を指して、6 を指す
179			《沈黙 2.12 秒》	
180	133	話者 C01	ん::, <1 人[→]><[<] 【.	指で空中を指す
181	134	話者 A01	】<か、もし><[>]くわ::, こっ.. あ、でもま::, こっ [カード 11] か らこっち [カード 6] に来るでもないか[↓].	11、6 を指す
182	135-1	話者 C01	1 人でうろうろしてる<のと>::<[<],,	2 を指す
183	136	話者 B01	<うろうろ><[>].	
184	135-2	話者 C01	2 人でうろうろしてるのがあって::,	8 を指す
185	137	話者 B01	ん、はい.	
186	135-3	話者 C01	で::, 最終的に 3 人で,,	7、1 を指す
187	138	話者 B01	はい.	
188	135-4	話者 C01	頑張る[↓].	
189	139-1	話者 C01	どっか 3 人目、ここで<気付いて>::<[<],,	
190	140	話者 B01	<[強く うなづく]はいはいははは><[>]はいはい.	うなづく
191	139-2	話者 C01	で、3 人で、なんか、色::やって::,,	7、1 を指す
192			《沈黙 1.17 秒》	
193	141	話者 A01	まっ、もし<くわ><[<] 【.	2 を指す
194	139-3	話者 C01	】 <よかった[↓]>[>]=.	
195	142	話者 C01	=1 人 1 人、1 人、1 人::, 1 人というか 1 人、2 人のペアと 3 人で頑 張りましたっていう 《沈黙 0.77 秒》 組み合わせかな<と思います ><[<].	12、3 を指す
196	143	話者 A01	<気になるのはこれ [カード 1]><[>]っすね.	1 を指す
197	144	話者 A01	こんでかい人と::小さい人がいないこの絵がすごい気になって [↓]=.	1 を指す
198	145-1	話者 A01	=ここ::, なんか、2 人、2 人、ここ、なんか、こう..いて::, なんか、 最初 2 人でい<て>::<[<],,	8 を指す
199	146	話者 C01	<はい><[>].	
200	145-2	話者 A01	届かないって言って::, なんか、《沈黙 0.70 秒》 じゃ、届く..ため の石を持って行こうとして,,	5、3 を指す
201	147	話者 C01	あ::.	
202	145-3	話者 A01	で::, それで、《沈黙 0.51 秒》 “助けてくれ” って言って、 いす ‘石’を[↑]《沈黙 0.57 秒》、 あ、 石を持ってこうとしたんだけど::, 《沈黙 2.19 秒》 <っていうストーリーも考えられるし><[<],,	7、12 を指す
203	148	話者 B01	<そう、 そうか><[>].	
204	145-4	話者 A01	でも、なんか,,	
205	149	話者 B01	[軽く咳をする]ん.	
206	145-5	話者 A01	なんか、 こう.	
207	150	話者 B01	だからか::[↓], だから繋がらないのか[↓].	
208			《沈黙 1.39 秒》	
209	151	話者 B01	[軽く咳]ん、それぞれで::やってって::, だめだったのか[↓].	
210			《沈黙 0.77 秒》	
211	152	話者 B01	<こんなちっこいの::, でもだめだし>::<[<] 【.	
212	153	話者 C01	】 <1 人で、 おおきい>大きい の 1 人だめだし、 2 人><[>]でも駄 目だった..から::, “じゃ、 3 人で頑張ろう” っていう感じですか[↓]?,	
213	154	話者 C01	で::, え::と、 きっかけはこれ [カード 6] ですか[↓]?,	6 を指す
214	155	話者 C01	<笑いながら> “見つ<けた”><[<].	6 を指す
215	156	話者 B01	<うんうん><[>]うん、 そう、 そうですね.	
216	157	話者 B01	あ、 じゃ::, やっぱ、 ちょっと離れてるのか[↓].	
217			《沈黙 1.09 秒》	
218	158	話者 A01	あ、 なんか、 最初、 ん..なんか、 意外と最初これ [カード 8,5] の 方が[↓].	
219			《沈黙 1.29 秒》	
220	159	話者 A01	あ、 でも、 ま、 これも.. [カード 6] か.., そうかもしれない< し::[↓]><[<].	
221	160	話者 B01	<じゃ><[>], これ [カード 8,5] 最初ってことに<して::[→]><[<].	8、5 を動かす

222	161	話者 A01	<して><笑ひ>はい.	
223	162	話者 A01	“届かん..<届かね::, 届かね::”><.>.	
224	163-1	話者 C01	<2 人.. 2 人で頑張って::, 駄目だっつ><.>.,,	
225	164	話者 B01	駄目で<して[→]><.>.	
226	165	話者 A01	<“じゃ::”><.>, <で><.>.	
227	163-2	話者 C01	<“これ><.>持ってこ<ようか”><.>.	3 を 5 の後に動かす
228	166	話者 B01	<岩も出><.>て, “来ようや”[↓].	
229			《沈黙 1.09 秒》	
230	167	話者 B01	動..かない, <動かせない[↑]><.>.	
231	168	話者 A01	<動かない><.>.	
232	169	話者 C01	“あ, 見つけた”<笑ひながら>ですか[↑]?	7 を動かす
233	170	話者 A01	見つけ<笑ひ>.	
234		話者 C01	<笑ひ>	首を傾げる
235	171	話者 A01	ま, とりあえず, これは, これ 3 人が加わっ= [[.	
236	172-1	話者 B01]] =こ..これ“見<つけた”じゃ><.>.,,	6 を指す
237	173-1	話者 A01	<あっ, あっ><.>.,,	
238	172-2	話者 B01	ない[↑]?	
239	173-2	話者 A01	これか[↓].	6 を 7 の前に動かす
240			《沈黙 2.06 秒》	
241	174-1	話者 A01	あ, で, <事情は><.>.,,	
242	175	話者 C01	<あ, 見つけて[→]><.>.	
243	174-2	話者 A01	事情話したみたいな感じですか?.	
244	176-1	話者 A01	<事情><.>.,,	
245	177	話者 C01	<なるほど><.>.	
246	176-2	話者 A01	話して, で, こうして::[↑], で, 石を::運んでる絵があっ::, だけ ど “運べね::よ”っていう感じになったんすかね?=.	6, 7 を指す、話者 B01 から 12 を受け取る
247	178-1	話者 A01	=で, 運べないってなって::[→].,	12, 2 と並べる
248	179	話者 B01	<笑ひ>愕然.	
249	180	話者 C01	<笑ひ><愕然><.>.	
250	178-2	話者 A01	<ま, ちょっと><.>, まだ, <とりあえず, とりあえず><.>.,,	掌を話者 C01 に向け る
251	181	話者 C01	<そうですね><.>.	
252	178-3	話者 A01	<とりあえず, で, <で><.>.,,	11 を取る
253	182	話者 B01	<ま::, ま::, ま><.>.	
254	183	話者 C01	はい.	
255	178-4	話者 A01	で::, 1 人で試して, じゃ, どうだろう?.	9 を指す
256		話者 C01	<笑ひ>	
257		話者 B01	<笑ひ>	
258	184	話者 B01	強引.	
259	185	話者 B01	やっぱ<これ><.> [[.	
260	186	話者 A01]] <で, <で><.>で::, あれ, こっこ [カード 11] 切れますね, 落ち てて[↓]<笑ひ>.	11 を指す
261		話者 C01	<笑ひ>	
262		話者 B01	<笑ひ>	
263	187	話者 B01	絶対繋がってない, これ.	
264	188-1	話者 C01	ん[↑].,	
265	189	話者 B01	あ, そうね.	
266	188-2	話者 C01	落ちてて食ってるんじゃない[↑]?	11, 10 を指す
267	190	話者 A01	あ, ゲットできる人とゲットで, とりあえずりんごを.	
268		話者 B01	<笑ひ>	
269	191	話者 C01	で, “あ, りんご<良いじゃん”っていう><.>.	
270	192-1	話者 A01	<あっあっ><.>あ, これ [カード 10] ゲットできて, で, じゃ, こ..今度 2 人で行ったら, “と..取るよ”って, で, 2 つ 2 つこれ [カ ード 4] で, これ [カード 10]と::これ:: [カード 1], で, 2 つゲット できて<良かったなの><.>.,,	10, 4, 1 を指す
271	193	話者 C01	<なるほど><.>.	
272	192-2	話者 A01	かもしれないですね[↑].	
273	194-1	話者 B01	なんか, <途中><.>.,,	
274	195-1	話者 A01	<ちよっ.. ちよっ.. ちよっ><.>.,,	
275	194-2	話者 B01	強引な.	
276	195-2	話者 A01	ん<笑ひながら>ちよっ強引な解釈が.	
277			《沈黙 2.71 秒》	話者 C01 がタイマー を確認する
278	196	話者 A01	まだ::, まだ 10 分くらい[↑]?	
279	197	話者 C01	もうちょい.	
280	198	話者 B01	でも, なんかね《沈黙 1.92 秒》, 最初の方は間違っていないかな[↓]?	
281	199	話者 A01	う::ん.	
282			《沈黙 1.17 秒》	
283	200-1	話者 B01	そん辺 [カード 12,2] が, なんか, ちよっ怪しい, なんか, そ う, <なんか><.>.,,	12, 2 を指す
284	201	話者 A01	<ここ><.><笑ひ>.	12, 2 を指す

285	200-2	話者 B01	最後<笑い>.	2 を指す
286	202	話者 B01	2 番とか, なんか[息を吸う音].	
287	203	話者 A01	ちょっと, なんか, 運べなくて;;, ちょっと, 残念みたいな感じじゃ, なんか, あるのかな[↑]?	12、2 を指す
288	204	話者 B01	こう, 6 の前::に::, <なんか><{> [[.	
289	205	話者 C01]] <確かに悲><{>しんでる顔はしてる.	2 を見る
290	206	話者 C01	悲しんでるって言ったら, ま, 取れなくて, 悲しんでる.	9 を指す
291			《沈黙 1.5 秒》	
292	207	話者 A01	でも, なんか, <これ落ちてます><{>.	11 を指す
293	208	話者 C01	<あ, はいそうすね><{>.	
294	209	話者 A01	落ち.. 落ちて食ってるんですよ.	
295	210	話者 A01	で, しかも, 取れてるし::[[.	10 を指す
296	211	話者 A01	なんか, 悲しむ::場面が多分石運べなくて, “ ガクン”じゃなかったのかなと.	
297	212	話者 B01	6 の前..に 2 じゃない[↑]?	
298	213	話者 B01	じゃない[[.	
299	214	話者 C01	2.	6 の前に 2 を並べる
300			《沈黙 1.54 秒》	
301	215-1	話者 B01	ただ, 歩い,,	
302	216	話者 A01	え, でもこれ<悲しい, か..か::なしい[↑]悲しい?><{>.	
303	215-2	話者 B01	<で, 普通に歩いてる><{>わけじゃないんだよ.	
304	217	話者 B01	<悲しんでる><{>.	
305	218	話者 A01	<か, 悲しい><{>顔して歩かないでしょ[[, だって.	
306	219	話者 B01	なんで, 悲しんでる[↑]?	
307	220	話者 A01	えっ, やっぱ, これじゃない[↑]?	12 を指す
308	221-1	話者 A01	この, “石が運べね::よ”つって,,	12、2 を指す
309	222	話者 B01	う::ん.	
310	221-2	話者 A01	と思ったんだけど, 俺は<鼻笑い>.	
311			《沈黙 2.38 秒》	
312	223	話者 B01	じゃ::, そうか, ん::.	2 を取ろうとする
313	224	話者 A01	で::, “石運べね::”なって, じゃ, じゃ, 実際行ってみて, 行って, で, ここ歩いてて, “届かないけど, あ, でも 1 個落ちた”のか::[[↑, ごめんなさい, これ, これはこうなのか分からない.	9、手をあげる、9 と 11 を入れ替える
314	225	話者 C01	これ, 逆な気がします.	11 を指す
315	226	話者 A01	あっ, こ..こういうこと[↑]?	
316	227	話者 C01	あ::の, りんごの数が上 3 つ<笑い>下 1 個になるから.	11 を指す
317	228	話者 A01	<笑い>あ, そうすね, そうすね.	
318	229	話者 C01	見つけて食って::, もう 1 個取ろうと思って::[[↑.	9 と 11 を入れ替える
319	230	話者 A01	あ::, なるほど, あっ, そういうことか[[↑.	
320	231	話者 A01	あっ, そう, なるほど, なるほど, なるほど.	
321	232	話者 B01	う::ん.	うなずく
322	233	話者 A01	そう, これだったら, なんか, 行けますね.	
323	234	話者 A01	で, もう 1 個, あ, で, ま::, ここは, 2 個取れたので, 喜んでるの.. かもしれないですけど=.	
324	235-1	話者 A01	=ここで, ま, この絵はないですけど,,	
325	236	話者 C01	はい.	
326	235-2	話者 A01	1 個取って, もう 1 個取って, 2 つ, 2 人にも分けられて[[↑.	1、4 を指す
327			《沈黙 1.77 秒》	
328	237	話者 A01	あ, 後半は, なんか, こんな感じ良いような感じもするん.. しますね.	
329	238	話者 B01	ここ違うね, じゃね::.	2 を取って、話者 C01 に渡す
330	239	話者 A01	これ, やっぱ, 石じゃない[↑], 石の後じゃない[↑]?	
331	240	話者 C01	こうすか[[↑]?	話者 B01 から 2 を受け取って、12 の後の位置に戻す
332	241	話者 A01	と思ってるんですけど, ど..どうすか?, 意見としては.	
333	242-1	話者 A01	自分はそう思ってるん<ですけど><{>.,,	
334	243	話者 B01	<う::ん, う::ん><{>.	
335	242-2	話者 A01	いや, 自分が合っていると限らんで[↑][息を吸う音].	
336			《沈黙 8.84 秒》	
337	244	話者 C01	“りんご食おうぜ”.	8 を指す
338	245-1	話者 A01	“りんご欲しい<な, でも>><{>.,,	
339	246	話者 C01	<“りんご届かない”><{>.	5 を指す
340	245-2	話者 A01	“届かない, <じゃ, 石を持ってこう>><{>.,,	
341	247-1	話者 C01	<“じゃ, 石持ってきてよう”><{>って, “お::, いいところにでかい人が, これを運んでよ”って,,	3、6、7 を指す
342	245-3	話者 A01	って言ってる, はっ.. <で, はっ><{> [[.	
343	247-2	話者 C01]] <“よしよ, 石を>><{>あっ, 駄目だった”.	12、2 を指す
344	248	話者 A01	“駄目だった”, “じゃ::”, え=.	
345	249-1	話者 B01	=“あっ”.,,	11 を指す

346	250	話者 C01	“あ、けど <笑いながら>落ちてた”。	11 を指す
347	249-2	話者 B01	#####落ちて。	
348	251	話者 C01	[高い声で]“落ちてたのか”<笑い>。	
349	252	話者 A01	“ラッキー<笑い>、ラッキー、ゲット”。	10 を指す
350	253-1	話者 B01	“あ、じゃ、もう、もう<1 個>”<{>,,	
351	254	話者 C01	<え、1 人>{>}で取ろう。	9 を指す
352	253-2	話者 B01	=取れない。	
353	255	話者 C01	“取れないから、じゃ、君ら”。	1 を指す
354	256	話者 A01	取って[息を吸う音]。	4 を指す
355	257	話者 B01	うん。	
356	258	話者 A01	ん。	
357			《沈黙 2.23 秒》	
358	259	話者 B01	[小さい声で]なんか<おかしい>{>。	
359	260	話者 C01	<でも、なんか>{>}5 番と、じゃ、11 番が矛盾してる感じですよ。	5、11 を指す
360			《沈黙 1.34 秒》	
361	261	話者 A01	は、い、りんご落ちてないからってことですか[{}]?	
362	262	話者 C01	うん。	
363			《沈黙 3.21 秒》	
364	263-1	話者 B01	あのね、風とかでね、	
365	264	話者 A01	落ちちゃった。	
366	263-2	話者 B01	落ち<ますよ>{>,,	
367	265	話者 C01	<そうすね>{>。	
368	263-3	話者 B01	そりゃ。	
369	266	話者 B01	他[→][息を吐く音]。	
370			《沈黙 1.68 秒》	
371	267-1	話者 A01	で、ま、りんごの数、絵は、絵的に別に落ちようが落ちまいがり んごの数は、なんか、変わっ、	
372	268	話者 C01	うん。	
373	267-2	話者 A01	さ..さ..3 個、木の上に。	
374	269	話者 C01	<3 つ>{>。	
375	270-1	話者 B01	<他::>{>}スタートで来そうな、絵って<笑い>,,	
376	271	話者 A01	うん。	
377	270-2	話者 B01	<あんのかな[{}]>{>。	
378	272	話者 A01	<ん::>{>、ま、これ [カード 6] か:: 《沈黙 1.14 秒》これ [カード 6]、こ..これ [カード 6] かこれ [カード 8] だよな。	6、8 を指す
379			《沈黙 1.11 秒》	
380	273	話者 C01	僕 11 番もありかな::と思って[{}]。	11 を指す
381	274	話者 A01	あ、さきに。	
382	275	話者 C01	あの、さきに、そう、でかい人が見つけて:: 《沈黙 2.32 秒》、で、 食ってて、取ろうと思ったけど、《沈黙 1.51 秒》駄目だった。	11、10、9 を指す
383			《沈黙 2.73 秒》	
384	276-1	話者 C01	で、同じような、《沈黙 0.90 秒》感じで、あの、このちっちゃい、	
385	277	話者 A01	うん。	
386	276-2	話者 C01	人たちも<取ろう>{>,,	8、5 を指す
387	278	話者 A01	<はい>{>。	
388	276-3	話者 C01	として、頑張って、駄目だったって、	
389	279	話者 A01	うん。	
390	276-4	話者 C01	“あつ、さっきのおっちゃんじゃん”って<笑い>,,	6、7 を指す
391		話者 A01	<笑い>	
392	276-5	話者 C01	“手伝ってよ”って、“ごめん、無理だ”って、	12 を指す
393	280	話者 A01	[深呼吸]あ。	
394	276-6	話者 C01	“じゃ::こっちで”っていう。	1 を指す
395	281-1	話者 C01	なんか、こう、11、10、9、上の 8 から、えっと、2 まで行って 1、4 っていうのを、	
396	282	話者 A01	うん。	
397	281-2	話者 C01	ちょっと..考えました。	
398			《沈黙 3.78 秒》	
399	283	話者 B01	後 5 分ちよい。	
400	284	話者 C01	そうですね。	
401			《沈黙 1.73 秒》	
402	285	話者 C01	ストーリーを作るんですね。	
403			《沈黙 7.25 秒》	
404	286-1	話者 C01	スタートは、僕は“11 もありかな”と思うん<ですけど>{>,,	
405	287	話者 A01	<うん>{>。	
406	286-2	話者 C01	8 の方が..良いですか[{}]?[話者 B01 を向いて話す]。	
407			《沈黙 1.03 秒》	
408	288-1	話者 A01	なんか、自分の意見としては::,<なんか>{>,,	
409	289	話者 C01	<はい>{>。	
410	288-2	話者 A01	やっぱり、りんご..を::手に入れるまでの過程を繋げたほうがいい のかなと思って::	
411	290	話者 C01	うん。	

412	291	話者 A01	なんか、11 番いきなりりんごが出てきて、唐突にゲットできたっ ていうんだったら、ここの前のストーリーが、なんか、あまり、 うん。	
413			《沈黙 2.79 秒》	
414	292-1	話者 A01	わざわざ石を運ばなくても<2 人で>{<},,,	
415	293	話者 C01	<うん>{>}.	
416			《沈黙 1.10 秒》	
417	292-2	話者 A01	いや、あの、2 人、誰か 1 人、ここにあった人ちよっ..担いで<りん ご>{<},,,	6、1、4 を指す
418	294	話者 C01	<うん>{>}.	
419	292-3	話者 A01	ん、ゲットできて、なんか、石を運ぶ過程が、なんか、別に要ら ないような気がするんですけど=.	
420	295-1	話者 A01	=なんか、やっぱ、最初 2 人が出てきて::, “2 人じゃ::, しっ..届か ないよ”,,	8、5 を指す
421	296	話者 C01	うん.	
422	295-2	話者 A01	で、“じゃ、なんか、石、ちょっと、自分の高さを伸ばせるもの探 そう”って言って、出した答えが石で::, 《沈黙 0.82 秒》で、<笑い ながら>そんなことをやってるうちに高い人が表れて、“これ運ん で[↑]”, 運べなくて、がっかりして::, 行ったら、で、ゲットし て::, 《沈黙 1.46 秒》で、やっぱ 1 人で届かない=.	3、7、12、2、10、9 を 指す
423	297	話者 A01	=うん、確かに、ここ [カード 9,1] は気になるんですけどね.	9、1 を指す
424	298	話者 A01	ここは、ここは、ちょっと気になったやつなんですけど、ま[鼻を 吸う音].	
425			《沈黙 3.80 秒》	
426	299-1	話者 A01	なんか、主人公は::<意外>{<},,,	
427	300	話者 C01	<はい>{>}.	
428	299-2	話者 A01	とその、この人がいっぱい出てるんですけど、<なんか>{<},,,	
429	301	話者 C01	<うん>{>}.	
430	299-3	話者 A01	意外とこの 2 人なのかなって、そういう感じが自分ではしてて[↓].	
431			《沈黙 2.32 秒》	
432	302	話者 B01	うん、やっぱ、こっ.. こっ [カード 8,5] からかな[↑], やっぱ[息 を飲む音].	8、5 を指す
433			《沈黙 3.92 秒》	
434	303	話者 C01	良く考えると、スタート、僕は 2 かな[↑]?<笑い>.	2 を指す
435	304	話者 A01	あ::.	
436	305-1	話者 C01	あの::, 《沈黙 1.11 秒》なんか 11 が<笑い>,,	11 を指す
437	306	話者 A01	うん.	
438	305-2	話者 C01	え、“実は落ちてるじゃん”っていうことですよ.	
439	307	話者 A01	うん.	
440			《沈黙 3.07 秒》	
441	308-1	話者 C01	うん、けど、2 人が主人公だと考えたら、このストーリーが,,	
442	309	話者 A01	はい.	
443	308-2	話者 C01	一番綺麗な<感じが>{<},,,	
444	310	話者 A01	<はい>{>}.	
445	308-3	話者 C01	します.	
446	311	話者 B01	どうしよう?, もう 1 パターンやっ<笑いながら>やる時間が、<3 分か[↓]>{<}.	
447	312	話者 A01	<ちょっとホワイトボード>{>}使っていいのかな?, ホワイト、ホ ワイホワイトボード使って<鼻笑い>.	
448	313	話者 B01	あ::, いいんじゃない.	
449	314-1	話者 B01	<全然>{<},,,	
450	315	話者 A01	<メ..メモ>{>}.	
451	314-2	話者 B01	使ってなかったけど.	
452	316-1	話者 B01	<メ..メモ>{<},,,	
453	317	話者 A01	<いいかな[↓]?>{>}.	後ろを向く
454	316-2	話者 B01	して[↓]<笑い>.	
455	318	話者 B01	8、5、<3>{<}.	
456	319	話者 A01	<8 の>{>}<笑い>.	立ち上がる
457	320	話者 B01	1 の=.	
458	321	話者 A01	=ま..まだ時間がさ、あ、でも後 3 分しかないよね.	タイマーを見る
459	322	話者 B01	3、3 分、ま::, ま::, ま、ま.	
460	323	話者 A01	<ま::, まいい>{<}.	
461	324-1	話者 C01	<じゃ、順>{>}番、8::,,	
462	325	話者 A01	8.	ホワイトボードに数字 を書く
463	324-2	話者 C01	5、3,,	
464	326	話者 B01	いや、ホワイト<ボード>を使ってなかったんですね>{<}.	
465	324-3	話者 C01	<6>{>}, <7>{<},,,	
466	327	話者 B01	<7>{>}.	
467	328	話者 A01	6、7.	ホワイトボードに数字 を書く

468	324-4	話者 C01	12.	
469	329	話者 A01	7 の後 11 ですか.	ホワイトボードに数字を書く
470	330	話者 C01	あ, <12><{<.	
471	331	話者 B01	<12>>{>}.	
472	332	話者 A01	12.	ホワイトボードに数字を書く
473	333	話者 C01	2.	
474	334	話者 A01	12, 2.	ホワイトボードに数字を書く
475	335-1	話者 B01	11,,	
476	336	話者 A01	11.	ホワイトボードに数字を書く
477	335-2	話者 B01	10,,	
478	337	話者 A01	10.	ホワイトボードに数字を書く
479	335-3	話者 B01	9,,	
480	338	話者 A01	10, 9.	ホワイトボードに数字を書く
481	335-4	話者 B01	1,,	
482	339	話者 A01	9, 1.	ホワイトボードに数字を書く
483	335-5	話者 B01	4.	
484	340-1	話者 A01	9,,	ホワイトボードに数字を書く
485	341	話者 B01	はい.	
486	340-2	話者 A01	1, 4.	
487	342	話者 C01	はい.	
488	343	話者 B01	これ [カード 11] 最初でしたっけ[↑]?	11 を渡す
489			《沈黙 3.49 秒》	
490	344	話者 C01	ん[↑], あ, 別のストーリーですか[↑]?	11 を受け取って、見る
491	345	話者 B01	はいはい.	
492			《沈黙 0.70》	
493	346-1	話者 C01	が::, え::<笑いながら>と, 《沈黙 1.22 秒》 11, じゅう::'10'=,,	立ち上がる、カードを並べ替える
494	347	話者 B01	=じゅう::'10', きゅ<う::'9><{<.	10、9 と並べる
495	346-2	話者 C01	<きゅ<う::'9>>{>}, で, 《沈黙 4.75 秒》 2, 《沈黙 0.87 秒》 12.	2、12 と並べる
496			《沈黙 3.67 秒》	
497	348	話者 C01	あ::, けど, この辺 [カード 7,6] がちよつと, 曖昧な[↓].	7、6 を平行に並べる
498			《沈黙 1.28 秒》	
499	349	話者 C01	最後はこれ [カード 1,4] で良いんですけど.	1、4 と並べる
500			《沈黙 1.11 秒》	
501	350	話者 B01	最後はそれ=.	
502	351	話者 C01	=運んでて::....	
503			《沈黙 2.91 秒》	
504	352	話者 B01	運んでて::.	
505			《沈黙 4.97 秒》	
506	353	話者 C01	“君ら手伝ってよ”.	6 を取る
507	354	話者 C01	あ, 違うか[↓].	6 を元に戻す
508			《沈黙 1.47 秒》	
509	355	話者 B01	“そんなんじゃ, 運べないよ”って.	7 を取る
510	356	話者 B01	[息を飲む音]へ, 違うな[↑]<笑い>.	首をかしげる
511			《沈黙 1.14 秒》	
512	357-1	話者 A01	結局石は使ってないですからね,,	
513	358	話者 C01	うん.	
514	357-2	話者 A01	はい, りんごを取る時.	
515	359-1	話者 C01	諦める<という>><{<,,	
516	360	話者 A01	<{はい}>{>}.	
517	359-2	話者 C01	ストーリーが必要ですか[↓]?	
518			《沈黙 1.96 秒》	
519	361	話者 B01	う::ん, だと, 行き詰っちゃうな.	
520			《沈黙 2.41 秒》	
521	362-1	話者 C01	“君たち, 運んでくれない?”って, “これ<これこれ>><{<,,	12 の後に 6、7、3 と並べる
522	363	話者 A01	<あ::, ま::, はい>{>}.	
523	362-2	話者 C01	“よいしょよいしょ”, 駄目<だった>><{<.	
524	364	話者 A01	<うん>{>}.	
525	365	話者 A01	ただ, なんか, はこ..手伝ってほしいんだったら, なんか, 3 人でいす'石'引っ張りそうすけどね.	3 を指す
526	366	話者 C01	そうですね.	
527			《沈黙 2.29 秒》	

528	367	話者 C01	やっぱ、これストーリーはちょっと限界があるんですね。	8、5を指す
529	368	話者 A01	うん。	
530	369	話者 C01	最後はもう、これでいいと[↓].	1、4を指す
531			《沈黙 1.16 秒》	
532	370	話者 A01	はい、そうですね。	
533	371	話者 B01	この2人の頑張りも、なんか、なかなか繋がりにくい。	8、5を取る
534		話者 A01	<笑い>	
535	372	話者 C01	これ[カード3]とかですよ。	3を渡す
536	373	話者 B01	そう。	
537	374	話者 A01	そうそうそう。	
538			《沈黙 4.46 秒》	
539	375	話者 B01	あつ、後1分や。	
540	376	話者 B01	じゃ。	
541	377	話者 C01	じゃ、8、5、3で行きましょう。	
542	378	話者 A01	<笑い>はい。	
543	379	話者 B01	これ並べ替えて完成のような感じ[↑]?	
544	380	話者 C01	そうですね。	

2. JM02

話者性別: 男

会話時間: 9.38 分

ライン 番号	発話文 番号	話者	発 話 内 容	備考
1	1-1	話者 A02	[息を吸う音]《沈黙 1.03 秒》じゃ、<笑いながら>とりあえず,,	立ち上がる
2		話者 C02	<笑い>	立ち上がる
3		話者 B02	<笑い>	
4	1-2	話者 A02	<<笑いながら>すぐ、すっ..ま..まじめに進><,,	
5	2	話者 B02	<ま..まじめにいきますね><{.}	立ち上がる
6	1-3	話者 A02	めていきましょう。	
7		話者 B02	<笑い>	机に寄りかかる
8	3	話者 A02	<笑い>え::, どうしよう, どうしよう?	
9	4	話者 C02	ストーリー通りに並べるんでしたっけ[↓]?	
10	5	話者 B02	<そうですね><{.}	
11	6	話者 A02	<そうですね><{.}	
12			《沈黙 0.82 秒》	
13	7	話者 C02	このストーリー..なん..どうやってはじめればいいですか[↓]?	
14	8-1	話者 A02	え, こう::<笑いながら>,,	
15	9	話者 B02	うん。	
16	8-2	話者 A02	まずスタートラインを決め<なきや::><{.}	
17	10	話者 B02	<スタート><{.}	
18	11	話者 C02	<そうだ, そう><{.}>ですね。	
19	12-1	話者 C02	<スタート><{.},,	
20	13	話者 B02	<確かに><{.}	
21	12-2	話者 C02	ラインは::	
22	14	話者 B02	ふん。	
23		話者 C02	<笑い>	
24	15	話者 B02	これ, なんか, で, 種類がありますね。	
25	16-1	話者 B02	りんご取るやつとか, その::, 石動<かすとか><{.},,	8、9、3 辺りを指す
26	17	話者 C02	<あ, 本当だ><{.}	
27	16-2	話者 B02	なんか,	
28	18	話者 C02	<笑いながら>気付かなかった。	
29		話者 B02	<笑い>	
30	19	話者 C02	<笑い>はい。	
31	20	話者 A02	<笑い>そもそも論でこれ全部使わなくていいということで::, 多分。	
32	21-1	話者 B02	うん, 多分<それは自由に><{.},,	
33	22	話者 C02	<あ::, なるほどなるほど><{.}	
34	21-2	話者 B02	っていうことみたいなんで。	
35	23	話者 C02	あ, そういうことなんですか[↓]?	
36	24-1	話者 A02	うん, だから, だから僕は石を取るストーリーなのかりんごに絡ませるストーリーなのか, それ<とも><{.},,	
37	25	話者 C02	<あつ><{.}, そこからですか[↓]?	
38	24-2	話者 A02	う.. <歌に><{.},,	
39	26	話者 B02	<うん><{.}	

40	24-3	話者 A02	関するストーリーなのか;;, それを;;,	
41	27-1	話者 C02	あつ,,	
42	24-4	話者 A02	とりあえず考えるっていうこと<だから>{<}.	
43	27-2	話者 C02	<なるほど>{<}. みたいですね;;.	うなづく
44	28	話者 B02	《沈黙 1.73 秒》	
45				
46	29	話者 A02	<笑い><そろそろき>{<} [I].	
47	30	話者 C02]] <じゃ, ど..>{<} れか[I].	
48	31	話者 C02	ど..どうしますか?.	
49	32	話者 A02	なんか, りんごの方が易しいような気がする<笑い>.	
50		話者 B02	<笑い>	
51	33	話者 C02	じゃ, りんごにしましょう<笑い>.	
52		話者 A02	<笑い>	
53	34	話者 B02	りんごを中心に.	
54	35	話者 C02	<じゃ>{<}. <りん>{<}ご中心に=.	
55	36	話者 A02	=とりあえず, じゃ, りんごをりんごで並べようよ.	カードを動かす
56	37	話者 A02	《沈黙 1.31 秒》	
57				
58	38	話者 A02	じゃ, カテゴリーに<分ける[↑]>{<}?.	カードを動かす
59	39	話者 B02	<置いていいですか[I]?>{<}. 一応<りんごは>{<},,	カードを動かす
60	40-1	話者 A02	<りんご>{<},,	カードを動かす
61	41-1	話者 C02	りんご::[→],,	カードを動かす
62	40-2	話者 A02	りんご::[→],,	カードを動かす
63	41-2	話者 C02	りんご.	カードを動かす
64	42	話者 B02	これ岩が[I].	カードを動かす
65	40-3	話者 A02	岩<のが岩::>{<}. <岩, 岩>{<}. はい.	カードを動かす
66	43	話者 B02	はい.	
67	44	話者 C02	はい.	
68	45	話者 B02	これもりんごですね;;.	カードを動かす
69	46	話者 C02	そうすと, りんごは5枚.	カードを手で押さえる
70	47	話者 B02	で;;, なんか, 皆で言い合って[I]=.	
71	48	話者 B02	=あつ, りんご, これもりんごです.	カードを動かす
72	49	話者 C02	あつ, 本当だ.	
73	50	話者 A02	あ, あ.	
74	51	話者 B02	こんな感じですか[I]?.	
75	52-1	話者 C02	えっ, ん, <あれっ>{<},,	
76	53	話者 A02	<一番>{<}, しっ..しっ=.	
77	52-2	話者 C02	=あつ, ってことこれもりんごか?.	10 を指す
78	54	話者 B02	これも, あ;;, りんごですね;;.	
79	55	話者 A02	りんごだね.	
80	56	話者 C02	あ, なるほど.	
81			《沈黙 1.29 秒》	
82	57-1	話者 A02	これっ関係, これなんな..これ何[I]?.,	
83		話者 B02	<笑い>	
84	57-2	話者 A02	これトラップ的な何か[I]<笑い>[話者 B02 を見る].	6 を指す
85		話者 C02	<笑い>	
86		話者 B02	<笑い>	
87	58	話者 B02	これね::<笑い>, 完全にフェイクで;;.	6 を指す
88		話者 A02	<笑い>	
89	59	話者 A02	もしくは, もしくは2つのストーリーがあるかもしれない.	
90	60	話者 A02	こっちりんごストーリーで, こっちは, なんか;;, しゃべってて;;, 岩<出てきて::[↑]>{<} [I].	6 を指す, 手に取る
91	61	話者 B02]] <岩ス>{<}トローリー.	
92			《沈黙 0.70 秒》	
93	62	話者 C02	ス..《沈黙 0.74 秒》あ;;, 1 つに繋がるということ<ですか[↑]?>{<}. <繋>{<}がる.	
94	63	話者 A02	<なるほど>{<}. <は::>{<}い.	
95	64	話者 C02	じゃ, とりあえず,,	
96	65	話者 B02	りんごストーリー<から[I]>{<}. <ろん>{<}..りんごスタート.	
97	66-1	話者 C02	りんごスタートで.	
98	67	話者 B02	それを, じゃ, 退けちゃいますね.	カードをまとめて、動かす
99	66-2	話者 C02		
100	68	話者 A02		
101	69	話者 A02		
102	70	話者 B02	置けます[↑]?.	カードをまとめて、動かす
103	71	話者 C02	はい.	カードをまとめて、動かす
104			《沈黙 3.01 秒》	
105	72	話者 A02	何か..後....	
106			《沈黙 1.45 秒》	

107	73	話者 C02	これ [カード 5] とこれ [カード 1] はこう:《沈黙 0.65 秒》行く んですかね?.	5、1と並べる
108	74	話者 B02	そう<ですね>{<}. カードを整える	
109	75	話者 C02	<あつ、でも>{>}あ、でも足り<ない[→]>{<} [[.	
110	76-1	話者 B02]] <これ>{>}が足りなく<て::>{<},,	
111	77	話者 C02	<くて::[→]>{>}. カードを整える	
112	76-2	話者 B02	こい..こん..つに:: <みたいな[[>{<}. 1を指す	
113	78	話者 C02	<このでっ>{>}かいやつが出てくる[↑]?=.	
114	79	話者 C02	=あ、でもでっかいやつが最初に出て来るんすか[[↑]?.	11を指す
115	80	話者 B02	最初<に.. たっ>{<} [[.	
116	81	話者 A02]] <多分>{>}多分こいつが::りんごを見つけて、取ろうとしてる んだよね、<きつ>{>}<}. 9を指す	
117	82	話者 C02	<なるほど>{>}. なるほど.	
118	83	話者 B02	なるほど.	
119	84	話者 C02	で[↑]?.	
120	85	話者 A02	で::, “わ::, りんごおっこってきたぞ”<笑いながら>みたいな感じ で::[→]. 11を指す	
121			《沈黙 1.01 秒》	
122	86	話者 B02	で::, 《沈黙 0.74 秒》食ってる姿[↑]?.	11の後に10を置く
123	87	話者 C02	あつ、<そう>{>}<}. うなづく	
124	88	話者 B02	<それで::>{>}, <見つけて::<笑いながら>みたいな>{<}. うなづく	
125	89	話者 C02	<あ::, はいはいはい見つ>{>}けるんだ=.	
126	90	話者 C02	=このちっちゃいやつ<らが見つけて::>{<}. 10を指す	
127	91	話者 B02	<ちっちゃいやつ>{>}. 10を指す	
128	92	話者 A02	<笑いながら>見つけて.	
129	93	話者 C02	で::= [[.	
130	94-1	話者 A02]] = <笑いながら>こ..これどうする[[↑]?,<これ>{<},,	8を渡す
131	95-1	話者 C02	<あっ>{>},,	8を受け取る
132	94-2	話者 A02	どうする[[↑]?,<これ>{<},,	
133	96	話者 B02	<<笑いながら>これ>{>}. 8を受け取る	
134	94-3	話者 A02	どうする[[↑]?[話者 C02にカード6を渡す]. 8を受け取る	
135	97	話者 B02	あ::, ここで::= [[.	
136	95-2	話者 C02]] =2人で<相談して>{<},,	10の後に8を置く
137	98	話者 B02	<相談して>{>}. 10の後に8を置く	
138	95-3	話者 C02	“取ろうぜ”みたいな<感じになっ>{<},,	
139	99	話者 A02	<うんうんうんうん>{>}. 10の後に8を置く	
140	95-4	話者 C02	<て::[↑]>{<},,	
141	100	話者 B02	<なって>{>}. 10の後に8を置く	
142			《沈黙 0.82 秒》	
143	95-5	話者 C02	頑張るんだけど[↑]=., 8の後に5を置く	
144	101	話者 B02	=取れないみたいな[[↑]=.	
145	102	話者 B02	=<そうですね>{<}[小さい声で]. 8の後に5を置く	
146	95-6	話者 C02	<取れない[[>{>}《沈黙 2.27 秒》ん. 8の後に5を置く	
147	103	話者 A02	で::, これとっ..取る感じじゃないです<か[[↑]?>{<}. 1を指す	
148	104	話者 C02	<そう>{>}すね、彼が助けに来ると[[↑]. 1を動かす	
149	105	話者 C02	唐突です<けど>{<}. 1を動かす	
150	106	話者 B02	<そうし>{>}たら、皆ハッピー. 1の後に4を置く	
151	107	話者 C02	なる<ほど>{<}. 1の後に4を置く	
152	108	話者 A02	<ハッピー>{>}<笑い>.	
153	109	話者 A02	ほ::, できた[手をたたく]. 1の後に4を置く	
154	110	話者 B02	<笑い>問題ない. 1の後に4を置く	
155	111	話者 C02	<笑い>なるほど. 1の後に4を置く	
156	112-1	話者 A02	こ<れで良い>{<},,	
157	113	話者 B02	<<笑いながら>問題ない>{>}. 1の後に4を置く	
158	112-2	話者 A02	<笑いながら>かな[↑]?. 1の後に4を置く	
159	114	話者 C02	<りんごは>{<} [[.	
160	115-1	話者 B02]] <笑い><え、りんご>{>}ストーリーは., 1の後に4を置く	
161	116-1	話者 A02	<笑いながら>りんご<ストーリー <笑いながら>も..も >{<},,	
162	115-2	話者 B02	<多分..これ漏れ>{>}ない感じですね. 1の後に4を置く	
163	116-2	話者 A02	<笑いながら>これで漏れない感<じかな[[↑]?>{<}<笑い>. 1の後に4を置く	
164	117	話者 C02	<そうですね>{>}ね. 1の後に4を置く	
165	118	話者 B02	そんな感じですかね?.	
166	119	話者 C02	はい[うなづく]. 時計を見る	
167	120	話者 A02	あ::, え::, で、今何分経った[↑]?<笑い>. 時計を見る	
168	121	話者 B02	多分5分くらい<笑い>. 時計を見る	
169	122	話者 C02	5分くらいしか<経ってないですね>{<}. 時計を見る	
170	123	話者 A02	<<笑いながら>5分>{>}. 時計を見る	
171	124	話者 A02	じゃ、こっちだ. 残りのカードを机の真 ん中に置く	
172	125-1	話者 C02	<一応それも、じゃ::, やってみますか>{<},,	
173	126	話者 B02	<一応そっちもみてみる>{>}. 残りのカードを机の真 ん中に置く	

174	125-2	話者 C02	やっぱり.	2、3、6、7、12 を広げ る
175		話者 A02	<ひき笑い>	
176			《沈黙 1.26 秒》	
177	127-1	話者 A02	これ、まず、ストーリー何か問題だよね,,	
178	128	話者 C02	そうですね=.	
179	127-2	話者 A02	=きっと=.	
180	129	話者 B02	=う::ん.	
181			《沈黙 4.09 秒》	
182	130	話者 A02	“おやおや、石を、あ、なんか、歩いてるぞ::”.	2 を取る
183			《沈黙 2.46 秒》	
184	131	話者 A02	[小さい声で]じゃ、こっちだ.	2 の前に 6 を置く
185	132-1	話者 A02	“こ..こいつ何だ::”みたいな感じで、ちょっとふてくされて、歩いていくと,,	
186	133	話者 C02	うん.	
187	132-2	話者 A02	<笑いながら>石....	
188	134	話者 A02	いや、これ全然<ストーリー>{<}.	
189	135	話者 B02	<いや、全然>{>}<ストーリー>{<}.	
190	136	話者 C02	<なるほど>{>}, こころ辺が..そうすね.	
191		話者 A02	<笑い>	
192	137	話者 C02	これは::....	
193	138	話者 B02	う::ん 《沈黙 4.34 秒》ん::, こ::れ難しいですね.	
194	139	話者 C02	うん.	
195	140	話者 A02	これ「話者 C02 姓」さんのに、なんか、《沈黙 0.69 秒》ストーリー思いつかれます[↑]?=.	名前を間違えて言う
196	141	話者 C02	=いやつ、これ無理なんじゃないすか[↓]?.	
197	142	話者 C02	えっ、できるのかな[↓]?.	
198	143	話者 C02	[息を吸う音] ちょっと待ってくださいわ.	
199	144	話者 C02	2 人とも持ちあっ..2 組とも持ち上げようとはしてるんですね::[↑].	3、12 を指す
200	145	話者 A02	うん.	
201			《沈黙 2.17 秒》	
202	146	話者 C02	で、そうふうになる過程は何なんだ[↓]?.	
203	147	話者 A02	う::ん.	
204	148	話者 C02	なぜ持ち上げることになったのか[↓]?.	
205	149	話者 B02	これりんごと組み合わせってるんじゃないですか[↓]?、やっぱり.	
206	150	話者 C02	<なるほど[↑]>{<}.	
207	151	話者 A02	<これ [カード 6]>{>}, なんか::, これ、こい..これがこっち [カード 10 と 8 の間] に入るような気がするんだよね、この間に[↑]=.	6 を取る、10 と 8 の間を指す
208	152	話者 A02	=で、こいつ[カード 10]とこいつ::[カード 6], 《沈黙 1.51 秒》関係あるのか<な::[↑]>{<}.	
209	153-1	話者 C02	<あっ>{>}, じゃ、ここ [カード 5]で無理だったから::, ちょっと、なんか、こう::,,	5、6 を指す
210	154	話者 B02	あ、陰悪な=.	
211	153-2	話者 C02	=なって::,,	
212	155	話者 B02	なって.	
213	153-3	話者 C02	“しょうがね::な”と登場するとか.	
214	156	話者 B02	なるほど.	
215	157	話者 C02	そうしたらいきなり登場しなく<なる>{<}.	
216	158	話者 B02	<あ::>{>}, 確かに.	
217	159	話者 A02	うん.	
218	160	話者 C02	唐突<性がなくなる>{<}.	
219	161	話者 A02	<じゃ::, これ>{>}退こう.	
220	162	話者 B02	これ::6 番で.	5 と 1 の間に 6 を入れる
221	163	話者 A02	なんか、ちょっといらっとした感じ[↑]?.	
222		話者 C02	<笑い>	
223		話者 B02	<笑い>	
224	164	話者 C02	取れない.	
225	165	話者 B02	陰悪な<ムード>{<}.	
226	166	話者 A02	<陰悪>{>}なムード.	
227	167	話者 C02	あ、それ::は::入りそうですね[↑].	6 を指す
228	168	話者 A02	うん.	
229	169	話者 B02	[小さい声で]入りそうですね.	
230	170-1	話者 A02	じゃ::, 多分ここを::[机の正面に移動],,	
231	171	話者 C02	うん.	
232	170-2	話者 A02	多分主軸として::,,	
233	172	話者 C02	うん.	
234	170-3	話者 A02	この中に何を入れ::ってけば、入るのか入らないかを<判断して>{<},,	
235	173	話者 C02	<う::ん>{>}.	

236	170-4	話者 A02	けば、たぶうん'多分'合理的に話が進むんじゃないかな[↑]?	
237	174	話者 C02	なるほど[↑].	
238			《沈黙 7.20 秒》	
239	175	話者 B02	ん、ん::.	
240	176	話者 C02	思いつかない<笑い>.	
241		話者 B02	<笑い>	
242	177	話者 C02	これは.. 岩をどう絡ませるんだろう?.	
243	178	話者 B02	岩を《沈黙 2.97 秒》####岩::, 岩.	
244	179	話者 A02	ちょっと、はな::っし'話', もし、あれ、こいつ[カード 10]を見て::, “ちょっと取ろうよ”, 《沈黙 1.24 秒》“うわっ、取れない”, “イラッ”, “じゃ::手伝って取ってあげるよ”, 皆仲良し<笑いながら>みたいなストーリーだよ[話者 B02 を見る].	10、8、5、6、1、4 を指す
245	180	話者 C02	うん.	
246	181	話者 B02	ま::, 今::のところはそう言う感じ<すね><.>.	
247	182	話者 C02	<だが, >>>これで 1 つ完結<笑い>しない<気がするんですけど><.>.	
248	183	話者 B02	<う::ん>>><笑い>.	
249	184	話者 A02	完結していない<笑い>.	
250	185	話者 A02	これ <1 回しっ>>> [[.	
251	186	話者 B02]] <これ余分::>>>, こっちは余分なのかな[[?]?	
252	187	話者 B02	無理矢理入れようと思えば[[]<笑い>.	
253	188-1	話者 C02	ま::, 確かに,,	
254		話者 B02	<笑い>	
255	188-2	話者 C02	無理矢理入れようとも入れられそうな気もしなくもない<けど><.>.	
256	189-1	話者 B02	<ただ>>>,,	
257	190	話者 A02	<そう..そう>>>そうしっ= [[.	
258	189-2	話者 B02]] =不自然なストーリーになっちゃう<んです>>><.>.	
259	191	話者 C02	<そう>>>ですね.	
260	192-1	話者 A02	あつ、この岩を使う..無理やり使うことを考えるなら::, 俺, 多分そういうふうに閃いたんだけど,,	
261	193	話者 C02	はい.	
262	192-2	話者 A02	いっ..いっ..りんごを取るためにちょっと=.	
263	194	話者 C02	=あつ、きつ..なるほど[話者 A02 を指差す].	
264	195	話者 B02	うん.	
265	196	話者 A02	へ、ん、ん.	
266	197	話者 C02	<あつ、それはあるよ、あるよ>>><.>.	
267	198	話者 B02	<こう岩を動かしたい>>>みたいに.	
268	199	話者 C02	<あつ、なるほど>>><.>.	
269	200	話者 A02	<い..岩>>>動かしたいぐらい<軽く笑い>.	
270	201	話者 B02	うんうん<笑い>.	
271	202	話者 C02	なる..なるほど、それは 《沈黙 1.81 秒》その通りですね.	
272	203	話者 A02	う::ん.	
273	204	話者 C02	で、そっか、こいつ 1 人でも届きはしないんですね.	
274	205	話者 C02	たまたま落ちてきたから取れたん<です>>><.>.	
275	206	話者 A02	<そうそうそう>>>.	
276	207	話者 B02	<そうですね>>>.	
277			《沈黙 1.28 秒》	
278	208	話者 A02	ピアラっ..<笑いながら>ピアラーリング'ピアラーニング'だ、<笑いながら>ピアラーリ<笑い> 《沈黙 1.29 秒》あ::.	
279			《沈黙 2.04 秒》	
280	209	話者 C02	[息を吸う音][小さい声で]どうすればいいのかな[↑]?	
281	210	話者 A02	[高い声で] この、なんか、不機嫌なしょうじょう'表情'は何なん、みたいな.	2 を取る
282	211	話者 B02	こ..それが一番分らない.	
283	212-1	話者 A02	<笑いながら>それが知らないから<笑いながら><この>>>,,	
284	213	話者 C02	<う::ん>>>.	
285	212-2	話者 A02	カードの位置は分からないんだよ[話者 B02 を見る].	
286	214	話者 B02	分かんない<笑い>.	
287			《沈黙 7.03 秒》	
288	215	話者 A02	う::ん.	
289	216	話者 C02	探してるんじゃないすか[[?]?, なんか、乗れるような石を.	
290	217	話者 B02	<あ::>>><.>.	
291	218	話者 C02	<“ちっちゃいのしかない>>>”, “ちっちゃいのしかない”, 《沈黙 0.78 秒》で、おおっきいのあったけど.	
292	219-1	話者 C02	あ::, でもそうしたら<これ 1 人だけ>>>,,	12 を指す
293	220-1	話者 A02	<[息を吸う音]そうですね>>>,,	
294	219-2	話者 C02	ってのは[[].	
295	220-2	話者 A02	なんか、“乗れる石ないかな::”, [息を吸う音] “あつ”, 《沈黙 0.8 秒》え::=.	2 を動かす
296	221	話者 C02	=で、その時にこの人たちはやってる.	3 を指す

297	222	話者 A02	やってる.	
298	223	話者 B02	あ::, <なるほど>{<}. <で::>{>}, 彼ら“いるじゃん”みたいな感じになって::[→].	7 を指す
299	224	話者 C02	《沈黙 0.76 秒》	
300			あ, でもなん..なんで 1 人だろうって.	
301	225	話者 C02	<笑い>	
302		話者 B02	そうだね.	12 を取る
303	226	話者 A02	《沈黙 1.20 秒》	
304			じゃ, こうやって::, 《沈黙 2.13 秒》動かそうとするじゃん[↑]?=.	2 と 3 の間に 12 を入れる
305	227	話者 A02	=“あ::あった::”《沈黙 1.64 秒》“何やってるの?, じゃ::手伝うよ”2 人で動かしたけど::.	2、12、7、3 を指す
306	228	話者 A02	そっちは 3 人でやるって話になるよね<笑い>.	
307	229	話者 A02	う::ん,,	
308	230-1	話者 C02	まけ<笑い>.	
309	231	話者 B02	<笑い>	
310		話者 A02	唐突ですよ.	
311	230-2	話者 C02	確かに.	
312	232	話者 B02	どうしたもんか[↓]?:.	
313	233	話者 C02	《沈黙 1.00 秒》	
314			そう::<すよね>{<},,	
315	234-1	話者 A02	<ん::>{>},	
316	235	話者 B02	なんか, これ以上ストーリーになんなくない[↑]?[息を吸う音].	
317	234-2	話者 A02	こ::《沈黙 1.04 秒》これは, この 4 枚余分なのかな::[↓]?:.	2、3、7、12 を指す
318	236	話者 B02	うん.	
319	237	話者 A02	えっ, 使わなくてもいいとは言ってたんですか[↓]?[話者 B02 を見る].	
320	238	話者 C02	すっ, なんか, そこは, もう自由<みたいです>{<}. <自由>{>}<自由自由>{<},,	
321	239	話者 B02	<あっ, もう完全自由>{>}. <自由自由>{<}. <本当に自由>{>}みたいですよ.	
322	240-1	話者 A02	《沈黙 1.05 秒》	
323	241	話者 C02	なんで::なの?.	
324	240-2	話者 A02	じゃ, 要らないような<笑い>.	
325	242	話者 B02	<笑い>	
326		話者 B02	<笑い>	
327	243	話者 B02	これはもうこのまますっきり<してる気はする>{<}. <すっきりっすね>{>}<笑い>[うなずく].	
328	244	話者 C02	<すっきり>{>}してる<笑い>.	
329	245	話者 A02	こ..これ要らない.	2、3、7、12 を寄せ集める
330	246	話者 A02	完結してる気がするんですよ[↑]?:.	
331	247	話者 A02	《沈黙 2.40 秒》	
332	248	話者 B02	時間的にまだ余裕だよ.	時計を見る
333	249	話者 A02	後 7~8 分?[↑][話者 B02 を見る].	
334	250	話者 B02	うん, その半分くらい, 5 分くらいかな[↓]?:.	時計を見る
335	251	話者 B02	《沈黙 1.12 秒》	
336	252	話者 A02	え, もう 1 回確認するけど::, じゃ, [息を吸う]どうしよう?, 「話者 C02 姓」さん[間違えて名前を言う], じゃ, 説明してみる[↑]?:.	
337	253	話者 A02	これ.	
338	254	話者 B02	<笑い>	
339	255	話者 C02	えっ[↑], <笑い>何のス..., えっ[↑]?:.	
340	256	話者 A02	この, このストーリーを.	
341	257	話者 C02	あ::, なんか, りんごがなっ..りんごですね::, りんごが生ってる, 取りたいけど, 届かないと思ったら::[↑], 落ちてきた.	9、11 を指す
342	258	話者 B02	うん.	
343	259	話者 A02	うん.	
344	260	話者 C02	うん[↑], あるいは, 《沈黙 0.82 秒》最初から落ちてて::, 見つけて=.	
345	260-1	話者 C02	=あっ, <あっ, でも>{<},,	
346	261	話者 A02	<あ::>{>},	
347	260-2	話者 C02	あ::, いや, でも別に分かんないっすけど.	
348	262	話者 B02	<軽く笑い>	
349	263	話者 A02	あ::.	
350	264	話者 C02	いや, どっちでもいい気がします.	
351	265	話者 B02	<笑い>	
352	266	話者 C02	そんなに重要な<話>{<} [↑].	
353	265-1	話者 A02] <ただ>{>}[高い声で]これ [カード 10] を持ってるから, <手に>{<},,	10 を指す
354	266	話者 B02	<あ::>{>},	

359	265-2	話者 A02	入れてはいるんだよね.	
360	267	話者 C02	そうっか.	
361	268	話者 B02	確かに.	
362	269	話者 C02	そうっかそうっか.	
363	270	話者 A02	うん.	
364	271	話者 C02	じゃ、やっぱり、そうですね[↑].	
365	272	話者 B02	うん.	
366	273-1	話者 C02	取<ろうと>><{>.,	9を指す
367	274	話者 A02	<ま::>><{>.	
368	273-2	話者 C02	して::, そうしたら, ま::, なんか, 知んないけど, たまたま落ちて<きてる>><{>.,	11を指す
369	275	話者 B02	<落ちて>><{>.	
370	273-3	話者 C02	か, 落ちてた.	
371	276	話者 B02	うん.	
372	277	話者 A02	落ちてて.	
373	278-1	話者 C02	で, それを, ま::=.,	
374	279	話者 A02	=食べてて.	
375	278-2	話者 C02	食べて::, 2 人の子供が見てて::.,	10を指す
376	280	話者 A02	うん.	
377	278-3	話者 C02	[息を吸う音]で, 2 人の子供は..<も>><{>.,	8を指す
378	281-1	話者 A02	<取り>><{>.,	
379	278-4	話者 C02	“取りたい”,	
380	281-2	話者 A02	“取りたいよ::”.	
381	278-5	話者 C02	相談し<てると[↓]>><{>.	
382	282	話者 B02	<う::ん>><{>.	
383	283	話者 C02	で, 2 人で乗ってやろうとするんだけど, 届<かね::と[↓]>><{>.	5を指す
384	284	話者 A02	<うん>><{>.	
385	285-1	話者 C02	で, それを見かねたおっきい“大きいやつ<が::>><{>.,	6を指す
386	286	話者 A02	<うん>><{>.	
387	285-2	話者 C02	ちょっと不満になってる 2 人を見かねて::.,	
388	287	話者 B02	はい.	
389	285-3	話者 C02	“じゃ, 手伝ってやろう”と.,	
390	288	話者 A02	うん.	
391	289	話者 B02	<はい>><{>.	
392	285-4	話者 C02	<肩>><{>車をして取ってあげると[↓].	1を指す
393			《沈黙 0.72 秒》	
394	290-1	話者 C02	で, そうして, 皆<とっ..食べ>><{>.,	
395	291	話者 B02	<はい>><{>.	
396	290-2	話者 C02	られて, ハッピーと.	4を指す
397	292	話者 A02	ハッ<ビーという>><{>.	
398	293	話者 B02	<あ::>><{>.	
399	294	話者 C02	ハッピーエンディングっす::.	
400	295	話者 A02	ハッピーエン<ディング>><{>.	手をたたく
401	296	話者 B02	<すごい>><{>, すごいな.	手をたたく
402	297	話者 A02	ストーリーらしくない[↑]?<笑い>.	
403	298	話者 B02	これ<笑い>, これ以上ないですね.	
404	299	話者 A02	これ以上ないストーリー<笑い>.	
405	300	話者 C02	ないと<思います>><{>.	
406	301	話者 A02	<これ以>><{>上はない<笑い>.	
407	302	話者 C02	これでいい<と<思います>><{>.	
408	303	話者 B02	<これで::>><{>.	
409	304	話者 A02	<これでいい>><{><笑い>, <笑いながら>>これでいいんだよ.	
410	305	話者 B02	完璧な<ストーリーになってますよね::>><{>.	
411	306	話者 C02	<これでいいような気がします>><{>.	
412	307	話者 A02	はい.	
413	308	話者 B02	これだよな.	9、11、10、8、5、6、1、4
414	309	話者 C02	はい.	
415	310	話者 A02	う::ん.	
416			《沈黙 1.83 秒》	
417	311	話者 A02	いいすね::.	
418	312	話者 B02	全然もうこれ要らないのかなと.	
419	313	話者 A02	うんうん, そうだね, 疑う余地を<笑いながら>>探しながら<笑い>, <笑いながら>>うたっ..これを疑う人とか.	
420		話者 B02	<笑い>	
421	314	話者 B02	ま, 結局, 正解っていうものはな..ないでしょうね.	
422	315	話者 B02	<ね[↑]?、え::>><{>.	
423	316	話者 C02	<ま::>><{>, そうかもしれません.	
424	317-1	話者 A02	う::ん, ま, いかに, なんか::, ストーリー性を持ったふうにするか<ってというのが>><{>.,	
425	318	話者 B02	<そうですね>><{>.	

426	317-2	話者 A02	目標で::, それをいかに論理的に説明できるかみたいな.	
427	319	話者 C02	う::ん.	
428	320	話者 A02	う::ん, ん::, そうだよな, あ, これ以上論理的なものはないと<笑い>.	
429	321	話者 B02	<笑いながら>そう.	
430	322	話者 C02	うん.	

3. JM03

話者性別: 男

会話時間: 5.57 分

ライン 番号	発話文 番号	話者	発 話 内 容	備考
1	1	話者 A03	ストーリーを作るんですよね.	
2	2	話者 C03	そうですね::.	
3			《沈黙 2.20 秒》	
4	3	話者 A03	けっこう...<鼻笑い>.	
5	4	話者 B03	うん.	
6			《沈黙 3.28 秒》	
7	5	話者 C03	やってみ<ます..か::[↑]?><{>.	
8	6-1	話者 A03	<りんごがあるの>>>と::,	
9	7	話者 C03	うん.	
10	6-2	話者 A03	岩があるのと[→][息を吸う音].	
11	8-1	話者 C03	木で..まとめられそうかな[↑]?,,	5、9、8、1を指す
12	9	話者 B03	お::,<この木で><{>.	1、8、9を指す
13	8-2	話者 C03	<少しですけど>>>.	
14	10	話者 C03	うん.	
15	11	話者 B03	木と..岩.	
16	12	話者 C03	木と岩.	
17	13	話者 B03	うん.	
18			《沈黙 1.90》	
19	14	話者 C03	グループで分けちゃいます[↑]?.	カードを動かす、立ち上がる
20	15	話者 B03	そう<しましょうか[↑]><{>.	カードを動かす
21	16	話者 C03	<なんか共通>>>点が.	
22	17	話者 C03	[独り言のように] 歩いて.	
23			《沈黙 2.20 秒》	
24	18	話者 C03	はい.	
25			《沈黙 7.57 秒》	
26	19	話者 B03	何となくこれは最初っぼい気がします.	2を指す
27	20	話者 C03	うん.	
28	21	話者 A03	うん.	
29	22	話者 C03	ちょっと困ってる感じ.	
30	23	話者 B03	うん.	立ち上がる
31			《沈黙 8.32 秒》	
32	24	話者 A03	えっ, 難しいな, けっこう.	
33	25	話者 B03	うん.	
34			《沈黙 2.91 秒》	
35	26-1	話者 A03	ま, りんごを取るっていう話ですよね[↑]?,,	
36	27	話者 C03	う<::ん><{>.	
37	26-2	話者 A03	<ざっ>>><くり言えば>>>.	
38	28	話者 B03	<そうですね>>>.	
39	29	話者 B03	そうすると, これはラスト[↑]..になるんですね.	4を指す
40	30	話者 C03	あっ, っぼいっ<ぼい>>>.	
41	31	話者 B03	<う::ん>>>.	
42	32	話者 C03	そうだな::.	
43	33	話者 C03	じゃ, とりあえずこれをラストにしますね.	4を動かす
44	34	話者 B03	うん, そうですね.	
45	35-1	話者 A03	で::, 《沈黙 1.82》ってことは::,	
46	36	話者 C03	で, これ::も最後に繋がる感じですよ<ね[↑]?><{>.	りんごの木のカードのまとめりを指す
47	37	話者 B03	<そう>>>そうですね.	
48	35-2	話者 A03	この子たちが::《沈黙 1.19 秒》取るのが最後だから::, 《沈黙 1.27》 ここと《沈黙 1.04 秒》ここまでの話が繋がらない.	1を指す
49			《沈黙 1.60 秒》	
50	38	話者 B03	うん.	

51	39	話者 A03	ってか岩が<軽く笑い>.	
52	40	話者 B03	岩がどう...?.	
53	41-1	話者 A03	いっ<笑い>,,	
54		話者 B03	<笑い>	
55	41-2	話者 A03	岩を使っ..使ってないんだよな::.	1、9、8、5を指す
56			《沈黙 5.48 秒》	
57	42	話者 B03	岩と木がどう..繋がるんでしょう[↑]?.	
58			《沈黙 1.83 秒》	
59	43-1	話者 A03	ここに乘って::[→][カード 7],,	7を指す
60	44	話者 B03	うん.	
61			《沈黙 0.90 秒》	
62	43-2	話者 A03	こうなった[カード 1], 《沈黙 0.82 秒》 この<軽く笑>[話者 B03 を見る].	1を指す
63	45	話者 B03	ん::[↑].	
64	46	話者 C03	あ::, なるほど.	
65		話者 A03	<笑い>	
66		話者 C03	<笑い>	
67	47	話者 A03	<笑いながら>それしか思いつかない.	
68			《沈黙 1.31 秒》	
69	48	話者 C03	あっ, 岩..あっそっか, 岩を動かそうとしてて::.	3を指す
70	49	話者 B03	うん.	
71	50	話者 A03	<うん>{<}.	
72	51	話者 C03	<これ>{<}を動かそうとしてんですよ=.	3を指す
73	52-1	話者 C03	=で, 持ち上げようとしてて::, なんか, 高さが無いから::,,	12を指す
74	53	話者 B03	うん.	
75	52-2	話者 C03	この岩で::人の台をしようとしてる 《沈黙 0.97 秒》 っていう<感 じじゃない>{<},,	7を指す
76	54	話者 B03	<うん>{<}.	
77	52-3	話者 C03	ですか[↑]?.	
78	55	話者 A03	う::ん [うなずきながら].	
79	56	話者 B03	あ::.	
80	57	話者 C03	これが, ちょっと, この3枚の中でどこに入るか分かんないけど.	3、7、12を指す
81	58	話者 B03	うん.	
82			《沈黙 8.99 秒》	
83	59	話者 A03	えっと, 《沈黙 3.51》最初は, じゃ.	
84			《沈黙 2.39 秒》	
85	60	話者 C03	これはこうなのかな[↑]?, 《沈黙 1.01 秒》 りんご持ってるし.	10、4と並べる
86	61	話者 B03	う::ん.	
87			《沈黙 2.31 秒》	
88	62	話者 C03	これはりんご落ちてるんだよな[↑].	11を指す
89	63	話者 B03	うん.	
90			《沈黙 3.02 秒》	
91	64	話者 B03	落ちてる<の>を>{<} [[.	11を指す
92	65	話者 C03]] <これ [カード 11]>{<}一番最初じゃない[↑]?.	話者 B03に11を渡す
93	66	話者 B03	あ::.	話者 C03から11を受け取る、真ん中に置く
94			《沈黙 1.02 秒》	
95	67-1	話者 A03	ってこと<は::>{<},,	
96	68	話者 C03	<そんな>{<}ことない<笑い>.	
97	69	話者 B03	[小さい声で] 落ち<てる>{<} [[.	
98	70	話者 C03]] <でも>{<}<答えはないと思うけど>{<}.	
99	67-2	話者 A03	<偶然に拾っ>{<}て::,,	11を指す
100	71	話者 C03	うん.	
101	72-1	話者 B03	1人で<食って::>{<},,	11を指す
102	67-3	話者 A03	<1人で食べ>{<}ちゃって::.	10を動かす
103	73	話者 C03	あ, なるほど.	
104	72-2	話者 B03	“ずるい”と.	6を指す
105	74	話者 C03	あ::, ずるい.	
106	75	話者 B03	うん.	
107	76	話者 C03	うん.	
108	77	話者 B03	“欲しい”と.	
109	78	話者 C03	あ, で, 怒っちゃうみたいなの.	6を動かす
110	79	話者 A03	“ずるいな::”って<な>て>{<}.	11、10、6を動かす
111	80	話者 C03	<2番もちよっと>{<}難しい.	
112	81	話者 B03	そうですね.	
113	82	話者 B03	じゃ, ここはこうなるんですね.	11、10、6を整える
114	83	話者 C03	で, “僕たちも<りんご>が欲しい”>{<}.	指で6を指す
115	84	話者 A03	<“りんごを取りたい”みたいなの>{<}.	指でカードを押さえる
116	85	話者 B03	うん.	
117			《沈黙 3.32 秒》	

118	86	話者 A03	取りたくて取るけど、取れなくて::, 2 人は、	
119	87	話者 C03	うん、なんか、これ相談..してる感じっすか[↓]?	
120	88	話者 B03	そうですね::.	
121			《沈黙 3.77 秒》	
122	89	話者 C03	これで::こうなって::[↓].	6 の後に 8、5 を並べる
123			《沈黙 4.07 秒》	
124	90	話者 A03	あ、でも行間は勝手に埋めていいんです<よね、これ><[<].	
125	91	話者 C03	<うんうん>[>].	
126			《沈黙 1. 27》	
127	92	話者 A03	これ [カード 3,7,12] とかどうなんだろうな[↓]?	
128	93-1	話者 C03	岩を、<なんか、持ち上げようとする>[<],,	3 を指す
129	94	話者 B03	<あっ、そのまま届かない..から>[>].	3 に触れる
130	93-2	話者 C03	けど、だめで::=.	
131	95	話者 A03	=“何やってんだ”<とか>[<].	7 を指す
132	96	話者 C03	<うん>[>].	
133	97	話者 C03	で、協力してもらう=.	12 を指して動かす
134	98-1	話者 C03	=この順番[↑]?,	
135	99	話者 B03	あ::,<そうですね>[<].	
136	98-2	話者 C03	<そうしたら>[>].	
137	100	話者 A03	でもけっ....	
138			《沈黙 1.75 秒》	
139	101	話者 C03	最後で::《沈黙 1.64 秒》“1 人じゃ無理”，でこうとか[↑]?	9、1、4 を指す
140	102	話者 B03	う::ん.	
141			《沈黙 0.90》	
142	103	話者 B03	あっ、そうですね、ちょっとこれ [カード 2 を持ち上げて見せる].	2 を持ちあげて見せる
143	104	話者 A03	[くしゃみの音]<失礼>[<].	
144	105-1	話者 C03	<う::ん>[>], 2 番ちょっと,,	
145		話者 A03	[くしゃみの音]	
146			《沈黙 1.87》	
147	105-2	話者 C03	難しい.	
148	106	話者 B03	<軽く笑い>これラストですか[↓]?, ひょっとして.	2 を指す
149	107	話者 B03	違うよね.	
150	108	話者 A03	ラスト..<ん::>[<].	
151	109	話者 B03	<あっ、違うか、しょぼ::ん>[>]としてる.	
152	110	話者 C03	ラストはハッピーエンドで終わりたいね<笑い>.	
153		話者 A03	<笑い>	
154	111	話者 B03	そうですね.	
155		話者 A03	<笑い>	
156	112-1	話者 B03	あっ,,	
157	113	話者 A03	<あっ>[<] [[.	
158	112-2	話者 B03]] <じゃ>[>]やっぱ、こう、なんか、“いいことね::かな”つつて歩いてたら、“あっ、りんごだ” [話者 C03 を見る] って<いう>[<].	2 を持ちあげて見せる、11 を指で指す
159	114-1	話者 C03	<あっ>[>], うん、そう..<かもしれない>[<],,	
160	115	話者 B03	<そうですね>[>].	
161	114-2	話者 C03	ですな[↑].	
162	116	話者 B03	うん.	
163			《沈黙 3.10 秒》	
164	117	話者 C03	うん、いいんじゃないですか[↓]?<笑い>.	
165	118	話者 B03	そうですね.	
166	119	話者 C03	何か異論は[→]?	
167	120	話者 C03	もっところすればとか.	
168	121	話者 A03	[一直線を書くようにカードを指しながら] ここ、こうこう、どこにつなっ..こ::こ::..ら辺どうやって繋がります[↑]?	
169	122	話者 A03	[1 列目 2 列目を指しながら] あっ、こうですか[↓]?	
170	123	話者 C03	[カードの順番を指しながら] うん、こっち::からこうですね、左から<右に>[>].	
171	124	話者 A03	<で,>[>] [2 列目を指す] ここに<行くと>[<].	
172	125	話者 C03	<うんうん>[>].	
173	126	話者 B03	<うんうん>[>].	
174	127	話者 C03	で、これが最後.	1、4 を指す
175			《沈黙 1.98 秒》	
176	128-1	話者 A03	じゃ::,<まとめると,,	
177		話者 C03	<軽く笑い>	
178	129	話者 B03	はい.	
179	128-2	話者 A03	“いい<笑いながら>ことないかな”って歩いてたら、りんごが落ちてて::>[>],,	2、11 を指す
180	130	話者 C03	<う::ん>[>].	
181	128-3	話者 A03	1 人で食べてたら<羨>[<],,	10 を指す
182	131	話者 C03	<うん>[>].	
183	128-4	話者 A03	“ましい”って言われて::,	6 を指す

184	132	話者 B03	うん.	
185	128-5	話者 A03	“自分たちも取ろうよ”,	8を指す
186	133	話者 C03	うんうん.	
187	128-6	話者 A03	って言って::,	5を指す
188	134	話者 C03	協力するけど::, 取れず.	
189	128-7	話者 A03	取れず::,	
190	135	話者 B03	[小さい声で]取れず.	
191	128-8	話者 A03	今度岩を使<おう><{>,,	3を指す
192	136	話者 C03	<うん><{>.	
193	128-9	話者 A03	と[.].	
194			《沈黙 1.90 秒》	
195	137-1	話者 A03	で, ここで会って::,	7を指す
196			《沈黙 1.19 秒》	
197	138	話者 B03	うん.	
198	137-2	話者 A03	この子も動かそうとするけど, <でき><{>,,	12を指す
199	139	話者 C03	<うん><{>.	
200	137-3	話者 A03	ない=.	9を指す
201	140-1	話者 A03	=で::, 今度は手を伸ばして取ってみるけど, <取れ><{>,,	
202	141	話者 C03	<うん><{>.	
203	140-2	話者 A03	ないので::,	
204	142	話者 C03	うん.	
205	140-3	話者 A03	2人で協力したら, 取れた<と><{>.	1, 4を指す
206	143	話者 C03	<うん><{>.	
207	144	話者 B03	なるほど.	
208	145	話者 C03	いいじゃないですか[↑]?<笑い>.	
209		話者 A03	<笑い>	
210	146	話者 C03	ね, 綺麗な<笑い>.	
211	147	話者 A03	けっこう綺麗な<お話が><{>.	
212	148	話者 B03	<まとまりましたね><{>, は::い.	

4. JM04

話者性別: 男

会話時間: 15.28 分

ライン 番号	発話文 番号	話者	発 話 内 容	備考
1	1	話者 A04	じゃ, やりますか[.]?<笑い>.	机に移動
2	2	話者 B04	そうです<笑い>.	机に移動
3			《沈黙 7.47 秒》	
4	3	話者 B04	けっこう難しい<ぞ><{>.	
5	4	話者 A04	<けっ><{>こうむずいな::<笑い>.	
6		話者 C04	<笑い>	
7	5	話者 B04	何だろう?, ロシア的なものを感じる<笑い>.	話者 A04 の近くに移動
8			《沈黙 5.37 秒》	
9		話者 B04	<鼻笑い>	
10			《沈黙 2.32 秒》	
11	6	話者 B04	[小さい声で]1, 2, ん::.	
12			《沈黙 4.57 秒》	
13	7	話者 B04	やっぱ, 12 枚多いよね.	
14	8	話者 A04	けっこうむずいな.	
15	9	話者 B04	うん.	
16			《沈黙 5.73 秒》	
17	10	話者 B04	[小さい声で]岩<岩が><{> [.].	
18	11	話者 A04]]<これ[カード 7]><{>とこれ[カード 3]とこれ[カード 12]が[↑]近い[↑]?.	7, 3, 12を指で指す
19	12	話者 B04	うん.	
20	13	話者 C04	です::ね, 多分.	
21	14	話者 A04	ですよ.	
22	15	話者 B04	そうですね.	
23	16	話者 C04	[息を吸う音] <後は><{> [.].	
24	17	話者 B04]] <じゃ><{>, 近いもので=.	7を取って話者 A04 に渡す
25	18	話者 A04	=近いものでまとめてみます[↑]?.	7を受け取る
26			《沈黙 1.67 秒》	3人でカードをまとめる

27	19	話者 A04	こう、えっ[↑].	7を机に置く
28	20	話者 B04	じゃ、後りんごの木シリーズと[↓].	
29	21	話者 C04	[小さい声で]りんごの木.	
30			《沈黙 3.41 秒》	
31	22	話者 A04	こちら辺[↑]?[話者 C04 にカードを受け取る].	話者 C04 から 5, 11 を受け取る
32	23	話者 B04	<うん>[<].	机に移動
33	24	話者 C04	<こ>[>]れも、なんか、りんごを取っ<てるんです>[<].	カードを指で指す
34	25	話者 A04	<つぼいすよね>[>].	
35	26	話者 C04	[小さい声で]これですね.	4を渡す
36	27	話者 B04	これ何だろう?.	
37	28	話者 B04	キャラクター、卵[↑]?	
38	29	話者 C04	[小さい声で]へ::, これは....	6を話者 A04 に渡す
39	30	話者 A04	これが[↑], これ[↑]?	カードをまとめる
40	31	話者 B04	うん.	
41			《沈黙 2.83 秒》	
42	32-1	話者 A04	これ 1 個食べてるのは[↑]..こっから拾って[↑]?,.	11, 10 を話者 C04 に見えるように見せる
43	33-1	話者 C04	あ::, そんな感::<じです>[<],.	
44	32-2	話者 A04	<ですかね?>[>].	カードを机に置く
45	33-2	話者 C04	かね?.	
46	34	話者 B04	うん.	
47			《沈黙 3.12 秒》	
48	35	話者 C04	で::= [[.	
49	36	話者 A04]] =で、届かない[↓].	5を指す
50	37	話者 B04	うん.	
51			《沈黙 1.31 秒》	
52	38	話者 A04	とっ..取ろうとしたら、おこってきた[↑]?<軽く笑い>.	9を動かす
53			《沈黙 1.31 秒》	
54	39-1	話者 C04	あ::, <あ::, あ::>[<],.	
55	40	話者 B04	<あ::, あ::>[>].	
56	39-2	話者 C04	あ::.	
57			《沈黙 0.94 秒》	
58	41	話者 C04	なんか、うまい具合に繋がってきました.	
59	42	話者 B04	うん [話者 C04 を見る].	
60	43-1	話者 A04	で[↑],.	
61	44-1	話者 C04	[小さい声で]こ<れ::>[<],.	
62	43-2	話者 A04	<ここ>[>]は::,	5を見せる
63	44-2	話者 C04	[小さい声で]これ= [[.	
64	43-3	話者 A04]] =<鼻笑い>届かないから::,	
65	45	話者 B04	うん.	
66	43-4	話者 A04	<でかい>[<],.	
67	46	話者 C04	<あっ>[>].	
68	43-5	話者 A04	のに取ってもらった[↑]?<笑い>.	1を指す
69	47	話者 C04	お::.	
70		話者 B04	<笑い>	
71			《沈黙 2.68 秒》	
72	48	話者 A04	で::, こう[↑]?	4を取って見せる
73	49	話者 C04	これ:: どこですか[↓]?	
74		話者 B04	[息を吸う音]	
75	50	話者 C04	その[カード 4]後とかですかね?.	
76	51	話者 B04	これどうなんだろう?, ん::.	
77	52-1	話者 A04	それか::, これで取れなくて::, いがみ合って::,	5, 6 指す
78	53	話者 B04	うん.	
79	52-2	話者 A04	<これ>[<],.	
80	54	話者 C04	<あっ>[>].	
81	52-3	話者 A04	やってきた[↑]?	両手の人さし指でカードを押さえる
82	55-1	話者 B04	あっ,,	
83	56	話者 C04	あ::, <あ::, あ::>[<].	
84	55-2	話者 B04	<あ::あ::>[>].	
85	57	話者 A04	<で, こう[↑][カード 1], で, こう[↑]?[カード 4]>[>].	1, 4 を指で指す
86	58	話者 C04	そうかも《沈黙 1.09 秒》しれないです.	4 を指で指す
87	59	話者 B04	これは多分最後ですよ、<きつ>[<].	4 を指で指す
88	60	話者 A04	<最後>[>]ですよ<ね>[<].	カードを動かす
89	61	話者 C04	<そう>[>]ですね.	
90			《沈黙秒 5.00 秒》	
91	62	話者 B04	これ最初かな[↓]? [話者 A04 にカード 8 を見せる].	8 を持ちあげて、話者 A04 に見せる
92	63	話者 A04	[息を吸う音]最初[↓].	8 を受け取って
93	64	話者 B04	うん.	

94	65	話者 A04	ここか[↓]?<笑い>.	8を先頭に置く
95	66	話者 B04	うん.	
96	67	話者 B04	言い合ってたたら, “どうしたの?”みたいなの.	6を指す
97	68	話者 C04	岩ってどこに<<笑い>入れる[↓]?><.>.	
98	69-1	話者 A04	<<笑いながら>これ::[カード 7]><.>.,,	7を指す
99		話者 B04	<笑い>	
100		話者 C04	<笑い>	
101	69-2	話者 A04	<笑いながら>これどう片付けられるか[↓]?.	
102	70-1	話者 A04	あ, で::, こう[カード 9], <こう[カード 11]><.>.,,	9、11、10、8を指で指す
103	71	話者 B04	<うん><.>.	
104	70-2	話者 A04	こう[カード 10], こうか[↓]?[カード 8].	
105	72	話者 B04	うん.	
106	73	話者 C04	う::ん[→].	うなずく
107			《沈黙 2.98 秒》	話者 A04 がカードを動かす
108	74	話者 A04	もう少しこっちでやります[↑]?.	カードを話者 C04 の近くに動かす
109		話者 B04	<笑い>	
110	75	話者 C04	遠い<ですね><.>.	
111	76	話者 A04	<遠い><.>ですよね, すいません.	カードを動かす
112			《沈黙 6.38 秒》	
113	77	話者 B04	ようやくなんとなく《沈黙 1.40 秒》形が出来てきたかな[↑]?.	
114	78-1	話者 A04	こう::[カード 9, 11, 10], 《沈黙 2.76 秒》 こう::[カード 5],,	9、11、10、5を指す
115	79	話者 B04	うん.	
116	78-2	話者 A04	っこう[カード 6],,	6を指す
117	80	話者 B04	うん.	
118	78-3	話者 A04	じゃない.	
119	81	話者 A04	え::っと, こうか[↓][カード 8].	8を指す
120	82	話者 C04	後, こうで.	カードを動かすのを手伝える
121	83	話者 A04	で::, こう[↑]?[カード 1].	1を指す
122			《沈黙 4. 27 秒》	
123	84	話者 B04	お::<笑い>.	
124	85-1	話者 A04	で::[↑],,	
125	86-1	話者 C04	で::.,,	
126	85-2	話者 A04	<笑いながら>で::[↑].	
127	86-2	話者 C04	<笑いながら>で::[↑], へ::.	カードを話者 A04 に寄せる
128			《沈黙 1.74 秒》	
129	87	話者 A04	これ[カード 2] があっち[↑]?<笑い>.	2 を手に取って、始めのほうを指す
130			《沈黙 2.68 秒》	
131	88	話者 A04	どうだろう?.	
132			《沈黙 2.47 秒》	
133	89	話者 A04	これ何?, この 3 つ<笑い>.	3、7、12を広げる
134		話者 B04	<笑い>	腕を後ろに回して、前にかがむ
135			《沈黙 6.45 秒》	
136		話者 B04	<笑い>	
137			《沈黙 1.37 秒》	
138	90	話者 A04	こっから[カード 7]こう[↑]?[カード 12].	7、12を指す
139	91	話者 C04	ですか<ね::?><.>.	
140	92	話者 A04	<ですか><.>ね?.	
141	93	話者 B04	<うん><.>.	
142	94	話者 C04	<多分><.>, そうですよ.	
143	95-1	話者 A04	これは[カード 2], <こっち[↑]?[カード 12を指す]><.>.,,	置く位置を指す
144	96	話者 C04	<<笑い>これ><.>.	
145	95-2	話者 A04	こっち[↑]?[列の先頭を指す]<笑い>.	
146		話者 B04	<笑い>	
147			《沈黙 2.18 秒》	
148	97	話者 B04	そもそもこの話がりと関係あるんですかね?.	
149	98	話者 A04	なんか, なさそうですよね.	
150	99	話者 B04	う::ん<笑い>.	
151	100	話者 A04	どう思います[↑]?.	
152	101	話者 C04	ない::.	2人を見上げる
153	102	話者 C04	りんご出てきてませんもんね<笑い>.	
154	103	話者 A04	ないですよ.	
155	104	話者 B04	うん.	
156	105	話者 C04	へ::.	
157			《沈黙 2.53 秒》	

158	106	話者 B04	<笑い>どうなんだろう?.	
159			《沈黙 4.50 秒》	
160	107	話者 A04	ふ::ん, こう[↑]?	カード 1 の後に 4 を入れる
161	108	話者 B04	え::と[↑].	
162	109	話者 A04	これが[カード 2]どこだろう?.	手で 2 を押さえる
163			《沈黙 2.54 秒》	
164		話者 B04	<笑い>	
165	110	話者 A04	これじゃないよね<笑い>, これ<笑い>[話者 B04 に向いて話す].	8 と 2 を指す
166	111	話者 B04	たぶ..たぶ..多分違う<笑い>.	
167		話者 C04	<笑い>	
168	112	話者 A04	[息を吸う音]こう[↑]?	2 を列の先頭に置く
169			《沈黙 6.31 秒》	
170	113	話者 A04	[息を吸う音]《沈黙 1. 23 秒》で, これは[↑][カード 12,3]?<笑い>.	12, 3 を指す
171	114	話者 B04	えっ, ひとまず= [[.	
172	115-1	話者 C04]] =あ::, なんか,,	
173	116	話者 B04	うん.	
174	115-2	話者 C04	岩に乗ったら, 木に届くとか, そんなもんじゃな::いですかね?.	7 を指で指す, 手で口を覆う
175	117	話者 C04	違う, <ちよつと無理<笑い>分からないですけど>{<}.	
176	118	話者 B04	<あ::あ::あ::>{<}.	
177	119	話者 A04	<あ::あ::あ::>{<}あ::あ::あ::.	
178			《沈黙 1. 27 秒》	
179	120-1	話者 C04	こいつ付けるとしたら,,	手で眼鏡を押さえる
180	121	話者 A04	なるほど, なるほど=.	
181	120-2	話者 C04	=<笑いながら>そんな感じくらいしか[→]= [[.	
182	122	話者 B04]] =あっ, そっか, だから岩に..持ってこうとしたけど, 結局.	3 を指す
183	123	話者 A04	そっか, 持てなかつたのか[↑]?	
184	124	話者 B04	そうっか.	
185			《沈黙 1.00 秒》	
186	125	話者 A04	これどこに<いれればいいんだろう>?>{<}.	3 を指す
187	126	話者 C04	<[小さい声で]へ::>{<}.	
188	127	話者 B04	<これ[カード 8]と>{<}これ[カード 5]の間かな[↓]?	8 と 5 の間を開ける
189			《沈黙 1.81 秒》	
190	128	話者 A04	そっか.	その間に 3, 7 を入れる
191	129	話者 B04	結局岩を持ってけなくって, 取ることにしたけど::[↓].	
192			《沈黙 1.52 秒》	
193	130	話者 C04	あっ, なるほど.	カードを動かす
194			‘《沈黙 2.00 秒》	
195		話者 B04	<笑い>	
196	131	話者 A04	こうか[↓]?	カードを整える
197			《沈黙 3.12 秒》	
198	132	話者 B04	で, これは何だろう?[カード 2 を持ち上げて話者 A04 に見せる].	2 を持ちあげて見せる
199	133	話者 A04	<笑いながら>こ::れ[カード 2]どこ[↓]?<笑い>.	2 を受け取る
200	134	話者 A04	っと, これがどこに入るか::[↓]?	机の真ん中に 2 枚のカードを置く
201			《沈黙 8.63 秒》	
202	135	話者 B04	へ::.	
203	136	話者 A04	それか::, こう[↑]?	7, 3 を動かす
204	137	話者 B04	うん.	
205	138	話者 A04	で::=.	
206	139	話者 A04	=あっ, 違うな.	
207	140	話者 A04	やっぱ, こうか[↓]?	3, 7 と戻す
208			《沈黙 10.81 秒》	
209	141	話者 B04	難しい[小さい声で].	
210	142	話者 C04	<ん::>{<}.	
211	143	話者 A04	<あ, でも>{<}こうか[↑]?	7, 3 と動かす
212	144	話者 A04	どちらだろう?.	
213			《沈黙 2.90 秒》	
214	145-1	話者 A04	これ::食べてるのを見て::,,	10 を指す
215	146	話者 B04	うん.	
216	145-2	話者 A04	来て::.	8 を指す
217	147	話者 B04	うん.	
218			《沈黙 3.70 秒》	
219	148	話者 B04	“食べてるのを見て”ということだったら, これは::[カード 2]<笑い>.	2 を指す
220	149	話者 A04	<笑いながら>こ::れ::[カード 2].	2 を指す
221	150	話者 C04	[小さい声で]これ何だろう?.	
222	151	話者 B04	これは<笑いながら>何なんだろう[↓]?	

223	152	話者 A04	こう[↑]?	12、2と並べる
224			《沈黙 2. 18 秒》	
225	153-1	話者 C04	あ::, なんか,,	
226	154	話者 B04	あ::.	
227	153-2	話者 C04	動かせなくて《沈黙 0.87 秒》みたいな.	
228			《沈黙 3.55 秒》	
229	155-1	話者 B04	あ, そっか,,	
230	156	話者 C04	[小さい声で]だったら= [[.	指でカードを上を指で指す
231	155-2	話者 B04]] =あっ, <じゃ>{<},,	9 を取る
232	157	話者 C04	<うん>{>}.	
233	155-3	話者 B04	これが[カード 9]最初で:: 《沈黙 2.00 秒》で, 届かないから, 岩を持って行こうとしたけど, 無理で, で, なんか, <落ちてきて<笑い>>{<}.	
234	158	話者 A04	<あれ, けっ..>{>} お..<落ちたのか>{<}.	
235	159	話者 C04	<あ::>{>}.	
236	160	話者 A04	そうかそうか.	9、12、2を指す
237	161	話者 C04	あ::, なるほど.	
238	162	話者 A04	<そうだった>{<}.	
239	163	話者 B04	<“お::”>{>}.	
240	164	話者 A04	“お::お::お::お::おおお”.	
241		話者 C04	<笑い>	
242	165	話者 A04	で, おこった..のが先[↑]?	11 を 2 の後に置く
243	166	話者 B04	うん.	
244	167	話者 C04	なるんですかね.	カードを少しずらす
245			《沈黙 2.47 秒》	
246	168-1	話者 B04	そうか, で::,,	
247	169-1	話者 A04	で::,,	
248	168-2	話者 B04	食べて[↑]?	
249	169-2	話者 A04	こう[↑]?	11の後に 10 を置く
250	170	話者 A04	もうちょっと分けます[↑], 上下に<笑い>?.	カードを動かす
251		話者 B04	<笑い>	
252	171	話者 C04	そうですね.	カードを動かす
253			《沈黙 3.12 秒》	
254	172	話者 A04	で::, [カードを動かす] 《沈黙 11. 82 秒》なんか, こ..こんな感じ[↑]?	カードを動かす
255	173	話者 B04	あ::.	
256	174	話者 A04	こう[↑], どうなんだろう?.	
257	175-1	話者 A04	これが:: 《沈黙 1.16 秒》<こっ[カード 7 を指す]>{<},,	8 を指す
258	176	話者 B04	<うん>{>}.	
259	175-2	話者 A04	からこう[カード 3]なるか[↓]?	7、3を指す
260	177-1	話者 B04	そっか::,,	
261	178	話者 C04	ふ::ん.	
262	177-2	話者 B04	あ::, “さっきやったけど, 無理だったよ”みたいな顔してるね<笑い>.	カードを指で指す
263		話者 A04	<笑い>	
264		話者 C04	<笑い>	話者 B04 を見る
265	179	話者 A04	そっか, で::, “じゃ自力でやってみるか”と思ったけど, だめでぶんぶんしてんのか[↑]?<軽く笑い>.	5、6を指す
266	180-1	話者 A04	<で::>{<},,	
267	181	話者 B04	<あ::>{>}.	
268	180-2	話者 A04	こう[↑]?	1、4を指す
269			《沈黙 2.46 秒》	
270	182	話者 B04	ん[↑] 《沈黙 5.15 秒》え::と, うん, そ..それっぽく軽く笑い>.	
271	183	話者 A04	どうですかね?.	
272	184	話者 C04	[息を吸う音]繋がっ..てる..と思うんですけど.	
273	185	話者 B04	うん.	
274	186	話者 C04	[小さい声で]へ, なんか, これ.	
275	187	話者 B04	これ::は[カード 6]多分こっ..この間じゃないですか[↓]?	3 と 5 の間を指す
276			《沈黙 1.60 秒》	
277	188-1	話者 B04	運べなくて::,,	
278	189	話者 C04	<あ::あ::あ::あ::>{<}.	
279	190	話者 A04	<なるほど, 運べなくてか>{>}.	カードを動かす
280	188-2	話者 B04	いらついてたところに“どうしたの”とか言って.	
281	191	話者 A04	そうか<そうか>{<}.	
282	192	話者 C04	<へ::>{>}, あ::, あ, あ, あ, 確かにこれでもなんか<笑いながら>繋がる.	カードをずらす
283	193	話者 B04	でもなんでわざわざ上に乗ってるの<笑いながら>か[↓]?	7を指す
284	194	話者 C04	そうですね, なんで乗ったんですかね?.	
285			《沈黙 1.09 秒》	
286	195	話者 A04	あっ, こう[↑]?	5、6と動かす

287	196-1	話者 B04	あつ,,	
288	197	話者 C04	あつ,ん[↑].	
289	196-2	話者 B04	へ[↑].	
290	198	話者 A04	あれ[↑], 違う[↑]?	
291		話者 B04	<笑い>	
292	199	話者 B04	あつ,<だけど>>{<} [[.	
293	200	話者 A04]] <運べな>>{>}くて::.	3を指す
294	201	話者 A04	あ::, 違うか.	
295	202	話者 B04	イライラしてる<笑い>.	6を指す
296		話者 A04	<笑い>	
297			《沈黙 2.54 秒》	
298	203	話者 B04	[息を吸う音]やっぱり逆かな::[↓]?	6を指す
299			《沈黙 5.44 秒》	腕時計を見る
300	204-1	話者 B04	ん::, はこっ..運べなくて::,,	
301	205	話者 A04	運べなくて[↑].	
302	204-2	話者 B04	いらついて::.	
303			《沈黙 3.63 秒》	
304	206	話者 A04	[息を吸う音]で, また岩んところに戻ってくる.	7を指す
305	207	話者 B04	[息を吸う音]ん::<笑い>, あつ, そっか, おかしいか[↓].	
306	208	話者 C04	う::ん.	
307	209	話者 A04	<笑いながら>うん.	
308	210	話者 B04	本当に何だこ<笑いながら>りゃ[↓]?, 《沈黙 7.69 秒》[息を吸う音]ん::ん::.	
309			《沈黙 15.67 秒》	
310	211	話者 A04	それか, やっぱりこう[↑][カード 6を5の後に置く]?	3、7、5、6を指す
311	212	話者 B04	あ::.	
312			《沈黙 4.06 秒》	
313	213-1	話者 A04	運ぼうと思ったけど::, “いや, 無理でしょう”って言われて::, 仕方なく[↑],,	3、7を指す
314	214	話者 B04	あ::そっか.	
315	213-2	話者 A04	2匹[↑],,	5を指す
316	215	話者 C04	う::ん.	
317	213-3	話者 A04	だから 2人[↑]でやって::, “無理だったよ”と, 怒ってて, “いや”,,	6、1を指す
318	216	話者 B04	そっか.	
319	213-4	話者 A04	“こうすればいけんじゃない[↑]?”と.	1を指す
320	217	話者 B04	うん.	
321			《沈黙 3.70 秒》	
322	218	話者 B04	そっか:: 《沈黙 1.60 秒》それとも, “無理だった”, “無理だよ”って言われて::, 頑張ったんだけど, 結局だめで::, “無理だよ”って言って, 諜報人が来て, “なんだこいつ”って<笑い>.	7、5、6、1を指す
323		話者 A04	<笑い>	
324		話者 C04	<笑い>	
325	219	話者 A04	嫌な奴<笑い>.	
326	220	話者 B04	だけど, ま, 食べたいから::<笑いながら>仕方なく[↓].	1を指す
327	221	話者 B04	ちょっと, 表情が消せないですね, それ[カード 6].	6を指す
328		話者 A04	<笑い>	
329		話者 B04	<笑い>	
330	222	話者 A04	りんごの数減ってないし<笑い>.	9を指す
331	223	話者 B04	<笑い>そっか:: 《沈黙 4.86 秒》運べないと思って::, 上に乗ってるのがね[↓].	3、7を指す
332	224	話者 A04	こうじゃないですよ[カード 7の後にカード 3を並べる].	7、3と並べなおす
333			《沈黙 4.06 秒》	
334	225	話者 B04	突然すぎません[↑]?<笑い>.	8を指す
335		話者 A04	<笑い>	カードを戻す
336			《沈黙 9.93 秒》	
337	226	話者 B04	[息を吸う音]何<だろう?>{<}.	前にかがんでカードを見る
338	227	話者 C04	<ん::>{>}.	背中を伸ばす
339			《沈黙 9.86 秒》	話者 A04 がカードを寄せる
340	228	話者 B04	ん::ん::ん::.	
341			《沈黙 18.06 秒》	
342	229	話者 A04	ふ::ん<軽く笑い>.	
343			《沈黙 6.16 秒》	
344	230	話者 B04	<軽く笑い>うん.	
345	231	話者 A04	今のところこれかな::と思うんですけど<軽く笑い>.	9、12、2、11、10、8、3、7、5、6、1、4
346	232	話者 C04	そう<ですね::>{<}.	
347	233	話者 B04	<うん>{>} 《沈黙 1.52 秒》そうですね.	
348	234-1	話者 C04	なんか, こっから崩すと,,	机に寄りかかる
349	235	話者 B04	そうだよね::.	

350	234-2	話者 C04	色々<笑い>.	
351		話者 A04	<笑い>	
352	236-1	話者 B04	これ[カード 7, 大きいキャラクター]が意地の悪いやつで<笑い>.	7 を指す
353	237	話者 C04	<笑い>意地の悪いやつ.	
354	238	話者 A04	<笑い>意地の悪いやつ.	
355	236-2	話者 B04	石をはけば[言い間違える]..“岩を運べばいいんじゃないかな”とか言ってるで、<で、運ばせたんだけど[う]<笑い>><.>.	7 を指す
356	239	話者 A04	<無理だったんだけど<笑い>>>>[う]“無理じゃん”と<笑い>.	3、6 を指す
357			《沈黙 2.61 秒》	
358	240	話者 B04	だけど、一番、綺麗な形に収まってますよね.	
359	241	話者 A04	多分これですよね.	
360	242	話者 B04	うん.	
361			《沈黙 2.68 秒》	
362	243	話者 B04	だいたい良いんじゃないでしょうか[う]?	
363	244	話者 A04	ですかね?	カードを手で押さえる
364			《沈黙 5.44 秒》	
365	245	話者 A04	これってなにもん‘何者’なんだろう?、これ<笑い>.	7 を指す
366	246	話者 B04	<笑い>え、卵の妖精.	
367	247	話者 A04	卵的なやつ[う]?	
368	248	話者 B04	<笑い>だけど、足が生えてるんだよね.	
369			《沈黙 22.12 秒》	
370	249	話者 A04	ん.	
371	250	話者 B04	だけど、不思議なのは<これ何で出てきたんですかね?>.	7 の大きいキャラクターを指す
372		話者 A04	<笑い>	
373	251	話者 B04	で、これ[カード 7、大きいキャラクターを手で伏せる]いなければ[う].	
374		話者 A04	<笑い>	
375	252	話者 C04	そうですね、そこいなければ、割とすんなり.	
376	253	話者 B04	そうですね<笑い>[話者 C04 を見る].	
377		話者 C04	<笑い>	話者 B04 を見る
378		話者 A04	<笑い>	
379	254-1	話者 B04	だって、“なんだ、岩運べなかったの[う]?”って言って、.	7 を指す
380		話者 C04	<笑い>	
381		話者 A04	<笑い>	
382	254-2	話者 B04	“まだ取れてないの[う]?”.	6 を指す
383	255	話者 A04	手伝ってあげようよって<笑い>.	
384	256	話者 B04	<笑いながら>そうですね.	
385			《沈黙 1.01 秒》	
386	257	話者 A04	実はこれ[カード 6]の後これ[カード 2]だったり<笑い>.	6、2 を指す
387	258	話者 B04	<笑いながら>へ.	
388	259	話者 C04	あつ、へ.<笑い>.	
389		話者 A04	<笑い>	
390		話者 B04	<笑い>	
391	260	話者 B04	そっか.	
392	261	話者 A04	“じゃ、自分でりんご取ってみよう”, 取れない<笑い>.	4、9 を指す
393	262	話者 B04	酷いな.	
394			《沈黙 2. 25 秒》	
395	263	話者 B04	あつ、やっぱり意外と本当にそう<かもしれない、本当にそうかもしれない><.>.	4 を指す
396	264	話者 C04	<あつ、意外とそうですね、ってなんか>>>[う]、思えてきた.	
397	265	話者 B04	これ、正解が知りたいですね.	
398		話者 A04	<笑い>	
399		話者 B04	<笑い>	
400	266	話者 A04	最後これ[う]?[カード 10], <笑い>そうしたら、こっから[カード 4]始まったら.	10、4 を指す
401	267	話者 B04	1 人で<笑いながら>取ってんじゃない[う]?	10 を指す
402			《沈黙 2.90 秒》	
403	268	話者 B04	あ、そっか、これが最初あってもいいのか、じゃ.	4 を指す
404	269	話者 A04	“いいな、りんご食べたいな”とか思って.	4 を指す
405	270	話者 B04	うん.	
406	271-1	話者 B04	で、そうすると、こ::の::.	カードを指で指す
407		話者 A04	<笑い>	
408	271-2	話者 B04	一連の動きが[う].	3、7、5
409	272	話者 A04	で、これ[カード 1]要らないしね.	1 を指す
410	273	話者 B04	これ[カード 8]が最初なのかな[う]?	8 を指す
411	274	話者 B04	こう、最初、で、こういて::[う].	一直線を描くように 8、3、7、5、6 辺りを指す
412	275	話者 B04	あ、でもおかしいよね.	

413		話者 C04	<笑い>	
414		話者 A04	<笑い>	
415			《沈黙 3.77 秒》	
416	276	話者 A04	いや、ありじゃね:[↑]?	
417	277-1	話者 C04	あつ,,	
418	278	話者 B04	ありかな[↓]?	
419	279	話者 A04	<ありじゃね[↑]>{<}.	
420	277-2	話者 C04	<ありじゃない>{>}ですか[↑]?	
421	280	話者 B04	じゃ、時間もあるし、ちょっとやってみますか[↓]?	9 を取る
422		話者 C04	<笑い>	
423	281	話者 B04	えっと::.	
424	282	話者 C04	え::<っと>{<}.	
425	283-1	話者 A04	<ここまで>{>}行つて,,	8、3、7、5、6
426	284	話者 C04	て.	カードを動かす
427	283-2	話者 A04	こう、こう[↑], って<ことですか[↑]>{<}. <そうです>{>}. あれね、性善説に従って,, <笑いながら>性<善>{<}. <笑いながら><皆>{>}いいキャラクターなって[↓].	9、12、2、11、10 を下に動かす
428	285	話者 B04		
429	286-1	話者 B04		
430	287	話者 C04		
431	286-2	話者 B04		
432		話者 C04	<笑い>	
433	288-1	話者 A04	で::, これ[カード 1,4]が,,	1、4 を取る
434	289	話者 C04	え::<っと>{<}. <こう>{>}か[↑]?	カードをずらす
435	288-2	話者 A04		
436	290	話者 B04	うん.	
437	291	話者 C04	あつ、そうです.	
438			《沈黙 2. 39 秒》	
439	292	話者 A04	こう?.	6 の後に 1、4 を置く
440	293	話者 B04	お::.	
441	294	話者 A04	で、こっち[↑]?	指で 9 を指す
442	295	話者 C04	こっち.	9 を指す
443	296	話者 B04	こっち《沈黙 2.18 秒》うん.	9 を指す
444			《沈黙 2.90 秒》	8、3、7、5、6、1、4、9、12、2、11、10
445	297	話者 A04	この顔[↑]?<笑い>[カード 10、小さいキャラクターを指す].	10 を指す
446		話者 B04	<笑い>	
447			《沈黙 1.16 秒》	
448	298-1	話者 B04	やっぱり大人だな::って,,	
449		話者 A04	<笑い>	
450	298-2	話者 B04	せつ..あの、世間の厳しさを知って.	
451	299	話者 A04	<笑い>世間の厳しさ.	
452			《沈黙 2.39 秒》	
453	300	話者 B04	そっか::, ん::.	
454	301	話者 A04	取ってもらえばいいのにね、この時一緒に<笑い>.	1 を指す
455	302	話者 B04	<笑い>確かに.	
456	303	話者 A04	すごい、なんか、捻くれた答えになってそう<笑い>.	
457	304	話者 B04	<引き笑い>すごいよね.	

5. JM05

話者性別: 男

会話時間: 13.83 分

ライン番号	発話文番号	話者	発 話 内 容	備考
1	1-1	話者 B05	えつ,,	席に移動
2		話者 A05	<笑い>	
3	1-2	話者 B05	けっこう、なんか、投げ出された感じが.	席に移動
4	2	話者 B05	ス<トリー>を>{<} II.	
5	3	話者 A05	II) <[息を吸う音]じゃこっち>{>}で.	
6	4-1	話者 B05	あつ、適当に<座つ>{<},,	椅子に座る
7	5	話者 C05	<座って>{>}. で::, 行くか[↑]?	
8	4-2	話者 B05	ストーリーを作るとか書いてあったん<ですな>{<}. <そうです>{>}ね.	
9	6	話者 C05		
10	7	話者 C05	15 分ですよ.	
11	8	話者 B05	はい《沈黙 2.38 秒》へ::.	
12	9	話者 B05		

13	10	話者 A05	どう, どうする[↑]?	カードを見る
14	11	話者 B05	<笑い>え, でも番号書いてあるよね.	
15	12	話者 A05	うん.	
16	13	話者 B05	それは関係ないの[↑]?	
17			《沈黙 1.67 秒》	
18	14	話者 C05	関係なさそう::ですよね.	カードを見る
19	15-1	話者 B05	ん::, 《沈黙 1.98 秒》[小さい声で]りんごが=,,	
20	16-1	話者 A05	=この, なんか,,	
21	15-2	話者 B05	でも, <りんご><{>,,	
22	16-2	話者 A05	<卵みたいなの><{>.	
23	15-3	話者 B05	りんごがさ, 主体になってない[↑]?<鼻笑い>.	
24	17	話者 B05	りんご, ほら, 取りたくて::, でこれゲットして喜んでるから.	9、4 を指す
25			《沈黙 4. 34 秒》	
26	18	話者 A05	うんうんうん.	
27	19	話者 B05	だから, なんか, えっ, どうなってんだろ?=>.	10 を指す
28	20	話者 B05	=で<も><{> II.	
29	21-1	話者 A05	II <ま><{>, <とりあえずこれが><{>,,	2 を動かす
30	22-1	話者 C05	<取りたいけど>:><{>,,	9 を指す
31	21-2	話者 A05	スタートな気がする.	
32	22-2	話者 C05	<りんごが取りたいけど, 取れ><{>,,	
33	23	話者 B05	<あ, そいつスタートか><{>.	
34	22-3	話者 C05	なかつ..て::, で, 今度でっかい, ああ, 石みたいなやつを運んで::, 取るんですかね?.	12 を指す
35	24	話者 B05	あ, そうだ.	
36	25	話者 A05	いっし::...‘石’.	
37	26	話者 B05	いっ..でも石の上に乗ってりんごを取ってる姿のやつってないよね.	
38	27	話者 C05	な<いっす><{>.	
39	28-1	話者 B05	<あつ><{>,,	
40	29	話者 C05	あ::.	
41	28-2	話者 B05	あれじゃない[↑]?	7 を指す
42	30	話者 A05	乗ってる<けど><{>.	7 を指す
43	31	話者 B05	<乗っ><{>してるだけだよ.	
44	32-1	話者 B05	だから, <普通にすっ><{>,,	
45	33	話者 A05	<う::ん, 乗って><{>する.	
46	34	話者 C05	あ, <普通に><{>.	
47	32-2	話者 B05	<肩車><{>してもらって取ってるのかな[↑]?	
48	35	話者 B05	石は何だろう?<鼻笑い>.	11 を取って見る
49	36	話者 B05	ま, 別に特にストーリー決まってるわけじゃないだろうね.	
50	37-1	話者 B05	りんご系でとりあえず集めて, <鼻笑い>りんご<系で><{>,,	カードを机の真ん中に置く
51	38	話者 C05	<りんご><{>系=.	カードを持ちあげる
52	39	話者 A05	=りんご[カードをまとめる].	カードをまとめる
53	37-2	話者 B05	りんご系で集めて, そっちはりんごでやって, で, こっちは岩っ..石, 石.	カードをまとめる
54	40	話者 C05	石<笑いながら>石.	カードをまとめる
55			《沈黙 0.96 秒》	
56	41	話者 B05	石を集めて::.	カードをまとめる
57			《沈黙 1.88 秒》	
58	42	話者 B05	何だこりゃ::.	
59			《沈黙 0.96 秒》	
60	43	話者 B05	なんか, で..出会ったやつ<鼻笑い>, 歩いてて出会うみたいな.	話者 C05 に 6 を渡す
61			《沈黙 1.12 秒》	
62	44	話者 B05	これ石はどう..どうだろう?, 《沈黙 1.29 秒》ん[↑].	3、7、12 を並べる
63			《沈黙 0.81 秒》	
64	45	話者 A05	石は何だろう?.	カードを正面にずらし て見る
65		話者 C05	<笑い>	
66	46	話者 A05	とりあえずこれは最後だよ[話者 B05 にカード 4 を渡す].	4 を話者 B05 に渡す
67	47	話者 C05	ですね.	
68	48	話者 B05	嬉しそうにして::.	
69	49	話者 C05	で, この食べてるの, このでっかい食べてるのは何なんですかね?[話者 B05 を見る].	10 を持ち上げて指で 指す
70	50	話者 B05	これりんごじゃないですか?.	10 を指す
71	51	話者 C05	これ食べてますね.	10 を指す
72	52	話者 B05	りんご<ですよ><{>.	
73	53-1	話者 A05	<あ, じゃ, 食べ><{><てるの><{>,,	1 に手を乗せる
74	54-1	話者 B05	<だから><{>,,	
75	53-2	話者 A05	を::.	
76	54-2	話者 B05	落ちて::.	11 を指す
77	55	話者 C05	食べて.	10 を動かす

78	56	話者 A05	あつ、落ちて::=.	11 を取る
79	57-1	話者 B05	=で、ゲットして::, で、<いいなって感じ><{>,,	10 を指す
80	58-1	話者 C05	<あ、そう、見た::><{>,,	10 を指す
81	57-2	話者 B05	で::,,	
82	59	話者 A05	で.	8 を取る
83	58-2	話者 C05	自分<も取ろうと><{>,,	
84	57-3	話者 B05	<“欲しい”になって><{>.	
85	58-3	話者 C05	して::, 取れないって<感じですかね?><{>.	5 を触る
86	60	話者 A05	<最初こっちじゃない[↑]?><{>.	8 を真ん中に置く
87			《沈黙 1. 31 秒》	
88	61	話者 B05	へ::[↑][首を傾げる]<笑い>何だろう?<笑い>.	
89			《沈黙 2.98 秒》	
90	62	話者 A05	あ::, でも.	11 を取って見る
91			《沈黙 4.55 秒》	
92	63	話者 B05	とりあえずその歩いてるところから::, 《沈黙 1.31 秒》ど..どうい う出会いにするかだよ.	2 を指す
93			《沈黙 2.88 秒》	
94	64	話者 B05	この人 1 人でさ..<最初><{> [[.	9 を指す
95	65	話者 A05]] <あつ><{>最初 《沈黙 1. 36 秒》取れないってなって::, 困 って::.	9、2 を指す
96			《沈黙 3.79 秒》	
97	66-1	話者 B05	あつ、<それ困っ..困ってる><{>,,	
98	67	話者 A05	<でもこれ[カード 11]が良く分かんない><{>.	話者 C05 が 9、2 を横 に並べる
99	66-2	話者 B05	のか[[].	
100	68	話者 A05	取れないけどさ、落ちてんの[↑]?、これ[カード 11].	カードを真ん中に出す
101			《沈黙 1.12 秒》	
102	69	話者 B05	いや、なんか、普通にあれじゃない[↑]?、落ちてて::, で、食べる じゃん[[].	11、10 を指す
103	70-1	話者 B05	で、<それは><{>,,	立ちあがる、8 を指す
104	71	話者 A05	<あつ、でも::><{>.	
105	70-2	話者 B05	“羨ましい”なって、“欲しい”..あ::.	
106	72-1	話者 A05	<笑いながら>それは,,	
107		話者 C05	<笑い>	
108	73-1	話者 B05	あ、ま、“欲しいな”ってなって::=,,	5 を指す
109	72-2	話者 A05	=じゃ、そうしたらこれ、<これ[カード 9]何[[↑]?><{>,,	9 を持ちあげて、見せ る
110	73-2	話者 B05	<そうっ><{>,,	
111	72-3	話者 A05	これ[話者 B05 にカード 9 を見せる]=.	
112	73-3	話者 B05	=取ってあげようかなと思ったけど、<取れないから::><{>,,	9 を指す
113	74	話者 A05	<あつ、そういうことか><{>.	9 を戻す
114	73-4	話者 B05	がん::, なんか、こ..これ[カード 5]とこれが[カード 9], こう、セ ットなって、そ..その後にこれが[カード 1]くるんじゃない[[↑]?	5、9、1 を動かす
115	75	話者 B05	こう、こう、こうみたいな.	5、9、1 を指す
116	76-1	話者 B05	“取れない::”, で、“じゃ、僕が取ってやろう”, “あ、取れ<ない ::”><{>,,	5、9、1 を指す
117	77	話者 A05	<あ::あ::><{><あ::><{>.	
118	78	話者 C05	<あ::あ::><{>.	
119	76-2	話者 B05	みたいな.	
120	79	話者 A05	じゃ、やっぱりこれが[カード 11]最初で::.	自分の前に 11 を持つ てくる
121			《沈黙 0.83 秒》	
122	80	話者 B05	うん.	
123			《沈黙 1.65 秒》	
124	81	話者 B05	これっ..食べてるでしょ[↑]?	立ちあがる、10 をずら す
125	82	話者 A05	でも、これ[カード 2], これ何だろう?, じゃ=.	2 を持ちあげて見せる
126	83	話者 A05	=なんで<こう><{> [[.	
127	84	話者 B05]] <それ><{>とこれも[カード 6]<笑いながら>謎なん<だよ ><{>.	6 を指す
128	85	話者 C05	<これ><{>::さすが、こう.	
129	86	話者 B05	りんごたっ.. 《沈黙 1.45 秒》りんごの下で::, 《沈黙 1.38 秒》あ つ、《沈黙 0.95 秒》あつあつ、これ[カード 2], あつ、でも、これ [カード 2], これの[カード 1]後じゃないよね.	2、1 を指す
130	87	話者 B05	後、後小さいのが、なんかいなくなっちゃって.	2 を指す
131	88	話者 B05	[溜め息をつく]よく分かん<ないな::><{>.	
132	89	話者 A05	<[溜め息をつく]へ::, ちょ><{>っと、<え::と::><{>.	
133	90	話者 B05	<で、こんな><{>シチュエーションです[カード 4 を真ん中に出 す].	4 を前に出す
134	91	話者 C05	<笑い>これ、でも最後ですよ.	4 を指す
135	92	話者 B05	最後だと思います、それは.	

136			《沈黙 0.96 秒》	
137	93-1	話者 A05	石が:,,	
138	94-1	話者 B05	2 人,<あ>><,>,,	4 を指す
139	93-2	話者 A05	<なん'何>><,>.	
140	94-2	話者 B05	ん,[咳く] 2 人ともりんご取れた=.	
141	95	話者 B05	=ってか石が<謎なんだよね>><,>.	
142	96	話者 A05	<とりあえず>><,>りんごが.	
143			《沈黙 0.96 秒》	
144	97	話者 B05	石が謎過ぎる.	
145			《沈黙 2.55 秒》	
146	98	話者 B05	っていうか 15 分以内にストーリーが出来あがらなかったら,<笑 いながら>まずいっていう.	
147	99	話者 C05	<笑い>何も参考にならなくて<笑い>[話者 B05 を見る].	
148			《沈黙 1.34 秒》	
149	100	話者 C05	でも,これとりあえず動かそうとしてますよね,どうも.	3 を指す
150	101-1	話者 C05	動か<そうとした>><,>,,	
151	102	話者 B05	<う::ん>><,>.	
152	101-2	話者 C05	んですけど,動けないから::っていうので,肩車になるんですか ね?.	7 を指す
153	103	話者 B05	そっか,そうだ,あ,じゃ,<そうしましょう>><,>.	
154	104	話者 A05	<うんうんうん>><,>.	
155	105-1	話者 C05	そうになったら,えっと,はじっ..で,結局一番初めが,,	
156	106-1	話者 B05	一番<始め: :>><,>,,	
157	105-2	話者 C05	<どういうのにするか>><,>,,	
158	106-2	話者 B05	あっ,,	2 を指す
159	105-3	話者 C05	っていう.	
160	106-3	話者 B05	その,<それは>><,>,,	
161	107	話者 A05	<これ[↑]>><,>.	カードを触る
162	106-4	話者 B05	そいつは::,いや,こちら辺でいい石を探してる<っていう設定 >><,>.	2 を指す
163	108	話者 A05	<あ::そう>><,>いうことか,ん::.	話者 B05 に 2 を渡す
164		話者 C05	<笑い>[話者 B05 を見る]	
165	109	話者 B05	[カード 2 を見ながら]違う[↑]?,	2 を見る
166	110-1	話者 B05	<あ>><,>,,	
167	111	話者 A05	<いや>><,>でもいいと思う.	
168	110-2	話者 B05	いや<動か>><,> [[.	12、2 と並べる
169	112	話者 C05]] <いい石を>><,>.	
170	113	話者 B05	こっちでもいいかも.	
171	114	話者 B05	[話者 A05 を見ながら]“動かね::”,で,諦めたみたいな<笑い>.	12、2 を指す
172	115	話者 C05	うんうんうん.	
173		話者 A05	<笑い>	
174	116	話者 B05	だって,別に決まってるわけじゃないよね.	
175	117	話者 C05	そうですね.	
176	118-1	話者 A05	で,これ[カード 11]が最初で,2 番目[カード 10],,	11、10 と並べる
177			《沈黙 1.68 秒》	
178	119	話者 C05	で,“いいな”と思って::.	8 を摘む
179	120	話者 B05	あつ<やっぱりこ..これもいいじゃない[↑]>><,>.	
180	118-2	話者 A05	<ん,取りに行っただ:::>><,><2 人でできなくて>><,>.	8 を動かす
181	121	話者 C05	<で,この冷やかな目は何なんですか[↓]>><,>.	6 を真ん中に出す
182			《沈黙 1.00 秒》	
183	122-1	話者 B05	それは,なんか,りんご:: 《沈黙 1.01 秒》へ::<何だろう?>><,>,,	6 を指す
184	123	話者 C05	<なんか>><,>.	
185	122-2	話者 B05	あっ,あ::,でもこの後に来そうじゃない[↑]?,こう.	
186			《沈黙 1.02 秒》	話者 A05 が 6 を取っ て見る
187	124	話者 B05	[話者 A05 が持っているカード 6 を取ろうとする]こう<笑いながら >来そうじゃない[↑]?,	2 を動かす
188		話者 C05	<笑い>	
189	125	話者 B05	歩いてて,な..なんか,“何だ,こいつ::”みたいな,出会って,《沈 黙 0.81 秒》“何だ,こいつ”みたいな<笑い>.	話者 A05 が持ってい る 6 を机に置く
190	126	話者 B05	繋がらな::い.	
191			《沈黙 2.43 秒》	
192	127	話者 A05	ん::,で::,とっ..ろう‘取ろう’としたけど,だめで::.	8、5 と並べる
193	128-1	話者 B05	あの,これ..[カード 5]何だっけ,《沈黙 1.64 秒》ん[↑],これ[カー ド 12]さ,,	5、12 を指す
194			《沈黙 0.81 秒》	
195	129	話者 C05	はい.	
196	128-2	話者 B05	これ[カード 5]と::,これ[カード 9]の::後にこれ[カード 12]入れて もいいかも,これ全部[カード 12,7,3]<鼻笑い>[話者 C05 を見て 話者 A05 を見る].	5、9、12、7、3 を指す
197	130-1	話者 B05	これと[カード 5]<これで::[カード 9]>><,>,,	5、9 を指で指す

198	131	話者 A05	<これ>{>}. 199 130-2 話者 B05 “あれ、取れない取れない、じゃ岩持ってこよう”み<たい>{<},, 200 132 話者 C05 <な>{>}. 201 130-3 話者 B05 ななって::, 《沈黙 0.83 秒》 これは謎なんだけど[カード 7]<笑い>, で、岩でも、岩も<やっぱ>{<},, 202 133-1 話者 A05 <歩い>{>},, 203 130-4 話者 B05 運ば..運べな::いつてなって[↑], “じゃ肩車しよう”みたいな[話者 A05 を見る]. 204 133-2 話者 A05 [頷く]歩いて知り合って::, 205 134 話者 B05 ん::, これ[カード 4]一番最後. 206 《沈黙 1. 46 秒》 207 135 話者 A05 なんでこの人こんな顔してるんだろう?, そうしたら. 208 《沈黙 0.96 秒》 209 136-1 話者 A05 <りんご食べて喜んでるはずなん>{<},, 210 137 話者 B05 <そうなんだよね>{>}. 211 136-2 話者 A05 だけど. 212 138 話者 B05 あっそっか, <じゃ、やっぱ一番>{<} [[. 213 139 話者 C05]] <りんご食べられ>{>}て、なんか怒って..怒ってんじゃないですか[↓]?, これなんか. 214 《沈黙 0.90 秒》 215 140-1 話者 B05 食<べられて>{<},, 216 141 話者 C05 <違うんですかね?>{>}. 217 140-2 話者 B05 怒ってる[↑]?. 218 142-1 話者 C05 なんで,, 219 143-1 話者 A05 あっ,, 220 142-2 話者 C05 勝手<に食べ>{<},, 221 143-2 話者 A05 <へ>{>}. 222 142-3 話者 C05 たら、じっ..落ちてたの食べてて::, あ、なんか, 《沈黙 1.10 秒》 “あ,<食べられた>”{<},, 223 144 話者 B05 <あ>{>}. 224 142-4 話者 C05 <笑いながら>みたいな[話者 B05 を見る]. 225 145 話者 B05 そうだ, じゃ, そうしよう. 226 146 話者 B05 <じゃ>{<} [[. 227 147 話者 C05]]<で、そ>{>}れで::この、なんか, “どうしよう?”ってなって::, “じゃ、僕ももう 1 個取っ..ろうかな”としたけど、取れなくて::, 228 《沈黙 2.34 秒》 229 148 話者 C05 あ、でもそれも繋がらないですね. 230 149 話者 B05 ふ::ん、っていうっか[カード 3]を取って動かそうとする]= [[. 231 150 話者 A05]] =じゃ、最初こっちが[カード 8]さきかもね、もしかしたら. 232 151-1 話者 A05 さっきに::このふ..2 人が::,, 233 152-1 話者 B05 あ::, りん<ご>{<},, 234 151-2 話者 A05 <取りた>{>},, 235 153 話者 C05 <あ>{>}. 236 151-3 話者 A05 <たかったけど>{<},, 237 152-2 話者 B05 <取ろうとして、うん>{>}. 238 151-4 話者 A05 偶然こん,,, 239 154 話者 C05 落ち<てるのを食べてしま>て::>{<}. 240 151-5 話者 A05 <こいつが食べてるのを見て>{>},, 241 155 話者 B05 うん. 242 151-6 話者 A05 なんか, “何だよ、こいつ”みたい. 243 156 話者 C05 <笑い>こいつ. 244 話者 A05 <笑い> 245 157-1 話者 C05 あ、それは<けっこう行ける、行ける>{<},, 246 158-1 話者 B05 <<笑い>あ::いいかも、いいかも>{>},, 247 157-2 話者 C05 行けます. 248 159-1 話者 C05 <で、こう>{<},, 249 158-2 話者 B05 <それいいかも>{>}. 250 159-2 話者 C05 で. 251 160-1 話者 B05 “何だよ、こいつ”って<な>て::>{<},, 252 161-1 話者 C05 <<笑いながら>で“何だ、>{>}こいつ”ってなって、しょぼ::んとして,, 253 160-2 話者 B05 で= [[. 254 161-2 話者 C05]] =取りたいけど取れない::, 石==. 255 162 話者 C05 =あっ、もういいの、これ、どうなの、<これ>{<}. 256 163 話者 A05 <それ>{>}結局取れない::, 257 《沈黙 0.84 秒》 258 164 話者 B05 いや、<逆に>{<}. 259 165 話者 C05 <石を>{>}. 260 166 話者 B05 ん::, あ、そ..でもその方が分かりやすいか[↓].
-----	-----	--------	---

261	167	話者 A05	石をやってみよう::	12を指す
262			《沈黙 1.33 秒》	
263	168	話者 B05	で= [[.	
264	169-1	話者 C05]] =あ, でも, これは::[カード 3, 7] ここです,<この間に[カード 8 と 5 の間]><{>,,	3, 7 を動かす
265	170-1	話者 B05	<あ, この子><{> 《沈黙 0.88 秒》 そ..<そっち><{>,,	指で 5 を指す
266	171	話者 A05	<あ::><{>.	
267	170-2	話者 B05	<じゃない[↑]?><{>.	
268	169-2	話者 C05	<このあい..間><{>ここなんです, こちら辺=.	
269	172-1	話者 C05	=<で, りんご見つけ><{>,,	
270	173	話者 B05	<うん, そこだね><{>.	
271	172-2	話者 C05	て::.	8, 3 を指す
272			《沈黙 2.08 秒》	
273	174	話者 B05	その..りんごの下じゃない[↑]?, 多分<石を運びたいから><{>.	5 を指す
274	175	話者 C05	<下, じゃ, あ, じゃ下にする><{>.	7 を手に持つ
275			《沈黙 0.83 秒》	話者 A05 が 8, 5, 3 と並べる
276	176	話者 B05	りんごが取れなくて, <岩を運びたいから[→]><{> [[.	
277	177	話者 C05]] <で, 取れなくて岩><{>運ぼう.	7 を手に取ったまま
278	178	話者 C05	そうしても, どちらみち無理だ.	7 を手に取ったまま
279	179	話者 B05	あ, で= [[.	
280	180	話者 C05]] =後はこれ[カード 7]何ですかね?.	
281	181	話者 B05	それは, あの::, <笑いながら>こちら辺[カード 12 の後]でいい, <適当に><{>.	話者 C05 から 7 を取ろうとする, 12 の後を指す
282	182	話者 A05	<何これ[↑]?><{>.	
283		話者 C05	<笑い>	
284	183	話者 B05	それは, うまくやらないから.	
285	184	話者 B05	それが謎なんだよ.	
286			《沈黙 3.31 秒》	
287	185	話者 B05	で, “取れた::” って言って喜んだと.	1, 4 と並べる
288			《沈黙 2.48 秒》	
289	186	話者 A05	うん, 何となく出来あがった.	
290	187	話者 B05	それは食べてるんだよね.	立ちあがる
291	188	話者 C05	これは[カード 7]ここ[カード 3 の後]ですかね?.	7 を動かす
292			《沈黙 1.89 秒》	
293	189-1	話者 B05	ふ::ん, でも, <そう, そう><{>,,	
294	190	話者 C05	<あ, でも, う::ん><{>.	7 を戻す
295	189-2	話者 B05	すると, その, りんごを見つけたとかのくだりがちょっと分からなくなっちゃうな.	11 を指す
296	191	話者 C05	ですよ.	
297	192	話者 B05	あっ..会って, あ, ま, 会ってたのか[↑], [息を吸う音]何だろう?<軽く笑い>.	
298			《沈黙 1.02 秒》	話者 C05 が 1, 4 を真ん中に出す
299	193	話者 A05	[小さい声で]これでいいのか[↑]?	7 を指す
300			《沈黙 5.03 秒》	
301	194	話者 A05	最初= [[.	
302	195-1	話者 B05]] =それも 2 つ, 最後ん..最後の方に 2 つ出てきてる..のってさ::, ここ[カード 1]で 1 個取ったやつとさ::, <笑い>もしかしてそいつ..落ちてたそいつ..それ食べてなくて::,	1, 11 を指す
303		話者 C05	<笑い>	10 を見る
304		話者 A05	<笑い>	
305	195-2	話者 B05	渡したっていう<笑い>.	
306			《沈黙 2.07 秒》	
307	196	話者 B05	え::, <確かに, えっ><{> [[.	
308	197-1	話者 C05]] <あ, でも, それ><{>もあり得ますね,,	
309		話者 B05	<笑い>	
310	197-2	話者 C05	<笑い>あり<得ますよね><{>.	10 を取る
311	198	話者 B05	<そう, で><{>“僕が, じゃ, あげるよ” って言って::.	4 を指す
312			《沈黙 3.24 秒》	
313	199	話者 B05	ここは[カード 6]実はりんご持ってたたり..しない[↑]?<笑い>.	立ちあがる, 6 に顔を近づける
314		話者 C05	<笑い>	
315	200	話者 B05	ここで持ってたたら, “何だよ, あいつくれね::<んだよ>”><{>.	
316	201	話者 C05	<でも, なんか><{>, ただ, 食べっ..食べてるっぽくないですか[↑]?, でも.	10 を取って, 指で指す
317	202	話者 B05	食べてる[↑]?	
318			《沈黙 1.46 秒》	
319	203	話者 B05	で, これ口..あつ, これは口か[↑]?<笑い>.	10 を指す
320	204	話者 C05	はい.	

321	205	話者 B05	こっちが口だと思った<笑い>.	
322	206	話者 B05	鼻か[↓], それ.	
323		話者 A05	<笑い>	10 を取って、見る
324	207	話者 C05	食べ..<食べて>[<].	
325	208	話者 B05	<食べてるね>[>].	
326			《沈黙 1.27 秒》	
327	209-1	話者 B05	ま::, じゃ, “りんご食べた::い”つって, “取れな::い”, で, “岩も運べな::い”ってゆってたら::, あっ, そっか, 岩運んでる間に:::, りんごが落ち<てる見つけて::>[>].	指で空中を指す
328	210	話者 C05	<落ちてるのを見つけて::>[>] 《沈黙 1.03 秒》 食べ<た>[<].	うなづく
329	209-2	話者 B05	<で>[>], 食べ..<ようとしてっ..て::>[>].	10 を指す
330	211-1	話者 A05	<食べっ..の見>[>]て::,	10 を指す
331	209-3	話者 B05	“何<だよ, こいつら::”ってなっ>[>].	
332	211-2	話者 A05	<“何だよ, あいつ”ってなっ>[>]<て::>[>].	6 を指す
333	212-1	話者 C05	<だと>[>].	
334	209-4	話者 B05	て::.	
335	212-2	話者 C05	これ[カード 7]ここ[カード 3 の後]じゃないですか?, そうしたら.	7 を動かす
336			《沈黙 3.65 秒》[話者 C05 は話者 B05 を見る]	
337	213-1	話者 A05	え, でも=.	
338	214	話者 B05	=あっ, そっ..ん[↑].	
339	213-2	話者 A05	あ, でも, ここで初めて多分出会ってるわけだから[カード 10]=.	10 を指す
340	215	話者 B05	=うん, と思ったけど::, 俺も.	
341	216	話者 B05	ま, でも, ここ[カード 7]で出会っても, 別に問題ないけどね.	立ちあがる、7 を指す
342			《沈黙 0.81 秒》	
343	217	話者 C05	でも, なんか, 《沈黙 0.88 秒》こっ[カード 3]からここ[カード 7]飛びすぎじゃないですか[↑]?, <けっこう>[<].	3、7 を指す
344	218	話者 B05	<だったら>[>], えっと, ここ[カード 3]で, ここ[カード 7]で::, 《沈黙 1.33 秒》これ[カード 2]をこうする.	3、7 を指す、2 を取る
345	219	話者 A05	これ何[↑]?[カード 7], 本当に.	7 を取る
346	220	話者 B05	これは 3 人すればいいんじゃない[↑]?,	カードをずらす
347			《沈黙 1.31 秒》	
348	221	話者 B05	ね::, だって, これ[カード 3]の後にさ::, そこで“何してんの, こいつ”みたいな感じで::, ま, このちょっと不機嫌な顔は良く分からないけど::, 歩いてたら::, りんご落ちてるのを見つけて::, 食べてて::, 《沈黙 0.88 秒》で, これ[カード 3]の後にこれ..[カード 7]入れ<ちゃったら>[<]?:.	7 を指す、11、10 を動かす
349	222	話者 C05	<うんうん>[>].	
350			《沈黙 0.95 秒》	
351	223	話者 B05	だめ?.	
352	224-1	話者 B05	なんか, ここ[カード 7]で<遭遇>[<].	7 を指す
353	225	話者 C05	<うん>[>].	
354	224-2	話者 B05	したってこと<にして::>[>].	
355	226-1	話者 C05	<あれと出会っ>[>]て::,	
356	224-3	話者 B05	で::, 《沈黙 0.86 秒》なん, ま, なんか, “何してんだろう?”って思っ て歩いてると<鼻笑い>.	2 を指す
357	226-2	話者 C05	歩いて.	7 の後に 2 を置く
358	227-1	話者 A05	えっ, じゃ, これ[カード 6]を::,	6 を取る
359	228	話者 B05	あれっ[↑], 《沈黙 0.78 秒》あ, そんなものあったのか[↑].	
360	229	話者 C05	あ, <そう, だったら::>[>] [↑].	
361	227-2	話者 A05	[↑] <でも, これっ..こ..こ>[>], ここ[カード 7 の後]にする[↑]?=.	7 を触る
362	230	話者 A05	=でも, なんか, この流れがよく分からないね.	
363			《沈黙 0.79 秒》	
364	231	話者 B05	あ, でも, 違う違う違う, それ[カード 6]はだって, りんごを食べた後で<いいでしょ[↑]?>[<].	6 を指す
365	232-1	話者 C05	<食べた後>[>]です, <食べ>[<].	6 を話者 B05 に渡す
366	233	話者 B05	<うん>[>].	
367	232-2	話者 C05	終わった後ですね.	
368	234-1	話者 B05	だから::<これ[カード 10]で>[>].	10 を指す
369	235-1	話者 C05	<この食べ終わっ>[>]<た後>[<].	
370	236-1	話者 A05	<で, これで::>[>].	7、2 を指す
371	235-2	話者 C05	あっ.	
372	234-2	話者 B05	こっちでしょ[↑]?[カード 11 を渡す].	11 を渡す
373	236-2	話者 A05	探してたら見つけて::,	11 を手に取る
374	237-1	話者 C05	見つけて::,	10 を動かす
375	238-1	話者 B05	見つけて::<そうそう>[<].	
376	236-3	話者 A05	<食べてるのを見て>[>].	カードを動かす
377	237-2	話者 C05	<食べて::>[>]<睨まれ>[<].	
378	238-2	話者 B05	<食べて>[>]<睨まれっ>[<].	
379	237-3	話者 C05	<て::>[>].	
380	236-4	話者 A05	<睨まれ>[>]て,,	
381	238-3	話者 B05	“じゃ, 取ってやろう::”<つつて“あっ, 取れ>[<].	

382	239	話者 C05	<でも取れない>:, で, 岩><{>.	
383	238-4	話者 B05	<“ない”><{>,,	
384	236-5	話者 A05	<取れなくて><{>.	
385	238-5	話者 B05	“じゃん”って.	
386	240	話者 B05	あ::, これ完璧じゃん<鼻笑い>[話者 A05 を見る].	1、4 を寄せる
387	241	話者 B05	でも, <そこ><{> 【.	
388	242	話者 C05	】<あつ, これ[カード 6]><{><ここ[カード 12 の後]じゃないですか[↑]?><{>.	6 を取る
389	243	話者 A05	<すごい急だ><{>ね, なんか.	1 を指す
390	244	話者 C05	これこうじゃないですか[↑]?.	12、6 と並べ直す
391			《沈黙 3.81 秒》	
392	245	話者 A05	あつ, そう<いうことか[↓]><{>.	
393	246	話者 C05	<取れん..><{><ないから, 取れっ><{> 【.	
394	247	話者 B05	】<“取れ..取れ><{><ないのか[↓]><{>.	
395	248	話者 A05	<“手伝ってあげる><{><よ”見たいな><{>.	7 を指す
396	249	話者 C05	<“手伝ってあげるよ”..><{>って, で, “なんだ, さき自分が食べたのに”みたいな..感じで:“何話しかけてんだよ”みたいな..なってる中で:, “じゃ, 肩車してあげるよ”みたいな感じ[↑], 取る[話者 B05 を見る].	7 を指す
397	250	話者 B05	ん::, あ::, 《沈黙 0.77 秒》ん[↑] 《沈黙 1. 36 秒》でも, “手伝ってあげるよ”だったら, なんか, 《沈黙 1.70 秒》ここ[カード 9]で, もう, なんか, 手伝ってるよね.	
398	251	話者 B05	何だろう?<鼻笑い>,<なんか><{> 【.	
399	252-1	話者 C05	】<自分><{>じゃできなかったから,,	9 を指す
400	253	話者 B05	あ, “じゃ::一緒にてつ..<やろう, やろう”って><{>.	
401	252-2	話者 C05	<“一緒にてつ..や..><{><一緒にやろうか”><{>.	
402	254	話者 B05	<あ::, そういう><{>ことか[↓].	
403			《沈黙 1.93 秒》	
404	255	話者 B05	あ, じゃ, それで.	
405			《沈黙 1.89 秒》	
406	256	話者 B05	[呟くように]“りんごくれ::”, “取れない::”.	
407	257	話者 A05	で, 取ろうとして, だめで, 動かしたけど, だめで.	8、5、3、7、2、11、10 を指で指す
408			《沈黙 9.04 秒》	
409		話者 C05	<笑い>	
410	258-1	話者 B05	なんか, その<しかめっ><{>,,	2 を指す
411	259-1	話者 A05	<なんか><{>,,	
412	258-2	話者 B05	つら謎なんだよね.	
413	260	話者 C05	で<すよね::><{>.	2 を持ちあげる
414	259-2	話者 A05	<この><{>辺が.	
415			《沈黙 2. 10 秒》	
416	261	話者 C05	しかめっつら, こころ辺[カード 9]に入りそうじゃないですか[↑]? , なんか.	9 を指す
417			《沈黙 0.98 秒》	
418	262	話者 B05	あ::, うん, あ::, ん, でもそれだったら, これ[カード 6]の後に入りそうな気がするけど.	6 を指す
419	263	話者 B05	ここで::[話者 A05 は, 話者 B05 が指した位置にカード 2 を置く].	話者 A05 が 2 を 6 の後に当てる
420	264	話者 C05	あ::, そうすね::.	
421	265	話者 B05	うん.	
422			《沈黙 3.03 秒》	
423	266	話者 B05	うん, しかめっつらもう完全に無視して<鼻笑い>.	
424			《沈黙 6.03 秒》	
425	267	話者 B05	でもなんか= 【.	
426	268-1	話者 A05	】=じゃ, 1 回これ取ろうとして::, この岩に行く前に::,,	2 を持ったまま、9、12 を指す
427			《沈黙 1.26 秒》	
428	269-1	話者 B05	あ, <そっち::, それは><{>,,	
429	268-2	話者 A05	<1 回これ[カード 6, 2] が入る><{>.	9、6、2、12 を指す
430	269-2	話者 B05	いいかも.	
431	270	話者 B05	ん[↑].	
432			《沈黙 3.03 秒》	
433	271	話者 B05	いや, こ..これ[カード 6]は良く分からないけど, この[カード 9]後にこれ[カード 2]は::ありかも, りんご取れなかったで, これはありかも.	6、9、2 を指す
434	272	話者 B05	これは良く分かんない.	
435	273	話者 A05	あ, でも, そこっ[カード 10], 《沈黙 1.12 秒》これで一回取ろうってなんないよね.	10 を指す
436			《沈黙 1.12 秒》	
437	274	話者 B05	これで::[カード 10], あつ, こ..これ[カード 6]がやっぱ入らないとだめじゃん[↓]?.	10、6 を指す

438	275-1	話者 A05	やっぱ、これ[カード 6]が入って::,	10 の後に 6 を置く
439	276-1	話者 B05	で::, それで,,	
440	275-2	話者 A05	じゃ取ってあげ::.	
441	276-2	話者 B05	ようってなって::.	9 を指す
442	277	話者 A05	あっそっ..こっち[カード 9 の前]さっき、<こっち[↑]?[カード 9 の後]><{>.	2 を入れる
443	278	話者 B05	<うん>>{>, こっち[カード 9 の後]だ、こっ<ち::><{>.	
444	279	話者 A05	<[小さい声で]こっち>>{>.	
445	280	話者 B05	で、取れなかったから::, “えっ”ってなって::.	2 を指す
446			《沈黙 1.65 秒》	話者 C05 がそのカードを手に取る、別の場所に置く
447	281	話者 A05	やってみたけど、だめで::.	9 を指す
448			《沈黙 3.20 秒》	
449	282	話者 B05	なんか、唐突にこれ[カード 1]行っちゃった<けどね>>{>.	1 を指す
450	283	話者 A05	<うんうん>>{>うんうん.	
451			《沈黙 1.86 秒》	
452	284	話者 A05	これ[カード 7]が入っ.., あ、でもそっか[↓].	
453			《沈黙 2.12 秒》	
454	285	話者 B05	あっ、《沈黙 1.71 秒》ん[↑], 《沈黙 1.52 秒》あ、で、そっ..ん、そこに来て::, “何してんの”みたいな感じ..これ[カード 12]入れてもいいかもね、それ[カード 7].	7 を指す
455	286	話者 B05	それ入れようっか[↓].	
456	287-1	話者 A05	=これ[カード 7]を::<そっち[カード 1 の前]にし><{>,,	7 を動かす
457	288	話者 B05	<ここに入れれば[→]>>{>.	
458	287-2	話者 A05	で::,,	
459	289	話者 B05	うん.	
460	287-3	話者 A05	これ[カード 12]が....	12 を取る
461			《沈黙 1.15 秒》	
462	290	話者 B05	じゃ、これ[カード 12]ここ[カード 7 の前]でいいじゃない[↑]?、そのまま.	12 を指す
463			《沈黙 0.77 秒》	
464	291-1	話者 B05	なんか、岩《沈黙 0.85 秒》運ぼうとしたけど、できなくて、そうしたらこいつらが“何してんの”<見に来て::><{>,,	
465	292	話者 A05	<あ、やってきた>>{>.	12 を 7 の前に置く
466	291-2	話者 B05	うん、で::, じゃ一緒にやろう<みたいなの>>{>.	1 を指す
467	293	話者 A05	<あ::>>{>.	うなづく
468	294	話者 B05	それなら、ま、一応通じるかな[↓]?.	
469			《沈黙 7.40 秒》	
470	295	話者 B05	“りんごが食べた::い”って言ってて::, 取れなくて、岩<持ってこうと>>{>.	8、5、3 を指す
471	296-1	話者 A05	<やってみたけど>>{>だめ<で>>{>,,	5、3 を指す
472	297-1	話者 B05	<うん>>{>, そうしたらその<間にこの人が>>{>,,	11 を指で指す
473	296-2	話者 A05	<この人食べ..>>{>拾って,,	11 を指す
474	297-2	話者 B05	食<べて::>>{>,,	10 を指で指す
475	296-3	話者 A05	<食べて>>{>,,	10 を指す
476	297-3	話者 B05	“何だこいつ”ってなって::,,	6 を指す
477	296-4	話者 A05	で,,	
478	297-4	話者 B05	“じゃ、取ってあげよ::”ってなって::, 取れなく<て::>>{>,,	9 を指す
479	296-5	話者 A05	<<く>>{>}チッとなっ<ちゃって::>>{>.	2 を指す
480	297-5	話者 B05	<で、これも取れん..>>{>.	12 を指す
481	298	話者 B05	これ[カード 12]とこれ[カード 2]別に逆でもいいけどね.	12、2 を指す
482	299	話者 B05	どっ《沈黙 1.12 秒》なんか、《沈黙 1.07 秒》でも何だろう?.	
483	300	話者 B05	なんか、どっ..失敗したからさ、2 回ぐらい失敗しないとき::, このしかめっつらが<笑い>.	12 を 9 の後に置く
484		話者 C05	<笑い>	
485	301	話者 A05	でもしかめっ.. なんかさ、これにやってみて、だめで、もう 1 回<何で食べてた[↑]?>>{>.	2 を手に取る、指で指す
486	302	話者 B05	<あっそっか、そうだそうだ>>{>}そうだそうだ、そういうわけだ=.	12 を戻す
487	303	話者 B05	=ま、大丈夫、えっと、じゃ、これでやっぱ無理で、ってゆってたら::, こいつらが“何してんの”ってきて::, 《沈黙 1. 14 秒》“じゃ一緒に取ろうか”となって::, おめ<でとう::>>{>.	12、7、1、4 を指す
488	304	話者 A05	<めでたし>>{>}めでたし.	
489	305	話者 B05	はい、オッケー.	8、5、3、11、10、6、9、2、12、7、1、4
490	306	話者 B05	いいですか[↓]?[話者 C05 の顔を覗き込む].	
491	307	話者 B05	異論..異論ないですか[↓]?<笑い>.	
492	308	話者 C05	大丈夫ですよ.	
493	309	話者 C05	多分こんな感じですよ<笑い>.	

6. JF06

話者性別: 女

会話時間: 15.23 分

ライン 番号	発話文 番号	話者	発 話 内 容	備考
1	1	話者 C11	ストーリーに並べるということです<よね>{<}.}	
2	2	話者 A11	<は::い>{>}.}	
3	3	話者 B11	はい.	
4	4-1	話者 C11	ちょっと,<そっち>{<},,	立ち上がって座る
5	5	話者 A11	<ん::>{>}.}	
6	4-2	話者 C11	側行きたい<けど>{<}.}	
7	6	話者 A11	<なんか,>{>}<遠いですよね, ちょっと>{<}.}	
8	7	話者 C11	<じゃ::, ちょっと..ちょっと行ってもいいで>{>}すか[↑]?<笑い>.	椅子を動かして、話者 A11 の近くに座る
9	8	話者 A11	こう, あれっ[手で両脇を寄せる動きをする].	荷物を動かす
10	9	話者 B11	よいしょ[独り言].	荷物を動かす
11	10	話者 A11	ちょっと遠いですよ<笑い>.	
12	11	話者 C11	そうですね.	
13	12	話者 A11	[呟く]私の方に.	
14	13	話者 B11	あっ, そっか, 椅子をもって.	たちあがって、椅子を話者 A11 の近くに動かす
15	14	話者 A11	ん::.	
16	15	話者 C11	ふ::ん[↑]<笑い>.	
17	16	話者 C11	どういうやり方がいいんですかね?.	
18	17	話者 C11	最初と最後, まず見つけ<笑いながら>ますか[↑]?.	
19	18	話者 B11	<そうですね>{<}.}	
20	19	話者 A11	<最初と最>{>}後[小さい声で].	
21			《沈黙 1.29 秒》	
22	20-1	話者 A11	登場人物の数,,	カードの上で手を動かす
23	21	話者 C11	あ::, それもそう<ですね>{<}.}	
24	20-2	話者 A11	<流れ>{>}で行けそう=.	
25	22-1	話者 A11	=最初ひとり::1 人<でこもってる>{<},,	カードの上で手を動かす
26	23	話者 B11	<うんうんうん>{>}.}	
27	22-2	話者 A11	<つていうのが多い>{<},,	2 を指す
28	24	話者 C11	<うんう::んう::ん, 確かに>{>}.}	
29	22-3	話者 A11	気がするんで, なんか<笑い>.	12、9 を指す
30	25	話者 C11	最初の方ですよ<きつと, 1 人の>{>}.}	
31	26	話者 A11	<どっちがさっきなんだろう?>{>}, りんごを取るの<笑い>[話者 B11 を見る].	
32	27	話者 B11	へ::, りんご取るのは, り::んご::=.	
33	28	話者 C11	=確かに<笑いながら><へ::[↑]>{>}.}	
34	29	話者 A11	<ん::>{>}[↑].	
35	30	話者 C11	岩かな[↑]?.	
36	31	話者 C11	あっ, でも, へ::,<りんごかな[↑]>{>}.}	
37	32	話者 A11	<難>{>}し::い<笑い>.	
38	33-1	話者 C11	最後はこ..これ::[カード 4],,	
39	34	話者 B11	最後は多分<それですね>{<}.}	うなずく
40	33-2	話者 C11	<っほいですよ>{>}.}	4 を指す
41	35	話者 A11	これ<じゃ::>{<}[カード 4 を動かす].	4 を取る
42	36-1	話者 C11	<これで>{>}めでたしめでたし<みたいな感じが終わり>{<},,	
43	37	話者 A11	<めでたしめでたし>{>}[↑].	4 を動かす
44	36-2	話者 C11	で::.	カードの上に掌をかざす
45	38	話者 C11	じゃ, 最初困ってればいいんですかね?.	
46	39	話者 A11	最初は<やっぱり>{<} [[.	
47	40	話者 C11]] <1 人>{>}で困ってる[↑]?[目でカードを探す].	
48	41	話者 B11	なんか, ここ[カード 2]とぼとぼ歩いてる感じなんですけど.	2 を指す
49	42	話者 C11	あっ, 確かに.	
50	43-1	話者 A11	これはでも, なんか, こう“1 人で困ったな::”って,<出会う予感>{<},,	
51	44	話者 B11	<あ::, なるほど>{>}[↑].	
52	43-2	話者 A11	<笑いながら>かもしれ<ない>{<}.}	2 を手で指す
53	45	話者 C11	<あ::>{>}.}	少し体を起こす

54	46	話者 B11	あっ、でもこれ[カード 2]で::こうか[1] [カード 7]?	2 と 7 を指す
55	47-1	話者 C11	でも<わりと最初の>><{>,,	
56	48	話者 A11	<ここ岩がある>><{>.	3、7 を取る
57	47-2	話者 C11	ほう<みたいですよ>><{>.	2 を指す
58	49-1	話者 A11	<ちょっと岩と岩>><{>, 岩だけ<まとめて>><{>,,	カードを動かす
59	50	話者 C11	<あっ、じゃ岩>><{><笑い>.	
60	49-2	話者 A11	みま<しょう>><{>.	
61	51	話者 B11	<じゃ>><{>, <りんご>::><{>.	カードを動かす
62	52-1	話者 C11	<1 人で>><{>頑張ってる,,	カードを手に取る
63		話者 A11	<笑い>	
64	52-2	話者 C11	岩もあります.	カードを机に置く
65	53	話者 A11	<りんご>><{>.	カードを動かす
66	54	話者 B11	<りんご>><{>.	カードを動かす
67	55	話者 A11	りんごも一緒.	カードを動かす
68	56	話者 C11	これもりんごです<ね>><{>.	カードを動かす
69	57	話者 A11	<これ[カード 10]>><{>でも独り占めし::てますよ<笑い>.	10 を手にとって、話者 C11 に見せる
70	58	話者 C11	あ::<笑い>.	6 を取る
71	59	話者 B11	ほんと‘本当’だ.	
72		話者 A11	<笑い>	
73	60	話者 C11	[カード 6 を指差しながら]怒られ<てる>><{>.	6 を指す
74	61	話者 A11	<ね>><{>.	カードを動かす
75	62	話者 C11	ってか、嫌な感じに<なってます>><{>.	
76	63	話者 A11	<あ..悪役>><{>になってる<笑い>.	カードを動かす
77		話者 C11	<笑い>	
78		話者 B11	<笑い>	
79	64-1	話者 A11	ね::,<陰悪>><{>,,	
80	65	話者 C11	<かわいい>><{>.	
81	64-2	話者 A11	な、またいい、<仲直って..そう>><{>.	4 を指す
82	66	話者 C11	<最後はいい感じ..>><{>になって.	
83			《沈黙 1.71 秒》	
84	67	話者 A11	あっ= [1].	1 を取る
85	68	話者 C11	[1] =りんご<に、あっ>><{> [1].	
86	69-1	話者 B11	[1] <あ、でも>><{>それ: : からの..最後の、<あの、みなさん>><{>,,	1 を指す
87	70	話者 C11	<ですよ>><{>.	うなずきながら 4 を指す
88	69-2	話者 B11	仲良く<なつて>><{>.	4 を指す
89	71	話者 C11	<そうです>><{><ね、確かに>><{>.	うなずきながら 4 を指す
90	72	話者 A11	<でも、取る時>><{>, 1 人しっ..2 人しかいない.. <lt;から>><{>.< td=""><td>4 を指す</td></lt;から>><{>.<>	4 を指す
91	73	話者 B11	<ふん>><{>, あ、<それだつ>><{> [1].	
92	74	話者 C11	[1] <このちつ>><{>ちやい子 2 人っていうのも<ありますね>><{>.	5 を指す
93	75	話者 A11	<さっき 2 人で>><{>頑張ってる<ところ>><{>[横にカードを並べる].	8 を動かす
94	76	話者 C11	<あれ[1],>><{>大きいのどこ<笑いながら>行つたんだ[1]?	
95			《沈黙 1.11 秒》	
96	77-1	話者 A11	ん::,<へ::>><{>,,	カードを動かす
97	78	話者 B11	<何だろう?>><{>.	
98	77-2	話者 A11	<分からない>><{>.	
99	79	話者 C11	<後から来>><{>たんですかね?=.	10 を指す
100	80	話者 C11	=この子が::先に 1 人で::りんご取つて<て::, 食べてて::, “あ::いいな::”みたいな>><{>.	10 を指す
101	81-1	話者 A11	<“あっ、いいな::”ってて::, りんご取ろうとして::>><{>,,	5 を指す
102	82	話者 B11	う::ん.	
103			《沈黙 1.44 秒》	
104	83	話者 C11	かな::[1]?	
105	81-2	話者 A11	取れないから、助けてあげた::<笑い>.	8、5 の後に 1 を置く
106	84	話者 C11	あ::, ありそうですね.	
107		話者 A11	<笑い>	
108	85	話者 C11	そうしたら、こうなったみたいな[カード 4].	4 を動かす
109	86	話者 A11	岩何だろう?[話者 B11 を見る]<笑い>.	机の上で手を動かす
110	87	話者 B11	岩がね::, 岩が何<なんだろう?>><{>.	
111	88	話者 C11	<岩と>><{>従順くなりますもん<ね::>><{>.	
112	89	話者 A11	<う::ん>><{>.	
113	90	話者 B11	これこう<だよ>><{>.	9、11 並べる
114	91	話者 A11	<取れ>><{>ない::, 落ちてた, “やった::”.	9、11 を整える
115	92	話者 C11	へ::, なんだ?[カード全体を見ている].	
116	93	話者 A11	これ[カード 10]と=.	9、11 の後に 10 を置く
117	94	話者 B11	=で、食べてる::<笑い>.	2 を取る
118			《沈黙 1.00 秒》	
119	95-1	話者 B11	あっ、あっ、こう“お腹<すい>>><{>,,	2 を二人に見せる

184	144	話者 C11	あ::.	
185	141-4	話者 A11	駄目<で::落ち><{>,,	
186	145	話者 B11	<あっ, 違ってた>>[間違ってカードを動かしたことに気付く].	
187	141-5	話者 A11	てて::[↑]?	12 を動かす
188	146-1	話者 B11	落ちてきて::,,	カードを整える
189		話者 A11	<笑い>	
190	146-2	話者 B11	で::, これ<を><{>,,	
191	147-1	話者 C11	<あっ>>{>,,	5 を指す
192	146-3	話者 B11	見て<羨ま>>{>,,	
193	147-2	話者 C11	<へ>{>[↑].	
194	146-4	話者 B11	しくなって::, 取ろうとして, 2 人でやろうとしたけど, 無理で::,,	3 を指す
195	148	話者 C11	う::ん.	
196	149	話者 A11	で, 手伝って<あげる [↑]?><{><笑い>.	3 を取る, 7 を指す
197	146-5	話者 B11	<そうしたら::>>{>,,	
198		話者 C11	<笑い>	
199	146-6	話者 B11	なんか, “あれ?...上に乗ったら高くなるんじゃない[↑]?”みたいな 感じで::<笑い>.	1 を指す
200		話者 C11	<笑い>	横に傾く
201	150	話者 A11	これ::[カード 3,7] こうで::.	3, 7 を 1, 4 の近くに 置く
202	151	話者 B11	でも, これが何[↑]?[カード 6]<笑い>.	6 を指す
203		話者 C11	<笑い>	
204		話者 A11	<笑い>	
205	152	話者 A11	どこで<険悪に[↑]?><{>.	両手でカードを押さえる
206	153	話者 C11	<それが..>{>どこで[↑]?	6 を指す
207		話者 A11	<笑い>	カードを触る
208	154	話者 C11	でもこれ::って 2 人が仲悪くて, そこにたまたま来ちゃった大きい 子みたいな感じ<ですかね::>>{>.	
209	155	話者 A11	<あ::>>{>.	
210	156	話者 B11	<あっ, そっち>>{>::ですかね?.	
211	157-1	話者 A11	喧嘩してっ..<>たら::て..手>>{>,,	
212	158	話者 C11	<だとしたら::>>{>.	
213	157-2	話者 A11	伝ってくれた.	6, 1 を指す
214	159-1	話者 C11	みたいな=,,	うなずく
215	160	話者 A11	=は::=.	
216	161	話者 B11	=あ::, なるほど=.	
217	159-2	話者 C11	=感じか<な::と>>{>.	
218	162	話者 A11	<でもそうしたら>>{>, なんか, 岩..岩と<笑い>.	6 を指す
219	163	話者 C11	そうしたらでもこの[カード 5]後に喧嘩になると, ちょっと変で すよね.	5 を指す
220	164	話者 B11	[低い声で]う::ん.	
221	165	話者 A11	う::ん.	
222	166	話者 C11	へ::[↑].	
223	167	話者 A11	“あ, どうしよね::”, “困ってるの[↑]?”って.	6 を指す
224	168	話者 C11	あ::, 確かに, えっ[↑], じゃ, これ..[カード 5]があって::, “じゃ, 岩運ぼうよ”ってなって::.	5, 3 を指す
225	169-1	話者 C11	でもその中で<険悪に>>{>,,	
226	170	話者 A11	<いわ::[↑]岩>>{>.	
227	169-2	話者 C11	なんないです<よね>>{>.	3 を指す
228	171	話者 B11	<ん::>>{>, ってか, なんか, 岩がこちら辺にあってほしいです< よね>>{>.	3 の端を指す
229	172	話者 C11	<あっ>>{>てほしいですね<笑い>.	
230		話者 B11	<笑い>	
231		話者 A11	<笑い>	
232	173-1	話者 A11	岩が消え<ちゃうっていうのが>>{>,,	カードを触る
233	174	話者 C11	<<笑いながら>>確かに>>{>.	
234	173-2	話者 A11	一番難しい<笑い>.	
235	175	話者 B11	う::ん.	
236	176	話者 C11	う::ん.	うなずく
237			《沈黙 1.29 秒》	
238	177	話者 C11	なんでなくなっちゃっ<たんだろ?>>{>.	カードに手を乗せる
239	178	話者 A11	<え::んと>>{>[小さい声で], ん::.	
240	179	話者 C11	でもやっぱ..最後が::結局自分のほうが岩より背が高かったから, こうなったということでもん<ね::[↑]><{>.	1 を指す
241	180	話者 B11	<うんうん>>{>うん.	
242	181	話者 A11	う::ん, やっぱ助けてあげてるだよ.	7 に手を乗せる
243	182	話者 B11	う::ん.	うなずく
244	183	話者 A11	1 人の時は駄目で::, 《沈黙 1.87 秒》[小さい声で]羨ましくなっ て.	12, 10 を指す
245	184	話者 C11	へ::, じゃ, これは..2 人で運んで::, 乗ってっ::, そうしたら通	3, 7 を指す

			りすがって::.	
246	185	話者 C11	でも、これ[カード 6]はおかしいですよ<笑い>.	6 を動かす
247		話者 A11	<笑い>	
248		話者 B11	<笑い>	
249	186	話者 C11	どこで<間違っみたい>な><{\}.	
250	187	話者 B11	<その 1 枚がどこ><{\}>に<笑い>.	
251	188	話者 C11	<笑い>これ::[カード 6]どこなんですかね?.	
252	189	話者 A11	ん.	
253	190	話者 C11	何だろう?, 別に仲悪くなるきっかけがないですよ.	
254	191	話者 B11	う::ん.	
255	192	話者 A11	ん::.	
256	193	話者 C11	仲悪いんじゃないのかな[{}], これ.	首を傾げる
257			《沈黙 2.37 秒》	
258	194	話者 B11	何なんだろう?.	
259			《沈黙 2.26 秒》	
260	195-1	話者 C11	なんか、そう思うと,,	
261	196	話者 A11	あ::.	
262	195-2	話者 C11	いつりんごを食べちゃっ..食べ切っちゃったんだよみたいなこと まで考えだして<笑い>,,	10 を指す
263		話者 A11	<笑い>	
264		話者 B11	<笑い>	
265	195-3	話者 C11	どこまで戻ればいいか分かんなくなりますね.	
266			《沈黙 0.82 秒》	
267	197	話者 C11	何だろう?.	
268	198-1	話者 A11	=ここで::[カード 6], なんか、岩を..<アドバイス><{\}.,	6 を指す
269	199	話者 C11	<う::ん><{\}.	
270	198-2	話者 A11	に乗ってった.	
271	200-1	話者 A11	えっと、ここ<で::[カード 5]><{\}.,	6 を取る
272	201	話者 C11	<あ::><{\}.	
273	200-2	話者 A11	“取れないね::”って話してたら::,,	6 を 5 の後に置く
274	202	話者 C11	岩<使ったら><{\}.	
275	200-3	話者 A11	<“岩こっちにあるよ::”><{\}>って言ってね::<笑い>.	机の上で手を動かす
276		話者 C11	<笑い>	
277	203	話者 B11	<笑いながら>何その、何その、なんか、回りくどい感じ::.	
278	204	話者 C11	確かに、しかも<自分のほうが背が高かった><{\}.	
279	205	話者 A11	<で::, 実際岩取りに行っただ::><{\}, “あっ、やっぱ::岩無理だ::” ってみたい<笑い>.	3 を 6 の後に置く
280	206	話者 B11	だって、これ[カード 12]1 人=.	12 を指す
281	207	話者 B11	=あっ、<そっか::><{\}.	
282	208	話者 A11	<手伝いに><{\}>来てくれた<笑い>.	7 を 3 の後に置く
283	209	話者 C11	<笑い>でもそれも..ありですよ.	
284	210	話者 B11	う::ん.	
285	211	話者 C11	え、本当に岩の仕舞いどころ<笑いながら>分かんない<ですね ><{\}.	
286	212-1	話者 A11	<本当に><{\}, 岩が,,	
287	213	話者 C11	何だろう?.	
288	212-2	話者 A11	自分 1 人で動かないって分かっているのに、進めるのも、なんか、< 変ですよ><{\}.	12、6 を指す
289	214	話者 B11	<ま::でも><{\}, “2 人でだったら、行けるんじゃないかな”みたい な.	
290	215	話者 C11	[うなずきながら]あっ.	うなずく
291	216	話者 A11	期待, 《沈黙 0.89 秒》ストーリー.	カードを手で押さえる
292	217	話者 B11	でもそれだったら、3 人で普通動かすよね<笑い>.	
293		話者 A11	<笑い>	
294	218-1	話者 C11	確かに::, えっ、じゃ、岩のが::, この 2 人が::, 運んでて::, “へ、な んか、だっ..重くて無理”みたいになったところで、あの..大きい 子運んであげ<た><{\}.,	3 を指す
295	219-1	話者 A11	<あっ><{\}.,	12 に触れる
296	218-2	話者 C11	みたい..設定はどうですか[{}].	
297	220	話者 B11	あ::, なるほど.	
298	219-2	話者 A11	手伝ってあげた[{}].	カードを動かす
299	221	話者 C11	手伝ってあげて::, 《沈黙 1.04 秒》 でも彼の::何になるか<笑い ながら>分からないんですけど::<笑い>.	3 を指す
300		話者 A11	<笑い>	
301		話者 B11	<笑い>	
302	222	話者 C11	でも岩 1 回消えんのちょっと変ですもんね::.	
303	223	話者 B11	う::ん.	うなずく
304	224	話者 A11	岩とりんごが、こう、結びついてない<感じが><{\}.	手を振る、3 見る
305	225	話者 B11	<うなずきながら>うんうんうん><{\}.	うなずく
306	226	話者 A11	難しい.	カードを見る
307			《沈黙 1.13 秒》	

308	227	話者 C11	ん::, 《沈黙 1.91 秒》何だろう?, この.	
309	228	話者 A11	う::ん, 《沈黙 0.84 秒》難しい.	
310			《沈黙 1.13 秒》	
311	229	話者 B11	へ::, どうなんだろう?, これは, ん::.	
312			《沈黙 2.19 秒》	
313	230	話者 C11	う::ん, 《沈黙 2.01 秒》[息を吸う音]<軽く笑い>何だ::[息を吸う音]<笑い>.	
314	231	話者 A11	へ::, 難し::い<笑い>.	カードを見る
315	232	話者 C11	難しい<ですね><{>.	
316	233	話者 A11	<まとまり><{>がつかない<笑い>.	カードを見る
317	234	話者 C11	本当ね::.	
318	235	話者 C11	へ::, どう<なるんだろう?><{>.	
319	236	話者 B11	<ふんふんふん><{>.	
320			《沈黙 1 秒》	
321	237	話者 C11	[小さい声で呟く]ん::, 運んで.	
322			《沈黙 2.57 秒》	
323	238	話者 B11	ん::.	
324	239	話者 C11	<岩::><{> II.	
325	240-1	話者 B11	II <それか::><{>,,	
326	241	話者 C11	うん.	
327	240-2	話者 B11	あ::, そっか::, でもストーリーでしょう.	
328	242	話者 B11	なんか, 1 枚 1 列に並べる必要はないのかなっていうか.	カードに沿って手を大きく動かす
329	243	話者 C11	うんうんうん.	うなずく
330	244-1	話者 B11	こ..これはこれでこうあって, そこの 2 人がここでこうあって::,,	9、12、11 を整える
331	245	話者 C11	あ::あ::, <こう, 同じ時間にこういうことが起きて::><{><笑い>.	手を平行にして横に動かす
332	244-2	話者 B11	<で, これ, あの::, 6 番で::, なんか><{>, 6 番で結びついて::,,	6 を指す
333	246	話者 C11	うん<うん><{>.	うなずく
334	247	話者 A11	<一緒に><{>なる.	6 を指す
335	244-3	話者 B11	7 で::こうこうこう, みたいな<感じで><{>,,	1、4 を指す
336	248	話者 C11	<お::><{>.	
337	244-4	話者 B11	ありっちゃありかな::って思ったんですけど.	
338	249-1	話者 A11	そっか::, 1 列じゃな<時間><{>,,	
339	250	話者 C11	<うん><{>.	
340	249-2	話者 A11	列じゃなくて,,	
341	251	話者 B11	うん.	
342	249-3	話者 A11	いいの<か><{>.	3 を自分の前に動かす
343	252	話者 C11	<うん><{>.	うなずく
344	253	話者 B11	でも, それだったら, この 10 番の行方がね, ちょっと困るね><{><笑い>.	10 を指す
345	254	話者 A11	<そうね><{><笑いながら>.	
346		話者 C11	<笑い>	うなずく
347	255	話者 A11	こうなって, <またこう<笑いながら>なって><{>.	空中で流れを描く
348	256	話者 B11	<そう, そうそう><{>そうそう.	
349	257	話者 C11	この大きい子の立ち位置が分からないんですよね::.	7 を指す
350		話者 B11	<笑い>	
351	258	話者 A11	分かんない<ですね::><{>.	3 を退ける
352	259	話者 C11	<食べてたり><{>してみたいな.	
353	260	話者 A11	何この顔[]?.	10 指で指す
354	261	話者 B11	<笑いながら>ね::.	
355		話者 C11	<笑い>	
356	262	話者 A11	ん::.	
357			《沈黙 1.11 秒》	
358	263	話者 C11	へっ, みよ..へ::, どうなんだろう?, 《沈黙 0.91》取ろう..1 番, そっちの人取ろうとしてるんですよね?, <りんごを><{>.	9 を指す
359	264-1	話者 B11	<これ取ろう><{>としてて, <この人なんか, “届かない”><{>,,	
360	265	話者 C11	<取ろうとしてて::[->><{> II.	
361	264-2	話者 B11	II “な::”って感じなんですよ.	9 を指す
362	266-1	話者 C11	あ::, じゃ, <やっぱ><{>,,	大きくうなずく
363	267	話者 A11	<ん::><{>.	
364	266-2	話者 C11	なんか, 足元に持って<行きそうな><{>,,	
365	268	話者 B11	<そうなんですよ><{>.	
366	266-3	話者 C11	<感じありますもんね::><{>.	
367	269	話者 B11	<“なんか何か持って行きたいな::”って><{>ことで, “これかな::”っていう.	12 を指す
368	270-1	話者 C11	なのに, “りんご落ちてんじゃん”みたいな<展開もちよっと><{>,,	11 を指す
369	271-1	話者 B11	<そうなんですよ><{>,,	11 を指す
370	270-2	話者 C11	なんか, 不自然ですね<笑い>.	うなずく
371	272	話者 C11	“あれ::” <みたいなの><{>.	
372	271-2	話者 B11	<何で落ちてん><{>だろうっていうの<が><{>.	

373	273	話者 A11	<う::ん><{>, <なんか><{> 【.	
374	274-1	話者 B11	】 <むしろ><{>, これ 1 回来た時に::<とばとば><{>,,	
375	275	話者 C11	<うん><{>.	うなずく
376	274-2	話者 B11	歩いてて、お腹空いて、これ落ちて、“もうちょっと欲しいな”で、 これが::[j][カード 9].	2、11 と並べなおす、9 を指す
377	276-1	話者 C11	あ::,<でも、そう、><{>,,	
378	277	話者 A11	<あ::><{>.	
379	276-2	話者 C11	そうじゃないですか[↑]?	9 を指す
380	278	話者 B11	そっちか[↑]?	
381	279	話者 B11	そっちでいいですかね?.	話者 C11 のほうにか がむ
382	280-1	話者 C11	<う::ん><{>,,	うなずく
383	281	話者 A11	<それ..いいかも><{>しれない.	手を合わせる
384	280-2	話者 C11	それ..その線で行ってみ<ますかね?><{>[話者 B11 を見る].	
385	282	話者 B11	<その線で><{>行きます[↑]?<笑い>.	
386		話者 C11	<笑い>	
387		話者 A11	<笑い>	
388	283-1	話者 A11	1 回こっち行って[カード 11], また<こっち来て[カード 12], こ う、ちょっと><{>,,	11、12 を指す
389	284	話者 C11	<もう 1 個欲しくなっ><{><ちゃって::[→]><{>.	
390	283-2	話者 A11	<不自然なので><{>,,	
391	285	話者 B11	<そう><{>, うんうん.	うなずく
392	283-3	話者 A11	欲しいけど::, 取れない[j].	9 を指す
393	286	話者 C11	あ、でも食べっ=.	10 を指す
394	287	話者 C11	=あ::, そっか::.	
395	288	話者 B11	でもそうしたらこう<食べたら::><{>.	10 を取る
396	289	話者 C11	<2 個目食べてる::><{>.	10 を指す
397	290	話者 A11	食べれちゃったら、駄目だよ.	10 を指す
398	291	話者 B11	<そうなの><{>.	
399	292	話者 C11	<“1 個目><{>食べちゃってもいいですよ”みたいな.	
400		話者 A11	<笑い>	
401	293	話者 C11	<ん><{>[↑].	
402	294	話者 A11	<あ::難><{>しい難しい、ん::.	机の上で手を動かす
403	295	話者 B11	ん::.	
404			《沈黙 1.44 秒》	
405	296-1	話者 C11	その平行のやつだったら、ちょっと、なんか、またできそうじゃ ないですか[↑]?.<この子たちで、また別><{>,,	8 を指す
406	297-1	話者 B11	<そうですね、これ[カード 10]がこうで::><{>,,	
407	296-2	話者 C11	<の物><{>,,	11 の後に 10 を置く カードを動かす
408	298	話者 A11	<うん><{>.	
409	296-3	話者 C11	語が、	
410	297-2	話者 B11	これ[カード 8, 5]がこうで::.	8、5 を動かす
411	299	話者 A11	“届かない”.	8、5 を動かす
412			《沈黙 2.33 秒》	
413	300	話者 B11	で、こう“届かない”がこっち<で::><{>.	9、12 を動かす
414	301	話者 C11	<届><{>かなくて::.	6、7 を動かす
415			《沈黙 1.73 秒》	
416	302	話者 A11	ん::<どこで触れ合う[↑]?><{>.	6 を動かす
417	303	話者 C11	<で、岩こうで、来るよね><{>.	
418	304	話者 B11	触れあ..触れ合うの、これ、あ..あの真さっき、石い..あ、何だろ う?, これ[カード 9]のさきじゃない[↑]?	9 を指す
419	305	話者 A11	あっ、これのさきか[j].	9、6 と並べる
420	306	話者 C11	<笑い>触れ合い<笑い>.	
421	307	話者 A11	<笑い>岩がすごい残る.	7、12、3 をまとめる
422		話者 C11	<笑い>	
423	308	話者 B11	岩がな::<笑い>.	
424	309-1	話者 C11	運んで::, へっ、最初この子たち運ん::<で::><{>,,	12、3 を指す
425	310	話者 B11	<あっ、この><{>子たちが<こう来るわけ[↑]?><{>.	3 を動かす
426	309-2	話者 C11	<手伝><{>って::.	12 を指す
427	311	話者 C11	あっ、違うか[j].	
428	312	話者 C11	えっ[↑], 乗ってるし..ね.	7 を取る
429	313	話者 A11	<ん::><{>.	
430	314	話者 C11	<なんで乗っ><{>ちゃった : :[j]?	
431	315	話者 A11	なんで岩消えちゃった[↑]?<笑い>.	6 を指す
432	316	話者 C11	あっ、“これ、運びたいんだけど”みたいな<感じ[↑]?><{>.	3 の後に 7 を置こうと する
433	317	話者 A11	<あっ><{>, 手を=.	話者 C11 から 7 を取 る
434	318	話者 C11	=<笑いながら>分かんない.	
435	319	話者 B11	手<笑い>.	3、7 に手を乗せる
436		話者 C11	<笑い>	

437	320	話者 A11	“僕の方が力持ちだ”<笑い>.	12を3、7の後に置く
438	321	話者 C11	で::, やってあげて::<笑い>.	手をたたく
439		話者 B11	<笑い>	前髪を触る
440	322	話者 A11	“だめだね::”<笑い>.	12、3、7の後に6を置く
441		話者 C11	<笑い>	
442		話者 B11	<笑い>	
443	323-1	話者 C11	でも、<そこからの><{>,,	1を指す
444	324	話者 A11	<唐突><{><笑い>.	1を指す
445	323-2	話者 C11	思いつきが分からないってゆ::.	
446	325	話者 A11	へ::[↑].	
447	326-1	話者 B11	それだっくら、むしろ><{>,,	
448	327	話者 C11	<うん><{>.	うなずく
449	326-2	話者 B11	これ[カード 7]を::,<6 番><{>,,	7を取る
450	328	話者 C11	<うん><{>.	
451	326-3	話者 B11	の後にして::,	
452	329	話者 C11	うんうん.	うなずく
453			《沈黙 1.06 秒》	
454	326-4	話者 B11	なんか、《沈黙 0.78 秒》解決策みたいな感じ[↓]=.	7を動かす、話者 A11が受け取って動かす
455	330	話者 B11	=“あ、<これ、乗ればいいんじゃない[↑]?”みたいにと><{>.	顔の近くに手を振る
456	331	話者 C11	<“こうすればいいんじゃないの[↑]?”><{>みたいにと.	うなずく
457	332	話者 A11	<あ、なんか><{> [↑].	7を指す
458	333	話者 B11] <でもそうしたら><{>, この 2 つが何、何だろう?[カード 3, 12].	3、12を指す
459	334	話者 B11	この 2 つの繋がりがよく<分からなくて::><{><笑い>.	
460	335	話者 A11	<そうなの><{><笑い>.	
461		話者 C11	<笑い>	
462	336	話者 C11	確かに、“運ばせてる間、2 人どこ行った[↓]?”<みたいな感がありますよね><{>.	12を指す
463	337	話者 B11	<そうなんですよ::, なんで 1 人で><{>やってんだろうってか..に<なるんじゃないですか[↓]?><{>.	12を指す
464	338	話者 C11	<確かに::><{>, う::ん.	うなずく
465	339-1	話者 A11	やっぱ、別々[↑][話者 B11 を見る],,	
466	340	話者 B11	う::ん.	
467	339-2	話者 A11	で起こってるの?.	
468	341	話者 C11	ん::.	
469			《沈黙 1.35 秒》	
470	342	話者 B11	<ん::><{>.	
471	343	話者 C11	<どうなんだろう?,><{> 《沈黙 2.15 秒》ん:: 《沈黙 1.73 秒》でも<最後は移せないし><{>.	4を指す
472	344-1	話者 B11	<むしろ、これ[カード 9]なんか><{>=.,	9を10の後に置く
473	345	話者 A11	=“なんか何かに気付いた感じ[↑]?”.	9を指す
474	344-2	話者 B11	この気付いて::, あっ、つてか、気付いたっていうか、なんか、“あ、届かないな”と思った<っていう><{>.,,	12に触れる、9を指す キャラクターの動きをまねる
475	346	話者 C11	<うんうん><{>.	うなずく
476	344-3	話者 B11	趣旨かなと<思ったんだけど><{>,,	
477	347	話者 A11	<うんうん><{>.	
478	344-4	話者 B11	どうなんだろう?.	
479	348	話者 C11	確かに、“身長足りない”<みたいになって::><{>.	
480	349	話者 B11	<うんうん, “若干足りない><{>な”ぐらいの.	
481	350	話者 C11	でも、本当若干::.	
482	351	話者 B11	ほんとに‘本当’若干ですよ.	手をあげる
483	352	話者 B11	ちょっと、<ちょっとジャンプすれば、取れそう><{>.	カードを動かす
484	353-1	話者 C11	<で、そこから::ここにちょっと、なんか、行けそう><{>, “あ、じゃ、ちょっと手伝って”<笑いながら><{>みたいな,,	1を動かす
485		話者 A11	<笑い>	
486	353-2	話者 C11	行けなくもない感じになる《沈黙 1.91 秒》<へ::><{>.	
487	354	話者 A11	<最後><{>何[↑]?”.	4を見せる
488	355	話者 C11	でも最後このちっちゃい子 2 人が喜んでいて::, “良かったね”みたいな雰囲気ですよ.	うなずく
489	356	話者 B11	うんうん.	
490			《沈黙 1.02 秒》	
491	357	話者 A11	うん《沈黙 2.02 秒》ん::.	
492	358	話者 C11	何だろう?.	
493			《沈黙 1.15 秒》	
494	359	話者 A11	へ::, 岩::.	カードに手を乗せる
495	360	話者 B11	岩が<笑い>.	体を起こす
496	361-1	話者 C11	やっぱ雰囲気悪いとこに、なんか‘なにか’, この大きいのがして::, “よかったね”みたいな流れ..つばい,,	1を見せながら、6を指す

497	362-1	話者 A11	う::ん, やっぱ<####>{<},,	うなずく
498	361-2	話者 C11	<ですよ>{>},	
499	362-2	話者 A11	ま<とまる>{<},,	うなずく
500	363	話者 C11	<うんうん>{>},	
501	362-3	話者 A11	<みたいな>{<},	うなずく
502	364	話者 B11	<う::ん>{>},	
503	365	話者 C11	じゃ, やっぱ<最後の>{<} II.	カードを触る
504	366	話者 A11	II <喧嘩の>{>}原因はやっぱ届かないこと?.	うなずく
505	367-1	話者 B11	う::ん,,	うなずく
506	368	話者 C11	[息を吸う音]<笑い>, 確かに.	カードを触る
507	367-2	話者 B11	届かない..ことか, そうだよ, 届かない.	
508	369	話者 C11	うん.	
509	370	話者 A11	こまっ..困ってる..顔[↑]?.	6を指す
510	371	話者 C11	ちょっと, なんか, 不安な空気ですもんね.	
511	372	話者 A11	<う::ん>{<},	
512	373	話者 C11	<でもそう>{>}したら不安..になる前は普通の顔してた方が良かったのかなみたいな《沈黙 1.20 秒》悩む<ですけど>{<},	7を持ちあげて、見せる
513	374	話者 A11	<悩む>{>}な.	
514	375	話者 A11	岩が分からな::い.	
515	376	話者 B11	<岩がな>{<} II.	
516	377	話者 C11	II<岩が>{>}なんで消えて, ここで[カード 6]不機嫌なのかが分からないですよ.	
517		話者 A11	<笑い>	
518		話者 B11	<笑い>	
519	378	話者 C11	えっ, これだったら, 変ですかね?.	7、6と並べる
520	379	話者 A11	あれだと::[横に首を振る].	
521			《沈黙 1.24 秒》	
522	380	話者 C11	いや, 謎ですよ.	
523	381	話者 A11	謎ですよ.	
524	382	話者 A11	“なんで岩運んでんだ”ってなるし[話者 B11を見る]=.	
525	383	話者 B11	=ね.	うなずく
526	384	話者 C11	うんうん.	
527	385	話者 A11	ん::[↑].	
528			《沈黙 1.90 秒》	
529	386	話者 B11	へ::, 難しいな::.	
530	387	話者 C11	岩どけてるわけじゃないですもんね.	
531	388-1	話者 C11	やっぱ運ん..持って行き..<てる線です>{<},,	うなずく
532	389	話者 B11	<う::ん>{>},	うなずく
533	388-2	話者 C11	よね::.	うなずく
534	390	話者 B11	う::ん.	
535	391	話者 A11	うん.	12を取る
536			《沈黙 4.39 秒》	
537	392	話者 A11	分からないな::[話者 C11のほうを向く]=.	話者 C11の方を向く
538	393	話者 C11	=分からない<笑い>.	
539		話者 A11	<笑い>	
540	394	話者 B11	なんか, そういえば, 15 分って言われて, 何分に始めたか, あたし<忘れたんですけど>{<},	時計を見る
541	395	話者 A11	<あ::, わたしも分からな>{>}::い.	
542		話者 B11	<笑い>	口を手で覆う
543	396-1	話者 C11	でも, だいたい,,	
544	397	話者 A11	まとまらない.	
545	396-2	話者 C11	10, 15 分くらいに始まりました.	
546	398-1	話者 C11	今何<分ですか>{<},,	
547	399	話者 B11	<15 分>{>},	
548	398-2	話者 C11	すいません.	
549	400	話者 B11	今 30 分過ぎていますよ.	
550	401	話者 C11	う<お::>{<},	
551	402	話者 B11	<うお::>{>}<笑い>.	
552		話者 C11	<笑い>	
553		話者 A11	<笑い>	
554	403	話者 B11	<笑いながら>うお::.	
555	404	話者 C11	<笑いながら><これは::>{<},	
556	405	話者 A11	<1 つの 1 つ>{>}の結論を出そう<笑い>.	机の上で手で円を描くように手を振る
557		話者 B11	<笑い>	
558		話者 C11	<笑い>	
559	406	話者 C11	[息を吸う音]そうですね, アイディアを.	
560	407	話者 A11	アイディアを.	12を取る
561	408	話者 B11	あ::, どうしょう?.	
562	409-1	話者 C11	多少不自然ですけど,,	
563	410	話者 A11	うん.	

564	409-2	話者 C11	でも、じゃ、この2本線で行きますか[↑]?	両手で方向を示す、カードを触る
565			《沈黙 1.29 秒》	
566	411	話者 B11	そうなんですよ、そこもどうしようかな[↓]?=.	うなずく
567	412	話者 C11	=ですよ、.	
568	413	話者 C11	でも、確かに、1本にしろとは言われてはいないので.	
569			《沈黙 1.74 秒》	
570	414-1	話者 B11	ん、とりあえずストーリーでできてれば<いいと思う>[<],,	人差し指で大きく円を描くように、机の上で手を動かす
571	415	話者 C11	<う::ん>[>].	
572	414-2	話者 B11	ので.	
573	416	話者 C11	そうですね.	うなずく
574	417	話者 A11	うんうんうん.	
575			《沈黙 1.97 秒》	
576	418-1	話者 B11	<どうでしょう>[<],,	
577	419	話者 C11	<悩む>[>]<笑い>.	
578	418-2	話者 B11	この<岩の行方は>[<].	
579	420	話者 C11	<最後のこの>[>]岩ら辺が悩みますよね、へ::.	カードの上に両手をかざす
580			《沈黙 1.28 秒》	
581	421	話者 A11	ん::[↑], 《沈黙 1.08 秒》へ::, これと[カード 6]これが[カード 7], なんか,<笑い>どっちなでいいよって<笑い>.	6、7を指す
582	422-1	話者 B11	う::ん、でも思ったんだけど、<これに::[カード 2]>[<],,	2を見せる
583	423	話者 A11	<確かに>[>][小さい声で].	
584	422-2	話者 B11	若干の小石が映ってるって<ところが::>[<],,	
585	424	話者 C11	<は::>[>][↑].	
586	422-3	話者 B11	ちょっと::<ポイント>[<],,	
587	425	話者 C11	<は::>[>]<笑い>.	
588	422-4	話者 B11	かな<笑いながら>と<思っって::>[<].	
589	426	話者 C11	<本当だろうど>[>]<笑い>.	
590	427-1	話者 B11	これ[カード 2]が始まりじゃなくて、これがここ<ら>[<],,	2を9の後に置こうとする
591	428-1	話者 A11	<あっ>[>],,	2を受け取る
592	427-2	話者 B11	辺[カード 9の後]にあって::.	
593	428-2	話者 A11	“大きい石見つけた::”みたいな.	9の後に2を置く、12を取る
594	429-1	話者 B11	“大きい石見つめ..見つけ<た>か>[<],,	2を指す
595	430	話者 C11	<あ::>[>].	
596	429-2	話者 B11	これ[カード 12]を::動かそうとして、動かなくて::, “どうしようかな?”ってたら::.,	12を指す
597	431	話者 C11	うんうん.	
598	429-3	話者 B11	出合った的な=.	6を指す
599	432	話者 B11	=でもそれもちよっとな::.	
600	433	話者 C11	あ、でも、岩があったんですね::.	
601	434	話者 B11	<う::ん>[<].	うなずく
602	435	話者 C11	<気付>[>]か<なかった>[<].	
603	436	話者 B11	<若干>[>]小石的な<笑い>.	2を指す
604	437	話者 C11	う::ん、で、ちょっと岩..来そうですね[↑], おっきい‘大きい’やつが.	うなずく
605	438	話者 B11	う::ん.	うなずく
606			《沈黙 2.10 秒》	
607	439	話者 A11	<ん::>[<].	
608	440	話者 C11	<“邪魔だな::”>[>]みたいな 《沈黙 1 秒》へ::.	
609			《沈黙 3.77 秒》	
610	441	話者 B11	ん::.	
611			《沈黙 2.26 秒》	
612	442-1	話者 A11	難しい<笑い>.,	カードを触る
613	443	話者 B11	難しい.	カードをずらす
614	442-2	話者 A11	難しい.	
615	444	話者 C11	<笑い>岩があった時は仲良かったけど、岩な::い時に仲悪いですよ、ね.	7、6を指す
616			《沈黙 1.37 秒》	
617	445	話者 A11	ん::.	
618			《沈黙 3.10 秒》	
619	446	話者 C11	へ::.	
620	447	話者 A11	“手伝ってくれない[↑]?”って頼むんですか[↓]?	6を指す
621	448	話者 B11	あ::, なるほど.	
622			《沈黙 0.77 秒》	
623	449	話者 C11	あ::, で、運んで..くれて::.	
624	450	話者 C11	<笑い>へ、でも自分手伝ってない<笑い>.	3を指す

625		話者 A11	<笑い>	
626		話者 B11	<笑い>	
627	451-1	話者 A11	本当ここ[カード 3]2人でしてるのに<笑い>,,	3を指す
628	452	話者 C11	2人でして<笑い>.	
629	451-2	話者 A11	不自然です,<そうしたら><{\}.	
630	453-1	話者 C11	<確かに><{\}, 2人でやってて、この子手伝うなら、まだ納得<な んですけど><{\},,	3、12を指す
631	454	話者 B11	<うんうん><{\}.	うなずく
632	453-2	話者 C11	ね::.	
633	455	話者 A11	うん.	うなずく
634			《沈黙 0.86 秒》	
635	456	話者 C11	う::ん《沈黙 4.92 秒》 この間[カード 12,1]のひらめきも..分かん ないですね.	12、1を指す
636	457	話者 A11	う::ん《沈黙 1.35 秒》なんか、《沈黙 0.75 秒》やっぱこれ乗って みたら、“岩より自分の方が高かった::”<みたい><{\}.	7を取る
637	458-1	話者 C11	<う::んう::ん><{\},,	うなずく
638	459	話者 A11	<こう><{\}.	7を1の前に置く
639	458-2	話者 C11	<あり><{\}そうですよね、これ::,,	
640		話者 A11	<笑い>	
641	458-3	話者 C11	これ::ありそうですよ<ね><{\}.	7を指す
642	460	話者 B11	<こ><{\}これからどう肩車ってか、<乗せれるん><{\}.	肩車で乗せるように手 を動かす
643	461	話者 C11	<う::ん><{\}“じゃ::, 自分がやれば”みたいになって::<笑い>.	指でカードを指す、肩 車で乗せるように手を 動かす
644	462	話者 A11	そ..<そこで気付く><{\}.	7を指す
645	463	話者 C11	<その前><{\}が::<笑い>《沈黙 1.08 秒》<へ::><{\}.	
646	464	話者 A11	<ん::><{\}.	
647			《沈黙 4.14 秒》	
648	465	話者 B11	何<だろう?, 岩が><{\}.	
649	466	話者 A11	<ん::><{\}, [小さい声で]岩運んで::.	
650	467-1	話者 A11	あっ、ここ[↑][カード 12],,	12を取ろうとする
651	468	話者 B11	ん[↑].	
652	467-2	話者 A11	ここ[カード 10]で<笑いながら>そうしたら、ここで出会っちゃ うのおかしい<笑いながら>かもしれない=.	10を指す
653	469-1	話者 B11	=出会ってるっていうか、何だろう?, これがっ..<勝手に><{\},,	カードをずらす
654	470	話者 A11	<あ、見て><{\}.	
655	469-2	話者 B11	見てるだけで、こっちは気付いてないとかもありかなって、<ち よっと思って><{\}.	
656	471-1	話者 C11	<あ::, のんきに><{\},,	
657		話者 B11	<笑い>	
658	471-2	話者 C11	食べてるところを<見て::“あれ欲しいな”><{\},,	
659	472	話者 A11	<で::, 見たら><{\}.	
660	471-3	話者 C11	みたいな.	
661			《沈黙 0.73 秒》	
662	473	話者 B11	で、それだったら、“欲しいな”つつったら、分け与えればいいの に<笑い>,<1人で食べちゃったわけですから::><{\}.	10を指す
663	474	話者 A11	<あ::><{\}[うなずきながら].	うなずく
664	475	話者 C11	<あ::><{\}確かに.	うなずく
665	476-1	話者 C11	<へ、両方><{\},,	
666	477-1	話者 A11	<そしたっ><{\},,	6を取る
667	476-2	話者 C11	取れば、岩運ぼうとしてて,,	
668	477-2	話者 A11	そう<したら::><{\},,	
669	476-3	話者 C11	<同じこと><{\}してるみたいな[ノックの音]<展開><{\}.	
670	478	話者 B11	<うんうん><{\}.	
671	477-3	話者 A11	で、1回気付いて::.	6を7の前に置く
672	479	話者 C11	<笑い>これ<分からない><{\}.	手をたたく
673	480	話者 B11	<あっ、これでオッケー><{\}.	手を合わせる
674	481	話者 C11	これ<#####><{\}.	手を合わせる
675	482	話者 A11	<終わっ><{\}ちゃいました.	11、10、9、2、12、6、 7、1、4、8、5、3
676		話者 C11	<笑い>	
677		話者 B11	<笑い>	

7. JF07

話者性別: 女

会話時間: 6.03 分

ライン 番号	発話文 番号	話者	発 話 内 容	備考
1	1	話者 B12	[小さい声で]絵が良く見えない.	
2			《沈黙 2.23 秒》	
3	2	話者 B12	##.	
4			《沈黙 1.97 秒》	
5	3	話者 B12	へ, 《沈黙 0.90 秒》ん[↑]《沈黙 2.28 秒》え[↑].	
6		話者 C12	<笑い>	立ち上がる
7	4	話者 A12	見えま<すか[↓]><.>.	
8	5	話者 B12	<ってか><.>予想外に絵でかかったじゃない[↑]?	立ち上がる
9		話者 A12	<笑い>	立ち上がる
10	6	話者 B12	あ::, ん::.	
11			《沈黙 3.31 秒》	
12	7	話者 A12	ん::, う::ん.	
13			《沈黙 3.88 秒》	
14	8	話者 B12	ん, 最終的に, じゃ, りんごが取れるみたいな話になるってこと[↑]?	
15	9	話者 C12	多分そうだと<思います><.>.	
16	10	話者 B12	<う::ん><.>《沈黙 1.05 秒》へ::, 《沈黙 3.53 秒》ふ::ん.	
17		話者 A12	<軽く笑い>	
18	11	話者 B12	ん::, 分かんない, 最初に来るのどれだろう?.	
19	12	話者 A12	うん, これ::ハッピーエンド[↑]?[話者 B12 を見る].	4 を指す
20	13	話者 B12	っぼいね::.	
21			《沈黙 1.15 秒》	
22	14	話者 B12	じゃ, それが一番最後の..かな[↑]?	
23	15	話者 C12	多分そうだと.	
24	16	話者 A12	うん.	
25	17	話者 B12	ん::, でも, なんか, この落ちてるのが取れたくだりと, でもあつちも[カード 1]と..取れてる《沈黙 2.16 秒》と思うと=.	11、1 指す
26	18	話者 B12	=あっ, でもこれ::も[カード 10]食べてる.	
27			《沈黙 1.23 秒》	
28		話者 C12	<笑い>	
29	19	話者 B12	ね, これ[カード 11]の次これ[カード 10]っぼくないですか[↓]?	11、10 と並べる
30	20	話者 C12	あ::, 確かに.	
31	21-1	話者 B12	なんか, 多分,,	
32	22	話者 A12	あ::, <で:::><.> [[.	
33	21-2	話者 B12]] <拾っ><.>て食べて, で, 誰かが見っ,,	
34	23-1	話者 A12	見<てて:::><.>,,	
35	21-3	話者 B12	<この 2 人><.>が=.	
36	23-2	話者 A12	=頑張っ..<た><.>.	5 を指す
37	24	話者 B12	<あっ><.>なるほど[↑].	
38	25	話者 A12	あっ, こっち[カード 6]かな[↓]?	6 を指す
39			《沈黙 2.05 秒》	
40	26	話者 B12	ん, これ..[カード 6]<笑いながら>分かんない=.	6 を指す
41	27	話者 B12	=何の<笑いながら><シーン[↓]><.>.	
42	28-1	話者 A12	<なんか><.>, これを[↑][カード 3],,	3 を指す
43	29	話者 B12	うん.	
44	28-2	話者 A12	なんか, 岩を<退けてる><.>.	
45	30	話者 B12	<動かす><.>だろうね.	
46	31	話者 A12	ん, <これ 2 つこっちしか><.> [[.	3、7 を指す
47	32	話者 B12]] <これ::からの><.>岩, でも両方岩[↑].	
48			《沈黙 0.80 秒》	
49	33	話者 C12	岩ここにも, 全部で<3 つ><.>.	7 を 3 の上に置く
50	34	話者 B12	<う::ん><.>, これも岩.	12 を 7 の前に動かす
51			《沈黙 4.00 秒》	
52	35	話者 B12	ん:: 《沈黙 2.61 秒》最初は, でも, これ[カード 9]取ろうとして::, 取れなくて::.	9 を指す
53	36	話者 A12	取れなくて::.	9 を動かす
54	37	話者 B12	で::, その歩いてるやつは[↑]?	2 を指す
55			《沈黙 1.34 秒》	
56	38	話者 B12	どこだ, “取れないな”っていう悩み?<軽く笑い>.	
57	39-1	話者 A12	“取れない<な::”って><.>,,	9、2 と並べる
58	40	話者 C12	<“な::”って><.>.	

59	39-2	話者 A12	言って岩を<取りに行った[↑]?><↓>.	3を指す
60	41	話者 B12	<で::, 岩を::><↓>12 番[↑]?.	12を指す
61	42	話者 A12	取りに来て::, 《沈黙 1.25 秒》<動かない><↓>.	12を2の後に置く
62	43	話者 B12	<で, 動かなく><↓>て::.	
63	44	話者 A12	動かなく.	7を3の上に置く取る
64			《沈黙 2.32 秒》	
65	45-1	話者 B12	分かん<ない, 何><↓>,,	
66	46	話者 A12	<ま..まだ><↓>.	
67	45-2	話者 B12	だろうね?.	
68		話者 C12	<軽く笑い>	
69	47	話者 B12	<へ::, 動かなくて><↓>.	
70	48	話者 A12	<動::かなくて::><↓>.	
71	49	話者 C12	<く て::><↓>.	
72			《沈黙 2.38 秒》	
73	50	話者 B12	へ:: 《沈黙 2.16 秒》これ::..は何[↓]? , 《沈黙 3.72 秒》ふん.	6を12の後に置く
74	51	話者 A12	“手伝って”みたいな[↑]?.	
75	52-1	話者 B12	“もう嫌なんだけど”みたいな,,	
76		話者 C12	<笑い>	
77		話者 A12	<笑い>	
78	52-2	話者 B12	顔[↑]?.	
79	53-1	話者 C12	なんか, 嫌が::ってます<よね><↓>,,	
80	54	話者 B12	<うん><↓>.	
81	53-2	話者 C12	これ.	
82			《沈黙 1.15 秒》	
83	55	話者 A12	で, “しょうがないな::”.	3を取る
84			《沈黙 0.82 秒》	
85	56	話者 A12	違うか.	3を戻す, 7を取る
86			《沈黙 5.63 秒》	
87	57	話者 B12	何だろうね?.	
88	58	話者 B12	えっ, この岩::, なんか, よく分かんないな.	7を指す
89	59	話者 A12	<う::ん><↓>.	
90	60	話者 B12	<岩に><↓>もともといたのかな[↓]?.	
91			《沈黙 2.26 秒》	
92	61	話者 B12	あっ, でもこれ::[カード 3]動かそうとして::, その後こいつが来て::, <みたいな流れ[↑]?><↓>.	3を指す
93	62	話者 A12	<小さい子が[↑]?><↓>.	
94	63-1	話者 B12	ううん, おっきい“大きい”ほうが::これ動かそうとした後に大きいほうが来て::,,	3, 7を指す
95	64	話者 A12	来て::.	3, 7と並べる
96	65	話者 C12	て::[カード 9を渡す].	9を渡す
97	66-1	話者 A12	[咳払い],,	
98	63-2	話者 B12	何<だろう?><↓>.	
99	66-2	話者 A12	<手伝><↓>ってあげっ...[話者 C12 からカード 9 を受け取って言う].	話者 C12 からカードを受け取る
100			《沈黙 4.23 秒》	
101	67	話者 B12	ん::.	
102	68	話者 A12	難しいですね.	
103	69	話者 B12	う::ん.	
104	70	話者 C12	<笑い>難しいぞ, これは.	
105			《沈黙 2.61 秒》	
106	71	話者 B12	へ::, どうしよう?.	
107			《沈黙 1.52 秒》	
108	72	話者 A12	分かるそこからやって<みる[↑]?><↓>.	
109	73	話者 B12	<う::ん><↓>.	
110	74-1	話者 B12	ま, これ::[カード 5]とりあえず取ろうとして, で, <取れないから><↓>,,	5を渡す
111	75	話者 A12	<取ろうとして><↓>て::.	5を受け取って置く
112	74-2	話者 B12	岩のどこ行って::.	
113			《沈黙 1.33 秒》	
114	76-1	話者 A12	あっ, この子たち<は先に岩を動かそう><↓>,,	3を5の後に置く
115	77	話者 B12	<うんうん, そうそう, 岩を><↓>.	
116	76-2	話者 A12	<とした[↑]?><↓>.	
117	78-1	話者 B12	<ん::, ど><↓>っちが先か分かんないんだけど, 動かそう<として動かなく><↓>,,	
118	79	話者 C12	<として::><↓>.	
119	78-2	話者 B12	くて::,,	
120	80	話者 A12	動かなくて::.	
121	78-3	話者 B12	で, そこにこいつ::, でっかいやつが多分来て::,,	3, 5の後に7を置く
122			《沈黙 1.97 秒》	
123	81	話者 A12	で::= [.	
124	78-4	話者 B12] =あっ, 来て, 相談のシーンに<笑いながら>してみたいな.	7の後に6を置く

125	82	話者 A12	あつ, <来て>{<}. <あ>:>{>}. 岩はないんだけど.	
126	83	話者 C12	《沈黙 1.91 秒》	
127	84	話者 B12	で::, 《沈黙 0.82 秒》ん, なんか, 若干嫌そうな顔してるのが気になる..けど.	6 を指す
128		話者 A12	<笑い>	
131		話者 B12	《沈黙 3.00 秒》	
132	86	話者 B12	ん::, バヒンとして::, 何だろう?, 《沈黙 1.42 秒》“じゃ::, 一緒に取ろうよ”みたいな.	
133	87	話者 A12	“一緒に取ろうよ”.	
134	88-1	話者 B12	<笑い>突然..一緒に“取<ろうよ”みたいになって>{<},,	6 の後に 1 を置く
135	89	話者 A12	<“取ろう”よってなって>:>{>}. 最後がハッピー<エンド>{<}. <ん, でも>:>{>}これは..[カード 1]この次[カード 9]くらいじゃない[↑]?.	1 の後に 4 を置く
136	88-2	話者 B12	《沈黙 1.11 秒》	9 を動かす
137	90	話者 A12	本当::[↑]?. 1 人じゃ取れないけど::, 一緒<なら>{<},,	
138		話者 B12	<うん>{>}. できたみたいな.	9 を戻す
139	91	話者 B12	あ::<あ>:>{>}. <あ, 本当に[↑]?>{>}. 私, さ.., あ::, 最初に取ろうとして::, “取れね::な, どうしようかな?”<みたいな悩みの>{<},,	
140	92-1	話者 A12	<こうやってやってた>{>},,	
141	93	話者 B12	シーンかと.	
142	92-2	話者 A12	ところに::.	
143	94	話者 C12	で, ま, 石::のとこ行くんだけど, “動かないな::”ってな..るとか.	9、2、12 を指す
144	95	話者 B12	《沈黙 4.17 秒》	
145	96-1	話者 B12	でも, なんか, こ..この::くだり[カード 10,11]は....	10、11 を指す
146		話者 C12	<笑い>こうすると, これ[カード 11,10]何だって感じですよ>{<}. <う::ん>{>}. 《沈黙 1.00 秒》	10、11 を指す
147	97-1	話者 A12	あつ, 食べてて, “いい<な::”と思って>{<},,	
148	96-2	話者 B12	<うん, “いいな::”って思って>{>}, <行ってみ>:>{>},,	11、10 を指す
149	97-2	話者 A12	<拾って>:>{>}. 行ってみ<て>{<}. <て>:>{>}. て::.	5 を指す
150	98	話者 B12	あ::, <そっか, じゃ>:>{>},,	
151	99	話者 B12	<あ>:>{>}. ここは[カード 11, 10]繋がっていいのかな[↓]?. じゃ, この最初の 4 枚くらいですかね?. あ, そうすると, これが[カード 8], 確か<食べ>{<},,	8 を 5 の前に置く
152	100	話者 C12	<うん>{>}. てていいなと思って, 行ってみて::, “じゃ::, <取ろうよ”ってなったけど, 取れない>{<},,	
153	101	話者 B12	<あつ, 取れないから, 2 人で>{>}. あつ, <あ::それでいいかも>{<}. <って, “あ::, じゃ::”>{>}. <あ>:>{>}, なるほど.	
154		話者 C12	《沈黙 1.62 秒》	
155	102-1	話者 A12	え, じゃ, これは[↑][カード 12]?. 石を動か..ん[↑]..石動かして..ん..たら, 落ちて来たの[↑]?[話者 B12 を見る].	12、11 を指す
156	103-1	話者 B12	どうしよう?, あつ, じゃ::, これ::[カード 12, 2]反対にして::, “取れね::”なってて, “石, 動かないな::, どうしようかな”って, もう一回戻って<みたら, 落ちて>{<},,	12、2、11 を指す
157	104	話者 C12	<あ>:>{>},,	
158	102-2	話者 A12	て::<軽く笑い>,, なるほど.	手を合わせる
159	103-2	話者 B12	で, “わ::い”って食べて::, で, 2 人も行ってみ<て>:>{>},,	10、8 を指す
160	105	話者 C12	<みて>:>{>},,	
161	106-1	話者 B12	<行って>{>}みて::.	
162	106-2	話者 B12	でも, 取れな<くって>:>{>},,	
163	108	話者 B12	<取れなく>{>}<て>:>{>}. <岩>{>}に行くんだけどとなつて::, で, 岩の<とこにこのでっかいのが>{<},,	3 を指す
164	109-1	話者 C12	<“これ, 動かないよ”って>{>}. <“これ, 動かないよ”って>{>}. 《沈黙 1.91 秒》	
165	109-2	話者 C12	で::, 《沈黙 0.82 秒》ん, なんか, 若干嫌そうな顔してるのが気になる..けど.	
166	110	話者 B12	<笑い>	
167	109-3	話者 C12	《沈黙 3.00 秒》	
168	111	話者 B12	ん::, バヒンとして::, 何だろう?, 《沈黙 1.42 秒》“じゃ::, 一緒に取ろうよ”みたいな.	
169	112	話者 B12	“一緒に取ろうよ”.	
170	113	話者 A12	<笑い>突然..一緒に“取<ろうよ”みたいになって>{<},,	
171	114	話者 A12	<“取ろう”よってなって>:>{>}. 最後がハッピー<エンド>{<}. <ん, でも>:>{>}これは..[カード 1]この次[カード 9]くらいじゃない[↑]?.	
172		話者 B12	《沈黙 1.11 秒》	
173	114	話者 B12	本当::[↑]?. 1 人じゃ取れないけど::, 一緒<なら>{<},,	
174	115	話者 B12	<うん>{>}. できたみたいな.	
175	116-1	話者 B12	あ::<あ>:>{>}. <あ, 本当に[↑]?>{>}. 私, さ.., あ::, 最初に取ろうとして::, “取れね::な, どうしようかな?”<みたいな悩みの>{<},,	
176	117-1	話者 C12	<こうやってやってた>{>},,	
177	116-2	話者 B12	シーンかと.	
178	117-2	話者 C12	ところに::.	
179	116-3	話者 B12	で, ま, 石::のとこ行くんだけど, “動かないな::”ってな..るとか.	
180	118-1	話者 C12	《沈黙 4.17 秒》	
181	119	話者 A12	でも, なんか, こ..この::くだり[カード 10,11]は....	
182	116-4	話者 B12	<笑い>こうすると, これ[カード 11,10]何だって感じですよ>{<}. <う::ん>{>}. 《沈黙 1.00 秒》	
183	118-2	話者 C12	あつ, 食べてて, “いい<な::”と思って>{<},,	
184	116-5	話者 B12	<うん, “いいな::”って思って>{>}, <行ってみ>:>{>},,	
185	120	話者 A12	<拾って>:>{>}. 行ってみ<て>{<}. <て>:>{>}. て::.	

186	116-6	話者 B12	もう一回来て::, 《沈黙 1.11 秒》“じゃ一緒にやってみようよ”みたいになって, なんか, 顔は嫌そう<笑いながら>なんだけど::,,	7、6を指す
187		話者 A12	<笑い>	
188		話者 C12	<笑い>	
189	116-7	話者 B12	で::, 取りに行ったら::, 取れた::,,	1、4を指す
190	121	話者 A12	取れた.	
191	122	話者 C12	あ::.	
192	116-8	話者 B12	ってなる.	9、12、2、11、10、8、5、3、7、6、1、4
193	123	話者 B12	今, 何, いつから始めた[↑]?	
194	124	話者 A12	<笑いながら>分かんない.	
195	125	話者 B12	でも, まだ 40 分だから, どうしよう?.	
196	126	話者 A12	15 分経ってない.	
197	127	話者 B12	うん.	
198			《沈黙 0.80 秒》	
199	128	話者 B12	この後それね[↑].	
200	129	話者 B12	これは最終的に「調査者名」さんにお話しするのかな[↓]?	
201	130	話者 A12	どうなんでしょうか[↓]?	カードを整える
202	131-1	話者 C12	<笑い><ぜん..全然>{<},,	
203	132	話者 B12	<できあがっちゃった>{>}.	カードを整える
204	131-2	話者 C12	聞かされてないので[↓].	
205	133	話者 B12	ふ::ん, 《沈黙 2.00 秒》でもできましたね.	
206	134	話者 C12	できましたね.	
207		話者 B12	<笑い>	

8. JF08

話者性別: 女

会話時間: 11.53 分

ライン番号	発話文番号	話者	発 話 内 容	備考
1	1-1	話者 C13	なんか, ストーリーを作るという<笑いながら>ことなので,,	
2	2	話者 A13	はい.	
3	1-2	話者 C13	まず, 一番最初のを決めないといけないですね.	
4			《沈黙 0.91 秒》	
5	3	話者 A13	[うなずく]うん.	
6	4	話者 C13	ふん.	
7	5	話者 B13	ふ::ん, これは《沈黙 0.81 秒》何だろう?.	
8			《沈黙 2.52 秒》	
9	6	話者 A13	どういう話か全然分からんないけど.	カードを見ながら机の真ん中の方に進む
10	7	話者 B13	へ::.	
11		話者 A13	<笑い>	
12	8	話者 B13	<笑い>ん::.	
13			《沈黙 1.62 秒》	
14	9	話者 A13	りっ..生って, <なんか>{<} [[.	
15	10	話者 C13]] <とりあえず>{>}この辺は[カード 5,11]りんご関<係ですね>{<}. <りんご>{>}<関係で, これ[カード 4]>{<},,	5、11を指す
16	11-1	話者 A13	<まとめましょっか>{>}. <最後なんで::>{<}. <あっ, りんご[↑]>{>}. <そうですね>{>}. じゃ, これ[カード 1,8]りんごでまとめますか?.	11を取る
17	12	話者 C13	うんうんうん.	
18	11-2	話者 A13	《沈黙 1.16 秒》	
19	13	話者 B13	りんごで::, 次<に>{<} [[.	
20	14	話者 C13]] <これ[カード 7]>{>}は[↑]?	7を取る
21	15	話者 B13	岩.	
22	16	話者 A13	<同じ>{<}[カード 12 を渡す].	12を渡す
23	17	話者 C13	<岩[↑]>{>}. <笑い>	
24	18	話者 B13	岩..と, じゃ, 岩とりん<ごで[↓]>{<}. <これ::>{>} これもりんごだ[カード 10 を動かす].	カードをまとめる
25	19	話者 A13		
26	20	話者 C13		
27	21	話者 B13		
28	22	話者 A13		
29	23	話者 C13		

32	24-1	話者 A13	これもりんご,,	
33	25	話者 B13	これは<岩[↑]?[カード 2]><{>.	2 を取る
34	24-2	話者 A13	<ですか[↑]?><{>.	
35			《沈黙 0.97 秒》	
36	26	話者 C13	<笑いながら>それ何でしょうね[↑]?	手で口を覆う
37		話者 A13	<軽く笑い>	
38		話者 B13	<笑い>	
39	27-1	話者 C13	あつ, このつ,,	
40	28	話者 A13	<歩い><{> [[.	
41	27-2	話者 C13]] <2><{>, 2 匹じゃないですか?, な..何でしょう?=.	3 を指す
42	29	話者 C13	=あ, でも, <笑いながら><2 人が><{> [[.	
43	30	話者 A13]] <えっ><{>, でも::, これ, なんか, 歩いてて:: 《沈黙 1.58 秒》 <あ::んと><{> [[.	2 を指す, 12 を取る
44	31	話者 B13]] <ん::, この子><{>が持ち上げよう::としつ, あ::.	12 を指す
45	32	話者 A13	この子が持ち上げようとして[↑].	2, 12 と並べる
46			《沈黙 1.19 秒》	
47	33	話者 B13	15 分計った方がいいのかな[↑]?, これって, <そう言えば><{>.	時計を見る
48	34	話者 A13	<確かに><{>やってないね.	時計を見る
49	35	話者 B13	35 分くらいからかな[↑]?	時計を見る
50	36	話者 A13	あ, うんうん.	時計を見る
51	37	話者 C13	そうですね, 50 分<までに><{>.	時計を見る
52	38	話者 A13	<後><{>10 分までにやるとすると, えっ.	7 を取る
53			《沈黙 1.41 秒》	
54	39	話者 A13	あつ, で, これ[カード 7]“何してんの”ってやってもらった[↑]?=.	7, 3 と並べる
55	40	話者 A13	=<あつ, 違うかな[↑]?><{>.	
56	41	話者 C13	<あつ, そうです><{>.	
57	42	話者 C13	いやつ, そうだと思います.	
58			《沈黙 0.96 秒》	
59	43-1	話者 C13	<<笑いながら>で, こ><{>,,	
60	44	話者 A13	<これ><{>.	カードをずらす
61	43-2	話者 C13	れ[カード 6], この繋ぎ方がちょっとよく分<からないですね><{>.	6 を指す
62	45	話者 A13	<分かん><{>ないけど.	
63	46	話者 B13	へ::.	カードが見えるよう話者 A13 に近づく
64	47	話者 A13	あつ, これかな[↑]?	10 を取る
65	48	話者 A13	なんか, こっちかも[話者 B13 を見る]=.	10, 6 と並べる
66	49-1	話者 A13	=<だって, これ岩じゃない[話者 B13 にカード 6 を見せる]><{>,,	6 を話者 B13 に見せる
67	50	話者 C13	<あ::, なるほど><{>.	口を手で覆う
68	49-2	話者 A13	<かも><{>.	
69	51	話者 B13	<何><{>, えっ[↑], どれどれ[↑]?	
70	52	話者 A13	これこれ, この話が,	カードを見せる, カードを指で指す
71	53	話者 C13	そうです<ね><{>.	
72	54-1	話者 A13	<ひ><{>とりで食べてて::,	10 を指す
73	55	話者 B13	うんうん.	
74	54-2	話者 A13	“なんだよ”みたいな[↑]?, 分<かんない><{>,,	2 枚のカードを並べる
75	56	話者 B13	<やった><{>.	
76	54-3	話者 A13	けど.	
77	57	話者 C13	で, 取ってあげようとするかもしれないです=.	
78	58	話者 C13	=ってことは, これ[カード 8]が最初ですかね[↑]?	8, 5 と並べる
79			《沈黙 1.04 秒》	
80	59-1	話者 C13	取れなくて,,	
81	60-1	話者 B13	あ::, “りんご<食べ><{>”,	
82	59-2	話者 C13	<多分><{>.	
83	60-2	話者 B13	“たいな::”みたいな[↑]?	
84			《沈黙 0.90 秒》	
85	61	話者 B13	で, 取れなくて::.	カードを整える
86	62	話者 C13	で, これ[カード 10,6]を見たんでしょうかね?.	10, 6 を動かす
87			《沈黙 1.55 秒》	
88	63	話者 A13	かな[↑]?	
89	64-1	話者 A13	で[↑], それで,,	8 を取る
90		話者 B13	<笑い>	
91	64-2	話者 A13	確かに, これで取れなくつ,,	
92	65	話者 B13	て<::><{>.	
93	64-3	話者 A13	<て::><{>.	8, 5
94	66	話者 B13	これは, じゃ, 1 セットでしょ[↑].	8, 5 を動かす
95	67	話者 A13	うん.	
96	68	話者 C13	これも[カード 9,11]多分 《沈黙 1.35 秒》セットですよ.	9, 11 をまとめる
97	69-1	話者 C13	取ろうとして“あつ, <落ち><{>,,	9, 11 を指す
98	70-1	話者 A13	<“あ, ><{>落ちて<き>><{>,,	

99	69-2	話者 C13	<落ちた>{>}<笑い>.	
100	70-2	話者 A13	た::.	
101			《沈黙 1 秒》	
102	71	話者 A13	あ.	
103	72-1	話者 C13	で,,	
104	73	話者 A13	で.	
105	72-2	話者 C13	これ[カード 1]はこっち[カード 11 の後]ですかね?.	9、11、1 と並べる
106	74	話者 A13	うん、手伝ってあげれない.	
107	75	話者 A13	だったらその前にこれ[カード 8,5]が、話があった方がいいですよ、多分.	8、5 を指す
108	76	話者 C13	っそうですね.	
109			《沈黙 1.06 秒》	
110	77	話者 A13	何だろう?.	
111			《沈黙 1.90 秒》	
112	78	話者 C13	ん::.	
113	79	話者 A13	<笑い>難しい、これ.	カードをずらす
114	80-1	話者 B13	<笑い>む<ず>{<},,	
115	81-1	話者 A13	<あっ>{>},,	
116	80-2	話者 B13	かしい.	
117	81-2	話者 A13	へ::[↑], 取っ<て>{<},,	
118	82	話者 B13	<へ::>{>},,	
119	81-3	話者 A13	最後ハッピーエンド[↑]?.	
120			《沈黙 0.82 秒》	
121	83-1	話者 B13	そうだね、絶対それ最後<だよ、多分>{<},,	4 を取る指す
122	84	話者 C13	<[小さい声で]そうです>{>},,	
123	83-2	話者 B13	ハッピーエンドで.	
124	85-1	話者 C13	多分<これ[カード 5]で>{<},,	5 を指す
125	86	話者 A13	<分かんない>{>},,	
126	85-2	話者 C13	取れないでいたところを、なんか、通りかかった<笑いながら><彼が>{<},,	8、5、9、11 とまとめる
127	87	話者 B13	<うん>{>},,	
128	85-3	話者 C13	見かけて::,,	
129	88	話者 A13	見かけ<て::>{<},,	
130	85-4	話者 C13	<で>{>}, 落ちたのを<見つけて>{<},,	
131	89	話者 A13	<かな::[↑]?>{>},,	
132	85-5	話者 C13	食べてるのを見て、《沈黙 0.84 秒》<笑いながら>で、それを見て、<彼ら文句>{<},,	10、6 を指す
133	90-1	話者 A13	<で、取っ>{>},,	
134	85-6	話者 C13	文句というか、<不満に思っ<て::>{<},,	
135	90-2	話者 A13	<取ってあげたと>{>},,	
136	85-7	話者 C13	で、最後これ[カード 1,4]でしようかね?.	6 の後に 1、4 を置く
137	91-1	話者 B13	えっ,,	
138	92-1	話者 C13	ただ、この関連<性がいいです>{<},,	2、12、7、3 を指す
139	91-2	話者 B13	<で、これっ[カード 2,12]>{>},,	2、12 を指す
140	92-2	話者 C13	<よね>{<},,	
141	93	話者 B13	<そうです>{>}<ね、この関連性.	
142			《沈黙 1.88 秒》	
143	94	話者 C13	<笑いながら>何<だろう?>{<},,	
144	95	話者 A13	<何と>{>}関連性があるん<だろう?>{<},,	
145	96	話者 B13	<ん::>{>}《沈黙 2.29 秒》ん::.	
146			《沈黙 1.29 秒》	
147	97	話者 A13	ん::, うん, うん《沈黙 1.11 秒》確かに、これ[カード 2,12,7,3]との関連性で行ったら、この石の話はやっぱり....	2、12、7、3 をずらす
148			《沈黙 1.72 秒》	
149	98	話者 B13	あつ、じゃ、例えば::, 石を::運ぼうと 2 人でしてたんだけど、できないから::《沈黙 1.04 秒》、じゃ、りんご<笑いながら>取る、<取る>{<},,	7、3、8 を指す
150	99-1	話者 A13	<あつ>{>}それ<か::, 何で>{<},,	手をたたき、両手の人差し指でカードを押さえる
151	100	話者 B13	<あ::>{>},,	
152	99-2	話者 A13	石を運ぼうとしてたのかって言ったら::, あれかな[↑]?、りんご<取ろうとして[話者 C13 を見て、話者 B13 を見る]>{<},,	3 を指す
153	101-1	話者 C13	<あ::>{>}, <そうですね>{<},,	
154	102	話者 B13	<あ::あ::>{>}, <賢い>{<},,	
155	101-2	話者 C13	<台の>{>}代わりに.	
156	103	話者 A13	そうか<なという>{<},,	3 を取る
157	104	話者 B13	<そういうこと>{>}だ.	8、5 をずらす
158	105	話者 A13	多分、だから《沈黙 2.35 秒》、多分これは多分歩いてて、“あつた::”みたいな.	8、5、3 と並べる
159	106	話者 C13	あ::, そうですね.	

160	107-1	話者 A13	で, “あれ:”みたいになって:,,	2、9、11、10 と並べる
161	108-1	話者 B13	ん, <ん[↑]><↓>,,	
162	107-2	話者 A13	<で::><↓>, かな[↓]?	
163	108-2	話者 B13	[小さい声で]ん, 取ろうとして, ん::	
164	109	話者 C13	とりあえずこれは[カード 8, 5, 3]さいっしょ: : ‘最初, あっ, こ っち[カード 2, 9, 11]が最初ですか[↑]?=.	8、5、3 を指す、2、9、 11 を指す
165	110	話者 A13	=どっちかな[↓]?	2、9、11 を動かす
166	111	話者 A13	例えば, こっちでこうやって食べてるのを見て“いいな”ってなっ て::	11 の後に 10 を置く、 8 を取る
167	112	話者 C13	はい.	
168			《沈黙 3.62 秒》	
169	113	話者 C13	羨ましく思った彼らが取ろうとしたんでしょ[↑]?	8 を指す
170	114-1	話者 A13	そう, なんか, これで::“あ, じゃ, 私たちも取ろうか”ってゆっ て::, 取れないから:: 《沈黙 3.40 秒》, これで“どうしたの[↑]?”っ てゆって::,,	10 の後に 8、5、7、12 を置く
171	115	話者 B13	ん[↑], <でもなんで[↑]?><↓>.	
172	114-2	話者 A13	<こうとか[↑]?><↓><軽く笑い>.	
173	116	話者 B13	えっ[↑], 《沈黙 0.66 秒》えっ, さっき, でも, こっち[カード 3]じ ゃ<ない[↑]?><↓>.	3 を指す
174	117	話者 A13	<あっ><↓><こっちだね><↓>.	3 を渡す
175	118-1	話者 C13	<うん><↓>, <これ><↓>,,	8、5、3、7、12 と並べ る
176	119	話者 B13	<うん><↓>.	
177	118-2	話者 C13	後じゃないですか[↑]?	
178	120-1	話者 C13	<多分><↓>,,	カードに手を伸ばす
179	121	話者 B13	<はい><↓>.	
180	120-2	話者 C13	助けてあ..げるんです<よね><↓>.	
181	122-1	話者 B13	<こう><↓><こういう><↓>,,	
182	123	話者 C13	<で><↓>.	
183	122-2	話者 B13	ことか[↓].	カードをずらす
184	124	話者 A13	これだ.	カードをずらす
185	125	話者 B13	こうなって, “どうしたの[↑]?”ってなって[↓].	
186	126-1	話者 B13	<でも, これって, この 2 人だけ><↓>,,	6 を指す
187	127	話者 C13	<本当になっ..すごく><↓>不満そうな顔<しますよね><↓>.	6 を指す
188	128	話者 A13	<そう, うん><↓>.	12 の後に 1 を置く
189	126-2	話者 B13	<動かしてる><↓>.	
190		話者 C13	<笑い>	
191			《沈黙 0.82 秒》	
192	129	話者 B13	この:: 《沈黙 2.27 秒》あっ, これって, これって[カード 6], 例え ばこ::この[カード 8]後じゃないの[↑]?	6 を取る
193			《沈黙 1.23 秒》	
194	130	話者 C13	後.	話者 B13 から 6 を受 け取る
195	131-1	話者 B13	この, この 2 人で取ろうと<したん><↓>,,	8 を指す
196	132	話者 C13	<あ::><↓>.	
197	131-2	話者 B13	だけど, 取れなくて::	
198	133	話者 A13	<うん><↓>.	
199	134	話者 C13	<っそう><↓>かもしれ<ないですね><↓>.	
200	135	話者 A13	<でも><↓>, でもこの人は何ってゆってる ‘言っている’ [↑]?	カード 6 の大きいキャ ラクターを指す、話者 B13 に向く
201			《沈黙 1.19 秒》	
202	136	話者 B13	えっ[↑], <ん::><↓>.	
203	137-1	話者 C13	<“どうしたの[↑]?”><↓>って, あ::, こうですよ<ね, これそう ><↓>,,	8、5、6 と並べる
204	138	話者 B13	<そうです><↓>.	うなずく
205	137-2	話者 C13	ですね.	
206	139	話者 A13	うん<うん><↓>.	
207	140-1	話者 C13	<ちょっと><↓>それをそっち側に置いておいて,,	話者 B13 に 6 を渡す
208	141-1	話者 A13	あ::, <そういう><↓>,,	
209	140-2	話者 C13	<ごめんなさい><↓>.	
210	141-2	話者 A13	ことかも.	
211	142	話者 A13	えっ, 話繋がらない[↑]?, じゃ.	
212			《沈黙 1.06 秒》	
213	143	話者 B13	え, そう[↑]?, 繋がる[↑]?	
214	144	話者 A13	歩いてて::, りんご落ちてきて::, 食べて, “あ, じゃ, 私たちも取 ろう”ってゆって取れなくて, で, ここにいた子“助けてあげるよ” って“, え::, 別に良いよ”ってて, で, これやつ=.	2、9、11、10、8、5、 6、3 を指す
215	145	話者 A13	=でもここ[カード 3,7,12]おかしいね.	3、7、12 を指す
216	146	話者 C13	こ..<笑いながら>この辺<ちょっと難しいですよ><↓>.	3、7、12 を指す
217	147	話者 A13	<ここおかしいですよ><↓>.	話者 C13 を見てカー

				ドを指す
218		話者 C13	<笑い>	手で口を覆う
219	148	話者 A13	ん::《沈黙 4.87 秒》へ::, 何だろう?.	カードを少しずつずらす
220			《沈黙 1.02 秒》	
221	149	話者 B13	あ, そっか, やっぱこれは[カード 6] ここに前に来たおかしいのか[.].	6 を指す
222	150-1	話者 B13	この 2 人でさきに,,	6 を 8 の後に置こうとする
223			《沈黙 0.73 秒》	
224	151-1	話者 A13	あつ, <違う, 色々>{<},,,	話者 B13 から 6 を取り上げて、2 の前に置く
225	150-2	話者 B13	<やろうとしてて>{>}.	
226	151-2	話者 A13	ぐちぐち言われたからとかは[↑]?, はじめに.	
227	152	話者 A13	だから, このつつ..なんか, 切ない顔してるとか.	2 を指す
228			《沈黙 1.39 秒》	
229	153	話者 B13	<あ::>{<}.	
230	154	話者 A13	<なんか>{>}, 分かんないけど, <たっ..おっきい'大きい'人が>{<}[.].	手で空中で何かをなぞる
231	155	話者 C13]] <それ..それで食べちゃい>{>}ます[↑]?<笑い>[話者 A13 を見る].	10 を指す
232		話者 A13	<笑い>	
233	156	話者 C13	けっこう意地悪いですよね.	
234	157	話者 A13	え, でもこれ食べたのは別に偶然だ<よね, きっと>{<}.	
235	158	話者 C13	<あ: : , なる>{>}ほど<笑い>.	
236	159-1	話者 A13	で, 話, 例えば::, え, 勝手に話作っちゃうけど::, 彼は背が大きいから,,	6 を指す
237	160	話者 C13	うん.	
238	159-2	話者 A13	“うちらちっちゃいもんね, どうせ”<みたい>{<}.	話者 C13 を見ながら、6 を指す
239	161	話者 C13	<うん>{>}.	
240		話者 B13	<笑い>	
241	162-1	話者 A13	そう言われ..陰口言われたからこうなっ..切なくなつて::, <そうしたら, なんか>{<},,,	2 を指す
242	163	話者 B13	<うんうん>{>}.	
243	162-2	話者 A13	あ, りっ..なんか, りんごあったからりんご食べようと思ったら, りんご食べて::, <“あ::”>{<},,,	9、11 を指す
244	164	話者 B13	<うん>{>}.	
245	162-3	話者 A13	“食べたいね”ってなって,,	10 を指す
246	165	話者 B13	うん.	
247	162-4	話者 A13	“あ::, じゃ, うちらも取ろうか”ってゆつ<て::>{<},,,	8、5 を指す
248	166	話者 B13	<うん>{>}うん.	
249	162-5	話者 A13	で, 取れないから, <右>{<},,,	3 を指す
250	167	話者 B13	<うん>{>}.	
251	162-6	話者 A13	持ってきて::, <で>{<},,,	
252	168	話者 B13	<うん>{>}.	
253	162-7	話者 A13	“どうしたの”って言って助けてあげて, <で>{<},,,	7、12 を指す
254	169	話者 B13	<うん>{>}.	
255	162-8	話者 A13	最後“あ, こうしてあげればいいんじゃない[↑]?”って, で, 取って::, 皆仲良しみ<たいな>{<}.	1、4 を指す
256	170	話者 B13	<ん::>{>}, でも, ん::, でも, 何でこの子はそ.. この陰口言われたのに, 急に助ける[↑]?=.	7、6 を指す
257	171	話者 C13	=でも, やっぱりその 6 番のカードはこの後[カード 10]に相応しい..かなっていう感じが<します>{<}.	6、10 を指す
258	172	話者 A13	<本当[↑]?>{>}.	6 を取る、2 を指す
259	173	話者 A13	そうかな[.], じゃ.	
260	174	話者 C13	なんか, <すごい不満そう::>{<}<笑い>{>}{<}.	
261	175	話者 A13	<なんか, そうしないっ..>{>}はじめに不満そうなこの顔が::, なんか.	カードを指で指す
262	176-1	話者 A13	あつ,,	カードを取る
263			《沈黙 0.76 秒》	
264	177	話者 C13	<あ::, この子>{<}[.].	
265	176-2	話者 A13]] <じゃ::, こうじゃない>{>}のかな[.]?.	9、11、10、6、8 と並べる
266			《沈黙 0.95 秒》	
267	178	話者 A13	こうとかは[↑]?	
268			《沈黙 2.33 秒》	
269	179	話者 A13	で::, 《沈黙 1.42 秒》悪ぐちぐち言われっ=.	
270	180	話者 A13	=え::, なんか, でも.	
271			《沈黙 1.51 秒》	

272	181	話者 B13	ん::.	
273			《沈黙 1.78 秒》	
274	182	話者 C13	ん, 6 の後に置いたら, 《沈黙 0.91 秒》 変ですね<笑い>.	6 と 8 の間を開ける
275	183	話者 A13	そうそう<そうそう, う::ん><{>.	6 の後 2 を置く
276	184	話者 C13	<ん::, 難><{>しい.	カードをずらす
277	185	話者 B13	ん:: 《沈黙 3.02 秒》 ここの後とか[カード 12].	12 と 1 の間を指す
278			《沈黙 1.50 秒》	
279	186	話者 A13	これ[↑]?	12、2、1 と並べる
280			《沈黙 1.96 秒》	
281	187	話者 B13	取れなくて::, 《沈黙 1.46 秒》 あ::.	
282	188-1	話者 C13	なんか, 閃いた顔とか<あれば, 合ってますよね><{>,,	2、1 を指す
283	189	話者 B13	<そうですね><{>.	
284	190	話者 A13	<う::ん><{>.	
285	188-2	話者 C13	ここで.	
286	191	話者 B13	じゃ, こう::, ん.	
287	192	話者 A13	そう考えたら, やっぱり[カード 3 の前にカード 2 を置く].	8、5、2、3 と並べる
288			《沈黙 4.75 秒》	
289	193	話者 A13	これ[カード 12]はおかしいのかな?, これ.	12 を指す
290			《沈黙 1.22 秒》	
291	194	話者 C13	ここ[カード 12]とここ[カード 7]ととりあえず入れ替えて話し合ったんじゃないでしょうか?.	12、7 と並べる
292	195	話者 C13	<笑いながら>違いますか[↓]?	
293	196	話者 A13	<笑い>話し合ったのかな[↓]?	カードを動かすのを手伝える
294			《沈黙 1.26 秒》	
295	197-1	話者 C13	なんか, “動かないね” って<笑いながら>なって,,	12 を指す
296			《沈黙 0.85 秒》	
297		話者 C13	<引き笑い>	
298	198	話者 A13	あ::.	
299	199	話者 B13	あ::, <なるほど><{>.	
300	197-2	話者 C13	<で, 持ち上げてあげ><{>した.	7 を指す
301	200	話者 A13	う::ん.	
302	201	話者 B13	そうですね.	
303			《沈黙 1.23 秒》	
304	202	話者 A13	それでもいいかな[↓]?	カードを確認するように押さえて、並びを整える
305	203-1	話者 C13	やっぱり 6 番のカードが<難しい><{>,,	
306	204	話者 A13	<うん><{><笑い>.	
307	203-2	話者 C13	ですよね.	
308	205-1	話者 B13	ん::,	
309	206	話者 A13	これ::言われてみて= [[.	6 を取る
310	205-2	話者 B13]] =でもこの<子も><{>,,	2 を指す
311	207	話者 A13	<うん><{>.	
312	205-3	話者 B13	ここに急にこんな悲しい顔してるの,,	
313	208	話者 A13	う::ん.	
314	205-4	話者 B13	なんでってか..感じします=.	
315	209	話者 A13	=ね.	6 を戻す
316	210-1	話者 A13	悲しい顔してるならさ,,	6、2 を指す
317	211	話者 C13	確かに.	
318	210-2	話者 A13	なんか, これが[カード 6 と 2]一番繋がるか<な::って思った><{>,,	
319	212	話者 B13	<う::ん><{>.	
320	210-3	話者 A13	<やっぱ><{>.	
321	213	話者 B13	<え, こう[↑]って><{>こと[↑]?	6 の後に 2 を置く
322			《沈黙 1.13 秒》	
323	214	話者 A13	うん, そうそうそう, 6 で 2 で<行って><{>.	
324	215	話者 B13	<そう><{>だね.	
325			《沈黙 1.44 秒》	
326	216	話者 B13	ん::.	
327			《沈黙 3.24 秒》	
328	217	話者 B13	あっ, じゃ, 普通にこうってことは[↑]?	6、2 と並べる
329			《沈黙 3.60 秒》	
330	218	話者 A13	“良いな::, 自分ばかり”みたいな[↑]?	カードの並びを整える
331	219	話者 A13	“なんだよ” っていう.	カードの並びを整える
332	220	話者 A13	<笑いながら>そうしたらこう.	8 を指す
333			《沈黙 2.69 秒》	
334	221	話者 B13	ん::.	
335			《沈黙 0.78 秒》	
336	222	話者 C13	ひょ..表情豊かですよね<笑い>.	手で口を覆う
337	223	話者 A13	<笑いながら>そう.	
338	224	話者 C13	そ..<笑いながら>それがかえって難しい.	

339	225	話者 A13	確かにそうですね, え::.	
340			《沈黙 0.95 秒》	
341	226	話者 A13	こちら辺は合ってる気がするけど, そんな.. そうだよね, 多分, 絶対.	1、4 を指す
342			《沈黙 6.23 秒》	
343	227-1	話者 A13	うん,,	カードを確認するように押さえて、並びを整える
344	228	話者 B13	ん::.	
345	227-2	話者 A13	ん..ん..なんとなくぱっとしない感じ[↑]?	3、12 を指す
346			《沈黙 6.51 秒》	
347	229	話者 A13	そこの繋がりもいきなりだよな.	3、12 を指す
348	230	話者 C13	う::ん.	
349	231	話者 B13	う::ん.	
350			《沈黙 1.79 秒》	
351	232	話者 A13	だったら, 7 やっぱこっちな気はするけど.	7、12 と並べる
352	233	話者 C13	あつ, 後は::, なんか, 場面で考えた時, 多分これ石::ですよな.	2 を指す
353	234	話者 A13	<うんうん>{<}.	
354	235-1	話者 C13	<やっぱり>{>}この繋がりの中に入ると思うんで, もしかしたら 8 と 5, これが最初に来て, この彼がさきりんごを見つけて取ろうとしていつ,,	8、5 を持ち上げて、2 人に見せる
355	236	話者 B13	あ::.	
356	235-2	話者 C13	苦戦していたところを::<たまたま通りかかった>{<},,	8、5、9、11、10
357	237-1	話者 A13	<やっぱ そうだよな>{>},,	カードを動かす
358	235-3	話者 C13	彼も,,	
359	237-2	話者 A13	あれは.	8、5 を受け取って、先頭に置く
360	235-4	話者 C13	かな::と, この 2 人の苦労を知らずに, <自分だけちょっと行っ	
361	238	話者 A13	て::>{<}. <<笑い>ずに, 取って食べたから“いい>{>}な::”ってなって::, “いやだな”って<なって>{<}. <小さい声で>{>}ってなっ>{>}て::, “いやだね”って<なって>{<}. <この話>{>}のここ[カード 3 と 7]がね, 遠いんだけど, いいのかな[↑], いいですかね?.	3、7 と 8、5 を指す
364			《沈黙 0.72 秒》	
365	241	話者 A13	こう[↑]?	
366	242	話者 C13	これが一番<笑いながら>いいね.	
367	243-1	話者 A13	え, ここ繋がり<そう>{<},,	6、2、3 を指す
368	244	話者 C13	<<笑いながら>そう>{>}. ここね.	
369	243-2	話者 A13	うん.	
370	245	話者 C13	う::ん.	
371	246	話者 A13	え, こんな感じ.	カードを動かす
372			《沈黙 4.01 秒》	
373	247-1	話者 B13	うんうん,,	うなずく
374	248	話者 A13	こう<したらいいな>{<}. <ちょっとじっくり>{>}来る.	
375	247-2	話者 B13	《沈黙 0.92 秒》	
376			《沈黙 2.94 秒》	
377	249	話者 A13	じっくり来る, ん.	
378			《沈黙 0.78 秒》	
379	250	話者 C13	うん, 《沈黙 0.78 秒》いいんじゃないでしょうか?.	
380	251-1	話者 B13	うん,,	
381	252	話者 C13	うん.	
382	251-2	話者 B13	良い感じ.	
383	253	話者 A13	いいかな[↑]?, これで.	
384	254	話者 A13	でも, 後 1 コマくらいひっ..なんか, 欲しいです<よね>{<}. <そう>{>}<笑いながら>ですね.	
385	255	話者 C13	“そうだ, じゃ, <頑張って取ろう>”>{>}. <そうそう>{>}. <笑い> 閃いた顔がないと, ちょっと繋<がりにくいです>{<},,	12、1 を指す、互いに視線を合わせる
386	256	話者 A13	<ですよね>{>}. よね.	
387	257	話者 C13	ふ::ん.	
388	258-1	話者 C13	こんなんでもいいの<かしら?>{<}. <う::ん>{>}. 《沈黙 1.20 秒》	
389	259	話者 A13	ん::.	
390	258-2	話者 C13	もうちょっと.	
391	260	話者 B13	《沈黙 1.98 秒》	
392	261	話者 A13	でもこれこうですもんね.	9、11、10、6 を指す
393	262	話者 C13		
394	263	話者 B13		
395	264	話者 A13		
396	265	話者 A13		

400	266-1	話者 A13	こ..この流れっ.. <small><正しい[↑][話者 B13 を見る]><[↓],,</small>	
401	267	話者 B13	<small><う::ん><[↓].</small>	
402	266-2	話者 A13	よね?.	
403	268	話者 C13	そうですね <small>><[↓].</small>	
404	269	話者 B13	<small><う::ん><[↓].</small>	
405	270	話者 C13	多分これも[カード 1,4]絶対セットですし.	1、4 を指す
406	271	話者 C13	動かすとしっ=.	
407	272	話者 C13	=ま、これも多分ここまでは[カード 10]いいんじゃないでしょう かね?.	
408	273-1	話者 C13	ん、6 番以降は,,	
409		話者 A13	<small><鼻笑い></small>	
410	273-2	話者 C13	変えるとすれば.	
411	274	話者 C13	2 番が謎なんですよ <small><笑い>.</small>	
412	275	話者 A13	う::ん.	
413	276	話者 B13	う::ん.	
414			《沈黙 4.82 秒》	
415	277	話者 B13	ん::, 《沈黙 2.59 秒》 <small><笑いながら>ふ::ん.</small>	
416	278	話者 C13	3 と 2 逆::じゃないでしょうか?.	
417			《沈黙 1.75 秒》	
418	279	話者 B13	<small><2 と 3[↑]?><[↓].</small>	3、2 と並べる
419	280	話者 A13	<small><#####><[↓].</small>	
420	281-1	話者 C13	<small><このままいた><[↓]この 2 人::が“じゃ、石を動かそう”ってて、一 方で<この子が歩いて、で、この><[↓],,</small>	3 を指す
421	282	話者 A13	<small><あ::, でも、そっちの方が自然かもしれないね><[↓].</small>	
422	281-2	話者 C13	2 人を見つけた.	2、7 を指す
423	283	話者 A13	うんうんうん.	うなずく
424			《沈黙 1.99 秒》	
425	284	話者 B13	う::ん.	うなずく
426			《沈黙 2.06 秒》	
427	285	話者 A13	そんな感じかな[↑]?	
428			《沈黙 0.82 秒》	
429	286	話者 C13	そうですね、多分、うん.	
430	287	話者 C13	意外と難しい <small><笑いながら></small> ですね.	
431	288	話者 A13	<small><笑いながら></small> でもこんな感じかな[↑]?[話者 B13 を見る].	
432	289	話者 B13	うん.	
433			《沈黙 1.38 秒》	
434	290	話者 A13	で、しっくり来る.	
435			《沈黙 1.03 秒》	
436	291	話者 A13	はい.	時計を見る
437	292	話者 C13	すごい、ちょうど <small><笑いながら></small> いい <small><時間></small> <small><笑い>><[↓].</small>	時計を見る
438	293	話者 A13	<small><ちょうど><[↓]いい時間くらいで.</small>	

9. JF09

話者性別: 女

会話時間: 6.18 分

ライン 番号	発話文 番号	話者	発 話 内 容	備考
1	1	話者 B14	これを::並べるんですよ.	床に荷物を置きながら 話者 C14 を見る
2	2	話者 C14	そうですね.	
3			《沈黙 2.07 秒》	
4	3	話者 C14	ふ::ん、ふん 《沈黙 2.11 秒》もう始まってるんですかね?, 15 分.	椅子に座る
5	4-1	話者 B14	多分,,	
6	5	話者 A14	たかね?.	
7	6	話者 C14	あっ、 <small><じゃ><[↓].</small>	
8	4-2	話者 B14	<small><そう><[↓]です.</small>	
9			《沈黙 4.07 秒》	
10		話者 A14	<small><笑い></small>	
11	7	話者 B14	ちよっと見えない.	机の正面に移動
12		話者 C14	<small><笑い></small>	
13		話者 B14	<small><笑い></small>	
14			《沈黙 4.46 秒》	
15	8	話者 C14	ふ::ん、《沈黙 5.11 秒》まずは 1 人のやつですかね?.	2 を指す
16	9	話者 A14	ですね.	

17	10	話者 C14	か<ね::[↑]?><{>.	
18	11	話者 B14	<1 人><{>でいるのと::.	
19	12	話者 C14	うん.	
20			《沈黙 1.38 秒》	
21	13-1	話者 B14	あ, でも<木>が出て><{>.,	
22	14	話者 A14	<木, 木><{>.	8 を指す
23	13-2	話者 B14	くると<::いっし::<石><{>.,	
24	15	話者 C14	<うんうん><{>.	
25	13-3	話者 B14	が出てくるのがある.	
26	16	話者 C14	あ::《沈黙 1.07》じゃ, き..木は木に..にしときますか[↑]?,	10、11 に触れる
27	17	話者 B14	[息を吸う音]ん[↑].	
28			《沈黙 3.16 秒》	
29	18	話者 C14	えっ, 全部同じ話ですよ.	
30	19	話者 C14	一連の話ですよ[話者 B14 を見る].	話者 B14 を見上げる
31		話者 A14	<笑い>	
32	20	話者 B14	多分.	
33			《沈黙 4.14 秒》	
34	21	話者 C14	りんごが..取れなくて, 取れた::《沈黙 1.36 秒》って感..じですか [↑]?, 《沈黙 1.56 秒》最終的に[↑].	5、4 を指す
35			《沈黙 1.94 秒》	
36	22	話者 B14	かな::?.	
37			《沈黙 1.00 秒》	
38	23-1	話者 B14	あの, 《沈黙 1.15 秒》取れなくて::.,	
39	24	話者 C14	うん.	
40	23-2	話者 B14	多分あれ[カード 7]で取..<らせてあげっ...><{>.	7 を指す
41	25	話者 C14	<あ::あ::><{>.	
42			《沈黙 1.03 秒》	
43	26	話者 B14	どう, どうして行けばいいんだろう?.	席に戻る
44	27	話者 A14	これ..でもあれです.	9 を指す
45	28	話者 C14	あっ, そっか, 自分も取れない::<笑い>.	9 を取る
46		話者 A14	<笑い>	
47			《沈黙 1.26 秒》	
48	29	話者 C14	へ::, 難しい.	
49			《沈黙 2.54 秒》	
50	30-1	話者 C14	あ, でもこれ羨まし::..がっ<てる><{>.,	10 を指す
51	31	話者 A14	<あ::><{>.	
52	30-2	話者 C14	みたいな<感じですかね[↓]?><{>.	
53	32	話者 A14	<あ::あ::><{>.	
54	33-1	話者 B14	<いいな::><{>.,	
55	34	話者 A14	<いいな><{>.	
56	33-2	話者 B14	<って感じ><{>で::.	
57	35-1	話者 C14	で, そこの子<たち><{>.,	
58	36-1	話者 A14	<あっ><{>.,	
59	35-2	話者 C14	も“取りたい”ってなって::《沈黙 0.71 秒》って感じですかね?=.	10 を動かす
60	37	話者 C14	=こういう, こういう感じ<ですか?><{>.	10、5 と並べる
61	36-2	話者 A14	<あっ><{>《沈黙 1.01 秒》[小さい声で] こうですか[↓]?,	10、8、5 と並べる
62	38	話者 C14	あ::あ::.	
63			《沈黙 1.72 秒》	
64	39	話者 C14	で[↑], 《沈黙 0.48 秒》これっ..[カード 9]最初ですかね?, そうしたら.	9 を 10 の前に置く
65	40-1	話者 A14	そうしたら, あれ[りんご]が.,	11 を指す
66	41-1	話者 C14	あっ.,	
67	40-2	話者 A14	落ちた.	9 の後に 11 を入れる
68	41-2	話者 C14	落ちてたんだ.	
69			《沈黙 1.36 秒》	9、11、10、8、5
70	42	話者 B14	でもこの..石なんで来た [話者 C14 を見る]=.	
71	43	話者 C14	=そうですね.	
72		話者 A14	<笑い>	
73	44	話者 B14	ま, <謎><{> [[.	
74	45	話者 A14	<石><{>.	カードを動かす
75	46	話者 C14]] <石><{>が良く分からない.	
76			《沈黙 1.12 秒》	
77	47	話者 B14	これって座ってやらなきゃいけないね=.	
78	48-1	話者 B14	=なんか, “おかけください”,	椅子に座る
79		話者 C14	<笑い>	
80		話者 A14	<笑い>	
81	48-2	話者 B14	書いてあった.	
82	49	話者 C14	確かに<笑い>.	
83	50	話者 C14	でも見えない, 見えないですよ.	話者 A14 がカードを

				動かす
84		話者 B14	<笑い>	
85			《沈黙 2.04 秒》	
86	51	話者 B14	ん, これっ..は [カード 4] <取れっ><{< [[.	4 を取る
87	52	話者 C14]] <それ><{<は取れたのかな[↑]?><{<.	
88	53	話者 A14	<あ::, 3 人いる><{<.	
89	54-1	話者 B14	で::,,	
90	55-1	話者 A14	あれっ,,	
91	54-2	話者 B14	多分<取ってあげ::><{<,,	1 を指す
92	55-2	話者 A14	<これは><{<, あ::あ::	
93	54-3	話者 B14	たのかな[↑]?	5、1、4 と並べる
94			《沈黙 1.91 秒》	
95	56-1	話者 C14	で, 《沈黙 2.06 秒》で, どっかにこういうの[カード 3]が<入ると か><{<,,	
96	57	話者 A14	<こ..これは[↑]?><{<.	
97	56-2	話者 C14	ですかね?.	
98	58	話者 A14	石[↑]?	
99			《沈黙 2.70 秒》	
100	59-1	話者 C14	取れないから::, 石を<使おうと><{<,,	
101	60	話者 A14	<あっ, あ::><{<.	
102	59-2	話者 C14	した::って感じですか[↑]?	3 を 1 の前に置く
103	61	話者 B14	あ::.	手を叩く
104	62	話者 A14	な::るほど.	
105	63	話者 C14	お::お::<お::><{<.	
106	64	話者 B14	<すご><{<い.	
107			《沈黙 1.84 秒》	
108	65-1	話者 B14	あっ, で::,,	
109	66	話者 C14	うん<うん><{<.	
110	65-2	話者 B14	<“じゃ><{<, 乗せてあげるよ”ってなった,,	7 を指す
111	67	話者 C14	あ::, あ::<あ::あ::><{<.	7 を取る
112	65-3	話者 B14	<かもしれ><{<ない[↑]?	7、1、4 と並べる
113			《沈黙 2.40 秒》	
114	68	話者 C14	それで《沈黙 1.66 秒》これ..でもこの..この人も::.	12
115			《沈黙 1.68 秒》	
116	69-1	話者 A14	あっ, えっ,,	
117			《沈黙 1.98 秒》	
118	70-1	話者 B14	これじゃ::,,	立ち上がる
119	69-2	話者 A14	この::じゃ, <あれ><{<,,	11 をずらす
120	70-2	話者 B14	<これ...><{<.	11 を指す
121	69-3	話者 A14	だ.	9、12、10 と並べる
122			《沈黙 3.96 秒》	
123	71	話者 C14	ん[↑].	
124			《沈黙 2.42 秒》	
125		話者 C14	<笑い>	手で口を覆う
126	72	話者 A14	あっ《沈黙 3.39 秒》これだと変ですかね[↑]?	9、12、2、11 と並べる
127			《沈黙 1.71 秒》	
128	73	話者 C14	あ::, でも= [[.	
129	74-1	話者 A14]] =取ろうと思って,,	9 を指す
130	75	話者 C14	うん.	
131	74-2	話者 A14	石を運ぼうと思ったけど, <できなくて><{<,,	12 を指す
132	76	話者 C14	<あ::><{<.	
133	74-3	話者 A14	でも行ったら, 落ちてた<かな[↑]?><{<.	2、11 を指す
134	77-1	話者 C14	<あ::あ::><{<あ::<あ::あ::><{<,,	
135	78	話者 B14	<あ::あ::><{<.	
136	77-2	話者 C14	あ::あ::, お::お::<お::><{<,,	
137	79	話者 B14	<あ::><{<.	
138	77-3	話者 C14	お::お::.	
139	80-1	話者 B14	で::,,	10 を指す
140			《沈黙 2.71 秒》	
141	81	話者 C14	食べ<てるのを><{< [[.	
142	80-2	話者 B14]] <これっ><{<.	
143			《沈黙 1.68 秒》	
144	82-1	話者 B14	あっ, そっかそっか《沈黙 1.73 秒》で::, <食べ><{<,,	
145	83	話者 C14	<うん><{<.	
146	82-2	話者 B14	てて::, じゃ, 木に戻って::, 2 人が戻って取れなくて取れなくて::.	10、8 を指す
147	84	話者 C14	あ::, なるほど::.	カードを動かす
148			《沈黙 1.09 秒》	
149	85	話者 B14	ん[↑], これは [カード 6] 何だろう?.	6 を見せる
150			《沈黙 3.18 秒》	

151	86	話者 C14	それ何だろう?.	
152			《沈黙 3.71 秒》	
153	87	話者 B14	なんか、この[カード 7]次にこれ[カード 6]になるのはおかしい気が<する>{<}. <です>{>}よね.	7、6を指す
154	88	話者 C14	《沈黙 1.00 秒》	
155			羨ましくて::,,	10を指す
156	89-1	話者 C14	羨ましくて::, “じゃっ”= 【.	椅子に座る
157	90	話者 B14	】 =“いいな”って言ってるとかですか[↑]?.	6を指す
158	89-2	話者 C14	ふ::ん.	
159	91	話者 A14	何だろう?, これ::, ん.	
160	92	話者 B14	《沈黙 5.87 秒》	
161			ん[↑].	眉間にしわを寄せる
162	93	話者 C14	《沈黙 1.34 秒》	
163			これ[カード 6]が、なんか、<笑いながら>謎.	6を指す
164	94	話者 B14	<笑い>	
165		話者 A14	う::ん.	
166	95	話者 C14	[咳の音]	
167		話者 A14	《沈黙 3.58 秒》	
168			ん[↑] 《沈黙 3.76 秒》 ふん.	
169	96	話者 C14	《沈黙 3.36 秒》	
170			あ、でもここ..これ::なのかな[↑]?.	6を指す
171	97	話者 B14	《沈黙 2.86 秒》	
172			どこなんだろう?.	
173	98	話者 C14	入るとこないですよ.	
174	99	話者 B14	う::ん, ですね.	
175	100	話者 C14	こっから、なんか、ここで::“何やってるの::”みたいにやって.	7を指す
176	101	話者 B14	うん.	
177	102	話者 C14	《沈黙 1.20 秒》	
178			<笑い>なん..なんでこんな顔してる::?<笑い>.	6を指す
179	103	話者 B14	<笑い>	
180		話者 C14	<笑い>	
181		話者 A14	こ..“こっち来るな”みたいな<顔>ですね>{<}. <ですよ>{>}ですよ.	
182	104	話者 B14	へ::, 何でだろう?.	
183	105	話者 C14	《沈黙 3.91 秒》	
184	106	話者 C14	<笑い>	
185		話者 C14	ん::.	
186	107	話者 B14	取られると思ったとかですか?, 《沈黙 1.17 秒》<りんごを>{<}. <あ::>{>}. 《沈黙 1.07 秒》	6を指す
187	108	話者 C14	かな::?.	
188	109	話者 A14	《沈黙 4.85 秒》	
189			ん:: 《沈黙 5.47 秒》 へ::.	
190	110	話者 B14	へ::.	
191	111	話者 C14	<笑い>	
192	112	話者 A14	<笑い>難しいですね、それだ<け>{<}. <でも>{>}, ここだけ、こ..ここにしか入らない気がする.	6を指す
193	113	話者 B14	《沈黙 1.65 秒》	
194	114	話者 C14	う::ん.	
195	115	話者 C14	取ろうと思って::,,	9を指す
196	116-1	話者 B14	うん.	
197	117	話者 C14	《沈黙 0.93 秒》	
198			岩を持ってこようと思って::,,	12を指す
199	116-2	話者 B14	うん.	
200	118	話者 C14	“無理だった、<チェッ>”<{<}, <うん>{>}. って,, <笑い>	2を指す
201	116-3	話者 B14	なったら::, 落ちて<て>::>{<},, <落ち>{>}てた::, うんうん.	11を指す
202	119	話者 C14	食べてるところを見て::,,	うなずく
203	120	話者 B14	うん.	10を指す
204	121	話者 C14	<いいな::>{<}. <“僕らも>{>}欲しい”ってなっ<て>::>{<},, <うん>{>}. [小さい声で]<あ::>{<}. <届>{>}かないから::, 同じように岩を<笑いながら>持ってこようとしたけど無理で::,,	8を指す
205	116-4	話者 B14		
206	116-5	話者 A14		
207	116-6	話者 B14		
208	122	話者 C14		
209	116-7	話者 B14		
210	123	話者 C14		
211	124	話者 A14		
212	116-8	話者 B14		5、3を指す

218	125	話者 C14	うん.	
219	116-9	話者 B14	そこに::来て::, 何だろう?, これ, “じゃ, 僕が取って<笑いながら>あげるよ”,	7, 6を指す
220		話者 A14	<笑い>	
221	126-1	話者 C14	あ::, <あ:: [話者 B14 を見る]><.>,,	
222	116-10	話者 B14	<取る><.>.	
223	126-2	話者 C14	<あ::><.>.	
224	127	話者 B14	<でも, なんで><.>こんな顔してるんだろ?.	6を見る
225	128	話者 C14	<笑い>“何だよ”みたいな.	
226	129	話者 B14	うんうん.	
227			《沈黙 0.89 秒》	
228	130	話者 B14	“もう食べたじゃん”みたいな..感じ<なのかな[↑]?><.>.	
229	131	話者 C14	<感じなん><.>です<かね::?><.>.	
230	132	話者 A14	<あ::><.>.	
231	133-1	話者 B14	で, もっ..こう乗っけて取ってあげて::, “やった::”,	1を指す
232	134-1	話者 C14	う::ん,,	
233	133-2	話者 B14	<なのかな[↑]?><.>.	4を指す
234	135	話者 A14	<うんうん><.>.	
235	134-2	話者 C14	う::ん, あ::, 確かに《沈黙 1.58 秒》通じ::ますね.	うなづく
236			《沈黙 1.95 秒》	
237	136	話者 A14	うん.	
238	137	話者 B14	どうなんでしょう[↓]?<笑い>.	
239		話者 A14	<笑い>	
240	138	話者 C14	<笑い>難しいな.	話者 A14 はカードを 少しずらす
241			《沈黙 2.10 秒》	
242	139	話者 C14	<でも><.> [[.	
243	140	話者 B14]] <でも><.>きつとこの流れですよね=.	12を指す
244	141-1	話者 B14	=<その, 石::><.>,,	
245	142	話者 C14	<うんうん><.>.	
246	141-2	話者 B14	を..やろうとして無理だったっ,,	
247	143	話者 C14	うん.	
248	141-3	話者 B14	のとこっちも同じ流れ<です><.>,,	3を指す
249	144	話者 A14	<うんうん><.>.	
250	141-4	話者 B14	<もんね><.>.	
251	145	話者 C14	<うんうん><.>.	
252			《沈黙 1.27 秒》	
253	146	話者 B14	ついにこう.	
254	147	話者 C14	こんな感じなんですかね?.	

10. JF10

話者性別: 女

会話時間: 6.00 分

ライン 番号	発話文 番号	話者	発 話 内 容	備考
1	1-1	話者 A15	さて,,	
2			《沈黙 2.53 秒》	
3	2	話者 B15	じゃ, あそこ.	席を指す
4	1-2	話者 A15	はじめま<しょう><.>.	席に着く
5	3	話者 C15	<ましっ><.>, はじめましょう.	席に着く
6			《沈黙 3.38 秒》	
7	4	話者 A15	あっ, かわいい.	
8		話者 B15	<笑い>	
9		話者 C15	<笑い>	
10	5	話者 B15	えっと::, 《沈黙 0.83 秒》並べる=.	
11	6-1	話者 B15	=ん[↑], 1, 2, 3, 番号[↑],	
12			《沈黙 1. 01 秒》	
13	7-1	話者 A15	えっと::,<ストーリーを作って><.>,,	
14	6-2	話者 B15	<番号は><.>.	手を振る
15	8	話者 C15	<多分::これをかけなっ..て::><.>[発話が重なり, 後半を先行発話に合わせる].	
16	7-2	話者 A15	並<べる><.>.	
17	9	話者 B15	<並><.>べるというね.	
18			《沈黙 0.73 秒》	

19	10-1	話者 B15	なるほど、じゃ、あれだな、まず、なんか、	
20			《沈黙 1. 05 秒》	
21	11	話者 A15	ス<トリー>[↑]><[<].	
22	10-2	話者 B15	<ちょっと見て>[>]みま<す><[<].	話者 A15 の近くに移動
23	12	話者 C15	<うん>[>].	話者 A15 の近くに移動
24			《沈黙 0.93 秒》	
25	13	話者 B15	え、	
26	14	話者 C15	これ[カード 4]最後っぽくないですか[↓]?	4 を指す
27			《沈黙 0.83 秒》	
28	15	話者 A15	嬉しそうだから、	
29	16	話者 C15	嬉しそうだから<笑い>.	
30			《沈黙 1.98 秒》	
31	17	話者 A15	確かに、嬉しそうだから、これは最後..きつと[カードを退ける].	カードを動かす
32			《沈黙 0.97 秒》	
33	18	話者 C15	ん、<ん::><[<].	
34		話者 A15	<ん::>[>]	
35			《沈黙 1.64 秒》	
36	19	話者 C15	<これっ[カード 12]..を><[<] [[.	12 を指す
37	20	話者 A15]] <これは::>[>]こうじゃないですか[↑]?, 絶対.	11、10 と並べる
38	21	話者 C15	あ、確かに、	
39	22	話者 A15	りんご::食べっ 《沈黙 1.03 秒》てる.	
40			《沈黙 0.83 秒》	
41	23-1	話者 B15	うんうんうん..<そうです><[<],,	うなずく
42	24	話者 A15	<ん::>[>].	
43	23-2	話者 B15	ね, “りんごを::取りたい”.	
44			《沈黙 1. 36 秒》	
45	25	話者 B15	あっ, ちがちがちがちがちが違ふ=.	
46	26	話者 B15	=“取ってあげる”話[↑]?	1 を指す
47	27	話者 A15	でも、なんか、これなんで悲しそうなんだろう?.	2 を指す
48	28	話者 C15	それは変ですよ、ね.	
49			《沈黙 1.78 秒》	
50	29	話者 B15	[話者 A15 はカード 2 を上に動かす]一人ぼっちだった.	2 を動かす
51			《沈黙 1. 25 秒》	
52	30	話者 A15	[カード 2,9 を並べて、大きい声で]どや.	2、9 と並べる
53			《沈黙 2.51 秒》	
54	31	話者 C15	で::= [[.	
55	32	話者 B15]] =あ、こう、ま..まっ..まず、こいつらがさ、語らってて、なんか、“りんごが食べたいね”みたいな.	8 を動かす
56	33-1	話者 A15	[キャラクターを演じる声で]“りんごが<食べたい”><[<],,	8、5 と並べる
57	34	話者 C15	<食べたい>[>].	
58	33-2	話者 A15	“ね::”[横にカードを並べる],,	
59	35	話者 B15	[キャラクターを演じる声で]“でも<取るために”><[<].	カードに手をつける
60	33-3	話者 A15	<“でも取れない”>[>].	
61			《沈黙 1.54 秒》	
62	36	話者 B15	なんか、岩も絡んでるんだね、これ、え<::><[<].	カードをずらす
63	37-1	話者 C15	<こ>[>]れ[カード 12]岩とこれとこれ<岩><[<],,	
64	38-1	話者 B15	<そうっ>[>],,	
65	37-2	話者 C15	ですね.	12 を話者 B15 に渡す
66	38-2	話者 B15	そう<ですな><[<].	12 を受け取る
67	39-1	話者 A15	<あっ, 動>[>]かしっ=.,	
68	40	話者 C15	=て::.	
69	39-2	話者 A15	たい.	
70	41	話者 B15	なんか、動かない::.	
71	42	話者 A15	あっ, 動かない.	話者 B15 から 12 を取りあげて 2 の前に置く
72	43-1	話者 A15	えっ, <あっ><[<],,	
73	44-1	話者 B15	<ん[↑]>[>],,	
74	43-2	話者 A15	こうじゃない[↑]?	9、12、2 と並べる
75	45	話者 A15	“りんごが食べたい”, “動かない”, “帰る”.	
76	44-2	話者 B15	ちょっと待っ<て><[<].	
77	46	話者 C15	<あっ>[>].	
78	47-1	話者 B15	でも,,	9、12、2 を指す
79		話者 C15	<笑い>	
80		話者 A15	<笑い>	
81	47-2	話者 B15	手伝ってあげて帰る、これで終わっちゃった.	
82	48	話者 B15	ストーリー終わっちゃいましたね、これ.	
83	49	話者 B15	どうしよう<ね?><[<].	
84	50	話者 A15	<ね>[>].	
85	51	話者 C15	<ね::>[>].	

86			《沈黙 2.29 秒》	
87	52	話者 B15	あ、なんか、でもめっちゃ..感謝するんだから::, りんごが、あつ、 “取れた::”っていうの、これは、多分.	1 を取る
88	53	話者 C15	た..多分後ろの::.	1 を 4 の前に置く
89	54-1	話者 B15	そう<ですね><{>,,	
90	55	話者 C15	<そうすね::><{>.	
91	54-2	話者 B15	これ“取れた::”ってな<って::><{>.	カードをずらす
92	56	話者 C15	<なって::><{>.	
93	57	話者 A15	嬉しい時でしょ[↑]?	カードを指で指す
94			《沈黙 0.99 秒》	
95	58	話者 B15	これは[↑]?[カード 11].	11 を指す
96			《沈黙 1. 11 秒》	
97	59	話者 B15	落ちてるよ、りんご.	
98	60	話者 A15	落ちてて、ほら、食べ::てるのはさ.	11、10 を動かす
99	61	話者 C15	あ::, 落ちてて、食べてて::.	11、10 を指す
100	62	話者 A15	あつ、で::, “食べたい”.	11、10、8 と並べる
101	63	話者 C15	う::ん.	
102			《沈黙 0.81 秒》	
103	64	話者 C15	で、けど取れない::.	8 の後に 5 を置く
104	65	話者 A15	けど取れない::.	カードを整える
105	66	話者 B15	ん[↑]“あわわ”.	カードを見る
106			《沈黙 0.73 秒》	
107	67	話者 C15	ってか、なんか、岩との繋がりがもう来ない.	
108	68	話者 A15	<笑いながら>い.	
109	69	話者 C15	<笑い>岩.	
110			《沈黙 1. 36 秒》	
111	70-1	話者 A15	え、じゃ、岩::,	カードをずらす
112	71	話者 C15	あ、岩を動かそうとするけど::.	5 の後に 3 を置く
113			《沈黙 2. 18 秒》	
114	70-2	話者 A15	岩....	
115	72	話者 C15	え、で、そうしたら、そこ[カード 9, 12]も、そこでセットですね.	9、12 を指す
116		話者 A15	<笑い>	
117	73	話者 B15	これは= [[.	9、12 を机の真ん中に動かす、9 を取る
118	74	話者 A15]] =で、いや、あの::, 岩何[↓]?<笑い>.	12 を取る
119	75	話者 C15	<笑い>岩なきや、なかったら、楽....	
120			《沈黙 2.73 秒》	
121	76	話者 A15	でも、最後絶対これで合ってる<と思う><{>.	1、4 を指す
122	77	話者 C15	<う::ん><{>.	
123	78	話者 A15	最後はこれで良いや.	1、4 を少しずらす
124	79	話者 B15	そうだね、最後<こう取って::><{>.	11、10、8、5 をずらす
125	80	話者 A15	<その手前は::><{> 《沈黙 1.38 秒》 どうしよう?.	
126			《沈黙 0.85 秒》	
127	81-1	話者 A15	なんか、こいつら<すごい><{>,,	6 を指す
128	82	話者 C15	<これが::><{>[カードを見せる].	6 を持ちあげて見せる
129	81-2	話者 A15	嫌な顔するんだよね.	
130	83	話者 A15	“へっ”みたいなの.	
131	84-1	話者 C15	あつ、取れ<なくて、その後><{>,,	12 を指す
132	85	話者 B15	<これはなんか><{>.	
133	84-2	話者 C15	この::人に会ってって[カード 12], <大><{>,,	
134	86-1	話者 A15	<あつ><{>,,	
135	84-3	話者 C15	きいのに会ってってこと<かもしれない><{>.	
136	86-2	話者 A15	<ありかも><{>しれない.	5 の後に 6 を置く
137			《沈黙 1.09 秒》	
138	87	話者 B15	ん[↑].	
139	88	話者 A15	“へへ::”ってなって::, <で、わっ><{> [[.	
140	89-1	話者 C15]] <ここで><{>2 人で取れなかった<から><{>,,	8、5 を指す
141	90	話者 B15	<はい><{>.	
142	89-2	話者 C15	こっちに会って::[カード 12]みたいな[↑]?	
143			《沈黙 0.91 秒》	
144	91	話者 A15	あつ、ん::[↑].	
145	92-1	話者 B15	でも、これで、なんか、<りんご食べてる><{>,,	10 を見せる
146	93	話者 C15	<あ、そうしたら、そっちか[↑]?><{>.	10 を指す
147	92-2	話者 B15	ところを見て::<みたいなの><{>,,	
148	94	話者 C15	<あそっか[↑]><{>.	
149	92-3	話者 B15	感じの流れもできてるん..ですけど=.	
150	95	話者 B15	=これは何だろう?. <ん::><{>.	
151	96-1	話者 A15	<でもこんな><{>嫌な顔しなくない[↑]?, <“いいな::”><{>,,	6 を指す
152	97	話者 C15	<う::ん><{>.	
153	96-2	話者 A15	って思って<ても><{>.	10 を指す
154	98	話者 C15	<“いいな::”><{>うんうん.	

155	99	話者 B15	めっちゃ最初さ、仲悪かったんだよ。	6を指す
156			《沈黙 1.13 秒》	
157	100-1	話者 A15	<笑いながら>なんか,,	
158		話者 C15	<笑い>	
159	100-2	話者 A15	<笑い>なんでだよ?.	
160	101	話者 B15	え、で、仲悪くて、“皆冷たいな::、あ、りんごだ”、食べてる、“あ、あいつ食べてんじゃん”、“おい、ね、取ろうぜ取ろうぜ”、“取れね::”みたいな。	6、2と並べる、9、11、10、8、5を指す
161			《沈黙 0.87 秒》	
162	102	話者 B15	<違いますか?><[話者 C15 を見る].	話者 C15、話者 A15 を見る
163	103	話者 C15	<あ::><[笑い].	後ろに下がる
164	104	話者 A15	あ::<笑い>、すごい、<賢い><[.].	
165	105	話者 C15	<それがはじめて><[笑い].	口を手で覆う、話者 B15 を指で指す
166	106	話者 B15	<笑いながら>すごく [↑]?	
167	107	話者 A15	<賢い><[.].	
168	108	話者 C15	<<笑いながら>はじめから><[そんな.	5を指す
169	109	話者 A15	あっ、そうだ::、絶対そうだよ::.	
170	110-1	話者 B15	ほら、<最初はちょっと><[.],,	6、2、9、11、10、8、5と並べる
171	111	話者 C15	<そこでね::><[.].	
172	110-2	話者 B15	仲悪いんだよ、多分.	
173			《沈黙 0.71 秒》	
174	112	話者 B15	こうなって::[カード並びを整える].	
175	113-1	話者 A15	で、“ラッキーりんご食べれ<る::”><[.],,	11を指す
176	114	話者 B15	<うん><[.].	
177	113-2	話者 A15	みたいな.	
178	115	話者 B15	そうそうそう<そう><[.].	カードをずらす
179	116	話者 C15	<あっ><[.], それでここで取ろうとしたけど取れなくて、でも落ちてきたから食べれた[カード 9,11 を指す,話者 A15 と話者 B15 を見る].	9、11を指す、話者 AB を見る
180			《沈黙 0.85 秒》	
181	117-1	話者 A15	でもりん<ごが::><[.],,	9を指す
182	118	話者 B15	<あ、でもりんご><[.], <でも取れ<んっ><[.],	9を指す
183	117-2	話者 A15]] <ここ [カード 9 を指す]><[.], <に::ない.	
184			《沈黙 1. 07 秒》	
185	119-1	話者 B15	あっ、<取る><[.],,	
186	120-1	話者 C15	<ん[↑]><[.],,	
187	119-2	話者 B15	ところが省略されてる<笑いながら>みたいな.	
188	120-2	話者 C15	か、<っつか落ちてるってこと><[.],,	
189	121-1	話者 A15	<だって、ほら、みつ><[.],,	
190	120-3	話者 C15	かなって.	11を指す
191	121-2	話者 A15	<3 つ><[.],,	11を指す
192	122	話者 C15	<あ::><[.].	
193	121-3	話者 A15	あって、こっちも 3 つだから::.	
194	123	話者 C15	あっ、そっか::.	
195	124	話者 A15	きっとこれは優しいお兄ちゃんが《沈黙 1. 01 秒》手伝ってあげようとしたのではないですか[↑]?	9を動かす
196			《沈黙 1.56 秒》	
197	125	話者 A15	それから、この岩どうしよう?.	12を取る
198	126	話者 C15	岩、岩::《沈黙 3.97 秒》岩やっぱ::足踏み<台に::[↑]><[.].	3を取る
199	127	話者 B15	<はい><[.], え::,<そう><[.].	カードを手で押さえる
200	128-1	話者 A15	<踏み台><[.], <だけど,,	
201	129	話者 C15	踏み台ね.	
202	128-2	話者 A15	踏み台、で、きっとこれはこうだと思のね[↑]><[.].	3、7と並べる
203	130	話者 C15	<うんうんうん><[.].	
204	131	話者 A15	この順番はこうでしょ[↑]?	
205			《沈黙 0.75 秒》	
206	132	話者 B15	ん[↑], ここを[↑]?	12、3、7を指す
207			《沈黙 0.97 秒》	
208	133	話者 B15	ん[↑], じゃ、なんか、“お::い取れよ”みたいな.	話者 A15 は 3、7、12と並べる
209	134	話者 B15	<笑いながら>“何でだよ、取れね::よ”って.	12、3、7を指す
210	135-1	話者 B15	<あっ、あっ><[.],,	
211	136	話者 A15	<こうじゃない[↑]><[.].	
212	135-2	話者 B15	そうだ、“え::取れない”ってて、“取れよ”、“取れないよ”.	
213			《沈黙 1.62 秒》	
214	137	話者 A15	じゃない[↑]?	カードを手で押さえる
215	138	話者 B15	うん、<そうだね><[.].	
216	139	話者 C15	<うんうん><[.].	

217	140	話者 A15	で、結局::こうして:: 《沈黙 0.91 秒》	12 後に 9 を置く
218				
219	141	話者 B15	あ、でもこれで、なんか、見えてきた感じ《沈黙 1.00 秒》しませんか[↑]?	
220	142-1	話者 B15	こうなって、こうなって、<こうなって>{<},,	3、7、12、9 をずらす
221	143	話者 C15	<うんうん>{>}	
222	142-2	話者 B15	<こうなって::>{<}	
223	144-1	話者 C15	<こうなって::>{>},,	9 の後に 1、4 を置く
224	145-1	話者 A15	時間<軸>{<},,	
225	144-2	話者 C15	<こう [↑]?>{>}	
226	145-2	話者 A15	違うんだけど。	
227		話者 B15	<笑い>	カードを少しずらす
228	146	話者 A15	あ、<こんな感じですか [↑]?>{<}	
229	147	話者 B15	<え、なんか:::>{>}なんか、分からなくもない。	カードの並びを整える
230			《沈黙 1.87 秒》	6、2、11、10、8、5、3、7、12、9、1、4
231	148	話者 C15	で::、ん[順番にカードを指しながら小さい声で呟く]。	カードを指で指す
232			《沈黙 4.77 秒》	話者 B15 がカード並びを整える
233	149	話者 B15	ま、これがちょっと、やっぱり。	9 を指す
234			《沈黙 1.23 秒》	
235	150	話者 C15	う::ん。	
236			《沈黙 2. 16 秒》	
237	151	話者 B15	もう<笑いながら>岩。	3、7、12 を指す
238	152-1	話者 B15	ま、でも創<造力に>{>},,	
239	153	話者 C15	<あ、でも>{>}	
240	152-2	話者 B15	#####	
241			《沈黙 0.91 秒》	
242	154	話者 B15	ん[↑]。	
243			《沈黙 2.57 秒》	
244	155	話者 C15	あ<でもこっ>{<} [I.]	
245	156	話者 A15]] <性格>{>}が悪い::。	10 を指す
246			《沈黙 0.77 秒》	
247	157	話者 B15	<笑いながら>性格悪い。	
248		話者 C15	<笑い>	
249	158	話者 A15	はい、とぼとぼ::、“ラッキーりんご落ちてる::”。	順番に 2、11 を指す
250	159	話者 C15	食べてて::。	
251	160	話者 A15	“あ、いいな、取ろうよ”、“取れな::い”、“これ動かそう”、“何してんだよ”、“あ::、無理”。	順番に 8、5、3、7、9 を指す
252	161	話者 B15	<笑い>そこ<やっぱ違う>{<}	
253	162	話者 C15	<うん、あ、で>{>}、1 人じゃ取れないけど、ま::、2 人で取れましたよみたいな[↑]?	9、1 を指す、話者 A15、B15 を見る
254			《沈黙 0.81 秒》	
255	163-1	話者 C15	ちびっ..ちっちゃいの 2 つだと::、取れないけど::、し、1 人、大きい 1 つでも取れないけど::、大きいのとちっちゃいのでなんとか取れました[↑],,	1、9 を指す
256	164-1	話者 A15	[手をたたく]いいお<話>{<},,	手をたたく、話者 B15 を見る
257	165	話者 B15	<うん>{>}	うなずく
258	164-2	話者 A15	じゃ<ないですか>{<}	
259	163-2	話者 C15	<って感じ [↑]>{>},,	
260	166	話者 B15	<ま::、そうです>{>}ね::、うん<うんうん>{<}	
261	163-3	話者 C15	<かな [↑]?>{>}<笑い>。	
262	167	話者 A15	い..言いたかったこと《沈黙 1. 27 秒》皆で=。	
263	168	話者 B15	=何これ、<教..教訓 [↑]?>{<}	
264	169	話者 C15	<皆で助け合う>{>}的な<笑い>。	
265	170	話者 B15	あっ、教訓とかも探すん::の?、これ。	
266		話者 C15	<笑い>	
267	171	話者 A15	皆で力を合わせようって話じゃない[↑]?	
268			《沈黙 0.87 秒》	
269	172	話者 B15	皆で力を合わせればっていう、《沈黙 0.97 秒》楽しいよっていう。	
270			《沈黙 1. 31 秒》	
271	173	話者 B15	どうでしょうか?。	
272	174	話者 A15	うん。	
273	175	話者 C15	うん。	

11. JF11

話者性別: 女

会話時間: 7.12 分

ライン 番号	発話文 番号	話者	発 話 内 容	動作
1	1	話者 C16	これを並べ替えるん..<ですよ><{>.	
2	2	話者 B16	<あつ, はい><{>.	
3	3	話者 A16	ですね.	
4	4	話者 B16	##ますよね.	
5	5	話者 C16	絵がかわいい<軽く笑い>.	
6		話者 B16	<軽く笑い>	
7	6	話者 A16	本当だ, 何だろう?, これ.	
8	7	話者 A16	卵みたいな.	
9	8	話者 B16	15 分.	
10			《沈黙 20.76 秒》	荷物を席に置いて、カードを見る
11	9-1	話者 A16	ふ::ん《沈黙 5.14 秒》まず::最初にこいつ<らが><{>,,	椅子に座る、2、3 を指す
12	10	話者 C16	<うん><{>.	
13	9-2	話者 A16	合流してるのと,,	
14		話者 B16	<笑い>	
15	9-3	話者 A16	して<ないのと<軽く笑い>><{>,,	
16	11	話者 C16	<そうです><{>よね.	
17	9-4	話者 A16	た<ぶん><{>,,	
18	12	話者 B16	<うん><{>.	
19	9-5	話者 A16	前後がありますよね.	
20			《沈黙 2.15 秒》	
21	13	話者 B16	[小さい声で]りんごの木と岩の上[↑]?	
22	14-1	話者 A16	登場人物ごとに<替えてみ><{>,,	
23	15	話者 B16	<うん><{>.	
24	14-2	話者 A16	<ます::[↑]?><{>.	9、8 と並べる
25	16	話者 C16	<うん><{>.	
26			《沈黙 1.47 秒》	
27	17	話者 B16	どんどん人数が増えていく.	
28	18	話者 A16	うん, まず, 1 匹が<来て><{>.	
29	19	話者 B16	<1 匹><{>, <2 匹><{>.	1 を動かす
30	20	話者 A16	<1 匹><{>言っているのか[↑]?<笑い>.	
31		話者 B16	<笑い>	
32	21	話者 C16	りんごが取れるのは最後の..ハッピーエンド的な<感じですよ>, きっと><{>.	4 を取る
33	22-1	話者 B16	<あ::, つばいですね><{>,,	
34	23	話者 A16	<あ::, つばいですね, 最後つばい><{>.	4 を指す
35	22-2	話者 B16	うん.	
36			《沈黙 3.61 秒》	
37	24-1	話者 C16	これがやっぱり出会う,,	6 を見せる
38	25	話者 A16	う::ん.	
39	24-2	話者 C16	ところです<かね?><{>.	
40	26	話者 B16	<うん><{>.	
41	27	話者 A16	すごい, それつばい.	6 を受け取る
42			《沈黙 4.94 秒》	
43	28	話者 A16	こう, ふっ..いない時まずね, なんか, ちっちゃいやつ.	9 を指す
44	29	話者 C16	あつ, <本当だ><{>.	
45	30	話者 B16	<本当><{>.	
46			《沈黙 0.7 秒》	
47	31-1	話者 C16	でも 2 人頑張ってる..のも<あれか><{>,,	5 を指す
48	32	話者 B16	<うんうんうん><{>.	
49	33	話者 A16	<はい><{>.	5 を受け取る
50	31-2	話者 C16	最初= [[.	
51	34	話者 A16	[[=2 人で頑張ってる::, おっきいのが来て::.	9 を動かす
52	35	話者 C16	でも, 石も.	7 を取る
53	36	話者 A16	そう, この石どうすればいい?.	3 を取る
54	37	話者 B16	ふ::ん《沈黙 0.95 秒》主人公ってこの一番おっきいやつなんですかね?[話者 C16 を見る].	11 を指す、話者 C16 を見る
55		話者 A16	<笑い>	
56	38-1	話者 C16	つばいですよ>, なんか, 私も<大きいのが主人公なのかな><{>,,	うなずきながら話者 B16 を見る

57	39	話者 A16	<なんか<笑いながら>うん、ね>>>{>.	
58	40	話者 B16	<主人..主人公って<笑い>>>{>.	
59	38-2	話者 C16	みたいな.	
60	41-1	話者 A16	じゃ、おっ..石は::それ<ぞれ>>>{>,,	話者 C16 から 7 を受け取る
61	42	話者 C16	<うん>>>{>.	
62	41-2	話者 A16	<各々>>>{>,,	
63	43	話者 B16	<うん>>>{>.	
64	41-3	話者 A16	がやって::, できなかったんだけど::, りんごは::一緒にやった::, 取れた<とか[↑]?>>>{>.	7、3 を動かす
65	44	話者 B16	<“できた>>>{>”みたいな.	
66			《沈黙 7.22 秒》	
67	45-1	話者 B16	<岩>>>{>,,	
68	46	話者 A16	<けっこう>>>{>難しい.	
69	45-2	話者 B16	岩,<りんご>>>{>.	
70	47	話者 C16	<うん>>>{>.	
71			《沈黙 1.43 秒》	
72	48	話者 A16	こいつ 1 人で食べてる時は.	10 を指す
73		話者 C16	<笑い>	
74		話者 B16	<笑い>	
75		話者 A16	<笑い>	
76	49	話者 B16	届いちゃった<笑い>.	
77		話者 A16	<笑い>	
78			《沈黙 5.15 秒》	
79	50	話者 C16	ふ::ん.	
80	51	話者 A16	ふ::ん.	
81			《沈黙 1.95 秒》	
82	52	話者 C16	届かなくて::.	9 を指す
83	53	話者 B16	うん.	
84			《沈黙 2.49 秒》	
85	54	話者 A16	<笑いながら>何それ?[カード 11].	11 を指す
86		話者 C16	<笑い>	
87	55	話者 B16	<軽く笑い>見つけた[↑]?<笑い>.	
88			《沈黙 1.59》	
89	56-1	話者 A16	食べちゃったから::.	10 を指す
90	57	話者 B16	うん.	
91			《沈黙 0.79 秒》	
92	58-1	話者 B16	あっ,,	
93	56-2	話者 A16	一緒に<取って::>>>{>,,	1 を指す
94	58-2	話者 B16	<[小さい声で]食べて>>>{>.	
95	56-3	話者 A16	“やった::”<みたいな>>>{>.	4 を指す
96	59	話者 B16	<やっ>>>{><た::>>>{>.	
97	60	話者 C16	<あ::>>>{>.	
98			《沈黙 1.39 秒》	
99	61	話者 C16	そうすると、じゃ、この辺に来るのかな[↓]?.	1 を 4 前に置く
100			《沈黙 1.72 秒》	
101	62	話者 A16	うん.	10、1、4 と並べる
102			《沈黙 1.89 秒》	
103	63	話者 B16	この岩は何だろう?.	7 を指す
104			《沈黙 3.26 秒》	
105	64	話者 B16	そっちが、でも、最後ですよ.	10、1、4 を指す
106	65	話者 A16	う::ん=.	
107	66	話者 C16	=うん.	
108			《沈黙 7.44 秒》	
109	67	話者 B16	でも岩はみんなでやってるシーンがあんまりない.	
110	68	話者 A16	ない.	
111	69	話者 C16	うん.	
112			《沈黙 7.06 秒》	
113	70	話者 A16	なんか、嫌そうですね.	6 を指す
114	71-1	話者 C16	<笑い>なんか、険悪な<雰囲気>>>{>,,	6 を指す
115	72	話者 B16	<<笑い>う::ん>>>{>.	カードを動かす
116	71-2	話者 C16	が漂ってるっていうか.	
117			《沈黙 1.02 秒》	
118	73	話者 A16	あっ,《沈黙 0.98 秒》<笑いながら>食べられて一回嫌な顔する[↑]?<軽く笑い>.	10、6、1、4 と並べる
119			《沈黙 2.66 秒》	
120	74	話者 C16	あ::.	
121			《沈黙 2.75 秒》	
122	75	話者 B16	ん, 1 番の時..のこいつ<笑いながら>どっかに行っちゃってるのかな[↓]?.	1 を指す
123	76	話者 A16	確<かに>>>{>.	

124	77	話者 B16	<どこ>{>}にいるの[[]]?,	
125			《沈黙 0.87 秒》	
126	78	話者 A16	うん, なんか, いたりいかなかったり<する>{<},	自分の前に残りのカードを並べる
127	79	話者 B16	<う::ん>{>},	
128	80	話者 A16	何それ, これ[[]]?,	8、5を見る
129			《沈黙 4.30 秒》	
130	81	話者 C16	<ん::>{<},	
131	82-1	話者 A16	<でもりんごに>{>}関してはけっこう一連の話が<これででき>{<},,	カードを一列に並べる
132	83	話者 B16	<う::ん>{>},	
133	82-2	話者 A16	そう,	
134			《沈黙 0.90 秒》	
135	84	話者 C16	問題は石<ですね>{<},	
136	85	話者 B16	<石が>{>},	
137	86	話者 A16	<<笑いながら>石>{>},	
138		話者 C16	<笑い>	
139	87	話者 B16	ふ::ん, 《沈黙 1.61 秒》届かない,	
140			《沈黙 6.09 秒》	
141	88	話者 B16	りんご,	
142			《沈黙 3.75 秒》	
143	89	話者 B16	岩が<笑い>.	
144	90	話者 A16	岩が<笑い>.	
145			《沈黙 6.70 秒》	
146	91	話者 B16	岩は::おっきいやつでも 1 人じゃ動か<せない>{<},	
147	92	話者 C16	<うん>{>},	
148	93	話者 A16	<うん>{>},	
149			《沈黙 2.90 秒》	
150	94-1	話者 C16	ここで 3 人で動かしてるシーンがあれば<笑い>,,	全体を指で指す
151	95	話者 B16	う<::ん>{<},	細かくうなずく
152	96	話者 A16	<ね::>{>}<あれば>{<},	
153	94-2	話者 C16	<繋がるのに>{>},	
154	97	話者 B16	<それはそれで>{>}ハッピーエンド<笑い>.	うなずきながら話者 C16 を見る
155	98	話者 C16	<笑い>うん.	
156		話者 A16	<笑い>	
157			《沈黙 3.56 秒》	
158	99	話者 A16	ふ::ん,	
159	100	話者 B16	でもこれもこれも 1 つの話なんですね::,	円を描くように全体を指す
160	101	話者 A16	うん.	
161			《沈黙 6.58 秒》	
162	102	話者 B16	ん::,	
163	103-1	話者 C16	ん::, 《沈黙 1.13 秒》2 人でやってて::, 困ってるどこに来て::,,	3、7を指す
164	104	話者 B16	うん.	
165	103-2	話者 C16	“じゃ, 僕が動かしてあげよう”みたいになっ<て>{>}{<},,	12を指す
166	105	話者 B16	<うん>{>},	
167	106	話者 A16	うん.	
168	103-3	話者 C16	っていうのもありなのかなと思ったけれど=.	
169	107-1	話者 C16	=でもそうすると, この<2 番って何なんだろう?>{>}{<},,	
170	108-1	話者 B16	<そうすると>{>}{<},,	
171	109	話者 A16	<う::ん<笑い>>{>},	
172	107-2	話者 C16	みたいな.	
173	108-2	話者 B16	こうやって動かせない<笑いながら><みたいな>{<},,	3、7、12、2と並べる
174	110	話者 A16	<あ::<笑い>>{>},	
175	108-3	話者 B16	感じに<なっちゃう>{>}{<},	
176	111	話者 C16	<あ::あ::,>{>}あ::, そっか.	
177		話者 A16	[咳払いの音]	
178			《沈黙 3.47 秒》	
179	112-1	話者 B16	で, それでこっちに行く[↑],,	9を取る
180	113	話者 A16	う::ん.	
181	112-2	話者 B16	の<かな::[↑]?>{<},	
182	114	話者 C16	<うん>{>},	
183			《沈黙 1.55 秒》	
184	115	話者 A16	う::ん, ここ [カード 2]とここ [カード 9]があまりつながらない<ですね>{<},	2、9を指す
185	116	話者 B16	<うん>{>},	
186	117	話者 C16	うん.	
187			《沈黙 2.33 秒》	
188	118-1	話者 C16	これって[カード 7]やっぱりあれなのかな?, “石に上ってりんごを取りたい”,,	7を指す

189	119	話者 B16	あ::<あ::><.>.	
190	120	話者 A16	<あ::><.>.	
191	118-2	話者 C16	<っていう><.>, あれなのかな?, と思ったけれど.	
192	121-1	話者 A16	したら間に[↑],,	
193	122	話者 C16	でも<あいつ><.> [[.	
194	121-2	話者 A16]] <入れる><.>かな[[?.	
195	123	話者 B16	そうしたらこの[カード 5]後にこう[カード 3]来たりとか.	8、5を指す
196	124	話者 C16	あ::あ::.	
197	125	話者 A16	うん.	
198			《沈黙 4.80 秒》	
199	126-1	話者 C16	うん, でも今一, なんか, <よく分かんない><.>,,	
200	127	話者 B16	<うん><.>.	
201	126-2	話者 C16	すっきり繋がらない.	
202			《沈黙 1.42 秒》	
203	128	話者 B16	ここに入れてみるとこう[↑]? 《沈黙 3.23 秒》 ふ::ん.	9、8、5を動かす
204			《沈黙 10.04 秒》	
205	129-1	話者 A16	最初は取れなくて::,,	9、8、5を指す
206	130	話者 B16	う::ん.	
207	131	話者 C16	うん.	
208	129-2	話者 A16	石も動かさなくて::, でもたまたまラッキーで食べて::,,	3、7、12、2を指す
209	132	話者 B16	<笑いながら>うん.	
210	133	話者 C16	<笑いながら>うん.	
211	129-3	話者 A16	一人で食べたから嫌われて::, 一緒に取ったら, みんな食べれた<みたい><.>.	10、11、6、1、4を指す
212	134	話者 B16	<う::ん><.>.	
213	135	話者 C16	うん.	
214			《沈黙 2.44 秒》	
215	136-1	話者 A16	そうしたら, 一応話は,,	
216	137-1	話者 B16	まど<.>ハッピーエンドに><.>,,	話者 C16を見る
217	136-2	話者 A16	<まどまるかな[[?><.>.	
218	137-2	話者 B16	<は<笑い>><.>.	
219	138	話者 C16	<ハッ><.>ビーエンド<笑い>.	
220	139	話者 B16	はい.	
221			《沈黙 3.92 秒》	
222	140	話者 B16	はい.	
223	141	話者 A16	う::ん.	
224	142	話者 B16	今何分だろう?.	
225	143-1	話者 B16	時計見るのを<忘れちゃ><.>,,	
226	144	話者 C16	<ね><.>.	周りを見る
227	143-2	話者 B16	った<笑い>.	周りを見る
228	145	話者 A16	<笑い>本当だ, 分からなくなっちゃった.	周りを見る
229			《沈黙 6.85 秒》	
230	146	話者 C16	絵がかわいい<軽く笑い>.	
231	147	話者 B16	う::ん<笑い>.	
232		話者 A16	<笑い>	
233			《沈黙 8.52 秒》	
234	148	話者 C16	これってこの後ストーリーを発表したりするんですかね?.	
235	149-1	話者 A16	<ん::><.>,,	
236	150	話者 B16	<あ, 確かに><.>.	話者 C16を見る
237	149-2	話者 A16	確かに<笑い>.	話者 C16を見る
238	151	話者 B16	こう思いましたみたいな.	話者 C16を見る
239	152	話者 C16	“私たちが作った”みたいな<笑い>.	話者 B16を見る
240		話者 A16	<笑い>	
241		話者 B16	<笑い>	
242	153	話者 B16	どう<なんだろう?><.>.	
243	154	話者 C16	<なんか, 授業><.>みたい<笑い>.	
244		話者 A16	<笑い>	
245			《沈黙 2.84 秒》	
246	155	話者 A16	面白い.	
247			《沈黙 5.95 秒》	
248	156-1	話者 B16	ん, でも逆にこれ以外があまり思い::,,	
249	157	話者 A16	ね.	
250	156-2	話者 B16	<つかないよね><.>.	
251	158	話者 C16	<う::ん><.>.	
252	159	話者 A16	<思いつ><.><かない><.>.	
253	160	話者 B16	<ね, なんか,><.>これがいいっていう.	

12. JF12

話者性別: 女

会話時間: 13.18 分

ライン 番号	発話文 番号	話者	発 話 内 容	備考
1	1-1	話者 A17	これを[↑]..<ストーリー>{<},,,	
2	2	話者 B17	<これを>{>}.	
3	1-2	話者 A17	にする∴.	
4	3	話者 C17	ですよ<軽く笑い>.	
5		話者 A17	<軽く笑い>	
6		話者 B17	<軽く笑い>	立ち上がる
7	4	話者 A17	へ∴.	話者 C17 が立ち上がる
8	5	話者 B17	へ∴.	
9			《沈黙 2.78 秒》	
10	6	話者 B17	全然.	
11			《沈黙 2.96 秒》	
12	7-1	話者 A17	これ∴が主人公ですかね∴?,,	10 の大きいキャラクターを指す
13			《沈黙 0.73 秒》	
14	8-1	話者 C17	そうです<よね>{<},,,	
15	7-2	話者 A17	<こ..これ>{>}.	2 を指す
16	8-2	話者 C17	いっぱい出っ.	
17	9	話者 B17	確かに.	
18			《沈黙 2.91 秒》	全体をみる
19	10	話者 A17	ん∴.	
20	11-1	話者 C17	なんか、この..りんごの..絵のやつと,,	11 を指す
21			《沈黙 1.13 秒》	
22	12	話者 A17	<確かに>{<}.	2 を指す
23	13	話者 B17	<あ∴>{>}, これは [[.	
24	11-2	話者 C17]] =よく分からない<笑い>.	9 を指す
25		話者 B17	<笑い>	
26	14	話者 C17	<笑いながら>#####.	
27		話者 A17	<笑い>	
28	15	話者 B17	そうです、そうですね.	
29	16	話者 A17	じゃ、りんごのほうさきにこう、なんか.	同類のカードを取りだす(1、8、9、5、11)
30	17	話者 B17	行きますか[[]?).	
31	18	話者 A17	これで∴.	同類のカードを取りだす
32			《沈黙 3.13 秒》	
33	19	話者 A17	これもりんご[↑]?).	4 を指す
34	20	話者 B17	うん、取れた=.	
35	21	話者 C17	=取れた<笑いながら>みたいですよね.	
36			《沈黙 2.61 秒》	
37	22	話者 A17	ふ<∴ん>{<}.	
38	23	話者 B17	<ね>{>}, この子たちはどこから出てくるんですかね?.	6 を指す、話者 A17 に近づいて机の正面に回る
39	24	話者 C17	どこにいますかね?=.	
40	25	話者 C17	=一番最初ここ[カード 8]にはいます<よね>{<}.	8 を指す
41	26	話者 B17	<います∴>{>}.	
42	27	話者 A17	本当だ 《沈黙 2.30 秒》 へ∴.	
43			《沈黙 2.30 秒》	
44	28	話者 B17	[大きい声で]へ∴[↑].	
45	29	話者 A17	<軽く笑い>あっ、これ、でも、りんご食べてる.	10 を指す
46	30	話者 C17	ってこと、あ、じゃ、これっこの後になりますかね?.	4 の横に 10 を並べる
47	31	話者 B17	そうですね.	
48			《沈黙 2.33 秒》	
49	32	話者 B17	でもりんご取って食べる[↑]..感じ[↑]?, 取れた<やっ>{<} [[.	
50	33	話者 C17]] <とっ>{>}, ん[↑].	カードをずらす
51	34	話者 B17	<なん>{<} [[.	
52	35	話者 A17]] <でも>{>}, なんか、羨ましそうにしてる∴.	10 を指す
53	36	話者 B17	あっ、<そうっか>{<}.	
54	37	話者 C17	<あっ>{>}, 本当だ.	
55	38	話者 B17	<へ∴>{<}.	

56	39	話者 A17	<“あっ”>{>}み<たいな>{<}. 57 40-1 話者 C17 <あっ>{>}, で, あ[↑],, 58 41 話者 A17 あ, で, 取ってあげたのか<な::[↓]>{<}?. 59 40-2 話者 C17 <あっ[↑]>{>}, あ, でもここで落ちてるのがあり..ある<ってことは::>{<}. 11 を指す 60 42 話者 B17 <あっ, 本当だ>{>}. 61 43 話者 A17 一人で食べてるし. 手でカード 9 を指す 62 44 話者 B17 ふ::ん. 63 《沈黙 2.30 秒》 64 45 話者 A17 あれ[↑]. 65 《沈黙 1.25 秒》 66 46-1 話者 C17 これ::で,, 10 を取る 67 47 話者 B17 はい. 68 46-2 話者 C17 こうして, <“いいな”>{<},, 11 の横に 10 を並べる 69 48 話者 A17 <そうだね>{>}. 70 46-3 話者 C17 <ってなって>{<},, 71 49 話者 B17 <う::ん>{>}. 72 50 話者 A17 なって::. 73 46-4 話者 C17 取ろうとしたんだ<けど::>{<}. 74 51 話者 B17 <取ろう>{>}<としっ>{<} II. 75 52 話者 A17 II <あっ>{>}, これ発見してる. 8 と 4 の間に 5 を並べる 76 53 話者 A17 発見して, 取ろうと<してる>{<}. 77 54-1 話者 C17 <として>{>}るけど::, このちっちゃいの 2 つ<だと>{<},, 5 に手を伸ばす 78 55 話者 B17 <2 つだと::>{>}取れない. 79 54-2 話者 C17 取れない. 80 56 話者 A17 取れない. 81 57 話者 B17 1 人でも取れなくて::. 82 《沈黙 1.91 秒》 83 58-1 話者 C17 協力する<と::>{<},, 84 59 話者 B17 <して>{>}取れる[↑]?. 1 を 9 の近くに動かす 85 58-2 話者 C17 取れるんですね. 86 《沈黙 0.82 秒》 87 60 話者 A17 あ::, なるほど, じゃ, こうかな[↓]?. 8、5、9、1 と並べる 88 《沈黙 5.82 秒》 89 61 話者 B17 確かに. 90 《沈黙 1.51 秒》 91 62 話者 A17 あっ, “どうしたんだい[↑]?”みたいな. 6 を指す、12 の左側に置く 92 《沈黙 1.94 秒》 93 63 話者 B17 あ<::あ::>{<}. 94 64 話者 C17 <あ::>{>}あ::. 95 65 話者 B17 これ, これ困ってて::, “どう<したの[↑]?”>{<}. 机の正面の角まで移動 96 66-1 話者 C17 <この>{>}, この山が,, 3 を指す 97 67 話者 B17 <えっ, この山分らない>{<}. 12 を指す 98 68 話者 A17 <分らない, 確かに>{>}. 99 66-2 話者 C17 <謎>{>}なんですよね::. 100 《沈黙 2.15 秒》 101 69 話者 B17 こうじゃない[↑]?. カードを動かして並べる 102 《沈黙 2.78 秒》 103 70 話者 A17 ふ::ん. 104 71 話者 B17 こうかな[↓]?. 6、7 とを並べ替える 105 《沈黙 1.94 秒》 話者 C17 が机の正面に移動 106 72-1 話者 B17 [大きい声で]ん[↑],, 107 73 話者 A17 ふ::<ん>{<}. 108 72-2 話者 B17 <1 人>{>}で歩いてて::. 109 《沈黙 3.84 秒》 110 74 話者 B17 へ::, 1 つのストーリーですよ, <これ>{<}. 111 75 話者 A17 <う::ん>{>}. 112 話者 B17 <笑い> 113 76 話者 A17 1 個にしなきゃいけないから::. 114 77 話者 B17 ん::. 115 78-1 話者 C17 この::よくわっ..この::塊みたいなのは,, 7、12 を指す 116 79 話者 B17 うん. 117 78-2 話者 C17 このおっかいほうでも動<かしくいっていう>{<},, 118 80 話者 A17 <動かしにくい>{>}. 119 78-3 話者 C17 こと<ですよね>{<}. 12 を指す 120 81 話者 B17 <うん, うん>{>}うんうん. 121 82 話者 A17 そっか::.
----	----	--------	--

122	83	話者 B17	結局, でも, 動いた感じしないですよ, それ.	
123			《沈黙 0.95 秒》	
124	84	話者 C17	あ<きらめる的な><{>.	
125	85	話者 A17	<やってみて諦めた><{>のか::[↓].	
126		話者 B17	<笑い>	
127			《沈黙 2.87 秒》	
128	86	話者 B17	へ::[↑].	
129			《沈黙 3.34 秒》	
130	87	話者 A17	え::と::, あっ, ん[↑], ん::[↓] 《沈黙 3.52 秒》これとりんご, とりあえず結びつかせないといけない<から::><{>.	9, 3 を指す
131	88	話者 B17	<う::ん><{>.	
132			《沈黙 3.86 秒》	
133	89	話者 B17	これに..これを持って取ろうとしたのかな[↓]?, この子たち.	8 を指す, 少しカードをずらす
134	90	話者 C17	その..<<それはここ><{> [↓].	7 を指す
135	91	話者 A17]] <あ::, この台に><{>登ろうとしたのかな[↓]?	3 を指す
136	92	話者 B17	う::ん.	
137	93	話者 C17	こういうことですかね?.	7 を指す
138	94	話者 A17	あ::, あ, なる<ほど><{>.	
139	95	話者 B17	<う::ん><{>.	9 を 6 の左に動かす
140			《沈黙 2.02 秒》	
141	96-1	話者 B17	で::, 取れなくて, 結局[↑], これで,,	1, 4 を指す
142	97-1	話者 C17	やってみたら,,	
143	96-2	話者 B17	取れたみたいないな<感じ><{>.	
144	97-2	話者 C17	<取れた><{>的な感じですかね?.	話者 A17 がカードをずらす
145			《沈黙 1.42 秒》	
146	98	話者 A17	って<ことは::><{> [↓].	
147	99	話者 B17]] <ん::で><{>, 《沈黙 1.33 秒》ん::で[↑].	3 を 5 の後に並べ替える
148	100	話者 A17	ん::で, え, これいつもこれ:: 《沈黙 1.53 秒》やろうとしてる.	12 を 7 の上に重ねる
149			《沈黙 2.86 秒》	
150	101	話者 A17	あっ[カード 3 の後に 6,7 を置く].	
151			《沈黙 2.51 秒》	
152	102-1	話者 B17	で, <“取れない”><{>.<{>,,	
153	103	話者 A17	<で, こう><{>.	
154	102-2	話者 B17	“んだよ::”.	
155			《沈黙 1.99 秒》	
156	104-1	話者 A17	でっ, ん, で, え::と,,	
157		話者 B17	<笑い>	
158		話者 C17	<笑い>	
159	104-2	話者 A17	これはどこだろう?.	2 を真ん中に置く
160	105	話者 B17	分かんない.	2 を指す
161	106	話者 C17	これっ 《沈黙 3.52 秒》1 人で困って<ますよね::><{>.	2 を指す
162	107	話者 B17	<そうです><{>よね::.	
163	108	話者 A17	困ってる.	
164			《沈黙 1.56 秒》	
165	109	話者 A17	あっ, 1 人でも, でも取れなっ..., あ::[↑], そっか 《沈黙 6.28 秒》ん::.	9 を指す
166			《沈黙 0.77 秒》	
167	110	話者 B17	こう歩いてくるのかな[↓]?	2 を取る
168			《沈黙 0.94 秒》	
169	111	話者 A17	あっ, この間で[↑]?	3 と 6 の間を指す
170	112	話者 B17	うん.	3 と 6 の上に置く
171			《沈黙 1.69 秒》	
172		話者 B17	<軽く笑い>	
173	113	話者 A17	なんで困ってるんだろう?.	
174	114	話者 A17	りんごもう食べたよ, この子.	10, 11 を指す
175	115	話者 B17	確かに 《沈黙 3.55 秒》へ::[↑].	
176			《沈黙 2.61 秒》	
177	116	話者 A17	難しい.	
178			《沈黙 5.54 秒》	
179	117	話者 B17	ん::.	
180			《沈黙 5.39 秒》	
181	118	話者 A17	ん:: 《沈黙 16.56 秒》<笑い>この表情が..<<よく<笑い>><{>.	2 を指す
182	119	話者 C17	<それ::><{>よく分か::, 紙[カード 2]がちよっと, この紙::[カード 12]からがちよっと難しい<ですよね><{>.	2 を指す
183	120	話者 B17	<う::ん><{>.	
184			《沈黙 1.02 秒》	
185	121	話者 A17	ふ::ん.	
186			《沈黙 7.82 秒》	

187	122	話者 B17	ん:《沈黙 2.58 秒》でも最後は 2 人も食べれて,“よかったね:”みたいな.	4 を指す
188	123	話者 A17	うん, うん[うなずく].	
189	124-1	話者 C17	これ, きっと, <エンディング的な>{<},,	4 を指す
190	125	話者 B17	<そうですよね:>{>}.	
191	124-2	話者 C17	感じですかよね>{>}.	
192	126	話者 A17	<うん>{>}.	
193			《沈黙 2.72 秒》	
194	127	話者 B17	ん:.	
195			《沈黙 2.86 秒》	
196	128	話者 C17	“やった:”と.	
197			《沈黙 4.00 秒》	
198	129	話者 A17	食べて:.	10 を指す
199			《沈黙 3.63 秒》	
200	130	話者 C17	これ[カード 11, 10]こっち[列の先頭を指す]ですかね?.	11、10 をずらす
201	131	話者 A17	うん.	
202			《沈黙 3.57 秒》	
203	132	話者 C17	こっちに来て:.	11、10 を持って、話者 B17 側に移動する
204			《沈黙 0.77 秒》	
205	133-1	話者 B17	あ:, あ:, 食べてて:, 《沈黙 1.02 秒》“いいね”つって:, “う:んとこしよ:”,,	
206	134	話者 A17	うん.	
207	133-2	話者 B17	<軽く笑い><“取れない”>{<},,	
208	135	話者 C17	<“とこしよ:”>{>}.	
209	133-3	話者 B17	“んだよ:”	カードを並べ替える
210	136	話者 A17	<軽く笑い>“取れないんだよ:”.	カードを並べ替える
211			《沈黙 3.75 秒》	話者 B17 が立ち上がって机の正面に移動
212	137	話者 A17	こうなって[↑]?	カードを一線に並べて、下げる
213			《沈黙 2.37 秒》	
214	138	話者 B17	で, こいつは[↑]?	2 を指す
215	139	話者 C17	ここが空いちやってるのは変ですよ.	6 と 7 の間を指す
216	140	話者 C17	ここが, <あ:>{<}.	
217	141	話者 B17	<あ, そっか>{>}.	
218	142	話者 A17	ここが:, 《沈黙 1.32 秒》ね, なんか.	
219			《沈黙 2.35 秒》	
220	143-1	話者 A17	あつ, すご:い,,	6 を指す
221	144	話者 C17	すねてる的な.	
222	143-2	話者 A17	すねてるけど, なんか, 戻って.	7 を指す
223		話者 B17	<笑い>	
224		話者 A17	<笑い>	
225			《沈黙 1.03 秒》	
226	145	話者 C17	ここ:に入れるとかどうですか[↑]?	8 を動かす
227			《沈黙 2.24 秒》	
228	146	話者 B17	こう, こういうことですか[↑]?	10 の後に 6 を入れる
229			《沈黙 0.93 秒》	10、6、8、5
230	147	話者 A17	<あ:あ:あ:>{<}.	
231	148	話者 B17	<食べてて:>{>}, <“いいな:”つって>{<}.	
232	149	話者 C17	<“いいな”みたいな>{>}.	
233	150	話者 A17	“いいな:”つって<なっ>{<} 【.	
234	151	話者 C17	】 <“食べ>{>}たかったのに”みたいな.	
235			《沈黙 3.42 秒》	
236	152	話者 A17	なるほど.	
237			《沈黙 1.85 秒》	
238	153	話者 B17	なんか, 取れなかったから, “ん:”<“みたいな”>{<}.	2 指しながら、カードを動かす
239	154-1	話者 A17	<“ん:>{>}, <どうしよう?”つって感じは>{<},,	2 を受け取って 9 の後に置く
240	155	話者 C17	<あ:, “どうしよう?”>{>}.	
241	154-2	話者 A17	ある, 確かに.	
242			《沈黙 4.45 秒》	
243	156	話者 B17	[小さい声で]ここ:[↑].	カードをずらす
244			《沈黙 8.84 秒》	
245	157-1	話者 A17	取れなくて:, 《沈黙 1.26 秒》こっち..の 2 人は<やって見>{<},,	9、2 を指す
246	158	話者 B17	<あつ, そっか>{>}.	
247	157-2	話者 A17	てるの[↑]?	5 を指す
248			《沈黙 4.85 秒》	
249	159	話者 C17	ここもちょっと飛んじやってますよね, お話的に.	12 を指す
250	160	話者 A17	た<しかに>{<}.	

251	161	話者 B17	<う::ん>{>}, 確かに.	
252	162	話者 B17	あ, ここ[カード 12]でこれ[カード 2]も入んのかな[↑]?,	12、2 を指す
253			《沈黙 1.41 秒》	
254	163	話者 C17	あ<::>{<},	
255	164-1	話者 B17	<これで>{>},,	
256	165	話者 A17	う::ん.	
257	164-2	話者 B17	これ[↑]?,	
258	166	話者 B17	見て..なくて, “ん::”ってしたけど, “あ, 2 人で取ればいいんだ”みたいな[↑]?,	3 を 9 の前に置く
259			《沈黙 1.66 秒》	
260	167	話者 B17	それも変かな[↑]?,	カードをずらす
261			《沈黙 8.26 秒》	
262	168	話者 A17	でも, この時点でもう合流してるから一緒にやればいいのにね.	6 を指す
263	169	話者 B17	確かに.	
264		話者 C17	<笑い>	
265	170	話者 B17	でもこれも, なんか.	6 を取る
266	171	話者 A17	ブイってしたのか[↑]?,	6 を指す
267	172-1	話者 B17	どうなん..<<あ, てもどうなん>{<},,	
268	173	話者 C17	<あ::>{>},	
269	172-2	話者 B17	だろう?.	
270			《沈黙 9.28 秒》	
271	174	話者 B17	ふ<::ん>{<},	
272	175	話者 C17	<ふ::ん>{>},	
273			《沈黙 4.32 秒》	
274	176	話者 B17	やっぱり持てなくて::, すねてたのかなと思う.	
275	177	話者 C17	あ<::>{<},	
276	178	話者 A17	<あ::>{>}, なるほど.	
277			《沈黙 3.96 秒》	
278	179	話者 B17	ん::, 《沈黙 1.66 秒》なんか繋がりきってない感が.	話者 C17 を見る
279	180	話者 A17	うん.	
280	181	話者 C17	ないです.	
281		話者 B17	<笑い>	
282	182-1	話者 C17	ちょっと, なんか, もう一..<<工夫>{<},,	
283	183	話者 B17	<う::ん>{>},	
284	182-2	話者 C17	ほしいところ.	
285			《沈黙 4.82 秒》	
286	184	話者 A17	[小さい声で]で::, こうして.	
287			《沈黙 1.98 秒》	
288	185-1	話者 B17	これ<動かして>{<},,	
289	186	話者 A17	<うんうん>{>},	
290	185-2	話者 B17	みますか[↑]?,	11、10、8、5 と並べ替える
291	187	話者 B17	こう[↑]?,	111085
292			《沈黙 2.88 秒》	
293	188-1	話者 C17	これ, その 2 つ, なんか, <合わせてた>{<},,	8、5 を指す
294	189	話者 A17	<う::ん>{>},	うなずく
295	188-2	話者 C17	ほうが自然な<感じはありますよね>{<},	
296	190	話者 A17	<うんうん, 確>{>}かに.	
297			《沈黙 3.65 秒》	
298	191-1	話者 A17	だけど, 取れなく<て::>{<},,	5 を指す
299	192	話者 B17	<うん>{>},	6 を取る
300			《沈黙 1.74 秒》	
301	193	話者 B17	これ[↑]?,	
302	191-2	話者 A17	これに登ってみた<けれど>::>{<},,	話者 B17 が 3 を 5 の後に置く
303	194	話者 C17	<え, けれど>::>{>}, 《沈黙 0.81 秒》やっぱり<持てなくて>::>{<},	
304	191-3	話者 A17	<持てなくて>::>{>},	
305			《沈黙 9.07 秒》	
306	195	話者 A17	ん::.	
307			《沈黙 10.75 秒》	
308	196-1	話者 B17	う::ん, これで:: 《沈黙 0.97 秒》“どうしたの?”ってゆって::,,	6 を 3 の後に置く
309	197	話者 A17	うん.	
310			《沈黙 1.13 秒》	
311	196-2	話者 B17	で::, これ取ろうと思ったけど“持てないんだ”って言って, “取ってあげるよ”ってゆったけど, 取れないから, 運びに行って::,,	11、10、8、5、3、6、9、7、12、2、1、4
312	198	話者 A17	で.	
313	196-3	話者 B17	“ん::”って言った<笑いながら>けど, 2 人だとそれで取れました[↑]..かな[↑]?,	
314	199	話者 A17	ここ [カード 2 とカード 1], なんか, 急に飛んだよね.	両手で 2 と 1 の間を示す
315	200	話者 B17	確かに.	

316			《沈黙 1.20 秒》	
317	201-1	話者 C17	なんか、ここ《沈黙 1.00 秒》と、	7 を指す
318	202	話者 B17	はい、	
319			《沈黙 0.93 秒》	
320	201-2	話者 C17	こ..これ、こっち..<持ってくるの>{<},,	
321	203	話者 B17	<うんうん>{>}.	
322	201-3	話者 C17	どうですか[!]?.	7 を 2 と 1 の間に入れる
323	204	話者 C17	こうしっ..これ..ここで“あつ、これ..こうし..おんぶしたらいいんじゃない[↑]?”みたいな<感じの>{<}. <あ::あ::>{>}あ::.	7 を指す
324	205	話者 B17	あ、相談してる[↑]?.	7 を指す
325	206	話者 A17	してる<感...>{<}. <うんうん>{>}. <あ::>{>}, なるほど.	
326	207	話者 C17	“じゃ、どうしようか”っていうふう<になって::>{<}. <そっか>{>}, うん.	
327	208	話者 B17	《沈黙 2.19 秒》	
328	209	話者 A17	うんうんうんうん、《沈黙 2.37》うんうんうん.	
329	210	話者 C17	《沈黙 3.58 秒》	
330	211	話者 B17	[息を吸う音]これ[カード 2]こっち[カード 12 の前]のほうがいいのかな[!]?.	2、12 と並べ替える
331			えっ、これ、これとこれ..を[カード 3 を取る].	
332	212	話者 A17	あ::[カード 3 を元に戻す].	
333	213	話者 B17	あ、移動してる感じ[↑]?<笑い>.	9 を指す
334	214	話者 C17	<笑い>	
335	215	話者 A17	うん《沈黙 5.42 秒》ん::, なるほど[↑].	
336	216	話者 B17	《沈黙 2.55 秒》	
337	217	話者 A17	確かに、これ::, 《沈黙 1.12 秒》りんご, 1 回手伸ばしてみて::, 岩行って,,	5 を指す、手を挙げて見せる
338	218-1	話者 B17	うん.	
339	219	話者 A17	手::伸ばしてきて、岩行って,,	9、12 を指す
340	218-2	話者 A17	うん.	
341	220	話者 B17	《沈黙 1.86 秒》	
342	218-3	話者 A17	“じゃ::, 肩車”[↑]みたいな.	1 を指す
343		話者 B17	<軽く笑い>	
344			《沈黙 4.60 秒》	
345	221	話者 C17	このブイが、ブイが今ここで、<ちょっと浮いちゃってる感じ>{<}. <確かに、そうだ、ブイが>{>}. 《沈黙 6.38 秒》	6 を取る
346	222	話者 A17	ん、あ、ブイってされたから拗<ねた[↑]?>{<}. <あ::>{>}ブイってされたから、なんか、ちょっと寂しい.	2 を指す
347	223	話者 B17	<軽く笑い>	話者 B17 に 6 を渡す
348	224	話者 C17	<軽く笑い>	
349		話者 A17	《沈黙 1.47 秒》	
350	225	話者 B17	で、取ってあげようと思ったけど::, 《沈黙 0.82 秒》取れなくて::.	カード 9 の代わりに 6 を入れる、9 は 12 の前に入れる
351			《沈黙 1.53 秒》	
352	226	話者 A17	う::ん、あ、そんな感じかも.	カードをずらす
353			《沈黙 4.65 秒》	
354	227-1	話者 A17	そうだね、2 人で頑張ったんだだけ<ど>{<},,	5 を指す
355	228	話者 B17	<うん>{>}. “取れなかったんだだけ”って言われ<て::>{<},,	6 を指す
356	227-2	話者 A17	<<笑いながら>て::>{>}. “う::ん”,	2 を指す
357	229	話者 B17	“う::ん”.	
358	227-3	話者 A17	で::, 自分で<1 人でやってみようかな>{<},,	9 を指す
359	230	話者 B17	<“取ってあげようかな”って<軽く笑い>>{>}. って思ったけど、《沈黙 1.40 秒》“協力してみない[↑]?”ってゆって::, 《沈黙 1.33 秒》<って感じ?>{<}. <仲良し[↑]>{>}?.	1 を指す
360	231	話者 A17	仲良し.	4 を指す
361	232	話者 B17	<笑い>	
362	233	話者 C17	<笑い>	
363	234	話者 A17	どうなんだろう?.	11、10、8、5、3、6、2、9、12、7、1、4
364			《沈黙 4.11 秒》	
365	235	話者 C17	うんうんうん.	
366	236	話者 A17	いいような気はするけどな.	

378	237	話者 B17	う::ん.	
379			《沈黙 1.22 秒》	
380	238	話者 B17	今何分[↑]?	
381	239	話者 B17	もう 15 分経った.	録音機を見る
382			《沈黙 3.18 秒》	
383	240	話者 A17	本当だ.	録音機を見る
384			《沈黙 24.12 秒》	
385		話者 B17	<笑い>	
386	241	話者 A17	[話者 B17 を見上げる]完成[↑]?<笑い>.	

III-ii. ロシア語会話

1. RM01

話者性別: 男

会話時間: 8.93 分

ライン 番号	発話文 番号	話者	発 話 内 容	備考
1	1-1	話者 C21	Nu chyo 'chto'?, ya tak ponimayu, nam nado iz kartinok istoriyu sosta<vit'><{>,,	
2	2	話者 B21	<Da><{> .	
3	1-2	話者 C21	da[↑]? .	
4			《沈黙 2.70 秒》	
5	3-1	話者 A21	Poxozhe na iz mul'tika, pomnite, pro kro<tika><{>,,	
6	4	話者 B21	<Aga><{> .	
7	3-2	話者 A21	v detstve ? .	
8	5	話者 C21	Da, da .	
9	6-1	話者 B21	<Tak><{>,,	
10	7	話者 A21	<Slo><{>zhnee chem ya dumal .	
11	6-2	話者 B21	nu zdes' oni s.. e':: py'tayutsya dostat' [↑]yabloki, zdes' oni uzhe ix vzyali, e'::= .	5、4 を指す
12	8-1	話者 B21	=Tak,,	
13			《沈黙 1.47 秒》	
14	9	話者 C21	Tut i tut .	3、12 を指す
15	8-2	話者 B21	nu, koroche, tut nan 'naverno' nado kak-to sovместit', to chto o..odin chelovek ne mog vzyat' yab<loko><{>,,	
16	10-1	話者 A21	<Koroche davajte><{>,,	
17	8-3	話者 B21	no e..emu pomogli .	
18	10-2	話者 A21	nemnogo otseivat' .	カードをまとめる
19	11	話者 A21	Snachala vniz <to, chto snachala><{> .	
20	12	話者 C21	<Tak, nu, vot><{> e'to vot, tipa, kak-to tak .	8、5 を並べる
21			《沈黙 1.69 秒》	
22	13	話者 A21	Da, e'to [カード 9] snizu[↑], vot e'to [カード 2], ya dumayu, dazhe chut' li ne [↑]pervoe budet .	9、2 を指す
23			《沈黙 2.89 秒》	
24	14	話者 A21	Ya shhas 'sejchas' v konce[↑] nachnu .	
25	15-1	話者 B21	Nu vot smotri, shyol ch.. shyol on odin[↑], on <z..e'::><{>,,	2、9 を指す
26	16	話者 C21	<Ugu><{> .	
27	15-2	話者 B21	on uvidel <yabloko[↑]><{> 【 .	
28	17	話者 C21	】 <Kartoxa><{>, e'to kartoxa<笑い> .	
29	18	話者 B21	Ladno, pust' budet kartoxa<軽く笑い> .	
30	19	話者 B21	On uvidel e':: yabloki, no odin do nix <ne smog dotyanut'sya[↓]><{> .	
31	20	話者 C21	<N'::e smog><{> .	
32	21-1	話者 C21	I e'ti rebyata tozhe <oni><{>,,	8、5 を指す
33	22-1	話者 B21	<E'::><{>,,	
34	21-2	話者 C21	oni ne smogli dostat' .	
35	22-2	話者 B21	da, i oni ne.. odni nikak ne smogli dostat' .	
36	23	話者 B21	E'::, i pri e'tom[↑]= 【 .	
37	24	話者 C21	】 =Vo't, zatem idyot vot e'::to[↑] [カード 3], tipa oni kamen' py'tayutsya::, chtob <na kamen' zalez't[↓]><{> .	5 の後に 3 を置く
38	25-1	話者 B21	<Da'::, no oni><{> s':: e'.. no oni malen'kie, slaby'e, <i oni><{>,,	
39	26	話者 C21	<Da><{> .	
40	25-2	話者 B21	i oni ne mogut podni..podnyat' <[↑]kamen'><{>,,	
41	27	話者 A21	<A'::, i potom><{> on ix nashyol .	6 を動かす
42	25-3	話者 B21	a potom oni vstrechayut e'togo:: kartofel'..<笑いながら>kartofelya .	
43		話者 A21	<笑い>	
44	28-1	話者 C21	Ne'::,a mozhet, vot tak vot, shhas 'sejchas',	9 と 8 の間に 12 を入れる
45	29	話者 A21	Kartofel'ny'j <tip><{><軽く笑い> .	
46	28-2	話者 C21	<vot><{> tak[↓]? .	
47			《沈黙 3.46 秒》	
48	30	話者 C21	Vot .	
49	31	話者 A21	Nu da, da, da, da, chyo-to'chto-to' takoe poxozhee .	

50	32	話者 B21	Ya e.. shhas 'sejchas', <shha 'sejchas' podozhdi><{> .	
51	33	話者 C21	<Potom vot on><{> vstrechaet ix[↑] .	7を話者 A21 渡す
52	34	話者 B21	Net, ya dumayu, chto vot e'to [カード 3] dolzhno by't' e':: do e'togo [カード 12], potomu chto oni ne smogli, a on zdorovy', on smog .	3を12の前に置く
53	35	話者 B21	Vot tak, skoree vsego .	
54	36	話者 A21	Tak oni i v itoge ne <smogli ego vzyat'[↓]><{> .	
55	37	話者 C21	<Ne::t tak><{>, ne::, vidish', i on <ne..ne smog><{> .	12を指す
56	38	話者 A21	<Oni dostali ego><{> vot tak vot= .	1を指す
57	39-1	話者 C21	=Da::, oni vot tak dostali, <to est' im..im..im><{>,,	1を指す
58	40	話者 B21	<A tochno, da, da><{> .	
59	39-2	話者 C21	<ne udalos'><{> .	3を5の後に置く
60	41	話者 B21	<Nu, kakaya raznicza?><{>, znachit oba ne smogli podnyat' [↑]kamen' .	
61	42	話者 C21	Nu da, nu.. .	
62	43	話者 C21	Tak, e'to vniz[↑] .	1、6を重かす、カードをずらす
63			《沈黙 1.13 秒》	
64	44	話者 B21	Znaete, xotya možhno istoriyu provesti k..kak by' kak.. e':: parallel'no .	
65	45	話者 B21	To est' tipa:: kak odin shyol i <poluchaet><{> [[.	
66	46-1	話者 C21]] <Nu da::><{>, nu vot <on shyol><{>,,	2、9、12、8、5、3を指す
67	47	話者 B21	<Ugu><{> .	
68	46-2	話者 C21	i poluchilos', e'ti rebyata tozh 'tozhe' py'talis' tak dostat', potom, e't samoe, kamen' xoteli podvinut', tozhe ne poluchilos' .	
69	48	話者 C21	Po<tom chyo 'chto'?><{> .	
70	49	話者 A21	<A vot><{> eshhyo u nas e'ti tozhe dve kartinki [カード 6,7] .	
71			《沈黙 2.53 秒》	
72	50	話者 A21	Vot e'to chto-to vot ryadom, ya dumayu .	6、7を並べる
73	51	話者 A21	E'to samoe poslednee, mne kazhetsya, gde oni <tanczuyut[↑]><{> [[.	4を動かす
74	52	話者 B21]] <E't'e'to' [カード 7] naverno><{> tozhe kuda-to syuda[↑] [カード 12 と 8 の間] nado《沈黙 0.92 秒》 postavit', chto tipa oni ne znayut, chto s e'tim kamnem delat' .	7を指す、12 と 8 の間を指す
75			《沈黙 1.45 秒》	
76	53	話者 C21	Tak .	
77	54	話者 A21	Nu, blin, kak-to stranno .	
78			《沈黙 1.94 秒》	
79	55	話者 B21	Shha 'sejchas' .	
80			《沈黙 1.20 秒》	
81	56	話者 A21	To est' oni [↑]sami upali, ili oni emu ostavili[↓]? .	1、11を見る
82			《沈黙 2.59 秒》	
83	57	話者 B21	Ane [↑]pomnite, [↑]mozhno e':: ubirat' chast' e'toj kartiny'[↓]? .	
84	58	話者 A21	Net .	
85	59	話者 B21	Tochno, da[↑]? .	
86	60	話者 C21	Nu.. tipa istoriyu nado sostavit' iz 12 kartinok .	
87			《沈黙 3.28 秒》	
88	61	話者 C21	Shha::s 'sejchas', m::, da,<da><{> [[.	
89	62	話者 B21]] <Nu><{> voobshhe[↑] zdes', zdes' kak budto dva varianta razvitiya soby'tij .	
90			《沈黙 1.37 秒》	
91	63	話者 A21	Ugu, 《沈黙 0.84 秒》 nu potom oni perepletayutsya zhe .	
92			《沈黙 1.78 秒》	
93	64	話者 B21	<Tak[↓]><{> .	
94	65	話者 C21	<Oni><{> tol'ko na odnoj kartinke vot tipa vmeste .	1を指す
95			《沈黙 1.03 秒》	
96	66	話者 A21	Na dvux, tryox, <chety'ryox><{> .	4、10、6を指す
97	67	話者 B21	<Zdes'><{> voobshhe <von yabloko, prosto upalo[↓]><{> .	11を指す
98	68	話者 C21	<Slushajte, a mozhet, vot ><{> takaya fignya[↓]? .	
99	69	話者 C21	Vot snachala oni vidyat kak on [↑]est .	10を指す
100			《沈黙 1.13 秒》	
101	70	話者 A21	Tak on dostat' ix <ne mozhet><{> .	9を指す
102	71	話者 C21	<Net><{>, da::, da .	
103	72	話者 B21	Da, kstati, vpolne vozmozhno .	
104	73	話者 A21	A::, on pervy'j pop= .	10を指す
105	74	話者 A21	=Ne, podozhdi, a kak on dostal[↓]? .	
106	75	話者 C21	A zatem oni= .	10を指す
107	76	話者 C21	=Nu da, tut chyo-to'chto-to'ne, e't'e'to' samoe, ne skazano .	
108	77	話者 A21	Oni special'no, nan 'naverno' podstavili .	

109			《沈黙 0.91 秒》	
110	78-1	話者 B21	A::, vozmozchno, o..o.on sorval [↑]pervy`j e`:: oni okazalis` nedovol`ny` na <shestoj >{<},,	10、6 を指す
111	79	話者 A21	<Kak e`to>{>}? .	
112	78-2	話者 B21	kartinke[→]= [[.	
113	80	話者 A21]] =Kak on sorval? .	
114	81-1	話者 B21	Nu.. shha `sejchas`, <a>{<},,	
115	82-1	話者 C21	<A>{>},,	
116	81-2	話者 B21	on nashyol yabloko <voobshhe>{<} .	11 を指す
117	82-2	話者 C21	<nashyo::l>{>}, da .	11 を指す
118	83	話者 B21	Nu da .	
119	84	話者 B21	E`:: oni okazalis` nedovol`ny`, i on reshil im pomoch` e`:: sorvat` yabloki, mozhet by`t, kak-to tak[↑]? .	
120	85	話者 A21	Vozmozchno[↑] .	
121		話者 C21	[咳き込む音]	
122	86	話者 A21	Tochno, tochno, on nashyol[↑], 《沈黙 1.86 秒》 potom idyot dal`she, oni govoryat, “[↑]dyad`, tozhe nam dostan`[↑]”= .	11 を取る
123	87	話者 C21	=Slushajte, ya dumayu, vot tak, smotrite .	
124	88	話者 C21	Koroche tak[↑], da[↑]? .	10 を動かす
125	89-1	話者 C21	Po<tom vot gde oni>{<},,	
126	90	話者 A21	<Ugu>{>} .	10 の前に 11 を置く
127	89-2	話者 C21	[↑]kamen` py`tayutsya dostat` [話者 B21 がカード 10 の前に 11 を置く]le`:: da[↓] .	
128	91	話者 C21	Net, gde, gde tot kamen`? .	
129	92	話者 C21	Vot e`tot [カード 3] .	3 を取る
130			《沈黙 1.25 秒》	
131	93	話者 C21	Ta::k[↑] .	11、10、3 と並べる
132	94	話者 C21	Zatem 《沈黙 0.88 秒》tipa on podxodit i “v chyom delo, rebyat?”, da::[↑]?= .	3 の後に 7 を置く
133	95	話者 B21	=Nu da, da .	
134	96-1	話者 C21	A oni takie na nego nedovol`ny`e by`chat,,	7 の後に 6 を置く
135			《沈黙 0.88 秒》	
136		話者 A21	<笑い>	
137		話者 B21	<笑い>	
138	96-2	話者 C21	“ty`to s`el, kak by”,,	
139		話者 A21	<笑い>	
140		話者 B21	<笑い>	
141	96-3	話者 C21	da::, “a my` vot <ne mozhem[↓]>{<} .	
142	97	話者 B21	<“P..podsya>{>}di nas” .	
143	98	話者 C21	N..nu da .	
144	99	話者 A21	Grit `govorit`, “nu <ladno[↓]>{<} .	
145	100-1	話者 B21	<Voz>{>}mozchno, oni rasskazy`vayut emu istoriyu, kak oni <py`talys` vot tak vot sdelat`>{<},,	
146	101	話者 A21	<A:: nu vsyo, vsyo, vsyo, vsyo>{>} .	
147	100-2	話者 B21	u nix ne poluchilos` .	
148	102	話者 B21	Da, da, da, vot tak vot .	
149	103	話者 B21	I:: vsyo, i:: nu vot e`to yavno konczovka[↑] .	1 を持ち上げる
150	104	話者 A21	Stoj, tak[↑]? .	2、9、12、8、5、11、10、3、7、9、1、4
151			《沈黙 0.83 秒》	
152	105	話者 A21	<Tut, kazhetsya>{<} [[.	
153	106	話者 C21]] <Blin, chyto oni..>{>} kak-to voobshhe .	
154	107	話者 B21	Nu vot konecz[↑] .	4 を指す
155			《沈黙 1.78 秒》	
156	108	話者 A21	Poxozhe vot tak, da:: .	
157			《沈黙 1.32 秒》	
158	109	話者 A21	Podozhdi, a pochemu on grustny`j? .	2 を指す
159	110	話者 A21	Ne mog dos<tat` e`to[↓]>{<}? .	
160	111	話者 C21	<Den` ne>{>} udalsya tipa <prosto[↓]>{<} .	
161	112	話者 A21	<Ne, ne>{>}, <kazhetsya, nado peresmotret`[↓]>{<} .	
162	113	話者 B21	<Shha, shha, shha `sejchas` vot>{>} podozhdi, my` pochti m..my` prakticheski sobrali .	
163	114	話者 A21	Vot, poluchaetsya, chto on snachala ego nashyol, potom eshhyo zaxotel, net[↑]? .	2 の後に 11 を置く
164	115	話者 C21	<笑い>Da ne::t .	
165	116	話者 B21	Ne, ne::, vryad li .	
166	117	話者 B21	Potom prsto yabloko upalo= .	
167	118	話者 B21	=Vot tak, ya dumayu .	
168	119-1	話者 B21	Snachala on py`talsya za<morochit`sy>{<},,	
169	120	話者 A21	<Dumaesh`?>{>} .	
170	119-2	話者 B21	u nego nichego ne poluchilos`, a potom yabloko upalo, i on ego	

			s`el 《沈黙 1.50 秒》 e`ti m..molody`e uvideli .	
171			《沈黙 1.23 秒》	
172	121	話者 A21	Blin, a mozh...`mozhet` .	9 を指す
173			《沈黙 2.26 秒》	
174	122	話者 A21	Podozhdi, vot tak ty` predlagaesh`, da[↑]? .	5 の後に 9 を置く
175	123	話者 B21	Nu shhas `sejchas`, podozhdi .	
176	124-1	話者 B21	<Tak, on idyot>{<},,,	2 を指す
177	125	話者 A21	<To est` shyol>{>}, naxodit <yabloko[↓]>{<} .	
178	124-2	話者 B21	<on, nu kak>{>}, on idyot, on= .	
179	126	話者 B21	=Ne::t, nu vot e`to vot yavno dolzhno by`t` d..drugimi mestami .	
180	127	話者 B21	Skoree vseg kak-to vot, shha `sejchas`, vot e`to vot tak[↑], on py`taetsya dostat` [↑]yabloko, u nego nichyo `nichego` ne poluchaetsya, potom on py`taetsya podvinut` [↑]kamen`, u nego [↑]tozhe nichego ne poluchaetsya, <potom[→]>{<} [↑] .	2、9、12、11 と並べる
181	128	話者 A21]] <A my`>{>} sidet` dolzhny`, nas zhe na video snimayut .	
182	129	話者 A21	Tochno, my` zhe dolzhny` pri..primerno sdelat` .	
183	130	話者 C21	A::, da .	
184	131-1	話者 B21	E::: potom,,	
185		話者 A21	<笑い>	
186	131-2	話者 B21	vot yabloko pa::daet e:: on ego podbira::et, shha `sejchas` .	11 を指す
187	132	話者 A21	Mne kazhetsya, kamen` dal`she naxoditsya, poe`tomu on tipa nu:: .	12 を指す
188	133	話者 B21	Da ne::, nu podozhdi .	
189	134	話者 B21	On podbiraet i est yabloko .	12、11、10 と並べる
190			《沈黙 0.81 秒》	
191	135	話者 B21	Vot tak, naverno .	
192			《沈黙 2.18 秒》	
193	136	話者 B21	E::: 《沈黙 0.98 秒》 nu e`to kak by` parallel`no sde..,tak, shhas `sejchas`<ya>{<} [↑] .	
194	137	話者 A21]] <「話者 B21 名」>{>}, ty:: pereputal nemnogo, chy-to`chto-to` uzhe:: ya zaputalsya .	
195	138	話者 C21	A gde pervaya kartinka? .	
196	139	話者 C21	Voobshhe <vsyo>{<} [↑] .	
197	140-1	話者 B21]] <Da>{>} pervaya kartinka yavno to, chto vot <e`tot vot chuvak>{<},,,	2 を指す
198	141	話者 A21	<Vot e`to vot>{>} .	2 を指す
199	140-2	話者 B21	<idyot>{<} [↑] .	
200	142	話者 C21]] <Ne no..>{>}nomer 1, e`to vot ta, <da[↑]?>{<} .	5 を指す
201	143	話者 B21	<A>{>} shhas:: `sejchas` .	
202	144	話者 A21	Nomer 1[↑]? .	
203	145	話者 A21	<Vot ona>{<} .	1 を指す
204	146	話者 B21	<Vot ona>{>} .	1 を指す
205	147	話者 B21	Podsazhivaet .	
206	148	話者 B21	Vot e`to yavno konczovka, potomu chto tipa vse schastlivy` .	
207			《沈黙 2.57 秒》	
208	149	話者 A21	[溜め息をつく]Tak, on idyot grustny`, mne kazhetsya, potom on obradovalsya, s`el ego .	
209	150-1	話者 A21	No <ya kak by`>{<},,,	
210	151-1	話者 B21	<On idyot grustny`j>{>},,,	2 を指す
211	150-2	話者 A21	blin .	
212	151-2	話者 B21	u nego ne poluchaetsya <dostat` yabloko[↓]>{<} .	
213	152	話者 C21	<Mozhet, on>{>} grustny`j posle togo, kak u nego ne poluchilos`? .	2 を指す
214	153-1	話者 C21	I on nu kak by` ,,	
215	154-1	話者 B21	Nu:: <e`to ya dumayu>{<},,,	9、2 と並べる
216	153-2	話者 C21	<kak-to tak>{>} .	
217	154-2	話者 B21	ne osobo i..<imet` budet znachenie[↓]>{<} .	
218	155	話者 A21	<Mozhet, mozh et, vozmozhno>{>}, da:: kak by` .	
219			《沈黙 1.35 秒》	
220	156-1	話者 C21	Potom, <tipa>{<},,,	
221	157	話者 B21	<<笑いながら> [話者 A21 を見る]E`to[→]>{>} .	11 を指す
222	156-2	話者 C21	naxodit kamen` .	
223			《沈黙 3.24 秒》	
224	158	話者 A21	A mozh `mozhet`, vot e`tot malecz emu dostaval? .	1 を指す
225			《沈黙 1.84 秒》	
226	159	話者 A21	<A potom on[→]>{<} [↑] .	
227	160	話者 C21]] <Nu togda on >{>} dolzhen by`t` na e`toj kartine [カード 11] kak-to, 《沈黙 0.83 秒》 po logike veshhej .	11 を指す
228	161	話者 A21	Nu da, poran`she .	
229			《沈黙 4.04 秒》	
230	162	話者 A21	Xm:: .	5 を指す見る

231			《沈黙 5.51 秒》	
232	163	話者 C21	Na kakoj-to komiks poxozhe .	
233		話者 A21	<軽く笑い>	
234	164	話者 B21	Shha 'sejchas' .	
235	165	話者 A21	Vodka, vodka, vodka[話者 A21 を見る] .	
236	166-1	話者 B21	Tak, on poluchaet 《沈黙 1.23 秒》 yabloko[↑], est ego[↑], e'ti:: tozhe xotyat yabloko[↑],,	11、10 を指す
237	167	話者 A21	Ne <mogut dostat'[↑]><{ } [↑] .	
238	166-2	話者 B21]] <py'tayutsya dostat'><{ } , ne poluchaetsya, u nix ne poluchaetsya sdvinut' [↑]kamen' .	8、5、3 を指す
239	168	話者 B21	Koroche, po xodu kamen' ne poluchaetsya sdvinut' ni u kogo .	12、3 を指す
240	169	話者 B21	Mozhet by't', v e'tom tozhe est kakaya-to sut' .	
241	170-1	話者 C21	Nu da, smy'sl v tom, chto oni tipa tol'ko skoopirovavshis',	
242	171-1	話者 B21	Da::, <vot oni zdes' vtroyom[↑]><{ } ,	7 を指す、12 と 8 の間を指す
243	170-2	話者 C21	<smogli::, da::[↓]><{ } , dostich' celi .	
244			《沈黙 2.13 秒》	
245	171-2	話者 B21	oni nedovol'ny'[→] .	6 を指す
246	172	話者 B21	Nu vot shhas 'sejchas' , v principe, <poluchaetsya istoriya[↓]><{ } .	
247	173	話者 A21	<Nizhnij ryad >>[↑] voobshhe ideal'ny'j, mne kazhetsya .	
248	174	話者 B21	I verxnij tozhe normal'no .	
249	175	話者 A21	A vot verxnij, možno chto-to pomenyat' .	
250	176	話者 B21	Da, net, v principe vsyo normal'no= .	
251	177	話者 B21	=Mne kazhetsya, zdes' ne::.. needinstvennoe raspolozhenie= .	
252	178	話者 B21	=Takogo ne by'vaet .	
253			《沈黙 6.79 秒》	
254	179	話者 A21	[小さい声で]Shyol, ne poluchilos' .	
255	180	話者 A21	Tipa, yabloko samo[↑] upalo?[話者 B21 を見る] .	
256	181-1	話者 A21	Prosto <tak vzyalo><{ } ,	
257	182	話者 B21	<Nu da, da><{ } .	
258	181-2	話者 A21	i upalo[↑]? .	
259	183	話者 B21	Nu chyo:: 'chto?', vzyalo i upalo .	
260	184	話者 A21	Ne, takogo ne by'vaet .	
261	185	話者 B21	By'va::et<鼻笑い> .	
262			《沈黙 0.81 秒》	
263	186	話者 B21	Yabloki sami padayut .	
264	187	話者 C21	Net da::, vot, vot s..s e'togo mome::nta [カード 11] vot dosyuda, vot chto-to kak-to zdes', vot kak-to .	11 を指す
265			《沈黙 2.13 秒》	
266	188	話者 C21	Nu chyo 'chto?', ne poluchilos' dostat', idyot grustny'j, py'talsya kamen' sdvinut', potom opyat' k derevu vernulsya, smotrit, yabloko upalo, est ego, malen'kie podxodyat, "nichyo 'nichego' sebe" takie tipa , py'tayutsya sami dostat', ne poluchaetsya, tyanutsya vot, py'tayutsya kamen' sdvinut', e'tot podxodit, 《沈黙 1.47 秒》 chyo-to 'chto-to' obsuzhdayut, e'ti tipa "vot ty' <s'e::l"><{ } [↑] .	9、2、12、11、10、8、5、3、7、6 を指す
267	189	話者 B21]] <Ne::, ya >>[↑] dumayu, normal'no .	
268	190	話者 B21	N::u kak by'::, v principe, iz e'togo možno normal'nuyu skazku sostavit' .	
269	191	話者 A21	Nu da .	
270			《沈黙 1.10 秒》	
271	192	話者 B21	To, chto yabloko tam samo upalo, e'to ladno, e'to dopustim .	
272	193	話者 A21	Xer s toboj, russkie takie skazki tol'ko, <笑い>vsyo samo .	
273			《沈黙 2.65 秒》	
274	194	話者 A21	Nu v principe, da, tut net processa, kak oni dostayut samostoyatel'no, kogda nashyol, znachit poluchaetsya ono samo upalo .	1 を指す
275			《沈黙 1.69 秒》	
276	195	話者 A21	Kamushek ya ne ponyal .	
277			《沈黙 5.39 秒》	
278	196-1	話者 C21	Nu vot on py'talsya sdvinut' kamen' i , vidimo, kak-to na e'ti litosferny'e plity' povliyal, derevo <shatnulost'><{ } ,	12 を指す
279	197	話者 B21	<笑いながら><Da, da><{ } .	
280	196-2	話者 C21	tam, upalo yabloko .	11 を指す
281			《沈黙 4.00 秒》	
282	198	話者 B21	E'to kamen', kotory'j.. ot kotorogo <笑いながら>yabloki padayut .	
283	199	話者 C21	[小さい声で]Nu da .	
284	200	話者 A21	A chto esli on shyol[↑], uvidel, kak vot e'ti py'tayutsya a:: dostat' yabloko, tipa oni poprosili ego i potom[↑]? .	

285		話者 C21	[咳き込む音]	
286	201	話者 B21	Mozhno voobshhe zdes` prosto zdes` zavernut`, chto e`to kamen` osnovaniya, na kotorom derzhitsya ves` mir[↑] <笑い>, i o..oni ego sdvinuli<笑い> i zapustili process apokalipsisa .	
287			《沈黙 2.67 秒》	
288	202	話者 A21	Ne, dopustim, on shyol[↑], uvidel kak oni py`talish` vot yabloko dostat`, oni poprosili ego dostat`, i on v itoge, koroche, i sam ostalsya dovol`ny` i im dostal .	6、1 を指す
289			《沈黙 2.72 秒》	
290	203	話者 A21	Nu to est` ne dve linii, a:: kak by` svyazat` ix srazu v odnu= .	
291	204	話者 B21	=[溜め息をつく]Da vsyo, ladno, vot tak ej rasskazhem .	

2. RM02

話者性別: 男

会話時間: 7.13 分

ライン 番号	発話文 番号	話者	発 話 内 容	備考
1	1	話者 B22	Oni pronumerovany` .	
2	2	話者 A22	Da .	
3			《沈黙 1.21 秒》	
4	3-1	話者 B22	Ot odnogo do::,,	
5	4	話者 A22	dvenadczati .	
6	3-2	話者 B22	dvenadczati .	
7	5	話者 B22	Zamechatel`no .	
8			《沈黙 1.53 秒》	
9	6	話者 A22	To est` e`to nam na troix, da[↑]? .	
10	7	話者 B22	<Nu da><{> .	
11	8	話者 C22	<Nu da><{> .	
12			《沈黙 0.70 秒》	
13	9-1	話者 B22	Nu v nachale, mne kazhetsya, dolzhno by`t` vsyo spokojno, tipa statusa kvo, <ni><{>,,	
14	10	話者 A22	<Vot><{>[話者 B22 にカードを見せる] .	カードを持ちあげて話者 B22 に見せる
15	9-2	話者 B22	kakix problem ne dolzhno by`t` .	
16	11-1	話者 C22	Davajte <posmotrim, kakie tut><{>,,	
17	12	話者 A22	<U..u nego est` problemy`><{> .	2 を持ち上げる
18	11-2	話者 C22	kakie tut voobshhe narisovany` situacii .	
19	13	話者 B22	Nu da .	
20			《沈黙 1.34 秒》	
21	14-1	話者 B22	Zdes` est` chto-to s muzy`koj i yablokami[↑] , yabloki:: eshhyo raz yabloki, kak minimum <raz, dva, tri><{>,,	4、5、11、8、9、1 を指す
22	15-1	話者 A22	<Nu slushaj, tut uzhe><{> chto-to proisxodit, <tipa tut kak.. kakoj-to><{>,,	11、12 を指す
23	14-2	話者 B22	<chety`re, pyat`, shest`, shest`><{> yablok .	4、5、11 を指す
24	16-1	話者 B22	<Znachit><{> ,,	
25	15-2	話者 A22	<zamut><{> .	
26	16-2	話者 B22	yabloki kak-to svyazany` .	
27	17-1	話者 B22	Plyus kamen` i:: raz, i <dve kartinki><{>,,	12 を指す
28	18	話者 A22	<A vot e`tot><{>, a vot e`to nu e`to zhe ne kamen`, e`to...[話者 B22 にカード 2 を見せる] .	
29	17-2	話者 B22	i tri kartiny` s kamnyami .	
30			《沈黙 2.60 秒》	
31	19	話者 C22	Nu to est` u nas est` poka:: kak by` dve zacepki, yabloko i:: i ne yabloko, da[↑]? .	1、8 を見る
32	20-1	話者 C22	<Davaj><{>,,	
33	21	話者 B22	<Da><{> .	
34	20-2	話者 C22	te, davajte posmotrim na te kartinki, na kotory`x yabloki, i posmotrim uzhe kakuyu istoriyu mozhno iz nix slozhit` .	
35	22	話者 A22	Mne kazhetsya, lyubaya istoriya mozhnet nachat`sya vot s e`togo[カード 2 を見せる、話者 B22 を見る] .	2 を見せる
36	23	話者 C22	<笑い>Da, soglasen .	
37	24	話者 B22	S odnoj storony`, da, no s drugoj <storony`, net><{> .	
38	25	話者 C22	<Davaj poprobuem, da[↑]?><{>= .	
39	26	話者 C22	=Vot e`to chyo `chto`? .	
40	27-1	話者 C22	Davaj-ka vot, davaj <vot s e`toj[話者 A22 にカード 2 を置く位置	

41	28	話者 B22	を指しながら)><{,, <Davaj><{. .	話者 A22 の近くに移動
42	27-2	話者 C22	nachnyom .	
43	29	話者 C22	M:: poto::m chto-nibud` 《沈黙 1.37 秒》<e::m><{ } 【 .	1 を手に持ったまま
44	30	話者 B22	】<Nu vot[↑]><{, pervaya vstrecha s yablokom 《沈黙 0.86 秒》, net[↑]?= .	11 を見せる
45	31	話者 C22	=A vot e`tot chuvak[↓]? .	8 を指す
46	32	話者 A22	Tipa on do dereva doshyol .	
47	33	話者 A22	Da:: e`to voobshhe l::evy`e rebyata .	8 を指す
48	34	話者 C22	Nu:: a nu davaj[↑] .	
49			《沈黙 1.06 秒》	話者 B22 は 2 の後に 11 を置く
50	35-1	話者 C22	A prosto, <vish` `vidish`, on ko.><{,,	1 を見せる
51	36-1	話者 A22	<A::, oni vidimo budut><{ } <izuchat` ><{,,	
52	37	話者 B22	<Ugu><{ } .	
53	36-2	話者 A22	<nashu kakuyu-to tam eshhyo slovesnost`[↑]?><{ } .	
54	35-2	話者 C22	<vish` `vidish` [話者 B22 を見る], on kogda ya..yabloki beryot><{ } u nego vot e`tot melkij est` .	
55	38	話者 B22	Da, togda vot e`to[カード 8] svyazano s vot [↑]e`tim[カード 5]= .	8、5 を指す
56	39-1	話者 B22	=Oni ne dotyagivayutsya, <i togda><{,,	1 を指す
57	40	話者 A22	<Da, da><{ } .	
58	39-2	話者 B22	on vstayot na bol`shogo .	
59	41	話者 C22	To::chno .	
60	42	話者 C22	A kak svyazat` s e`tim yab.. s.. e`tim vot poxodom[↑]? .	11 を指す
61	43	話者 A22	Nu vo::t on idyot[↑], idyot, idyot, i tut, takie tipa, “slushaj, brat, problema, vot ty` vy`sokij, <a u nas, a u nas, vot, a u nas vot[↓]”[カード 8]><{ } .	7 を取る、8 を指す
62	44	話者 B22	<A::, i vot eshhyo chto-to><{ } s e`tim svyazano .	6 を取る
63			《沈黙 1.08 秒》	
64	45	話者 A22	A= 【 .	
65	46-1	話者 C22	】 =<A::, vot oni, oni><{,,	10 を指す
66	47	話者 B22	<E`to budet v konce><{ } .	10 を動かす
67	46-2	話者 C22	oni nashli ego dlya pomoshhi <vot><{,,	
68	48	話者 B22	<Da><{ } .	
69	46-3	話者 C22	e`togo bol`shogo.. <chuvaka><{ } .	
70	49	話者 B22	<I oni ego><{ } zovut .	2 の後に 6 を置く
71			《沈黙 0.85 秒》	
72	50	話者 C22	<Tochno><{ } .	
73	51	話者 A22	<Net , a><{ } mozhno, koroche, znaete kak? .	
74	52	話者 A22	Tipa libo on snachala vot idyot i vidit e`to, i oni emu rasskazy`vayut, “vot takaya istoriya, paren” .	2、6 を指す、8、5 を見せる
75	53	話者 A22	Libo oni iznacha`no vot tipa vot, vot, i tut on idyot “privet, rebyat[↑]” i <pomogaet><{ } .	8、5 を机に置く、2、6 を指す
76	54-1	話者 B22	<No pri ><{ } e`tom <u nas est` e`to><{,,	9 を持ち上げて見せる、12 を指す
77	55	話者 C22	<Da::, tochno><{ } .	
78	54-2	話者 B22	gde on ne dotyanulsya, a potom, vidimo, beryot kamen`, chtoby` dotyanut`sya .	
79			《沈黙 1.25 秒》	
80	56	話者 B22	V konce konczov on vstayot na kamen`, dotyagivaetsya, i vse poluchayut yabloki, okej .	
81	57	話者 C22	Da:: .	
82	58	話者 C22	Nu togda poluchaetsya vot e`ta chast` istorii[カード 8,5], ona kak by` rasskaz ix dvoix, da[↑]? .	8、5、6 を指す
83	59	話者 B22	Da .	
84	60	話者 A22	No, znaesh`, kak by` tut, mne kazhetsya, neskol`ko istorij= .	
85	61	話者 A22	=Vot on, libo oni poluchayut yabloki, libo on odin radostny`j, “e`j op, chto takoe?” .	4、10 を指す
86			《沈黙 2.78 秒》	
87	62	話者 B22	Nu xorosho .	カードを整える
88			《沈黙 3.49 秒》	
89	63	話者 C22	Nu chy`o `chto?`, davajte poprobuem vy`lozhit` fragment vot e`toj vot istorii, gde oni rasskazy`vayut .	2、6 を指す
90	64	話者 C22	Tipa on idyot, idyot[↑], vstretil ix[↑], i oni emu chto-to govoryat, da[↑]? .	8 を取る、6 を指す、2、6、8 と並べる
91	65-1	話者 A22	Da, oni <emu><{,,	
92	66	話者 B22	<Da><{ } .	
93	65-2	話者 A22	rasskazy`vayut, “vot, paren`, <tak, tak”, smotryat[↓]><{ } .	8 の後に 5 を置く
94	67-1	話者 C22	<Tipa, uvideli><{ } yablonyu[→],,,	
95	68	話者 A22	Da, poprobovali[↑] .	

96	67-2	話者 C22	poprobovali .	
97			《沈黙 1.08 秒》	
98	69	話者 C22	Vo:t .	
99	70	話者 B22	No.. kuda togda on ischezaet na e`tix dvux kartinkax[カード 8,5]?= .	6、8、5 を指す
100	71	話者 B22	=Mozhet <by`t`, e`ti><{ } 【 .	
101	72	話者 C22	】 <A e`to ix><{ }>, e`to ix, ix istoriya .	8 を指す
102	73-1	話者 C22	Oni rasskazy`vayut tipa, chto by`lo vchera, na<primer><{ }>,,	
103	74	話者 B22	<A::><{ }> .	
104	73-2	話者 C22	dopus<tim><{ }> .	
105	75	話者 A22	<Da::, da><{ }>, da, da, da .	
106	76	話者 C22	Poto::m= 【 .	
107	77	話者 B22	】 =Oni py`talis` dotyanut`sya[↑] .	
108	78	話者 A22	Potom, sootvetstvenno, vot .	8 の後に 1 を置く
109	79	話者 A22	Nu:: tipa “davajte, davajte” .	
110	80	話者 C22	Ya dumayu, e`to, mozhet by`t`, e`:: posle togo, kak oni ego pozovut[↑]? tipa .	
111	81	話者 A22	<Uzhe prakticheski pozvali, da[↓]><{ }> .	
112	82	話者 B22	<A:: razve oni ne zdes` ego zovut[↓]?><{ }> .	
113			《沈黙 1.31 秒》	
114	83	話者 B22	Gde oni ego zovut[↓]? .	
115	84	話者 A22	Vo:t oni ego uzhe pozvali n::u... .	
116			《沈黙 2.25 秒》	
117	85	話者 C22	A::, nu mozhno i tak .	
118			《沈黙 2.28 秒》	
119	86	話者 C22	A mne kazhetsya, on sam shyol[↑], ix vstretil , sprosil, kak dela[↑], oni rasskazali e`tu situaciyu[↑], potom e`:: on kak by` soglasilsya im pomoch`[↑], i oni v danny`j moment, uzhe sejchas poshli za yablokami .	2、6、8、5、1 を指す
120	87	話者 A22	Prichem tut kamen`?[話者 B22 を向く] .	
121			《沈黙 1.65 秒》	
122	88	話者 C22	<鼻笑い>[↑]Kamen`?, a xz `xren znaet` .	
123			《沈黙 8.17 秒》	
124	89	話者 A22	Ne::, on, on, on prishyol vot, vot tak vot .	
125	90	話者 A22	Oni emu rasskazali, on, znachit, poshyol sam, nu “d..davajte ya poprobuyu dostat` , ya zhe bol`shoj”, vo:t .	8 の後に 9 を置く
126	91	話者 C22	Nu da .	
127	92-1	話者 A22	U nego,,	
128	93	話者 C22	Nu mozhet by`t`, <on><{ }>[カード 9 の後に 11 を置こうとする] 【 .	9 の後に 11 を置こうとする
129	92-2	話者 A22	】 <u nego><{ }>[話者 C22 からカード 11 を取り上げる], u ne.. u nego ne poluchilos` , vot .	11 を取り上げる
130	94	話者 C22	Pochemu ne poluchilos`? .	
131	95	話者 A22	Nu ne znayu, ne po.., nu vidish`, on ne takoj bol`shoj .	9 を指す
132		話者 C22	<笑い>	
133	96	話者 A22	Oni, oni nachali zho.. nu::, malo li tam, na nego zalezat`, zachem? .	
134	97-1	話者 A22	“Davajte, rebyat, postavim kamen`, est`, koroche bol`shoj kamen`”[話者 B22 を見る],,	7 を見せる
135	98	話者 C22	A::, da vot, tochno, <tochno[↓]><{ }> .	
136	97-2	話者 A22	<vo::t><{ }> .	
137	99	話者 A22	“Davajte my` ego pridvinem pod de::revo”, <vo::t><{ }> .	
138	100	話者 C22	<Da><{ }> .	
139	101	話者 B22	<Nu togda><{ }> my` dolzhny` obsledovat` kamen` eshhyo raz .	カードを探す
140	102	話者 B22	Tut gde-to by`lo, chto oni.., a::, oni py`tayutsya tashhit` <kamen` sami[↓]><{ }> .	3 を取る
141	103	話者 A22	<Da::, “rebyat, tashhite><{ }> kamen` sami”, vot .	3 を取り上げる
142	104	話者 B22	Nverno, da .	
143	105-1	話者 A22	Da, “rebyat, tashhite kamen` sami” e`:: “slushaj, ne poluchaetsya[↑]”,,	3 の後に 7 を置く
144	106	話者 B22	I on dal`she py`taetsya .	12 を渡す
145			《沈黙 1.02 秒》	
146	105-2	話者 A22	on py`taetsya sa::m[↑] .	
147			《沈黙 1.05 秒》	
148	107	話者 B22	No u nas net istorii, gde on vstayot na kamen` i on.. i dotaskivaet= .	
149	108	話者 B22	=V itoge on ne dotashhil kamen` .	
150	109	話者 A22	On ne dotashhil kamen`[->]= 【 .	
151	110	話者 B22	】 =On prishyol k derevu, a yabloko samo upalo .	12 の後に 11 を置く
152			《沈黙 0.82 秒》	
153		話者 C22	<笑い>	

154	111-1	話者 A22	Da, da, i on <vzyal tipa::><{>,,	11 の後に 10 を置く
155	112	話者 C22	<Nu da><{> .	
156	111-2	話者 A22	nu:: oni:: “nu..nu..nu, paren” , grit ‘govorit’ “nu ladno, ya vam dostanu yabloko, derzhite”[話者同士で見つめ合う] .	10 の後に 1、4 を置く
157			《沈黙 1.18 秒》	
158		話者 C22	<笑い>	体を後ろに引いて手を広げる
159		話者 B22	<笑い>	話者 A22 を見る
160	113	話者 C22	Chyo ‘chto’ eshhyo odnu slozhim?<笑い> .	
161	114	話者 C22	Naoborot.. mozhno .	
162			《沈黙 1.55 秒》	
163	115	話者 C22	Nu:: vot e`to mutny`j moment kakoj-to[カード 7,12] .	
164	116	話者 A22	Nu da .	
165	117	話者 B22	Pochemu mutny`j? .	
166			《沈黙 0.82 秒》	
167	118	話者 C22	M:: .	
168	119	話者 B22	Oni predlagayut emu:: tyanut` kamen` , pravil`no[↑]?[話者 C22 を見る] .	7 を指す
169			《沈黙 1.06 秒》	
170	120	話者 C22	N::u da[→], prosto pochemu oni kak by` sami.. sami ne poprobovali do:: nego s kamnem, <esli oni[→]><{> 【 .	12 を指す
171	121	話者 A22	】 <Vo::t oni><{> poprobovali .	
172	122	話者 B22	Oni poprobovali[話者 C22 にカード 3 を見せる] .	3 を持ち上げる
173	123-1	話者 A22	Oni reshili::, mozhet by`t` , <vstat><{>,,	
174	124	話者 C22	<A::><{> .	
175	123-2	話者 A22	na kamen` i::= 【 .	
176	125	話者 C22	】 =No vot e`ta vot istoriya, ona by`la:: kak by` v proshlom, da[↑]?, vot e`ta <vot[↓]><{> .	8、5 を指す
177	126	話者 B22	<Da><{> .	
178	127	話者 A22	Da .	
179	128-1	話者 C22	Vot, a pochemu oni v <proshlom kamen><{>,,	
180	129	話者 A22	<Vot e`to vot><{> .	
181	128-2	話者 C22	ne poprobovali tyanut`? .	
182	130	話者 C22	Ved` zdes` uzhe nastoyashhee poluchaetsya, 《沈黙 1.90 秒》 esli ya pravil`no ponimayu .	9 を指す
183			《沈黙 3.74 秒》	
184	131	話者 B22	Ya ne ponimayu, pochemu.. my` vsyo-taki postavili e`ti dve syuda[↑] [カード 8,5], a e`ti dve [カード 2,6]syuda .	
185			《沈黙 2.21 秒》	
186	132	話者 C22	Nu davaj poprobuem pomenyat`[↑] .	2 を取る
187	133-1	話者 B22	Ya k tomu, chto:: e`::,,	
188	134	話者 A22	Da, nu da, e`to <by`lo by` logichnej[↓]><{> .	6 を取る、8、5 を動かす
189	133-2	話者 B22	<svyaz><{> v istorii vremeni s <proshly`m i nastoyashhim[↓]><{> .	
190	135	話者 C22	<To::chno, tochno><{>, tochno, s proshlogo, da::, da, da, da .	8、5、2、6 と並べる
191	136-1	話者 C22	Potom oni.. potom, znachit, poyavlyatsya na.. voobshhe.. e`tot chuvak[↑],,,	2 をお指す
192	137-1	話者 A22	Nu da, tipa <zdes` idyot tam><{>,,	
193	136-2	話者 C22	<on ix naxodit[↑]><{>, ugu .	
194	137-2	話者 A22	kak v fil`max .	話者 B22 を見る
195			《沈黙 2.35 秒》	
196	138	話者 B22	Oni vidyat, chto on ne mozhet dotyanu::t`sya[↑], poe`tomu py`tayutsya pritashhit` , kamen`[↑], govoryat, chto “my` ne mozhem pritashhit` kamen`[↑]”, on py`taetsya tashhit` kamen`[↑], yabloko samo padaet[↑] <i><{> 【 .	9、3、7、12、11、10 を指す
197	139	話者 C22	】 <I><{> on ego est, a oni ostayutsya golodny`mi, a potom on im pomogaet .	
198	140	話者 C22	A s chego e`to on vdruk...? .	1 を指す
199	141	話者 C22	A nu vsyo <pravil`no><{> .	
200	142	話者 A22	<Ili, ili><{> a... , <smotri><{> 【 .	2 を取ろうとする
201	143-1	話者 C22	】 <A::><{>,,	
202	144	話者 B22	】 <Ne::t,><{> <on ego ne e::st><{> .	
203	143-2	話者 C22	< a::, vsyo ><{>pravil`no .	
204	145	話者 B22	Zdes` dva yabloka[カード 4], i on snimaet odno[カード 9] .	4、9 を指す
205	146-1	話者 B22	V itoge on otdayot <svoyo yabloko><{>,,	10 を指す
206	147	話者 A22	<Da::, da, da><{> .	
207	146-2	話者 B22	im .	
208	148	話者 B22	Zdes` zhe u nego net yabloka .	4 を指す
209	149	話者 C22	A::, ugu .	
210	150	話者 A22	Ili, [指で音を鳴らす]ili, smotrite, kak mozhno, rebyat .	2 を取る

211	151	話者 A22	Vot on idyot, idyot, vo::t, idyot, idyot i vidit, i grit 'govorit', ne::t, i vi..vidit, tipa, "rebya::t, vy` chyo 'chto'?", "nu my`, my` vot, xochesh` poprobovat`?", "dava::j", 《沈黙 1.78 秒》shh.. e`:: "a, mozhet, luchshe yablok?", nu..	2、7、3、12 と並べる
212			《沈黙 1.13 秒》[話者 A22 と話者 C22 は視線を合わせて微笑む]	
213	152	話者 A22	A::, net, a tut togda, blin, 《沈黙 0.72 秒》mda .	10、1 を指す
214	153	話者 B22	[咳払い]《沈黙 1.56 秒》Davaj ostavim vsyo kak est`, <perejdyom k sleduyushhemu>{<}	カードを元に戻す
215	154	話者 C22	<Da, davaj e`to>{>}, davaj ostavim vsyo kak est` .	
216			《沈黙 1.48 秒》	2、6、8、5、9、3、7、12、11、10、1、4
217	155	話者 A22	Ugu .	
218	156	話者 C22	A chyo 'chto' eshhyo budet zadanie ili 《沈黙 0.88 秒》e`ksperiment? .	
219	157	話者 A22	Kstati, da, chto za sleduyushhee zadanie? .	
220	158	話者 C22	Mne kazhetsya, podozhdai nado, shhas 'sejchas' ona pridyt .	
221	159-1	話者 C22	<Da::>{<}	
222	160	話者 B22	<Tak>{>} .	
223	159-2	話者 C22	vot e`to:: xoroshaya istoriya voobshhe u nas poluchilas` .	
224	161	話者 B22	Xm:: a gde e`to by`lo vsyo-taki? .	3、7 を手に持つ
225	162	話者 B22	A:: .	
226	163	話者 A22	On idyot vot, vidyat .	2 を置く、6 を指す
227	164	話者 C22	Ugu .	話者 B22 から 12 を受け取る
228			《沈黙 1.45 秒》	
229	165-1	話者 B22	Togda..., naverno, e`to stoit <pomenyat`>{<},,	7、12 を指す
230	166	話者 C22	<Ugu>{>} .	
231	165-2	話者 B22	mestami .	8、5、2、6、9、3、7、12、11、10、1、4

3. RM03

話者性別： 男

会話時間： 13.23 分

ライン 番号	発話文 番号	話者	発 話 内 容	備考
1	1	話者 B23	Davaj voobshhe po centru .	
2	2-1	話者 A23	Chu...<笑いながら>chuvstvuyu sebya <pod>{<},,	
3	3	話者 C23	<Tak>{>} .	
4	2-2	話者 A23	opy`tny`m krolikom .	
5	4	話者 B23	Nu da, e`to t.. e`:: stranno .	
6	5-1	話者 A23	Nu chto?, rebyat,,	
7	6	話者 B23	Ya ozhidal <drugogo>{<} .	
8	5-2	話者 A23	<nuzhna isto>{>} riya .	
9			《沈黙 1.09 秒》	
10	7	話者 C23	Nuzhna <istoriya[↑]>{<} .	
11	8	話者 A23	<Mne kazhetsya, e`t`e`to>{>} nachalo .	2 を指す
12	9	話者 A23	On kuda-to idyot .	
13			《沈黙 1.23 秒》	
14	10-1	話者 C23	Shhas 'sejchas', na samom dele ochen` takoj e`:: 《沈黙 0.98 秒》lyubopy`tny`j e`lement[↑], ego mozžno postavit` v kakoj-to propusk,,	
15	11	話者 A23	Ugu .	
16	10-2	話者 C23	da, esli budet neochen` ponyatno, chto proisxodit .	
17	12	話者 B23	Ugu .	
18	13	話者 C23	A::, 《沈黙 1.72 秒》to est` v principe idyot[↑].., nu mozhet by`t` .	
19	14	話者 C23	E`:: my` zhe mozhem ix, pravil`no?, e`:: <perestavlyat`[↑]>{<} .	
20	15-1	話者 A23	<Da, da, nam nuzhno pravil`no>{>},,	
21	16	話者 B23	<Nu sudya po vsemu, tak>{>} i nado .	
22	15-2	話者 A23	v pravil`nom podryadke .	
23	17-1	話者 A23	Tok `tol`ko` vot tak, naverno, idyot, da[↑]?, poluchae<tsya>{<},,	
24	18	話者 C23	<Ugu>{>} .	
25	17-2	話者 A23	istoriya[カード全体を指す] .	
26	19	話者 C23	Ugu .	
27			《沈黙 2.35 秒》	
28	20	話者 C23	Nu davaj poprobuem, davaj <poprobuem vot e`to pervy`m	2 を動かす

			postavit' [↓]>{<}	
29	21	話者 A23	<Davaj, e'to nachalo>{>}	
30	22-1	話者 C23	Da,,	
31	23	話者 A23	Potom, mne <kazhetsya>{<} [[
32	22-2	話者 C23]] <e'to nachalo>{>}	
33	24	話者 C23	Potom on dolzhen vstretit' kogo-to, da[↑]?, vidimo .	
34	25-1	話者 C23	<Vot ya dumayu>{<} ,,	
35	26	話者 A23	<Ugu>{>}	
36	25-2	話者 C23	von ta .	6 を指す
37	27	話者 A23	Davaj, potom[↑] .	
38	28	話者 B23	##### .	6 を指す、話者 C23 に渡す
39	29-1	話者 C23	Vot, u nix yavno kakie-to prob<lemy' [↑]>{<},,	2、6 と並べる
40	30	話者 A23	<Ugu>{>}	
41			《沈黙 0.95 秒》	
42	29-2	話者 C23	e':: .	
43			《沈黙 2.72 秒》	
44	31	話者 A23	[息を吸う音]Tru::trutrutru, tak znachit ix uzhe troe, poluchaetsya .	
45	32	話者 C23	Ugu .	
46	33	話者 A23	Xm ya tak dumayu...	
47	34	話者 A23	A ty` uveren, chto zdes' <e'to?>{<}	6 を指す
48	35-1	話者 C23	<A::>{>}, net, smotri, <vot>{<},,	
49	36	話者 A23	<Ugu>{>}	
50	35-2	話者 C23	vot e'to my` ne vstavim,<potomu chto>{<},,	12 を取る
51	37	話者 A23	<Da::>{>}	
52	35-3	話者 C23	on odin .	
53	38-1	話者 C23	Mozhet <by't>{<},,	
54	39-1	話者 B23	<E'::m>{>} da on kak by` i tut <odi::n>{<},,	
55	38-2	話者 C23	<ili>{>} a::, shhas 'sejchas',	
56	39-2	話者 B23	i tut on <odin>{<}	
57	38-3	話者 C23	<vot>{>} tak vot kak by` ustroit'?	2、6、3、12 と並べる
58	40	話者 A23	Pravil'no snachala, da, gde on odin kartinki nado postavit' .	
59	41-1	話者 C23	A smotri, podozhdi,,	
60	42	話者 B23	Da <ne, oni shhas 'sejchas' vse>{<} [[
61	41-2	話者 C23]] <vot, vot znachit on >{>}, on prishjol[↑],,	2、6 を指す
62	43	話者 A23	Ugu .	
63	41-3	話者 C23	e':: prosit ix e'::, vernee u nix kakie-t 'kakie-to' problemy' [↑], <oni>{<},,	3 を指す
64	44	話者 A23	<Ugu>{>}	
65	41-4	話者 C23	emu rasskazy`vayut to, <chto:: kak by`, da, oni ne mogut podnyat` , i on py'taetsya>{<},,	12 を指す
66	45	話者 A23	<Chto ne mogut podnya::t`, potom on py'taetsya[↑]>{>}	
67	41-5	話者 C23	da,,	
68	46	話者 B23	A:: .	
69	41-6	話者 C23	on py'taetsya podnyat` .	
70	47	話者 A23	<Ugu>{<}	
71	48	話者 C23	<Mne kazhetsya>{>}, chto e'to vpolne sebya= .	
72	49	話者 C23	=<Vot oni, chtoby` doby't` im yablok[↑]>{<} [[7 を取る
73	50-1	話者 A23]] <Potom oni vtroyom ne mogut>{>} podnyat`,,	
74	51-1	話者 C23	Da::, e'tu <kartinku mozžno>{<},,	
75	50-2	話者 A23	<naverno>{>}	
76	51-2	話者 C23	libo vot syuda [カード 6 の後], libo syuda [カード 3 の後], <libo syuda [カード 12 の後]>{<},,	
77	52	話者 A23	<Naverno syuda>{>}, posle .	12 の後に 7 を置く
78	51-3	話者 C23	v lyu..lyuboj moment, v lyuboe mesto .	
79	53-1	話者 C23	<E'::>{<},,	
80	54	話者 A23	<Ugu>{>}	
81	53-2	話者 C23	znachit= [[
82	55-1	話者 A23]] =<S..skoree vsego budet tak ona>{<},,	7 を 6 の後に置く
83	56	話者 B23	<Net, mne kazhetsya, sly`sh` [↑]>{>}	
84	55-2	話者 A23	budet= .	
85	57-1	話者 A23	=Da, snachala oni uvideli,,	
86	58	話者 B23	Da, <da, da[↓]>{<}	
87	57-2	話者 A23	<ego prob>{>}le::mu, potom <o[→]>{<} [[
88	59	話者 B23]] <Ne>{>}, ne, ne::, smotri, oni snachala podnima::li, on tipa <k nim podoshyol[↑]>{<}[カード 3,7 と並べなおす] [[3 を 7 の前に置く
89	60-1	話者 C23]] <Ot e'togo bol'shogo chuvaka>{>}, <ot e'togo ne m.. ne menyaetsya>{<},,	
90	61	話者 A23	<Nu da, nu da>{>}	
91	60-2	話者 C23	sut` istorii .	

92	62-1	話者 C23	A::,,	
93	63	話者 A23	M:: .	
94	62-2	話者 C23	<znachit><{> [[.	
95	64	話者 B23]] <E'to odna><{> celostnaya istoriya dolzhna polu<chit'sya, da[↑]?><{> .	
96	65	話者 C23	<Nu, sudya po vsemu[↑]><{>, zdes' est' kak by' dva e'pizoda, da[↑]? .	
97	66	話者 C23	I, mne kazhetsya, chto< 笑 い > ona vsyo-taki budet s pozitivny'm finalom .	
98	67	話者 C23	To est' snachala u nix ne poluchilos' [↑] sotrudnichat', a potom, sobstvenno, <bacz, i oni srabotalis'><{> .	
99	68	話者 A23	<Znachit potom vot e'to budet><{>, nejtral'naya kartinka <sleduyushhaya><{>[話者 C23 に絵カード 10 を見せる] .	10 を取る
100	69	話者 C23	<A, net><{>, tut, zdes' on, vidish', est <yabloko><{> .	10 を指す
101	70	話者 A23	<Ugu><{> .	
102	71	話者 C23	E'to:: ona ne nejtral'naya .	
103	72	話者 C23	E':: oni dolzhny'..., a kstati, togda vot .	11 を取る
104	73-1	話者 C23	Esh, esli vot [↑]e't 'e'to' sleduyushhee,,	10 を指す
105	74	話者 A23	Da .	
106	73-2	話者 C23	togda, skoree vsego, on ego nashyol[↑], est[↑],,	
107	75	話者 A23	Ugu .	
108	73-3	話者 C23	e':: .	
109	76	話者 B23	Oni xaxoteli tozhe e'to yab<loko><{> .	
110	77	話者 A23	<Smotri><{>, no on snachala tyanetsya za nim .	1 を指す
111	78	話者 A23	Vot kak budto poluchaetsya, <e'to on[→]><{> [[.	
112	79-1	話者 C23]] <Net, smotri><{>, on s.. o.. <odno on nashyol, on prosto><{>,,	11 を見せる
113	80	話者 A23	<Ugu, vsyo, vsyo, ponyal><{> .	
114	79-2	話者 C23	nashyol ego .	12 の後に 11、10 を並べる
115	81-1	話者 C23	<A::><{>,,	
116	82	話者 A23	<Ugu><{> .	
117	81-2	話者 C23	dal'she, sootvetstvenno, e':: 《沈黙 1.04 秒》 on ego [↑]est,,	
118	83	話者 A23	Est i oni <tozhe xotyat[↓]><{> .	
119	81-3	話者 C23	<oni to><{>zhe xotyat, da .	5 を取る
120	84	話者 A23	Vot e'to ona .	8 を指す
121	85	話者 B23	Ugu:: .	
122	86-1	話者 C23	Da, oni, znachit, e'to obsuzhdayut[↑],,	10 の後に 5 を置く
123	87	話者 A23	Vo::t, potom <oni[→]><{> [[.	
124	86-2	話者 C23]] <potom><{> py'tayutsya dotyanut'sya, u nix nichyo 'nichego' ne poluchaetsya[↑] .	5 の後に 8 を置く
125	88-1	話者 A23	Potom on py'taetsya sa::m dotyanut'sya, mne kazhetsya, potom podsazhivaet [↑]e'togo,,	8 の後に 9、1、4 を並べる
126	89	話者 C23	Ugu .	
127	88-2	話者 A23	i oni uzhe vse vmeste .	
128	90	話者 A23	Vot tak, naverno .	
129	91-1	話者 C23	Tak, <edinstvenno, u menya vot vopros voznikaet><{>,,	
130	92	話者 B23	<N::emnogo stranno><{> .	
131	91-2	話者 C23	po povodu, da, vot e'togo .	9 を指す
132	93	話者 C23	Mozhet by't'... .	
133	94	話者 A23	Nu smotri, <on sam probuet[→]><{> [[.	
134	95	話者 B23]] <Prosto potomu chto esli on><{> tut est, a tut ne mozhet dotyanu::tsya, to e'to <uzhe nepravil'no kak-to[↓]><{> .	10、9 を指す
135	96	話者 C23	<Da, on, smotri kak><{>, on= .	
136	97	話者 C23	=Net, vsyo..vsyo pravil'no, potomu chto on pervoe nashyol .	
137	98	話者 A23	Ugu .	
138	99	話者 B23	<A::><{> .	
139	100-1	話者 C23	<On per><{>voe yabloko nashyol[↑],,	9 を取る
140	101	話者 A23	A im ne <mozhet[↓]><{> .	
141	100-2	話者 C23	<a::><{>,,	
142	102-1	話者 B23	A::, <teper><{>,,	
143	100-3	話者 C23	<a dal'she><{>,,	
144	102-2	話者 B23	i ponyal, chto ne mozhet .	
145	100-4	話者 C23	da, dal'she, predpolozhim, emu eshhyo xaxotelos' .	
146	103	話者 A23	Ugu .	
147	104	話者 C23	Ili, ili on= [[.	8 を指す
148	105	話者 A23]] =Mne kazhetsya, on im pomoch' xochet .	5 を指す
149	106	話者 A23	Vot e't 'e'to' .	
150	107	話者 A23	Potomu chto oni ne mogut dostat'[↑],on py'taetsya sam[↑], potom oni vse vmeste, im udayotsya, <i oni vse schastlivy'[↓]><{> .	1、4 を指す
151	108	話者 B23	<Da::, da, da><{> .	

152	109	話者 C23	<Da, pravil'no>{>}	9をもとに戻す
153	110-1	話者 C23	<V prin>{<},,	
154	111	話者 A23	<Vsyo>{>}	
155	110-2	話者 C23	cipe sut`=,,	
156	112	話者 A23	=I oni vse schastlivy`.	
157	110-3	話者 C23	sut` takaya .	
158			《沈黙 0.98 秒》	
159	113	話者 C23	Tak, e`:: davajte eshhyo podumaem po povodu.. poka u nas est` vremya[↑], po povodu kamnya .	
160			《沈黙 1.66 秒》	
161	114	話者 C23	E`:: 《沈黙 1.72 秒》 k chemu on tut voobshhe, interesno? .	
162	115	話者 B23	Nu da, kak-to nevzaimosvyazanno poluchaetsya <konechno[↓]>{<}	
163	116	話者 A23	<< 鼻 笑 い >Chu..chu..>{>} chuvstvuyu sebya podopy`tny`m krolikom .	話者 B23 に向いて話す
164	117	話者 B23	<Est` takoe[↓]>{<}	
165	118	話者 C23	<Slushaj>{>}, a mozhet by`t`, e`:: 《沈黙 2.18 秒》 mozhet, on rasstro::ilsya[↓]? .	2 を取る
166	119	話者 C23	Vot e`:: u nego ne poluchilos` podnyat` [↑]kamen`, 《沈黙 1.08 秒》 i on <on rasstroilsya i ushyol[↓]>{<}	12 の後に 2 を置く
167	120	話者 A23	<No kakoe nachalo-to, kakoe-to>{>} nachalo dolzhno <by`t'>{<}	
168	121-1	話者 C23	<A nacha>{>}lo, da, on <prosto s nimi vstrechaetsya>{<},,	両手で 6 を指す
169	122	話者 B23	<Nu vot on ix vstretil, naprimer>{>}	
170	123	話者 A23	<A, vot, nu>{>}<da, tak[↓]>{<}	
171	121-2	話者 C23	<on prosto>{>} s nimi vstrechaetsya .	
172	124	話者 A23	Ugu .	
173	125-1	話者 C23	Vot, sobstvenno, nachalo[→], prosto, na samom dele, vot takoe nachalo, kotoroe ni o chyom, ono <vsegda>{<},,	
174	126	話者 A23	<Ugu>{>}	
175	125-2	話者 C23	v istoriyax, nu ono..ono ne nuzhno= .	
176	127	話者 C23	=Esli ego mozžno otbrosit`, <znachit[→]>{<} 【 .	
177	128-1	話者 A23	】 <To est'>{>}, on ix vstretil, oni py`tayutsya <podnyat'>{<},,	6、3 を指す
178	129	話者 C23	<Da::>{>}	
179	128-2	話者 A23	ne mo`gut, oni ob e`tom razgovarivayut[↑], on py`taetsya sam podnya::t`, <u nego ne..u nego>{<},,	7、12 を指す
180	130	話者 C23	<I rasstraivaetsya>{>}	
181	128-3	話者 A23	nego ne polucha::etsya[↑], da, potom on naxodit [↑]yabloko, i e`ti prixodyat, on ego xa::vaet[↑],,	2、11、10 を指す
182			《沈黙 1.61 秒》	
183		話者 B23	<笑 い>	
184	128-4	話者 A23	oni tozhe xotyat poxavat`, ne mogut, on ne mozhet im pomoch` [↑], a vmeste oni mogut i vse schastlivy`, vsyo .	8、5、9、1、4 を指す
185	131	話者 C23	Da .	
186	132	話者 B23	Nu e`to primerno tak .	
187	133	話者 B23	Mozhno eshhyo podumat` .	
188	134	話者 A23	A, m.. e`ti dve istorii nikak ne svyazany`, interesno? .	
189	135	話者 B23	Da::, vot <ya vot[→]>{<} 【 .	
190	136	話者 C23	】 <Konechno>{>}, e`to.. oni svyazany` obshhej moral`yu .	
191	137	話者 A23	Xm:: .	
192	138	話者 C23	E`:: delo v tom, chto:: 《沈黙 1.23 秒》 <nam nuzhno, nuzhno, nuzhno[→]>{<} 【 .	
193	139	話者 A23	】 <S kakogo fakul`teta>{>}? [話者 C23 を見る] .	
194	140	話者 C23	Ya:: voobshhe s fizfaka 「大学名 01」 .	
195	141	話者 A23	A:: .	
196	142-1	話者 C23	Za<konchil>{<},,	
197	143	話者 B23	<A::>{>}	
198	142-2	話者 C23	v e`tom godu .	
199			《沈黙 1.05 秒》	
200	144	話者 A23	Ugu .	
201	145	話者 C23	E`:: oni svyazany` obshhej moral`yu .	
202	146	話者 A23	Ugu .	
203	147	話者 C23	E`:: 《沈黙 2.25 秒》 i:: ix poryadok tozhe opredelyon, da[↑]? .	
204	148-1	話者 C23	<Potomu chto>{<},,	
205	149	話者 A23	<Ugu>{>}	
206	148-2	話者 C23	kak by` vsyo dolzhno zakanchivat`sya xorosho[↑], e`:: chtob p.pokazat` , chto,,	
207	150	話者 A23	Nu da, poluchaetsya tak, <da[↓]>{<}	
208	149-3	話者 C23	<so>{>}trudnichestvo e`to <priyatno[↓]>{<}	
209	151	話者 A23	<Eshhyo>{>} vremya skok `skol`ko` tam?= .	
210	152	話者 A23	=Poluchaetsya vsego za pyat` minut chto li sdelali? .	

211	153-1	話者 B23	Nu <笑いながら>da, možhno eshhyo kak by` <poprobovat` vsyo>{<},,,	
212	154	話者 A23	<Eshhyo desyat` minut>{>}	
213	153-2	話者 B23	vzaimosvyazat` kak`nibud`, tok `tol`ko` ya ne predstavlyayu kak .	
214			《沈黙 1.83 秒》	
215	155-1	話者 B23	A::,,	
216	156	話者 A23	Ugu .	
217	155-2	話者 B23	esli, naprimer... .	
218	157-1	話者 A23	A:: net takoj my`sli, chto oni xotyat kamen` pododvinut`,,	
219	158	話者 B23	Da, kstati .	
220	157-2	話者 A23	kstati k yablone? .	
221	159	話者 B23	Vot e`to ochen` neploxaya my`sl` .	
222	160	話者 C23	Ugu, <da, kstati, mozhet by`t, ochen`[→]>{<} [[.	
223	161	話者 B23]] <Chtoby`.. pododvinut`>{>} ka::men`, <chtoby` dotyanut`sya do yabloka[↓]>{<} .	
224	162	話者 A23	<U nix sna..snachala by`la ide::ya>{>}, chtoby` pod.. e:: kamen` pododvinut`, chtoby` dostat` do yabloka .	
225	163	話者 B23	Togda poluchaetsya istoriya po-drugomu e:: abso<lyutno[↓]>{<} .	
226	164	話者 A23	<Nado>{>} vsyo peremeshivat` togda .	
227	165-1	話者 B23	E:: potomu chto oni uvideli ya... da:: tochno, <oni uvideli yablonevoe[↑]>{<},,,	
228	166	話者 A23	<Snachala oni uvideli yablonyu>{>} .	
229	165-2	話者 B23	de::revo .	
230	167	話者 A23	Potom oni v..pridumali, chto nado ya.. e::, <kamen` podvinut`[↓]>{<} .	
231	168	話者 C23	<Ugu, ugu, ugu>{>}, da, shhas `sejchas` eshhyo pridumaem .	
232	169	話者 B23	Da, da, da, da, da, da, da, <esli[→]>{<} [[.	
233	170	話者 C23]] <To est`>{>} vot.. 《沈黙 1.23 秒》 <vot syuda, da[↑]?>{<} .	
234	171	話者 A23	<Net, snachala nuzhno, nichego ne>{>} pereklady`vat`, snachala nado podu::mat`, v kakom poryadke .	
235	172	話者 C23	<Smotrite>{<} [[.	
236	173	話者 B23]] <Po-moemu>{>}, vot e`to= .	5 を指す
237	174	話者 B23	=Nado togda s e`togo nachinat`, to chto vot e`ti dva persona::zha <xotyat e`ti[→]>{<} [[.	
238	175-1	話者 C23]] <Ne::, net>{>} on, po-moemu, nashyol, on nashyol <yabloko i dlya e`togo>{<},,,	11 を指す
239	176	話者 A23	<On nashyol>{>} .	
240	175-2	話者 C23	kak by` e::= [[.	
241	177-1	話者 B23]] =A:: vsyo, <ya ponyal, on nashyol>{<},,,	
242	178	話者 A23	<On snachala[→]>{>} .	
243	177-2	話者 B23	yabloko[→], e`to pervy`j e`pizod .	11 を指す
244	179-1	話者 B23	<On ego>{<},,,	
245	180	話者 A23	<Potom oni..[→]>{>} .	
246	179-2	話者 B23	idyot est, podxodyat e` <i oni ego vs.. oni vstrechayut, kogda on est>{<} .	
247	181	話者 A23	<Oni py`tayu.. oni..oni vo::t, oni py`tayutsya>{>} e::m:: ego dosta::t`, potom oni obsuzhdayut, chto oni ne mo::gut ego dostat`, e:: potomu oni reshili, chto nuzhno vzyat` ka::men`, 《沈黙 0.98 秒》 chtob podvinut`, no u nix e`to ne polucha::etsya .	
248	182	話者 C23	Zdes` est` 2 varianta= .	
249	183	話者 C23	=Smotri, znachit, e:: pervy`j variant, oni:: otdel`no py`tayutsya .	
250	184-1	話者 C23	To est` <on>{<},,,	
251	185	話者 A23	<Ugu>{>} .	
252	184-2	話者 C23	odin py`taetsya sam kak by` podvinut` [↑]kamen`, sam py`taetsya dostat` [↑], i oni tozhe otdel`no py`tayutsya, a potom oni reshayut vzaimodejstvovat` .	9 を指す
253	186	話者 B23	Da .	
254	187	話者 C23	Libo oni parallel`no py`tayutsya= .	
255	188-1	話者 C23	=To est` snachala <o::n>{<},,,	
256	189	話者 A23	<Ugu>{>} .	
257	188-2	話者 C23	to est`.. ty` ponimaesh`, da[↑]? .	
258	190-1	話者 C23	<To est`>{<},,,	
259	191	話者 B23	<Net, nu>{>}, prosto <ya predp..>{<} [[.	
260	190-2	話者 C23]] <mne kazhetsya>{>}, chto odin, e`to bolee, bolee pravil`ny`j variant .	
261	192	話者 B23	Prosto snachala vot..., mne kazhetsya, m:: 《沈黙 1.51 秒》nado:: naverno s e`togo .	2 を取る
262	193	話者 C23	E`to, e`to nevazhno, e`to možhno vstavit` v <poslednij moment	

			v lyuboe mesto[↓]><{ } .	
263	194	話者 A23	<E'to ne igraet roli>>{ } .	
264	195	話者 B23	<Nu da::, da, da>>{ }, da, da .	
265	196-1	話者 A23	Mozhno <svyazat'>>{ },,	2 を指す
266	197	話者 C23	<A::>>{ } .	
267	196-2	話者 A23	vot <e'tim punktom>>{ } 【 .	
268	198	話者 B23	】 <Da::, vot to, chto>>{ }, mne kazhetsya, nachinaetsya istoriya s togo, chto on, znachit, naxodit yabloko .	11 を指す
269	199-1	話者 C23	Da, on naxodit yabloko, <dal'she>>{ },,	11 を指す
270	200	話者 B23	<Vot[→]>>{ } .	
271	199-2	話者 C23	on py'taetsya ego.. dal'she on py'taetsya ego dostat'[↑], ya tak ponimayu .	9 を指す
272	201	話者 C23	A net .	
273	202	話者 B23	Net, on ego e::st .	
274	203-1	話者 C23	On ego <est>>{ },,	10 を指す
275	204-1	話者 B23	<Potom on>>{ },,	
276	203-2	話者 C23	da .	
277	205	話者 C23	A::, oni togda <oni vstrechayut ego s nim[↓]>>{ } .	
278	204-2	話者 B23	<potom ix vstrecha::et>>{ }, oni tozhe begut za e'tim yablokom, py'tayutsya ego dostat' , u nix e'to ne <poluchaetsya>>{ } .	5 を指す
279	206	話者 A23	<Obgova::riva>>{ }yut, potom idut vot e'ti kartinki .	8、3、7、12 を指す
280	207	話者 C23	Da .	
281			《沈黙 1.44 秒》	
282	208	話者 A23	Potom.. u nix eshhyo raz ne vy'xodit, oni vmeste dostayut i vot final .	2、1、4 を指す
283	209	話者 A23	Mozhno i tak svyazat' .	
284	210	話者 B23	Nu da, da, da <kak by'[↓]>>{ } .	
285	211	話者 C23	<Nu vot>>{ } kak..kak, sobstvenno, da, i:: posle e'togo itog .	9 を指す
286	212	話者 A23	Nu tak, znachit[→]= 【 .	
287	213	話者 C23	】 =Tak, znachit, vot e'to vot vsyo my' smeshhaem prosto vot syuda[↑], da[↑]? .	3、7、12 を 9 の後に動かす
288	214-1	話者 C23	Tak,,	
289	215	話者 A23	Ugu .	
290	214-2	話者 C23	peremeshhajte e'to <naverx>>{ } .	
291	216	話者 A23	<Da vot tak, da[↑]?>>{ }, perenesyom .	10、8、5 を動かす
292	217	話者 C23	Prosto naverx .	
293	218	話者 A23	Ugu .	
294			《沈黙 1.08 秒》	11、10、8、5、2、9、3、7、6、12、1、4
295	219-1	話者 B23	Chto togda naxodit yabloko, <est ego>>{ },,	
296	220	話者 C23	<Znachit>>{ } posle e't.. posle devyatogo .	
297	219-2	話者 B23	oni tozhe podxodyat k yablone[↑], oni py'tayutsya ego dostat'[↑],,	2 を取る
298	221	話者 A23	Snachala nado proverit' , sxoditsya <ili ne sxoditsya[↓]>>{ } .	
299	222	話者 C23	<Py'tayutsya dostat'[↑]>>{ } .	
300	219-3	話者 B23	<no u nix ne polu>>{ }chaetsya .	
301	223	話者 A23	Ugu .	
302	224	話者 B23	U nix e'to ne poluchaetsya, a potom on odin idyot tozhe sam py'taetsya .	2 を持ち上げる
303	225	話者 C23	Da, on ne mozhet odin .	
304	226	話者 C23	Net, togda vot, vot e'to nuzhno pomenyat'[↑] .	9 を取る
305	227	話者 B23	A, net, net, net, a ,nan 'naverno', snachala oni vozvrashhayutsya kamen' py'tayutsya dostat' .	3 を指す
306	228	話者 C23	Oni vidyat, znachit, tak, tak, on tozhe py'taetsya, potom on idyot, <idyot>>{ } .	5 の後に 9 を置く
307	229	話者 A23	<Vot>>{ }<potom oni vidyat kamen'>>{ } .	
308	230	話者 C23	<Togda on dolzhen>>{ } vot tak on? .	2 の後に 12 を置く
309	231	話者 C23	Tak, dopustim, pravil'no[↑]?, budet idti .	
310	232	話者 B23	A <nu da>>{ } .	
311	233	話者 C23	<#####>>{ } .	
312	234	話者 A23	Vo::t, ne mog sorvat' .	
313	235-1	話者 A23	<On na>>{ },,	
314	236	話者 C23	<Tak vsyo?>>{ } .	
315	235-2	話者 A23	xodit kamen' , oj, e'tot, yabloko, est ego, vstrechaet e'tix rebya::t[↑], oni ne mogut dostat' , on odin tozhe ne mozhet dostat' , oni idut vmeste, on py'taetsya vzyat' [↑]kamen' .	11、10、8、5、9 を指す
316	237	話者 A23	A, mozhet, snachala oni <py'tayutsya?>>{ } .	3 を指す
317	238	話者 C23	<Vot e'to tak>>{ } .	
318	239	話者 C23	E:: ne::t, net,net .	
319	240-1	話者 C23	E:: smotri, on e:: vot zdes' est' kak by' xoroshaya kartinka, <kotoraya>>{ },,	2 を指す

320	241	話者 A23	<Aga><> .	
321	240-2	話者 C23	pokazy`vaet poisk .	
322	242-1	話者 C23	Nu vot to est` , vot <ta..ta><>,,	
323	243	話者 A23	<Ugu><> .	
324	242-2	話者 C23	kotoraya kak pustaya .	
325	244	話者 B23	<Ugu><> .	
326	245	話者 C23	<Xotya><>ya.. ya govoril, chto eyo mozžno vstavit` v lyuboe mesto prakticheski .	
327	246	話者 A23	<Ugu><> .	
328	247-1	話者 C23	<E`::><> smotri, on dolzhen kak-to donesti do nix my`sl` , <da[↑]><>,,	6 を 12 の後に置く
329	248	話者 A23	<Ugu><> .	
330	247-2	話者 C23	o tom, chto:: kak by` est`... .	
331	249	話者 C23	A::, ili, podozhdi, ili vot, vot, vot e`ta kartinka, eyo mozžno otnesti k dvum e`pizodam .	6 を 3 の後に戻す
332	250	話者 A23	Ugu .	
333	251	話者 C23	Libo on rasskazy`vaet im pro kamen` i oni py`tayutsya .	
334	252	話者 A23	Ugu .	
335	253	話者 C23	Xotya skoree e`to vot e`to .	7 を指す
336	254	話者 C23	A<::><> 【 .	
337	255	話者 A23	】】 <Mne><> kazhetsya, mezhd u d..dvumya e`timi potyagushkami nuzhno vot [カード 6] dialog vstavit` .	12、3 を指す
338	256	話者 C23	Vot eshhyo odin dialog .	7 を指す
339	257	話者 C23	Tut est` dva dialoga razny`x .	
340	258-1	話者 C23	Vot i,,	
341	259	話者 A23	Vot <tak, vot mezhd u nimi, vot tak, vot tak luchshe><> .	
342	258-2	話者 C23	<mne kazhetsya, chto realistichtnee vot tak, da><> .	3 の前に 7 を置く
343	260-1	話者 A23	To est` <on><>,,	
344	261	話者 C23	<Da><> .	
345	260-2	話者 A23	<sam ne mog[↑]><> 【 .	
346	262	話者 B23	】】 <Nu da, da, da><> .	
347	263	話者 C23	Potom oni opyat` obsuzhdayut[↑] i:: vmeste dostayut .	
348	264	話者 A23	Vot <tak[↓]><> .	
349	265	話者 B23	<Nu tak><> <bolee svyazanno poluchaetsya[↓]><> .	
350	266	話者 C23	<Vot e`ta istoriya><>, tak bolee svyaznaya istoriya <poluchilas`[↓]><> .	
351	267	話者 A23	<Vo::t, teper`><> odna istoriya poluchilas` , vot .	
352	268	話者 B23	Vsyo, normal`no .	
353	269	話者 C23	Nu kak by` nachinaetsya zavyazka <u nix zdes` , da[↑]><> .	11、10 を指す
354	270	話者 B23	<Nu ter` `teper` toka `tol`ko><> esli, mozžno ot del`ny`e kartinki kakie-to perestavit` , no tak vsyo ravno .	
355	271	話者 C23	Nu mozžno by` stro probezhat`sya, posmotret` .	
356	272	話者 B23	Nu da:: .	
357	273-1	話者 B23	Vot on.. naxodit ya::bloko[→],,	11 を指す
358	274-1	話者 A23	E::st, rebyata <tozhe xotyat, ne mogut dostat` , on ne><>,,	
359	273-2	話者 B23	<oni tozhe idut, ne dostayut><> .	8、5 を指す
360	274-2	話者 A23	mozhet dostat` , ishh et kamen` , podnyat` ne mozhet[↑], oni e`to obsuzhdayut, rebyata tozhe ne mogut .	
361	275	話者 B23	Oni e`to opyat` obsuzhdayut .	6 を指す
362	276	話者 A23	Ugu, da:: .	
363	277	話者 A23	Potom vmeste podnimayut[↑] , i vsyo u vse x yabloki .	
364	278	話者 A23	Nu vrode poluchaetsya .	
365			《沈黙 1.10 秒》	
366	279	話者 B23	Nu da:: .	
367			《沈黙 1.35 秒》	
368	280	話者 B23	Da, tak[↑]= 【 .	
369	281	話者 A23	】】=Nu da, potomu chto kamen` zavyazannoj, kak-to stupen`koj poluchaetsya .	
370	282	話者 B23	Nu prosto tut napryagaet, chto zdes` oni vtroyom stoyat, a zdes` tol`ko vot vdvoyom .	7、3 を指す
371	283-1	話者 B23	<I vsyo><>,,	
372	284-1	話者 A23	<Da::, oni><>,,	
373	283-2	話者 B23	e`to edinstvennoe .	
374	284-2	話者 A23	oni vtroyom mogli by` ego podnyat`... , naverno .	
375	285	話者 B23	Nu da<鼻笑い> .	
376	286	話者 B23	Net, na vryad li .	
377	287	話者 A23	Togda dumayu <vsyo><> .	
378	288	話者 B23	<Sudya><> po vsemu, net .	
379	289-1	話者 C23	Mne kazhetsya, prosto v e`tot moment na shesto j kartinke prishla v golovu bolee genial`naya ideya,,	6 を指す
380	290	話者 A23	Ugu .	

381	289-2	話者 C23	sdelat` vot tak vot .	1 を指す
382	291	話者 B23	Net, nu vot e`ta verxnyaya chast`, <vsoy:: vzyaimosvyazanno v obshhem>{<}. .	上の列を指す
383	292	話者 A23	<Nu u menya prosto logika takaya, smotri>{>}, n..nu da, estestvenno, tam vtoruyu kartinku nekuda stavit` .	
384	293	話者 A23	Poluchaetsya, v nachale-to dolzhny` by`li oni poprobovat` <i.i.>{<} [I .	3 を指す
385	294	話者 C23]] <####?>{>} .	
386	295	話者 A23	Da, im yabloko nuzhnee poluchaetsya .	
387			《沈黙 1.57 秒》	
388	296	話者 C23	Nu on dobry`j, mozhet by`t` .	
389		話者 B23	<笑い>	
390	297	話者 A23	Pervy`j srazu takoj Gerkules kinulsya pod kamen` .	
391		話者 B23	<笑い>	
392			《沈黙 2.14 秒》	
393	298	話者 A23	Prosto.. logiki.. logika otsutsvuet, esli on ne smog podnyat`, zachem py`talis` togda oni vdvoym? .	12 と 3 を指す
394	299	話者 C23	M:: <a esli zdes`[->]>{<} [I .	
395	300	話者 A23]] <Esli logich>{>}nee by`lo by` im snachala poprobovat`, oni ne smogli, a on, kak , zdoro::vy`j tozhe ne smog, no popy`ta::lsya .	3、12 を指す
396			《沈黙 1.12 秒》	
397	301	話者 B23	Vot e`ti dve kartinki, oni py`tayutsya, potom on, vdrug tut, <zdes`[->]>{<} [I .	5、9 を指す
398	302	話者 C23]] <Chto mozžno>{>}, da, mozžno, na samom dele< vot e`ti vot tri [カード 12,7,3] perestavit`[↑]>{<} [I .	12、7、3 を指す
399	303	話者 A23]] <A mozžno vtoru.. vto>{>}ruyu shhestoj pomenyat` .	2、6 を指す
400	304	話者 C23	Vtoruyu i shestuyu .	
401	305-1	話者 A23	I po..i po.. vo::t vtoruyu, <to est`>{<},,	
402	306	話者 C23	<Ugu>{>} .	
403	305-2	話者 A23	on od.. on s nimi uzhe razgovarivaet, da[↑]? .	2 を指す
404	307	話者 A23	E:: potom oni vot, dopustim, posle shestoj, oni podxodyat k ka::mnyu, pravil`no[↑]? , vtroyom .	7 を指す
405	308-1	話者 A23	<Potom>{<},,	
406	309	話者 C23	<Ugu>{>} .	
407	308-2	話者 A23	budet tret`ya i <potom>{<},,	3 を指す
408	310	話者 C23	<Ugu>{>} .	
409	308-3	話者 A23	dvenadczataya .	12 を指す
410	311	話者 C23	On dolzhen, znaesh`, on dolzhen predlozhit` im sxemu dejstviya vot e:: tut do..dosyuda [カード 1] .	6、1 を指す
411	312	話者 A23	Ugu .	
412	313	話者 C23	To est` e:: ty` govoril pro to, chto mozžno pomenyat` vot e`ti tri mestami .	12、7、3 を指す
413	314	話者 C23	Mne kazhetsya, chto e`to v principe::, mozhet by`t` , v e`tom est` kakaya-to logika= .	
414	315	話者 C23	=To est` tret`yu postavit`, skazhem... .	
415	316	話者 A23	Da:: .	
416	317	話者 C23	M..mozhet on im rasska::zy`vaet pro kamen`, oni py`tayutsya, potom on py`taetsya .	7、3、12 を指す
417	318	話者 B23	Nu da .	
418	319	話者 A23	Ili dopu.. oni py`ta::yutsya, on govorit, chto sam xochet popro::bovat`, pro::buet, ne polucha::etsya, oni e`to obsuzhdayut, pox.. pridumy`vayut <boleel->{<} [I .	3、7、12、6、1 を指す
419	320	話者 B23]] <Tak mozžno>{>} prosto ty`syachu istorij pridumat` .	
420	321	話者 C23	Nu poskol`ku u nas vsego tri <kartinki, u nas, konechno, men`she[↓]>{<} .	
421	322-1	話者 A23	<Nu lo..logichnej budet, chto tret`ya>{>} dolzhna by`t` ran`she, kak <dva>{<},,	3 を指す
422	323	話者 C23	<E::>{>} .	
423	322-2	話者 A23	slaben`kix .	
424			《沈黙 1.30 秒》	
425	324	話者 C23	Da, davaj tak sdelaem .	3 を 12 の前に置く
426	325	話者 A23	Nu vot, <potomu chto>{<} [I .	
427	326	話者 C23]] <Esli oni sla>{>}ben`kie, to pochemu by`i net .	
428	327-1	話者 A23	Pochemu by` im pervy`mi ne poprobovat`, <chtoby`>{<},,	
429	328-1	話者 C23	<E::>{>},,	
430	327-2	話者 A23	potom <sil`ny`j poproboval>{<} .	
431	328-2	話者 C23	<znachit>{>} togda oni py`tayutsya[↑],,	
432	329	話者 A23	Ugu .	
433	328-3	話者 C23	dal`she on py`ta<etsya[↑]>{<},,	
434	330	話者 A23	<Po>{>}tom sed`maya, <mne kazhetsya>{<} .	7 を指す

435	328-4	話者 C23	<on kak by'::>{>}=- .	
436	331	話者 C23	=Net, da, potom <sed`maya, tak, da, da>{<} .	3、7、12 と並べる
437	332	話者 A23	<Oni govoryat, chto oni ne mo::gut>{>} i on py`taetsya .	
438	333	話者 A23	<Vot tak luchshe[↓]>{<} .	
439	334	話者 C23	<I on tozhe sam py`taetsya>{>} .	
440	335	話者 A23	Oni vot kak raz smotryat na nego tak .	7 を指す
441	336	話者 C23	Da .	
442	337	話者 B23	Interesno, a chto e`to voobshhe takoe? .	
443			《沈黙 1.41 秒》	
444	338	話者 B23	Chto e`to za sushhestva?<軽く笑い> .	6 を指す
445	339	話者 A23	Vo::t , potom on rasstroenny`j, chto ne mozhet podnya::t`[↑], oni nedovol`ny` , i oni pridumy`vayut genial`nuyu ideyu= .	6、3、1 を指す
446	340	話者 A23	=Vot tak luchshe .	
447	341	話者 C23	Da .	
448	342	話者 B23	[小さい声で]Kartoshki .	9 の裏を見る
449	343	話者 B23	Strannoe zadanie .	
450	344	話者 B23	Tak 《沈黙 1.86 秒》 v celom, 《沈黙 1.89 秒》 ne, nu nachalo pravil`noe, ya dumayu, absolyutno .	11 を指す
451	345	話者 A23	Ugu .	
452	346	話者 B23	Oni uvideli, chto on est yabloko i reshili tozhe pojti za yabloko::m, ne dotyanulis` , potom on tozhe zaxotel e`to eshhyo odno yablochko .	9 を指す
453	347	話者 A23	Net, on im dostayot, poluchaetsya .	
454			《沈黙 2.96 秒》	
455	348	話者 C23	Da, u nas kakie-to slishkom dobry`e rebyata poluchilis` .	
456	349	話者 A23	Da .	
457	350	話者 A23	Xotya zdes` eshhyo odna istoriya mogla poluchit`sya .	
458	351	話者 B23	Da zdes` možno mnogo istorij sdelat` .	
459			《沈黙 3.16 秒》	
460	352	話者 C23	Kakaya eshhyo? .	
461	353	話者 A23	Vot m:: po logike m::, oni py`tayutsya dostat` yabloko[↑] v samom nachale .	
462	354	話者 C23	Ugu .	
463	355-1	話者 A23	Potom on prixodit[↑],,	6 を指す
464	356	話者 C23	Ugu .	
465	355-2	話者 A23	e::m:: vidit, chto oni dost.. vot oni potom, dopustim, py`tayutsya dostat` .	7 を指す
466	357	話者 A23	Net, tak[息を吸う音] .	
467	358	話者 C23	Da, da, <xotyat tozhe[→]>{<} [I] .	
468	359	話者 A23	[I] <Vidiat, chto on >{>} py`taetsya, on py`taetsya sa::m, vidya, chto oni ne mo::gut, py`taetsya sa::m, rasstraivaetsya, oni ishhtu ka::men` , vsya nasha istoriya[↑] .	9、2 を指す
469	360	話者 A23	A poluchaetsya desya::taya kartinka, ona mozhet idti vot... .	10 を指す
470	361	話者 A23	A net, oni zdes` neschastlivy` , v principe .	
471	362	話者 A23	Posle desyatoj mozhet chetyvortaya <by`t>{<} .	
472	363	話者 C23	<Smotri>{>}, tak, esli vot e`to zapixnut` v konecz[↑], i vot e`to, vot e`to vot, da[↑]?, to e`to budet, ty` znaesh` , takoj podarok sud`by` .	11、10 を指す
473	364	話者 A23	<Ugu>{<} .	
474	365-1	話者 C23	<To est>{>} e:: to est` , grubo govorya, da, oni pervy`e py`tayu<tsya>{<}[↑],,	
475	366	話者 A23	<Da>{>} .	
476	365-2	話者 C23	i potom, i:: e`to pooshhrenie, kak by` , ot okruzhayushhej dejstvitel`nosti>{<},,	
477	367	話者 A23	<Ugu>{>} .	
478	365-3	話者 C23	za to, chto on im pomog .	
479	368	話者 A23	Da, <no.. no.. e`to l::ogiki>{<} .	
480	369	話者 C23	<To est` kak by` e`to uzhe moral`>{>} .	
481	370	話者 C23	<Mne bol`she nravitsya vot e`to>{<} .	
482	371	話者 A23	<Da::, e`to sochinyat`>{>}, potomu chto ego mog by` i sebe vot e`ti dostat` , srazu zhe togda .	
483	372	話者 C23	Da, da .	
484			《沈黙 4.59 秒》	11、10、8、5、9、2、3、7、12、6、1、4
485	373	話者 A23	Nu da, vot tak logichnej poluchaetsya, chto im tozhe zaxotelos` .	
486			《沈黙 2.98 秒》	
487	374	話者 C23	Tak, skol`ko tam eshhyo vremeni ostalos`? .	
488	375-1	話者 A23	U nas <chety`re >{<},,	
489	376-1	話者 B23	<Nu::>{>},,	
490	375-2	話者 A23	minuty` gde-to .	

491	376-2	話者 B23	trinadczat`.. dve minuty` .	
492	377	話者 B23	Ne, minuta uzhe .	
493	378	話者 C23	Nu e'togo budet dostatochno .	
494	379-1	話者 B23	V <celom>{<},,	
495	380	話者 A23	<Vsy>{>} .	
496	379-2	話者 B23	tak, da, poluchaetsya .	

4. RM04

話者性別: 男

会話時間: 13.93 分

ライン 番号	発話文 番号	話者	発 話 内 容	動作
1	1	話者 A24	Drim tim 'dream team' gotova .	
2			《沈黙 3.23 秒》	
3	2	話者 A24	Budem sobirat` yaponskie komiksy`? .	
4	3	話者 C24	Gospoda, nas pishut, ne zaby`vajte .	
5	4-1	話者 A24	Ya ne za<by`vayu[→]>{<},,	
6	5	話者 B24	<A::>{>}, da, xorosho .	
7		話者 C24	<笑い>	
8	4-2	話者 A24	ya igrayu na publiku .	
9			《沈黙 6.31 秒》	
10	6	話者 A24	Ya tak ponimayu, dolzhna by`t` logicheskaya cep` .	
11	7	話者 B24	Nu da .	
12			《沈黙 5.47 秒》	
13		話者 C24	<笑い>[話者 A24 と話者 B242 人を見る]	
14		話者 A24	<笑い>	
15			《沈黙 7.98 秒》	
16	8-1	話者 A24	V obshhem, ya predpolagayu, chto::,,	
17	9-1	話者 B24	「話者 A24 名」, ya <by` nachal so>{<},,	
18	8-2	話者 A24	<vot e`ti vot>{>},,	1、7 を取る
19	9-2	話者 B24	vtoro::go .	
20	8-3	話者 A24	mne kazhetsya, vot e`ti [カード 1 と 7] <svyazany>{<} .	
21	10	話者 C24	<Da::, mne>{>} tozhe kazhetsya, chto vtoroe .	2 を指す
22	11-1	話者 C24	<Smotri, vtoroe>{<},,	
23	12	話者 B24	<Vtoroe e`to nachalo>{>} .	
24	11-2	話者 C24	<potom idyot shestoe>{<} .	6 を指す
25	13	話者 A24	<N..n.. ya ne sporyu>{>}, ya ne sporyu .	
26	14	話者 A24	No vot e`to vot, mne kazhetsya, oni svyazany` .	1、7 を見せる
27	15-1	話者 A24	To est`, vozmozhno, <snachala vot [↑]e`to [カード 7] >{<},,	
28	16-1	話者 B24	<I::>{>},,	
29	15-2	話者 A24	potom idyot e`to [カード 1] .	
30	16-2	話者 B24	no smotri, tut est` eshhyo vot e`to [カード 12] .	12 を見せる
31	17	話者 A24	Da::, da, da, da, da .	
32	18	話者 A24	To est` s kamnem, ya tak polagayu= .	
33	19	話者 A24	=I vot eshhyo s kamnem .	3 を指す
34			《沈黙 1.15 秒》	
35	20	話者 C24	Mozhet by`t`, vot.. vot [↑]e`ti vot dve snachala[↓]?, vtoroe i shestoe .	2、6 と並べる
36	21	話者 A24	Da .	
37	22	話者 B24	Ugu .	
38			《沈黙 0.97 秒》	
39	23	話者 B24	Ne, ne, ne, ne, ne [カード 6 を退ける], tam, a vot e`ta eshhyo [カード 3], kak by` ona:: poluchaetsya... .	6 を動かす、3 を指す
40	24	話者 C24	Xotya, mozhet by`t`, snachala on ob`yasnyaet, a potom u nix ne poluchaetsya, i on rasstraivaetsya .	6、3、2 を指す
41	25	話者 B24	Mozhet by`::t` .	
42	26-1	話者 B24	To est`=, ,	
43	27	話者 A24	=Stop, stop, stop, nu-ka .	
44	26-2	話者 B24	tut v lyubom sluchae oni kak-to oni vdvoyom snachala vzaimodejstvuyut ili potom..., i podklyuchaetsya tre::tij= .	3 を指す
45	28	話者 B24	=To est` nuzhno raspredelit`, vot e`ti v kakom poryadke budut <idti>{<} .	
46	29	話者 A24	<Vot>{>} on ne mozhet dostat`[↑], 《沈黙 1.21 秒》 prosit pomoshhi, vidimo u e'togo .	1、9 を取る
47	30	話者 C24	Ugu, da .	

48	31	話者 A24	Nu tochnee vot tak vot .	9、1 と並べる
49	32	話者 B24	Ugu .	
50	33	話者 C24	Da, poluchaetsya tak .	
51	34	話者 A24	Ugu:: .	
52			《沈黙 0.97 秒》	
53	35	話者 A24	Tak, e`to ostavlyaem.. gde-nibud` .	
54	36	話者 C24	A s kamnem chto u nix voobshhe <笑いながら> proisxodit? .	
55	37	話者 A24	Shha,<shha, shha `sejchas`[↓]><{> .	
56	38	話者 B24	<Smotri><{>, vot zdes`[↑], vidish`, on uzhe odin kushaet yabloko, a e`ti kak by` stoyat <v storone[↓]><{> .	10 を指す
57	39-1	話者 A24	<Vo.. vot><{> stop, stop, stop, smotrite, tut dva malen`kix[↑], to est` oni takie tipa e`:: tut, naprimer, possorilis`[↑],, .	5 を取る、6 を指す
58	40	話者 B24	Ugu .	
59			《沈黙 1.63 秒》	
60	39-2	話者 A24	i takie i`::, net, ne smogli dostat` i <takie tipa[→]><{> 【 .	
61	41	話者 C24	】 <A possorilis`><{>, possorilis` oni, naverno, posle togo, kak on yabloko s`el odin, s e`tim tovarishhem <possorilis`[↓]><{> .	10、6 と並べる
62	42	話者 A24	<Da::, da><{>, da .	
63			《沈黙 1.09 秒》	
64	43-1	話者 C24	Naverno, <oni><{>, .	5 を指す
65	44	話者 A24	<Vot><{> u nix tut dva yab<loka[→]><{> 【 .	
66	43-2	話者 C24	】 <py`talis`><{> <do nego dostat`[↓]><{> .	
67	45	話者 A24	<Vo::, vo::, vot><{>, da, da, da, tochnyak .	
68	46	話者 A24	Oni e`:: on s`el yab.. xm 《沈黙 1.66 秒》 on s`el yabloko, naprimer, oni takie tipa “chy`o` chto` za xren`?, ty`:: voobshhe urod, davaj <pomogi nam dostat`[↓]><{> .	10 を指す
69	47	話者 B24	<Ty`, 「話者 A24 名」, nu><{> 「話者 A24 名」, ne zaby`vaj, nas pi`::shut .	
70	48	話者 A24	Nu:: e`to zhe razgovornaya rech` .	
71	49	話者 B24	Nu <笑いながら> vsyo ravno .	
72	50	話者 A24	[咳の音] Vo::t, on takoj kak by`:: s`e::l[↑], 《沈黙 0.72 秒》 oni na nego obidelis` .	10、6 を指す
73	51	話者 A24	On takoj “rebyat, ya ne vinovat, ya:: prost” .	
74			《沈黙 1.92 秒》	
75	52-1	話者 C24	Tak, 《沈黙 0.88 秒》 vot <e`ti vot tozhe><{>, .	7、3 を見せる
76	53	話者 A24	<Nu-ka, nu-ka, nu-ka><{> .	
77	52-2	話者 C24	kak-to, kak-to dva vzaimosvyazanny` .	
78	54	話者 A24	Da:: .	
79			《沈黙 2.47 秒》	
80	55	話者 C24	Nado, mne kazhetsya, po kakim-to vzaimosvyazyam logicheskim ix vy`straivat` po-tixonechku nachinat` .	
81			《沈黙 0.82 秒》	
82	56	話者 C24	<Vot e`ti vot[→]><{> 【 .	8、5 を取る
83	57	話者 A24	】 <Nu v obshhem><{>, vot e`to vot gde-to blizhe k... .	9、1 を指す
84			《沈黙 0.82 秒》	
85	58-1	話者 A24	Sto::p, <stop, stop, stop><{>, .	11 を取る
86	59	話者 C24	<Vot tut vot[→]><{> .	話者 A24 に 8、5 を見せる
87	58-2	話者 A24	vot .	
88	60	話者 A24	Vot smotri, on vzyal yabloko, s`el yabloko .	11、10 を指す
89	61-1	話者 B24	<A::><{>, .	
90	62-1	話者 C24	<A::><{> da::, <da, oni uvideli><{>, .	8、5 を見せる
91	61-2	話者 B24	<podoshli e`ti><{> .	
92	62-2	話者 C24	<oni uvideli ><{>, .	
93	63	話者 B24	<Da, da, da, da><{> .	
94	62-3	話者 C24	<i tozhe><{>, .	
95	64	話者 A24	<Da, da::, da><{> .	
96	62-4	話者 C24	<reshili s`est`><{> .	
97	65	話者 B24	<I nachali py`tat`sya><{> , <da[↓]><{> .	
98	66	話者 A24	<Da::><{>, da, da, da, da, vsyo pravil`no .	
99	67	話者 C24	Vot, poluchaetsya, poluchaetsya poka vot tak vot .	
100			《沈黙 0.87 秒》	
101	68	話者 C24	Vot tak, da[↑]? .	
102	69	話者 A24	Da::, da, vsyo pravil`no .	
103	70-1	話者 B24	<Tak><{>, .	
104	71	話者 C24	<Na><{>chali py`tat`sya= .	
105	72	話者 C24	=Potom, <poluchaetsya, on tam xodil[↑]><{> .	1 を指す
106	70-2	話者 B24	<nachali py`tat`sya, potom><{>, .	
107	73-1	話者 A24	<A mozhet by`t` on><{>, .	
108	70-3	話者 B24	<potom><{> 【 .	
109	73-2	話者 A24	】 <snachala shyol><{> grustny`j[↑]? .	2 を指す

110	74	話者 A24	Vot, da, nu da, vsyo <pravil`no[↓]><{ } .	
111	75	話者 C24	<Da, grustny`j[↑]><{ } .	
112	76-1	話者 A24	Shyol grustny`j, nashyol <yablochko, s`el><{ },,	
113	77	話者 B24	<Da, da, da, da, da><{ } .	
114	76-2	話者 A24	yablochko, “my` tozhe xotim yablochko” .	
115	78	話者 A24	E`:: poprobovali dostat`[↑], “ne mozhem dostat`” .	
116	79	話者 C24	Togda teper` vot... .	9 を指す
117	80-1	話者 A24	Togda`:: potom,,	
118	81	話者 B24	Eshhyo vot e`to [カード 9] i vot e`to [カード 6] problema= .	9、6 を指す
119	82	話者 B24	=<To est`[→]><{ } 【 .	
120	80-2	話者 A24	】 <vot ne><{ } mogut dostat`[↑] .	
121	83	話者 B24	Ugu`:: .	
122	84	話者 A24	A vot e`to kuda togda? .	6 を取る
123	85	話者 B24	M<::><{ } .	
124	86	話者 A24	<Vot e`to><{ } syuda`:: .	10 と 8 の間に置く
125			《沈黙 3.96 秒》	2、11、10、6、8、5
126	87	話者 A24	To bish` on s`e`::l, oni na nego obidelis` .	10、6 を指す
127	88	話者 A24	On takoj, “rebyat” .	
128			《沈黙 1.15 秒》	
129	89	話者 C24	A kamen` tut pri chyom?[話者 A24 を見る] .	7 を指す
130			《沈黙 1.72 秒》	
131	90	話者 B24	Na kamen` oni , vidimo, reshili vstat`, chtoby` dostat` [↑]yabloko, no.. no tut <chyot`chto-to><{ } 【 .	7、8 を指す
132	91	話者 A24	】 <Tut><{ } net kartinki <s.. kamnem[↓]><{ } .	
133	92	話者 B24	<Da, da, da, da, da><{ },, da .	
134			《沈黙 1.84 秒》	
135	93	話者 A24	Kartinki togo, kak oni dostayut yabloko .	
136			《沈黙 4.02 秒》	
137	94	話者 C24	<Xm><{ } .	
138	95	話者 B24	<Xm><{ } .	
139			《沈黙 3.63 秒》	
140	96	話者 A24	E`tot kamen` , on dolzhen k chemu-to nas privesti .	12 を取る
141			《沈黙 1.39 秒》	
142	97	話者 A24	Nu on dostal im yabloko[↑], vsyo xorosho, oni kushayut yablochki .	1 の後に 4 を置く
143	98	話者 B24	Ugu .	
144	99	話者 A24	Vsyo prekrasno .	
145	100	話者 B24	To est` < vsyo tak, da[↓]><{ } .	
146	101	話者 A24	<Vse schastlivy`><{ } .	
147	102	話者 A24	Prichyom zdes` kamen`? .	12 を取る
148			《沈黙 2.84 秒》	
149	103-1	話者 C24	Mozhet by`t , v kakoj-to moment <oni py`talys`><{ },,	3 を指す
150	104	話者 A24	<Mozhet by`t , oni[→]><{ } .	
151	103-2	話者 C24	peredvinut` <[↑]kamen`><{ }? .	
152	105	話者 A24	<Da`::, da, da><{ },, da, da, oni py`talys` 《沈黙 1.36 秒》 e`:: .	
153	106	話者 A24	A mozhhet by`t , oni ne peredvinut`, mozhhet by`t , oni py`talys` kak raz-taki na nego zalez`t`? .	3 を指す
154			《沈黙 0.79 秒》	
155	107	話者 C24	A ty` smotri, oni ego podnizu berut .	3 を指す
156	108	話者 B24	Ugu`:: .	
157	109-1	話者 C24	Oni py`tayutsya ego peredvinut`[↑], on prixodit, oni uxodyat <poka brat`><{ },,	3、7 を指す
158	110	話者 A24	<Da`::, da, da, da><{ } .	
159	109-2	話者 C24	ya`::bloki, a on py`taetsya kamen` podvinut` .	12 を指す
160			《沈黙 0.79 秒》	
161	111	話者 A24	Da .	
162	112	話者 C24	Navernoe tak .	
163			《沈黙 1.18 秒》	
164	113	話者 C24	Ili naoborot .	
165	114	話者 C24	ili on py`talsya kamen` podvinut`, oni prishli i py`tayutsya emu pomoch`= .	12、7、3 を指す
166	115	話者 C24	=Vot tut...[溜め息の音] .	
167	116	話者 A24	Nu poka vsyo normal`no .	
168	117	話者 A24	To est` idyot[↑], uvidel yabloko[↑], s`el yabloko[↑], nedovol`nyj[↑], “davaj dostanem[↑]”, poprobovali dostat`[↑], nichego ne poluchaetsya[↓]= .	2、11、10、6、8、5 を指す
169	118-1	話者 A24	=Vo`::t, smotri, poprobovali dostat`, nichego ne poluchaetsya[↑],,,	5 を指す
170	119	話者 C24	“Mozhet by`t <na kamen`?><{ } .	
171	118-2	話者 A24	<reshili pritashhit`><{ } kamen` .	3 を指す
172	120	話者 C24	Da .	
173			《沈黙 1.57 秒》	

174	121	話者 A24	V obshhem, poprobovali dostat' [↑], u nix nichego ne poluchilos' .	3 を 5 の後に置く
175	122	話者 A24	Tak, ya predlagayu vot e'to poka vsyo vverx sdvinut', chto u nas imeetsya . 《沈黙 4.50 秒》	9、1、4 を取る
176				
177	123	話者 A24	Da [話者 C24 はカードを動かしている] . 《沈黙 1.24 秒》	
178				
179	124	話者 A24	E':: poprobovali dostat' [↑], nichyo 'nichego' ne poluchilos' . 《沈黙 0.84 秒》	
180				
181	125-1	話者 A24	Poprobovali podvinut' ,	3 を動かす
182	126	話者 B24	Ugu: .	
183	125-2	話者 A24	ka::men' [↑], on prishyol [↑], 《沈黙 0.97 秒》 oni kak by' nichyo 'nichego' ne mogut sdelat' . 《沈黙 0.76 秒》	3 の後に 7 を置く
184				
185	127	話者 A24	On probuet podvinut' kamen' . 《沈黙 0.85 秒》	7 の後に 12 を置く
186				
187	128	話者 A24	Potom on probuet dostat' sam yabloko .	12 の後に 9 を置く
188	129-1	話者 A24	Potom e':: on ponimaet, chto samomu emu yabloko ne dostat' [↑],	9 の後に 1、4 を置く
189	130	話者 B24	Py'taetsya s <e'timi tipa dostat' >{<} .	
190	129-2	話者 A24	<da, pomogaet e'tomu [↑]>{>}, dostayut yabloki [↑], vse schastlivy' . 《沈黙 0.85 秒》	1、4 を指す
191				
192	131	話者 B24	Ugu .	
193				
194	132	話者 C24	Nu vrode tak . 《沈黙 2.18 秒》	
195				
196	133	話者 A24	No u menya est' somneniya kak na schyot kamnya .	
197	134	話者 C24	Nu vot da, s kamnem chy-to 'chto-to' e'to . 《沈黙 2.03》	
198				
199	135	話者 C24	Zachem on tut nuzhen? .	
200	136	話者 A24	A::, net, nu voobshhe, po idee vsyo logichno= .	
201	137	話者 A24	=To est' 《沈黙 2.73 秒》 ne poluchilos' dostat' [↑], poprobovali pritashhit' ka::men' [↑], 《沈黙 1.51 秒》 ne smogli, <on prishyol [↑]>{<} [↑] .	5、3、7 を指す
202	138-1	話者 B24]] <[舌うちの音] Smotri>{>}, edinstvennoe, my' ne.. m:: <stranno>{<},	
203	139-1	話者 C24	<A pochemu>{>}, a pochemu tut dve,,	
204	138-2	話者 B24	stranno[→] [↑] .	
205	139-2	話者 C24]] kartinki podryad, kogda on tashhit <kamen' i vot beryot yabloko [↑]>{<} .	12、9 を指す
206	140	話者 B24	<Da::, da.. i stranno, chto>{>} voobshhe propadayut vot e':: vot e'ti na neskol'ko slajdov= .	8、5 の小さいキャラクターを指す
207	141	話者 B24	=To est' on kuda-to propadaet vot zdes' .	3 を指す
208	142-1	話者 B24	To est', vidish', <zdes' oni vstretilis', zdes' oni vstretilis' >{<},	10、6 を指す
209	143	話者 A24	<Vot ya, ya pro vot, ya pro e'to.>{>} tozhe <kak by' dumayul [↑]>{<} .	
210	142-2	話者 B24	<zdes' >{>}, zdes' tri slajda podryad [↑] [カード 8,5,3] <ix kak by' net [↑]>{<} .	8、5、3 を指す
211	144	話者 A24	<To est', a::, mozhet by't' >{>} naoborot? .	
212	145	話者 A24	Mozhet by't', oni <dvi::gali?>{<} .	3 を指す
213	146	話者 B24	<Oni, oni>{>} bez nego vsyo e'to py'talis' <sdelat' [↑]>{<} .	
214	147-1	話者 A24	<Da::, to est' >{>},	
215	148-1	話者 B24	Ponimaesh', on <prishyol, oni>{<},	
216	147-2	話者 A24	<oni, naprimer [→]>{>} .	2 を取ろうとする
217	148-2	話者 B24	oni uzhe:: stoyat na kamne, <popy'talsya>{<},	7、12 を指す
218	149	話者 A24	<Da, da, da, da, da>{>} .	
219	148-3	話者 B24	podvinut' [↑], popy'talsya snyat' [↑], nu dal'she v takom poryadke .	9 を指す
220	150	話者 B24	No:: vot e'ti, mne kazhetsya, nuzhno kak-to pomenyat' mestami .	6、8、5 を指す
221	151	話者 C24	To est' ty' dumaesh', chto oni... . 《沈黙 1.45 秒》	3 を取る
222				
223	152	話者 C24	Nu v principe, v lyubom sluchae oni bez nego i odno i drugoe, da [↑]?, py'talis' sdelat' .	5 を指す
224	153	話者 B24	Da::, da, da . 《沈黙 1.00 秒》	
225				
226	154	話者 A24	Rebyata, mozhet by't' naoborot vot e'ti? . 《沈黙 2.21 秒》	5、8 と並べなおす
227				
228	155	話者 A24	Tipa "ni xrena:: ne poluchaetsya" .	8 を指す
229	156	話者 C24	A::, nu da, <kstati, mozhno [→]>{<} [↑] .	3 を指す

230	157	話者 A24]] <“Davajte pritashhim>{>} kamen” .	
231	158	話者 C24	“Davaj voz`myom kamen” .	
232	159	話者 C24	Da .	
233	160	話者 A24	No s drugoj storony`, tut vesyolaya rozhicza .	8 を指す
234			《沈黙 0.73 秒》	
235	161	話者 A24	To est` oni, naverno, dumayut, tipa “xa, shhas `sejchas` my` zaberyomsya” .	
236			《沈黙 1.06 秒》	
237	162-1	話者 B24	Ne::t, ne “shhas `sejchas` my` zaberyomsya”, a tipa “sejchas my` podvinem ka::men” .,	3 を指す
238	163-1	話者 A24	N::u <tut kak by` dva>{>} .,	
239	162-2	話者 B24	<vozmozhno>{>} .	
240	163-2	話者 A24	vari<anta>{>} .	
241	164	話者 B24	<Nu>{>} da::, <da, da[↓]>{>} .	
242	165	話者 C24	<Da::>{>} ., mozhhet by`t` .	
243	166	話者 A24	Nu ladno, okej, predpolozhim poka tak .	
244	167	話者 A24	“Shhas `sejchas` podvinem kamen`[↑]”, 《沈黙 1.45 秒》 prixodit e`tot chuvak .	
245			《沈黙 3.65 秒》	
246	168	話者 C24	Nu prosto stranno, vidish`, chto on dve kartinki podryat py`taetsya.. razny`e dejstviya sdelat` .	12、9 を指す
247			《沈黙 1.18 秒》	
248	169	話者 C24	Snachala e`to, potom to[↑] .	
249			《沈黙 0.73 秒》	
250	170	話者 A24	[咳払いの音]Nu da .	
251			《沈黙 6.41 秒》	
252	171	話者 A24	Nu u nas eshhyo se.. vosem` minut .	
253		話者 B24	<笑い>	
254	172	話者 A24	Nu sem` .	
255	173	話者 C24	Da, sem` minut poluchaetsya .	
256			《沈黙 1.45 秒》	
257	174	話者 C24	[溜め息の音][口ずさむ]Prpupupupupupupupu .	
258			《沈黙 3.38 秒》	
259	175-1	話者 C24	<笑いながら>Ya prosto ne ponimayu, kak poluchaetsya tak, chto on tut odi::n[↑], a potom uzhe kto-to prixo::dit i on< ego>{>} .,	9、1 を指す
260	176	話者 B24	<Ugu>{>} .	
261	175-2	話者 C24	uzhe ego.,	
262	177-1	話者 A24	A mozhhet <by`t`, vot e`to>{>} .,	
263	175-3	話者 C24	<podsa::zhivaet>{>} .	
264	177-2	話者 A24	vot, kak-nibud` naoborot? .	9、12 を並べなおす
265			《沈黙 1.10 秒》	
266	178	話者 A24	To est` vot tak?= .	
267	179-1	話者 A24	=To est` s.. poprobovali pritashhit`[↑], i on takoj, <tipa>{>} .,	3、7 を指す
268	180-1	話者 B24	<[舌うちの音]Smotri>{>} .,	
269	179-2	話者 A24	“chem vy` tut maetes` <voobshhe>{>} .,	
270	180-2	話者 B24	<cto>{>} .,	
271	179-3	話者 A24	“rebyata” .	
272	180-3	話者 B24	a chto, esli zde::s` voobshhe bez nix?= .	9 を指す
273	181	話者 B24	=To est` , on uvidel ya::bloko[↑], s`e::l ego[↑] .	11 を指す
274	182	話者 B24	A net, nu zdes` uzhe:: oni poyavlyayutsya .	10 を指す
275	183	話者 A24	<Ugu::>{>} .	
276	184	話者 B24	<Da, zdes`>{>} tak, da, 《沈黙 1.30 秒》 e`<::m>{>} .	
277	185	話者 A24	<To est` on uvidel>{>} i s`el i vot e`to.., a e`ti po-lyubomu po<poryadku idut>{>} .	11、10 を指す
278	186	話者 B24	<E`ti, e`ti>{>} zame::tili, da[→], e`to i:: vot zdes` oni nedovol`ny` .	6 を指す
279			《沈黙 1.45 秒》	
280	187	話者 A24	A mozhhet by`t`, kak-nibud`.. a:: vot tak?= .	6 を取る
281	188	話者 A24	=To est` zametili[↑], poprobovali dostat` .	10、5 を指す
282	189	話者 A24	“Shha `sejchas` pritashhim kamen” ., e:: poprobovali pritashhit` kamen`[↑] .	8、3 を指す
283			《沈黙 1.17 秒》	
284	190	話者 A24	Nu tut [カード 6] kamnya, blin, net .	6 を手に持ちながら
285			《沈黙 4.26 秒》	
286	191	話者 C24	Net, a mozhhet by`t`, vsyo vot e`to vot v konce[↑], chtoby` on ix podsadil? .	6 を指す
287	192	話者 C24	Oni vot tak vot, vot zdes` stoyat, dopustim .	9 の後に 6 を置く
288	193	話者 B24	[咳払いの音]N::u da .	
289	194	話者 C24	[咳払いの音]I on ix <podsa::zhivaet v konce[↓]>{>} .	
290	195	話者 A24	<No tut dereva >{>} net na risunke .	6 を指す

291	196	話者 C24	Tak on im g.., oni k nemu prixodyat, govoryat “podsadi nas na derevo”, on govorit <“okej, da::, vsyo[ʃ]”><{< .	6を指す
292	197	話者 A24	<Nu:: voz><{>mozhno, vozmozhno, vozmozhno, da[ʃ] .	
293			《沈黙 2.45 秒》	
294	198	話者 C24	[小さい声で]E`to [カード 12] kuda? .	
295			《沈黙 4.11 秒》	
296	199	話者 C24	Vot tak? .	9を取って、その代わりに12を置く
297	200	話者 C24	A e`t `e`to` [カード 9] syu.., kuda togda<笑い>? .	
298		話者 B24	[咳の音]	
299			《沈黙 1.74 秒》	
300	201	話者 C24	Prosto neponyatno, kak vot e`to vot uvyazat` .	9を指す
301			《沈黙 1.93 秒》	
302	202	話者 A24	N::u vot e`to vot, nu mne kazhetsya, vot e`to vsyo-taki kak by`:: gde-to zdes` .	12、6あたりを指す
303			《沈黙 0.91 秒》	
304	203	話者 A24	No menya smushhaet kamen` .	
305			《沈黙 0.85 秒》	
306	204	話者 C24	Ugu .	
307			《沈黙 3.14 秒》	
308	205-1	話者 C24	[溜め息と舌打ちの音]Uzhe pochti <desyat><{<,,	
309	206-1	話者 A24	<Net, nu.. ><{> ,,	
310	205-2	話者 C24	minut .	
311	206-2	話者 A24	on shyol[ʃ], uvidel yabloko .	2、11を指す
312	207	話者 A24	Vsyo ponyatno .	
313	208	話者 A24	S`el yabloko .	10を指す
314	209-1	話者 A24	<Dal`she><{<,,	
315	210	話者 C24	<Nu da><{> .	
316	209-2	話者 A24	oni::, nu.. mne vsyo-taki kazhetsya, chto oni kak by` na nego 《沈黙 1.78 秒》 nu:: razozlilis` .	6を指す
317	211	話者 A24	To est` tipa “nashe yabloko, paren`, chto ty` delaesh` voobshhe?” .	
318			《沈黙 2.24 秒》	
319	212	話者 A24	Posle e`togo poprobovali sami dostat` .	
320			《沈黙 1.54 秒》	
321	213-1	話者 C24	Ne < poluchilos`[ʃ]><{<,,	
322	214	話者 A24	<Poprobovali pritashhit`><{> kamen` .	
323	213-2	話者 C24	kamen`[ʃ] .	7を指す
324	215	話者 A24	Da .	
325	216	話者 A24	A potom[ʃ], potom on poproboval .	12を指す
326	217	話者 A24	A::, mozhet by`t, e:: e:: 《沈黙 4.93 秒》 mozhet by`t kak-to tak? .	12の代わりに9を置く
327	218-1	話者 A24	To est` on prishyol[ʃ], uvidel kamen`[ʃ], 《沈黙 0.76 秒》 popy`talsya sam ego, po..p.. oj,,	7、9を指す
328	219-1	話者 B24	[舌打ち],,	
329	218-2	話者 A24	popy`talsya <prosto sam><{<,,	
330	219-2	話者 B24	<Smotri::><{> .	
331	218-3	話者 A24	dostat`[ʃ], potom poproboval, poproboval peredvinut` kamen` .	
332	220-1	話者 A24	Potom e:: e::,,	
333	221	話者 C24	Podsadil e`togo[ʃ] .	1を指す
334	222-1	話者 B24	Smotri, <to chto, to chto><{<,,	
335	220-2	話者 A24	<poproboval peredvinut`><{> kamen`, potom podoshyol k <e`tim, naprimer><{< .	
336	222-2	話者 B24	<to, chto zdes`><{> net de::reva, e`to vazhno, potomu chto e`::, to est`.. vidish`, kamen`, vidimo, gde-to podalyoku <lezhit><{<,,	6を指す
337	223	話者 A24	<Nu:: ><{> da .	
338	222-3	話者 B24	nepodalyoku, no.. no ne ryadom s derevom .	
339	224-1	話者 B24	<I on py`taetsya><{<,,	
340	225	話者 A24	<Ugu::><{> .	
341	224-2	話者 B24	ego podvinut`[ʃ], u nego ne poluchaetsya .	
342	226-1	話者 B24	To est`.. podrya::d vot e`ti <dejstviya><{<,,	12、1、9を指す
343	227	話者 A24	<Ugu><{> .	
344	226-2	話者 B24	idti ne mogut .	
345			《沈黙 7.46 秒》	
346	228	話者 B24	<笑いながら>Chety`re minuty` u nas .	
347			《沈黙 1.60 秒》	
348		話者 C24	[息を吐く音]	
349	229	話者 A24	Nu smotrite, vot tut on kak by` s razny`x storon stoit .	10、6を指す
350			《沈黙 1.13 秒》	
351	230	話者 A24	To est` esli by` oni by`li nedovol`ny`, skoree vsego by`la by` takaya zhe kartinka, ili oni by`li by` sleva, on sprava .	10を指す

352			《沈黙 9.09 秒》	
353	231	話者 A24	Nu mne kazhetsya, u nas samy`j pervy`j variant by`l normal`ny`j vpolne .	
354		話者 B24	<笑い>[話者 A24 を見る]	
355		話者 C24	<笑い>[話者 A24 を見る]	
356			《沈黙 2.87 秒》	
357	232	話者 B24	<笑いながら>To est` kak, kak oni voobshhe iznachal`no lezhali?=.	
358	233	話者 C24	=Vot e`to? .	6 を取る
359	234-1	話者 A24	M<::>{<},,	
360	235	話者 C24	<Vot tak?>{>} .	10 と 8 の間に 6 を戻す
361	234-2	話者 A24	ne::, ne, ne, ne .	
362	236	話者 A24	Nu.. 《沈黙 1.10 秒》da::, no tut vot.. ya govoryu, tut.. kak by` , oni s razny`x storon stoyat .	
363	237	話者 C24	Vot tak? .	12 を 9 の前に戻す
364			《沈黙 1.81 秒》	
365	238	話者 C24	Vot e`to by`l, po-moemu, samy`j pervy`j variant .	2、11、10、6、5、8、3、7、12、9、1、4
366	239	話者 B24	Ugu:: [うなずく] .	
367			《沈黙 1.12 秒》	
368	240	話者 A24	Nu vot chto-to tipa togo .	
369	241	話者 B24	Nu davajte <tak i ostavim, potomu chyo-to `chto-to`[->]>{<} [[.	
370	242	話者 A24]] <Py`taetsya podvinut` [↑], podvinut` ne poluchaetsya>{>}, py`taetsya dostat` [↑], ne poluchaetsya, podsazhivaet e`togo .	
371			《沈黙 1.93 秒》	
372	243	話者 C24	Nu da .	
373			《沈黙 6.10 秒》	
374	244	話者 A24	[咳の音]A chto, esli voobshhe vse naoborot? .	
375	245	話者 A24	Oni uvideli, kak on est yabloko[↑] i zaxoteli [↑]sami dostat` yabloko .	10、8、5 を指す
376			《沈黙 1.66 秒》	
377	246	話者 A24	Naprimer, vot tak vot .	
378	247	話者 A24	To est` e`::=.	
379	248	話者 A24	=Nu ya prosto voz`mu[↑] .	8、5 を取る
380			《沈黙 1.33 秒》	
381	249	話者 A24	Est yabloko, “shha `sejchas`, na.. shha:: `sejchas` sami e`::” kak by` .	10、8 を指す
382	250	話者 A24	Nu, v obshhem ponyatno .	
383			《沈黙 0.86 秒》	
384	251	話者 A24	“Dostanem yabloko[↑]”, dostat` yabloko ne poluchilos` 《沈黙 1.51 秒》e`:: .	
385			《沈黙 1.45 秒》	
386	252	話者 C24	Tak tut vsyo s kamnem poluchaetsya= .	3 を指す
387	253	話者 C24	=Nu tut tol`ko dve kartinki možno pomenyat` mestami, pravil`no ya ponimayu? .	
388	254	話者 A24	Nu:: vot kak-to tut .	5、8 を戻す
389			《沈黙 3.75 秒》	
390	255	話者 A24	Prosto ya govoryu, on tut v razny`x mestax stoit .	10、6 を指す
391			《沈黙 0.94 秒》	
392	256	話者 C24	Nu da .	
393	257	話者 A24	Esli by` on stoyal sprava[↑] tak zhe, voobshhe:: bez problem .	6 を指す
394			《沈黙 1.63 秒》	
395	258	話者 A24	Est yabloko, “shhas `sejchas` dostanem sami yabloko” .	8 を指す
396	259	話者 A24	S chego im voobshhe na nego zlit`sya, v principe-to? .	
397	260	話者 A24	E`to zhe ne by`lo ix yablokom .	
398			《沈黙 2.08 秒》	
399	261	話者 A24	To est` oni na nego.. ne:: zlyatsya, predpolozhim .	6 を退ける
400	262	話者 C24	U nas dve minuty`<軽く笑い> .	
401	263	話者 A24	Da= .	
402	264	話者 A24	=To est` oni takie, tipa, “vot, shhas `sejchas`do..”= .	10、5、8 と並べる
403	265	話者 A24	=Net, e..est yabloko, py`tayutsya dostat` .	
404			《沈黙 1.21 秒》	
405	266	話者 A24	“Shha `sejchas` peretashhim kamen`”[↑], peretaskivayut kamen` .	3 を指す
406	267-1	話者 A24	Ne poluchaetsya peretashhit` kamen`[↑],,	
407	268	話者 C24	Nu .	
408			《沈黙 0.83 秒》	
409	267-2	話者 A24	[舌打ちの音]e`:: oni tut chyo-to delayut[↑], v obshhem nevazhno, on py`taetsya peretashhit` kamen` .	7、12 を指す
410			《沈黙 1.21 秒》	

411	269	話者 A24	[咳払いの音] Py`taetsya peretashhit` kamen`, ne poluchaetsya, podxodit k e`tim[↑] 《沈黙 1.15 秒》 e`:: .	12 の後に 6 を置く
412	270	話者 C24	Tak a pochemu togda, esli on shhas `sejchas` podoshyol k e`tim, pochemu <on tut odin?><{> .	6、9 を指す
413	271	話者 A24	<Nu vot da::><{>, da, da, da, e`to vot tut kosyak, konechno .	
414			《沈黙 2.80 秒》	
415	272	話者 B24	Koroche, ya govoryu, nado ostavit` , kak by`lo snachala= .	
416	273	話者 B24	=Tam dazhe esli est` kakie-to nesty`kovki, bolee menee logichno .	
417	274	話者 C24	Nu da .	
418			《沈黙 0.85 秒》	
419	275-1	話者 C24	Potomu chto, nu posmotri, tut v lyubom sluchae, <po-moemu><{>,,	
420	276	話者 A24	<Nu da::><{> .	
421	275-2	話者 C24	gde-to, gde-to <chto-to><{>,,	
422	277	話者 A24	<Da::><{> .	
423	275-3	話者 C24	ne sty`kuetsya .	
424			《沈黙 2.08 秒》	
425	278	話者 A24	[咳払いの音] No mne kazhetsya , vot tak vot vpolne... .	
426	279	話者 A24	Nu vot xren znaet, 《沈黙 0.76 秒》 kogda on, vot kogda on mog odin poprobovat` dostat` 《沈黙 1.00 秒》 yabloko?[話者 C24 がカード 9 を指す] .	
427		話者 B24	<笑い>	
428		話者 C24	<笑い>	
429	280	話者 A24	Nu ne, ne, ya imeyu v vidu,<笑い> e`to-to ponyatno[咳払いの音] .	
430			《沈黙 3.08 秒》	
431	281	話者 C24	Nu, koroche, minuta u nas <ostalas`><{> .	
432	282	話者 B24	<[舌打ちの音] On tak[→]><{> .	
433	283-1	話者 A24	<Nu ><{> v obshhem ya dumayu, vot stoit ostavit` kak-nibud`,,	
434	284	話者 B24	Da .	
435	283-2	話者 A24	ta::k, a e`to e`:: .	話者 C24 から 6 を受け取る
436	285	話者 B24	Voobshhe<笑いながら> ubrat` .	
437		話者 C24	<笑い>	
438	286	話者 A24	Ne::, ne, ne, ne .	
439	287	話者 A24	Nu, naprimer, kuda-nibud` syuda [カード 9 と 1 の間] .	
440			《沈黙 1.27 秒》	
441	288	話者 C24	A pochemu <e`to syuda><{>? .	
442	289	話者 A24	<A on [on を強調する]><{> k nim podo.. on zhe k nim mozhet podojti .	9 を指す
443	290	話者 A24	To est` on poproboval dostat` odin, ne poluchaetsya, <podoshyol k nim[↓]><{> .	9、6 を指す
444	291	話者 C24	<A::, da::,><{> on k nim podoshyol .	6 を指す
445	292	話者 A24	Da::, <da, da, da><{> .	
446	293	話者 C24	<Oni so><{> skepsisom posmotre::li, <i oni vsyo[↓]><{> .	
447	294	話者 A24	<Da, i tipa takie><{> “nu ladno” .	
448	295	話者 C24	Da, da, da, davaj tak .	カードを整える
449	296	話者 A24	Dostali yabloko .	
450			《沈黙 1.87 秒》	2、11、10、5、8、3、7、12、9、6、1、4
451	297	話者 C24	Davaj tak poprobuem .	
452			《沈黙 3.50 秒》	
453	298	話者 A24	Nu vsyo vy`glyadit dovol`no logichno, 《沈黙 2.08 秒》 kak mne kazhetsya .	
454	299	話者 C24	Nu da, shhas `sejchas` da .	
455			《沈黙 2.30 秒》	
456	300	話者 C24	Nu vsyo<笑い>[話者 A24 を見て立ち上がる] .	
457		話者 B24	<笑い>	
458	301	話者 A24	Da, vsyo .	

5. RM05

話者性別: 男

会話時間: 11:30 分

ライン 番号	発話文 番号	話者	発 話 内 容	備考
1	1	話者 A25	[息を吸う音]Ux ty` .	
2	2	話者 B25	E`:: vse kartinki tut pered toboj .	
3		話者 A25	<軽く笑い>	
4			《沈黙 1.30 秒》	
5	3	話者 A25	Svyaznaya istoriya, da[↑]? .	
6			《沈黙 2.03 秒》	
7	4	話者 B25	A mozžno obshhat`sya uzhe? .	
8	5	話者 A25	Da`:, <da, da>{<} .	
9	6	話者 C25	<Nu da>{>}, vmeste <zhe nuzhno>{<} .	
10	7	話者 B25	<Nuzhno>{>} dazhe .	
11	8	話者 A25	Cherez 15 minut ona skazala zajdyot .	
12	9	話者 B25	Aga .	
13	10-1	話者 B25	Lad<no, znachit>{<},,	
14	11	話者 A25	<Ta`::k>{>} .	
15	10-2	話者 B25	na chetvyortoj glavny`j geroj, sudya po vsemu .	6 の大きいキャラクターを指す
16			《沈黙 3.39 秒》	
17	12	話者 B25	M..m`::..m`::, ya ne pojmu, e`to yajczo ili chto?= .	
18	13	話者 C25	=A vot zdes`on odin .	2 を動かす
19			《沈黙 0.88 秒》	
20	14	話者 B25	Da`:, nado naverno snachala raspredelit`, <gde on odin[↓]>{<} .	
21	15-1	話者 C25	<Vot zdes`on>{>},,	
22	16	話者 A25	<Ne`::>{>} .	
23	15-2	話者 C25	tozhe odin[↑] py`taetsya sorvat` yabloko .	9 を 2 の後に置く
24	17	話者 A25	Da .	
25	18	話者 B25	Da, vidimo, potom on naxodit uzhe .	1 を指す
26	19	話者 C25	Potom naxodit ka<kogo-to[→]>{<} 【 .	
27	20	話者 A25	】<Vo`::t>{>} eshhyo, vot on py`t.. on u.. yabloko <upalo, yabloko upalo[↓]>{<} .	10 を取る
28	21	話者 C25	<A`:, yabloko upalo>{>} .	
29	22	話者 B25	Da .	
30	23-1	話者 C25	Vo`::t, da,,	
31	24-1	話者 B25	Vot <tut>{<},,	
32	23-2	話者 C25	<da>{>} .	
33	24-2	話者 B25	[カード 5 を持ち上げて話者 C25 に見せる]kstati govorya, oni vdvoyom potom otdel`no py`tayutsya ix podnyat` .	5 を持ち上げる
34	25	話者 C25	Kstati da .	
35	26	話者 A25	<Tak, oni vdvoyom>{<} .	
36	27	話者 B25	<Davajte raspredelim snachala>{>}, gde est`, <koroche, on odin, a gde vsyo[→]>{<} 【 .	
37	28	話者 A25	】<Shhas`sejchas`, davajte, prosto vezde, gde>{>} ya..yabloki, gde yabloki voz`myom .	
38	29	話者 B25	Da, kstati govorya, tak <笑いながら>lo<gichnee[↓]>{<} .	
39	30	話者 A25	<Vo`::t>{>}, vot e`ti vse.. s yablokami .	
40	31-1	話者 B25	Vot v konce eshhyo e`ti dva <chuvaka s yablokami>{<},,	4 を指す
41	32-1	話者 A25	<E`::>{>},,	
42	31-2	話者 B25	tozhe .	
43		話者 C25	<笑い>	
44	32-2	話者 A25	tak, a s..s kamnem <teper`>{<},,	
45	33	話者 B25	<Pesnya>{>} .	
46	32-3	話者 A25	s kamnem otdel`no .	7、3、12 をまとめる
47			《沈黙 1.37 秒》	
48	34	話者 C25	Da, eshhyo kamen` tut .	
49	35	話者 A25	Kamen`= .	
50	36	話者 B25	=Vot on est yabloko, kstati govorya, tozhe .	10 を指す
51	37	話者 C25	Uzhe .	
52	38	話者 B25	I zdes` dvo.. oni edyat= .	4 を指す
53	39	話者 B25	=E`to, po idee, dve, kak by` razny`x kuska istorii .	
54	40	話者 A25	Ta`::k= .	
55	41	話者 B25	=Ili, mozhet by`t`, oni al`ternativny`e kak by` .	
56			《沈黙 1.29 秒》	

57		話者 C25	<笑い>	
58	42	話者 A25	A e`.. zdes`[↑], zdes` oni= [[6を指す
59	43	話者 C25]] =On ix prosto vstrechaet, vidimo, tam .	
60	44	話者 B25	Da .	
61	45	話者 A25	A vot on ks.. vot, kstati, vo:t .	2を取る
62			《沈黙 0.96 秒》	
63	46-1	話者 A25	Zdes`,,	
64	47	話者 B25	Kamni .	
65	46-2	話者 A25	kamni[→] .	3を指す
66			《沈黙 1.48 秒》	
67	48	話者 C25	Net, uzhe <kakie-to malen`kie[↓]>{<}	
68	49-1	話者 B25	<Net e`to prosto>{>} po-mom `po-moemu` <prosto idyot>{<},,	
69	50	話者 C25	<Prosto idyot>{>} .	
70	49-2	話者 B25	kak by`= .	
71	51	話者 B25	=Ix bol`she net <nigde tam[↓]>{<}	
72	52	話者 C25	<Vot interesno>{>}, naverno, on prix.. on naverno idyo:t[↑], potom vy`x..vy`.. naxodit [↑]derevo, i yabloko uzhe lezhit .	2、11、9と並べる
73	53	話者 C25	A on xochet eshhyo odno .	
74	54	話者 C25	A eshhyo odno ne polucha`etsya .	
75	55	話者 A25	A::, stop, stop, stop, stop, stop .	
76	56	話者 A25	Ne, ne, ne .	
77	57	話者 A25	Mozhet vot tak, vot tak? .	11の後に10を置く
78			《沈黙 1.09 秒》	
79	58	話者 A25	Shhas `sejchas`, a::, ne, ne, ne, ne, ne .	
80			《沈黙 1.20 秒》	
81	59	話者 A25	Tak, tak, tak, tak, tak .	
82			《沈黙 1.73 秒》	
83	60	話者 A25	[息を吸う音]Aga::, xmxmxm .	
84	61-1	話者 A25	A::, vot e`ta, <mne kazhetsya, pervaya, vot e`to, mne>{<},,	6を見せる
85	62	話者 C25	<Nado eshhyo s kamnem vsyo dopridumat`>{>} .	
86	61-2	話者 A25	kazhetsya, pervoe .	
87	63	話者 A25	Vot oni chyo-to `chto-to` pos..possorilis` poxodu .	2の前に6を置く
88	64-1	話者 A25	Vot <on poshyol odin>{<},,	
89	65	話者 C25	<A::, mozh et by`t`>{>} .	
90	64-2	話者 A25	vot on poshyol odin .	
91	66	話者 B25	A::, poshyol odin dostat` yablo<ko, mozh et by`t`, da[↓]>{<}	
92	67	話者 A25	<Da::, da, da, poshyol odin>{>} odin, obidelsya na nix .	
93	68-1	話者 A25	Vot on kak <raz>{<},,	2を指す
94	69	話者 C25	<Kstati>{>}, da .	
95	68-2	話者 A25	vo:t, on o<bidelsya>{<},,	
96	70	話者 B25	<Sudya>{>} po e`mociyam, da .	
97	68-3	話者 A25	vo:t, e`:: .	
98	71-1	話者 B25	I on uvidel yabloko, dopustim, poka pust` budet,,	2の後に11を置く
99	72	話者 A25	Da .	
100	71-2	話者 B25	naprimer .	
101	73	話者 A25	On uvidel [↑]yabloko .	
102	74	話者 B25	Vot zachem?= .	
103	75	話者 B25	= A mozh et by`t` iskal o::n .	12を指す
104	76-1	話者 B25	<Snachala>{<},,	
105	77-1	話者 C25	<Net, snachala>{>},,	9を指す
106	76-2	話者 B25	py`talsya podnyat` chtob <podnyat` [↑]yabloko>{<},,	
107	77-2	話者 C25	<snachala vot on >{>},,	
108	76-3	話者 B25	cmotri, a <potom>{<},,	
109	77-3	話者 C25	<podnyal>{>} .	
110	76-4	話者 B25	<on ne smog>{<},,	
111	78	話者 A25	<Da, da, da>{>} .	
112	76-5	話者 B25	podnyat` i on uzhe na golove vot e`togo podsadil .	1を指す
113	79	話者 A25	Kstati, mozh et by`t` .	
114	80-1	話者 C25	A::, da::, py`talsya, da::,,	
115	81	話者 A25	A e`ti <chyto`chto?>{<}	3を指す
116	80-2	話者 C25	<pri>{>}<tashhit`[↓]>{<}	
117	82	話者 A25	<E`ti tozhe>{>} py`tayutsya .	
118	83	話者 C25	I e`ti py`tayutsya .	
119	84-1	話者 A25	A::,,	
120	85	話者 C25	<Mozh `mozh et` parallel`no?>{<}	
121	86	話者 B25	<Ya govoril snachala , e`to>{>} dve paralle::l`<ny`e, naverno, da[↓]>{<}	
122	84-2	話者 A25	<smotri, da, da, da, da, da>{>} .	
123	87	話者 A25	Oni vse py`tayutsya dostat` yabloko .	
124	88	話者 C25	A tut mozhno parallel`no sdelat` istoriyu-to? .	

125	89	話者 A25	Vo::t <oni vse py`tayutsya[→]><{ } { [.	
126	90	話者 B25]] <<笑いながら>Ne::, mozhno><{ } <poprobovat`[↓]><{ } .	
127	91	話者 A25	<Za..zachem><{ }?>= .	
128	92-1	話者 A25	=Oni vse[↑].., vot cel`.,	9を指す
129		話者 C25	<笑い>	
130	92-2	話者 A25	e`:: u nix e`to.. poluchit` yabloki .	4を指す
131	93	話者 B25	Da, i v itoge oni poluchayut kak by` e`:: kooperaciya poluchaetsya .	
132	94	話者 B25	Vot[カード1を指す] .	1を指す
133			《沈黙 1.80 秒》	
134	95	話者 A25	E`::m znachit poluchaetsya 《沈黙 1.86 秒》 e`:: xmxmxmxm<xmxm><{ } .	
135	96	話者 C25	<Nu><{ } tut, naverno, parallel`nyu nel`zya .	
136			《沈黙 1.07 秒》	
137	97	話者 C25	<Tut[→]><{ } { [.	
138	98	話者 A25]] <Svyaz><{ }>naya istoriya dolzhna poluchi<t`sya[↓]><{ } .	
139	99	話者 C25	<Da><{ } .	
140	100	話者 B25	Mozhno prosto po chastyam eyo soedinit` .	10を取る
141	101	話者 B25	Voobshhe mozhno, chtoby` vot on tut podobral yabloko i potom on , naprimer ego est, i ego dvoe vot e`tix vot uvi<deli[↓]><{ } .	11を指す、10を見せる
142	102	話者 A25	<A`::><{ }, <kstati, kstati[→]><{ } { [.	
143	103	話者 B25]] <I oni posle e`togo sami><{ } poshli tozhe vzyat` yabloki i ponyali, chto <u nix ne poluchaetsya[↓]><{ } .	8を指す
144	104	話者 A25	<Da, da, da, da, da><{ } .	
145			《沈黙 1.57 秒》	
146	105	話者 C25	Da, on potom vozvrashhaetsya, da[↓], <to est` s nimi, da[↓]><{ } .	
147	106	話者 A25	<A`::, da, da, da><{ }, da, da .	
148	107	話者 A25	Vo::t, vot on poshyol[↑] <odin[↓]><{ } .	2を指す
149	108	話者 C25	<Obidelsya><{ }, chto on ne po..<on sam ne mozhet[↓]><{ } .	
150	109	話者 A25	<On obidelsya na><{ } nix[↑]= { [.	10を指す
151	110	話者 C25]] =On odin zhe ne mozhet .	
152	111	話者 A25	<Chto odin?><{ } .	
153	112	話者 B25	<Nu pust`><{ }, pust`, <davajte poka vot tak[↓]><{ } .	
154	113	話者 C25	<Nu vot zdes` on zhe odin><{ } ne mozhet dostat` yabloko .	9を指す
155	114	話者 A25	Da, da, da, <vot, vot e`to, vot on poest[↓]><{ } .	
156	115	話者 B25	<No on ego snachala nashyol, mozhet by`t><{ }, vidish`? .	11を指す、10を見せる
157	116-1	話者 A25	A<::, ne, ne, ne, ne, ne><{ },,	
158	117	話者 B25	<To est` tut uzhe lezhalo><{ } .	
159	116-2	話者 A25	vot kak by`lo .	6を取る
160	118-1	話者 A25	Vot on odin idyot, vot on est yabloko[↑],	
161	119	話者 B25	Nashyol i est <uzhe[↓]><{ } .	
162	118-2	話者 A25	<a><{ } oni.. obidelis` na nego[↑], potomu chto:: e`:: <kak by`><{ },,	10の後に6を置く
163	120	話者 B25	<Voobshhe><{ } poxozhe, da[↓]<笑い> .	
164	118-3	話者 A25	chto u nego yabloka net .	10、6を指す
165	121	話者 B25	Nu, pred.. pust` poka tak budet .	
166			《沈黙 1.13 秒》	
167	122-1	話者 A25	A`::, ne, ne, ne, ne, ne, <vot on pervy`j, vot on pervy`j><{ },,	2を取る
168	123-1	話者 C25	<Nu tut kak ugodno, tut, po-moemu><{ },,	
169	122-2	話者 A25	nashyol yabloko,,	
170	123-2	話者 C25	kak ugodno mozhno, sobstvenno, tut .	
171	124	話者 B25	Nu da .	
172	122-3	話者 A25	vot on nashyol [↑]yabloko, potom=,,	11、10と並べる
173	125	話者 C25	=S`el .	
174	122-4	話者 A25	e`:: oni uvideli, kak on est yabloko .	10を指す
175	126	話者 C25	Da .	
176	127	話者 A25	Oni tozhe zaxoteli yabloko .	10の後に6を置く
177	128	話者 A25	Vot on ego uzhe s`el v principe[息を吸う音] .	
178	129	話者 B25	Nu pust` da[↓] .	
179	130	話者 B25	I oni <reshili ego dostat`[↓]><{ } .	
180	131	話者 A25	<E`:: i on, on><{ }, on obidelsya, on reshil, “kak mne dostat` yabloko, tozhe:: pomoch` e`tim rebya.. rebyatam” .	6の後に2を置く
181	132	話者 B25	A`:: .	
182	133	話者 C25	A, mozhet, v.v..vot e`tix rebyat prishpandy`rit` k.. <kak-to k derevu><{ }? .	8を見せる
183	134-1	話者 B25	<Da, mozhet oni><{ } snachala py`talis`, kak by`, potomu chto zdes` stol`ko e`tix,,	1を指す
184		話者 A25	<笑い>	
185	134-2	話者 B25	chto oni vdvoyom py`tayutsya snachala s soboj, <vot><{ } .	

186	135	話者 C25	<Tut prosto>{>} svyazano, dejstvitel'no .	
187	136-1	話者 B25	Mozhno <podumat' tak>{<},,	
188	137	話者 C25	<Mozhno, da::>{>} .	立ち上がって机の前に移動
189	136-2	話者 B25	chto, da[↓], to, chto oni reshili tozhe yabloko s'est',	8、5 と並べる
190	138	話者 C25	Da::, <ne smogli::[↓]>{<} .	
191	136-3	話者 B25	<i u nix ne poluchi>{>}los', <da[↓]>{<} .	
192	139	話者 C25	<Tak>{>}, chtob posledovatel'no by'lo .	2 を取る
193			《沈黙 0.93 秒》	
194	140	話者 C25	Nu:: vot .	
195			《沈黙 2.59 秒》	
196	141	話者 A25	[息を吸う音]A::= [I .	
197	142	話者 C25] =I potom uzhe parallel'no nachinaetsya .	
198	143	話者 C25	Vot on uxo::dit[↑], oni v e'to vremya tam po.. py'tayutsya e'tu skalu::[↑], i on ix naxodit .	3、7 を並べる
199	144	話者 B25	A::, vot, da, e'to .	
200	145	話者 A25	Da, da, da, <vot[↓]>{<} .	
201	146	話者 B25	<I mozhet>{>} by't' py'taetsya tozhe skalu podnyat' <i ne poluchaetsya[↓]>{<} .	12 を指す
202	147	話者 C25	<I tozhe, da,>{>} i:: tozhe py'taetsya .	7 の後に 12 を置く
203	148	話者 A25	Tozhe py'taetsya .	
204			《沈黙 6.66 秒》	
205	149	話者 A25	Tak, a, a::, [↑]vot on .	
206	150	話者 A25	Podozhdite, stop .	9 を取る
207			《沈黙 0.97 秒》	
208	151	話者 A25	Vot on kogda poshyol[↑] .	
209	152	話者 A25	Gde? .	
210	153	話者 A25	A::, pochemu syuda, 《沈黙 1.63 秒》 pochemu on syuda? .	2 を指す
211			《沈黙 0.87 秒》	
212	154	話者 C25	A on v e'to vremya <idiot[↓]>{<} .	
213	155	話者 B25	<Nu>{>} 《沈黙 0.80 秒》 nu <kstati, da , mozhno tak sdelat'[↓]>{<} .	
214	156	話者 A25	<A::, ne, ne, ne>{>}, <ne, ne[↓]>{<} .	
215	157	話者 C25	<Mo.. a nu mozhno>{>}, mozhno syuda .	2 を 8 の前に置く
216	158	話者 B25	E't 'e'to' nevazhno .	
217	159-1	話者 B25	<Koroche, my'>{<},,	
218	160	話者 A25	<Vot syuda>{>} .	
219	159-2	話者 B25	soedinili poka tol'ko vot rebyat, da[↑]?, melkix .	
220			《沈黙 2.53 秒》	
221	161	話者 B25	A vot e'ti vot my' poka ne brali eshhyo v raschyot .	1、9 を指す
222			《沈黙 1.23 秒》	
223	162	話者 A25	Tak, davajte, mozhet by't', togda sdelaem .	
224			《沈黙 1.43 秒》	
225	163	話者 A25	A::, v e'to vremya, shhas 'sejchas' <笑い> .	
226	164	話者 B25	V e'to vremya <tipa e'ti tozhe py'tayutsya tozhe podnyat'[↓]>{<} .	
227	165	話者 A25	<A::, vot, vot, vot, vot, vot>{>}, vot davajte, mozhet by't' vot tak? .	6、12 を退ける
228	166	話者 A25	Vot, oni uvideli u nego yabloko[↑] 《沈黙 1.06 秒》i tozhe zaxoteli e'to yabloko poluchit' .	11、10、8 と並べる
229	167-1	話者 A25	<Oni prishli syuda>{<},,	
230	168	話者 B25	<N::u my' <笑いながら> my' tak>{>} i dumali, da[↓] .	8 を指す
231	167-2	話者 A25	oni prishli syuda .	
232	169	話者 A25	Potom[↑] 《沈黙 0.80 秒》 e:: .	
233			《沈黙 0.86 秒》	
234		話者 C25	<笑い>	
235	170-1	話者 B25	Vot oni, vot oni <prishli>{<},,	
236	171	話者 A25	<Da>{>} .	
237	170-2	話者 B25	py'talis' podnyat' vdvoyom, u nix ne poluchilos' .	8 の後に 5 を置く
238	172	話者 B25	Posle e'togo oni, my' dumali, vot oni py'talis' podnyat' kamen' .	3 を指す
239	173	話者 B25	U nix tozhe ne poluchilos' .	
240	174	話者 B25	Togda ix vstretil, naprimer, vot e'tot chuvak, da[↓] .	7 を指す
241	175	話者 C25	Kotory'j shyol <do e'togo[↓]>{<} .	3 を取る
242	176	話者 B25	<Da>{>} .	
243	177	話者 B25	To est' vot tak vot poluchaetsya .	5 の後に 3 を置く
244	178	話者 B25	Nu vot poluchaetsya, smotri chyo 'chto' .	
245	179-1	話者 B25	Tipa on nashyol zdorovennoe [↑]yabloko, s'el ego, oni tipa posmotreli na nego, to chto on est [↑]yabloko, prishli k yablone, u nix ne <poluchi>{<},,	11、10、8、5 を指す
246	180	話者 A25	<Da>{>} .	

247	179-2	話者 B25	los` podnyat` .	
248	181	話者 B25	Oni reshili podnyat` kamen`, tuda <pritashhit>{<}	3 を指す
249	182	話者 A25	<Da, da, da, da>{>}, <da>{<}	
250	183-1	話者 B25	<V e`to>{>} vremya shyol, nu tam gde-to gulyal.. zdorovyak[↑],,	3 の後に 2 を置く
251	184	話者 C25	Vstretil ix .	2 の後に 7 を置く
252	183-2	話者 B25	ix vstretil, da[↓] .	
253	185-1	話者 B25	Popy`talsya tozhe podnyat` kamen`,,	7 の後に 12 を置く
254	186	話者 A25	Da::, da, <da>{<}	
255	185-2	話者 B25	<no>{>} ne poluchilos` .	
256	187	話者 B25	Nu možhno eshhyo.. vot e`to vot toka `tol`ko` .	6 を取る
257	188	話者 B25	No vot e`to možhno postavit` syuda [カード 8], to chto on.. beryot .	6 を 8 の位置に置こうとする
258	189-1	話者 A25	Ne, <ne, togda>{<},,	
259	190	話者 B25	<lli net>{>} .	
260	189-2	話者 A25	ne polucha::etsya, ne::t .	
261	191	話者 A25	Vo::t, on xotel im pomoch` .	9 を持ち上げる
262	192	話者 B25	Nu da:: .	
263	193-1	話者 C25	Nu vot, <a potom>{<},,	
264	194	話者 B25	<Nu vot on>{>} .	
265	193-2	話者 C25	on prixodit k nim[↑], da[↓], m.. py`taetsya s..sorat` yabloko .	6、9 を指す
266	195	話者 A25	A::, togda, podozhnite, togda vot.. vot tak togda .	2 を取る
267			《沈黙 2.50 秒》	
268	196	話者 A25	Vot tak, mne kazhetsya, togda .	6 の後に 2 を置く
269	197	話者 C25	A mo., da::, vot tak logichnee budet, logichnej budet, da:: .	
270			《沈黙 1.67 秒》	
271	198	話者 A25	Ta::k .	
272	199	話者 B25	A pochemu togda on snachala skalu staralsya podnyat`? .	12 を指す
273	200	話者 A25	Koroche, vot e`::to, e`to tochno konec .	1、4 と並べる
274	201-1	話者 A25	Vot konec[↑],,	
275	202	話者 B25	Nu da::, <e`to ponyatno>{<}	
276	201-2	話者 A25	<vot e`to konec>{>} .	
277	203	話者 C25	<A tam zhe oni>{>} obizhenny`e, net[↑]?, vot v poslednem .	4 を指す
278	204	話者 A25	Pochemu?, <ne::t>{<}	4 を取って、見る
279	205	話者 B25	<Net>{>}, oni vrobe vse dovol`ny`e, <vse stoyat[↓]>{<}	4 を指す
280	206	話者 A25	<Oni vse radost>{>}ny`e .	
281	207	話者 C25	A::, da, naoborot, da, da, da .	
282	208	話者 C25	<Nu vot>{<}	
283	209	話者 A25	<Vot e`to>{>} konec, dva .	1、4 を指す
284	210	話者 B25	Ugu .	
285	211	話者 A25	<Tak>{<} [[.	
286	212	話者 C25]] <Nu vsyo::>{>}, da .	
287	213	話者 C25	I tut, ponyatno, on odin ne smog[↑], i togda e`tot emu na golovu zalez .	9 を指す
288	214	話者 B25	Ugu .	
289	215	話者 B25	Tut tol`ko vot e`to vot e`:: <s kamnyami mne interesno[↓]>{<}	7、12 を指す
290	216	話者 A25	<Vot e`to, da, ne ponyatno, s kamnyami>{>} chto delat`[息を吸う音] .	
291			《沈黙 0.77 秒》	
292	217	話者 B25	Nu možhno... .	
293			《沈黙 1.60 秒》	
294	218-1	話者 C25	Nu a chy`o `chto`?, sna<chala oni ne s..>{<},,	7 を指す
295	219	話者 B25	<Nu v principe>{>}, da .	
296	218-2	話者 C25	ne smogli, oni ne smogli, on ne smog, i togda oni pogovorili .	12、6 を指す
297			《沈黙 3.76 秒》	
298	220	話者 B25	Prosto <poluchaetsya vot tak vot[→]>{<} [[.	
299	221	話者 A25]] <Ne, ne, ne, ne, ne, ne, net, stop>{>} .	
300	222	話者 C25]] <A::, ili vot, ili, ili vot [↑]e`to>{>} vot e`to možhno prosto syuda .	6 を 10 の後に置く
301	223	話者 B25	Nu vot e`to da::, vot e`to ya <笑いながら>tozhe dumayu luchshe tuda postavit` .	11、10、6、8、5
302	224	話者 C25	Vot on s`el, a oni obidelis` .	10、6 を指す
303	225	話者 B25	Oni obidelis`, zaxoteli yabloko, da[↓] .	6 を指す
304	226	話者 B25	Prishli[↑], u nix ne poluchilos` e`to, oni py`talis` s kamnem, i potom on ix uvidel i reshil im pomoch` s kamnem snachala, potom dostat` samomu[↑] .	3、7 を指す
305	227-1	話者 B25	Ne, vot posle e`togo nelogichno nemnogo poluchaetsya to, chto <on snachala py`talsya>{<},,	
306	228	話者 A25	<Ne, ne, ne>{>} .	
307	227-2	話者 B25	kamen`, da[↓], potom tol`ko sa..sam dostat` .	9 を指す
308	229	話者 A25	On xotel im pomoch`, mne kazhetsya .	
309	230	話者 B25	Nu da:: .	

310	231	話者 A25	On xotel im pomoch`[↑], 《沈黙 0.86 秒》 oni potom... .	
311			《沈黙 0.89 秒》	
312	232-1	話者 A25	A::, smotrite, smotrite, smotrite, oni edyat yabloko, o..oni uvideli, chto on est <yabloko><{>,,	6 を退ける、10、8、5 を指す
313	233	話者 B25	<Ugu><{> .	
314	232-2	話者 A25	poshli <popy`><{>,,	
315	234	話者 B25	<Ugu><{> .	
316	232-3	話者 A25	talis`, u nix ne poluchi<los`[↓]><{> .	
317	235	話者 B25	<Ugu><{> .	
318	236	話者 A25	E`:: on e`:: shhas, shhas, shhas, shhas, shhas `sejchas`, 《沈黙 1.10 秒》 u nix ne poluchilos`[↑], 《沈黙 2.07 秒》 ax:: tak 《沈黙 3.03》 e`:: mxmx .	6 を見る
319	237	話者 C25	Oni poprobovali kamen` .	7 を指す
320	238	話者 B25	Vot e`to oni prosto rastroenny`e ili oni imenno obizheny` , kak dumaete?[カード 6 を見せる] .	6 を見せる
321	239	話者 C25	Nu oni obizhe<ny`><{> .	
322	240	話者 A25	<A::><{> ne, ne, ne, u nix ne poluchilos`, potom on sprashivaet, on.. oni, oni ego vstrechayut i govoryat, “mozhet vam pomoch`? mozhet my` vmeste dostanem e`to yabloko?” .	6 を取る、5 を指す
323	241	話者 B25	A oni tipa <obidelis` takie “my` sami”, naverno[↓]><{> .	
324	242	話者 A25	<E`:: oni govoryat, oni obidelis`, “ne::t, my`><{> sami, my` sami” .	6 の後に 2 を置く
325	243-1	話者 A25	Vot on o.. on obizha::etsya, <on obizha::etsya, on rasstro><{>,,	
326	244	話者 B25	<On rasstroenny`j uxodit, da[↓]><{> .	
327	243-2	話者 A25	enny`j uxodit .	
328	245-1	話者 B25	V e`to vremya oni vot <py` tayutsya><{>,,	3 を指す
329	246-1	話者 A25	<E`::><{>,,	
330	245-2	話者 B25	kamen` podnyat` .	
331	246-2	話者 A25	v e`to.. ne, ne, ne, stop, stop, stop .	
332			《沈黙 0.97 秒》	
333	247	話者 A25	A::, v e`to vremya, da::, v e`to vremya oni py`.. oni s.. oni sami py` tayutsya podnyat` kamen`[↑] .	2 の後に 3 を置く
334			《沈黙 1.40 秒》	
335	248	話者 B25	Net, togda on naverno uxodit, py`taetsya dotyanut`sya, u nego ne poluchaetsya im .	9 を指す
336	249-1	話者 B25	Kak raz kak ty` xotel, to <chto on snachala><{>,,	
337	250	話者 A25	<Da, da, da><{> .	2 の後に 9 を置く
338	249-2	話者 B25	im pomoch` xotel .	
339	251	話者 A25	Vot o... .	
340			《沈黙 1.77 秒》	
341	252	話者 B25	Nu vot, u nego ne poluchilos` .	
342	253	話者 B25	V e`to vremya oni do.. e`:: berut kak by` kamen` py`tayutsya podnyat` .	3 を指す
343	254	話者 B25	Vdrug on podxodit, vidit, chto:: oni tam e`tot, nu starayutsya <[↑]kamnem><{> .	7 を指す
344	255	話者 A25	<Da::><{>, da, da, da, da, vo::t, <oni v e`to vremya[→]><{> [[.	9 の後に 3、7 を置く
345	256	話者 B25]] <Py`taetsya ego tozhe><{> podnyat`, v itoge, vot tut podsazhivaet ix vse, naverno .	7 の後に 12、1、4 を置く
346	257	話者 A25	Da, da, da, tak naverno poluchaetsya .	
347			《沈黙 1.37 秒》	
348	258	話者 C25	Nu tut million , po-moemu, vozmozhnostej, <da[↑]?><{> .	
349	259	話者 B25	<Da><{>, davajte posmotrim, chto u nas poluchilos` .	
350	260	話者 A25	Vot, znachit, poluchaetsya, on idyo.. on, on nashyol yabloko .	11 を指す
351	261	話者 B25	S`el ego, <oni uvideli[↓]><{> .	
352	262	話者 A25	<Est ego><{> .	10 を指す
353	263	話者 A25	Oni uvideli, kak on est yabloko, tozhe zaxoteli yabloko .	
354	264	話者 A25	Prishli[↑], e`:: on govorit, nu do..dostat` yabloko, oni py`tayutsya dostat` yabloko[↑], u nix ne poluchaetsya[↑], oni ne dotyagivayutsya[↑], on xochet im pomoch`= .	8、5、6 を指す
355	265-1	話者 A25	=“Davajte,”govorit,“vmeste.. podnimem yabloko[↑]”,,	
356	266-1	話者 B25	Takie, tipa, <“my` samostoyatel`ny`e”><{>,,	
357	265-2	話者 A25	<“dostanem yabloko”><{>,,	
358	266-2	話者 B25	da[↑]?<笑い> .	
359	265-3	話者 A25	vo::t .	
360	267-1	話者 A25	A, da::, oni na nego.. oni na nego krichat[↑], on uxodit, obizhaetsya, py`taetsya sa::m im pomoch` dostat` yabloko,,	2、9 を指す
361	268	話者 B25	A v e`to vremya oni <py`tayutsya podnyat` kamen`, da[↓]><{> .	
362	267-2	話者 A25	<v e`to vremya oni py`tayutsya sd.. ><{> podnyat` yabloko, chtob bez nego::,,	3 を指す
363	269	話者 B25	Kamen`<笑い> .	
364		話者 C25	<笑い>	

365	267-3	話者 A25	e`:: oj,,	
366	270	話者 B25	Da, <da, da>{<}	
367	267-4	話者 A25	<kamen`>{>}, chtob bez nego dostat` yabloko .	
368	271	話者 B25	No tut on vozvrashhaetsya, dopustim, vidit , oni ponimayut, chto samim ne spravit` sya[↑] .	7 を指す
369	272	話者 A25	Ne, ne, ne, a`::, e`::, ne, ne, ne .	
370	273-1	話者 A25	On, on tozhe ne mozhet dostat` [↑]yabloko i xochet, i xochet tozhe [話者 B25 を見る],, Nu .	9 を指す
371	274	話者 B25	Nu .	
372	273-2	話者 A25	vozvrashhaetsya k kamnyu, chtoby` dostat` [↑]kamen` , chtoby` z.. snyat` ix<笑い>, chtoby` <dostat` yabloko[→]>{<} [I .	
373	275	話者 B25	II <A gde oni vstre>{>}chayutsya togda? .	
374	276-1	話者 B25	Ya prosto predlagayu, <chto oni vstretilis`>{<},, <Da, oni vstrechayutsya>{>} .	
375	277	話者 A25	<Da, oni vstrechayutsya>{>} .	
376	276-2	話者 B25	u kamnya imenno .	
377	278	話者 A25	Nu da`::, vot oni vstretilis` .	7 を指す
378	279	話者 A25	Oni v e`to vremya py`tayutsya, on.. on prixodit, <vidit, tozhe py`taetsya>{<} .	
379	280	話者 B25	<Nu vot i tozhe staraetsya>{>} podnyat` , ne poluchaetsya .	12 を指す
380	281	話者 B25	I v itoge oni`:: dodumy`vayutsya podnyat` ego na golovu .	1 を指す
381			《沈黙 3.39 秒》	
382	282	話者 A25	E`:: xmxmxmxmxm .	
383			《沈黙 3.36 秒》	
384	283	話者 B25	Nu ponyatno , chto vot e`ti dve e`to poslednie, uzhe somnenij smy`sla net .	1、4 を指す
385			《沈黙 2.20 秒》	
386	284	話者 B25	Prosto vot tut ix mozžno v principe, mne kazhetsya, v svobodnom poryadke nemnogo pomenyat` .	ストーリーの真ん中あたりを指す
387	285	話者 B25	Vsyo ravno istoriya poluchitsya primerno odinakovaya .	
388	286	話者 A25	A vot smotri, vidish` , tut [↑]kameshki.. narisovany` .	2 を取る
389	287-1	話者 B25	A nu znachit on <podxodit>{<},, <Mozhet by`t>{>},, k kamnyu naverno, raz tut <kamushki[↓]>{<} .	2 を指す
390	288-1	話者 A25	<Mozhet by`t>{>},, k kamnyu naverno, raz tut <kamushki[↓]>{<} .	
391	287-2	話者 B25	<mozhet on vot>{>} 《沈黙 3.00 秒》 shhas `sejchas`, kak`nibud` vot tak[↑]? .	12 と 1 の間に 2 を入れる
392	288-2	話者 A25	<mozhet on vot>{>} 《沈黙 3.00 秒》 shhas `sejchas`, kak`nibud` vot tak[↑]? .	
393			《沈黙 4.14 秒》	
394	289	話者 B25	Ne`::, oni zhe tut tozhe vstrechalis` .	7 を指す
395	290	話者 B25	I oni tut vrobe ne poxozhi ne.. ne poxozhi na obizhenny`x .	
396	291	話者 C25	Nu da, tut on idyot voobshhe v odinochestve= .	
397	292-1	話者 C25	=Oni zh vmeste idut,, <Ugu>{>} .	
398	293	話者 B25	Nu <da>{<} .	
399	292-2	話者 C25	<k de>{>}revu .	
400	294	話者 C25	Poe`tomu luchshe ostavit` tam .	
401			《沈黙 0.99 秒》	
402	295	話者 A25	Da? .	
403	296	話者 A25	Tak? .	2 を 6 の後に戻す
404	297	話者 C25	Da .	
405			《沈黙 3.72 秒》	
406	298-1	話者 A25	Ne, poluchaetsya vot kamni, tut ne svyazano, vot kamni, poluchaetsya e`to <doroga>{<},, <Ugu>{>} .	
407	299	話者 B25	kak raz k kamnyu,, <Ugu>{>} .	
408	298-2	話者 A25	kak raz k kamnyu,, <Ugu>{>} .	2 を指す
409	300-1	話者 B25	A mozžno sdelat` , prosto pomenyat` mestami <vot s`::>{<},, <e`to doroga>{>} k kamnyu .	
410	298-3	話者 A25	<e`to doroga>{>} k kamnyu .	
411	300-2	話者 B25	vot s toj, vot samaya levaya .	9 と 2 の順番を変える
412			《沈黙 1.07 秒》	
413	301	話者 A25	Vot tak? .	6、9、2
414	302	話者 B25	Nu da, a chyto `chto`? .	
415	303	話者 C25	Da, <da, da>{<} .	
416	304-1	話者 B25	<On tipa>{>} ix uvidel, py`talsya podnyat` ,< ne poluchilos` , idyot obratno>{<},, <Da, da, da, da, da, vo`:: vo`:: `vot`>{>} .	
417	305	話者 A25	<Da, da, da, da, da, vo`:: vo`:: `vot`>{>} .	
418	304-2	話者 B25	vidit kamni i vidit, kak oni py`tayutsya <podnyat` e`tot kamen`[↓]>{<} .	2、3 を指す
419	306	話者 A25	<Da, da, da, da, da>{>}, tochno, tochno .	
420	307	話者 A25	Vo`::t, vot tak normal`no .	
421	308	話者 B25	Nu vot vsyo vy` glyadit .	
422	309	話者 B25	<Davajte teper` proverim[↑]>{<} .	
423	310	話者 A25	<Potomu, chto s kamnem #####>{>} .	
424	311	話者 B25	Nu tut vsyo ponyatno .	11、10 を指す
425	312	話者 B25	Nu tam, oni py`tayutsya vdvoyom podnyat` u nix ne	8、5、6 を指す

			poluchaetsya[↑], on staraetsya im pomoch', oni otkazy`vayutsya tipa oni samostoyatel'ny'e .	
426	313	話者 B25	On vsyo ravno staraetsya podnyat` yabloko, no u nego tozhe ne poluchaetsya .	9を指す
427	314-1	話者 B25	On vozvrashhaetsya obratno, vidit, chto e`ti be..be::.. bez, koroche, bez uspeha py`tayutsya podnyat` kamen`[↑], <sta>{<},,,	2、7、12を指す
428	315	話者 A25	<Ugu>{>} .	
429	314-2	話者 B25	raetsya im pomoch`[↑], tozhe ne poluchilos`= .	
430	316	話者 B25	=V itoge oni dodumy`vayutsya podnyat` ego , tam, na golove, naprimer .	1を指す
431			《沈黙 0.83 秒》	10、11、8、5、6、9、 2、3、7、12、1、4
432	317	話者 C25	I im kruto potom .	
433	318	話者 B25	Da<笑い> .	
434	319	話者 C25	Na.. nashty`rilis` e`tix yablochek .	
435			《沈黙 1.92 秒》	
436	320	話者 B25	<笑い>Vsyo vrode .	
437	321	話者 C25	Nu da .	
438	322	話者 B25	Vsyo?[話者 C25 を見て話者 A25 を見る] .	
439			《沈黙 0.83 秒》	
440	323	話者 A25	Da, da .	

6. RF06

話者性別: 女

会話時間: 11.00 分

ライン 番号	発話文 番号	話者	発 話 内 容	備考
1	1	話者 A31	Tak smotrite .	
2	2	話者 B31	Mne, k sozhaleniyu, nichyo `nichego` <ne vidno>{<} .	
3	3	話者 A31	<Idi>{>} syuda .	
4	4	話者 B31	Ya podvinus` k vam .	
5	5	話者 A31	E:: tut rasskaz pro yajcza .	
6		話者 B31	<笑い>	
7		話者 A31	<笑い>	
8	6	話者 C31	M:: nu e`t `e`to` ne sut`[↑] .	
9	7-1	話者 A31	<E:: tak>{<},,,	
10	8	話者 B31	<Rasskaz pro yajcza>{>} , kotory`e tolkayut kamen` .	3を指す
11	7-2	話者 A31	kamen`, yajcza <vidyat yabloko>{<} .	9を指す
12	9	話者 C31	<Mozhet by`t , e`to vsyo-taki ne>{>} yajcza? .	
13	10	話者 B31	<A kto?>{<} .	
14	11	話者 A31	<A ya zhe?>{>} , nazovyom ix yajcza<笑い> .	
15	12	話者 B31	Mozhno znachit, <yajcepodobny`e>{<} .	
16	13	話者 C31	<Nu oni polukamni>{>} poluyajcza <笑い> .	
17	14	話者 A31	A::, naverno, kamni vsyo-taki .	
18	15	話者 B31	Da, pozhaluj .	
19	16	話者 B31	No yajcevidnoj formy` .	
20		話者 A31	<笑い>	
21	17	話者 C31	M:: prosto mne <konzovka.. chyo `chto` tam?>{<} .	
22	18	話者 A31	<Smotrite, vo::t>{>} , mne kazhetsya, idyot yajczo, odno takoe .	2を取る
23	19-1	話者 A31	<V obshhem>{<},,,	
24	20	話者 B31	<Grustnoe<笑い>>{>} .	
25	19-2	話者 A31	ono by`lo odno::[↑], a potom prisoedinilsya kto-to, a potom <tri:: yajcza>{<} .	8、7を指す
26	21	話者 B31	<Mozhet by`t`>{>} on ego uv..uvidel kakix-to chuvachkov s <yablokami>{<}? .	4を指す
27	22-1	話者 C31	<Ne, net>{>} ,,,	1を取る
28	23-1	話者 B31	A <net, vot e`ti chuvachki>{<},,,	
29	22-2	話者 C31	<a.. e`.. nado [溜め息の音]>{>} .	
30	23-2	話者 B31	s yablokami snachala tyanulis`[↑],,,	5を指す
31	24-1	話者 C31	Do togo, <kak oni nachinayut>{<},,,	
32	23-3	話者 B31	<za yablokami>{>} .	
33	24-2	話者 C31	dejstvovat` , [話者 A31 が話者 C31 の持っているカード 1 を指し、 話者 31B の注意を引く] my` dolzhny` podumat` .	
34	25	話者 C31	A:: znachit, on idyot odin .	

35	26	話者 C31	Ya soglasna, vozmozno, e'to pervoe .	2 を動かす
36	27	話者 B31	Ugu .	
37	28-1	話者 C31	<A [↑]da::l'she on kogo-to><{>,,	
38	29	話者 A31	<Kamen', oj, yabloko><{> .	11、12 を指す
39	28-2	話者 C31	vstrechaet, oni nichego, ne nachinayut dejstvovat', oni obsuzhdayut, skoree vsego= .	
40	30	話者 C31	=E'to prosto .	
41	31-1	話者 C31	<Ya dazhe ne smotryu na><{>,,	
42	32-1	話者 B31	<Mozhet by't', vot><{>,,	
43	31-2	話者 C31	kartinki .	
44	32-2	話者 B31	znaete, <chto dolzhno by't'><{> .	
45	33	話者 C31	<I on dolzhen s><{> <kem-to trepat'sya[↓]><{> .	
46	34	話者 B31	<Sm..smotrite, smotrite, smotrite, ><{> vot zdes' est' malen'kie.. vot e'ti [↑]kamushki .	3 を指す
47	35-1	話者 B31	Togda poluchaetsya, chto vot e'ti <malen'kie><{>,,	
48	36	話者 C31	<[深い溜め息の音] Vo::t><{> .	3 を取る
49	35-2	話者 B31	kamushki py'tayutsya dostat' = .	
50	37	話者 B31	=Vot e'to budet kone::cz, ya tak dumayu .	4 を指す
51	38	話者 C31	A vot e'ta, mne kazhetsya, e'to vtoraya, potomu chto on s.. natakivaetsya na.. a::, ili net, ili oni <uzhe uvideli kamen'><{> .	7 を指す
52	39-1	話者 B31	<Ne::t, mne kazhetsya><{> vot e'ti <rebyata><{>,,	5 を取る
53	40-1	話者 C31	<Vo::t><{>, vot gde-to zdes' ,,	10 を指す
54	39-2	話者 B31	<vot e'ti reb.><{> 【 .	
55	40-2	話者 C31	】 <e'to budet blizhe><{> k nachalu, da[↑]? .	
56	41-1	話者 A31	<Druz'ya, smotrite><{>,,	
57	42	話者 B31	<Vot dolzhno by't' vot e'to[カード 8],><{> potom vot e'to[カード 9], potom vot e::to[↑][カード 10], ya dumayu, <potomu chto idut malen'kie[→]><{> 【 .	8、9、10 を指す
58	41-2	話者 A31	】 <[舌打ちの音]nuzhno smy'sl><{> ponyat' .	
59	43	話者 A31	Kamen' est' i , est' kartinki s kamnem, <kartinki s derevom[↓]><{> .	3、9 を指す
60	44	話者 B31	<Smotrite, sut'><{> v tom, est' bol'.. e' vzrosloe yajczo, est' malen'kie yajcza .	
61	45	話者 B31	Oni xotyat yabloko .	9 を指す
62	46	話者 B31	Bol'shoj ne dotyanu::lsya[↑], poshyo::l.. nachal tolkat' kamen'[↑], vidimo, nichego emu ne udalos' .	12 を指す
63	47-1	話者 B31	<Malen'kie tozhe><{> ,,	
64	48	話者 C31	<[カードを見せながら]Vo::t, e'to uzhe[→]><{> .	2 を持ち上げて見せる
65	47-2	話者 B31	zaxoteli yajcza .	
66	49	話者 C31	Soglasna .	
67	50-1	話者 C31	On grustny'j uxodit ot yabloni, potomu< chto u nego><{>,,	2 を指す
68	51	話者 A31	<Tochno><{> .	
69	50-2	話者 C31	nichego ne vy'shlo,,	
70	52-1	話者 A31	Da,,	
71	50-3	話者 C31	<da[↑]?><{> .	
72	53	話者 B31	<Naverno><{>, skoree vsego .	
73	52-2	話者 A31	da, da, e'to ne <vy'shlo[↓]><{> .	
74	54	話者 B31	<Vot tut est'><{> mal'y'e, kotory'e tyanutsya i ne mogut dostat' .	5、3 と並べる
75	55	話者 B31	A potom oni py'tayutsya sdvinut' kamen', <ya tak dumayu[↓]><{> .	
76	56	話者 A31	<A zachem oni py'tayutsya><{> sdvinut' kamen'? .	
77	57-1	話者 B31	Chtoby' ego podvinut' syuda, na nego vstat' i s'est' <yabloko><{>,,	
78	58	話者 C31	<Ugu::><{> .	
79	57-2	話者 B31	<snyat'[↓]><{> .	
80	59	話者 A31	<No u nas><{> ni odnoj kartinki, gde kamen' pod derevom .	
81	60	話者 C31	Da, kstati,<e'togo zdes'[→]><{> 【 .	7 を取る
82	61	話者 B31	】 <Nu vidimo, oni,><{> oni ne mogut ego <sdvinut' potomu chto><{> .	
83	62	話者 C31	<Vot e'to ryadom dolzhno><{> by't' s kamnem, da[↑]? .	
84	63	話者 A31	Gde-to tut .	3 を指す
85	64-1	話者 B31	Vot, <a::><{>,,	
86	65-1	話者 C31	<A><{>,,	
87	64-2	話者 B31	davajte, <znaete chto?><{> 【 .	
88	65-2	話者 C31	】 <podozhdi><{>, a:: togda takoj vopros, a pochemu on odin py'taetsya? .	12 を見せる
89	66	話者 C31	<Vnachale on odin[↑]><{> 【 .	
90	67	話者 B31	】 <Snachala on><{> idyot odin .	
91	68	話者 B31	On xochet yabloko.. d..vzyat' .	2、9 と並べる

92	69	話者 B31	On dostat` yabloko <ne mo::zhet[↑]><{ } [I .	
93	70	話者 C31]] <No uzhe><{ } grustny`j .	2 を指す
94	71	話者 C31	Smotri, chy`o` 'chto` zhe on grustny`j idyot, m.. v samom <nachale><{ }? .	
95	72	話者 B31	<A u nas netu><{ } kartinki, gde on idyot negrustny`j .	
96			《沈黙 0.63 秒》	話者 A31 が 6、4 を動かす
97	73	話者 C31	M:: .	
98	74-1	話者 B31	<Smotrite><{ },,	
99	75-1	話者 A31	<A::, vot><{ }, tut est` e` <bol`shoj, bo><{ },,	11 を指す
100	74-2	話者 B31	<tut est` e::[→]><{ } .	
101	75-2	話者 A31	I`shoj <kamen`[↑]><{ } [I .	
102	76	話者 C31]] <Vo::.. m::><{ } .	
103	77-1	話者 B31	Vot smotrite, <vot posle [↑]e::togo, posle><{ },,	11、10 と並べる
104	78	話者 C31	<A::, e`to uzhe konczoovochka><{ } .	
105	77-2	話者 B31	e`to go dolzhno by`t , ya tak dumayu[→]= [I .	
106	79	話者 A31]] =Vot e`ti vot kak-to.., mne kazhetsya, ryadom dolzhny` by`t` .	6、4 を見せる
107	80	話者 C31	A on tam est e`to yabloko uzhe, da[↑]? .	
108	81	話者 B31	<Da, on e`to yabloko uzhe est[↓]><{ } .	
109	82	話者 A31	<O::, dostal yabloko><{ }, oni smotryat na yabloko i takie <“my` tozhe xotim yabloko[↓]”><{ } .	10、8 を指す
110	83	話者 C31	<I xotyat tozhe><{ } .	
111	84	話者 B31	<“I my`” tozhe xotyat><{ } .	
112	85	話者 B31	Vot oni posmotreli, a on, vidimo, im to li otkaza::l, to li chto,<a oni[↑]><{ } [I .	6 を指す
113	86	話者 A31]] <A e`to><{ } oni poluchili yabloko .	4 を指す
114	87	話者 A31	E`to v konce .	
115	88	話者 B31	E`to samaya poslednyaya kar<tinka><{ } .	
116	89	話者 A31	<Tuda><{ } .	4 を動かす
117	90	話者 B31	<Ya zhe eyo syuda i polozhila[↓]><{ } .	
118	91	話者 C31	<Interesno, a otkuda oni poluchili><{ } yabloko v konce? .	
119	92	話者 B31	E:: vidimo, potomu chto oni <vse vme::ste polezli[↓]><{ } .	
120	93	話者 A31	<Vot, on pomog><{ } .	1 を指す
121	94	話者 B31	On im pomog, <da[↓]><{ } .	
122	95-1	話者 C31	<M::><{ },<togda e`to tuda><{ },,	1 を渡す
123	96-1	話者 B31	<Oni py`talish`><{ },,	1 をあ受け取る
124	95-2	話者 C31	v kone, da[↑]? .	
125	96-2	話者 B31	oni py`talish` e`to yabloko dosta::t`[↑] .	
126	97	話者 A31	A vot e::to o chyom govorit, smotrite? .	6 を指す
127	98-1	話者 B31	A pochemu on zdes` <odnomu tol`ko><{ },,	1 を見せる
128	99	話者 C31	<Po-moemu, chtob><{ } .	
129	98-2	話者 B31	pomogaet, a <ne dvum><{ },,	
130	100-1	話者 C31	<Xm><{ },,	
131	98-3	話者 B31	srazu,,	
132	100-2	話者 C31	n::e ponyatno .	
133	98-4	話者 B31	a tret`emu net? .	
134	101	話者 C31	E:: on chto-to im predlagaet, a oni s::... .	6 を指す
135	102	話者 A31	<Oni govoryat[→]><{ } [I .	
136	103-1	話者 B31]] <A oni govoryat><{ }, <“sly`sh`”><{ },,	
137	104-1	話者 C31	<O::><{ },,	
138	103-2	話者 B31	“otvali, my` sami vsyo sdelaem” .	
139	104-2	話者 C31	on, naverno predlagaet “a davajte kamen` sdvinem” .	6 を指す
140	105	話者 C31	Ili on im [‘im’を強調] govorit “a nu-ka idite dvigajte kamen`”, ne[↑]? .	
141	106	話者 C31	<Mozhet by`t` takoe><{ }? .	
142	107	話者 B31	<A, mne kazhetsya><{ }, mozhhet by`t , on est yabloko, a oni emu e:: zaviduyut, on im pochemu-to otkazal, a oni obi::delis`, skazali “ax ty` vot takoj, sam sebe dostal, a my` se ‘sebe’ pojdyom i s::ami dostanem” .	6、5 を指す
143	108-1	話者 B31	Vot oni zly`e sami py`tayutsya sami dostat` e`to [↑]yabloko,,	5 を指す
144	109	話者 C31	A:: <mozhet by`t , m::><{ } [I .	
145	108-2	話者 B31]] <u nix nichyo ‘nichego’ ne poluchaetsya><{ }, on kak-to k nim prixodit i pomogaet[↑]? .	指でカードを指す
146	110	話者 C31	Slushajte, a ya schitayu, e`to, naverno, voobshhe odno iz pervy`x .	6 を持ち上げる
147	111	話者 A31	V <smy`sle?><{ } .	
148	112	話者 C31	<E:: potomu chto><{ }, pochemu e:: oni dejstvuyut porozn`, a ne s samogo nachala? .	
149	113	話者 C31	U nas net nachal`noj kartinki .	
150	114	話者 C31	Skoree vsego e:: oni nachinayut obsuzhdat`[↑], i[↑] e::m on govo.. nu on im predlagaet “davajte vmeste”, oni govoryat “net,	6 を指す

			my` ne xotim", tipa "my` ne xotim delit`sya".	
151	115	話者 C31	Mozhet by`t` takoj variant? .	
152			《沈黙 0.76 秒》	
153	116-1	話者 A31	<M::><{>,,	
154	117	話者 B31	<Mne><{> kazhetsya, dolzhno by`t`, znaete kak dazhe, vot< tak vot><{> .	2 を取る
155	116-2	話者 A31	<da oni ne mogli><{>dostat` yabloko, <chtoby` delit`sya[↑]><{> .	
156	118	話者 B31	<Vot tak, to chto on s nimi><{> py`taetsya chto-to dogovorit`sya, oni obizhayutsya, on rasstraivaetsya i idyot odin .	6、2 を指す
157	119-1	話者 B31	<Idyot odin[↑]><{>,,	
158	120	話者 C31	<Idyot odin><{> .	
159	119-2	話者 B31	a::, mozhet by`t`, oni porugalis`, znachit .	6 を指す
160	121	話者 A31	Davajte pryamo vy`straivat` proba<vat><{> .	6 を動かす
161	122	話者 B31	<Da><{> .	
162	123	話者 C31	<Ugu[↑]><{> .	
163	124-1	話者 B31	<Vot e`ti><{> rebyata, oni porugalis`, on< rasstroilsya><{>,,	6 の後に 2 を置く
164	125	話者 A31	<Budu menyat`><{> .	
165	124-2	話者 B31	shyol, shyol[↑] , uvidel yabloko .	2 の後に 11 を置く
166	126-1	話者 C31	N::e <budet xvatat` mesta, prosto><{>[カードを動かして、カードを置く場所をあける],, <Stop, smotrite><{> .	
167	127	話者 A31	<Net, net, net><{> .	
168	128	話者 B31	<Net, net, net><{> .	
169	129-1	話者 B31	<Shyol, shyol><{>,,	
170	126-2	話者 C31	< ne budet xvatat` mesta><{> .	
171	129-2	話者 B31	uvidel yablonyu i zaxotel ya::bloko dostat`[↑]= [[.	2 の後に 9 を置く
172	130	話者 C31]] =Ni<chego ne poluchilos><{> .	
173	131	話者 A31	<Net, uvidel ><{> ya::bloko= .	11 を指す
174	132	話者 C31	=E`to uzhe v samom konce, e`to on potom .	
175	133-1	話者 B31	E`to, vidimo, <on ego potom dostal[↑]><{>,,	11 を指す
176	134	話者 A31	<E`to potom upalo?><{> .	
177	133-2	話者 B31	a potom on ego budet est`, gde tam kartinka, <gde on yablokol[↑]><{> .	
178	135	話者 C31	<Gde-to klyuchevoj><{> moment, chto on e` py`talsya dostat` yabloko, <u nego ne vy`shlo[↑]><{> .	
179	136	話者 B31	<Vidimo vot tak><{> .	11、10 と並べる
180	137	話者 B31	Vot smotrite, vot smotrite, vidimo, e`to budet vot tak .	
181	138-1	話者 B31	Potom oni podumali, skazali, chto:: "ax, ty` takoj zasranecz, <my` budem sami vsyo sdelaem[↑]><{>,,	6 を指す
182	139	話者 A31	<E`to, kogda on dostal yabloko, da[↑]?><{>, ugu[↑] .	6 を指す
183	138-2	話者 B31	oni poshli, py`tayutsya sami e`to yabloko <sdvintut`[↑]><{>,,	3 を指す
184	140	話者 C31	<Ugu::><{> .	
185	138-3	話者 B31	prishli, u nix nichego ne poluchaetsya[↑], on im po<mo::g[↑]><{> [[.	3 の後に 7 を置く
186	141	話者 C31]] <Vo::t><{>, vot, smotrite, oni chto-to obsuzhdayut e`:: <"pojdyom-ka, pojdyom k nemu::[↑]"><{> .	8 を見せる
187	142	話者 B31	<Da, da, da, e`to vot zde::s><{>, e`to vot zdes` budet[↑] .	6 に 8 を置く
188	143	話者 A31	E`to vot vto<raya budet><{> .	2 を指す
189	144	話者 C31	<A mne kazhetsya><{>, a mne kazhetsya, podozhdi, a mne kazhetsya, e`to uzhe v konce::, kogda oni py`talis` sdvintut` kamen` i on emu govorit, "nu pojdyom <togda obratimsya k e`tomu[↑]"><{> .	8、6 を指す
190	145	話者 B31	<A mne kazhetsya,><{> vot ta::k .	8、5、3、7 と並べる
191			《沈黙 0.92 秒》	
192	146	話者 C31	Mozhet by`t`? .	
193	147	話者 B31	Net, mne kazhetsya, oni.. vot smotrite, oni uvideli, chto on est yabloko .	10 を指す
194	148	話者 B31	Vot e`to budet, <naverno, tak, potomu chto[→]><{> [[.	
195	149	話者 A31]] <Pravil`no, sami><{> zaxoteli <poiti::[↑]><{> [[.	8 を指す
196	150	話者 B31]] <Zaxoteli,><{> uvideli e`tu yablonyu, dumayut "my`.. davaj sami dostanem" .	8 を指す
197	151	話者 B31	Lezut, lezut, ne mogut .	5 を指す
198	152	話者 B31	Poshli za:: kamnem[↑], kamen` ne mogut sdvintut`[↑], prishyol e`tot chuvachok, ix uvidel[↑] i reshil im potom, vidimo, po<mo::ch`[↑]><{> [[.	3、7 を指す、1 を取る
199	153	話者 A31]] <No, smotri,><{> u:: e`togo kamnya bol`shogo, u nego kakoe-to ochen` strannoe liczo .	7 を取る
200	154	話者 A31	Pochemu on udilyon ili:: chem-to::?= [[.	7 を元に戻す
201	155	話者 B31]] =On im predlagaet, <u e`tix nichego ne poluchaetsya, on im predlagaet pomoch`[↑]><{> .	7 を指す
202	156	話者 C31	<I vot e`ta togda kartinka, vot v chyom smy`sl?><{> .	12 を見せる

203	157-1	話者 C31	<Vot togda ona>{<} ,,	
204	158	話者 A31	<Da, i gde:: ona>{>} .	
205	157-2	話者 C31	sovsem ne vpletaetsya v nashu istoriyu .	
206	159	話者 B31	Tak, on py'taetsya sam podvi::<nut'[↑]>{<} [[.	
207	160	話者 A31]] <A, mozhet>{>} by't, vot posle [↑]e'togo, to chto on py'taetsya im pomoch' podvinut' <kamen'[↓]>{<} .	7 を指す
208	161-1	話者 B31	<No vot >{>} e'to, mne kazhetsya, <vot v kone::cz>{<} ,,	1、4 を見せる
209	162-1	話者 A31	<Smotrite>{>} ,,	
210	161-2	話者 B31	dru<z'ya moi>{<} .	
211	162-2	話者 A31	<smotrite>{>} , smotrite, on takoj s nimi govorit, govorit, a oni kamen' podvinut' ne mogut[↑], on im pomogaet podvinut' kamen' .	7 の後に 12 を置く
212			《沈黙 0.80 秒》	
213	163	話者 A31	<No::>{<} [[.	
214	164	話者 B31]] <Net, on zhe>{>} sam dos<tayot[↓]>{<} .	1 を指す
215	165-1	話者 C31	<A tut net>{>} nikakix e:: u nas <net dokazatel'stv>{<} ,,	12 を指す
216	166-1	話者 B31	<Mne kazhetsya>{>} ,,	
217	167	話者 A31	<M::>{>} .	
218	165-2	話者 C31	chto oni dejstvovali vmeste v <e'tot moment[↓]>{<} .	
219	166-2	話者 B31	<mne kazhetsya>{>} , esli on odin e'tot kamen' dvigaet, znachit, on py'taetsya ego sdvinut' posle e'togo .	12、9 を指す
220	168-1	話者 B31	On tyanetsya i ne dostayot, znachit, on delaet vy'vod, <chto emu chto-to nuzhno>{<} ,,	
221	169	話者 A31	<Da::>{>} .	
222	170	話者 C31	<Idyot za kamnem>{>} .	12 を渡す
223	168-2	話者 B31	podstavit' .	
224	171	話者 B31	Da, on idyot za kamnem, beryot kamen' , u nego ne poluchaetsya[↑]= [[.	9 の後に 12 を置く
225	172	話者 A31]] =<Vot posle e'togo togda kamen'[↑]>{<} [[.	
226	173-1	話者 C31]] <A mo.. a s..slushajte>{>} ,,	2 を取る
227	174	話者 B31	<A mozhet>{>} znaete <chto, a mozhet by't>{<} [[.	
228	173-2	話者 C31]] <a, mozhet by't, vot zdes>{>} on grustny'j uxodit, a[↑]? .	2 を渡す
229	175	話者 A31	<Da>{<} .	
230	176-1	話者 B31	<Potomu>{>} <chto on ne mozhet e'to>{<} ,,	2 を受け取る
231	177	話者 C31	<Mozhet by't takoe?>{>} .	
232	176-2	話者 B31	yabloko dosta::t'[↑] .	12 の後に 2 を置く
233	178	話者 B31	Da, davajte ix <tak polozhim[↑]>{<} .	カードの並びを整える
234	179	話者 A31	<Pochemu e'to>{>} postavili v nachalo?, vot gde::....	6 を指す
235	180	話者 B31	Potomu, chto oni possorilis', vidimo .	
236	181	話者 C31	A m.. a mozhet voobshhe vot tak, xop? .	6 を退ける
237	182-1	話者 C31	I srazu <poyavlyaetsya::>{<} ,,	
238	183	話者 A31	<Nu-ka, da, bez e'togo>{>} .	
239	184	話者 B31	<Da::, da, da>{<} .	
240	182-2	話者 C31	<poyavlyaetsya>{>} my'sl' .	
241	185	話者 B31	Vozmozhno, voz<mozhno[↓]>{<} .	カードをずらす
242	186-1	話者 A31	<Ugu>{>} , <on uvidel ya.. >{<} ,,	
243	187	話者 B31	<Davajte vot tak[↑]>{>} .	
244	186-2	話者 A31	eshhyo raz, snachala .	
245	188	話者 A31	On uvidel yablonyu, py'taetsya dostat' yabloko, ne mozhet, idyot k kamnyu, tolkaet, ne mozhet, grustny'j idyot ot kamnya[↑]= [[.	9、12、2 を指す
246	189	話者 C31]] =Predlaga::et, naxodit e'tix e:: chuvakov .	6 を渡す
247	190	話者 B31	Da, predlagaet im sdelat' chto-to vmeste, oni ne xotya::t'[↑]= [[.	6 を受け取る、2 の後に置く
248	191	話者 A31]] =Oni ne xotya::t' .	
249	192-1	話者 C31	O::n opyat' vozvrashhaetsya:: <obra..>{<} ,,	11 を取る
250	193	話者 A31	<K yablone>{>} .	11 を 6 の後に置く
251	192-2	話者 C31	k yablone .	
252	194-1	話者 A31	I vidit upav<shee>{<} ,,	
253	195	話者 B31	<[息を飲む音] Ne..>{>} .	
254	194-2	話者 A31	yabloko,,	
255	196	話者 C31	Da:: .	
256	194-3	話者 A31	a potom oni takie "o::pa, <a kak ty' dostal yabloko?>">{<} .	10 を取る
257	197	話者 B31	<A, mozhet, znaete, zn.. >{>} podozhdite, a mozhet by't znaete, mozhet vot e'ti [カード 2 と 6] nado mestami pomenyat' ? .	
258	198-1	話者 B31	Chto on py'taetsya sdvinut' , ne poluchaetsya, on u <nix prosit>{<} ,,	12、6 を指す
259	199	話者 A31	<Idyot k nim[↑]>{>} .	12、6、2 と並べ替える
260	198-2	話者 B31	oni otkazy vayutsya, oni rass.. on rasstraivaetsya, idyot k yablone[↑], naxodit upavshee <yabloko[↓]>{<} .	2、11 を指す
261	200	話者 C31	<Vo::t, aga>{>} , aga .	

262	201	話者 A31	A <potom est[↓]><{> .	10 を取る
263	202	話者 B31	<Potom on ego><{> schastlivy'j <e::st[↑], a oni uvi..><{> 【 .	10 を指す
264	203-1	話者 A31	】 <E::st, a oni takie><{> <smotryat[↑]><{>,,	
265	204	話者 B31	<Davaj vot syuda><{> snachala, snachala polozhim eshhyo .	11 の横を指す
266	203-2	話者 A31	<s::motryat><{>,,	
267	205	話者 B31	<Oni smotryat><{>, zaviduyut[↑]= 【 .	
268	203-3	話者 A31	】 =“A kak e'to tak, pojdyom-ka my` tozhe poedim yabloko” .	11 の後に 8 を置く
269	206	話者 A31	Oni py`tayutsya ego dostat`, no ne mogut .	8 の後に 5 を置く
270	207-1	話者 B31	Oni <py`tayutsya sdvinut`><{>,,	5 の後に 3 を置く
271	208	話者 A31	<Poe`tomu><{> .	
272	207-2	話者 B31	kamen` , u nix nichyo ne poluchaetsya[↑], on prixodit im predlagaet pomoshh`[↑], i vot tak .	3 の後に 7、1、4 と並べる
273	209	話者 A31	Podozhdi, on.. on [on'を強調] prixodit predlagaet pomoshh`? .	
274	210	話者 B31	Nu:: <vidimo, da><{> .	
275	211	話者 A31	<Nu da><{> .	
276	212	話者 C31	<A poche.. vot, vot><{>, [話者 A31 を見る] e:: u tebya by`la my`sl', chto u nego liczo kakoe-to obes<kurazhennoe[↓]><{> .	7 を指す
277	213	話者 A31	<Da, vot menya vot><{> e'to bol'she vsego smushhaet <笑い> .	7 を指す
278	214	話者 A31	<笑いながら>U nego kakoe-to... .	
279	215-1	話者 B31	Davajte poprobuem sdelat` e` <syuzhetnuyu linyuyu iz togo, chto><{>,,	
280	216	話者 A31	<Mozhet by`t` kuda-to syuda><{> .	6 を指す
281	215-2	話者 B31	my` sejchas uvideli, <chto my` vy`lozhili[↓]><{> .	
282	217	話者 A31	<[舌打ちの音] Podozhdi, podozhdi><{> .	7 を指す
283	218	話者 C31	E:: v p.. menya vsyo ustraivaet, v principe, vsyo logichno .	
284	219	話者 A31	<Vsyo logichno[↑]><{> 【 .	
285	220-1	話者 B31	】 <Edinstvennoe><{> neponyatno, pochemu <vot zdes` vot><{>,,	
286	221	話者 C31	<Vopros stoit[→]><{> .	7 を指す
287	220-2	話者 B31	on ischezaet[↑]? .	10 を指す
288	222	話者 B31	Xotya, v obshhem-to, naverno, logichno .	
289	223	話者 B31	<Smotrite, znachit[→]><{> 【 .	
290	224	話者 A31	】 <On ne ischezaet, on stoit sebe kushaet><{> .	
291	225	話者 C31	<Eshhyo ne tochno, chto oni uxodyat><{>, my` ne vidim kak oni uxodyat .	8 を指す
292	226	話者 C31	Zdes` ne xvataet kartinki, kak oni poshli k yablone, <kak oni ego pokidayut><{> .	
293	227	話者 B31	<Nu znachit, takaya><{> istoriya .	
294			《沈黙 1.71 秒》	
295	228	話者 B31	Znachit, idyot, idyot bol'shoe yajczo[↑], uvidel yablonyu .	9 を指す
296		話者 A31	<笑い>	
297	229	話者 B31	Zaxotel yabloko= .	
298	230	話者 B31	=Ponyal, chto ne dotyagivaetsya= .	
299	231	話者 B31	=Poshyol:: vzyal.. py`taetsya sdvinut` kamen`, chtoby:: na nego vstat`, ne poluchaetsya .	12 を指す
300	232-1	話者 B31	Obrashhaetsya k melkim chuvakam i govorit “rebyat, nu nado vmeste, <pomogite, yabloko><{>,,	6 を指す
301	233	話者 A31	<Nu da, da, ponyatno><{> .	
302	232-2	話者 B31	“ xochu, sil net” .	
303	234	話者 B31	Oni govoryat e:: “otvali, delaj vsyo sam[↑]”, on rasstraivaetsya, idyot grustny'j, mol yabloko emu ne dostanetsya .	2 を指す
304	235	話者 B31	A potom [大きい声で] <“obana::” i yabloko na polu[↓]><{> .	11 を指す
305	236	話者 C31	<A, kstati, pochemu oni otkazy`vayut><{>, interesno? .	
306	237	話者 C31	Nu a pf:: .	
307		話者 A31	<笑い>	
308	238	話者 B31	Nu potomu chto oni protivny'e rebyata .	
309	239-1	話者 B31	“Obana, yabloko”, <on schastlivy'j><{>,,	10 を指す
310	240	話者 A31	<Aga::><{> .	
311	239-2	話者 B31	yabloko est .	
312	241-1	話者 B31	Oni dumayut “vot bli::n, vzyal doby`l <sam sebe yabloko>><{>,,	
313	242	話者 C31	<“My` tozhe xotim”><{> .	8 を指す
314	241-2	話者 B31	“a my` bez <yabloka, my` tozhe xotim”><{>,,	
315	243	話者 A31	<I idut k derevu[↑]><{> .	
316	241-3	話者 B31	“po<shli”><{>,,	
317	244	話者 A31	<Da::><{> .	
318	241-4	話者 B31	“dostanem” .	
319	245	話者 B31	Oni dogovarivayutsya, kak oni ego budut dostavat`, reshili sdelat` vot tak, ponimayut, chto ne dostayut .	5 を指す
320	246	話者 B31	Py`tayutsya , opyat` zhe, sdvinut` kamen`[↑], u nix nichyo ne vy`xodit .	3 を指す

321	247	話者 B31	Vidite, <oni grustny`e stoyat[↓]>{<}	7 を指す
322	248	話者 A31	<U nego:: on>{>} prishyol k nim .	7 を指す
323	249	話者 A31	Posmotri <na ego liczo>{<}	
324	250	話者 B31	<On k nim >{>}prishyol i sprashivaet, “a chyto ‘chto’ vy` delaete, a chto u vas ne poluchaetsya ili chto::to, davajte ya vam pomogu::” .	7 を指す
325	251	話者 B31	I on im pomogaet v konechnom itoge= .	
326	252-1	話者 B31	=On s takim zhe liczom <im>{<},,	
327	253-1	話者 A31	<Nu..>{>},,	
328	252-2	話者 B31	pomogaet, chto zdes`, chto <zdes`[↓]>{<}	
329	253-2	話者 A31	<da::>{>}= .	
330	254-1	話者 A31	=A on poxozh na krota iz mul`tika::<笑い>,,	
331	255-1	話者 B31	Da<笑い>,,	
332	254-2	話者 A31	po..<pol`..>{<},,	
333	255-2	話者 B31	<s cheshskogo>{>} .	
334	254-3	話者 A31	cheshskogo .	
335	256	話者 C31	<On da, kstati, da>{<}	
336	257	話者 B31	<On im pomogaet, oni>{>} dostayut yabloko .	1、4 を指す
337	258-1	話者 C31	[息を飲む音]Naverno, nu, mne vsyo <nnavitsya, no>{<},,	
338	259	話者 A31	<Ya..yajcza>{>} .	
339	258-2	話者 C31	zdes`, naverno, vsyo ne tak<笑い> .	
340		話者 A31	<笑い>	
341		話者 B31	<笑い>	
342	260-1	話者 C31	<A xotya menya ustraivaet menya>{<},,	
343	261	話者 A31	<Ne, a dolzhno by`t>{>} .	
344	262	話者 B31	<A, mozh `mozhet`, voobshhe net pravil`nogo otveta>{>} .	
345	260-2	話者 C31	ustraivaet e`ta istoriya .	
346	263	話者 A31	A, predstavlyaete, tut voobshhe pya::t` primerno linij <笑いながら> syuzheta kak by` mogut by`t` .	
347		話者 B31	<笑い>	
348	264-1	話者 C31	<A::m slushajte, no>{<},,	
349	265	話者 B31	<Net, no mne kazhetsya vpolne logichno>{>} .	
350	266	話者 A31	<Vsyto >{>} super .	
351	264-2	話者 C31	mozhno e`to zafiksirovat` kak-to i poprobovat` eshhyo raz .	
352	267	話者 A31	Na samom dele, mne kazhetsya, e`to sovershenno nevazhno, potomu chto zapis`:: sejchas zapisy`vaetsya nash dialog, a ne <笑いながら>kartinki .	
353	268	話者 B31	Nu e`to estestvenno .	
354	269	話者 C31	N::u <ty>{<} [[.	
355	270	話者 B31]] <Nu vsyo>{>} ravno, net nu voobshhe, <po-moemu, logichno[↓]>{<} .	
356	271	話者 A31	<Da net, mne kazhetsya ochen`>{>} logichno .	
357	272-1	話者 B31	Zaxotel yabloko[↑], ne smog sam dostat`, <poshyol poprosil>{<},,	
358	273	話者 A31	<On prixodit k tem>{>} .	
359	272-2	話者 B31	<oni emu otkazali[↓]>{<} .	
360	274	話者 C31	<A gde, tut net>{>} .	
361	275-1	話者 B31	Vish `vidish` ona otve.. <otvora>{<},,	
362	276	話者 C31	<Ugu>{>} .	
363	275-2	話者 B31	chivaetsya ot nego .	
364	277	話者 C31	E`to sama fa::bula, a tut net prelyudii .	
365	278-1	話者 C31	Nu on shyo::l, <uvidel sad>{<},,	
366	279	話者 B31	<A zachem ona?>{>} .	
367	278-2	話者 C31	tenisty`x pre::rij <legkij 笑い>, zaxotel tuda zajti .	
368	280	話者 C31	Nu ne znayu, kak-to ne po zakonam zhanra e`:: literaturnogo .	
369	281	話者 A31	Kartinok slishkom malo .	
370		話者 B31	<笑い>	
371		話者 A31	<笑い>	
372	282	話者 C31	Nu da, chego-to ne xvataet .	
373	283	話者 A31	Ty` s kakogo fakul`teta?[話者 C31 を見る] .	
374	284	話者 C31	Sociologicheskij politPR .	
375	285	話者 A31	A:: .	
376	286	話者 B31	O:: .	
377	287	話者 A31	Eshi b by`la filo.. filolog, <笑いながら>ya by` togda ponyala by` .	
378	288	話者 B31	<笑い><Filosof>{<} .	
379	289	話者 A31	<Ta::k>{>} .	
380	290	話者 B31	Nu ne, vsyo logichno .	
381	291	話者 B31	On xochet yabloko, u nix prosit, oni otkazy`vayutsya .	
382	292	話者 B31	On tut grustny`j, opacza, i yabloko .	
383	293-1	話者 B31	On ego est, oni::,,	
384		話者 A31	<笑い>	

385	293-2	話者 B31	dumayut, <“vot zhe zh zasranecz[↓]”><{> .	
386	294	話者 C31	<Ne::t, nu log.. e`::>> logichno, logichno .	
387	295	話者 C31	On st.. kak-to stranno na nix smotrit, i:: pochemu oni vse razglagol'stvuyut? .	7、8を指す
388	296	話者 C31	A, oni uzhe <prishli, oni uzhe zaranee><{> 【 .	
389	297	話者 B31	】 <Oni razgla.. oni razglagol'stvuyut>>{> , dumayut kak yabloko dostat` .	
390	298	話者 B31	U nix, oni vy'straivayut kakuyu-to svoyu metodologiyu doby'chi e'togo <yabloka[↓]><{> .	
391	299	話者 C31	<Metodo>>{>logiya<笑い> .	
392	300-1	話者 B31	Da, <pridumy'vayut svoi><{>,,	
393	301	話者 C31	<Otlichno>>{> .	
394	300-2	話者 B31	kakie-to metody` .	
395	302	話者 B31	E`:: vstayut drug na druga, ne dotyagivayutsya= .	
396	303-1	話者 B31	=Dumayut, “blin, <poshli von”><{>,,	
397	304	話者 C31	<Ugu>>{> .	
398	303-2	話者 B31	“kamen` valyaetsya, poshli kamen` podvinem”= .	
399	305	話者 B31	=Dvigayut e'tot kamen'[↑]= 【 .	
400	306	話者 C31	】 =Voobshhe oni ambiciozny'e, konechno .	
401		話者 A31	<笑い>	
402	307	話者 B31	<笑いながら>Nu da .	
403	308	話者 A31	Kstati eshhyo e`:: tut vsyo logichno eshhyo pochemu, potomu on snyachala tyanetsya , a potom tolkaet, i oni tozhe snachala tyanutsya, a potom tolkayut .	
404	309	話者 B31	Da, kstati .	
405	310	話者 A31	E`:: vot .	
406	311-1	話者 C31	E'to <pryamo e`::><{>,,	
407	312	話者 B31	<I potom>>{> zdes` grustny'j i oni takie ras.. <v rasstrojstve[↓]><{> .	
408	311-2	話者 C31	<kak russkaya>>{> by'lina, trojnoy syuzhet, i eshhyo dolzhen <kakoj-nibud` kolobok priyti><{>,,	
409	313	話者 A31	<I odinakovaya konstrukciya>>{> .	
410	311-3	話者 C31	i tozhe nachat` tolkat` .	
411	314	話者 B31	Pridyot Zmej Gory'ny'ch i spalit yablonyu .	
412	315	話者 A31	<笑い> Da:: .	
413	316	話者 B31	Vo::t .	
414	317	話者 A31	E`:: .	
415	318	話者 B31	Nu vsyo, po-moemu, v principe <logichno[↓]><{> .	
416	319	話者 C31	<A mozhet>>{> eshhyo chego-nibud` poprobuem? .	
417	320	話者 A31	Nu shha'sejchas', vot ya <dumayu[↓]><{> .	
418	321	話者 C31	<N::am>>{> dolgo prosto eshhyo varit'sya zdes` .	
419		話者 A31	<笑い>	
420	322-1	話者 C31	<M:: ya by`.. ya predlagayu sfoakat'><{>,,	
421	323	話者 B31	<M:: ne znayu, mne kazhetsya, vpolne logichno>>{> .	
422	322-2	話者 C31	vot e'tu shtuchku .	
423	324	話者 B31	A ya predlagayu nichem ne pol'zovat'sya, potomu chto ya ne uverena, chto nam mozhno chem-to eshhyo pol'zovat'sya .	
424	325	話者 A31	<Da, da[↓]><{> .	
425	326-1	話者 C31	<Togda davajte>>{> nomera <zapomnim ><{>,,	
426	327	話者 B31	<No u nas>>{> .	
427	326-2	話者 C31	9,12, <6, 2><{>,,	
428	328	話者 A31	<Oj ne ya ne zapomnyu>>{> .	
429	326-3	話者 C31	11, 10 .	
430	329	話者 A31	Da, davajte prosto tak podumaem <pro sebya[↓]><{> .	
431	330-1	話者 B31	<Davajte>>{> prosto <pr.. ne budem n..><{>,,	
432	331	話者 C31	<A, a mozhno ya vstanu?>>{> .	
433	330-2	話者 B31	nichyo 'nichego' meshat'[↑] .	
434	332	話者 B31	Da .	
435	333	話者 A31	Aga:: .	
436	334	話者 B31	Ne duma.. ne budem nichyo meshat`, prosto podumaem, kakaya eshhyo mozhet by't` v principe drugaya, kak.. drugoj variant kakoj-to mozhet by't`.. eshhyo? .	
437	335	話者 B31	Nu smorite'smotrite', v konce u e'tix dvux[↑] dva yabloka, u e'togo net, potomu chto on ego s`el uzhe, to est` on ego dolzhen s`est` do togo, kak oni poluchili svoi dva .	
438	336	話者 A31	Verno, snachala bol'shoe yajczo poluchilo yabloko[↑], potom malen'koe .	
439	337-1	話者 C31	Slushajte, <a vot><{> ,,	
440	338	話者 A31	<Ugu>>{> .	
441	337-2	話者 C31	smotrite e`:: u nego liczo::[↑] yavno:: <sovpadaet ><{>,,	6、7を指す
442	339-1	話者 B31	<U nego>>{>,,	

443	337-3	話者 C31	s e`toj kartinkoj .	
444	339-2	話者 B31	u nego licza odinakovy`e pochti vez<de[↓]><{< .	7、1 を指す
445	340	話者 A31	<U><{> nego poker fe`js vezde .	
446		話者 C31	<笑い>	
447	341-1	話者 A31	To est` e`to sovershenno ego permanentnoe sostoyanie e`togo yajcza,,	
448		話者 B31	<笑い>	
449	342	話者 C31	Nu< okej><{< .	
450	341-2	話者 A31	<i s e`tim nichego><{> .	
451	343	話者 B31	<U yajcza ><{> <voobshhe ne mozhet by`t` licza[↓]><{< .	
452	344	話者 A31	<Smotrite, i tut, tut><{> .	9、12 を指す
453		話者 B31	<笑い>	
454	345	話者 A31	Net vot kogda <笑い>, kogda on tolkaet kamen`, vsyo-taki u nego tam e`tot shuxanno .	
455	346	話者 B31	Da .	9、12、6、2、11、108、5、3、7、1、4

7. RF07

話者性別: 女

会話時間: 12.63 分

ライン 番号	発話文 番号	話者	発 話 内 容	備考
1	1	話者 A32	Ugu:: .	
2			《沈黙 2.41 秒》	
3	2	話者 A32	E`to yajczol[↑] ili kartoshka, kak vy` dumaete?<笑い> .	
4		話者 B32	<笑い>	
5		話者 C32	<笑い>	
6			《沈黙 0.72 秒》	
7	3	話者 A32	M:: 《沈黙 2.04 秒》 ta::k, 《沈黙 7.04 秒》 on bol`shoj, a oni malen`kie .	4 を指す
8			《沈黙 2.10 秒》	
9	4	話者 A32	Mozhet by`t`... .	
10	5	話者 A32	Kak <vsyo slozhno[↓]><{< .	
11	6	話者 C32	<Vot e`to, po-moemu,><{> poslednee .	4 を指す
12	7	話者 A32	Ugu, da, naverno, zdes` vsyo by`lo xorosho uzhe, poyut pesenki .	4 を指す
13	8	話者 A32	Im nuzhno dostat` [↑]yablochko, da[↑]? .	1 を指す
14	9	話者 A32	Ya pravil`no ponimayu? .	
15	10	話者 C32	Ugu .	
16	11	話者 A32	I::... .	
17	12	話者 C32	Oni:: probuyut razny`e sposoby` .	3 を指す
18	13	話者 A32	Da, <tochno[↓]><{< .	
19	14	話者 B32	<E`t, naverno,><{> predposlednee .	1 を指す
20	15	話者 A32	Znachit, sna= .	
21	16	話者 A32	=Da .	
22	17	話者 B32	Potomu chto <oni uzhe><{< 【 .	
23	18	話者 A32	】 <On uzhe po><{><mo::g[↑]><{< .	1 を取る
24	19	話者 B32	<Da><{> .	
25	20	話者 A32	Davajte poprobuem peredvinut` .	
26			《沈黙 2.11 秒》	
27	21	話者 A32	Vot 《沈黙 1.61 秒》 tak[↑] .	1、4 と並べる
28			《沈黙 2.92 秒》	
29	22	話者 A32	[息を吸う音]E:: xm,xm,xm,xm[↑] 《沈黙 1.07 秒》 <oni uvideli, chto on est yablochko[↓]><{< .	10 を指す
30	23	話者 C32	<Vot e`to, naverno, per><{>voe .	2 を指す
31	24	話者 A32	Da, m:: mo.. naverno .	
32			《沈黙 0.99 秒》	
33	25	話者 A32	Oni uvideli, chto on est yablochko, i, nan `naverno`, tozhe zaxoteli, ya tak podozrevayu .	10 を見せる
34			《沈黙 1.54 秒》	
35		話者 B32	<笑い>	
36	26-1	話者 C32	A esli on est, znachit on,,	10 を指す
37			《沈黙 0.70 秒》	
38	27	話者 A32	Oj kak vsyo <笑いながら>slozhno, Bozhe moj .	
39	28	話者 B32	Ochen` <笑いながら> <slozhno<笑い>><{< .	

40	26-2	話者 C32	<s::am>{>}, sam smog dostat`[↑] .	9 を指す
41	29	話者 A32	Da:: .	
42	30	話者 A32	Ili on tozhe smog dostat` tol`ko... .	12 を指す
43	31-1	話者 A32	<A::>{<},,	
44	32	話者 B32	<A mozhet on>{>} chyo-to `chto-to` im pomogaet, potomu chto= [[.	
45	31-2	話者 A32]] =a::, mozhet by`t`, ideya, smotrite, v tom, chto e` kamen` tyazhyoly`j i dlya nego i dlya nix .	12、3 を指す
46	33	話者 A32	I vot nigde oni vmeste ego ne [↑]tashhut, i poe`tomu , sobstvenno, oni smogli bez kamnya toka `tol`ko..tol`ko vmeste ob`edinivshis` i sdelav družhno, i udalos` .	7、2、1 を指す
47	34	話者 A32	Oni oba dolzhny`, oni vse dolzhny` popy`tat`sya s kamnem, i u nix ne poluchitsya .	12、3 を指す
48	35	話者 A32	Mozhet by`t`= [[.	
49	36	話者 C32]] =Vo::, vot e`to vot, tak, nu gde oni py`tayutsya vmeste ego kak-to[→] .	7 を指す
50	37	話者 A32	E`to vot, kogda oni vstretilis`, naverno, ili... .	7 を取る
51	38	話者 B32	A vot e`to vot? .	5 を指す
52			《沈黙 1.70 秒》	
53	39	話者 A32	[息を飲む音]Mozhet by`t`, mozhet by`t`, vot e`to poprobovat` pe::rvoe?, ya ne znayu .	9 を先頭に置く
54			《沈黙 1.15 秒》	
55	40	話者 A32	A xotya..., tak<笑い> .	11 を指す
56	41	話者 C32	Net, e`to vot , naverno, pervoe, gde on <takoj [声を少し大きくする]odin i grustnen`kij[↓]>{<} .	2 を指す
57	42	話者 A32	<Vot, vot, vot, znaete, v principe>{>}, v lyubom sluchae, kak my` ne postroim, glavnoe, chtob my` e`to ob`yasnil, pravil`no[↑]? .	
58		話者 C32	<笑い>	
59		話者 B32	<笑い>	
60	43	話者 A32	On idyot grustny`j[↑], 《沈黙 1.30 秒》 on idyot grustny`j[↑], on xochet est` .	カードを見る
61			《沈黙 1.24 秒》	
62	44	話者 C32	A::, vo::t on kak i nashyol svoyo yablochko .	11 を指す
63	45	話者 A32	Da:: .	11 を取る
64	46	話者 C32	A potom on stal eshhyo= .	10 を指す
65	47-1	話者 B32	=A potom oni tozhe zaxoteli yablochko, 《沈黙 1.72 秒》 kogda oni <uvi>{<},,	8、10 を指す
66	48-1	話者 A32	<Vot>{>},,	
67	47-2	話者 B32	deli ego, edyashhego <yablochko[↓] <笑い>>{<} .	
68	48-2	話者 A32	<pust` vot>{>} e`::m vot kak-to, da[↑]? .	2 の後に 11 を置く
69			《沈黙 1.05 秒》	2、11、10
70	49	話者 A32	Oni uvideli, chto on est[↑], oni reshili, chto oni tozhe xotyat ego s`est`[↑] .	10 の後に
71	50	話者 C32	I popy`talıs`, vot, kamushek podvinut`, chtob dostat` .	3 を指す
72	51	話者 A32	Da::, to<chno>{<} .	3 を取る
73	52	話者 B32	<A mo..>{>} ne::t, nado snachala, chto oni ne dostayut bez ka::mnya .	
74	53	話者 A32	Da:: .	
75	54	話者 A32	A tam by`la takaya kar<tinka?>{<} .	
76	55	話者 B32	<Vo::t>{>}, vot .	5 を指す
77	56	話者 A32	Tochno, vot oni ne smogli dostat` bez kamnya[↑], oni poshli najti 《沈黙 1.13 秒》 kamushek[↑], 《沈黙 0.98 秒》 e`::m 《沈黙 1.99 秒》 on uvidel, chto oni py`tayutsya... .	話者 C32 は 8 の後に 5 を置く、話者 A32 は 5 の後に 3 を置く
78	57	話者 A32	A zachem, pochemu on togda ne pomog im? .	7、12 を見せる
79	58	話者 C32	A, mozhet by`t`, vot e`to vot eshhyo <prosto, vot[↓]>{<} .	9 を指す
80	59	話者 B32	<A on zhe>{>} sam tozhe ne dostayot .	9 を指す
81	60	話者 B32	On uvi.. on zhe podnyal yabloko s zemli, a sam on ne dostayot .	11、9 を指す
82	61-1	話者 B32	<Emu>{<},,	
83	62	話者 A32	<Da>{>} .	
84	63	話者 C32	<Da>{>} .	
85	61-2	話者 B32	tozhe nuzhna pomoshh` .	
86			《沈黙 1.45 秒》	
87	64-1	話者 A32	Tak, m:: [カードを見ながら] 《沈黙 2.64 秒》 mozhet by`t`,,	
88			《沈黙 1.35 秒》	
89	65	話者 B32	Ugu:: .	
90	66	話者 C32	Vot e`to vot tochno pered vtoroj .	3、7 を指す
91	64-2	話者 A32	a, mozhet by`t`, v e`to vremya on poshyol= .	7 の後に 9 を置く
92	67	話者 A32	=Mozhno tak pridumat` .	
93		話者 B32	<笑い>	
94		話者 C32	<笑い>	

95	68	話者 A32	V e'to vremya on poproboval eshhyo, u nego ne vy'shlo .	9を指す
96	69	話者 A32	On prishyol tuda i tozhe poproboval kamen' .	9の後に12を置く
97	70	話者 A32	I tut oni tam gde-to otluchilis', ya <笑いながら> ne znayu .	12の後に6を置く
98		話者 B32	<笑い>	
99		話者 C32	<笑い>	
100	71	話者 A32	[息を飲む音]Vot, oni vse tut pechalyatsya[↑], i vot kak-to...<笑い> .	6の後に1、4を置く
101	72	話者 A32	Mne kazhetsya, tut est' kakaya-to logika, no my' eyo ne <笑いながら>ponimaem .	
102			《沈黙 1.37 秒》	
103	73	話者 A32	<Nu, kak ya ponimayu[→]><{> [↑] .	
104	74	話者 B32]] <A, mozhet by't',><{> vot e'to [カード 2] kuda-nibud' v seredinu? .	2を指す
105	75	話者 B32	Potomu chto, on tut [カード 2] idyot takoj pechal'ny'j, a tut [カード 11] vid, takoj dovol'ny'j <軽く笑い> uzhe .	2、11を指す
106	76-1	話者 A32	Mozhet by't', on by'l by'l grustny'j vot,,	2を12と6の間に置く
107	77	話者 B32	Chto on,<da, ne mozhet najti?><{> .	
108	76-2	話者 A32	<posle togo, kak on ne smog?><{> .	
109	78	話者 A32	Vot, i on ix, vot, pryam po dorozhke .	12、2、6を指す
110	79-1	話者 B32	O::x[↑],,	
111		話者 A32	<笑い>	
112	79-2	話者 B32	mozhet tut gde-to est' logika? .	
113	80	話者 A32	Tut ona est', no my' eyo ne ulavlivaem, mne kazhetsya .	
114	81	話者 A32	No.. ya dumayu, ne vazhno, glavnoe kak, my':: mozhem kak <ugodno pridumat'[↓]><{> .	
115	82	話者 C32	<Zachem emu by't' grustny'm><{> posle togo, kak on s`el <笑いながら> yablochko .	2を指す
116	83	話者 A32	A on eshhyo odno xochet .	12を指す
117	84	話者 A32	On.. ideya takaya, chto [↑]on n..nashyol[↑], on ego .	11を指す
118	85	話者 A32	Vot, pravda, ploxo, chto oni tut ego vidyat 《沈黙 1.54 秒》 <uzhe[↓]><{> .	10を指す
119	86	話者 C32	<N::u><{> da::, togda ne vpisy`vaetsya .	
120	87	話者 C32	Mne kazhetsya, vsyo.. e'to pervoe budet .	2を指す
121	88-1	話者 A32	M:: da::[→] <v principe, mozhet i><{>,,	
122	89	話者 B32	<No m::><{> .	
123	88-2	話者 A32	ne sut', ya dumayu, da[↓] .	
124			《沈黙 1.14 秒》	
125	90	話者 A32	Nu.. xorosho, on idyot grustny'j, on s`edaet yabloko[↑] .	2を先頭に戻す
126			《沈黙 4.19 秒》	
127	91	話者 A32	On ego s`el, 《沈黙 2.00 秒》oni vidyat, chto on est yabloko[↑], im tozhe zaxotelos', oni potom ne smogli[↑], poshli za kamnem[↑] i vot... .	10、8、5、3を指す
128			《沈黙 2.79 秒》	
129	92	話者 A32	Vot poluchaetsya, chto u nas tut, kak by' nekotory'e e`pizody` ostayutsya za kadrom<笑い> .	7を指す
130		話者 C32	<軽く笑い>	
131		話者 B32	<笑い>	
132			《沈黙 3.26 秒》	
133	93	話者 A32	Nu rasskazat'-to mo::zhno, <konechno[↓]><{> .	
134	94-1	話者 B32	<A.. podozhdite><{>, a mozhet by't',	
135	95	話者 A32	Ugu .	
136	94-2	話者 B32	vot syuda [カード 7の後] vot e'tu [カード 12]vot, chto on tozhe py'taetsya e`tot kamen' podnyat'? .	7、12を指す
137			《沈黙 1.52 秒》	
138	96	話者 A32	A pochemu?=.	
139	97	話者 A32	=Net, ya ponimayu, da, prosto, smotri, poluchaetsya, chto nelogichno=.	7を指す
140	98	話者 A32	=Pochemu on py'taetsya sdelat' bez nix? .	
141	99	話者 A32	Vot e'to stranno nemnogo .	
142			《沈黙 1.87 秒》	
143	100	話者 A32	Pochemu oni ne vmeste ego taranyat? .	
144	101	話者 A32	Ya nano 'naverno' iz za e'togo <perelozhu[↓]><{> .	12の後に9を置く
145	102	話者 B32	<Nu i v e'tom><{> sluchae e'to tozhe poluchaetsya <stranno[↓]><{> .	12を指す
146	103	話者 A32	<Nu:: da><{>, nu chto kak by' oni u::zhe razluchilis' .	9を指す
147	104	話者 A32	On posmotrel[↑], ushyol <笑い> .	7を指す
148	105	話者 C32	M:: mozhno dazhe mezhdu tri i sem' .	3と7の間を指す
149			《沈黙 1.52 秒》	
150	106	話者 A32	M<::><{> .	
151	107	話者 C32	<Tipa><{> on otdel'no bez [↑]nix, a potom.. uzhe <oni vmeste	12、7を指す

			dumayut[↓]><}	
152	108	話者 B32	<A::, mozhhet, da>>}	7 を動かす
153	109	話者 A32	Ugu .	7 を動かす
154	110	話者 A32	A::, by`.. da, vot tak dazhe luchshe .	3、12、7 と並べる
155			《沈黙 1.79 秒》	
156	111	話者 A32	Oni reshili, chto on bol'shoj mozhhet pojti[↑], on ne <smog[↑]><}	9 を指す
157	112	話者 C32	<Ugu>>}	
158	113	話者 B32	Vot e`ta [カード 6] tozhe kak-to ne vpisy`vaetsya .	6 を指す
159			《沈黙 1.00 秒》	
160	114	話者 A32	Ko..kotoraya imenno? .	
161	115	話者 B32	Shestaya .	
162			《沈黙 1.90 秒》	
163	116	話者 A32	A<::><}	
164	117	話者 B32	<Nu>>}, 《沈黙 2.57 秒》 u nix kakie-to e`mocii<笑い>, neponyatno .	6 を指す
165			《沈黙 1.35 秒》	
166	118	話者 A32	<笑い>On dolzhen <uznat` pochemu oni><}	6 を指す
167	119-1	話者 C32]] <Mozhet by`t>>},,	6 を指す
168	120	話者 A32	Mozhet s e`togo voobshshe vsyo nachinalos`<鼻笑い> .	
169	121	話者 B32	Nu, mozhhet, <tak><}	
170	119-2	話者 C32	<tut oni>>}> zlyatsya, chto oni ne mogut:: podnyat` <kamen` i prosyat ><},,	6 を指す
171	122	話者 B32	<A mozhhet oni>>}	
172	119-3	話者 C32	ego? .	
173	123	話者 C32	I togda e`to vot.. kuda-to tuda <笑いながら> vpisy`vaetsya .	12 を指す
174			《沈黙 1.54 秒》	
175	124-1	話者 B32	A, mozhhet, oni poruga::lis`,,	6、2 を指す
176		話者 A32	<笑い>	
177	124-2	話者 B32	i on ot e`togo idyot takoj pechal`ny`j .	
178		話者 C32	<笑い>	
179	125	話者 B32	A potom naxodit yabloko .	11 を指す
180	126	話者 A32	Vot vsyo<笑い> .	
181			《沈黙 0.85 秒》	
182	127	話者 A32	<Tak><}	
183	128	話者 B32	<Nu>>}> potomu chto oni kakie-to tut ochen` zlobny`e .	6 を指す
184	129	話者 C32	Ugu<鼻笑い> .	
185			《沈黙 1.09 秒》	
186	130	話者 A32	Da::, naverno .	6 を取る
187			《沈黙 1.77 秒》	
188	131	話者 A32	Vot, to est` e`to vsyo nachinaetsya, <ty` predlagaesh`[↓]><}	2 の前に 6 を置く
189	132	話者 B32	<Ugu>>}	
190	133	話者 A32	Okej .	カードを動かす
191	134-1	話者 A32	<Net, no, mne kazhetsya, na samom dele[↑]><},,	
192	135	話者 B32	<Esli, konechno, vse soglasny`[↓]<笑い>>>>}	カードを動かす
193	134-2	話者 A32	net, mne kazhetsya, na samom dele, rasskazat` možhno:: rasskazat` možhno.. cht.. lyubuyu istoriyu v itoge .	カードを動かす
194			《沈黙 1.53 秒》	
195	136	話者 A32	Tak, 《沈黙 1.32 秒》 vo::t, kak-to tak .	6、2、11、10、8、5、3、12、7、9、1、4
196			《沈黙 3.12 秒》	
197	137	話者 A32	Oni porugalis` mezhd u soboj ili vmeste s nim?= .	6 を指す
198	138	話者 A32	=Net, on ix, on ix ne znaet eshhyo, da[↑]? .	
199	139	話者 A32	Oni ne <znakomy`><}	
200	140	話者 B32	<Ne>>}, mne kazhetsya oni znako::my`, no vot oni:: ne xotyat s nim obshha<t`sya[↓]><}	
201	141	話者 A32	<A::>>}, poe`tomu on grustny`j .	2 を指す
202	142	話者 B32	Da::,<da><}	
203	143	話者 A32	<Vsyo>>}, ya ponyala .	
204	144	話者 A32	I on dumaet... .	
205	145	話者 A32	A pochemu on im ne nesyt e`to yabloko, a sam ego est?<笑い>[話者 B32 を見る] .	11 を指す
206	146	話者 B32	Potomu chto on pecha::l`ny`j<笑い> .	2 を指す
207		話者 C32	<笑い>	
208	147	話者 A32	On ra.. <lt;笑い>on .<="" edoj="" rasstroen,="" reshil="" sebya="" td="" uspokoit`=""><td></td></lt;笑い>on>	
209		話者 C32	<笑い>	
210		話者 B32	<笑い>	
211	148	話者 A32	A oni dumayut “vot naglecz!”, oni na nego eshhyo bol`she dolzhny` by`li razozlit` sya posle<笑いながら> e`togo .	10 を指す
212	149	話者 A32	E`t`e`to`to::zhe xotya .	
213			《沈黙 1.17 秒》	

214	150	話者 A32	Vot .	
215			《沈黙 1.64 秒》	
216	151	話者 B32	<Vot e'ti tog..><{ } 【 .	7、12 を指す
217	152-1	話者 A32	】 <Mozhet, vsyo-taki my` togda pere>><{ }<dvinem>><{ },,	12、7 と並べ替える
218	153	話者 B32	<Da>><{ } .	
219	152-2	話者 A32	vot, da[↑]? .	
220	154	話者 A32	Togda logichno, chto.. nu isxodya iz togo, kakie u nix e`mocii i chuvstva [chuvstva'を強調] .	
221	155	話者 A32	Vo:t oni emu govoryat "nu" mol "pomozhesh`?", vot .	
222	156	話者 A32	On poproboval pomoch` tak, poproboval pomoch` tak, ne poluchilos`, a poluchilos` tak vot, vot tak vot .	12、9、1 を指す
223			《沈黙 3.76 秒》	
224		話者 A32	<笑い>	
225		話者 B32	<笑い>	
226	157	話者 A32	Tut est` pravil'ny`j <variant, interesno?, v e`tom>><{ } 【 .	
227	158	話者 B32	】 <Kakoj-to, kakoj-to smazanny`j konecz>><{ } , v otlichie ot serediny` .	
228	159	話者 A32	Net, nu smotri, vsyo pravil'no, da[↑]? .	
229	160	話者 A32	Oni t.. oni taranyat kamen`[↑], u nix ne.. on prixodit tut on .	3、7 を指す
230	161	話者 B32	Pochemu oni vmeste, oni taranyat <ego?>><{ } .	12 を指す
231	162	話者 A32	<[舌うちの音]Ya poni>><{ }mayu, no e`toj kartinki, k sozhaleniyu, <zdes` net>><{ } .	
232	163	話者 B32	<Nu ya.. nu>><{ } da::, no... .	
233	164	話者 A32	Nu vot, net nu da, to est` s e`toj tochki zreniya on togda e`to py`taetsya sdelat` dlya:: sebya, a ne dlya nix, esli on odin taranit kamen` .	12 を指す
234			《沈黙 6.20 秒》	
235	165	話者 C32	Ne znayu, mne kazhetsya, chto e`to [カード 12] dolzhno by`t` perez e`tim [カード 7] .	
236			《沈黙 1.25 秒》	
237	166-1	話者 C32	Nu to <est`::>><{ },,	12、7 と並べ替える
238	167	話者 A32	<I::>><{ } togda? .	
239	168	話者 A32	Ugu .	
240			《沈黙 2.89 秒》	
241	166-2	話者 C32	tipa, oni kazhdy`j po otdel`nosti::,,	12 を指す
242	169	話者 A32	Prosto <vot tut[→]>><{ } 【 .	
243	166-3	話者 C32	】 <potom reshili>><{ } , chto::,,	7 を指す
244	170	話者 A32	Da, da .	
245	171-1	話者 A32	Prosto <odin>><{ },,	
246	166-4	話者 C32	<vtroyom>><{ } .	
247	171-2	話者 A32	kamen` ne ochen` ponyatno, vot e`ta vot zaminka po vremeni .	12 を指す
248	172	話者 A32	No v celom, mne kazhetsya, chto e`ti kartinki <postroyen` tak, chto::>><{ } 【 .	
249	173-1	話者 C32	】 <Nu , nu togda>><{ } <mozjno>><{ },,	
250	174	話者 A32	<Aga>><{ } .	
251	173-2	話者 C32	eshhyo vot pervuyu syuda[↓][カード 3 と 12 の間] .	6 を指す
252			《沈黙 1.82 秒》	
253	175	話者 C32	Chto oni ego ugovarivayut, on 《沈黙 0.73 秒》 im dvigaet kamen` , <ne poluchaetsya, potom oni vmeste[↓]>><{ } .	12 を指す
254	176	話者 B32	<Oni s kakim-to nepravil'ny`m>><{ } liczom, po-moemu, ego ugovarivayut .	6 を指す
255	177	話者 A32	Nu voobshhe tak ne ugovarivayut, da::[↓]= .	
256	178	話者 A32	=Oni kakie-to zly`e tam .	
257	179	話者 A32	To est` oni ne prosyat <ni o chyom[↓]>><{ } .	
258	180	話者 C32	<Nu ili on>><{ } sam.. k nim..《沈黙 0.85 秒》 prixodit predlagaet pomoshh` .	
259	181-1	話者 C32	Tipa "xorosh ssorit`sya, ya vam", ,	
260		話者 B32	<鼻笑い>	
261	181-2	話者 C32	pomogu s kamushkom .	
262			《沈黙 1.57 秒》	
263	182	話者 A32	Da, no nas, vidish`, vsex pechalit, chto::<笑い> oni tashhut ego ne vmeste vot .	12 を指す
264	183	話者 A32	<To est` kak by`[→]>><{ } 【 .	
265	184	話者 C32	】 <A potom[↑] vmeste>><{ } .	7 を指す
266	185	話者 A32	Nu vot .	
267			《沈黙 4.26 秒》	
268	186	話者 B32	Nado kak-to vot posledovatel'no, chto posle e`togo kamnya on:: idyot, a ne.. ne probuet nichego vmeste sdelat` , i potom srazu on idyot <grustny`j[↓]>><{ } .	7 を指す
269	187-1	話者 A32	<U menya est` takoe>><{ } podozrenie, chto kak ne slozhish` ,,	
270		話者 C32	<笑い>	

271	187-2	話者 A32	e`ti za..., grubo govorya[↑], <istoriya mozhnet slozhit`sya>{<},,,	
272	188	話者 B32	<Nu, vozmozhno, dazhe tak>{>}	
273	187-3	話者 A32	iz, iz lyubogo .	
274	189-1	話者 A32	To est` moglo vsyo nachinat`sya vot s [↑]e`togo [カード 4],,,	4 を指す
275		話者 C32	<笑い>	
276	189-2	話者 A32	to est` tut net logiki dvizheniya, da[↑]? .	
277			《沈黙 0.95 秒》	
278	190	話者 A32	Tut glavnoe, kak pridumat` e`to vsyo= .	
279	191	話者 A32	=Eshhyo dolzhny` budem rasskazat`? .	
280			《沈黙 0.80 秒》	
281		話者 C32	<笑い>	
282		話者 B32	<笑い>	
283	192	話者 A32	M::, 《沈黙 1.34 秒》e`to yajcza ili kartoshki, interesno? .	
284		話者 B32	<笑い>	
285		話者 C32	<笑い>	
286			《沈黙 4.11 秒》	
287	193	話者 A32	A poyot on[↓] v konce, da[↑]?, vidimo .	4 を指す
288	194	話者 A32	On poyot, oni torzhestvuyut .	
289	195	話者 A32	Ili oni vse vmeste poyut? .	
290			《沈黙 8.79 秒》	
291	196	話者 A32	Vot .	
292		話者 B32	<笑い>	
293			《沈黙 7.50 秒》	
294	197	話者 B32	<笑い>Mne kazhetsya, chto mozhno usovershenstvovat`<笑い> .	
295	198	話者 A32	Nu eyo mozhno sovershenstvovat` bes<kone::chno, mne kazhetsya[↓]>{<} .	
296	199	話者 B32	<Nu, po>{>}<nyatno, da[↓]>{<} .	
297	200	話者 A32	<Net, nu ya ponimayu, my`>{>} xotim-to priyti k kakoj-to obshheponyatnoj logike, no vot problema v tom, chto, mne kazhetsya, eyo zdes` net prosto, vot .	
298			《沈黙 1.25 秒》	
299	201	話者 A32	To est` e`to ne by`la iznachal`no celaya:: istoriya, kotoraya 《沈黙 1.45 秒》i tak ponyatna .	
300			《沈黙 3.56 秒》	
301	202	話者 A32	M:: 《沈黙 2.17 秒》nu vot, naprimer, da[↑]?, pochemu on est e`to..., pochemu vot de..deystvie, esli by` tut by`la kakaya-to takaya chyotkaya logika, da[↑]?, kotoruyu my` vse uvideli neizbezhno, to pochemu, naprimer, on est ne p.. ne pod derevom?= .	11、10 を指す
302	203	話者 A32	=Nu kuda on poshyo::l, da[↑]?, nu otdel`no, chtoby` s`est` e`to yabloko tam= .	
303	204	話者 A32	=Ili opyat` vot, chto vot e`ta vot begotnya, da[↑]?, ot dereva k derevu , ot kamnya k derevu .	
304	205	話者 A32	Vot chto e`to ne v odnom meste gde-to priblizitel`no <proisxodit>{<} .	
305	206-1	話者 B32	<A vam ne kazhetsya>{>}, chto vot e`to vot, <on>{<},,,	7 を指す
306	207	話者 A32	<Ugu>{>} .	
307	206-2	話者 B32	kak-to sravnil, chto on na kamne 《沈黙 1.07 秒》vy`she rostom s.. chem on[↑],,,	
308	208	話者 A32	M:: .	
309	206-3	話者 B32	i, mozhnet, oni posle e`togo reshili? .	
310	209	話者 A32	O::j, e`to interesnaya <my`sl`, slushaj[↓]>{<} .	
311	210	話者 C32	<Togda vot e`to kak-to>{>} v..voobshhe <笑いながら>vy`padaet .	9 を指す
312			《沈黙 0.75 秒》	
313	211	話者 B32	Nu e`to togda, mozhnet, chto vot e`to [カード 7] vot syuda[↑][カード 12 の前]= 【 .	12、7 を指す
314	212	話者 C32	】 =Ili, ili dazhe vot tuda vot kuda-to .	5 の後を指す
315	213	話者 A32	Kogo imenno? .	
316	214-1	話者 C32	Vot, v::ot tak vot pe...,	9 を渡す
317	215	話者 B32	Vot <e`tot?>{<} .	
318	214-2	話者 C32	<pe..pe..>{>} pered e`popееj s <笑いながら>kamnem .	
319	216	話者 B32	A .	9 を 5 の後に置く
320	217	話者 A32	A::ga, to est` v e`to vremya= 【 .	
321	218	話者 C32	】 =Chto oni:: oba.. odinakovy`e .	
322	219	話者 C32	Chto dva malen`kix, chto odin takoj .	5、9 を指す
323			《沈黙 1.57 秒》	
324	220-1	話者 C32	Potom <reshili>{<},,,	
325	221-1	話者 A32	<A, mozhnet my`>{>}, sdelaem vot <naaborot, v..v to >{<},,,	5、3、9 と並べ替える
326	220-2	話者 C32	<na kamushek vzobrat`sya>{>} .	

327	221-2	話者 A32	<vremya kak><{>,,	
328	222	話者 B32	<A::, da><{> .	
329	221-3	話者 A32	a vot esli vot tak, da[↑]?= .	
330	223	話者 A32	=V to vremya, kak oni prishli k kamnyu[↑], v e`to vremya= .	3 を指す
331	224	話者 A32	=Nu vot tut kak by`, da, vremenny`e osobennosti vot e`togo vsego .	
332	225	話者 A32	I togda on poshyol k kamnyu .	9、12 を指す
333	226	話者 B32	I tut podo<shli oni[↑]><{> .	7 を指す
334	227	話者 A32	<I tut oni><{> vstretilis`, oni by`li gde-to ryadom, da[↓], poblizosti .	7 を指す
335	228	話者 A32	Mozhet, oni nikuda <ne ushli?><{> .	
336	229	話者 C32	<Ugu><{> .	
337	230	話者 C32	<Da, možhno><{> .	
338	231	話者 A32	<Ili sdelat`><{> tak, chtoby` oni opyat` <笑いながら>k derevu, chtoby` oni begali ot drug druga .	5 を指す
339	232	話者 A32	Nu vot, chto oni vstretilis` i vot togda, da[↓], oni ponyali, kak... .	
340	233	話者 A32	Dejstvitel`no, vot e`to interesnaya my`sl` by`la, 《沈黙 0.92 秒》 pro rost .	
341			《沈黙 1.45 秒》	
342	234	話者 A32	Sho`chto`odin bol`shoj axromny`j `ogromny`j, 《沈黙 2.00 秒》 a drugie xobbitcy`[溜め息の音] .	
343			《沈黙 6.63 秒》	
344	235-1	話者 A32	Nu vot, skazhem tak<笑い>,,	
345		話者 B32	<笑い>	
346	235-2	話者 A32	u nix zdes` na liczax eshhyo, vozmo::zhno, napisany` e`mocii togo, chto [息を吸う音] e`::m,,	6 を指す
347	236	話者 B32	Oni nedovol`ny`, chto on s`el yabloko[↑]? .	
348	235-3	話者 A32	oni nedovol`ny`, chto oni ne smogli do.. vot posle vot e`togo [カード 5], skazhem tak .	5 を指す
349	237	話者 A32	Vozmozhen takoj variant, chto vot e`to [カード 6] sluchilos` posle vot e`togo [カード 5]= .	6、5 を指す
350	238	話者 A32	=I togda oni vstretilis` .	
351	239	話者 B32	Nu ya ne znayu, mne nravitsya ideya, chto oni chyo-to <s nim ne xotyat družhit` i><{> 【】 .	6、2 を指す
352	240	話者 A32	【】 <Nu da::, potomu chto s drugoj storony`><{> vot yabloko .	10 を指す
353	241	話者 A32	Da, da, mne tozhe nravitsya .	
354			《沈黙 2.42 秒》	6、2、11、10、8、5、3、9、12、7、1、4
355	242	話者 B32	[小さい声で]Mne kazhetsya, sdalali<笑い> .	
356		話者 C32	<笑い>	
357	243	話者 A32	Mne kazhetsya, e`to možhno by`lo, zakry`v glaza, lyubuyu posledovatel`nost` razmeshat` i potom rasskazat` is..= .	
358	244	話者 A32	=Tut fantaziya, ona v e`tom, da[↑]?<笑い> .	
359		話者 C32	<笑い>	

8. RF08

話者性別: 女

会話時間: 7.7 分

ライン番号	発話文番号	話者	発 話 内 容	備考
1	1	話者 A33	E`:: mne uzhe strashno .	
2		話者 B33	<笑い>	
3	2	話者 C33	A e`to kto::? .	
4	3	話者 A33	Vot mne tozhe interesno .	
5	4	話者 A33	Vsyo-taki, <po-mo><{> 【】 .	
6	5	話者 C33	【】 <U menya predlo><{>zhenie, chto e`t e`to` kartoshka .	
7	6-1	話者 B33	Aga, kartoshka i ego deti.. malen`kie,,	1 を指す
8	7-1	話者 A33	Da, <no ya nadeyus`><{>,,	
9	6-2	話者 B33	<kartoshechki<笑い>>><{> .	
10	7-2	話者 A33	e`to ne ta avtorsha, kotoraya 『Priklyucheniya Kakashki』 <笑いながら>napisala .	
11		話者 C33	<笑い>	
12		話者 B33	<笑い>	
13	8	話者 B33	Tak, 《沈黙 1.33 秒》 derevo, yabloki .	
14			《沈黙 1.03 秒》	

15	9	話者 C33	Tak, dostayot yabloki[↑], 《沈黙 0.99 秒》yabloki i oni poyu::t[↑] .	5、4 を指す
16			《沈黙 1.46 秒》	
17	10-1	話者 B33	Tak, snachala,,	
18	11-1	話者 A33	[息を飲む音]S...,,	
19	10-2	話者 B33	nu vot snachala <vot on idyot><{>,,	
20	11-2	話者 A33	<vot e::to[→]><{> .	
21	10-3	話者 B33	odin, mne kazhetsya .	2 を指す
22	12	話者 B33	Odin, odin, odin[↑], kogo-to on vstrechaet .	7 を指す
23	13	話者 A33	Na<do vot><{> 【 .	
24	14	話者 B33	】 <Potom oni><{> podut 'pojdut'.. pojdut zachem-to za s.. s.. yablokom .	5 を指す
25	15	話者 A33	Net, nado vot e`to vot kak-to.. vot s kamnem .	
26	16	話者 A33	A nam nuzhno vsyo e`to perelozhit`, <da[↑]?><{> .	
27	17	話者 C33	<Da::><{> .	12 を取る
28	18	話者 B33	[息を飲む音]Da .	
29	19-1	話者 B33	<Tak, mne kazhetsya, nu.. ne znayu><{>,,	2 を取る
30	20	話者 C33	<Nu davajte nachnyom togda pereklady`vat`><{> .	
31	19-2	話者 B33	vot gde on eshhyo odin? .	
32	21	話者 B33	Mne kazhetsya, chto on <odin, eshhyo e`ti tozhe[↓]><{> .	
33	22-1	話者 C33	<Vo::t on odin kamen` py`ta><{>etsya po.. kak by` dostat`, <vot ><{>,,	12 を見せる
34	23	話者 B33	<Tak><{> .	
35	22-2	話者 C33	to est`, e`to, podnyat` .	
36	24	話者 B33	Vot e`to, e`ti gde-to vmeste budut, znachit, tak .	12 と 2 をまとめて置く
37	25	話者 A33	Vot e`to tozhe .	7 を取る
38	26-1	話者 A33	<Na><{>,,	
39	27-1	話者 B33	<A..><{>,,	
40	26-2	話者 A33	verno, potom k nemu prishli <druz`ya[↓]><{> .	12 の後に 7 を置く
41	27-2	話者 B33	<a..><{>, ka::mni <tozhe by`li otde::l`no[↑]><{> .	8 を取る
42	28	話者 C33	<A vot oni, smotri><{>, vdv.. malen`kie py`tayutsya podnyat` kamen` .	3 を指す
43	29	話者 B33	Da .	
44	30	話者 C33	To est` oni, <interesno zachem[→]><{> 【 .	
45	31	話者 A33	】 <A::><{> .	
46	32	話者 B33	<I on><{> snachala s derevom tozhe odin est` .	11 を指す
47	33	話者 C33	Gospodi, chto-to <kakaya-to><{>[小さい声で呟く] 【 .	
48	34	話者 B33	】 <Mozhet by`t><{> vot e`to moment vstrechi? .	10 を取る
49	35	話者 B33	Ili vsyo-taki, ili vot s:: kamnem, s e`tim? .	7 を指す
50			《沈黙 1.28 秒》	
51	36	話者 C33	Nu, ne vot e`to tochno, mne kazhetsya, final uzhe .	4 を指す
52	37	話者 B33	Da, mne tozhe kazhetsya= .	
53	38	話者 B33	=Oni vse schastlivy`[↑] .	
54	39	話者 C33	<笑いながら>Da .	
55			《沈黙 1.32 秒》	
56	40	話者 B33	Ta::k, 《沈黙 1.61 秒》 ugu .	
57	41-1	話者 B33	<On><{>,,	9 を指す
58	42	話者 C33	<Vs><{> .	
59	41-2	話者 B33	on, on ne smog tozhe sam dos<ta::t[↑]><{> .	
60	43	話者 C33	<Da::><{>, i oni ne smogli sami dostat`= .	9、5 を指す
61	44	話者 C33	=A vot tak vot oni dosta::li .	1 を指す
62	45	話者 B33	Da, i vot e`to uzhe blizhe k finalu, <naverno[↓]><{> .	1 を 4 の近くに置く
63	46	話者 A33	<A e`to><{> tochno odna istoriya? .	
64	47	話者 C33	Da::, vot mne tozhe kazhetsya, chto zdes` dve.. dve istorii .	9 を動かす
65	48	話者 B33	Nu oni zhe potom soedinilis` .	
66			《沈黙 0.94 秒》	
67	49	話者 C33	A zachem im ka::men`?, <vopros><{> .	3 を指す
68	50	話者 B33	<A::, nu><{>, chtoby` dostat` .	3 を指す
69	51	話者 B33	E`ti malen`kie ne mogut bez nego dostat`, dopry`gnut`, a emu ne xvataet malen`kix<笑い> .	1 を指す
70	52	話者 C33	A::, vot v chyom delo .	
71	53	話者 B33	Vot eshhyo tozhe, oni rugayutsya, a e`tot smotrit na nix .	6 を指す
72	54	話者 C33	A, slushajte, ya ponyala, smotrite .	11 を指す
73	55-1	話者 C33	E:: vot on shyo::l, <nashyol><{>,,	11 を動かす
74	56	話者 B33	<Ugu><{> .	
75	55-2	話者 C33	ya::bloko[↑], ego e:: u.. nachal est`, e`ti uvideli i stali, nu:: tozhe zaxoteli yabloko .	10 を指す
76	57	話者 B33	Da .	
77	58-1	話者 B33	Pobezhali za e`tim <yablokom[↑]><{>,,	10 を指す
78	59	話者 C33	<Po..pobezhali><{>, naverno, vot tak vot i:: ne smogli ego dostat` .	5 を指す

79	58-2	話者 B33	potom podumali ka::men`[↑], naverno, pritashhit` tut[→] .	3 を取る
80			《沈黙 0.82 秒》	
81	60	話者 C33	E::m..m..m .	
82	61	話者 B33	Ili vot, <vot, vot, vot s e`tim [↑]kamnem tozhe[↓]><{> .	7 を持ち上げる
83	62	話者 A33	<Net, vot, vot tu:: [カード 6] eshyo nado><{>, naverno, vot.. mezhdu , mne kazhetsya, vot e`timi [カード 10,5] .	6 を取る、10 と 5 の間に置こうとする
84	63	話者 C33	Da ne::t .	6 を取る
85	64	話者 A33	Net?= .	
86	65-1	話者 B33	=Net, mne <kazhetsya, chto vot u nix><{>,,	
87	66	話者 C33	<Ne::t><{>[小さい声] .	
88	65-2	話者 B33	ne poluchi<los` on ix><{>,,	
89	67	話者 C33	<Da::><{> .	
90	65-3	話者 B33	uvi<del[↑]><{>,,	
91	68-1	話者 C33	<Da, vot><{> u nix ne poluchilos`, on <ix uvi::del, oni vot tut grustny`e><{>,,	5 の後に 6 を置く
92	65-4	話者 B33	<poshyol im naverno pomogat`[↓]><{> .	1 を動かす
93	68-2	話者 C33	takie .	
94			《沈黙 1.16 秒》	
95	69	話者 C33	<A::, mozhет, podozhdite, po..popo><{> [[.	9 を指す
96	70	話者 A33]] <A potom on i.. e`.. po::.. odin><{> poproboval <dostat`[↓]><{> .	9 を指す
97	71	話者 C33	<Da::, mozhет on><{>, snachala odin poproboval dostat`, u nego ne poluchi::los` .	6 の後に 9 を置く
98	72	話者 B33	Ugu .	
99	73	話者 C33	Vo::t .	9 を指す
100			《沈黙 1.03 秒》	
101	74	話者 C33	Ili 《沈黙 1.68 秒》 a::, slushajte, a mozhет by`t vot tak vot?= .	
102	75-1	話者 C33	=Oni.. py`talıs` [↑]sami dostat`,,	5 を指す
103	76	話者 B33	Ugu .	
104	75-2	話者 C33	a potom:: popy`talıs` e`:: kamush::ek e`:: nu peretashhit`, mozhет, <chtoby`::><{>,,	3 を指す
105	77	話者 B33	<Ugu><{> .	
106	75-3	話者 C33	nu chtob dostat` .	5 を指す
107	78	話者 A33	Tak <znachit><{> [[.	
108	79-1	話者 B33]] <U nix ><{><naverno ne poluchi::los`[↑]><{>,,	
109	80	話者 C33	<U nix ne poluchilos` ><{>, i <vot oni><{> [[.	
110	79-2	話者 B33]] <vo, vo::t><{> u nix, naverno, ne poluchilos`[↑], i on k nim prishyol, mozhет, <mozhет by`t togda?><{> .	7 を指す
111	81	話者 A33	<Potom on popro><{>boval sam dostat` .	12 を指す
112	82	話者 C33	Vot, v..vot naverno vot tak .	
113	83	話者 C33	Vot smotrite, vot u.. u nix ne::... .	
114	84	話者 C33	Oj, Gospodi, kuda?[カードを置く場所を探す] .	
115		話者 A33	<笑い>	
116	85	話者 C33	U nix ne poluchi::los` .	5 と 6 の間に 3 を入れる
117	86	話者 C33	Vot on ix uvidel takix rasstro::enny`x .	
118	87	話者 B33	Ugu .	
119	88	話者 C33	Oni popy`talıs` e`:: nu vot oni rasskazali emu, chto py`talıs` ka::mushek peretashhit` [→] .	7 を指す
120	89	話者 C33	Podozhdite, net .	
121	90-1	話者 C33	<Kak-to ochen`><{>,,	
122	91	話者 B33	<Ugu><{> .	
123	90-2	話者 C33	zdes`	
124	92	話者 B33	Vot tut on prosto s kamnem s e`tim odi::n .	12 を指す
125	93	話者 B33	Kak budto on <tozhe proboval uzhe e`to sdelat`[↓]><{> .	
126	94	話者 C33	<Da::, da::><{> .	
127	95	話者 C33	A::, mozhет by`t on poproboval ka::men` do..peretashhit`, ponyal, chto ne polu::<chitsya[↓]><{> .	12 を指す
128	96	話者 A33	<Da::><{>, <da, da><{> .	
129	97	話者 B33	<Ugu><{> .	
130	98	話者 C33	<Potom><{> poshyol[↑], podumal, mozhет on odin sam dostanet yabloko, u nego tozhe ne poluchilos` .	9 を指す
131	99	話者 A33	U menya predlozhenie, vot e`to tochno konecz<笑い> .	4 を指す
132	100	話者 C33	E`to< tochno konecz<笑い>><{> .	4 を指す
133	101	話者 B33	<<笑いながら>Da, da><{> .	
134	102	話者 C33	Tak, davajte vot e`to v konecz<togda otlozhim[↓]><{> .	4 を動かす
135	103	話者 A33	<Da, kak raz><{> .	
136	104	話者 C33	E`to <tochno konecz[↓]><{> .	
137	105	話者 A33	<A vot e`to nacha><{> lo .	
138	106	話者 A33	<Idyot[→]><{> [[.	2 を指す
139	107	話者 C33]] <A e`to><{> nachalo= .	
140	108	話者 C33	=On idyot grustny`j i vdrug[↑] vot on, gde, <vidit, vidit	カードを探す

			yablochko[↓]><{ } .	
141	109	話者 A33	<Vot, naxodit yabloko>><{ } .	11 を取る
142	110	話者 B33	<Vidit ya::bloko>><{ } .	
143	111-1	話者 A33	Tak <vot e`ti davajte poka>><{ },,	
144	112	話者 C33	<Da, tak>><{ } .	
145	111-2	話者 A33	otlozhim .	カードを退ける
146	113	話者 B33	Ugu .	
147	114	話者 A33	Kakaya vakxanaliya u nas tut .	2、11 と並べる
148		話者 B33	<笑い>	
149	115	話者 A33	Tak e`:: .	
150	116	話者 C33	Uvidel yabloko[↑] <i::><{ } [[.	
151	117	話者 A33]] <Vot>><{ }, potom <vstretil vot e`tix[↑]>><{ } .	11 の後に 10 を置く
152	118-1	話者 B33	<S:: stal >><{ } ego est` , <naverno[↑]>><{ },,	
153	119-1	話者 C33	<Da::>><{ }, stal ego est` [↑], <a>><{ } ,,	
154	118-2	話者 B33	<i::>><{ } .	
155	119-2	話者 C33	oni tozhe zaxoteli yablochko[↑], <i::>><{ },,	
156	120	話者 B33	<Tak>><{ } .	
157	119-3	話者 C33	vot, vot, vot oni, naverno, py`tayutsya[→]= [[.	8 を指す
158	121	話者 B33]] =<Podoshli>><{ } [[.	8 を指す
159	122	話者 A33]] <A vot e`tu>><{ } kuda? .	6 を指す
160	123	話者 C33	Oj, ne znayu, slushajte= .	
161	124-1	話者 C33	=Tak, <podozhdi>><{ },,	
162	125	話者 B33	<Ugu>><{ } .	
163	124-2	話者 C33	vot oni tozhe prishli k ya::blone[↑],,	10 の後に 8 を置く
164	126	話者 B33	Ugu .	
165	124-3	話者 C33	popy`talis` dostat` yabloko[↑],,	8 の後に 5 を置く
166	127	話者 B33	Ugu .	
167	124-4	話者 C33	ponyali, chto vsyo tshhetno[↑] .	
168	128	話者 A33	Vot e`to, po-moemu .	6 を指す
169	129	話者 C33	A:: a, mozh `mozhet` , snachala kameshek, kameshek[↓]? .	3 を取る
170	130	話者 C33	Potom oni popy`talis` s ka::mushkom[↑] .	5 の後に 3 を置く
171			《沈黙 1.46 秒》	
172	131-1	話者 C33	A po<tom[↑], a potom>><{ },,	
173	132	話者 B33	<Potom stali rugat`sya>><{ } [声をあげる] potomu chto u nix nichego ne polucha<los`[↑]>><{ } .	6 を指す
174	131-2	話者 C33	<a>><{ } potom vot oni:: vs.. e`::, o gospodi, vot, vot oni s nim vstretilis` , da[↓],,	6 を 3 の後に置く
175	133	話者 B33	Ugu .	
176	131-3	話者 C33	eshhyo raz .	
177	134	話者 B33	<Ugu>><{ } .	
178	135	話者 A33	<Potom>><{ }= .	
179	136	話者 C33	=On popy`talsya= [[.	12 を指す
180	137	話者 A33]] =A, <net, snachala oni rasskazali[↓]>><{ } .	
181	138-1	話者 B33	<Mozhet by`t` , oni priveili ego k [↑]kamnyu, a on>><{ },,	3 の後に 7、12 と並べる
182	139	話者 C33	<Da, vot tak, naverno>><{ } .	
183	138-2	話者 B33	< popy`talsya ego[↓]>><{ } .	
184	140	話者 C33	<Da, da>><{ }, da, tochno .	
185	141-1	話者 A33	Potom <on sam>><{ },,	12 を指す
186	142	話者 B33	<Da>><{ } .	
187	141-2	話者 A33	popy`talsya[↑], potom .	
188	143	話者 A33	Net, mne <kazhetsya, vot e`to sn>><{ } [[.	12 の後に 9 を置く
189	144	話者 B33]] <A::, vot e`to>><{ }, vot vot e`tot vot <eshhyo[↓]>><{ } .	9 を指す
190	145	話者 C33	<Da>><{ }, pravil`no .	
191	146	話者 A33	Vot .	
192	147	話者 B33	<Vot tak, da[↑]?>><{ } .	2、11、10、8、5、3、6、7、12、9、1、4
193	148	話者 C33	<Vsyo>><{ }, schast`e .	
194		話者 B33	<笑い>	
195	149	話者 C33	<笑い>V itoge... .	
196	150	話者 C33	A kto e`to? .	
197		話者 A33	<笑い>	
198		話者 C33	<笑い>	
199	151	話者 A33	Davajte, vot e`to budet Sergej<笑い> .	9 を指す
200	152	話者 C33	<笑いながら>Ser<gej?>><{ } .	
201	153	話者 B33	<Sergej?>><{ } .	
202	154	話者 C33	Mariya i Pa::vel<笑い> .	7 を指す
203		話者 A33	<笑い>	
204		話者 B33	<笑い>	
205	155	話者 B33	Ta::k, nu:: vrode poluchilas` svyazannaya istoriya .	
206	156	話者 C33	Nu:: nam, naverno, nuzhno rasskazat`[↑]? .	

207			《沈黙 1.45 秒》	
208	157	話者 B33	Pro Sergeya, Mariyu i <Pavla<笑い>>><> .	
209	158	話者 A33	<Nu>>, v obshhem, Sergej shyol, naxodit <e`to vot yablo><> [[.	
210	159	話者 C33]] <Gru::stny`j on>>> <shyol, da>>> .	2 を指す
211	160	話者 A33	<Da, grust>>>ny`j shyol .	
212	161-1	話者 A33	<Naxodit ya::blo>>>, ,	
213	162	話者 B33	<On odin, u nego net yablo>>> .	2 を指す
214	161-2	話者 A33	nyu .	
215	163	話者 B33	Ya::bloko on naxodit <snachala[[>>> .	11 を指す
216	164	話者 A33	<Yablonyu s yablokom>>> .	
217	165	話者 C33	<Yablonyu s yablokom>>> .	
218	166	話者 A33	Da .	
219		話者 B33	<笑い>	
220		話者 C33	<笑い>	
221	167	話者 A33	Yabloko ot yablony nedaleko u<palol↑>>> .	
222	168	話者 C33	<Upalo>>> .	
223	169-1	話者 C33	No ono upalo[↑], i on ego smog,,	
224		話者 B33	<笑い>	
225	169-2	話者 C33	spokojno dostat` i <s`e::st`[[>>> .	
226	170	話者 B33	<Nu, da>>> .	
227	171-1	話者 C33	Vdrug uvideli e`:: Pavel i:: e`:: [話者 A33 と話者 B33 を見る], ,	
228	172	話者 B33	M..<Mariya>>> .	
229	171-2	話者 C33	<Mariya>>>, <Ma>>>, ,	
230	173	話者 B33	<Da>>> .	
231	171-3	話者 C33	riya,,	
232		話者 A33	<笑い>	
233	171-4	話者 C33	chto Sergej:: appetitno kushaet yabloko, i im tozhe zaxote::los` .	10 を指す
234	174	話者 C33	<Posh>>> [[.	
235	175	話者 B33]] <No oni>>> ne reshilis` s nim poznamomit`sya togda::, potomu chto oni by`li ochen` skro::mny`mi.. kartofelinami<笑い> .	10 を指す
236	176-1	話者 A33	Oni ochen` <samosto>>>, ,	
237	177-1	話者 C33	<Oni by`..>>>, ,	
238	176-2	話者 A33	ya::tel`ny`e [話者 A33 を見る] .	
239	177-2	話者 C33	i oni by`li <ochen>>>, ,	
240	178	話者 B33	<Da>>> .	
241	177-3	話者 C33	golo::dny`mi .	
242	179-1	話者 C33	Oni srazu <poshli >>>, ,	
243	180	話者 B33	<Da>>> .	
244	179-2	話者 C33	k ya::blone<笑い> .	
245	181	話者 B33	<笑い>Ugu .	
246	182	話者 B33	<Ta::k>>> .	
247	183	話者 A33	<Oni>>> popy`talys` dostat` sebe ya::bloko .	
248	184	話者 C33	N::u dazhe vstali drug na druga= .	
249	185	話者 C33	=Osobenno interesno to, chto Pavel vstal na Mari::yu<笑い> .	5 を指す
250	186	話者 B33	Da<笑い> .	
251		話者 A33	<笑い>	
252	187	話者 B33	E`to osobennosti genderny`x otnoshenij mezhdru kartofelinami prosto<笑い>[話者 C33 を見る] .	
253	188	話者 A33	Tak e`to vsyo-taki kartoshka? .	
254	189-1	話者 C33	E`::m::<笑い>, ,	
255	190-1	話者 B33	Nu<::>>>, ,	
256	189-2	話者 C33	<nu::>>> .	
257	190-2	話者 B33	da, kakaya-to genomodificirovannaya kartoshka,,	
258		話者 A33	<笑い>	
259	190-3	話者 B33	s nogami [話者 C33 を見る] .	
260	191	話者 C33	GMO .	
261	192	話者 B33	Da .	
262	193	話者 C33	Mutirovala, ozhila, i:: poyavilos` soznanie .	
263	194	話者 B33	<Ugu>>> .	
264	195	話者 C33	<Oni>>> po..py` da..dal`she m::, da gospodi, kak ix zvali tam, Pavel i Mariya popy`talys` peretashhit` kamushek k yablone, chtoby` dostat` ya..ya::b<lochko[[>>> .	
265	196-1	話者 A33	<Yavno>>> ne dumaya,,	
266		話者 B33	<笑い>	
267		話者 C33	<笑い>	
268	196-2	話者 A33	chto nuzhno ne to, <chto u nix net sil[[>>> .	
269	197-1	話者 C33	<No<笑い>>>>, no kamen` okazalsya e`:: v e`:: v desyat` raz bol`she ix vmeste vzyaty`x[↑] [息を吸う音], ,	
270	198	話者 B33	Da .	

271	197-2	話者 C33	oni nachali zlit`sya, grustit`, i vdrug ix uvidel e`:: <Sergej><{>` .	
272	199	話者 B33	<Sergej>><{>` .	6を指す
273	200	話者 B33	Da .	
274	201	話者 C33	Sprosil, deskat` “v chyom vasha pecha::l`,<笑いながら> dorogie moi druz`ya?” .	
275	202	話者 B33	Oni povel` ego k kamnyu <snachala, sna><{>` 【 .	7を指す
276	203-1	話者 A33	】 <l skazali, chto oni ne><{>` mogut,,	
277	204	話者 C33	Pere<dvinut` ka::men`[l]><{>` .	
278	205	話者 B33	<Sdvinut` kamen`><{>` .	
279	203-2	話者 A33	<peredvinut` e`tot><{>` ka::men` .	
280	206-1	話者 B33	Oni ne smogli sra::zu emu skazat`, chto oni prosto podglyady`vali <za tem><{>,,	
281	207	話者 C33	<N::da::><{>` .	
282	206-2	話者 B33	kogda on e::l[↑] .	
283	208	話者 C33	I im tozhe zaxotelos` ya::bloko .	
284	209	話者 B33	<Da[l]><{>` .	
285	210	話者 C33	<Nu><{>` o::n[↑] serdobol`naya dusha, dumaet “daj-ka ya tozhe poprobuyu peretolknut` ka::men`”, no:: ne sud`ba:: .	
286		話者 A33	<笑い>	
287		話者 B33	<笑い>	
288	211	話者 C33	E`:: potom on vsyo-taki on vy`yasnil zachem im n..nu::zhen by`l e`tot ka::men`, i reshil “nu davajte ya vam sam prinesu ya::bloki, <ya zhe takoj bol`shoj i vy`so::kij[l]><{>` .	
289	212	話者 B33	<Nu on zhe vzrosly`j, vy`s::o::kij><{>` .	9を指す
290	213	話者 C33	<Da[l]><{>` .	
291	214	話者 B33	<Da><{><笑い> .	
292	215	話者 C33	No on pereocenil sebya::[↑] <i yabloki[→]><{>` 【 .	
293	216	話者 B33	】 <Vot oni ponyali><{>` e`to tol`ko, chto tol`ko kooperaciya mozhet privesti ix k yabloku .	1を指す
294	217-1	話者 C33	Da::, <i kogda::><{>,,	
295	218	話者 B33	<Vot><{>` vs .	
296	217-2	話者 C33	e`:: kto, navernoe,,	
297	219	話者 B33	Pavel .	
298	217-3	話者 C33	Pavel vstal na Sergeya, oni <smogli dos<笑い>><{>` 【 .	
299	220-1	話者 B33	】 <Pavlu nravitsya><{>` s::,,	
300	221	話者 A33	L::a<zit` na drugix lyudej, na drugix kartoshinok[l]><{>` .	
301	220-2	話者 B33	<stanovit` sya na drugix.., ugu, kartofelin, da<笑い>><{>` .	
302	222	話者 C33	Da, da e`:: .	
303	223	話者 C33	[息を吸う音]E`m:: i:: dostali oni [↑]yabloko i nachali m:: vse::<radovat` sya><{>` .	
304	224	話者 B33	<Pet`, tance><{>`vat`, m`yuzikl, sorok slonov, vsyo pre<krasno[l]><{>` .	
305	225	話者 C33	<D::a><{>`, <vsyo, xe`ppi e`nd><{>` .	
306	226	話者 B33	<Da, xe`ppi e`nd><{>` .	
307	227	話者 A33	<A, tak e`to v Indii><{>` proisxodit delo .	
308		話者 C33	<笑い>	
309	228	話者 B33	Da::, e`to indijskie Sergej, Mariya i Pavel .	
310		話者 A33	<笑い>	
311		話者 B33	<笑い>	
312	229	話者 C33	<笑い>Normal`ny`e indijskie imena .	
313	230	話者 B33	Da= .	
314	231	話者 C33	=Nu esli v Indii normal`na zhivaya kartoshka[↑], to i Sergej, Mariya i Pavel tam tozhe normal`ny`e .	
315	232	話者 B33	Nu da .	
316	233	話者 C33	[息を吸う音]Nu vsyo, xe`ppi e`nd .	
317	234	話者 B33	Da .	

9. RF09

話者性別: 女

会話時間: 6.42 分

ライン番号	発話文番号	話者	発 話 内 容	備考
1	1	話者 A34	「話者 B34 名」, ter`teper` my` real`no budem drat`sya za mesto, <笑いながら>potomu chto ya nichego ne vizhu .	
2	2	話者 B34	Xochesh` sest`?[自分の席を指で指しながら、話者 A34 を見る] .	

3	3	話者 A34	Da .	
4	4	話者 A34	Mozhno ya syuda syadu? .	
5	5	話者 A34	Potomu chto ya prosto segodnya bez ochkov .	
6			《沈黙 4.10 秒》	
7	6	話者 A34	Tak, kartoshechki .	
8		話者 B34	<笑い>	
9	7-1	話者 A34	Kartoshechki[↑],	
10	8	話者 B34	I yajcza<笑い> .	
11	7-2	話者 A34	i yablochki .	8 を指す
12	9	話者 A34	Tak, idyot , emu grustno .	2 を指す
13			《沈黙 0.89 秒》	
14	10	話者 B34	Nu podozhdi, daj mne <posmotret`[↑]><{> .	
15	11-1	話者 C34	<Davajte snachala><{> posmotrim v...,	
16	12	話者 A34	Davajte .	
17	11-2	話者 C34	vse .	
18			《沈黙 1.12 秒》	
19	13	話者 A34	Dostal yablochko[↑] .	1 を指す
20	14	話者 A34	Chto e`t `e`to` takoe? .	3 を指す
21	15	話者 A34	Kameshek? .	
22			《沈黙 1.72 秒》	
23	16	話者 B34	N..da .	
24	17-1	話者 B34	Smotri, tut kakie-to maly`e, a tam oni::, shhas `sejchas`, 《沈黙 1.20 秒》[指を鳴らす音]oni peredvigayut kameshek[↑],	7、3 を指す
25	18	話者 A34	Chto e`to za <kameshek?><{> .	
26	17-2	話者 B34	<i::...><{> .	
27			《沈黙 1.68 秒》	
28	19	話者 B34	Ya ne <znayu[↓]><{> .	
29	20	話者 C34	<Mne><{> kazhetsya, e`to budet <笑いながら>poslednee .	4 を指す
30		話者 A34	<笑い>	
31	21	話者 B34	Nu da, <poxozhe na to, kstati[↓]><{> .	
32	22	話者 A34	<Nu, vidimo oni, kak><{>, mozhet by`t , kameshek oni, chtob posadit` derevce[↑] zdes`? .	3 を指す
33	23-1	話者 C34	Da<vajte eyo postavim bolee menee k ><{>,,	4 を動かす
34	24	話者 A34	<Tak, smotrite, idyot, idyot on[→]><{> .	
35	23-2	話者 C34	konczu poka .	
36	25	話者 A34	Davajte .	
37	26	話者 B34	Davaj<te><{> .	
38	27	話者 C34	<Vo><{>::t, bolee chto-to .	
39	28-1	話者 B34	Da, davajte poka grustnogo vpered i ostavim, a to on takoj pryam,,	2 を動かす
40	29	話者 A34	<Da><{> .	
41	30	話者 C34	<Da::><{> <idyot takoj><{> .	
42	28-2	話者 B34	<uny`ly`y><{><鼻笑い> .	
43	31-1	話者 A34	Smotrite, vot e`t`e`to` naverno tozhe blizhe k konczu[↑],	1 を取る
44	32	話者 B34	Da .	
45	31-2	話者 A34	i vot e`to <tozhe k konczu><{>,,	8 を取る
46	33	話者 B34	<Snachala gde vot><{> est` kartinka, gde on= 【 .	
47	31-3	話者 A34	】 =i vot e`to bli= .	9 を指す
48	34-1	話者 A34	=Podozhdite, smotrite, <k nemu prishyol><{>,,	1 を指す
49	35	話者 B34	<Smotri, vot><{> .	9 を取る
50	34-2	話者 A34	bol`shoj .	
51	36	話者 A34	A kuda del'sya vtoroj ma::len`kij? .	8 を指す
52		話者 B34	<笑い>	
53		話者 A34	<笑い>	
54	37-1	話者 B34	Tak,,	2 の後に 9 を置く
55	38	話者 A34	Zdes` odin tol`ko malen`kij .	1 を指す
56	37-2	話者 B34	smotrite, ya kladu poka e`tu vtoruyu .	9 を指す
57	39	話者 B34	On takoj uny`ly`y[↑], ne mozhet dotya<nut`sya[↓]><{> .	2、9 を指す
58	40	話者 A34	<Smot><{>rite, zdes` gde-to dva malen`kix, a gde-to tri[↑].. ix dva malen`kix, bol`shoj gde-to, bol`shoj, malen`kij .	
59	41-1	話者 B34	A<::><{>,,	
60	42	話者 C34	<Vot e`to vot s e`tim><{> .	4 を見せる
61	43	話者 A34	<[息を飲む音] Smotrite><{> oni <pozvali bol`shogo[↓]><{> .	
62	41-2	話者 B34	<mne kazhetsya, e`to dve><{> parallel`ny`e istorii .	
63	44-1	話者 A34	A <mne kazhetsya, znaete kak><{>,,	4 を取る
64	45	話者 C34	<Da::, oni py`tayutsya dostat`><{> .	
65	44-2	話者 A34	mne kazhetsya, u nix, smotrite, u nix ne poluchilos` dostat`[↑] i oni <pozvali bol`shogo><{>,,	5、1 を指す
66	46	話者 C34	<Da::, verno><{> .	
67	47-1	話者 B34	No smotri,,	2 を指す
68	44-3	話者 A34	chtoby` 【 .	

69	47-2	話者 B34]] mne kazhetsya, chto e`to dve::, smotri,,	
70	48	話者 A34	A:: [[.	
71	47-3	話者 B34]] oni:: dve parallel`ny`e, v konce <oni vse ob`yodinilis` i dostali[↓]><↓> .	8、5と並べる、4を指す
72	49	話者 A34	<A::, slu::shaj><↓>, da tochno .	
73	50	話者 A34	Oni.. <idyot, grustit[↓]><↓> .	
74	51	話者 B34	<Da::, da, da, smotri><↓>, e`ti tozhe odinakovy`e .	12、3を指す
75	52	話者 B34	Polozhi e`to sverxu[話者 A34 が録音機を持ちあげる] .	12を指す
76	53	話者 A34	Tak, chto, syuda? .	
77	54	話者 B34	Nu e`to[録音機] my` budem ne trogat` .	
78	55	話者 B34	Tak .	
79	56	話者 C34	[小さい声で]Tak vot[録音機の向きを変える] .	
80			《沈黙 1.03 秒》	
81	57	話者 B34	M:: chto tam vot? .	10を指す
82	58	話者 B34	A, tam on yablochko <kushaet[↓]><↓> .	
83	59	話者 C34	<Oni uzhe><↓> edyat .	
84			《沈黙 0.80 秒》	
85	60	話者 B34	<笑い>Ya ne mogu:: .	7を取る
86			《沈黙 0.85 秒》	
87	61	話者 A34	Chto vot e`to? .	10を取って、見る
88	62-1	話者 C34	Mozhet, <vot e`to vot><↓>,,	
89	63	話者 B34	<Tak, vot e`to vot><↓> vstre::cha .	7を見せる
90	62-2	話者 C34	pozozhe na ob`edinenie vot e`toj [カード 12] i <vot e`toj [カード 3]kartinki[↑]><↓> .	7を12、3の横に置く
91	64	話者 A34	<Ugu, ugu><↓> .	
92			《沈黙 0.95 秒》	
93	65	話者 C34	Oj <ne><↓> .	
94	66	話者 B34	<A net><↓>, smotrite, on zdes` eshhyo odin .	11を動かす
95	67	話者 B34	Mozhno ego syuda postavit` .	11を12の後に置く
96	68	話者 B34	Xotya net .	
97	69	話者 B34	Zachem? .	12を指す
98	70	話者 B34	Nelogichno .	
99	71	話者 A34	Smotri, a est`, gde oni kamen` podnimayut vtroyom? .	カードを探す
100	72	話者 B34	Da, e`:: vdvoyom<笑い>, net .	3を指す
101	73	話者 A34	Nu oni zhe ne <podnyali?><↓> .	3を指す
102	74	話者 B34	<Vdvoyom><↓>, <vtroyom net[↓]><↓> .	
103	75	話者 A34	<Vidite, u nix><↓> ne poluchaetsya= .	
104	76	話者 C34	= Podnyat` .	
105	77	話者 A34	Koroche, fishka v tom, chto e`:: <poodinochke, da[↓]><↓> .	
106	78	話者 C34	<Py`tayutsya dostat`><↓> .	
107	79	話者 C34	Vsyo normal`no .	
108		話者 A34	<鼻笑い>	
109	80	話者 C34	No ix, pravda, dva .	
110	81-1	話者 B34	Oni py`tayutsya ego podvinut`, chtob <dostat`><↓>,,	3を指す
111	82	話者 A34	<Da[↓]><↓> .	
112	81-2	話者 B34	do dereva= .	
113	83	話者 B34	=No u nix ne poluchaetsya, oni pozvali e`togo chuvaka[↑], i on ix podnyal .	7、1を指す
114	84	話者 C34	Bez kamnya, 《沈黙 1.10 秒》 <poluchaetsya[↓]><↓> .	
115	85	話者 B34	<####><↓> .	
116	86	話者 A34	A kuda kamen`? .	3を指す
117	87	話者 A34	Ya prosto ne ponimayu togda .	
118	88	話者 B34	Nu:: on tipa, e`tot chuvak vmesto kamnya<笑い> .	1を指す
119	89	話者 B34	Predlagayu takuyu versiyu .	
120		話者 A34	<笑い> [目を大きく開いて話者 B34 を見つめる]	
121	90	話者 B34	Nu oni smot.. xote.. oni xoteli podvinut` ego syuda [カード 5], no ne smogli .	3、8を指す
122	91	話者 B34	E`tot chuvak prishyol vot, i:: i oni dostali .	
123			《沈黙 0.94 秒》	
124	92	話者 A34	Ugu:: .	
125	93	話者 B34	A:: .	
126	94	話者 A34	Vot on, vot e`to, vot e`to vot oni.. vstretilis` .	7を取る
127			《沈黙 1.08 秒》	
128	95	話者 B34	Da, vidimo .	
129			《沈黙 1.71 秒》	
130	96	話者 A34	Slushajte, a , mozhет by`t`, raz cherez raz?= .	
131	97	話者 A34	=Pochemu? .	
132	98	話者 A34	Idyo::t, potom idut nashi <druz`ya[↓]><↓> .	2、8を指す
133	99	話者 C34	<[息を飲む音]M::><↓> .	
134	100	話者 A34	Gde oni, malen`kie? .	
135	101	話者 A34	Gde malen`kie idut? .	

136	102-1	話者 C34	Vot e`to vo::t[↑] poluchaetsya to, chto on <vzyal yabloko sebe[↑]><{>,,	10 を指す
137	103	話者 A34	<[息を飲む音]O::n s`el, da::><{> .	
138	102-2	話者 C34	znachit oni snachala by`li ne vmeste .	
139	104-1	話者 C34	Potom on uzhe reshil podelit`sya s <nimi><{>,,	1 を指す
140	105	話者 B34	<Ugu><{> .	
141	104-2	話者 C34	mne kazhetsya .	
142	106	話者 B34	Da .	
143	107	話者 C34	Vot e`to, vot e`to skoree <vsego[↓]><{> .	10 を取る
144	108	話者 B34	<Togda><{> oni drug za drugom vsyo <ravno[↓]><{> .	11、10 を指す
145	109-1	話者 C34	<Da><{>, kstati, lo<gichno><{>,,	
146	110	話者 B34	<Ugu><{> .	
147	109-2	話者 C34	ochen`,,	
148		話者 B34	<笑い>	
149	109-3	話者 C34	<笑い>naverno .	11 の後に 10 を置く
150	111	話者 B34	E`to edinstvennoe logichnoe u nas soby`tie .	
151		話者 A34	<軽く笑い>	
152	112-1	話者 C34	E`::,,	
153	113-1	話者 B34	Ta::k,,	
154	112-2	話者 C34	tak, s <kamushkami ><{>,,	
155	113-2	話者 B34	<s`e::l[↑]><{> .	
156	112-3	話者 C34	neuvyazochka .	3、12 を指す
157			《沈黙 1.59 秒》	
158	114	話者 A34	Mozhet my` sdelaem, smotrite .	
159	115	話者 A34	Gde malen`kie idut? .	2 を指す
160	116	話者 A34	Malen`kie ne idut? .	
161	117	話者 B34	Net, oni vot tak[↑] ili vot tak .	8、5 を指す
162			《沈黙 0.91 秒》	
163	118	話者 A34	<Ugu><{> .	
164	119	話者 C34	<A vot da><{>, kstati, mezhdu nimi chyo-to`chto-to` eshhyo tut .	10、6 を動かす
165			《沈黙 3.73 秒》	
166	120	話者 A34	Tak .	
167		話者 B34	<鼻笑い>	
168			《沈黙 2.63 秒》	
169	121	話者 A34	Smotrite, oni chyo-to rugayutsya .	6 を取る
170	122-1	話者 B34	Nu e`.. on <sozhral><{>,,	6 を指す
171	123	話者 C34	<Oni na nego><{> .	10 を指す
172	122-2	話者 B34	ix yabloko, <vidish`?><{> .	
173	124	話者 C34	<Da><{>, vidimo da .	
174	125-1	話者 B34	Na toj kartinke, <na desyatoj><{>,,	
175	126	話者 C34	<Vozmozhno, tu stoit><{> .	10 の後の位置を指す
176	125-2	話者 B34	on s`el ix yabloko .	
177		話者 C34	<笑い>	
178		話者 B34	<笑い>	
179			《沈黙 0.85 秒》	話者 A34 は 10 の後に 6 を置く
180	127-1	話者 B34	Nu ne ix, <笑いながら> on ego na<shyol, no on><{>,,	
181	128	話者 A34	<I podelilsya><{> .	
182	127-2	話者 B34	ego s`el .	10 を指す
183	129	話者 A34	Vot e`to? .	1 を見る
184	130	話者 B34	E`::m .	
185	131	話者 A34	No vot e`t`e`to` posle vstre::chi .	11 と 10 の間に 1 を置く
186	132	話者 A34	Sra.. vot syuda vot, <笑い> srazu posle vstrechi .	
187	133-1	話者 C34	Prosto chyo`chto` <stranno, to><{>,,	
188	134	話者 A34	<Vstretilis`><{> .	
189	133-2	話者 C34	chto vot on shyol, shyol spokojno, a potom kamen`, on napryagaetsya i tut on spokojno naxodit yabloko= .	2、12、11 を指す
190	135	話者 C34	=Mne kazhetsya vot s e`tim nuzhno budet chto-to... .	12 を指す
191			《沈黙 1.03 秒》	
192	136	話者 C34	<Xotya::><{> 【 .	
193	137	話者 A34	】 <Vot, vot chto ><{> vot e`to <dlinny`j vzyal><{> 【 .	11 を指す
194	138	話者 B34	】 <Mozhet naoborot?><{> .	
195	139	話者 B34	On na.. nashyol yabloko[↑], on ego s`el, e`ti grustny`e[↑], on popy`talsya dostat` eshhyo, no ne poluchilos` .	11、10、6、9 を指す
196	140	話者 B34	On popy`talsya, oni vse py`talis` podvinut`[↑], no u nix <nichyo`nichego`ne poluchilos`[↓]><{> .	12、8、5 を指す
197	141	話者 C34	<Da, da><{> .	
198	142	話者 A34	Kru<to, kruto><{> .	11、10 を取る
199	143	話者 B34	<Potom oni reshili...><{> .	9、12 を取る
200	144	話者 B34	Davaj, kladi syuda, gde on n::ashyol yabloko .	

201	145	話者 A34	Vot on nashyol e`to yablochko[↑] .	11 を置く
202	146-1	話者 B34	Smotri, on shyol, nashyol yabloko[↑],,	11 を押さえる
203	147	話者 A34	Aga .	
204	146-2	話者 B34	s`el yabloko[↑],,	10 を指す
205	148-1	話者 A34	S`el yab<loko[↑], oni><{>,,	
206	146-3	話者 B34	<oni na nego obidelis`[↑]><{>,,	
207	148-2	話者 A34	zly`::e[↑], <on poshyol><{>,,	
208	146-4	話者 B34	<e`:: o`::n[↑]><{> .	
209	148-3	話者 A34	poshyol dostavat` yablochko[↑],,	
210	149	話者 C34	E`:: .	
211	148-4	話者 A34	poshyol <dostavat` yablochko[↑]><{> 【 .	話者 B34 から 9 を受け取る
212	150	話者 B34	】 <Nu, davajte, on, on popy`tal><{>syas[↑] ili <oni popy`talish`[↓]><{> .	8 を取る
213	151	話者 C34	<Net, net, net><{> smotrite, a vot e`to vot, mne kazhetsya oni <snachala vzyali[↓]><{> .	3 を取ろうとする
214	152	話者 B34	<E`to, mne kazhetsya><{>, potom .	
215	153-1	話者 B34	Snacha<la><{>,,	
216	154	話者 C34	<Da?><{> .	
217	153-2	話者 B34	vse e` nu snachala on tyanetsya, potom oni tyanutsya .	9 を指す、5 を取る
218	155	話者 A34	A mozhet, oni, <oni odn..odnov><{> 【 .	
219	156	話者 C34	】 <Mne pochemu-to><{> kazhetsya, to chto oni rasstroilis` i poshli s`:: nu v obshhem`:: brat` e`to yabloko <sami[↑], a potom on[↓]><{> .	6、3 を指す
220	157-1	話者 A34	<A on ><{> <zaxotel im [話者 C34 を見る]><{>,,	9 を見せる
221	158	話者 B34	<A`::, davaj><{> .	
222	159	話者 C34	<Nu da><{> .	
223	157-2	話者 A34	a on zaxotel <im><{>,,	
224	160	話者 C34	<Nu><{> kak variant .	
225	157-3	話者 A34	dostat` <ya><{>,,	
226	161	話者 C34	<Da><{> .	
227	157-4	話者 A34	<dostat` yablochko[↓]><{> .	
228	162	話者 B34	<Da, davaj><{> .	
229	163	話者 B34	Stav`te .	
230	164	話者 C34	<Ya ne uverena, no><{> 【 .	
231	165	話者 A34	】 <Tak, yablochko[↑]><{>, kameshek[↑] .	6 の後に 9、3 を置く
232	166	話者 B34	Mozhet, net, davajte snachala vot e`ti, gde oni` <obszhdayut chto-to[↓]><{> .	8 を渡す
233	167	話者 A34	<A`::, da, da, da, da, da><{>, da, tak .	9 の後に 8 を置く
234	168	話者 B34	Po<tom oni py`tayut..><{> 【 .	
235	169	話者 A34	】 <Znachit><{>, vot tak[↑] vot <i vot[↓]><{> .	
236	170	話者 B34	<Vot ya stavlyu syuda><{> eshhyo <sleduyushhuyu[↓]><{> .	8 の後に 5 を置く
237	171	話者 C34	<Mozhet ><{>, potom, kogda ono uzhe le<zhit[↓]?><{> .	9 を指す
238	172	話者 B34	<A><{>, davaj, xorosho= .	
239	173	話者 A34	=Da .	
240	174	話者 B34	Stav` e`tu, potom vot e`ta pyataya u menya .	3 を受け取る
241	175-1	話者 B34	Nu.. o..oni py`tayutsya, 《沈黙 1.45 秒》oni ne dostayut[↑],,	
242	176	話者 C34	Da`::, <da, da, primestil[↓]><{> .	
243	175-2	話者 B34	<oni py`tayutsya primesti><{><kameshek[↑]><{>,,	
244	177	話者 A34	<Da><{> .	
245	178	話者 C34	<Potom on prixodit><{> i sprashivaet, chyo`chto`oni [↑]delayut .	7 を指す
246	175-3	話者 B34	da, chyo`chto` delayut[↑], on im pomogaet <nesti[↑]><{>,,	3 の後に 7、12 と並べる
247	179	話者 C34	<Ugu><{> .	
248	175-4	話者 B34	e`::m .	
249	180-1	話者 A34	Tak,,	
250	181	話者 C34	Potom <probuet sa`::m><{> .	9 を指す
251	180-2	話者 A34	<ne polucha`::><{><etsya[↑]><{> .	
252	182	話者 B34	<Potom><{> probuet sam, da[↓], <i`::><{> 【 .	12 の後に 9 を置く
253	183	話者 A34	】 <Potom><{> <on ix><{> .	9 の後に 1 を置く
254	184	話者 C34	<Oj><{>[カードにぶつかる] .	
255	185	話者 B34	Nu kla.. davaj .	開いている場所を指す
256	186	話者 A34	Kuda? .	
257	187	話者 B34	Syuda, chtob ne <padalo[↓]><{> .	
258	188	話者 A34	<Vot tak?><{> .	1、4 を動かす
259	189	話者 A34	Aga .	
260			《沈黙 1.11 秒》	
261	190-1	話者 B34	Tak,,	
262	191	話者 A34	Syuda[↑] .	
263	190-2	話者 B34	on pomogaet malen`komu[↑],,	
264	192	話者 C34	Po-<moemu, my` genii<笑い>><{> .	

265	190-3	話者 B34	<radost', schast'e>{>}, pesni .	
266	193	話者 A34	Vsyo .	
267	194	話者 A34	Tak, davajte eshhyo raz .	
268	195-1	話者 A34	Shyol,,	2 を指す
269	196	話者 B34	Na<shyol yabloko[↓]>{<} .	
270	195-2	話者 A34	<nashyol yablochko>{>}, sku::shal, obidelis', 《沈黙 0.98 秒》 popy'tali.. sami, smotryat, <ponimayut>{<},,	11、10、6、8、5 を指す
271	197	話者 B34	<Ugu>{>} .	
272	195-3	話者 A34	chto ne mogut dostat', <popy'talis'[↑]>{<},,	
273	198-1	話者 B34	<No ne dostayut[↑]>{>},,	5 を指す
274	195-4	話者 A34	“davaj <dostanem kamushek[↑]>{>},,	3 を指す
275	198-2	話者 B34	<kamen' ne mogut[↑]>{>} .	3 を指す
276	195-5	話者 A34	“chy'chto'vy' delaete?”,	7 を指す
277		話者 B34	<笑い>	
278	195-6	話者 A34	“my' peredvigaem kamushek[↑]”, “davajte ya vam pomogu[↑]”, ne poluchaetsya[↑] .	
279	199	話者 A34	Vot e't'e'to'chyot'chto-to'kak-to, net? .	9 を指す
280	200	話者 A34	Mne kazhetsya, nemnozhko... .	
281	201-1	話者 B34	Mne kazhetsya, tipa on <tozhe im pomoch'>{<} ,,	9 を指す
282	202-1	話者 C34	<E'::>{>},,	
283	201-2	話者 B34	py'taetsya .	
284	203	話者 A34	Nu on odin zhe zdes' .	9 を指す
285	202-2	話者 C34	no u nas-to, smotrite, oni snachala py'talis', a potom vzyali ka::mushek, da[↑]?= .	5、3 を指す
286	204	話者 C34	=I tut on, xotya emu tut snachala <beryot kamushek, potom py'ta::etsya>{<} [[.	12、9 を指す
287	205	話者 B34	[[<No on, on tipa, vy'she i on tozhe >{>} <<笑いながら>budet py'tat'sya odin[↓]>{<} .	
288	206	話者 A34	<A pochemu, a v itoge kamushka>{>} zhe:: kamushek nikuda ne..ne.= [[.	12 を取る
289	207	話者 B34	[[=Ne..ne poluchilos' .	
290	208	話者 A34	Nu <da[↓]>{<} .	
291	209-1	話者 B34	<Poe'tomu>{>},,	
292	210-1	話者 C34	<E'to vsyo>{>},,	
293	209-2	話者 B34	oni ego brosil, <i on poshyol probovat' sa::m[↓]>{<} .	
294	211	話者 A34	<Znaete chy'chto'?, mne kazhetsya>{>} .	
295	210-2	話者 C34	<svyazano, mne kazhetsya>{>}, chto on ix uvidel s kamushkom, a potom sam poproboval ego peredvinut', a potom.. nu mne kazhetsya[↑] .	7、12 を指す
296	212-1	話者 B34	Nu da, potom oni reshili, chto on <vy'sokij[↑]>{<},,	
297	213	話者 C34	<Zaxochet>{>} .	
298	212-2	話者 B34	sam dostanet[↑], on poshyol, no ne dostal, vzyal malogo i podnyal .	9、1 を指す
299	214	話者 C34	Mne kazhetsya, normal'no <poluchilos'[↓]>{<} .	2、11、10、6、8、5、 3、7、12、9、1、4
300	215-1	話者 B34	<Logich>{>}<naya>{<},,	
301	216	話者 A34	<Da>{>} .	
302	215-2	話者 B34	istoriya .	
303	217	話者 A34	Vsyo .	
304	218	話者 A34	My' zakonchili .	

10. RF10

話者性別: 女

会話時間: 5.53 分

ライン 番号	発話文 番号	話者	発 話 内 容	備考
1	1	話者 B35	<笑い>Nu[↑], chto?, davajte posmotrim .	
2	2	話者 C35	Davajte .	
3	3	話者 B35	Mne kazhetsya, nam budet udobnej, esli my' vse vot tak budem, net[↑]? .	
4	4-1	話者 A35	Davajte vse kak-to, da[↓], vot s e'toj storony' <syadem>{<},,	
5	5	話者 C35	<Ugu>{>} .	
6	4-2	話者 A35	chtoby' by'lo udobno[→] .	
7	6	話者 B35	Vot tak vsyo vidno .	
8	7	話者 A35	Rasskaz pro kartoshku[↑]<笑い> .	

9	8	話者 B35	Po..pome<nyaem><{> .	
10	9	話者 C35	<Otlich><{>no .	
11		話者 B35	<笑い>	
12	10	話者 A35	<笑い>[息を飲む音]Ta::k .	
13			《沈黙 3.68 秒》	
14		話者 C35	<笑い>	
15		話者 A35	<笑い>	
16	11	話者 B35	<笑い>Smeshno .	
17			《沈黙 0.92 秒》	
18	12	話者 B35	Nu, vidimo, on snachala.. odin[↑] vsyo e`to taskal .	12 を見せる
19	13	話者 B35	Ili <kak-to vot oni po o::cheredi[↓]><{> .	
20	14	話者 A35	<Potom pozval druga><{> .	3 を指す
21	15-1	話者 A35	Net, <snachala, naverno, on><{>,,	2 を指す
22	16	話者 C35	<Net, mne kazhetsya><{> .	
23	15-2	話者 A35	shyol[↑] .	
24			《沈黙 1.42 秒》	
25	17	話者 C35	Mne kazhetsya, on py`taetsya dostat` yabloko[↑] i.. i.. <chto-to dlya e`togo ispol`zuet, da[↑]?><{> .	1 を持ち上げる
26	18	話者 A35	<A potom, po..potom oni><{> vzjali:: kamushek, da .	3 を指す
27	19-1	話者 A35	Vot <smotri><{>,,	5 を取る
28	20	話者 C35	<Tol`ko><{> .	
29	19-2	話者 A35	vot e`to dolzhno by`t`... .	
30	21	話者 C35	Da, snachala on malen`kogo .	5 を前に動かす
31	22	話者 C35	To est` snachala on, vidimo... .	5 の後に 1 を置く
32	23-1	話者 A35	Davajte kak-nibud` vot tak vot <budem><{>,,	
33	24	話者 C35	<Vot tak><{> .	
34	23-2	話者 A35	rassklady`vat` <ix[↓]><{> .	
35	25	話者 B35	<A, mo><{> zhet by`t` , on shyol, shyol i vstretil derevo i... .	
36	26-1	話者 B35	<Vot, vot, vot, vot><{>,,	
37	27	話者 A35	<A gde zdes` derevo?><{> .	
38	26-2	話者 B35	<tut on idyot[→]><{>,,	2 を指す
39	28	話者 C35	<Da, naverno><{> .	
40	29	話者 C35	A::, da, naverno tak .	
41	26-3	話者 B35	n.. ne znaet chem zanyat`sya i:: tut vot tak< 笑 い > <derevo[→]><{> [[.	
42	30	話者 A35]] <Voobshhe, smotrite><{> e`to dva rebyonochka, a e`to kak.. kak <budto vzro::sly`j[↓]><{> .	5、1 を指す
43	31	話者 C35	<Da, to est` snachala on nashyol><{> malen`kogo, a potom= [[.	
44	32	話者 A35]] =Vot e`to konec .	4 を指す
45	33	話者 A35	Vot oni nashli <vot e`togo chu><{> [[.	
46	34-1	話者 B35]] <A::, vot><{>, smotrite, vot on shyol, uvidel yabloko,,	11 を見せる
47			《沈黙 3.13 秒》	
48		話者 C35	<笑い>	
49	35	話者 A35	Vz<ro::sly`j><{> [[.	
50	34-2	話者 B35]] <pod derevom, nu vot><{>, vot kak-nibud`, naprimer= [[.	2 と 3 の間に 11 を入れる
51	36	話者 C35]] =Vot snachala, vot e`ti, naverno, <idut k derevu><{> .	8 を取る
52	37	話者 A35	<Razgovarivayut, da[↓], potom><{> vot e`::tot .	話者 C35 は 5 の前に 8 を置く
53	38	話者 B35	A:: i oni, naverno, py`talish` <dostat` yabloko[↓]><{> .	5 を指す
54	39-1	話者 A35	<Vo::t, sm..smotrite,><{> e`tot nashyol[↑],,	10 を取る
55		話者 B35	<笑い>	
56	39-2	話者 A35	potom on ego el .	11 の後に入れる
57	40-1	話者 A35	E`ti uvideli[↑], <tozhe><{>,,	
58	41-1	話者 C35	<Tochno><{>,,	
59	40-2	話者 A35	xaxote::li[↑],,	
60	41-2	話者 C35	tochno, tochno .	
61	40-3	話者 A35	<i poshli><{>,,	
62	42	話者 B35	<Da::><{> .	12 を取る
63	40-4	話者 A35	iskat` .	
64	43	話者 A35	Gde? .	
65	44	話者 A35	Vot naverno <s><{> [[.	6 を取る
66	45	話者 B35]] <Kamen`><{> potom .	
67	46-1	話者 A35	Mozhet by`t` , <vot e`to, oni><{>,,	6 を取る自分の前に置く
68	47	話者 B35	<I e`to potom><{> .	4 を取って、見る
69	46-2	話者 A35	sprashivayut u nego 《沈黙 1.23 秒》 tam gde yabloko, chto-nibud` takoe? .	6 と 9 を見る
70			《沈黙 1.57 秒》	
71	48	話者 B35	Tak, on s`el[↑], potom oni vot... .	10、8 を指す

72		話者 C35	<笑い>	
73		話者 A35	<笑い>	
74	49	話者 B35	Chto?= .	
75	50	話者 B35	=Oni prishli, naverno, k derevu, 《沈黙 0.86 秒》da[↑]? .	8 を取る
76	51	話者 B35	Kak vy`dumaete? .	
77			《沈黙 1.21 秒》	
78	52	話者 B35	Vot tak= .	3 と 10 の間に入れる
79	53	話者 A35	=Nu, vot e`to [カード 5] tochno posle vot e`togo [カード 5] .	5、8 を指す
80		話者 B35	<笑い>	
81	54	話者 A35	Net? .	
82	55	話者 C35	Tak .	
83	56-1	話者 B35	A kak on ego <mozhet est`, esli on>{<},,	10 を指す
84	57	話者 C35	<Da, da, naverno>{>} .	
85	56-2	話者 B35	tut dotyanut`sya do nego ne?= .	9 を指す
86	58	話者 B35	=A::, ono upalo .	
87	59-1	話者 B35	Tak, vsyo normal`no,,	
88	60-1	話者 C35	A::, znachit, smotrite=,,	
89	59-2	話者 B35	=vsyo <normal`no[↓]>{<} .	
90	60-2	話者 C35	<vo::t, vot, vot>{>} smotrite, on ne mozhet dotyanut`sya[↑], <vzyal malen`kogo>{<},,	9、1 を指す
91	61	話者 B35	<Dlya nix ne mozhet>{>} .	8 を指す
92	62	話者 A35	On <posadil[→]>{<} [I .	
93	60-3	話者 C35]I <oj, i>{>} s`el ego .	
94	63	話者 B35	Ugu .	
95	64	話者 C35	Xitry`j kakoj= .	
96	65-1	話者 C35	=Tak,,	5 と 1 の間に 9 を入れる
97	66-1	話者 A35	[息を飲む音] <Smotrite>{<},,	8 を指す
98	65-2	話者 C35	<znachit[→]>{>} .	
99	66-2	話者 A35	oni v obshhem uvideli yabloko, zaxoteli yabloko, prishli vdvoyom, poprobovali ego dostat`[↑],,	10、8 を指す、5 を 8 の後に置く
100	67	話者 B35	Ne polu<chilos`[↓]>{<} .	
101	66-3	話者 A35	<ne polu>{>}chilos` .	
102	68	話者 B35	Popro<sili ego[↓]>{<} .	
103	69	話者 A35	<Poprosili>{>} papu .	9 を取る
104	70	話者 A35	Papa poshyol odin[↑] .	
105	71	話者 B35	<笑い>Papa .	
106	72	話者 A35	<笑い> Nu papa, mama .	
107	73	話者 A35	Bez raznicy` .	9 を 5 の後に置く
108	74	話者 A35	Nu tak, vidno.. vam? .	
109	75	話者 C35	Tak .	
110	76	話者 B35	A, mozhet, naverx.. sdvinem? .	
111	77	話者 A35	Tut, vidish`, lezhit .	
112			《沈黙 0.94 秒》	
113	78	話者 B35	Nu ladno .	
114	79-1	話者 A35	Tak smotri, popro<sili>{<},,	
115	80	話者 B35	<Tak>{>} .	
116	79-2	話者 A35	ego::[↑],,	
117	81	話者 B35	On odin ne smog .	
118	79-3	話者 A35	on odin ne smo::g[↑] .	
119	82	話者 C35	Ugu .	
120	83	話者 B35	Tak .	
121	84	話者 B35	A, mozhet by`t`, oni potom reshili kamen`podstavit`? .	3 を指す
122	85	話者 C35	Kamen` neponyatno, potomu chto zdes` net kartinki, gde oni s kamnem na derevo.. zalezayut .	
123	86	話者 B35	Da:: .	
124	87	話者 B35	Togda nado kuda`nibud` syuda vstavit`.. kamen` .	6 を指す
125	88-1	話者 B35	A, mozhet by`t`, vo::t, <oni>{<},,	3 を指す
126	89	話者 A35	<Vot e`to>{>}, chto znachit? .	6 を指す
127	88-2	話者 B35	oni xoteli... dostat`, ne polu<chilos`[↑]...>{<} .	5 を指す
128	90	話者 C35	<Golodny`e>{>} .	
129			《沈黙 1.19 秒》	
130	91	話者 A35	Tak, vidish`, s kamnem bol`she nichyo `nichego` net .	3 を指す
131	92	話者 A35	E`to otdel`naya <笑いながら> istoriya .	6 を取る
132	93	話者 B35	A ona otdel`no ne mozhet by`t` .	
133	94	話者 C35	A, mozhet, vot <tak, chto-to v nachale?>{<} .	
134	95	話者 B35	<Vot e`to konecz, e`to>{>} tochno .	4 を取る
135	96-1	話者 B35	<Oni schastlivy>{<},,	
136	97	話者 A35	<Smotrite>{>} .	5 と 9 の間に 6 を入れる
137	96-2	話者 B35	vse dovol`ny` .	

138	98	話者 A35	Nu da .	
139			《沈黙 1.19 秒》	
140	99	話者 A35	Vot zdes` on dostal do <yabloka[↓]>{<} .	1 を指す
141	100	話者 B35	<Ta::k>{>} .	9 を指す
142			《沈黙 0.89 秒》	
143	101	話者 B35	Mozhet on ix poslal, “idite sxodite za kam<nem”?<笑い>>{<} .	
144	102-1	話者 A35	<Smo>{>}tri, vot mozhet by`t` <posle>{<},,	1 を 9 の後に入れる
145	103	話者 C35	<Ugu>{>} .	
146	102-2	話者 A35	e`togo [カード 9].	
147			《沈黙 0.82 秒》	
148	104	話者 A35	Vot posle e`togo , vot tak i vot tak, nu kak by` vot= 【 .	9 の後に 4
149	105	話者 B35	】 =A kamen`? .	
150	106	話者 C35	Smotrite, zdes` syuzhet <po suti tot zhe[↓]>{<} .	3 を取って、12 の後に入れる
151	107	話者 A35	<A kamen` ne znayu>{>} .	
152	108	話者 C35	Potomu chto on odin ne mozhet, i oni vdvoyom tozhe ne mogut .	
153	109	話者 B35	Da .	
154	110	話者 C35	No neponyatno , kak e`to sootnositsya .	
155	111	話者 A35	A chto oni xotyat sdelat`? .	3 を指す
156	112	話者 A35	Podnyat`[↑] ego? .	
157	113	話者 A35	<Podvinut`?>{<} .	
158	114	話者 B35	<Mne kazhetsya::>{>}, pododvinut`, chtoby`:: vstat` i dostat` .	5 を指す
159			《沈黙 2.79 秒》	
160	115-1	話者 A35	Togda pochemu oni togda <na kamen` potom>{<},,	
161	116	話者 C35	<Mne kazhetsya voobshhe[→]>{>} .	
162	115-2	話者 A35	ne zalezli? .	7 を指す
163		話者 C35	<笑い>	
164			《沈黙 1.41 秒》	
165	117-1	話者 B35	Ta::k,,	
166			《沈黙 0.74 秒》	
167		話者 A35	<笑い>	
168	117-2	話者 B35	ty` dumaesh`... .	1 を取る
169	118	話者 B35	Mne kazhetsya, vot e`to posle kamnya dolzhno by`t` .	
170	119-1	話者 B35	Posle <kamnya[↑]>{<},,	
171	120	話者 C35	<A pochemu>{>}? .	
172	119-2	話者 B35	i oni=,,	1 と 4 を取って見せる
173	121	話者 A35	=Pochemu? .	
174	119-3	話者 B35	dostali[↑] .	
175	122	話者 B35	Ne znayu .	
176	123	話者 B35	Nu vot u nix s kamnem ne poluchilos` i oni reshili e`:: <vmeste[↓]>{<} .	3、6 を指す
177	124	話者 C35	<A::>{>} mozhet .	
178			《沈黙 1.61 秒》	
179	125	話者 A35	Smotri, vot tut oni[↑] snachala <py`tayutsya[↓]>{<} .	3 を指す
180	126-1	話者 B35	<Koroche, mne kazhetsya>{>}, <vot e`to>{<},,	1、4 を指す
181	127-1	話者 A35	<Mozhet>{>},,	
182	126-2	話者 B35	konecz .	
183	127-2	話者 A35	vot tut oni predlozili emu “davaj-ka voz`myom kamen`” .	7 を指す
184	128	話者 A35	On tak “xorosho, ya odin voz`mu” .	12 を指す
185	129	話者 A35	Potom ne poluchilos` “ladno, my` vdvoyom voz`myom” .	3 を指す
186	130	話者 A35	Ili snachala e`to [カード 3], potom on [カード 12] .	3 の後に 12 を置く
187		話者 B35	<笑い>	
188	131-1	話者 A35	<No ne poluchilos` voobshhe>{<} ,,	
189	132	話者 C35	<Ne poluchaetsya[↓]>{>} .	
190	131-2	話者 A35	sdvinut` , i oni poshli bez kamnya<笑い> .	
191	133	話者 B35	A mozhet e`to oni uzhe vtroyom ego xotyat sdvinut`? .	7 を指す
192	134	話者 B35	Xotya net .	
193	135	話者 A35	Prosto oni zdes` smotryat na nego i chy-to` ‘chto-to`’ reshayut, net[↑]? .	7 を指す
194			《沈黙 1.61 秒》	
195	136	話者 B35	Tak, davajte sna.. snachala eshhyo razochek .	
196			《沈黙 1.91 秒》	
197	137	話者 B35	Yabloko[↑], s`el, m::[↑] .	
198			《沈黙 1.10 秒》	
199	138	話者 A35	A posmotrite, vot zdes` malen`kie ka<mushki[↓]>{<} .	2 を指す
200	139	話者 C35	<Aga>{>} .	
201	140	話者 A35	Mozhet, on potom vstretil bol`shoj kamushek? .	12 を指す
202		話者 B35	<笑い>	
203	141	話者 B35	A zachem emu togda kamen` by`l, <poka on yabloko ne s`el?>{<} .	
204	142	話者 A35	<A ya ne znayu, kamen` voobshhe kak-to n::e >{>} .	

			vstraivaetsya v e`tu istoriyu<笑い> .	
205	143	話者 C35	Da .	
206	144-1	話者 B35	M::ozhet by`t` , vot,,	6 を取る
207	145-1	話者 C35	Ne, nu ix mozhno pro<sto v nachalo zapixnut`><{<,,	
208	144-2	話者 B35	<gde-nibud` tut?>><{> .	
209	145-2	話者 C35	vot e`tu malen`kuyu seriyu .	7、3、12 を指す
210	146	話者 A35	Mozhno, da, <poprobovat`[↓]><{> .	
211	147-1	話者 C35	<E`tot ><{> snachala takoj <nedovol`ny`j><{<,,	12 を 2 の前に置いてみる
212	148	話者 B35	<Chto::><{> .	
213	147-2	話者 C35	idiot posle kamnya .	
214	149	話者 B35	Mozhet <by`t` , oni vot tut xoteli?><{> .	8 を指す、6 を取る
215	150-1	話者 A35	<A::, to::chno, smotri::><{>, mozhhet by`t` , pravda, vot mozhhet by`t` v nachale v samom oni xoteli sdelat` chto-to s kamnem[↑], u nix ne poluchilos`[↑], on, vidish`, rasstroenny`j poshyol “nu i ladno s e`tim < kamnem”, poshyol[↑]><{<,,	2 を指す
216	151	話者 C35	<Ugu::, da, kstati><{> .	
217	150-2	話者 A35	i vstretil “ o::, yabloko” i <zaby`l uzhe pro kamen`[↓]><{> .	
218	152	話者 C35	<[息を飲む] Smotrite, smotrite><{> e`ti, oni snachala by`li vdvoyom[↑], potom prishyol e`tot, u nego tozhe nichego ne poluchilos` .	3、7、12 と並べる
219	153	話者 C35	Dal`she pro nego [カード 2] dva kadra, tri [カード 3] <kadra[↓]><{> .	2 を指す
220	154-1	話者 A35	<Da::><{>, <potom on poshyol><{<,,	
221	155	話者 B35	<Ugu::><{> .	
222	154-2	話者 A35	sobirat` yabloko[↑], nashyol, s`el, e`ti uvideli, <poshli><{<,,	10、8 を指す
223	156	話者 C35	<Ugu><{> .	
224	154-3	話者 A35	tozhe tuda[↑], ne dostali, poprosili[↑],	5、6 を指す
225		話者 B35	<笑い>	
226	154-4	話者 A35	ne dostal[↑],	9 を指す
227		話者 C35	<笑い>	
228	154-5	話者 A35	xop, xop .	1、4 を指す
229	157-1	話者 B35	Nu <da::><{<,,	
230	158	話者 A35	<Vsyo::><{> .	
231	157-2	話者 B35	da, v <principe><{<,,	
232	159	話者 C35	<<笑いながら>Vsyo><{> .	
233	157-3	話者 B35	tak .	
234	160	話者 B35	Chto, u nas eshhyo:: my` tok `tol`ko` s vami shest` m.. s polovinoj minut<笑い> .	
235	161	話者 C35	<笑いながら>Otlichno .	
236	162	話者 B35	Mozhno pridumat` druguyu istoriyu<笑い> .	
237	163	話者 C35	Da .	
238			《沈黙 1.47 秒》	
239	164	話者 B35	Nu u menya ideya, esli my` vot e`ti tri kartinki kuda-nibud` me::zhdu .	3、7、12 を指す
240	165-1	話者 B35	To est` oni e`:: po otdel`nosti ne mogli dos<tat`><{<,,	8 を指す
241	166	話者 C35	<Aga><{> .	
242	165-2	話者 B35	yabloko[↑], poe`tomu reshili kakuyu-to podporku sebe.. dostat`, na chto mozhno zalez`t` i::= 【【 .	
243	167	話者 A35	】】 =Prosto netu kartinki , gde oni py`tayutsya zalez`t` s kamnya .	
244	168	話者 C35	Da .	
245	169	話者 A35	Nu dostat` yabloko .	
246			《沈黙 1.02 秒》	
247	170-1	話者 C35	To est` s <derevom pobli><{<,,	
248	171-1	話者 B35	<Nu:: e`to da><{>,	
249	170-2	話者 C35	zosti, gde kamen` .	
250	171-2	話者 B35	<e`to da><{> .	
251	172	話者 A35	<Ugu::><{> .	
252	173	話者 A35	Ne::t, vot e`to vsyo pravil`no .	3、7、12、2、11、10、8、5、6、9、1、4
253	174	話者 A35	Mne:: nraivtsya tak<笑い> .	
254	175-1	話者 C35	<Ugu::><{<,,	
255	176	話者 B35	<Mne tozhe><{> .	
256	175-2	話者 C35	mne tozhe .	

11. RF11

話者性別: 女

会話時間: 4.15 分

ライン 番号	発話文 番号	話者	発 話 内 容	備考
1	1	話者 C36	Mozhet by`t` nachat`s e`toj? . 《沈黙 3.61 秒》	6 を持ち上げて見せる
2				
3	2	話者 A36	Tak, nu koroche, delo v tom, chto im nuzhny` yabloki, pravil`no[↑]? .	
4	3	話者 B36	Da, vot on <[↑]kushaet><{ } [↑] .	10 を指す
5	4	話者 A36]] <Poluchaetsya vot>>{ } , v konce oni yabloki poluchili .	4 を取る
6	5	話者 B36	Da .	
7	6	話者 A36	Oni schastlivy` .	4 を動かす
8	7-1	話者 B36	Vot on <kushaet, emu xochet..><{ } , ,	
9	8	話者 C36	<No eshhyo u nas zdes` est`>>{ } .	10 を指す
10	7-2	話者 B36	a vot e`tim xochetsya . 《沈黙 1.52 秒》	10 を指す
11				
12	9	話者 B36	I potom oni nachinayut vot vot e`to vot delat` vsyo . 《沈黙 1.08 秒》	全体を指す
13				
14	10	話者 A36	A, nu vot tak, naverno, ne[↑]? .	11、10 と並べる
15	11	話者 A36	On kak by` podobral <i nachal est`[↓]>>{ } .	11、10 を指す
16	12	話者 B36	<A, nu da>>{ } . 《沈黙 3.27 秒》	
17				
18	13	話者 A36	Tak, e`to chto takoe?<鼻笑> . 《沈黙 1.30 秒》	3、12 を指す
19				
20	14	話者 C36	Xm .	
21	15-1	話者 B36	Tak, <e`to><{ } , ,	
22	16	話者 C36	<Budet>>{ } .	
23	15-2	話者 B36	posle kak.. pervogo kakogo-to <fiasko><{ } , ,	2 を指す
24	17	話者 C36	<Tak>>{ } .	
25	15-3	話者 B36	budet . 《沈黙 2.09 秒》	
26				
27	18	話者 B36	Vot, vot tak vot naverno [カード 9 の後にカード 2 を並べる] . 《沈黙 0.8 秒》	9、2 と並べる
28				
29	19	話者 B36	Tipa chto ne dostal i poshyol . 《沈黙 1.61 秒》	9、2 を指す
30				
31		話者 A36	<笑い>	
32		話者 B36	<笑い>	
33	20	話者 C36	Ili, mozhet by`t` , e`:: takoj absurd[↑], chto e`ti= .	全体を指しながら、手を振る
34	21	話者 C36	=My` zhe ne znaem, kto e`to .	
35	22	話者 C36	E`to kakie-to sushhestva .	
36	23-1	話者 C36	Oni dumali, mozhet by`t` , kamni e`to vku::sno, <mozhet "poedim">>{ } , ,	
37	24	話者 B36	<####>>{ } .	
38	23-2	話者 C36	"kamni?" .	
39	25	話者 C36	No potom takie "ne::t, kamni, e`to neinteresno, potomu chto e`to ochen` tyazhelo, mozhet by`t` vsyo-taki yabloki?"<笑い> . <笑い>	3 を指す
40		話者 A36	<笑い>	
41		話者 B36	<笑い>	
42	26-1	話者 B36	Ne::t, <vot><{ } , ,	
43	27-1	話者 A36	<Tak>>{ } , ,	
44	26-2	話者 B36	oni uvideli, chto nuzhno .	8 を指す
45	27-2	話者 A36	vot e`to [カード 4,1]kak-to vzaimosvyazanno dolzhno by`t` . 《沈黙 0.91 秒》	1 を取る
46				
47	28	話者 A36	Nu tipa <oni snachala vdvoyom[→]>>{ } [↑] .	
48	29	話者 B36]] <Chto snachala oni >>{ } [↑]sami .	5 を指す
49	30	話者 A36	A est` tipa oni ego zovut? .	
50	31-1	話者 B36	Net, oni poka <vot zdes` razmy`sh>>{ } , ,	
51	32-1	話者 C36	<Ta::k>>{ } , ,	
52	31-2	話者 B36	lyayut .	8 を見せる
53	32-2	話者 C36	vot zdes` oni vozmushhayutsya, a on nedoumevaet .	6 を見せる
54	33	話者 B36	U nix ne poluchaetsya .	
55	34	話者 A36	Mozh `mozhet`, tipa chto on s`el, i oni zly`e, chto on s nimi ne podelilsya? .	10、6 を指で指す
56	35	話者 C36	Nu mozhet by`t` .	

57	36-1	話者 C36	Mo<zhet by`t`><{>,,	
58	37	話者 B36	<A pochemu oni>>{> s razny`x storon narisovany`? .	
59	38	話者 B36	<Oni obezhali?><{> .	
60	36-2	話者 C36	<mozhet by`t` nachnyom>>{> s e`togo? .	11 を指す
61	39	話者 C36	Vot on shyol, e`:: uvidel “aga::, <kakoe vkusnoe ya::bloko[↓]>><{> .	
62	40	話者 B36	<[↑]Yabloko, s`el[↓]>>{> .	
63	41	話者 A36	Da, da, naverno <tak by`lo[↓]>><{> .	11 を先頭に置く
64	42	話者 C36	<Potom::>>{>, i vot on ego.. est .	話者 A36 に 10 を渡す
65			《沈黙 1.18 秒》	
66	43	話者 B36	Tak, e`to pervaya kartinka .	11 を指す
67	44	話者 A36	Tak, on ego est po.., no on ego ne dostanet nikak .	9 を指す
68	45	話者 C36	Mozhet by`t`, e`to on uzhe= [[.	9 を指す
69	46	話者 A36]] =A::, mozhet, e`to upa::vshee by`lo? .	11 を指す
70	47-1	話者 A36	E`to by`lo upavshee, <on nachal>><{>,,	カードを指す
71	48	話者 B36	<Da::>>{> .	
72	47-2	話者 A36	ego est` .	
73			《沈黙 1.22 秒》	
74	49	話者 A36	Potom[↑]	
75	50	話者 A36	Zdes` kartinka propala .	2 を取る
76			《沈黙 1.65 秒》	
77	51	話者 A36	A, mozhet by`t`, on shyol gru::stny`j i nashyol yabloko .	2 を 11 の前に置く
78			《沈黙 1.76 秒》	
79		話者 A36	<笑い>	
80	52	話者 C36	Chto s kamnyami? .	12 に触れる
81		話者 A36	<笑い>	
82	53	話者 A36	A kamni::, chtoby` vstat` .	
83	54	話者 A36	Gde-to on vstaval .	
84	55	話者 A36	Vo::t, tipa <oni vstayut na kamni[↓]>><{> .	7 を取る
85	56	話者 B36	<Malen`kij tut vstaval>>{> .	
86			《沈黙 1.49 秒》	
87	57	話者 A36	To est` e`to <kak-to vot, vot tak vot poluchaetsya[↓]>><{> .	3 と 7 を並べる
88	58	話者 B36	<Tok `tol`ko` sn.. vot s e`tim eshhyo svyazanno>>{> .	3 を指す
89	59	話者 A36	Ugu .	
90	60-1	話者 C36	To <est` oni>><{>,,	5 を指す
91	61	話者 B36	<[息を吐きながら] Ugu>>{> .	
92	60-2	話者 C36	py`talis`, chtoby` dotyanut`sya, vstat` na e`ti kamni, no nichego ne poluchilos`[↑], i v itoge on im, vot on podsadil[↑], i sor..sor<vali ix[↓]>><{> .	7、1 を指す
93	62	話者 B36	<Vo::t>>{>, e`to tozhe svyazanno <zdes`[↓]>><{> .	8 を見せる
94	63	話者 A36	<Tak>>{>, nu poluchaetsya, “podsadil, sorvali”, e`to kak-to vot tak vot[↑] .	4 の前に 1 を置く
95	64	話者 C36	Nu da, snachala oni eshhyo budut py`tat`sya sami= [[.	5 を見せる
96	65	話者 B36]] =Vot, oni snachala prishli[↑] i dumayut, “chyo `chto` delat`?” .	8 を見せる
97			《沈黙 1.40 秒》	
98	66	話者 C36	Vo::t, potom e`to ix popy`tka .	8 の後に 5 を置く
99	67	話者 B36	Da:: .	
100	68	話者 A36	Ugu:: .	
101	69	話者 A36	Tak, ta::k .	
102			《沈黙 3.03 秒》	
103	70	話者 C36	Vot, naverno, e`to vtoraya ix popy`tka= .	話者 A36 が持っている 7 を指で指す
104	71	話者 C36	=Kak raz togda prishyol on, i vot on ix podsadit .	1 を指す
105	72	話者 C36	I vot oni dostali .	4 を指す
106	73	話者 C36	Naverno, tak? .	
107			《沈黙 0.85 秒》	
108	74	話者 C36	Ili kak? .	
109	75	話者 B36	A zachem <kamni vot e`ti vot>><{> .	3 を指す
110	76	話者 A36	<Prosto vot e`to vot>>{> .	
111	77	話者 A36	Da::, neponyatno, otchego vot <oni tashhili?>><{> .	3、12 を指す
112	78	話者 C36	<Ya, ya dumayu, chto>>{> oni tashhili ix, chtoby`= .	
113	79	話者 C36	=Oni zhe ne mogut dotyanut`sya= .	
114	80-1	話者 C36	=Oni py`talis` odin na drugogo vstat` , <py`talis`::>><{>,,	5 を指す
115	81	話者 B36	<A::, potom>>{> s kamnyami <syuda[↓] [カード 5 の後]>><{> .	3 を指す
116	82	話者 A36	<A::, nu>>{> <da::>><{> .	カードを動かす
117	80-2	話者 C36	<s kam>>{> nem .	
118	83	話者 B36	Vot e`to ubiraj[↑] .	9 を指す
119			《沈黙 1.06 秒》	
120	84	話者 A36	Tak .	5 の後に 3 を置く
121			《沈黙 0.91 秒》	
122	85	話者 B36	Tak, tut chto s kamnyami eshhyo? .	

123	86	話者 B36	Potom vot[→] .	
124			《沈黙 2.18 秒》	
125	87	話者 A36	Tak= .	
126	88	話者 B36	=A::, mozh et by` t`, potom vot on prishyol[↑], i oni ego prosili pomoch` [↑], on snachala xotel sam[↑], a potom uzhe podсадil .	9 を指す
127	89	話者 C36	Da, i s.. tozhe py` talsya s e` timi kamnyami= .	12 を指す
128	90	話者 C36	=Ili on prishyol, skazal, “glupost` vashi kamni, unoshu <笑いながら> obratno” .	
129		話者 A36	<軽く笑い>	
130	91	話者 B36	Nda::, naverno e .	話者 C36 を見る
131		話者 A36	<軽く笑い>	
132	92-1	話者 C36	Togda poluchaetsya vot e` ta [カード 7]<posle>{<},,	7、3 を指す
133	93	話者 B36	<Vot e` ta[→]>{>} .	
134	92-2	話者 C36	e` toj [カード 3], <da[↓]>{<} .	
135	94	話者 B36	<Ugu>{>} .	
136			《沈黙 1.07 秒》	
137	95	話者 C36	[小さい声で]Tak .	
138	96-1	話者 B36	Vot tak, potom vot on sam[↑],,	9 を指す
139	97	話者 C36	Naverno e` ta, <da[↓]>{<} .	12 の後に 9 を置く
140	96-2	話者 B36	<pod>{>}sazhivaet .	カードを指で指す
141			《沈黙 1.14 秒》	
142	98	話者 C36	Nuzhno togda <peremestit` [↑]>{<} .	1、4 を取る
143	99	話者 B36	<Vot e` tu vot>{>} .	
144	100	話者 A36	Tak .	
145			《沈黙 0.91 秒》	
146	101	話者 A36	Ugu:: .	
147	102	話者 B36	Vot tak vot .	8、5 を動かす
148	103	話者 A36	A, a grustny` e oni, poluchaetsya, vot [↑]tak <vot?>{<} .	10 と 8 の間に 6 を置く
149	104	話者 B36	<Nu>{>}, da, vot, vsyo verno .	
150	105	話者 C36	“Kak zhe tak?, <poel, a my` net[↓]>{<} .	カードを並べる
151	106-1	話者 A36	<Da, no>{>},,	
152	107	話者 B36	<Da>{>} .	
153	106-2	話者 A36	e`:: .	
154	108	話者 B36	Sdvigaem .	
155	109	話者 A36	Tak, shhas` sejchas` eshhyo raz<軽く笑い> .	
156			《沈黙 2.09 秒》	
157	110	話者 C36	Nu chto, poluchaetsya, i..idyot nash .	2 を指す
158	111	話者 B36	Grustny` j, s`el, vot tut .	2、10 を指す
159	112	話者 A36	Oni uvideli i razozlilis` .	10、6 を指す
160	113	話者 B36	“Ch<to takoe?”>{<} .	
161	114	話者 A36	<Zdes` logi>{>}ka est` .	
162	115	話者 B36	“My` sami dostanem” .	8 を指す
163	116	話者 C36	“Nam nuzhny` yabloki”= .	8 を指す
164	117	話者 B36	=“Davaj tak”, “net, <davaj vot tak[↓]>{<} .	5、3 を指す
165	118	話者 C36	<“Ne poluchaetsya”>{>} .	
166	119	話者 B36	Vot e` tot prishyol i tipa “chto vy` delaete?, uberite e` to” .	7、12 を指す
167	120	話者 C36	“Davaj<te ya[↓]>{<} .	
168	121	話者 B36	<“Ya sam”>{>} .	9 を指す
169	122	話者 B36	“Ne, davajte s vami” .	1 を指す
170	123	話者 C36	“Ura::”<笑い> .	4 を指す
171		話者 A36	<笑い>[話者 C36 を見る]	話者 C36 を見る
172		話者 B36	<笑い>	
173	124	話者 A36	Slushaj, a xorosho poluchilos` .	
174	125	話者 B36	<Da[↓]>{<} .	
175	126	話者 A36	<Esli>{>} e` to pravil` ny`j otvet, konechno .	
176	127	話者 B36	Nu ya dumayu, tam by` li varianty` .	
177			《沈黙 2.69 秒》	
178	128-1	話者 A36	Nu, po-moemu, [話者 B36 を見る]<logika est`>{<},,	
179	129	話者 B36	<Xorosho>{>} .	
180	128-2	話者 A36	<proslezhivaetsya[↓]>{<} .	
181	130-1	話者 B36	<I my` ran` she>{>},,	
182	131	話者 C36	<Da>{>} .	
183	130-2	話者 B36	chem pyatnadczat` minut upravilis` .	
184		話者 A36	<笑い>	
185		話者 C36	<笑い>	
186			《沈黙 4.88 秒》	
187	132	話者 A36	Ne, nu vsyo, poluchilos` .	2、11、10、6、8、5、3、7、12、9、1、4

12. RF12

話者性別: 女

会話時間: 8.08 分

ライン 番号	発話文 番号	話者	発 話 内 容	備考
1	1	話者 A37	Ya pryam po centru .	
2	2	話者 C37	Nu <ya tut togda>{<}	
3	3-1	話者 A37	<Vy` takie xitry`e>{>}, seli vokrug,,	
4		話者 C37	<笑い>	
5	3-2	話者 A37	a ya pryam vozle kamery`, pered nej pryam .	
6	4	話者 C37	Ne perezhivaj, 《沈黙 0.91 秒》 vse my` tam budem .	
7			《沈黙 0.81 秒》	
8	5	話者 C37	Tak .	
9			《沈黙 1.80 秒》	
10	6	話者 B37	Tak, nam nuzhno sobrat` svyaznuyu istoriyu, da[↑]? .	
11	7	話者 C37	<Ugu>{<}	
12	8	話者 A37	<A to, chto oni>{>} oni pod nomerami, e`to kak-to:: schitaetsya ili net[↓]? .	
13			《沈黙 1.13 秒》	
14	9	話者 C37	A, ty` dumaesh`, uzhe <tut sdelali, da[↑]?[話者 A37 を見る]<笑 いながら> istoriyu[↓]>{<}	
15	10	話者 A37	<Net, net, <笑いながら>net>{>} .	
16		話者 B37	<笑い>	
17			《沈黙 1.87 秒》	
18	11	話者 B37	Ta::k, 《沈黙 2.79 秒》 nuzhno ponyat` snachala, v chyom syuzhet zaklyuchaetsya voobshhe vsego e`togo[息を呑む音]= .	
19	12	話者 C37	=Tak, shyol paren` 《沈黙 5.71 秒》 m:: .	2 を指す
20			《沈黙 1.22 秒》	
21	13	話者 B37	Mozhet by`t, on vstretil <vot ix>{<} .	6 を指す
22	14	話者 C37	<Uvidel..>{>} yablonyu, ne smog dostat`, predpolozhim[話者 A37 がカード 2 の後にカード 9 を置く] .	9 を指す
23			《沈黙 1.54 秒》	
24	15	話者 C37	Vstretil 《沈黙 0.70 秒》 vot e`togo chuvaka .	8 を指す
25			《沈黙 4.81 秒》[話者 A37 がカード 4 を退ける]	
26	16	話者 C37	Vot tak vot esli .	9 の後に 8 を置く
27	17-1	話者 C37	Pot.. <vot oni>{<},,	
28	18-1	話者 B37	<A..>{>},,	
29	17-2	話者 C37	polyalyakali[↑],,	1 を取る
30	18-2	話者 B37	a mozhet <by`t>{<},,	
31	17-3	話者 C37	<a::>{>},,	
32	18-3	話者 B37	net[↑]?= .	
33	19-1	話者 B37	=Mozhet by`t, e` <shyol>{<},,	
34	17-4	話者 C37	<a::>{>} .	
35	19-2	話者 B37	pa::ren`, e:: uvidel, chto lezhit yabloko, i on poproboval dotyanut` sya do yabloka .	2 を指す、11 を取る、 9 を指す
36	20	話者 B37	A::, <net>{<} .	
37	21	話者 C37	<A za>{>}chem?[話者 B37 を見る] .	
38			《沈黙 1.78 秒》	
39	22	話者 C37	Mozhet by`t, e`to ono potom[↑], m:: .	
40	23	話者 B37	Nu <笑いながら>prosto ono kak-to upalo .	11 をもとに戻す
41			《沈黙 4.10 秒》	
42	24	話者 C37	Tuta`tut` uzhe dva yabloka .	4 を指す
43			《沈黙 4.11 秒》	
44	25	話者 C37	Prosto na e`.. na [↑]e`toj kartinke uzhe netu yabloka= .	9 を指す
45	26	話者 C37	=Na toj kartinke na zemle tozhe net yabloka .	8 を指す
46	27-1	話者 B37	Znachit yabloko dostali vot e`ti vot <dva druga>{<},,	5 を指す
47	28	話者 C37	<Da::>{>} .	
48	27-2	話者 B37	kotory`e emu vstretilis` po puti= .	
49	29	話者 B37	=No, a pochemu oni ottu..otsyuda uzhe propali? .	11 を指す
50	30	話者 C37	A mozh `mozhet`, e`to v samy`j konec? .	
51			《沈黙 2.07 秒》	
52	31	話者 C37	Vot e`tu gorochku potom podstavit` .	12 を指す
53			《沈黙 1.46 秒》	
54	32	話者 C37	Smotri, on idyot, 《沈黙 0.75》 uvidel.. yabloko, zaxotel.. poest`, 《沈黙 1.06 秒》 vstretil... .	2、9 を指す
55	33	話者 C37	Gde chuvak? .	

56			《沈黙 1.83 秒》	
57	34	話者 C37	[話者 A37 がカードを渡す]Vstretil chuvaka::, tot emu “xaxaxa, lyalyalya” .	9 の後に 8 を置く
58	35	話者 C37	A::, nas zhe slushayut .	録音機を動かす
59		話者 A37	<軽く笑い>	
60		話者 B37	<軽く笑い>	
61	36	話者 C37	< 軽 く 笑 い >Tak, vstretil, tot govorit “davajte, ya pomogu”, “davaj”, <zalez[↓]><{> .	8 の後に 1 を置く
62	37	話者 A37	<A vot e`ti?><{> .	5 を見せる
63	38	話者 C37	A::, <podo..><{> 【 .	
64	39	話者 A37	】 <Oni><{> tozhe py`tayutsya chto-to dostat` .	8 の後に 5 を置く
65	40	話者 C37	E`to uzhe drugoj .	
66			《沈黙 1.06 秒》	
67	41	話者 A37	Net, e`to vot e`to .	8 を指す
68	42	話者 A37	E`to yaichko<軽く笑い>= .	
69	43	話者 C37	=A e`tot bol`shoj togda kto? .	1 を指す
70	44	話者 A37	E`to vot e`tot .	2 を指す
71			《沈黙 1.04 秒》	
72	45	話者 A37	Oni vmeste .	1 を指す
73	46	話者 A37	Agde tretij togda? .	カードを見る
74			《沈黙 1.61 秒》	
75		話者 C37	<鼻笑い>	
76			《沈黙 3.08 秒》	
77	47	話者 B37	Po<tomu chto[→]><{> 【 .	6 を見せる
78	48	話者 C37	】 <Chyo`chto`on><{> est tut? .	10 を指す
79			《沈黙 0.80 秒》	
80	49	話者 A37	Yablochko[↑][カード 10 を見せる] .	10 を見せる
81			《沈黙 5.23 秒》	
82	50	話者 A37	Chto esli on shyo::l, uvidel kameshek? .	2 の後に 7 を置く
83	51	話者 C37	Ugu:: .	
84	52	話者 A37	Na kamushke stoyat dvoe .	
85			《沈黙 4.40 秒》	
86	53	話者 C37	O chyom-to bol<tayut[↑]><{> 【 .	6 を指す
87	54-1	話者 A37	】 <lli><{> ne::t, <vot on shyo::l><{>,,	話者 B37 から 6 を取る、2 の後に 6 を置く
88	55-1	話者 B37	<Mne kazhetsya, mozhet by`t`><{>, on shyol,<vstretilsya><{>,,	
89	56	話者 C37	<Shyo::l><{> .	6 を指す
90	55-2	話者 B37	<s..><{> 【 .	
91	54-2	話者 A37	】 <i><{> vstretilsya s nimi .	
92	57	話者 C37	Da .	
93	58	話者 C37	Potom oni nashli kakuyu-to gorochku, da[↑]? .	7 を指す
94	59	話者 A37	Da .	
95	60-1	話者 C37	A net e`ti,,	3 を取る
96	61-1	話者 B37	[息を飲む音]Ya ponyala:: v chyom ves` smy`sl,,	
97	60-2	話者 C37	[小さい声で]e`ti potom <podoshli[↑]><{> 【 .	2 の後に 3 を置いてみる
98	61-2	話者 B37	】 <oni k nemu><{> obratilis`, chtoby` on <dostal><{>,,	
99	62	話者 C37	<On?><{> .	
100	61-3	話者 B37	im yabloko, potomu chto oni malen`kie .	
101			《沈黙 1.30 秒》	
102	63	話者 C37	Znachit snachala oni .	話者 B37 に 3 を見せる
103	64	話者 B37	Snachala oni py`talis` s..soo<rudit`[→]><{> 【 .	
104	65	話者 C37	】 <Potom><{> uzhe tol`ko <on[↓]><{> .	2 を退ける
105	66	話者 B37	<Potom><{> on shyol im navstrechu .	
106	67	話者 C37	Znachit nado sobrat` e`tix .	9 を退ける
107	68	話者 A37	Agde malen`kie? .	
108	69-1	話者 B37	On popy`talsya, <naverno><{>,,	12 を見せる
109	70	話者 A37	<Vot><{> .	5 を取る
110	69-2	話者 B37	potom podnyat` e`..e`tu <ya::mku` [‘gorku’の言い間違い], chtob><{> 【 .	12 の石を指す
111	71	話者 C37	】 <Malen`kie snachala vot><{> e`to, da[↓] .	8 を置く
112	72	話者 C37	Potom vot e`to .	8 の後に 5 を置く
113			《沈黙 1.59 秒》	
114	73	話者 C37	Potom oni poshli za kamushkom .	5 の後に 3 を置く
115	74	話者 B37	Da .	
116	75	話者 B37	Potom vstretili... .	
117	76-1	話者 B37	A potom <prishyol on[↑]><{>,,	2 を指す
118	77	話者 C37	<Ushyol o::n><{> .	3 の後に 9 を置く
119			《沈黙 2.96 秒》	
120	76-2	話者 B37	potom e`::,,	

121	78	話者 C37	Gde kamushek? .	
122	76-3	話者 B37	vot zdes`on uzhe py`taetsya ego, vidimo, podvinut`k yablone .	12 を見せる
123			《沈黙 0.75 秒》	
124	79	話者 A37	<Vot on>{<} .	7 を指す
125	80	話者 C37	<Net>{>} .	
126	81	話者 A37	Vot oni poprosili <ego podvinut`[↓]>{<} .	2 の後に 7 を置く
127	82-1	話者 C37	<Da, oni popro>{>}si<li[↑]>{<},,	
128	83	話者 A37	<Da>{>} .	
129	84	話者 B37	<Vot>{>} on.. .	
130	82-2	話者 C37	u nego ne poluchilos`, oni.. obidelis`na nego[↑] .	4 を見せる
131	85	話者 C37	A, podozhdi, vot e`to vot eshhyo .	10 を取る
132			《沈黙 1.05 秒》	
133	86	話者 C37	[呟くように]Gde on e`to yabloko vzyal? .	10 を見せる
134	87	話者 A37	Mne kazhetsya, vot, vot .	1、10 と並べる
135	88	話者 A37	Oni emu snyali yabloko, i on sam dovol`ny`j est[↑], oni emu govoryat “ty` chy`o ‘chto` <voobshhe esh`, my` zh tozhe xotim[↓]”>{<} .	1、10 を指す
136	89	話者 B37	<<軽く笑い>Da>{>} .	
137	90	話者 C37	<Vot, posle kamush>{>}ka vot e`to budet .	6 を見せる
138	91	話者 B37	A::, oni emu snyali [↑]yabloko .	1 を指す
139	92	話者 B37	Yabloko, mozhet by`t`, upa::lo[↑], i on ego est ili net[↓]?[立ち上がって机の正面に移動] .	10、11 を指す
140			《沈黙 0.84 秒》	
141	93	話者 A37	Aga, aga .	1、11、10 を並べる
142			《沈黙 5.40 秒》	
143	94	話者 C37	Est= [[.	9 を取る
144	95	話者 A37]] =Kogda-to on dolzhen ego dostat`, poprobovat` dostat` .	
145	96	話者 C37	Da::, naverno, vot tak vot? .	6 の後に 9 を置く
146	97-1	話者 B37	Da::, on snachala popy`<talsya>{<},,	1 を指す
147	98	話者 C37	<Ugu>{>} .	
148	97-2	話者 B37	odi::n e`to sdelat`, potom pozval druga .	9 を指す
149			《沈黙 2.40 秒》	
150	99	話者 C37	A potom on ostalsya odin[↑][話者 B37 を見る] .	11 を指す
151			《沈黙 1.63 秒》	
152	100	話者 B37	Blin .	
153			《沈黙 1.42 秒》	
154	101	話者 B37	<軽く笑い>Nu e`to ponyatno, chto e`to uzhe konec, da[↓] .	4 を指す
155			《沈黙 1.17 秒》	
156	102	話者 B37	No pochemu on s`el sam togda yabloko, a ne otdal im?=.	10 を指す
157	103	話者 B37	=Ved` iznachal`no oni xoteli sami yabloko dostat`, no ne po..n::e poluchilos` .	8 を指す
158	104-1	話者 B37	Mozhet by`t`, <prosto>{<},,	
159	105	話者 C37	<Zhadnost`?>{>} .	
160	104-2	話者 B37	mozhet, prosto tut , dejstvitel`no, to chto on zhadny`, on pomog, a v itoge zabral e:: sebe[↑]? .	10 を指す
161			《沈黙 4.73 秒》	
162	106	話者 C37	Ne mo.. ne mogut kamen`, tuda syuda tuda[↑], rasstroilis`, otveli k derevu, <on podsadil[→]>{<} [[.	8、5、3、2、7、6、9、1 を指す
163	107	話者 B37]] <A mozhet by`t`, oni rasstroilis`>{>} potom, kogda on s`el yabloko? .	6、10 を指す
164			《沈黙 3.63 秒》	
165	108	話者 B37	Net[↑], ne mozhet takogo by`t`?[話者 C37 がカード 10 の後に 6 を置く] .	
166			《沈黙 5.77 秒》	
167	109	話者 B37	A pochemu togda v konce oni veselyatsya vse?[話者 C37 を見る] .	
168	110	話者 B37	A::, net, veselyatsya oni vdvoyo::m .	4 を指す
169			《沈黙 0.72 秒》	
170	111	話者 C37	No e`tot tozhe negrustny`j .	
171		話者 A37	<笑い>	
172		話者 C37	<笑い>	
173	112	話者 B37	A.. a on kak..kak budto《沈黙 0.91 秒》“ka::k?, u vas dva yabloka, kak vy` dostali?”= .	
174	113	話者 B37	=Nu::, kak budto on pryam vozmushhaetsya= .	
175	114	話者 A37	=Net, mne kazhetsya, on ra::d .	4 を指す
176	115	話者 C37	Ne, naoboro::t, da:: .	
177	116	話者 B37	Rad? .	
178	117	話者 A37	Da, on rad za nix, chto u nix nakonecz-to yablochki= .	
179	118	話者 A37	=I vot chto-to poyut oni dazhe .	4 を指す
180			《沈黙 2.28 秒》	
181	119	話者 B37	Kak-to stranno, pochemu on zdes` s nimi ne podelilsya	10 を指す

			yablokom? .	
182	120	話者 B37	Poluchaetsya, on e`:: dostal yabloko[↑], s`el[↑] ego, oni, <znachit, ostalis` bez>{<} [↑] .	10、6 を指す
183	121	話者 C37] <A vot zdes` vot tol`ko>{>} vot edinstvennoe vot= .	
184	122	話者 A37	=Da .	11、9 と並べ替える
185			《沈黙 2.11 秒》	
186	123-1	話者 A37	Vot, <vot>{<},,	10 を取ろうとする
187	124-1	話者 C37	<A::>{>},,	11、10、6、9 と並べ替える
188	123-2	話者 A37	da, da::, <da>{<},,	
189	124-2	話者 C37	<vsyo>{>},,	
190	123-3	話者 A37	da,,	
191	124-3	話者 C37	vot tak vot .	
192	123-4	話者 A37	ugu::, ugu:: .	
193			《沈黙 4.85 秒》	
194	125	話者 C37	M:: .	
195			《沈黙 2.26 秒》	
196	126-1	話者 A37	Uvideli yablonyu, zaxoteli dostat`, ne smogli::, poprobovali <vstat` na kamushek>{<},,	8、5、3 を指す
197	127-1	話者 C37	<A, podozhdi>{>},,	9 を指す
198	126-2	話者 A37	ne smogli, <prishyol e`tot[↓]>{<} .	2 を指す
199	128	話者 B37	<Togda on tozhe poluchaetsya>{>} ne mozhnet dostat` .	9 を指す
200	127-2	話者 C37	ne::t, mne kazhetsya, togda on poshyol k yablone, tam e`to yablochko valyalos`, nu predpolozhim[話者 B37 を見る] .	カードをずらす
201	129	話者 B37	Da:: .	
202	130	話者 C37	Nu u nas normal`no e`to .	
203		話者 B37	<笑い>	
204	131	話者 C37	On nachal ego e::st`[↑], oni na nego obi::delis`[↑], on poproboval dostat` sam , ne poluchilos`[↑], on na nego zalez[↑], i oni vse kushayut yabloki[話者 B37 を見る] .	6 の後に 9 を置く、1、4 を指す
205	132-1	話者 B37	Da, <da, vo::t>{<},,	
206	133	話者 A37	<Aga::, da::>{>} .	
207	132-2	話者 B37	tochno .	
208	134	話者 C37	Pust` budet tak .	
209			《沈黙 1.08 秒》	
210	135	話者 B37	Tak, davajte eshhyo raz proverim .	
211			《沈黙 5.81 秒》	
212	136	話者 B37	Vot mne stranno, pochemu voobshhe e`ta kucha voznika? .	7、12 を指す
213			《沈黙 0.73 秒》	
214	137	話者 B37	Po suti, <e`ta kuch..>{<} [↑] .	
215	138	話者 C37] <Tak e`to ka>{>} men` .	
216	139	話者 B37	A:: kamen`? .	
217		話者 A37	<笑い>	
218		話者 C37	<笑い>	
219		話者 B37	<笑い>	
220	140	話者 C37	Kucha iz chego?<笑い>[話者 B37 を見る] .	
221	141	話者 B37	<ひき笑い>Iz zemli .	
222		話者 A37	<笑い>[話者 B37 を見る]	
223	142	話者 C37	Net, da::, potom on na.. on.. u nego ne poluchilos` kamen` ubrat`, on poshyol vzyal yabloko, opyat` emu vstretilis` na puti[↑].. [話者 B37 と話者 A37 を見る]oni, 《沈黙 0.72 秒》te na nego obidelis`[↑], on poshyol im dostat` yabloko, ne dostayot[↑] .	12、11、10、6、9 を指す
224	143	話者 C37	Net, ya dumayu, vsyo pravil`no .	
225			《沈黙 18.81 秒》	
226	144	話者 B37	A mozhnet by`t, 《沈黙 2.66 秒》 vot e`to [カード 3] s e`tim [カード 2] pomenyat`, net[↑]? .	2、3 を指す
227			《沈黙 3.03 秒》	
228	145-1	話者 B37	<Potomu chto>{<} ,,	
229	146	話者 A37	<[大きい声で]M::>{>} .	
230	145-2	話者 B37	von idyo::t[↑], on prishyol k ku::che[↑] k e`toj .	2、3 と並べ替える
231	147-1	話者 C37	A::, i uvidel, to chto oni tolkayut, podoshyol sprosila, chyo..<chy`to` delayut[↑], “davaj ya” >{<},,	
232	148	話者 B37	<Da, podoshyol sprosila, chto oni delayut[↑]>{>} .	7 を指す
233	147-2	話者 C37	“poprobuyut[↑]”, u nego ne poluchilos`, “ya poshyol k yablochku” .	
234	149	話者 B37	Da .	
235			《沈黙 2.23 秒》	
236	150-1	話者 B37	A::, potom on podoshyol[↑], i:: yabloko uzhe lezhalo, da[↑]?,,	11 を指す
237	151	話者 C37	Ugu .	
238	150-2	話者 B37	prosto poluchaetsya .	
239	152	話者 B37	I on s`el yabloko, oni govoryat “o::, my` tozhe xotim ya::bloko” .	10 を指す

240	153	話者 C37	Da:: .	
241	154	話者 B37	Nu a pochemu togda zde::s` yabloko ne lezhalo? .	5を指す
242			《沈黙 0.87 秒》	
243	155	話者 C37	Nu poka oni tam tolkali, ono upalo[話者 B37 を見る] .	
244	156	話者 A37	Ugu, 《沈黙 1.30 秒》 <samo>{<} .	
245	157	話者 C37	<E'to::>{>} normal'noe yavlenie .	
246		話者 A37	<笑い>	
247	158	話者 C37	Zakon podlosti .	
248			《沈黙 1.01 秒》	
249	159	話者 B37	Nu da, togda v principe vsyo, ya dumayu .	
250	160	話者 A37	Za skol'ko my` upravilis`? .	
251			《沈黙 2.33 秒》	8、5、2、3、7、12、11、 10、6、9、1、4
252	161	話者 A37	Za devyat` minut[話者 B37 を見る] .	
253	162	話者 C37	Ox, devyat` minut dumali .	
254		話者 B37	<笑い>	

IV. フォローアップ・アンケート

フォローアップ・アンケート

回答の内容は他の協力者に見せませんので、率直にお答えいただけますようお願いいたします。

氏名: _____

1. 先ほどの会話は、3人で話しやすかったと思いますか。

a. 2人とも話しやすかった

c. 初対面の一人とは話しやすかった

b. 友人とは話しやすかった

d. 2人とも話しにくかった

2. なぜですか。具体的に書いてください。

3. 相手の言葉遣いで失礼、不快と感じたことがありましたか。

☐ はい。

☐ いいえ。

不快と感じたことについて具体的に書いてください。

4. 話し相手は初対面であることを意識していましたか。

☐ はい。

☐ いいえ。

5. 二人は友人同士であることを意識していましたか。

☐ はい。

☐ いいえ。

6. 先ほどの会話で気をつけていたことがあれば、書いてください。

7. 自分の言葉遣いは丁寧だったと思いますか。

- a. いつもより丁寧な話し方を心がけていた。
- b. 特に丁寧でも、失礼でもなかった。
- c. いつもよりやや失礼な話し方だった。
- d. 失礼な話し方だった。

8. なぜですか。具体的に書いてください。

9. 自分の話し方は自然だったと思いますか。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| a. 自然だった。 | c. どちらかというと不自然だった。 |
| b. どちらかというと自然だった。 | d. 不自然だった。 |

10. 話し相手の話し方は自然だったと思いますか。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| a. 自然だった。 | c. どちらかというと不自然だった。 |
| b. どちらかというと自然だった。 | d. 不自然だった。 |

11. 自分が録画を意識したと思いますか。

- | | |
|------------------|--------------|
| a. 意識していなかった。 | c. やや意識していた。 |
| b. あまり意識していなかった。 | d. 意識していた。 |

12. 本日の調査に関するご意見ご指摘がありましたら、ご自由に書いてください。

御協力いただき、誠にありがとうございます。

Анкета

Просим Вас искренне ответить на вопросы. Данная информация не будет оглашаться другим участникам разговора.

Ф.И.О. _____

1. Легко ли было Вам вести разговор втроем?

а. Да, легко с обоими участниками.

б. Только с другом.

с. Только с одним незнакомым участником.

д. Нет, было трудно с обоими участниками.

2. Почему? Дайте подробный ответ.

3. Было ли в речи собеседника(ков) что-нибудь, что Вас обидело?

☐ Да.

☐ Нет.

Опишите подробно, что именно Вас обидело.

4. Обращали ли Вы внимание на то, что Вы незнакомы с двумя другими собеседниками / третьим собеседником?

☐ Да.

☐ Нет.

5. Обращали ли Вы внимание на то, что 2 других собеседника являются друзьями / один из собеседников Ваш друг?

☐ Да.

☐ Нет.

6. На что Вы больше всего обращали внимание в разговоре?

7. Считаете ли вы, что Ваша речь была вежливой?
- a. Я старался / старалась говорить вежливее, чем всегда.
 - b. Моя речь не была ни особенно вежливой, ни грубой.
 - c. Моя речь была немного грубее обычного.
 - d. Моя речь была грубой.
8. Почему? Дайте подробный ответ.
-
9. Считаете ли Вы, что Ваша речь была естественной?
- a. Да.
 - b. Наверное, да.
 - c. Наверное, нет.
 - d. Нет.
10. Считаете ли Вы, что речь Ваших собеседников была естественной?
- a. Да.
 - b. Наверное, да.
 - c. Наверное, нет.
 - d. Нет.
11. Обращали ли Вы внимание на то, что Ваш разговор записывается?
- a. Да, обращал(а).
 - b. Почти не обращал(а).
 - c. Немного обращал(а).
 - d. Нет, не обращала.
12. Другие замечания (по желанию).
-

Благодарим Вас за сотрудничество!